恵庭市

西島松５遺跡（６）

― 柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 ―

第１分冊　本文編

平成20年度

財団法人　北海道埋蔵文化財センター

恵庭市

西島松５遺跡（６）

― 柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 ―

第１分冊　本文編

平成20年度

財団法人　北海道埋蔵文化財センター

口絵 2

P445

P412

P411

P411の出土遺物

P404の出土遺物

口絵 4

P448の出土遺物

P398の出土遺物

例　言

1．本書は、柏木川基幹河川改修工事に伴い、財団法人北海道埋蔵文化財センターが平成12年度から発掘調査を実施した、恵庭市西島松５遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。

　本書には、平成14・15・16年度に同遺跡から検出された遺構（住居跡を除く土坑・Tピット・焼土・小ピット・集石遺構）と、平成19年度の調査で新たに見つかった西島松３遺跡内の５基の遺構を掲載する。

2．平成14・15・19年度の発掘調査と整理作業は第２調査部第１調査課が、平成16年度の発掘調査と整理作業は第１調査部第２調査課が、平成20年度の整理作業は第２調査部第３調査課が行った。

3．本書の執筆は土肥研晶が、写真図版は柳瀬由佳が担当した。

4．遺物の分類は、石器を佐藤和雄が、その他は土肥研晶が担当した。

5．現場での写真撮影は、各遺構担当の調査員が、遺物の写真撮影は吉田裕吏洋が行った。

6．出土した遺物のうち、動物遺存体は、金子浩昌氏に、サメの歯については北海道大学水産学部教授　仲谷一宏氏に、ネズミの歯形については元北海道大学教授　阿部　永氏に鑑定していただいた。なお、ネズミの歯形の鑑定については北大植物園所蔵の標本を参考にした。また、玉類の石材鑑定は、㈱アースサイエンスに依頼した。

7．調査にあたっては、下記の諸機関および人々のご協力、ご助言をいただいた（順不同、敬称略）。

北海道教育庁生涯学習部文化・スポーツ課
恵庭市郷土資料館　田嶋弘美・上屋真一・松谷純一・長町章弘・大林千春
北広島市教育委員会　下野直章
札幌市埋蔵文化財センター　上野秀一・羽賀憲二・仙庭伸久・秋山洋司・石井　淳・藤井誠二
千歳市教育委員会　田村俊之・高橋　理・豊田宏良・松田淳子
北海道開拓記念館　右代啓視・鈴木琢也・山田悟郎
厚真町教育委員会　乾　哲也・小野哲也・奈良智法・天方直仁・山田和史
新ひだか町静内郷土館　斎藤大朋・藪中剛司　　厚沢部町教育委員会　石井淳平
苫小牧市博物館　赤石慎三　　七飯町歴史館　山田　央
登別市教育委員会　菅野修広　　平取町教育委員会　森岡健治・長田佳宏
富良野市教育委員会　杉浦重信・澤田　健　　伊達市教育委員会　大島直行・青野友哉
室蘭市教育委員会　松田宏介　　秋田県大館郷土博物館　嶋影壮憲
酪農学園大学　浅川満彦　　北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園・博物館
福島県文化振興事業団　水野一夫　　株式会社シン技術コンサル　長谷川徹・大島秀俊
野村　崇、和泉田毅、遠藤龍畝、藤岡智子、鈴木克彦

記号等の説明

1．遺構の表記は、本文および図表中では次の略号を使用した。また、グリッド番号と区別するため、「Ｐ１」「Ｆ１」、のように、アルファベットとアラビア数字の間にはハイフンは入れていない。

Ｈ：住居跡　　Ｐ：土坑および土坑墓　　ＴＰ：Ｔピット　　Ｆ：焼土　　ＳＰ：小ピット　　Ｍ：盛土遺構

2．実測図、拓影図の縮尺は、原則として次のとおりである。

遺構図（平面図・断面図・エレベーション図）―１：40　集石―１：10

遺物出土状況詳細図―遺構ごとの出土状況に合わせたため、縮尺は異なるが、それぞれにスケールを付している。

土器実測図・土器拓影図―1：3（Ｐ692のみ土器を30％で掲載。また、ミニチュア土器には個々にスケールを付した。）　土製品―１：2

玉類・石斧・剥片石器―１：2　石棒・礫石器―１：3（石皿にかぎり30％に縮小）

骨角器・歯牙製品（サメの歯）―１：１　漆製品―１：2

なお、写真のスケールはおおむね次のとおりである。

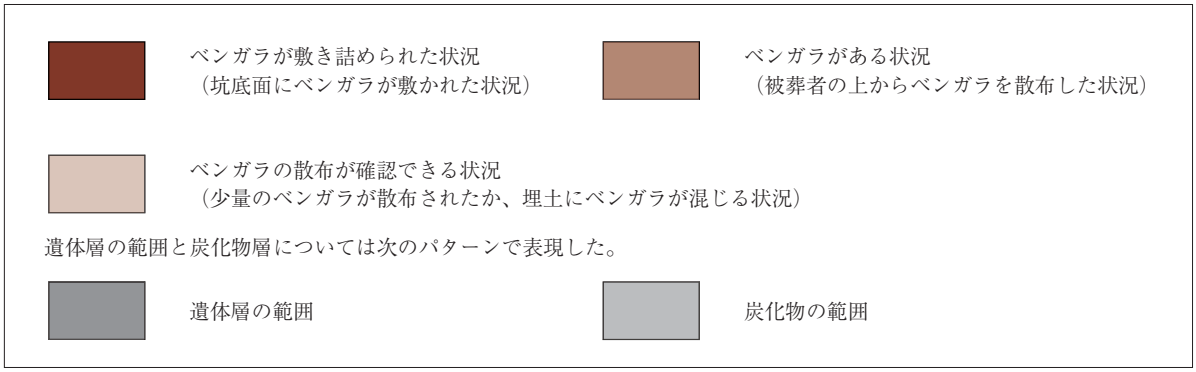
復元土器―任意　拓本―３：１　剥片石器―１：２　石鏃―２：３　玉類・サメの歯―１：１

礫石器―任意　漆・骨角器―３：４（75％）　土・石製品（石斧)･アスファルト―２：３

3．遺構図中の数字は標高（単位ｍ）を示し、平面図、断面図、エレベーション図は40分の１で、平面図の真北方向をページの真上に統一している。表中での遺構の規模は単位㎝で表記した。なお、推定事項については、（　）で示し、不明の部分は―で示した。セクション図中の遺物のうち、礫にはＳ、土器にはＰ、石斧、石棒などの製品にはその名称を記している。

4．遺物出土状況詳細図中の番号（青）は、遺物掲載番号（黒色）と統一し、破損などで実測されなかった未掲載遺物で、表にデータのみを記している遺物には赤で掲載遺物番号の続きの数を記している。土壌水洗で見つかった遺物や出土地点の記録が無いものについては、詳細図に掲載番号はない。

5．詳細遺物出土状況図中の番号は掲載番号で統一し、ベンガラ層については、その濃淡を次の３段階のパターンで表現した。



6．土層の色調は、『新版標準土色帖』(小山・竹原1967年版）を使用し、カラーチャートの番号を記し土色を記した。

目　次

〔第１分冊〕

口　絵（カラー写真）
例　言
記号等の説明

Ⅰ　調査の概要
１．調査要項 …… 1
２．調査体制 …… 1
３．調査に至る経緯 …… 2
４．調査結果の概要 …… 3
Ⅱ　遺跡の立地と周辺の遺跡
１．遺跡の位置と環境 …… 13
２．周辺の縄文時代後期末の遺跡 …… 13
Ⅲ　調査の方法
１．調査区の設定 …… 19
２．掘削 …… 19
３．土層 …… 19
４．整理の方法 …… 21
５．記録と保管 …… 21
６．遺物の分類 …… 21
７．玉・垂飾類の分類 …… 23
Ⅳ　遺構と遺物
１．概要 …… 51
２．土坑 …… 51
３．周堤墓の設定 …… 115
４．Ｔピット …… 116
５．焼土 …… 116
６．集石遺構 …… 117
７．小ピット …… 117
８．キウス５遺跡出土の漆塗櫛 …… 117
９．西島松３遺跡追加の遺構 …… 117
10．考察 …… 118
Ⅴ　自然科学的手法による分析
１．西島松５遺跡出土の玉類・石製品・石斧石材の岩石学的分析 …… 209
１－１　西島松５遺跡出土カンラン岩・ロジン岩製遺物産地分析 …… 209
１－２　西島松５遺跡出土玉類の岩石学的分析 …… 221
１－３　西島松５遺跡出土の玉・石製品の岩石学的分析 …… 236
２．西島松５遺跡出土ヒスイ製玉類の産地分析 …… 247
３．西島松５遺跡出土の縄文時代以降の炭化種実について …… 254
４．西島松５遺跡出土の動物骨同定 …… 264
５．西島松５遺跡出土のネズミのかじり痕のある玉について …… 278
６．恵庭市西島松５遺跡から出土した赤色漆塗竪櫛の構造と製作技法について …… 279
７．蛍光Ｘ線分析 …… 283

挿　図　目　次

図Ⅰ―1　年度別調査範囲図 …… 2
図Ⅱ―1　遺跡位置図 …… 15
図Ⅱ―2　西島松５遺跡と周辺の遺跡 …… 16
図Ⅲ―1　基本土層模式図 …… 19
図Ⅲ―2　グリッド設定図 …… 20
図Ⅲ―3　玉類分類模式図 …… 23
図Ⅲ―4　玉・垂飾類分類図 …… 25
図Ⅲ―5　玉・垂飾類集計グラフ …… 26
図Ⅲ―6　遺構位置全体図 …… 27
図Ⅲ―7　遺構位置分割図 …… 29
図Ⅲ―8　分割図Ａ …… 30
図Ⅲ―9　分割図Ｂ …… 31
図Ⅲ―10　分割図Ｃ …… 32
図Ⅲ―11　分割図Ｄ …… 33
図Ⅲ―12　分割図Ｅ …… 34
図Ⅲ―13　分割図Ｆ …… 35
図Ⅲ―14　分割図Ｇ …… 36
図Ⅲ―15　分割図Ｈ …… 37
図Ⅲ―16　分割図Ⅰ …… 38
図Ⅲ―17　分割図Ｊ …… 39
図Ⅲ―18　分割図Ｋ …… 40
図Ⅲ―19　分割図Ｌ …… 41
図Ⅲ―20　分割図Ｍ …… 42
図Ⅲ―21　分割図Ｎ …… 43
図Ⅲ―22　分割図Ｏ …… 44
図Ⅲ―23　分割図Ｐ …… 45
図Ⅲ―24　分割図Ｑ …… 46
図Ⅲ―25　分割図Ｒ …… 47
図Ⅲ―26　分割図Ｓ …… 48
図Ⅲ―27　分割図Ｔ …… 49
図Ⅲ―28　分割図Ｕ・Ｖ …… 50

表　目　次

表Ⅰ―1　西島松５遺跡⑹掲載遺構 …… 3
表Ⅰ―2　西島松５遺跡報告済遺構数 …… 4
表Ⅰ―3　報告書別報告済遺物点数一覧 …… 6
表Ⅰ―4　報告書別掲載遺構一覧 …… 6
表Ⅰ―5　西島松５遺跡調査体制一覧 …… 7
表Ⅰ―6　時期別掲載遺構一覧 …… 8
表Ⅰ―7　金属製品出土一覧 …… 9
表Ⅰ―8　北埋調報224　恵庭市　西島松５遺跡⑷正誤表…… 10
表Ⅰ―9　漆塗製品遺構出土一覧 …… 11
表Ⅰ―10　サメ歯穿孔品遺構出土一覧 …… 11
表Ⅰ―11　玉・垂飾類遺構出土一覧 …… 12
表Ⅱ―1　周辺遺跡一覧 …… 17
表Ⅳ―1　土坑掲載遺物一覧 ……119
表Ⅳ―2　遺構別掲載遺物一覧　ＴＰ ……173
表Ⅳ―3　遺構別掲載遺物一覧　焼土 ……173
表Ⅳ―4　遺構別掲載遺物一覧　集石 ……177
表Ⅳ―5　遺構別掲載遺物一覧　ＳＰ ……178
表Ⅳ―6　土坑出土遺物一覧 ……179
表Ⅳ―7　ＴＰ出土遺物一覧 ……188
表Ⅳ―8　焼土出土遺物一覧 ……188
表Ⅳ―9　集石出土遺物一覧 ……192
表Ⅳ―10　ＳＰ出土遺物一覧 ……193
表Ⅳ―11　西島松３遺跡遺構出土遺物一覧 ……208

第２分冊　図版編
第３分冊　写真図版編

Ⅰ　調査の概要

1　調査要項

事 業 名：柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査
委 託 者：北海道石狩支庁　（札幌土木現業所）
受 託 者：財団法人　北海道埋蔵文化財センター
遺 跡 名：西島松５遺跡（北海道教育委員会登載番号Ａ－04－38）
所 在 地：恵庭市西島松306番、501番地先河川敷地
調査面積：西島松５遺跡　21,210㎡
発掘期間：平成12年４月１日～平成17年10月30日
整理期間：平成12年４月１日～平成21年３月31日

2　調査体制

平成14年度

理 事 長　大澤　　満（平成14年６月30日まで）	第２調査部長　西田　　茂
理 事 長　森重　楯一（平成14年７月１日から）	第１調査課長　佐藤　和雄
専務理事　宮崎　　勝	主　　任　土肥　研晶
常務理事　畑　　宏明（第１調査部長兼務）	主　　任　佐藤　　剛
	文化財保護主事　石井　淳平

平成15年度

理 事 長　森重　楯一	第２調査部長　西田　　茂
専務理事　宮崎　　勝	第１調査課長　佐藤　和雄
常務理事　畑　　宏明（第１調査部長兼務）	主　　査　鈴木　　信
	主　　任　土肥　研晶
	主　　任　佐藤　　剛
	文化財保護主事　立田　　理

平成16年度

理 事 長　森重　楯一	第１調査部長　千葉　英一
専務理事　宮崎　　勝	第２調査課長　佐藤　和雄
常務理事　佐藤　俊和	主　　任　土肥　研晶
	主　　任　立田　　理
	主　　任　吉田裕吏洋

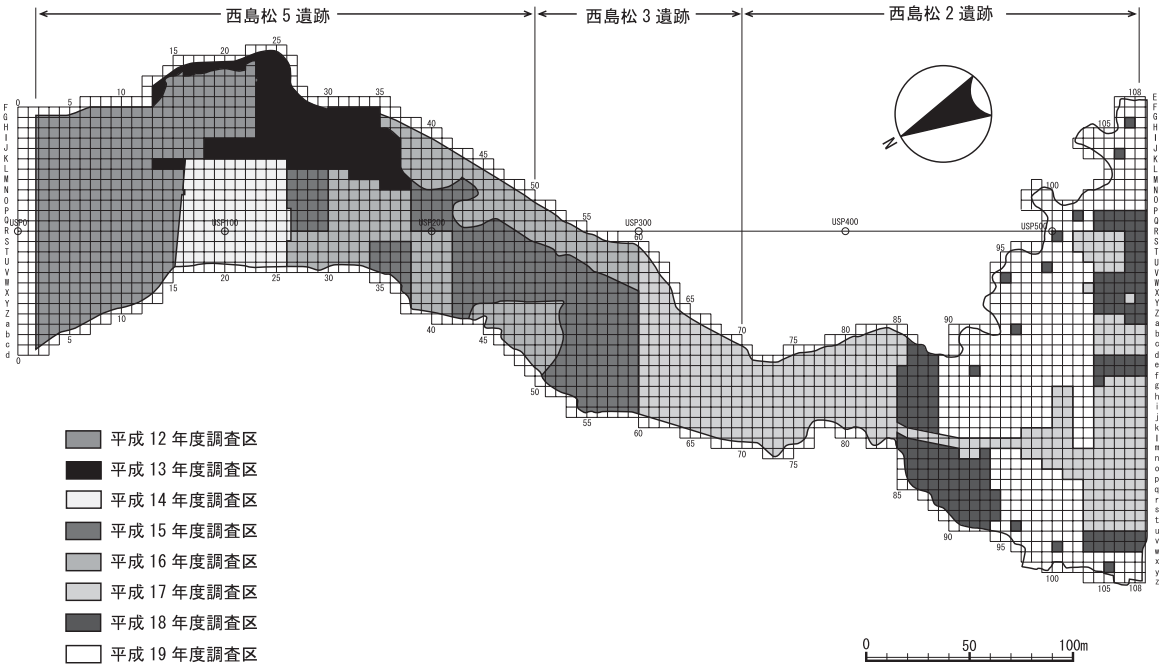
平成20年度

理 事 長　森重　楯一（平成20年５月31日まで）	第２調査部長　西田　　茂
理 事 長　坂本　　均（平成20年６月１日から）	第３調査課長　佐藤　和雄
専務理事　佐藤　俊和	主　　査　土肥　研晶
常務理事　畑　　宏明	主　　任　柳瀬　由佳

3　調査に至る経緯

恵庭市内を流れる柏木川は、陸上自衛隊島松演習場内に源を発し、千歳川に流入する長さ約11㎞の小河川である。この流域には多くの遺跡が点在し、恵庭市内で最も遺跡分布密度の濃いところの１つである。ところで、千歳川本流およびそこに流入する小河川流域は過去に幾度となく洪水に見舞われてきた。柏木川もその例外ではなく、とくにその下流の左岸一帯はたびたび洪水被害をこうむってきた。このため、昭和58（1983）年、柏木川改修計画が策定され、昭和61（1986）年から現河川拡幅の改修工事が実施され、下流域側から上流側（市道西六線～道々江別・恵庭大通付近）へ進められてきた。その後平成７年（1995）年、柏木川改修工事の延長と遊水池が計画され、平成９（1997）年４月、柏木川改修計画増の区間（道々江別・恵庭線～道央自動車道）と第１・第２遊水池建設が決定された。工事主体である北海道札幌土木現業所から北海道教育委員会に第２遊水池建設について埋蔵文化財保護のための事前協議書が提出された。これを受けて北海道教育委員会は平成10（1998）年10月、第２遊水池建設予定地内に含まれる西島松５遺跡の範囲確認調査を実施した。さて、西島松５遺跡では、昭和36（1961当時　西島松南Ｄ遺跡）年、地元の中学生が土偶などを表採し、北海道大学の大場利夫に持参したことから、翌年、同氏らによる土偶発見地点付近の発掘調査がおこなわれた（この場所は平成13年の調査で見つかったＭＣ盛土付近）。昭和39（1964）年には、さらに３地点を発掘し、縄文時代早期～続縄文時代にかけての遺物や、住居址・土坑などを報告した経緯がある（『恵庭遺跡』恵庭町教育委員会1966）。北海道教育委員会による遺跡範囲確認調査によっても、同様な遺構・遺物が発見され、関係者間での協議の結果、工事の性格上、計画変更はきわめて困難であることから、記録保存のための発掘調査の実施となった。

調査は平成12（1990）年４月から当センターで実施することとなり、西島松５遺跡は平成16年10月で基線南23号より南側の範囲を、西島松３遺跡、西島松２遺跡は、平成19年10月でその包蔵地範囲すべての調査を終えた。途中遺跡範囲の変更があったが、最終的な調査終了面積は西島松５遺跡が21,210㎡、西島松３遺跡7,180㎡、西島松２遺跡19,904㎡となった。



図Ⅰ－１　年度別調査範囲図

4　調査結果の概要

西島松２遺跡・西島松３遺跡・西島松５遺跡はそれぞれ境を接しており、元地権者の所有地で、３遺跡と５遺跡は、南北グリッドの38ライン付近、２遺跡と３遺跡は75ライン付近で分けていた。西島松３遺跡は、後に造成工事で著しく削平を受け、遺構の大半は失われたものとみられた。平成15年度の調査で、西島松５遺跡から縄文時代後期後葉の漆製品などを副葬する墓が、墓域を形成して分布することがわかり、同時に墓域の約半分が西島松３遺跡の範囲内に遺存することも確認された。平成17年度の調査では、西島松３遺跡の南側より、縄文時代晩期の土坑群が見つかり、この範囲が西島松２遺跡に広がることがわかった。西島松２・３・５遺跡はもともと一連の遺跡であり、まとまった墓や土坑群の途中で遺跡名が変わるのは、後の整理・報告・活用に不都合なことから、後に西島松３遺跡と西島松５遺跡の境を従来の境から約60m南側の50ラインに、西島松２遺跡と西島松３遺跡の境を約50m北側の70ラインに変更してほしいむね、恵庭市教育委員会に伝え、平成17年度に遺跡範囲の変更を行った。

西島松５遺跡から検出された遺構の中で、本書に掲載されているものは、337～835号土坑、11～16号のＴピット、焼土は160～459号、小ピットは、2513～3774号、集石遺構が１～５号までである。これらの遺構のうち、土坑では677、686、727、732号の４基が欠番、焼土では319号が、小ピットでは2991・3224・3372・3440・3465号の５基が欠番である。よって報告する遺構数は土坑495基、Ｔピット６基、焼土299ヵ所、小ピット1,257ヵ所、集石遺構５基である。

以下、掲載遺構数を表Ⅰ－１にまとめた。

表Ⅰ－１　西島松５遺跡(6)掲載遺構

	遺構番号	欠　番	合　計
土　坑	337号　～　835号	677・686・727・732号	495　基
Ｔピット	11号　～　16号	—	6　基
焼　土	160号　～　459号	319号	299　ヵ所
小ピット	2513号　～　3774号	2991・3224・3372・3440・3465号	1,257　ヵ所
集石遺構	１号　～　５号	—	5　基

また、本報告をもって西島松５遺跡の報告はすべて終了するが、これまでに刊行した全６冊で報告した遺構総数は、住居址75軒、土坑825基、Ｔピット23基、焼土454ヵ所、小ピット3,514ヵ所、集石遺構５基である。

以下報告書に掲載している遺構数を表Ⅰ－２にまとめたが、報告書ごとに表記が異なる「土壙」や「土壙墓」･「土坑」は、墓と土坑の区別をなくし、一律で土坑として数えた。また、この数のうち、周溝のある墓Ｘ２～Ｘ７（北埋調報178）は、主体部と周溝部合わせて１基と数えた。周堤墓と考えられる土坑群（北埋調報260）も３ヵ所見られたが、周堤部は失われており、個々の土坑として数えている。竪穴状遺構とされるＸ１（北埋調報178）は住居址１軒として換算した。小ピットにおいては、平面・断面のいずれかが掲載されていれば報告済みとみなし数えた。

本遺跡から検出された遺構のうち、住居では、縄文時代中期の住居址が28軒、縄文時代前期前半期

の静内中野式期相当の住居址が21軒、擦文時代（９～10世紀）の住居址10軒、以下、縄文時代早期４軒、縄文時代後期中葉３軒、同前葉２軒である。このほかに出土遺物から後期後葉や晩期として報告済みの住居がある。

表Ⅰ－２　西島松５遺跡報告済遺構数

	遺構番号	欠番	合計
住居跡	Ｈ１～Ｈ75・Ｘ１	Ｈ10	75　軒
土坑	Ｐ１～Ｐ835号・Ｘ２～Ｘ７	Ｐ124・Ｐ140・Ｐ141・Ｐ142・Ｐ147・Ｐ167・Ｐ204・Ｐ205・Ｐ206・Ｐ215・Ｐ216・Ｐ243・Ｐ677・Ｐ686・Ｐ727・Ｐ732	825　基
Ｔピット	ＴＰ１～ＴＰ16・Ｐ124・Ｐ140・Ｐ141・Ｐ142・Ｐ147・Ｐ215・Ｐ216	―	23　基
焼土	Ｆ１～Ｆ459	Ｆ10・Ｆ19・Ｆ38・Ｆ153・Ｆ319	454　ヵ所
小ピット	ＳＰ１～ＳＰ3774	201～330・466・501～620・1484～1487・2991・3244・3372・3440・3465	3,514　ヵ所
集石遺構	１号　～　５号	―	5　基

土坑では、７世紀から９世紀にかけての墓・土坑（周溝のある墓も含む）が153基、縄文時代後期後葉（周堤墓を含む）から晩期前葉にかけての墓287基がおもなものである。

７世紀～９世紀にかけての墓は、調査区の北側に分布して検出された。墓域は基線南23号の道路下にも広がるようである。これらの墓では遺体は木郭などに収められていた痕跡があり、副葬品として金属製品188点以上、土器66点などが出土した。なお、北埋調報178集で擦文時代の土坑として数えられていたＰ124・142・147・215・216は、長径50㎝ほどの小型のＴピットがＬ字に並ぶような遺構であるが、同市内の西島松18遺跡（「西島松17遺跡・西島松18遺跡」恵庭市教育委員会1992）やユカンボシＥ７（北埋調報132）・Ｅ11遺跡（「ユカンボシＥ11遺跡」2002恵庭市教育委員会）などで報告されている「小形Ｔピット群」と類似する特徴なので、Ｔピットとして数えた。同様にＰ140・Ｐ141もＴピットとし、土坑数が減少している。

縄文時代後期後葉から晩期前葉にかけての墓は、土器形式で見ると堂林式期から、三ツ谷式、御殿山式、大洞Ｂ式期相当の墓への変遷がたどれる状況で調査範囲の南西側に分布していた。周堤墓とみられる土坑群は３ヵ所あるが、周堤部は失われているため、状況判断による認定である。１号から３号までのうち、ほぼ確実なものは１・２号で、３号はやや強引な判定だったかもしれない。これら周堤墓内の墓からは、石棒、ヒスイ製の玉、土器などの副葬品が出土した。

堂林式期以降、周堤墓は大型化し、三ツ谷式期には史跡キウス周堤墓群や、柏木Ｂ遺跡などに大型の周堤墓が現れるが、本遺跡では、三ツ谷式期以降の墓の周囲に周堤を築いた痕跡は確認できず、堂林式期以降に周堤墓は造られていないものとみられる。また、副葬される漆塗製品は、三ツ谷式期以降に出土頻度が増え、御殿山式期の墓で最多になり、大洞Ｂ１式期相当からは数を減らす傾向がみられた。出土した主な副葬品には、漆塗製品141点（漆塗櫛39点・環状漆塗製品27点ほか）、玉・垂飾類1,519点、サメの歯293点、石棒６点ほか土器・土製品類がある。

表にはないが、このほかに縄文時代後期後葉から晩期前葉の遺物を多量に包蔵していた盛土遺構３ヵ所（ＭＡ･ＭＢ･ＭＣ盛土）や、盛土遺構であった可能性のある斜面包含層から出土した晩期前葉の一括出土遺物や、低地との境から出土した縄文時代晩期後葉の土器捨て場、縄文時代早期前半のアルトリ式や前期の静内中野式を伴う生活廃棄とみられる遺物集中がみつかっている。

遺物総数は６年間の調査で、1,667,856点、そのうち土器は1,327,893点出土し、その９割が盛土遺構や斜面包含層から出土した縄文時代後期後葉およびその前後のものであることから、石器などほかの遺物の大多数も同時期のものとみられる。

次に本報告書で説明する各時期の土坑の特色を以下にまとめる。

縄文時代早期の土坑

早期とした土坑は39基ある。前半期とみられる土坑834号土坑のアルトリ式期相当のものが１基のみである。これの残存状況は良くないが、住居址の痕跡ともみられ、報告済の同時期の土器捨て場（北埋調報248）と関連する遺構とみられる。早期後半期では、東釧路Ⅳ式や中茶路式の破片が出土する土坑はしばしば見られるが、確実に早期後半の土坑といえるものは少ない。

625号土坑や668号土坑は破片の出土状況から早期後半の土坑とみられる。また、土器片は出土していないが、石斧の形態から判断して早期の遺構と考えられるものに742号土坑がある。

縄文時代前期の土坑

前半期の中野式期相当の土坑が41基検出されている。土器がまとまって出土したのは337・389・540・548号土坑である。337号と389号土坑は、形状がはっきりしないが、遺物がまとまって出土したものである。540・548号土坑は同時期の住居址内に掘られた墓とみられ、540の覆土上部からは小形の土器が、548の坑底からはつまみ付きナイフが出土した。同様に、つまみ付きナイフが坑底から出土する611・624号土坑なども同時期の墓と考えられる。

縄文時代中期の土坑

縄文時代中期の土坑は47基を確認しているが、遺物が多数出土する土坑は少ない。円筒上層式の後半期に相当する破片が632号土坑からまとまって出土しているほか、萩ヶ岡１式相当の深鉢が復元された640号土坑、萩ヶ岡２式相当の破片がまとまって出土した709号土坑などがある。ただしこれらの土坑は住居址であった可能性がある。

縄文時代後期の土坑

後期前葉としたのはＰ490、Ｐ599の２基だけである。Ｐ490の輪郭は不明瞭であるが、付近に同時期の住居址も見つかっており、これと関連する遺構かもしれない。Ｐ599は後期後葉の墓に切られ、覆土から内外面に縄文が施された土器片が出土している。中葉とした土坑は９基である。Ｐ522からは、オロシガネ状土製品が出土し、Ｐ609は同時期の住居址床面に掘られたもので、坑底面より中葉の破片が出土している。後期後葉（堂林式・三ツ谷式～御殿山式古段階）と判断した土坑は171基、後期末葉（御殿山式の新しい段階）としたものが24基、合計206基である。この時期の土坑のほとんどは墓とみられ、そのうち堂林式期のものには周堤墓だったとみられる土坑群が３ヵ所あり、１号～３号周堤墓まで設定している。三ツ谷式期以降では周堤墓は造られなくなるが、墓の集合状況は認められ、その分布には中心域があり、その外郭に新しい墓が造られるようである。この様子は周堤墓の

竪穴内部の墓と周堤上の墓の関係と類似している。副葬品は、墓の上部に土器、坑底付近からは漆塗製品や玉・垂飾類、サメ歯穿孔品などの装身具類や、石棒、石斧などが出土する。西島松５遺跡における、縄文時代後期後葉から末葉にかけての墓は、標高の高い位置から低い場所へ立地が動いている。つまり、柏木川の上流方向から下流に向かって新しい時期になる。

表Ⅰ－３　報告書別報告済遺物点数一覧

	土器	土製品	石器	石製品	金属製品	漆製品	木製品	骨角器	その他	合計
西島松５	201,091	202	75,123	32	65					276,513
西島松５(2)	26,755	71	8,200	23	175					35,224
西島松５(3)	542,188	938	100,506	137	2		2	18	1	643,792
西島松５(4)	10,118	15	9,267	3	6			2		19,411
西島松５(5)	518,201	1,076	119,823	83	3			19	54	639,259
西島松５(6)	29,578	166	21,928	1,521		141		322	1	53,657
合計	1,327,931	2,468	334,847	1,799	251	141	2	361	56	1,667,856

表Ⅰ－４　報告書別掲載遺構一覧

	住居	土坑	Ｔピット	焼土	小ピット	集石
西島松５	Ｘ１・Ｈ１～９	Ｘ２～７ Ｐ１～221	ＴＰ１～８ Ｐより７基	Ｆ１～56	ＳＰ１～1013	－
	10軒	216基	15基	53ヵ所	762ヵ所	－
西島松５(2)	H11～19	Ｐ222～334	ＴＰ９・10	Ｆ57～159 (一部(3)へ)	ＳＰ1014～2512	－
	９軒	108基	２基	95ヵ所	1,495ヵ所	－
西島松５(3)	－	236・238・239 310・335・336	－	Ｆ103・108・118・152 Ｆ157～159	－	－
	－	６基	－	７ヵ所	－	－
西島松５(4)	H20～75	－	－	－	－	－
	56軒	－	－	－	－	－
西島松５(5)	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
西島松５(6)	－	Ｐ337～835	ＴＰ11～16	160～459	ＳＰ2513～3774	１～５
	－	495基	６基	299ヵ所	1,257ヵ所	５ヵ所
合計	75軒	825基	23基	454ヵ所	3,514ヵ所	５ヵ所

縄文時代晩期の土坑

晩期の土坑は97基ある。このうち前葉としたものが55基、中葉15基、後葉27基、さらに南側の西島松３遺跡でも後葉の土坑が検出されている。分布は、最も初期とみられるものが後期末葉の墓域の外郭に分布し、次により東側のＭＣ盛土上にひろがる。中葉の土坑は、2001年の調査区で柏木川に面する台地縁に帯状に分布し、そのつづきの一部がＮ－35・36付近にみられる。後葉の土坑はそれより西側の台地縁から西島松３遺跡側に分布を広げ、その先にあったであろう後葉の土坑が分布する範囲は耕作等による削平が著しく、遺構が失われている。晩期の土坑は前葉の土坑が後期後葉の続きに作られ、中葉以降は逆に標高の低い場所から高い場所へ立地が動き、遺跡の上流側に位置する西島松３・２遺跡の範囲にまで広がっていた可能性がある。

続縄文時代の土坑

後北Ｃ$_2$Ｄ式に相当する土坑が21基検出されている。土器片が入っていることで認定したものがほとんどだが、形状や土坑の分布、大型の礫が入るなどの特徴で認定したものもある。まとまった土器が出土したものは419号土坑のみである。また、赤穴式系の土器片が出土しているのが、385号・427号である。土坑の分布は晩期中葉の分布より台地の中央に寄るようで、後期の墓域と重なる部分がある。まばらな分布ではあるが上流にある西島松２遺跡でも同様な分布をしており、広い範囲に散在する分布をしている可能性がある。

擦文時代の土坑

擦文時代の土坑は802号土坑の１基である。小型の円形土坑で、青灰色の粘土と炭化物層の上に９世紀の甕の口縁部がのっている状況で検出された。９世紀代の竪穴住居が床面より下まで削平され、最も深く掘られた煙出しの竪穴の底だけが残ったものとみられる。これとは別に、北大Ⅲ式相当の土坑が１基、縄文時代後期後葉の墓の間から検出されている。覆土からは甕の底部片２点が出土している。本遺跡では同時期の墓域が約100ｍ北東側で調査報告（北埋調報178）されており、この土坑だけが１基離れて分布している。

表Ⅰ－５　西島松５遺跡調査体制一覧

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
	第２調査部 第２調査課	第２調査部 第２調査課	第２調査部 第１調査課	第２調査部 第１調査課	第１調査部 第２調査課	第１調査部 第２調査課	第１調査部 第２調査課	第２調査部 第１調査課	第２調査部 第３調査課
鬼柳　　彰　部長	○								
大沼　忠治　部長		○							
西田　　茂　部長			○	○				○	○
千葉　英一　部長					○	○	○		
高橋　和樹　課長	○								
佐藤　和雄　課長		○	○	○	○	○	○	○	○
和泉田　毅　主査	○	○							
中山　昭大　主任	○								
末光　正卓　主任	○								
石井　淳平　文化財保護主事	○	○	○						
新家　水奈　主任		○							
佐藤　　剛　主任		○	○	○					
土肥　研晶　主任			○	○	○	○			
土肥　研晶　主査							○	○	○
鈴木　　信　主査				○					
立田　　理　文化財保護主事				○					
立田　　理　主任					○	○			
吉田裕吏洋　主任					○	○	○	○	
柳瀬　由佳　主任									○

表Ⅰ－6　時期別掲載遺構一覧

住居（軒）	撚文時代	続縄文時代	縄文時代					不明	計
			晩期	後期	中期	前期	早期		
西島松５			1		8			1	10
西島松５(2)				3	1	2	3		9
西島松５(4)	10			4	20	19	2	1	56
計	10		1	7	29	21	5	2	75

土坑（基）	撚文時代	続縄文時代	縄文時代					不明	計
			晩期	後期	中期	前期	早期		
西島松５	145	4		7	9			51	216
西島松５(2)		1	10	64				33	108
西島松５(3)			3	2				1	6
西島松５(6)	2	21	97	206	47	41	39	42	495
計	147	26	95	303	58	39	38	119	825

焼土(ヵ所)	撚文時代	続縄文時代	縄文時代					不明	計
			晩期	後期	中期	前期	早期		
西島松５								53	53
西島松５(2)				24			1	70	95
西島松５(3)								7	7
西島松５(6)		5	138	88	10		4	54	299
計		5	138	112	10		5	184	454

小ピット(ヵ所)	撚文時代	続縄文時代	縄文時代					不明	計
			晩期	後期	中期	前期	早期		
西島松５					2			760	762
西島松５(2)								1,495	1,495
西島松５(6)		1	1	165	14	9	6	1,061	1,257
計		1	1	165	16	9	6	3,316	3,514

Tピット(基)	撚文時代	続縄文時代	縄文時代					不明	計
			晩期	後期	中期	前期	早期		
西島松５					15				15
西島松５(2)					2				2
西島松５(6)					6				6
計					23				23

集石(ヵ所)	撚文時代	続縄文時代	縄文時代					不明	計
			晩期	後期	中期	前期	早期		
西島松５(6)					5				5
計					5				5

西島松５ 合計	撚文時代	続縄文時代	縄文時代					不明	計
			晩期	後期	中期	前期	早期		
住居跡(軒)	10		1	7	29	21	5	2	75
土坑(基)	147	26	94	304	58	39	38	119	825
焼土(ヵ所)	1	14	7	218	14		5	195	454
小ピット(ヵ所)		1	1	165	16	9	6	3,316	3,514
Tピット(基)					23				23
集石(ヵ所)					5				5
計	158	41	103	694	145	69	54	3,632	4,896

表Ⅰ－7　金属製品出土一覧

遺構名	報告書	掲載															非掲載							総計	備考
		大刀	横刀	蕨手刀	刀子	鉄鏃	鉄斧	鉄鎌	釣針	魚突鉤？	鉄針・錐	鑷子	錫製耳環	鉄環	釘	鉄製品	刀子	鉄製品木質部	鉄針	鑷	鉄製品	鉄片	錆塊布付着		
P011	178集		3		2			1								1								7	
P012	178集		1		3		1																	5	
P015	178集		3										2				1							6	
P030	178集		2		2		2									3								9	
P096	178集	1	1		1	1																		4	
P098	178集	1			3																			4	
P101	178集			1	5	5			1	1		1				2								16	曲がり刀子1
P112	178集			1																				1	
P128	178集		2		1		2																	5	
P131	178集		3		1																			4	
X 6	178集		1		1													1				1		4	
178集小計		2	16	2	19	6	5	1	1	1		1	2			6	1	1				1		65	
P001	194集				1																			1	
P002	194集						1																	1	
P003	194集		1																					1	
P005	194集				1	6																		7	
P006	194集				1			1				1												3	
P007	194集				2												1						1	4	
P009	194集				2																			2	
P014	194集				4																			4	
P016	194集				2		1							1										4	
P017	194集																					1		1	
P019	194集				1						1													2	針あるいは錐
P020	194集																				>1			>1	脆弱なため詳細不明
P021	194集				1																			1	
P022	194集				1						1													2	錐
P023	194集												3			1								4	
P024	194集				1																			1	
P028	194集				2				1															3	
P029	194集		1				1																	2	
P033	194集						1																	1	
P068	194集				1																			1	
P073	194集				1											1	1	4		1				8	
P075	194集				1		1	1								1								4	
P083	194集				1						1								1				1	4	針
P084	194集				1						1													2	針
P085	194集				1																			1	
P089	194集				1																			1	
P094	194集					2			1							1								4	
P097	194集				2	1										1		3				1		8	
P102	194集					7					1													8	針
P103	194集				1																			1	
P111	194集				2											1								3	
P117	194集				1																			1	
P120	194集				1				2															3	
P121	194集				2		1																	3	
P125	194集		1		5																			6	
P127	194集							1																1	
P129	194集		1		1																			2	
P130	194集		4		2									1										7	
P143	194集				1		1	1																3	
P145	194集				1																			1	
P146	194集				1			1																2	
P150	194集				1																			1	
P203	194集				1																			1	
P207	194集				2																			2	
194集小計			8		50	16	7	5	4		5	1	3	2		6	2	7	1	1	>1	2	2	>123	
H20	224集				2										1									3	
H33	224集				1																			1	
H34	224集				1																			1	
H42	224集					1																		1	
224集小計					4	1									1									6	
総計		2	24	2	73	23	12	6	5	1	5	2	5	2	1	12	3	8	1	1	>1	3	2	194	

包含層	刀子	鉄製容器	角釘	丸釘	釘	木ネジ	金輪	蝶番	平かすがい	楔	針金	鉤形製品	刀の鍔	板状鉄製品	古銭	鉄製品	不明鉄製品	鉄片	総計	備考
総計	4	1	6	17	5	2	1	2	4	1	2	1	1	1	2	1	2	4	57	

表Ⅰ－8　北埋調報224　恵庭市　西島松5遺跡(4)正誤表

頁	行	誤	正
151	12	図Ⅴ－9－15	図Ⅴ－10
	14・15	図Ⅴ－1－1～15	図Ⅴ－1－1～17
	29	図－43－5	図－44－5
	36	4（北埋調報　第178集　図Ⅳ－43－4）	3（北埋調報　第178集　図Ⅳ－44－4）
	40	5（北埋調報　第178集　図Ⅳ－48－4）	4（北埋調報　第178集　図Ⅳ－48－4）
152	5	6（北埋調報　第178集　図Ⅳ－47－3）	5左下（北埋調報　第178集　図Ⅳ－47－3）
	9	7（北埋調報　第178集　図Ⅳ－47－3）	5右下（北埋調報　第178集　図Ⅳ－47－3）
	13	6・7	5左下・5右下
	14	8（北埋調報　第178集　図Ⅳ－47－1）	5左上（北埋調報　第178　図Ⅳ集－47－1）
	18	9（北埋調報　第178集　図Ⅳ－55－2）	6右（北埋調報　第178集　図Ⅳ－55－2）
	23	10（北埋調報　第178集　図Ⅳ－55－2）	6左（北埋調報　第178集　図Ⅳ－55－2）
	29	11（北埋調報　第178集　図Ⅳ－78－8）	7左（北埋調報　第178集　図Ⅳ－78－8）
	37	12（北埋調報　第178集　図Ⅳ－78－8）	7右（北埋調報　第178集　図Ⅳ－78－8）
153	1	13（北埋調報　第178集　図Ⅳ－143－4）	8（北埋調報　第178集　図Ⅳ－143－4）
	7	14（北埋調報　第178集　図Ⅳ－142－3）	9（北埋調報　第178集　図Ⅳ－142－3）
	11	15（北埋調報　第178集　図Ⅳ－150－1）	10（北埋調報　第178集　図Ⅳ－150－1）
	18	16（北埋調報　第178集　図Ⅳ－160－16）	11（北埋調報　第178集　図Ⅳ－160－16）
	23	17（北埋調報　第178集　図Ⅳ－170－1）	12（北埋調報　第178集　図Ⅳ－170－1）
	23	P101	P112
	29	18（北埋調報　第178集　図Ⅳ－190－1）	13（北埋調報　第178集　図Ⅳ－190－1）
	34	19（北埋調報　第178集　図Ⅳ－200－1）	14（北埋調報　第178集　図Ⅳ－200－1）
	38	20（北埋調報　第178集　図Ⅳ－200－1）	15（北埋調報　第178集　図Ⅳ－200－1）
154	2	21（北埋調報　第178集　図Ⅳ－201－2）	16（北埋調報　第178集　図Ⅳ－201－2）
	6	22（北埋調報　第178集　図Ⅳ－201－3）	17（北埋調報　第178集　図Ⅳ－201－3）
	6	刀子	横刀
	10・11	図Ⅴ－1－16～24	図Ⅴ－1－18～26
	12	刀子・土器は1／6、その他は1／4	土器は1／6、刀子・その他は1／4
	17	刀身・柄頭鋲＋鐶	刀身・柄頭？＋鐶
	21	刀身・柄頭鋲＋足金物鋲	刀身・柄頭？＋足金物？
155	4	P8	P9
	8	P4	P14
	10	P15	P12
	16	（図Ⅳ－8）	（図Ⅳ－18）
	26	（供伴大刀より6世紀後葉）	（供伴土器より6世紀後葉）
	34	Ⅰa－1はP2・11・30・33・75・128・143	Ⅰa－1はP2・11・30・33・128・143
158～160		スケール目盛り：0～20センチメートル～スケール目盛り：0～20センチメートル	スケール目盛り：0～10センチメートル～スケール目盛り：0～10センチメートル
163～170		スケール目盛り：0～20センチメートル～スケール目盛り：0～20センチメートル	スケール目盛り：0～10センチメートル～スケール目盛り：0～10センチメートル

＊表Ⅰ－7は報告以降、土壌等の精査・遺物保存処理中に新たに検出された金属製品を示している。

表Ⅰ－9　漆塗製品遺構出土一覧

遺構名	調査区	層位	漆塗櫛	環状漆塗製品	漆塗垂飾・玉	漆塗腰飾	漆塗製品	髪針	合計	櫛点数	備考
P398	R－28	覆土	1				1		2	1	
P399	R－28	覆土	11	4			6		21	8	
P400	R－28	覆土	3						3	3	
P401	R－28.29	覆土	2	2			1		5	1	
P402	R－29	覆土			20				20		漆塗玉
P403	S－28	覆土		1			1		2		
P404	P－34	覆土	1	1					2	1	
P412	O－31	覆土						1	1		髪針
P434	N－30	覆土		1					1		
P436	O－30	覆土	1	2					3	1	
P438	N－31	覆土	1						1	1	
P439	N－31	覆土	4	1		2			7	4	
P441	N－31	覆土	1		14				15	1	漆塗垂飾
P445	N－31	覆土	3						3	3	
P447	O－32	覆土	1						1	1	
P448	O－32	覆土	4						4	4	
P462	P.Q－31	覆土		5			4		9		
P474	P－33	覆土	1	2			3		6	1	
P476	Q－34	覆土		2					2		
P482	R－34	覆土	1				2		3	1	
P486	M－32	覆土		1					1		
P511	R－27	覆土	2						2		
P513	S－28	覆土		1					1		
P518	R－29	覆土	1	2					3	1	
P519	S－29	覆土	1				4		5	1	
P526	R－32	覆土		2			3		5		
P552	S－38	覆土	1						1	1	
P554	S－39	覆土	1						1	1	
P690	V－45	覆土					1		1		
P750	T－40	覆土					6		6		1号周堤墓
P777	O－32	覆土	1						1	1	
P781	P－34	覆土	2						2	2	
P809	O－32	覆土	1						1	1	
	計		45	27	34	2	32	1	141	39	

表Ⅰ－10　サメ歯穿孔品遺構出土一覧

遺構	調査区	層位	アオザメ	ホホジロザメ	オオメジロザメ	イタチザメ	不明	計	備考
P395	1	覆土	3					3	
P404	P－34	覆土		1				1	
P412	O－31	覆土		4	1			5	
P431	M－30	覆土		3				3	
P433	N－30	覆土		3				3	
P435	O－30	覆土		5			1	6	
P436	O－30	覆土		8				8	
P445	N－31	覆土		40		3		43	
P459	O－33	覆土		108				108	
P474	P－33	覆土		1	1			2	
P476	Q－34	覆土		2				2	
P482	R－34	覆土		17				17	
P504	P－33	覆土			1			1	
P508	R－27	覆土		1			2	3	
P515	R－28	覆土	15					15	
P519	S－29	覆土		33				33	
P554	S－39	覆土	1	5				6	
P666	O－31	覆土		6				6	
P716	O－31	覆土		1				1	
P781	P－34	覆土		19				19	
P793	O－31	覆土		6				6	
P799	N－32	覆土		1				1	
	計		19	264	3	3	3	292	

表Ⅰ－11　玉・垂飾類遺構出土一覧

遺構	調査区	層位	A型							B型			C型			D型			E型			不明	合計	備考
			A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3			
P386	K－23	坑底																				1	1	
P395	S－26	坑底	10	3	1				1										1			1	17	
P398	R－28	坑底	69	13	3					2			3	7					2			4	103	
P399	R－28	坑底	10	7						1				4									22	
P401	R－28.29	坑底	4					2							1								7	
P402	R－29	坑底	1	1						1					1								4	
P404	P－34	坑底	2											2				1					5	
P411	O－31	坑底		1		1						1						2					5	
P412	O－31	坑底	14	10		2				1	4	1		1									33	連珠
P432	M－30	坑底	16	1		1		2					1	1	1								23	
P433	N－30	坑底	3	2							1		1	1									8	
P434	N－30	坑底	7							1													8	
P435	237	覆土中		3		1					2		1										7	
P436	O－30	坑底											1	2									3	
P438	N－31	坑底	17	1	2			1		1													22	連珠
P439	N－31	坑底	17	7		4		2			1		1	3								1	36	連珠
P441	N－31	坑底	20	3																			23	
P444	O－31	坑底	32	7		4		2					1	1									47	
P445	N－31	坑底	1					1			1			2									5	
P447	O－32	坑底	1		1			1					1										4	
P448	O－32	坑底																						
P468	O－34	坑底	1																				1	
P476	Q－34	坑底	18	4	4			2		1	1		5										35	
P480	R－34	坑底	3																				3	
P483	R－33	坑底	10	5		42		1		1	4		3	1									67	連珠
P486	M－32	坑底	57	2	2	3		2														7	73	
P487	M－32	坑底	1						6														7	
P503	R－33	坑底		2																			2	
P504	P－33	坑底																	1				1	
P508	R－26.27	坑底	182	2						2			1									9	196	
P509	R－27	坑底	12	1									1	3			1						18	
P510	R－27	坑底	39													1				1	1		42	
P511	R－27	坑底	138	42		36			1	4												8	229	連珠
P512	S－26.27	坑底	5	5		1																1	12	連珠
P513	S－28	坑底	17	8						1													26	
P515	R－28	坑底	2	4	1			1														1	9	
P516	R－28	坑底	43	5						2			1										51	
P518	R－29	坑底		2										2								1	5	
P519	S－29	坑底	33	5		2			1	2	1		1								1		46	
P553	R－39	坑底	36	4	1	3		4		1	2		2		1	1							55	
P554	S－39	坑底	56	18	4	1		2		2	5												88	
P570	S－42	坑底	3	4		4																3	14	
P589	U－39	坑底						1															1	
P592	U－38	坑底	3																				3	
P666	O－31	覆土上	11	24	2			1		1			3										42	
P689	V－46	坑底																				1	1	3号周堤墓
P713	O－31	坑底	2	4		2							2	1									11	
P753	Q－35	坑底											1										1	
P754	T－40	坑底							4														4	1号周堤墓
P781	P－34	坑底	1	1		3		2			2		1									1	11	
P787	Q－33	坑底	31	12		5		1			2		1	1								4	57	
P799	N－32	坑底	2	1									1									1	5	
P806	O－32	坑底											1	1									2	
P815	N－32	坑底		1			3		2													1	7	
F189	M－19	Ⅱ層	1																				1	
F231	S－22		1																				1	フローテーション
西島松5（6）合計			932	215	21	115	3	28	15	24	26	2	34	33	4	2	1	3	4	1	2	44	1,509	北埋調報260

遺構	調査区	層位	A型							B型			C型			D型			E型			不明	合計	備考
			A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3			
P75	T－3	坑底面																		1			1	北埋調報178
P119	V－9	坑底面																		1			1	
P246	M－36	覆土												1									1	北埋調報194
小計														1						2			3	
合計			932	215	21	115	3	28	15	24	26	2	34	34	4	2	1	3	4	3	2	44	1,512	

Ⅱ　遺跡の立地と周辺の遺跡

1　遺跡の位置と環境

遺跡は恵庭市の西方、ＪＲ恵み野駅から北西約800ｍ、柏木川の左岸、北西をキトウシュメンナイ川に挟まれた標高約26ｍの低い台地上に位置する。柏木川の支流であるキトウシュメンナイ川は、遺跡より約500ｍ上流に水源を持ち、およそ500ｍ下流で柏木川に合流する。流域には、いたるところに冬でも凍らない湧水があり、調査前まで自衛隊駐屯地の水源にしていたほど澄んだ水が小さな泉を形成している。米軍撮影の写真を参考にすると、柏木川は、昭和23年当時はほとんどが蛇行する自然の姿で、西島松２遺跡の東縁を流れていた様子がわかる。後の昭和30年代には改修され、調査前の状況になっている。柏木川のアイヌ語はペケレペッ（pekere-pet）といい、「木立の無い草だけの場所・見晴らしのよい川」の意で、昭和20年代まではその姿を留めていた模様である。キトウシュメンナイ（kitu-ushi-mem-nay）は「蒜のたくさんみられる泉のある沢」の意とされ、現在でもその様相を呈している。柏木川の両岸は濃い密度で遺跡が登録されている。

2　周辺の縄文時代後期末の遺跡

市内の遺跡は市街地や農地を流れる小河川の流域に分布する。なかでも柏木川流域は市街化される時期の関係か、市内の遺跡の半数が登録されている。（図Ⅱ－２参照　表には図中の遺跡を記載）

今回報告の西島松５遺跡の内容で主なものは縄文時代後期後葉から晩期前葉の墓であるが、発掘調査により同時期の墓が検出された遺跡が近隣に２ヵ所ある。

ひとつは柏木Ｂ遺跡（図Ⅱ－２参照）である。遺跡は茂漁川の左岸の標高約61ｍの丘陵縁に位置する。調査は1977年から４年間にわたり、住居址28軒（縄文時代前期後半26軒、縄文時代中期２軒）、環状土籬（周堤墓）５基（内２基は不確定、土坑数73基）、土坑墓433基（縄文時代早期６基、前期13基、中期１基、後期51基、続縄文時代223基、不明139基）などを報告、これ以降、北海道の縄文時代後期の墓制を語る上では避けられない調査例となっている。

環状土籬の時期は三ツ谷式期で、出土した副葬品では、石棒14点が目立っている。そのほかヒスイ製がほとんどの玉類145点、石斧など出土している。土取りで隔絶された第２地点からは、三ツ谷式期～御殿山式期相当の墓が40基ほど見つかり、副葬品で漆塗りの櫛７点・蛇紋岩やタルクを主体とする玉類181点などが出土している。柏木Ｂ遺跡の１・２号環状土籬や御殿山式期相当の433号～436号墓には、墓標としての石柱や配石が顕著にみられる。柏木Ｂ遺跡は、このほかに縄文時代前期後半の植苗式期の住居址群や後北Ｃ$_2$Ｄ式期の土坑群が重なり、遺構密度の濃い遺跡となっている。

もうひとつの遺跡は平成11年に発掘調査が行われたカリンバ３遺跡（平成17年３月に調査区の東西約42,000㎡が国指定史跡カリンバ遺跡となる）である。遺跡は旧カリンバ川の右岸、標高は約26ｍに位置し、住居址９軒、建物跡３軒、土坑（墓）321基、Ｔピット１基などが調査・報告されている。このうち御殿山式期とされる墓48基から漆製品128点（櫛57点、腕輪35点、紐状製品16点、腰飾り帯２点など）玉類1,145点、石棒４点などが出土している。縄文時代後期の単一の遺跡から出土した漆製品の量は国内最多である。中でも118・119・123号墓の３基だけで漆製品出土総数の６割を占める80点の製品が出土し、カリンバ遺跡を象徴する遺構となっている。平成13年には、遺跡保存目的の詳細分布調査が行われ、環状土籬（周堤墓）と考えられる浅い皿状の落ち込みを確認し、竪穴内部から墓標とみられる柱状節理の安山岩や後半期の堂林式土器などが出土している。このことから環状土籬

（周堤墓）は堂林式後半期のものとみられ、報告された墓出土の土器には、三ツ谷式から御殿山式までの幅があるようである。カリンバ３遺跡は西島松５遺跡と同様に、堂林式期以降に周堤墓が造られていない可能性がある。

西島松５遺跡・柏木Ｂ遺跡・カリンバ３遺跡の３遺跡では、共通して周堤墓（環状土籬）から後期末葉の墓があることから、同時期に存在し、生活の場も墓の近くにあったと考えられる。

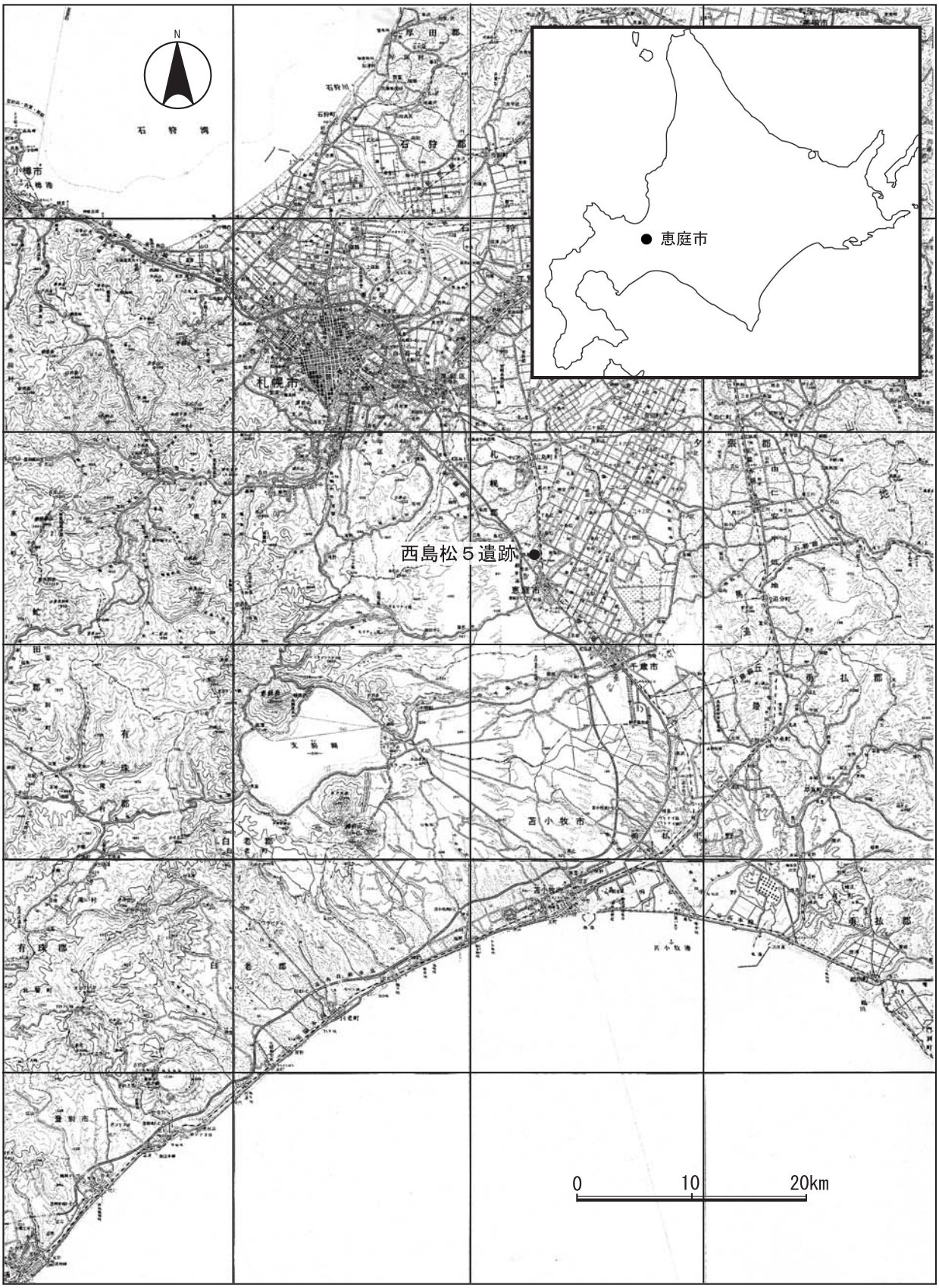
これらの遺跡はそれぞれ市内を南西から北東方向に並んで流れる柏木川、茂漁川、旧カリンバ川に面し、直線距離で西島松５遺跡からカリンバ３遺跡が約３㎞、カリンバ３遺跡から柏木Ｂ遺跡まで約４㎞、柏木Ｂ遺跡から西島松５遺跡までは約3.3㎞の距離にあり、分布の中間にある柏木Ｂ遺跡がほかの遺跡より約30ｍ高い上流域に立地している。ただし、周堤墓は生活域より標高の高い場所に造られる例がキウス４遺跡や美沢川流域の遺跡にあるため、柏木Ｂ遺跡における生活域は、より下流側にあった可能性はある。この３つの遺跡の分布は、集落の規模も関係するが、石狩低地帯南部における中小の河川に挟まれた地域では、隣り合う河川沿いでの集落間の距離がおよそ３～４㎞だったことを示す例で、この位置関係は当時の集落の生活基盤の範囲を探る材料にもなろう。また、同様に近隣を流れるルルマップ川や、ユカンボシ川流域にも同様の距離を保ち同時期の集落があった可能性もあるわけである。同一河川の例でみると、千歳市キウス４遺跡の堂林式期の生業の痕跡が、上流約２㎞キウス５遺跡の低地に見つかっている。河川に沿った上・下流への移動は日常的に広い範囲で行われていた可能性がある。

なお、本報告に千歳市キウス５遺跡の低地部の後期末葉の御殿山式期の泥炭層から出土した漆塗り縦櫛を掲載する。これは発掘の際に粉々に壊れてしまったものを保存、接合したものだが、時間的に報告書に間に合わず、報告の機会を待っていたものである。

さて、同時期に存在しているこれらの遺跡ではあるが、その墓の形態と副葬品の内容に違いがある。北海道の後期後葉を代表する墓の形態に周堤墓があり、その８割が石狩低地帯南部に集中している。周堤墓は堂林式古段階に住居址ほどの規模で生じ、御殿山式期に至るまで、規模の大型化・土坑数の増加、副葬品の多様化・多量化が進み、大型化のある段階で終焉を迎えるという指摘がなされている。

柏木Ｂ遺跡は、石柱や積石、副葬品の多様化・多量化などの特徴から周堤墓末期の典型的な姿といえよう。しかし、西島松５遺跡では堂林式後半期を最後に周堤墓は造らなくなる。本遺跡における１号周堤墓とした、密集分布する墓からは堂林式後半期の土器が出土し、周堤上に掘られたとみられる墓も５基みつかっている。また、本遺跡で縄文時代後期後葉から晩期前葉にかけての墓は、調査区の西側（柏木川上流側）が古く、東側（柏木川下流側）に向かって新しい墓が分布しており、１号周堤墓より東には堂林式後半期以降の墓が分布している。しかし、その区域には縄文時代後期以前の竪穴住居が残り、後期の墓はそれらと重なり検出される例もある。墓の埋土も黒色土面から掘られた様相であり、このような事例から１号周堤墓から東側に周堤墓は無いとみられる。

また、副葬品にもそれぞれ特色がある。柏木Ｂ遺跡の周堤墓の副葬品には石棒が多く、玉類はヒスイ製のものがほとんどである。これに対し、西島松５遺跡の玉類は、ほとんどが緑泥石（蛇紋岩が緑泥石化したもの）製で、漆製品の数も増え始める。玉類の分析では、緑泥石の玉類も道外からの搬入品である可能性が大きく、良品が多量に柏木Ｂ遺跡に流入したとも考えられる。西島松５遺跡のように周堤墓を一足先に造らなく（造れなく）なるのは集落の力（規模）の差なのかもしれない。しかし、一方で周堤墓を造り続けることが集落の力の失速につながり、御殿山式期に至り豊富な漆塗製品が副葬された墓がカリンバ３遺跡や西島松５遺跡で出現することにつながった可能性もある。これだけ近隣の遺跡で周堤墓の終焉に時間差があることは問題点が残る。



図Ⅱ－１　遺跡位置図

図中央の赤色部分が西島松５遺跡である。（詳細は、図Ⅲ-2 グリッド設定図を参照）

図Ⅱ－２　西島松５遺跡と周辺の遺跡

表Ⅱ－1　周辺遺跡一覧

番号	遺跡名	種別	時期	文献（多数ある場合は新しいもの）
9	柏木A	遺物包含地	擦文	
10	柏木B	集落跡、墳墓	縄文（早～晩）、続縄（北大）	1981『北海道恵庭市　柏木Ｂ遺跡発掘調査報告書』
11	柏木C	遺物包含地		
12	柏木沢	遺物包含地	縄文（晩期）	
13	茂漁チャシ	チャシ跡	アイヌ	1980『「日本城郭大系Ⅰ」　北海道』
14	柏木東（茂漁古墳群）	墳墓	擦文	1966『恵庭遺跡』
15	茂漁1	遺物包含地	縄文（晩期）、続縄（後北）、擦文（北大）	1979『続千歳遺跡』
16	茂漁2	遺物包含地	擦文	
17	柏木水源地	墳墓	縄文（中・後期）、続縄、擦文	
18	柏木川1	集落跡、墳墓	縄文（中・晩期）、擦文	1971『柏木川』
19	柏木川2	遺物包含地	縄文（中・晩期）	
20	柏木川3	遺物包含地	縄文（中・晩期）	
21	柏木川4	遺物包含地	縄文（後期）	2004『柏木川4・柏木川13遺跡(2)』北埋調報211　2006『柏木川4(2)』北埋調報229　2007『柏木川4(3)』北埋調報249
22	柏木川5	遺物包含地	縄文（早・中・後期）	
23	柏木川6	遺物包含地		
24	柏木川7	集落跡	縄文（早・前・中期）	2009『柏木川７遺跡』
25	柏木川8	遺物包含地	縄文（中期）	1988『「柏木川８遺跡」「柏木川13遺跡」』
26	柏木川9	遺物包含地	縄文（中期）	
27	柏木川10	遺物包含地	縄文（中期）	
28	柏木川11	遺物包含地	縄文（中期）	1994『柏木川11遺跡(Ⅱ)』
29	柏木川12	遺物包含地		
30	柏木工業団地1	集落跡	縄文（中・後・晩期）	
31	柏木工業団地2	集落跡	縄文（後期）、続縄、擦文	
32	柏木工業団地3	集落跡	縄文	
33	柏木工業団地4	遺物包含地	縄文	
34	西島松1	遺物包含地	縄文（前期）	
35	西島松2	遺物包含地	縄文（晩期）、擦文	平成21年度「西島松２遺跡」刊行予定
36	西島松3	集落跡	縄文（前～晩期）、擦文	1966『恵庭遺跡』　2007『西島松３・西島松５遺跡(5)』北埋調報248
37	西島松4	遺物包含地	縄文（後期）	
38	西島松5	集落跡	縄文（早～晩期）、続縄、擦文	1966『恵庭遺跡』　「西島松５遺跡・」(2)・(3)・(4)・(5)
39	西島松6	遺物包含地	縄文（前～晩期）、擦文	
40	西島松7	遺物包含地	縄文（早・中・後期）、擦文	
41	西島松8	遺物包含地	縄文	
42	西島松9	遺物包含地	縄文（早・中・後期）、続縄	2002『西島松遺跡』　2002『西島松９遺跡』179集
43	西島松10	集落跡	縄文（晩期）、擦文	
44	西島松11	遺物包含地	縄文	
45	西島松12	遺物包含地	縄文（中期）	
46	西島松13	遺物包含地	縄文	
47	西島松14	遺物包含地	縄文（中・後・晩期）	1993『「西島松14遺跡」「西島松15遺跡」』
48	西島松15	遺物包含地	縄文（中期）	1994『「島松仲町遺跡」「西島松15遺跡Ｂ地点」』
49	西島松16	遺物包含地	擦文	
50	西島松17	遺物包含地	縄文（中期）	1992『西島松17遺跡・西島松18遺跡』
51	西島松18	遺物包含地	縄文（中期）	1992『西島松17遺跡・西島松18遺跡』
52	島松寿町1	遺物包含地	縄文（後期）	
53	島松寿町2	遺物包含地	縄文（後・晩期）、擦文	1966『「恵庭遺跡』
54	島松仲町	遺物包含地	縄文（中期）、擦文	1994『島松仲町遺跡・西島松15遺跡Ｂ地点』
55	島松東町	遺物包含地	縄文	
56	島松旭町1	遺物包含地		
57	島松旭町2	集落跡	擦文	1966『「恵庭遺跡』
58	島松旭町3	遺物包含地		

番号	遺跡名	種別	時期	文献（多数ある場合は新しいもの）
59	南島松1	遺物包含地	縄文（早・中期）	1991『南島松1遺跡・南島松4遺跡』
60	南島松2	遺物包含地	縄文（早・中・後期）、擦文	1992『中島松1遺跡・南島松4遺跡・南島松3遺跡・南島松2遺跡』
61	南島松3	遺物包含地	縄文（中・後期）、擦文	1992『中島松1遺跡・南島松4遺跡・南島松3遺跡・南島松2遺跡』
62	南島松4	集落跡	縄文、擦文	1992『中島松1遺跡・南島松4遺跡・南島松3遺跡・南島松2遺跡』
63	南島松5	遺物包含地	縄文、擦文	
64	中島松1	遺物包含地	縄文（早・中・後期）、擦文	1992『中島松1遺跡・南島松4遺跡・南島松3遺跡・南島松2遺跡』
65	中島松2	遺物包含地	縄文	
66	中島松3	遺物包含地	縄文	
67	中島松4	遺物包含地		
68	中島松5	集落跡	縄文（中期）、擦文	1990『中島松5遺跡B地点・中島松7遺跡C地点』　1989A地点
69	中島松6	集落跡	縄文（中・後・晩期）、擦文	1988『中島松6・7遺跡』
70	中島松7	集落跡	縄文（早・後期）、続縄、擦文	1990『中島松5遺跡B地点・中島松7遺跡C地点』
71	下島松1	遺物包含地	縄文	
72	下島松2	遺物包含地	縄文、擦文	
73	下島松3	遺物包含地	縄文	
74	下島松4	遺物包含地	縄文	
76	ルルマップ川1	遺物包含地	縄文	
77	ルルマップ川2	遺物包含地	縄文	
78	ルルマップ川3	遺物包含地	縄文	
79	ルルマップ川4	遺物包含地	縄文	
80	ルルマップ川5	遺物包含地	縄文	
81	ルルマップ川6	遺物包含地	縄文	
82	ルルマップ川7	遺物包含地	縄文	
83	ルルマップ川8	遺物包含地	縄文	
84	ルルマップ川9	遺物包含地	縄文	
85	ルルマップ川10	遺物包含地	縄文、続縄	
86	ルルマップ川11	遺物包含地		
87	ルルマップ川12	遺物包含地	縄文	
88	ルルマップ川13	遺物包含地	縄文	
89	ルルマップ川14	集落跡	縄文	
90	ルルマップ川15	遺物包含地	縄文	
91	下島松5	遺物包含地	縄文	
92	下島松6	遺物包含地	縄文、続縄、擦文	
93	島松チャシB	チャシ跡		
94	島松チャシC	チャシ跡		
95	漁川1	遺物包含地	縄文、擦文	
96	カリンバ3	墳墓・集落跡	縄文（後・晩期）、擦文、近世	2003『カリンバ3遺跡(1)』
104	カリンバ1	遺物包含地	縄文（中期）、近世（アイヌ期）	カリンバ1遺跡A・B・C・D・E地点
105	カリンバ2	遺物包含地	縄文（早・中・後期）	カリンバ2遺跡第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ　A・B・C・D・E地点
106	カリンバ4	遺物包含地	縄文（後・晩期）、擦文、アイヌ	2001　1999　1997　1979　「カリンバ4遺跡」
107	柏木川13	遺物包含地	縄文（早・中・晩期）、続縄、擦文	2005『柏木川13遺跡（Ⅲ）』　2003『柏木川13遺跡(3)』北埋調報203
111	茂漁3	集落跡	縄文（中期）、続縄（後北C2・D）、擦文（前期）	
112	茂漁4	遺物包含地	先土器、縄文（前~晩期）、続縄（北大）、擦文（前期）	1977『茂漁4遺跡』
113	茂漁5	遺物包含地	擦文（北大Ⅲ）	1997『茂漁5遺跡』
114	ルルマップ15	遺物包含地	縄文	1996『ルルマップ15遺跡』北埋調報118
116	茂漁6	遺物包含地	続縄、アイヌ	
119	茂漁7			
120	茂漁8			
	史跡　カリンバ遺跡	墳墓・住居跡	縄文（後・晩期）、続縄、擦文、近世	2004『カリンバ3遺跡（3）』

Ⅲ　調査の方法

1　調査区の設定

柏木川基幹河川改修工事におけるＵＳＰラインを基軸に設定した。真北に対して26°51′ 1″東偏するＵＳＰラインをＲラインとし、北西から南東方向に５ｍごとにアルファベットを付し、同様にＵＳＰ０を０とし、北東から南西方向に５ｍごとにアラビア数字を付した。５ｍ×５ｍの区画（グリッド）の名称は、北東側交点をその名称とし、「Ｂ－25」のようにアルファベットとアラビア数字の間にハイフォンをもうけ、遺構名と区別した。したがって、ＵＳＰ100はＲ－20、ＵＳＰ200がＲ－40となる（図Ⅲ－２グリッド設定図参照)。一連の遺跡である西島松２・３遺跡と柏木川の右岸にある西島松９遺跡もそのままこの調査区を用いているが、アルファベットのＺを超える地域は、小文字のアルファベットを使用している。なお、基準杭の平面直角座標系第Ⅱ系による座標値は以下のとおりである。

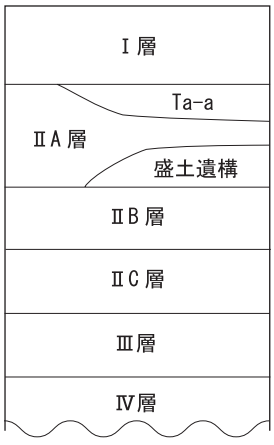
ＵＳＰ0　　（Ｒ－０）　：Ｘ＝－121292.638　　Ｙ＝－55345.279
ＵＳＰ100　　（Ｒ－20）　：Ｘ＝－121381.857　　Ｙ＝－55390.445

2　掘削

平成14年度の西島松５遺跡の調査区は、住宅基礎の撹乱を受けるが、耕作はされていないため、包含層の残りが比較的よく、縄文時代後期末葉の盛土遺構も広がっていることから、掘り下げはすべて人力で行った。平成15・16年度の調査区は、遺構確認区で調査区内の立木を伐採したのち、様々な撹乱の及んだＩ層は、重機で除去した。包含層から出土した遺物はグリッド、層位ごとに取り上げ、遺構の遺物は、出土状況や遺物の性格により、記録したものと、遺構内の層位でまとめて取り上げたものがある。

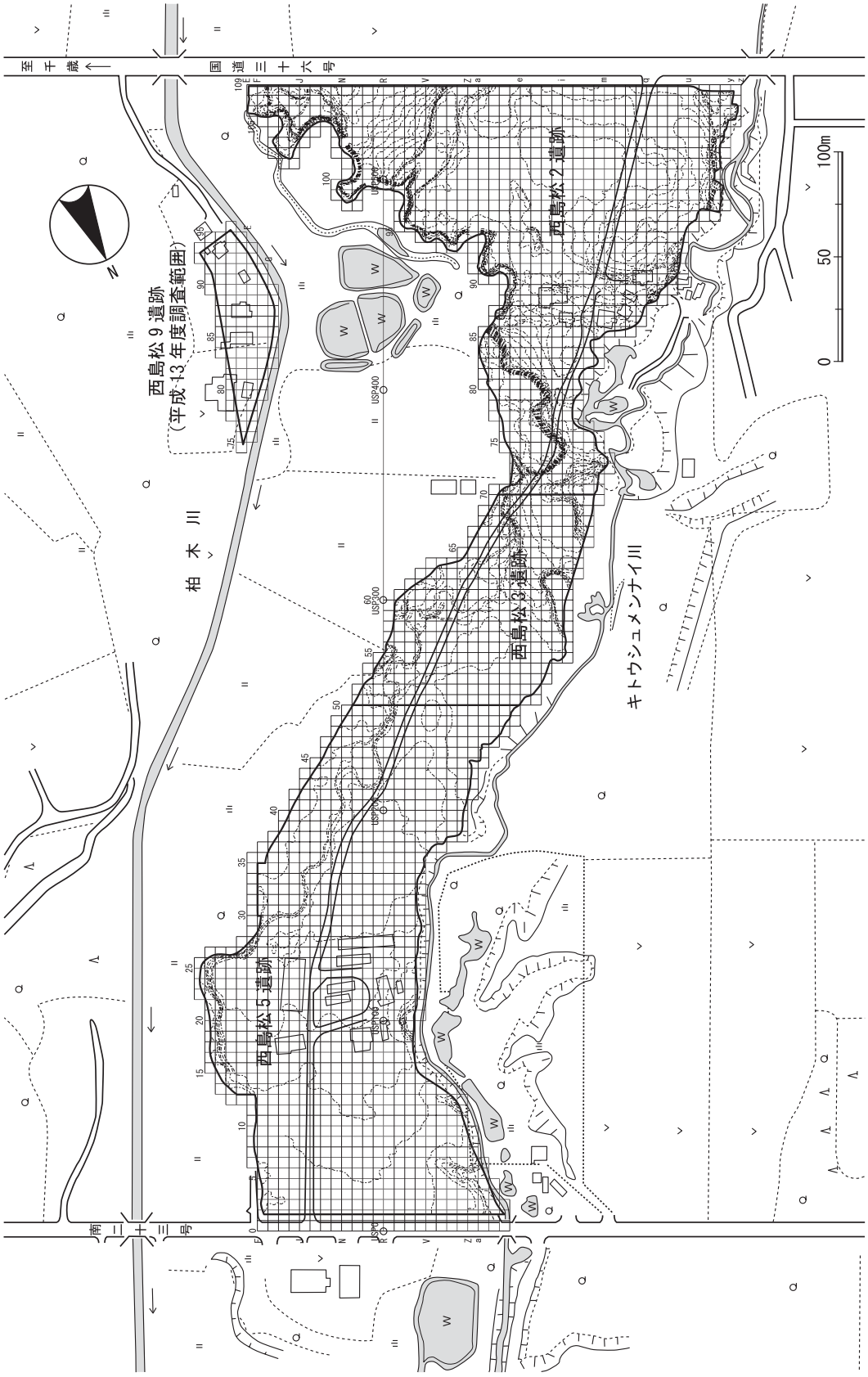
3　土層

基本土層は、平成12年度の西島松５遺跡の調査における観察結果と基本的に同じであり、観察項目、観察手順とも前報告書（北埋調報178　Ⅲ、調査の方法　3.土層）に準拠している。ただ、竪穴住居の窪みや、調査区縁の一部には、Ｔａ－ａが残り、Ⅱ層も良好な状態で堆積していた。良好な堆積のⅡ層観察の結果、次の３層に分層されることが判明し、上層からⅡＡ層、ⅡＢ層、ⅡＣ層と区分して、調査し、遺物の取り上げを行った。なお、土層の観察には『標準土色帖』(小山・竹原1967）および『土壌調査ハンドブック』(ペドロジスト懇談会1984）を用いている。



図Ⅲ－１　基本土層模式図

Ⅰ　層：耕作土　　地表土、Ｔａ－ａ、Ⅱ層、Ⅲ層、Ⅳ層が耕作などで混ぜられた撹乱層。
樽前ａ降下軽石層（Ｔａ－ａ　Ａ．Ｄ．1739年降下）
Ⅱ　層：黒色腐植土
ⅡＡ層：黒色土層で乾燥すると白っぽくなる。Ｂ－Ｔｍ苫小


至千歳
国道三十六号
西島松9遺跡
（平成13年度調査範囲）
柏木川
西島松2遺跡
西島松3遺跡
キトウシュメンナイ川
西島松5遺跡
南二十三号
N
0
50
100m

図Ⅲ－2　グリッド設定図

牧火山灰層が微量混入する。主に続縄文時代～擦文時代の遺物が含まれる。

ⅡＢ層：暗褐色土層で、Ｔａ－ｃ（樽前Ｃ降下軽石。ＢＰ2,300～2,500年降下）が微量混入する。主に縄文時代後期～晩期の遺物が混入する。

ⅡＣ層：黒褐色土層で、粒子が細かく、軟質土である。主に縄文時代早期～後期の遺物が含まれる。

Ⅲ　層：暗褐色～暗黄褐色土　Ⅱ層とⅣ層の漸移層

Ⅳ　層：支笏軽石（約32,000年前降下）が、恵庭ａ降下軽石（Ｅｎ－ａ15,000～17,000年前降下）を取り込んで二次堆積し、土壌化した層。

4　整理の方法

取り上げた遺物は、現地では原則として以下の作業工程で整理を行った。遺構・包含層それぞれの「遺物取り上げ台帳」、および「土壌水洗サンプル取り上げ台帳」を作成し、これをもとに水洗、乾燥、分類、注記、点数集計等の作業を進めた。注記の内容は、西島松５遺跡を「西５」と略記し、その後に遺構名あるいはグリッド名、層位、遺物番号の順に記した。注記するスペースのない、小さな遺物については省略した。

遺物の出土グリッド、層位、点数、分類名、日付などの情報は「遺物カード」に記録し、遺物とともにビニール袋へ入れ、収納した。カードの情報は遺構ごと、分類ごとの情報を集計し、最終的な遺物台帳を作成した。

5　記録と保管

現地での実測図・土器・石器などの実測図、写真などの記録は当センターにおいて保管する。遺物は報告書刊行の後、恵庭市教育委員会が保管予定である。

6　遺物の分類

⑴　土器

土器は大きな区分である時期ごとの特徴から、便宜的に縄文時代早期に属する資料をⅠ群とし、以下順に前期をⅡ群、中期をⅢ群、後期をⅣ群、晩期をⅤ群、続縄文時代をⅥ群、擦文時代相当のものをⅦ群、その他土製品とし、各群にアルファベットの小文字を組み合わせ、前半（ａ類）、後半（ｂ類）、あるいは前葉（ａ類）、中葉（ｂ類）、後葉（ｃ類）に分類した。また、必要に応じて細分類（例　ａ－１類など）を行っている。

Ⅰ群　縄文時代早期に属する土器

ａ類：貝殻条痕文、貝殻文、組紐圧痕文、などが施される、虎杖浜式、アルトリ式などに相当するもの

ｂ類：撚糸文、組紐圧痕文、絡条体圧痕文、貼付文、縄文等の施されるもの

Ⅰ群ｂ類は、ｂ－３類：コッタロ式、中茶路式に相当するもの、ｂ－４類：東釧路Ⅳ式に相当するものに細分

Ⅱ群　縄文時代前期に属する土器

ａ類：厚みがあり、縄文原体（０段多縄が多い）は条の幅が広く、地文の縄文が器面に深く施文される、丸底、尖底を特色とするもの。本遺跡では静内中野式前後に相当するものが出土

b類：円筒土器下層式に相当する土器で、植苗式相当とみられるものが出土

Ⅲ群　縄文時代中期に属する土器（中葉前後の破片が多く、分類はⅢ群で行っているものが多い）

a類：貼付文及び沈線文で文様帯が構成される、円筒土器上層式に相当、もしくはその系譜を引くと考えられるもの、および萩ヶ岡１・２式に相当するもの

b類：天神山式、柏木川式、北筒式（トコロ６類）、煉瓦台式に相当するもの

Ⅳ群　縄文時代後期に属する土器

a類：余市式、タプコプ式、入江式に相当するもの

b類：ウサクマイＣ式、手稲式、ホッケマ式に相当するもの

c類：堂林式、三ツ谷式、御殿山式に相当するもの

Ⅴ群　縄文時代晩期に属する土器

a類：大洞Ｂ式、大洞ＢＣ式、及び主に半截竹管状工具による器表面への垂直な刺突（爪形文と呼称）が施される上ノ国式に相当するもの。遺跡出土の本類とみられる土器と、Ⅳ群c類後葉の土器との識別が困難なことから、復元などで確実なものをのぞきⅣ群c類に分類、詳細は一覧表で示した

b類：大洞C_1式、大洞C_2式に相当するもの

c類：大洞Ａ式、大洞Ａ′式に相当するもの

Ⅵ群　続縄文時代に属する土器群

Ⅶ群　擦文時代に属する土器群（北大Ⅲ式土器群も含めた）

⑵　土製品

土偶、土玉、垂飾、耳栓、環状土製品、ミニチュア土器、焼成粘土などに分類している

⑶　石器等

石器等は昨年度の本遺跡の報告（北埋調報第209集）の分類項目に加え、恵庭市を始め近隣の市町村の調査報告を参考に以下のように分類した。分類は素材の状態から剥片石器、磨製石器、礫石器、石製品に大別し、定型的な器種について分類した。器種は大分類にとどめ、記号などを用いた細分は行っていない。なお本文中の記載順も以下のとおりである。

剥片石器

・石鏃・石槍またはナイフ・石錐・つまみ付きナイフ・スクレイパー類・Ｒフレイク
・Ｕフレイク・楔型石器（剥片の上下両端に加撃痕と摩滅痕があるもの）･石核
・フレイク
・原石（主に頁岩、珪岩、メノウなど、石器素材として持ち込まれたとみられる礫）

磨製石器

・石斧（明瞭な刃部が作出されず、打欠きなど粗く調整されるものを未製品として区分した。また概ね２分の１以下の破片を石斧片とした。）
・石斧原石（緑色泥岩、緑色片岩を素材とし、ほとんど加工が認められないもの）

礫石器

・たたき石、砥石、すり石、石皿、扁平打製石器、台石、石鋸、石錘、その他（上記の分類に含まれないもので、礫を素材とする石器）

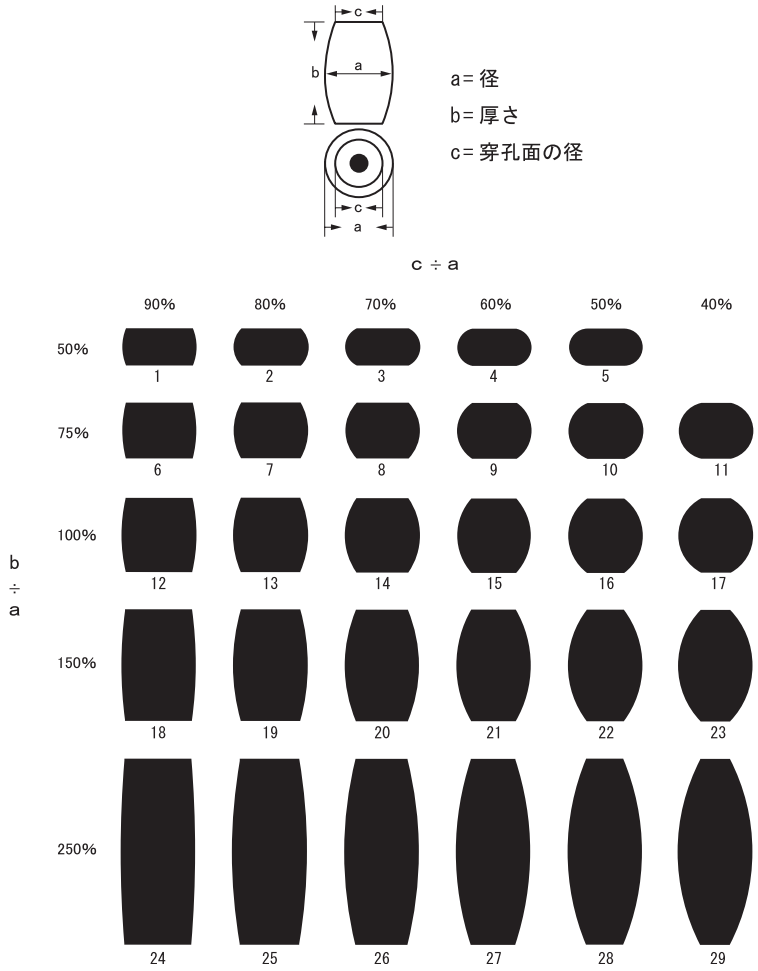
石製品

・異形石器、石棒、石刀、のほか、玉・垂飾類、ツノガイ化石やしずく石に穿孔をくわえたものがみられた。石棒と石刀の区別は、製品の最も太い部分の短径を長径で割った比率が６割以下のも

のを石刀とし、それより割合が大きいものを石棒とした。この結果石刀となったのはＰ433出土の１例であった。遺構から出土した玉・垂飾類は、かぎられた時期の遺物であるうえ、点数も1,500点を超える量が出土しており、縄文時代後期後葉の玉類を分類するには良い機会と考え、さらに次のように細分を試みた。

7　玉・垂飾類の分類

玉・垂飾類を分類するにあたり、まず、穿孔のある方向から個々の製品の観察を行い、ほぼ円形のものをＡ型、長軸を縦にして左右対称形のものをＢ型、長軸を縦にして左右非対称形のものをＣ型、穿孔が２ヵ所以上あるものをＤ型、化石や自然石（雫石など）を利用したものをＥ型とした。なお、Ａ型としたほぼ円形の玉の範囲は、厳密な円形のものは存在しないため、その長径と短径の差を15パーセント以内と緩やかな設定とし、これからはみ出るものはＢ型とした。なお、穿孔が中心をそれているものや、穿孔しなおしのあるものもＡ型とした。結果としては出土した玉類の約９割がＡ型に大別された。次に、Ａ型とされた玉類の厚み（ｂ）を長径（ａ）で割った値で玉の長短の割合を、穿孔面の径（ｃ）を長径（ａ）で割った値でおおよその側面の湾曲度を数値化した。これらの数値の前者を縦軸に、後者を横軸にし、玉の側面観を模式的に図化したものが下の模式図である。これをもと側面観からＡ型の玉を数値的に次のように分類した。また、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅ型の細分についても以下のように設定した。



図Ⅲ－３　玉類分類模式図

Ａ－１型　：厚さが100％より小さく屈曲度が80％より大きいもの、ただし厚さが75％以上100％未満のものは屈曲度70％までのもの。模式図では１、２、６、７、８を指し、おおむね臼玉状の玉が該当する。

Ａ－２型　：厚さが75％未満で屈曲度が70％より小さいもの、模式図では３、４、５を指し、角が丸い臼玉状の玉が該当する。

Ａ－３型　：厚さが100％以上200％未満、屈曲度が80％以上のもの。模式図では12、13、18、19をさし、臼玉と管玉の中間的な形状の玉類が該当する。

Ａ－４型　：厚さが75％以上100％以下で、屈曲度が50％以下のもの、厚みが75％以上100％未満のものは屈曲度60％までのもの、模式図では９、10、11、16、17を指し、おおむね丸玉状の玉が該当する。

Ａ－５型　：厚さが200以上で、屈曲度が60％以上のもの、模式図では24、25、26、27を指し、おおむね管玉状の玉が該当する。

Ａ－６型　：厚さが100％以上200％未満、屈曲度が70％以下60％以上のものと、厚さが150％以上250％以下で、屈曲度が50％以下のもの、模式図では14、15、20、21、22、23、28、29を指し、おおむね棗玉状の玉が該当する。

Ａ－７型　：模式図では両方向から穿孔された玉類を対象としており、これとは別に片側穿孔で側面観がおわん形の玉、主にヒスイ製の硬い素材を用いた玉が該当する。

Ｂ－１型　：長軸と短軸の差が15％以上の玉で、厚さを短軸で割った値が100％以下のもの。

Ｂ－１ｂ型：Ｂ－１型の表面に文様が刻まれたもの。

Ｂ－２型　：上記の玉で、厚さを短軸で割った値が100％以上200％以下のもの。

Ｂ－３型　：上記の玉で、厚さを短軸で割った値が200％以上のもの。

Ｃ－１型　：長軸を縦に左右非対称形の玉類のうち、抉りが無く、短軸より厚みが薄いものをさす。

Ｃ－１ｂ型：Ｃ－１型の表面に文様が刻まれたもの。

Ｃ－２型　：長軸を縦に左右非対称形の玉類のうち、片側に抉りがある主に勾玉状の玉類。

Ｃ－２ｂ型：Ｃ－２型の表面に文様が刻まれたもの。

Ｃ－３型　：長軸を縦に左右非対称形の玉類のうち、厚さを短軸で割った数値が100％以上のもの。

Ｄ－１型　：交差する２ヵ所の穿孔が施されるもの。

Ｄ－２型　：並んだ２ヵ所の穿孔が施されるもの。

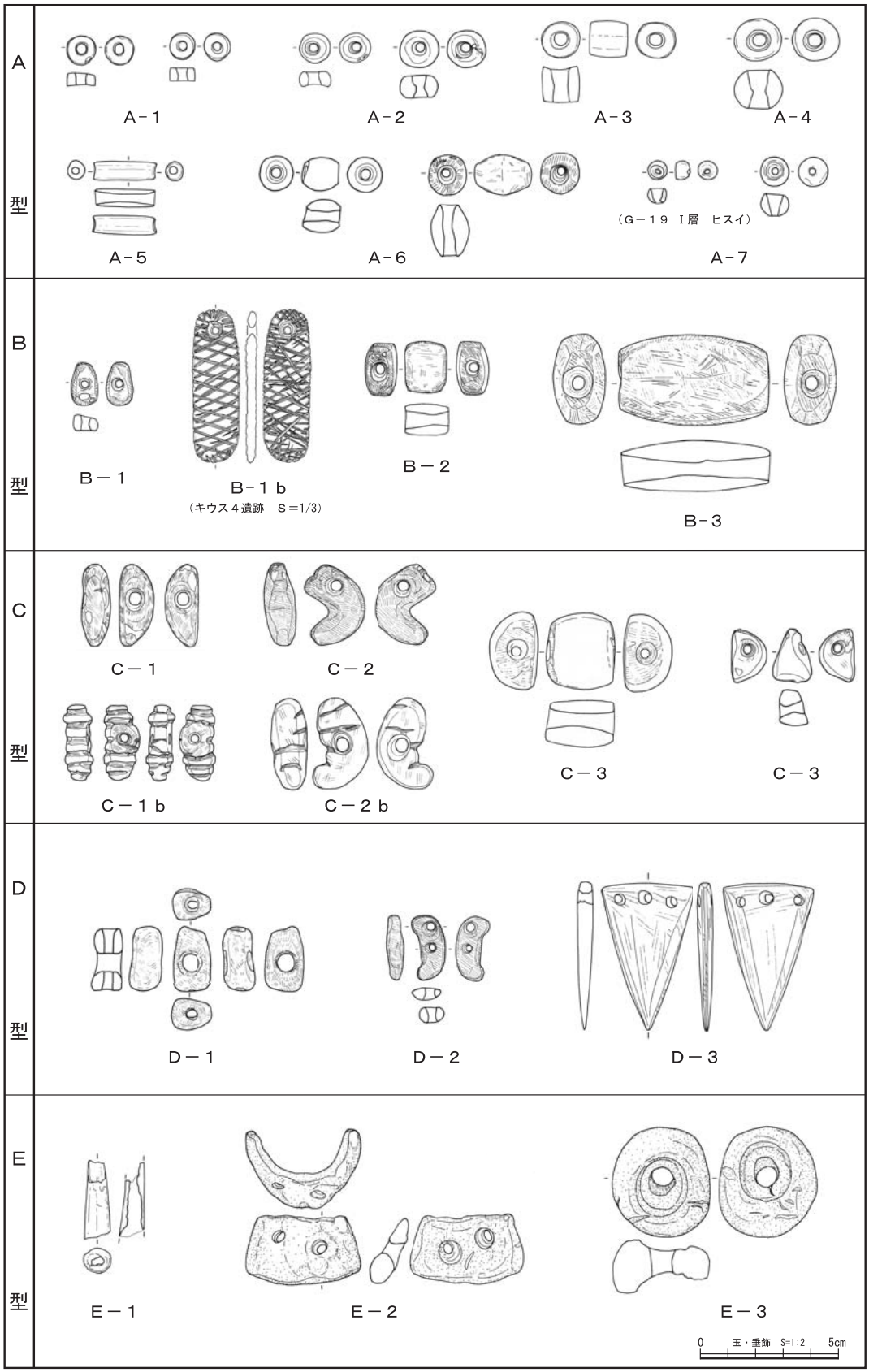
Ｄ－３型　：３ヵ所以上の穿孔が施されるもの。

Ｅ－１型　：化石を利用したもの。本遺跡ではツノガイ化石に穿孔を加え利用したものが出土。

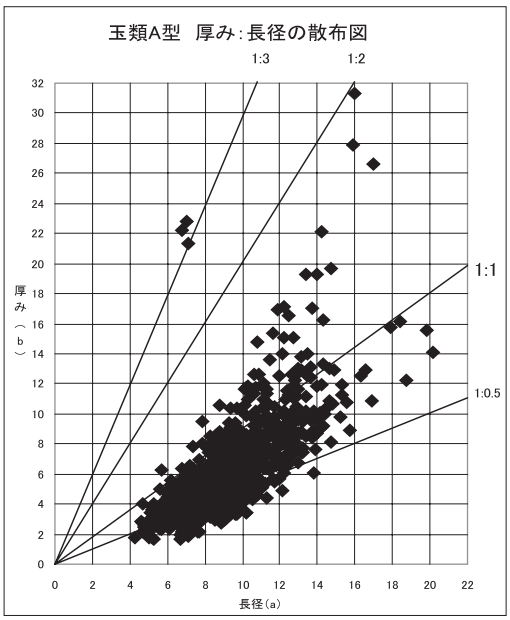
Ｅ－２型　：化石以外の自然石に穿孔などの加工を加え装身具としたもの。

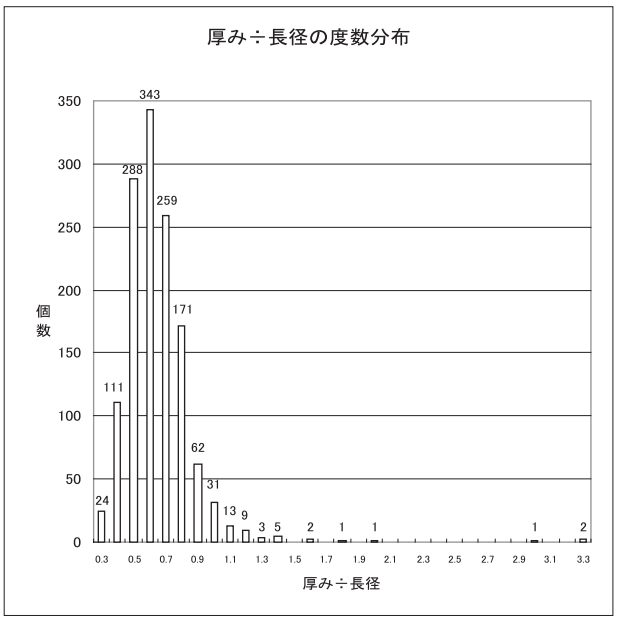
Ｅ－３型　：自然石をそのまま装身具としたもの。

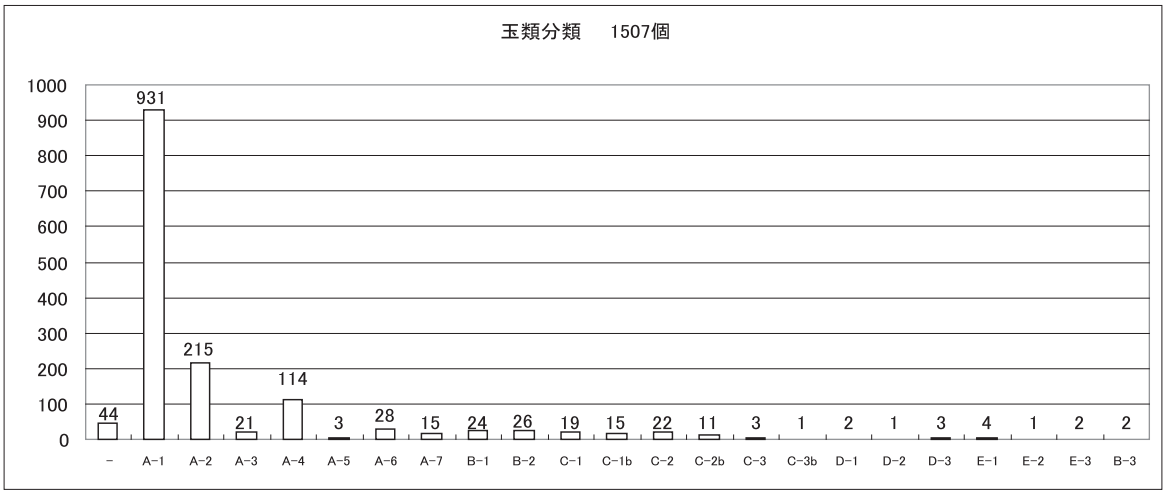
以上が出土した玉類・垂飾類の分類基準である（図Ⅲ－４玉・垂飾類分類図参照）。基本的には、ある形状に分類された玉に文様が刻まれれば、ｂ類を追加する。なお、この分類には、計測点によりデータ誤差が生じること、左右対称形の基準が必要なこと、Ａ分類の模式図のカーブを一律弧線状にしたが、現状にはより多様性があり、さらに細分の余地があること、Ｃ－３分類も側面観の形状より細分が可能なことなど、玉どうしの擦り減り（以下玉ズレ）が激しいものの扱いなど、問題点は多いが、荒削りではあるがこの分類で分けた結果をグラフ化したものが図Ⅲ－５である。

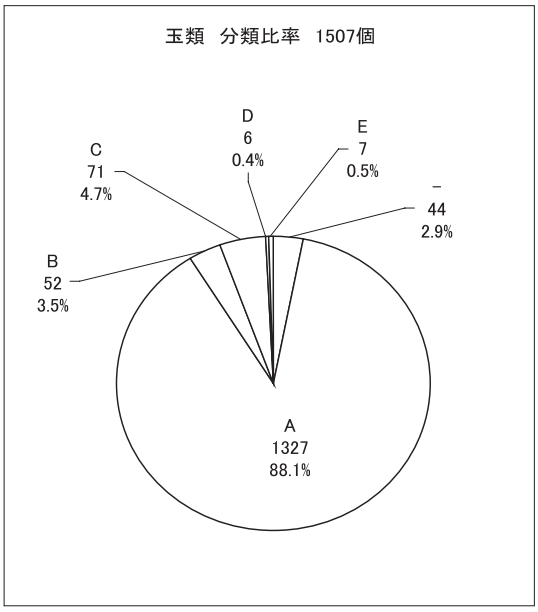

A型
A－1
A－2
A－3
A－4
A－5
A－6
（G－19　Ⅰ層　ヒスイ）
A－7
B型
B－1
B－1b
（キウス4遺跡　S＝1/3）
B－2
B－3
C型
C－1
C－2
C－3
C－3
C－1b
C－2b
D型
D－1
D－2
D－3
E型
E－1
E－2
E－3
0　玉・垂飾　S=1:2　5cm

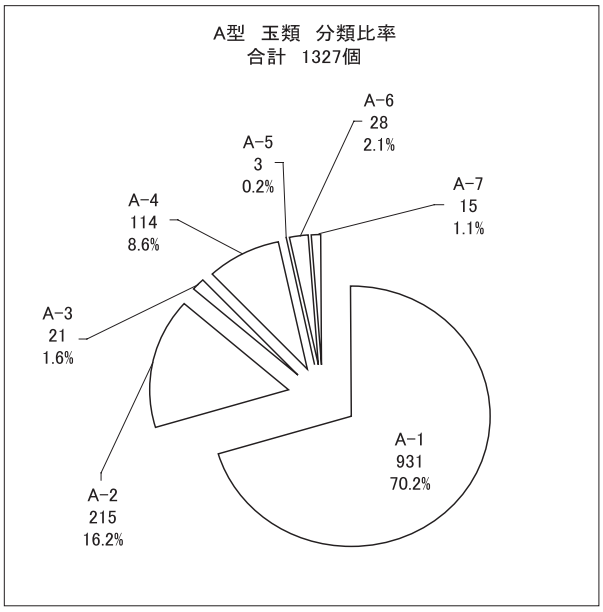
図Ⅲ－4　玉・垂飾類分類図



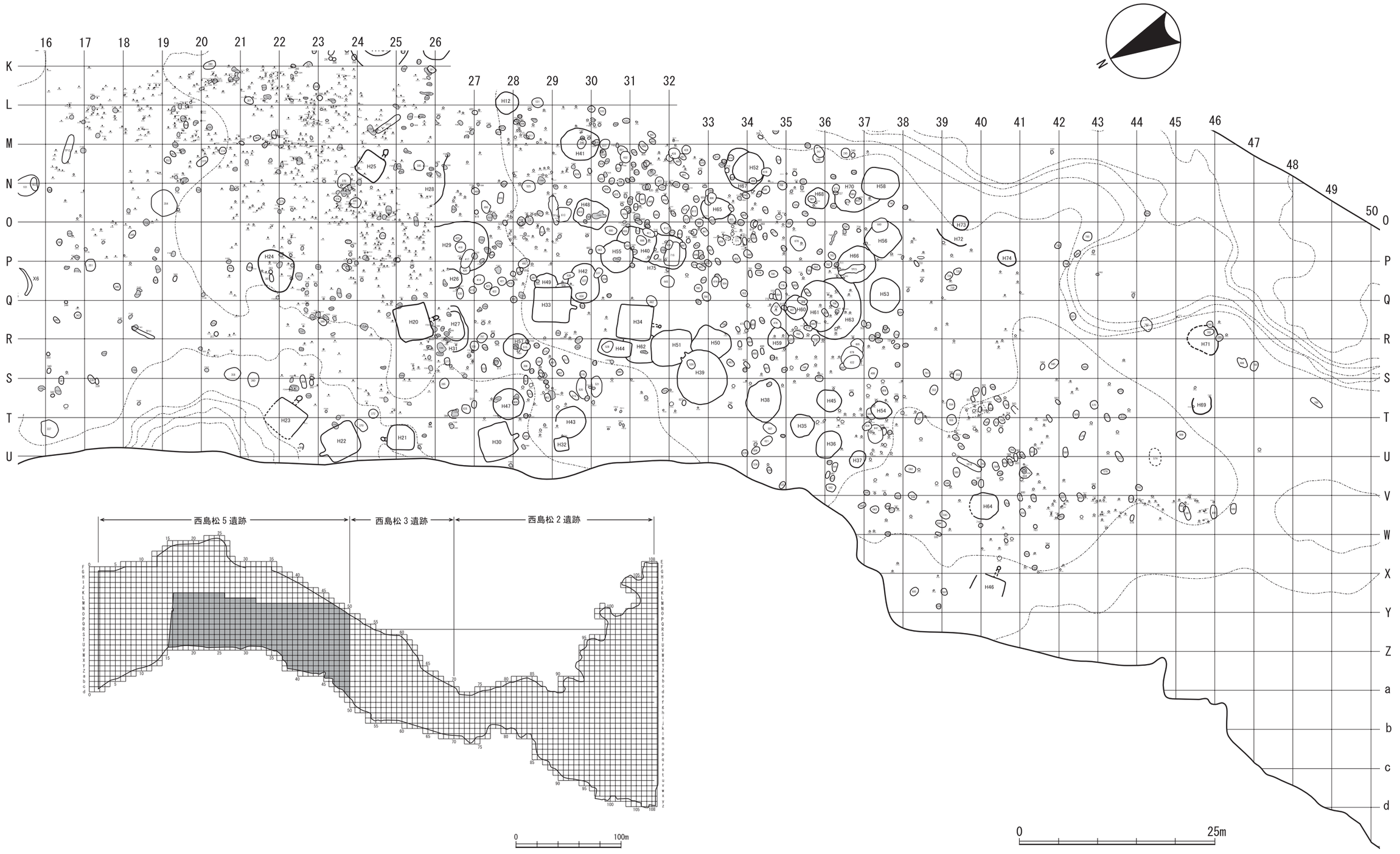






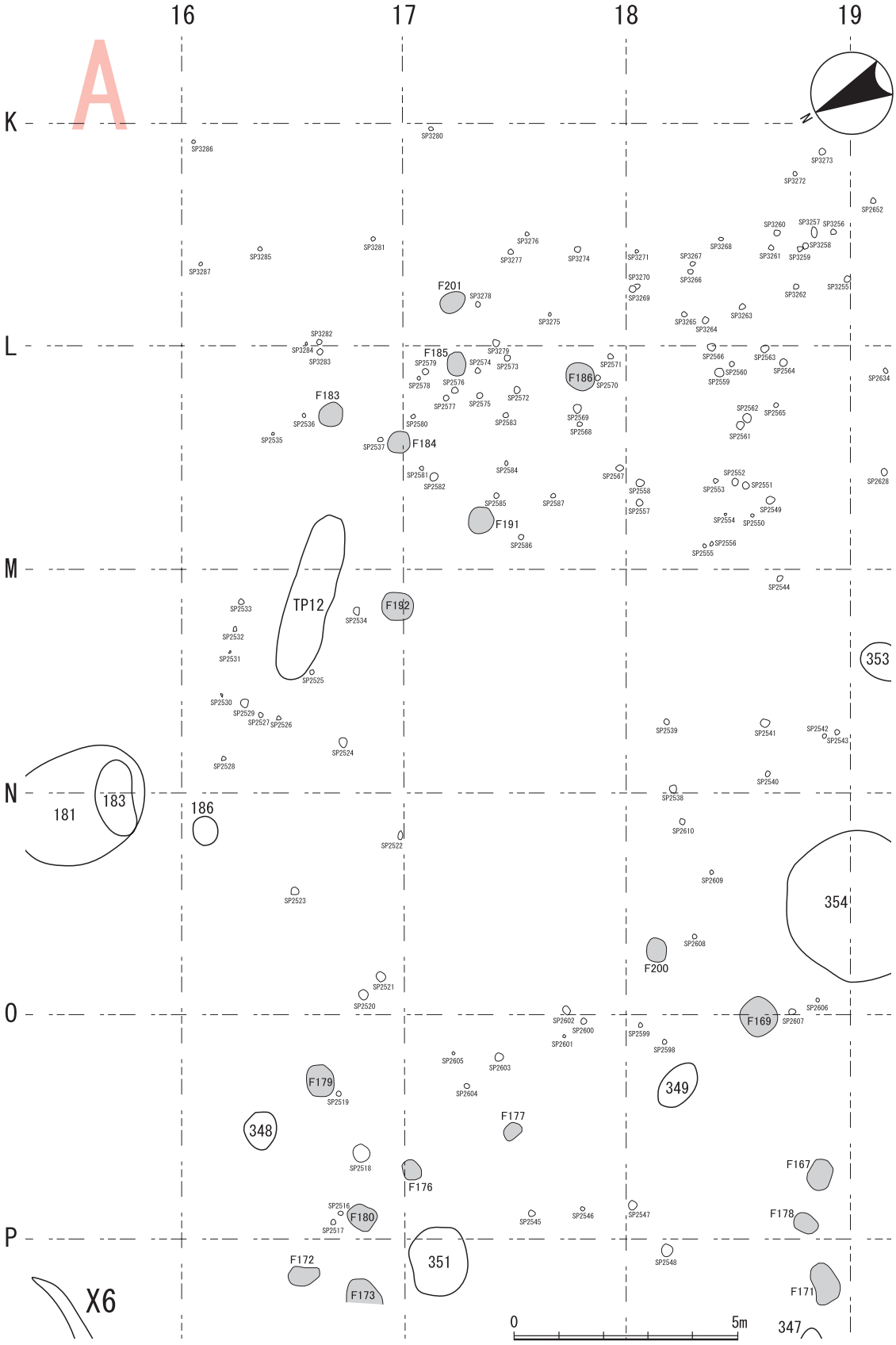


図Ⅲ－5　玉・垂飾類集計グラフ

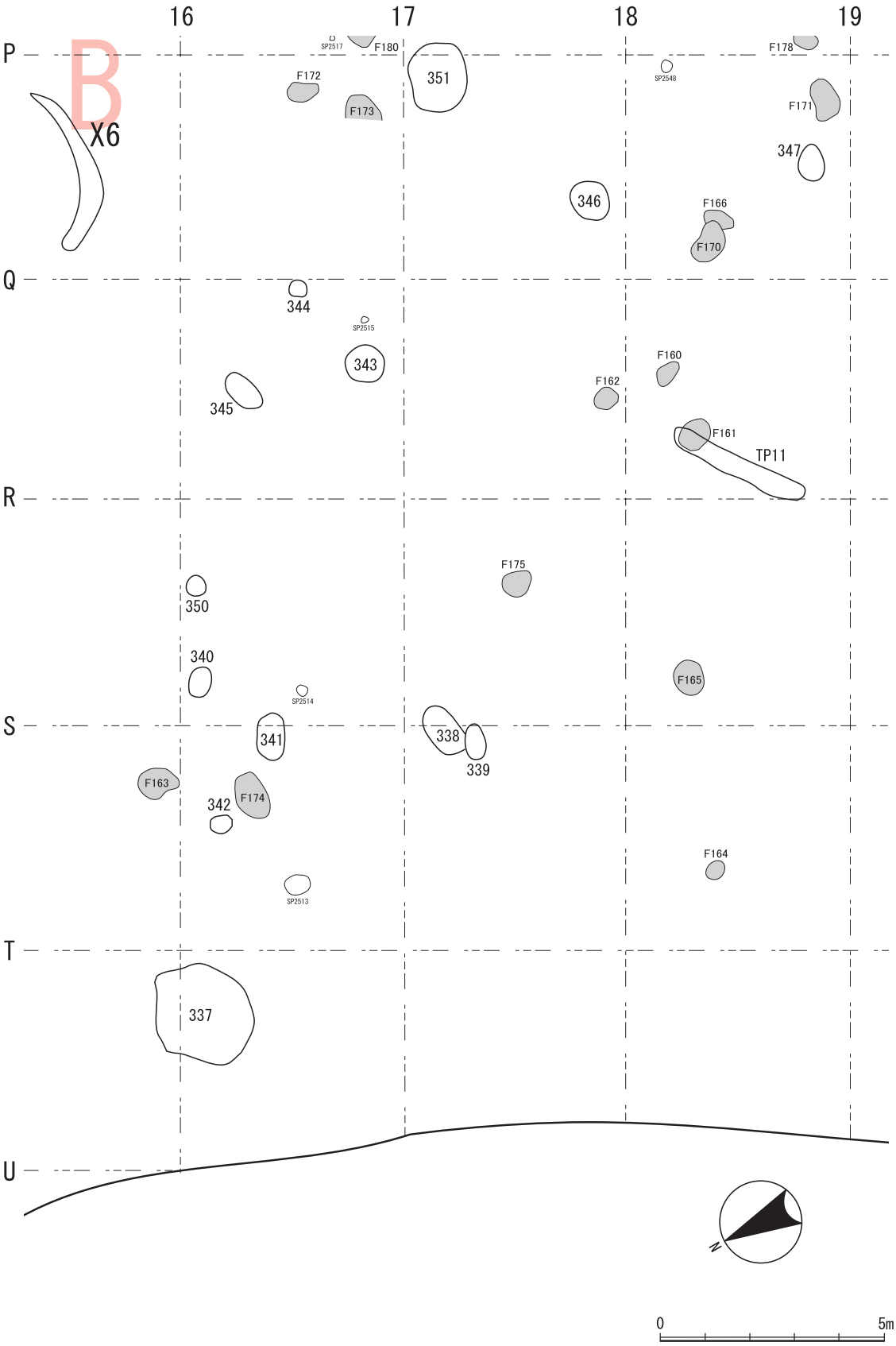


図Ⅲ－6　遺構位置全体図

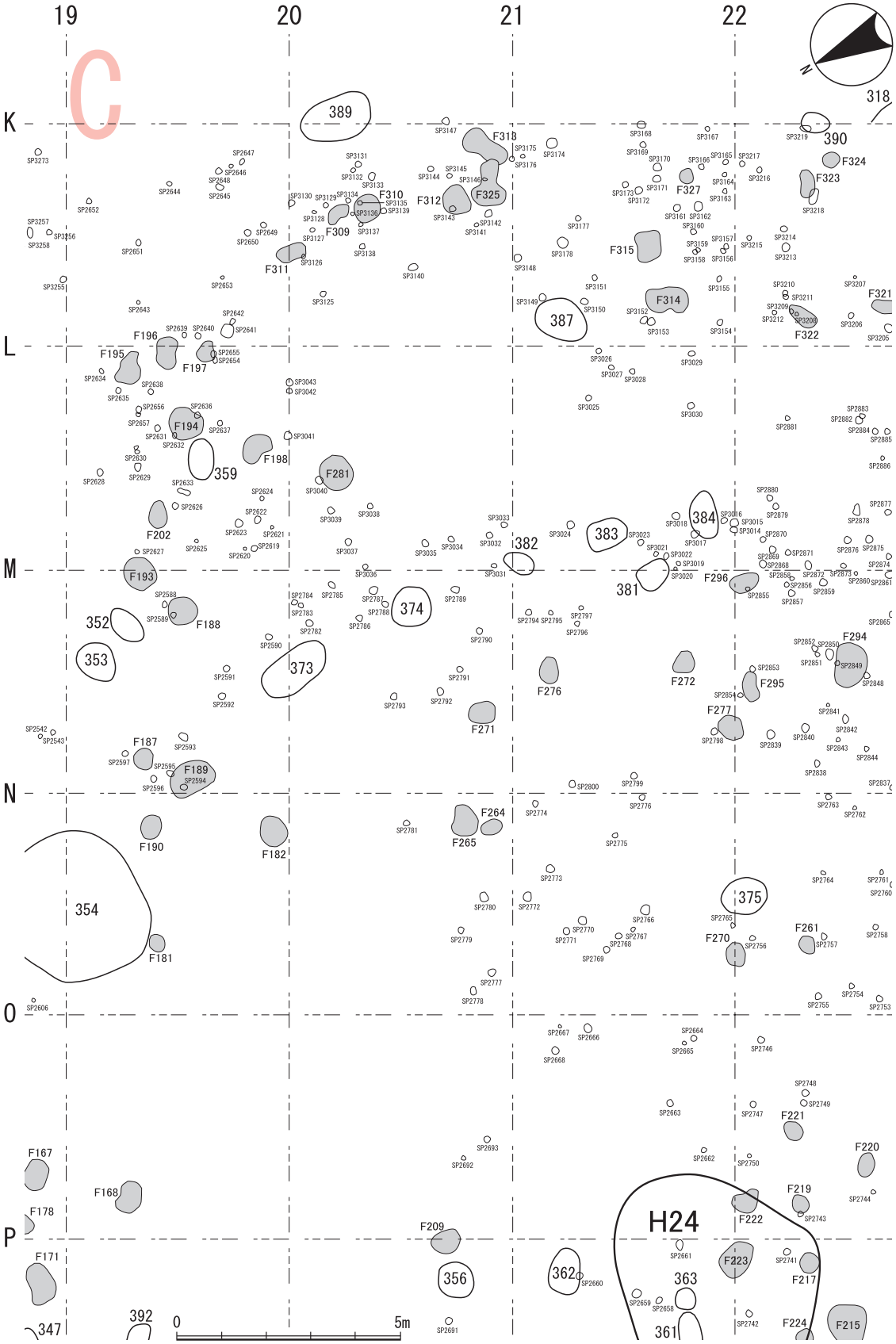
図Ⅲ－7　遺構位置分割図


A
16
17
18
19
K
L
M
N
O
P
F201
F185
F186
F183
F184
F191
TP12
F192
F200
F169
F179
F177
F176
F180
F167
F178
F172
F173
F171
X6
181
183
186
348
349
351
353
354
347
0
5m

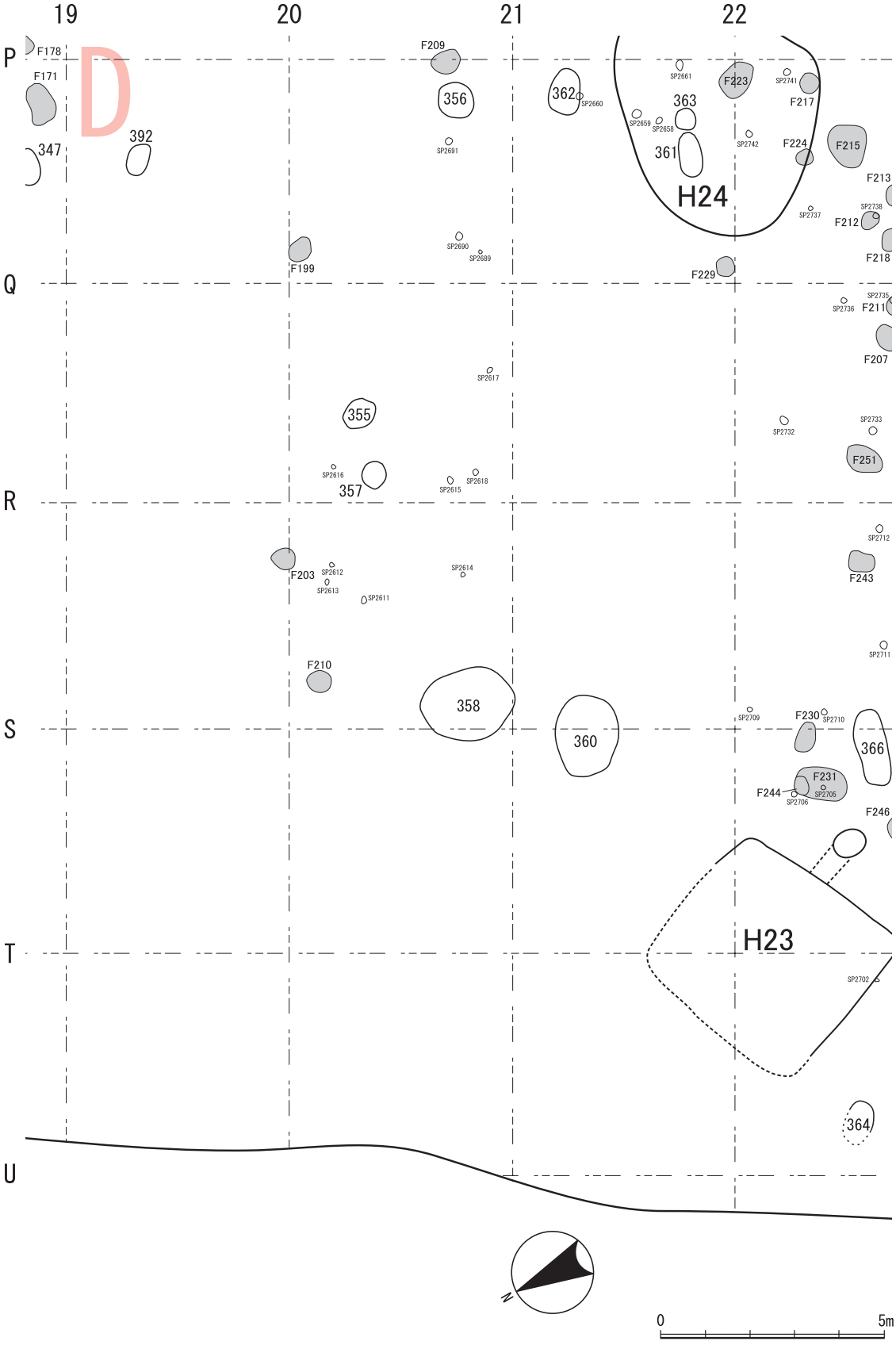
図Ⅲ－8　分割図A


16
17
18
19
P
Q
R
S
T
U
B
X6
SP2517
F180
351
F172
F173
SP2548
F178
F171
347
346
F166
F170
344
SP2515
343
345
F160
F162
F161
TP11
F175
350
340
SP2514
341
338
339
F165
F163
342
F174
F164
SP2513
337
N
0
5m

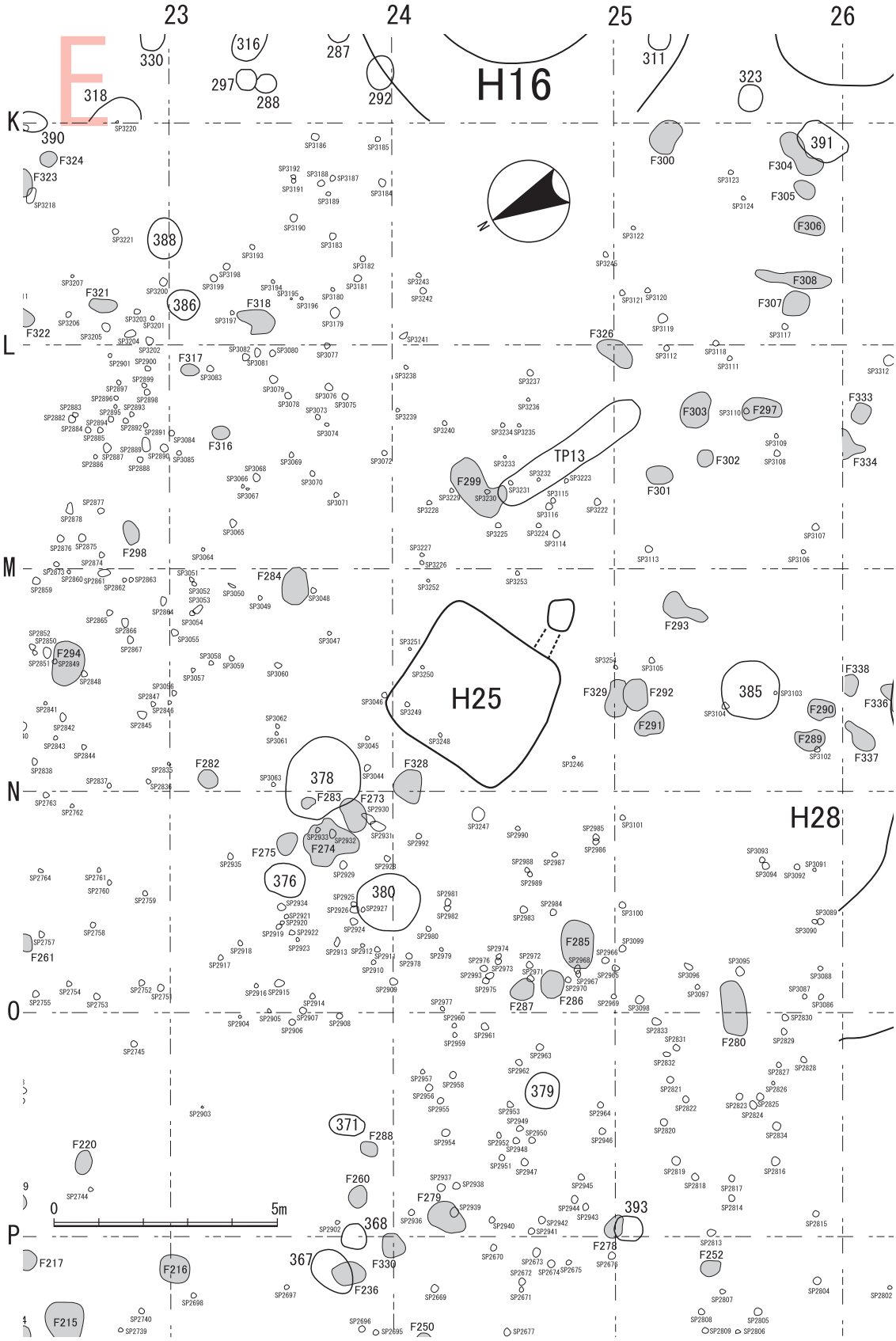
図Ⅲ－9　分割図B


19
20
21
22
C
K
L
M
N
O
P
389
390
318
387
382
383
384
381
374
373
352
353
354
375
356
362
363
361
392
347
H24
0
5m

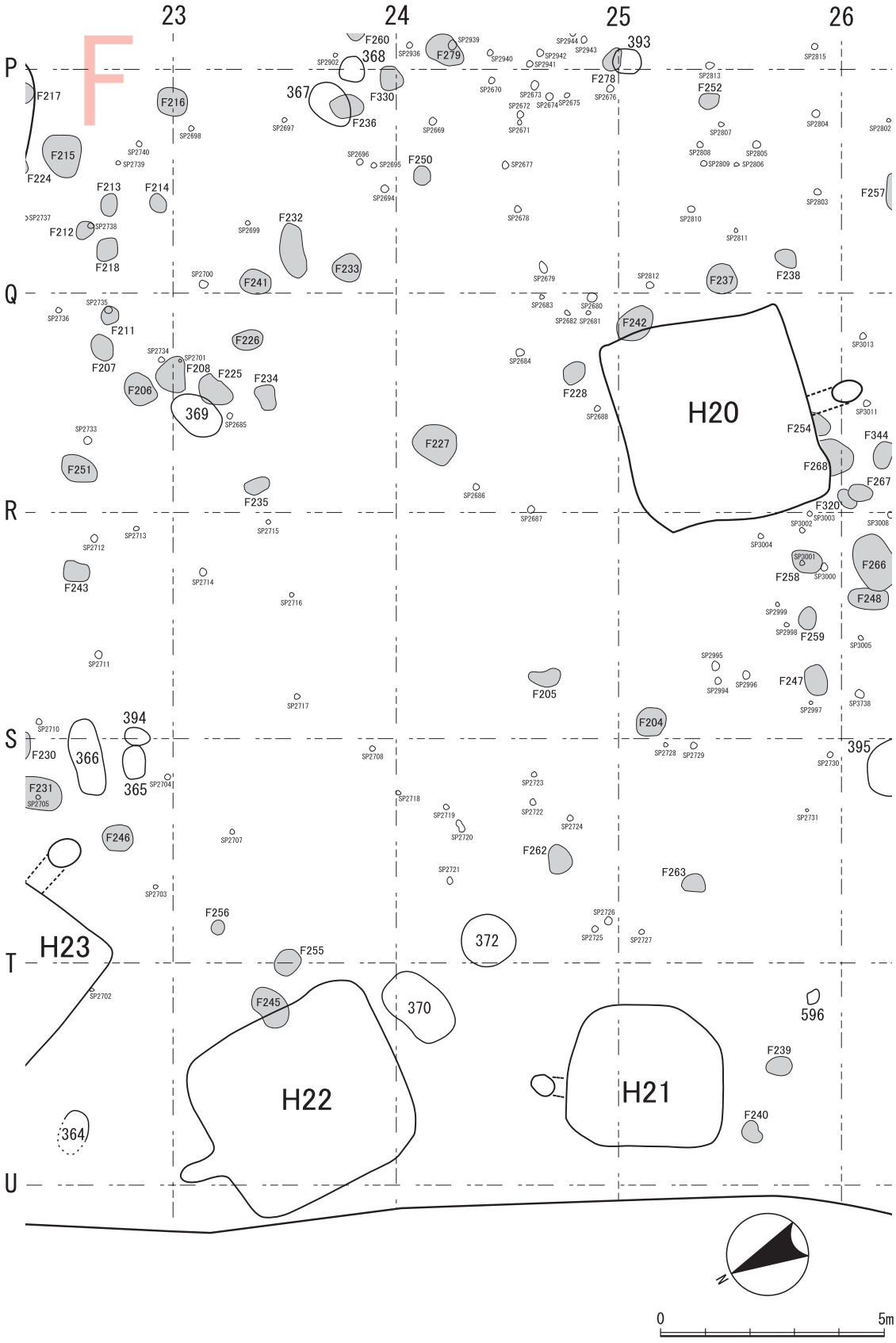
図Ⅲ－10　分割図C


19
20
21
22
P
Q
R
S
T
U
D
F178
F171
347
392
F209
356
362
SP2660
SP2661
F223
SP2741
F217
363
SP2659
SP2658
361
SP2742
F224
F215
H24
F213
SP2738
F212
SP2737
F218
SP2691
SP2690
SP2689
F199
F229
SP2735
SP2736
F211
F207
SP2617
355
SP2732
SP2733
F251
SP2616
357
SP2615
SP2618
SP2712
F203
SP2612
SP2613
SP2614
SP2611
F243
SP2711
F210
358
360
SP2709
F230
SP2710
366
F231
F244
SP2705
SP2706
F246
H23
SP2702
364
N
0
5m

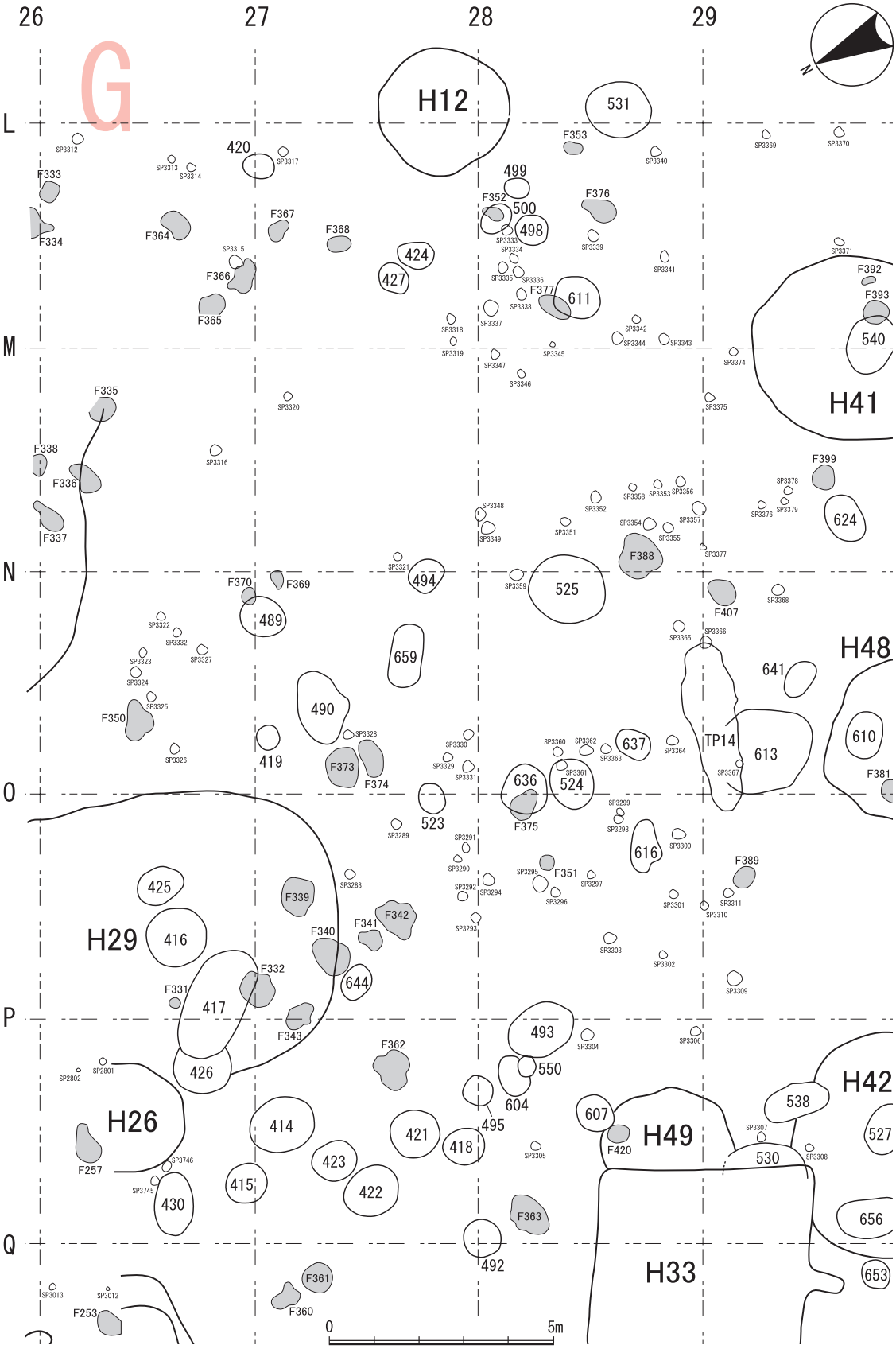
図Ⅲ－11　分割図D


E
23
24
25
26
H16
H25
H28
TP13
K
L
M
N
O
P
F261
F273
F274
F275
F276
F277
F278
F279
F280
F282
F283
F284
F285
F286
F287
F288
F289
F290
F291
F292
F293
F294
F296
F297
F298
F299
F300
F301
F302
F303
F304
F305
F306
F307
F308
F316
F317
F318
F321
F322
F323
F324
F326
F328
F329
F330
F333
F334
F336
F337
F338
F215
F216
F217
F220
F236
F250
F252
F260
378
379
380
385
386
388
391
393
368
371
376
367
0
5m

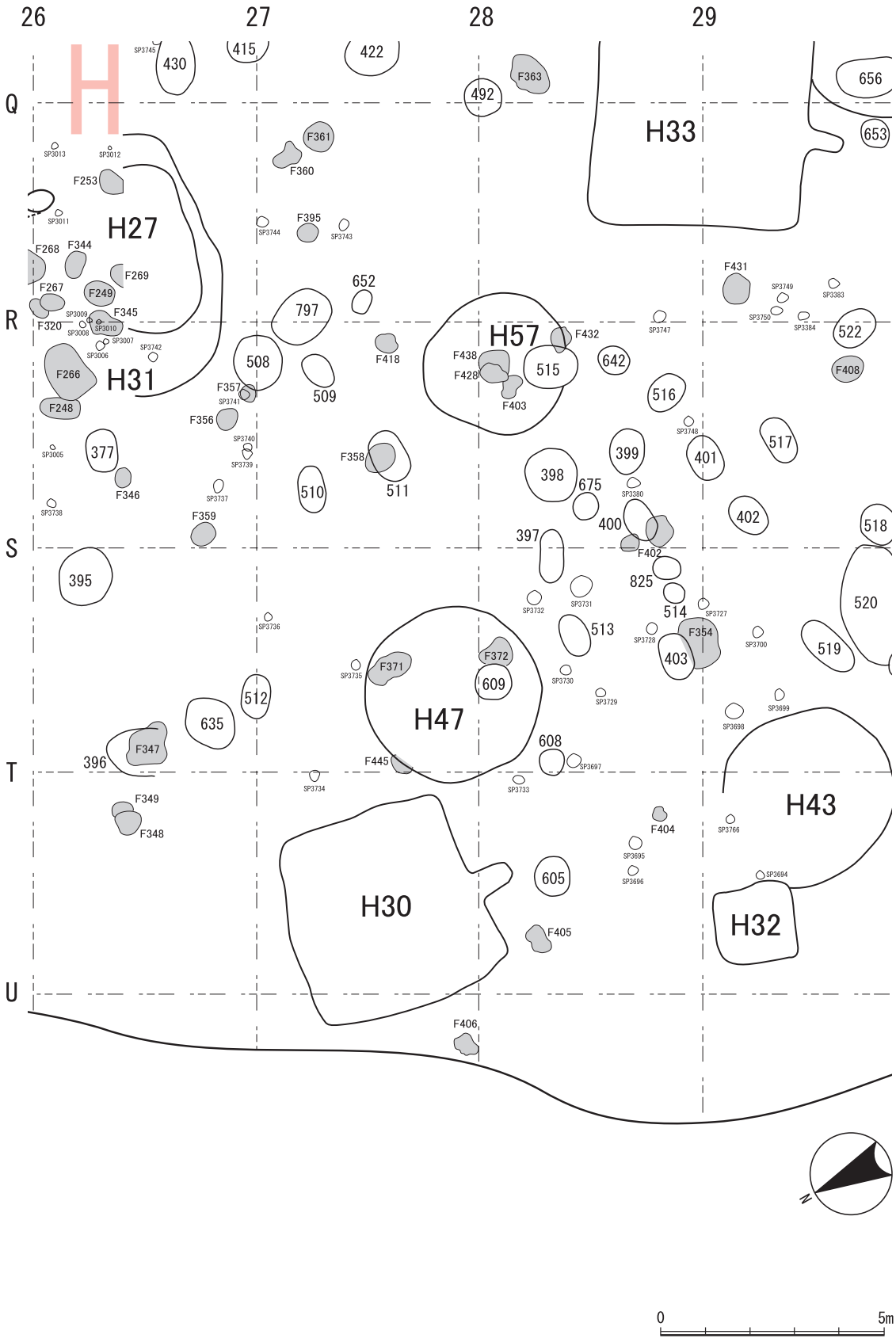
図Ⅲ－12　分割図Ｅ


F
23
24
25
26
P
Q
R
S
T
U
H20
H21
H22
H23
F217
F216
F215
F224
F213
F214
F212
F218
F211
F207
F206
F208
F225
F234
F226
F241
F232
F233
F260
F279
F278
F330
F236
F250
F242
F228
F227
F235
F251
F243
F205
F204
F230
F231
F246
F256
F255
F245
F239
F240
F252
F254
F344
F268
F267
F320
F266
F248
F258
F259
F247
F237
F238
F257
366
365
367
368
369
370
372
393
394
395
596
364
0
5m

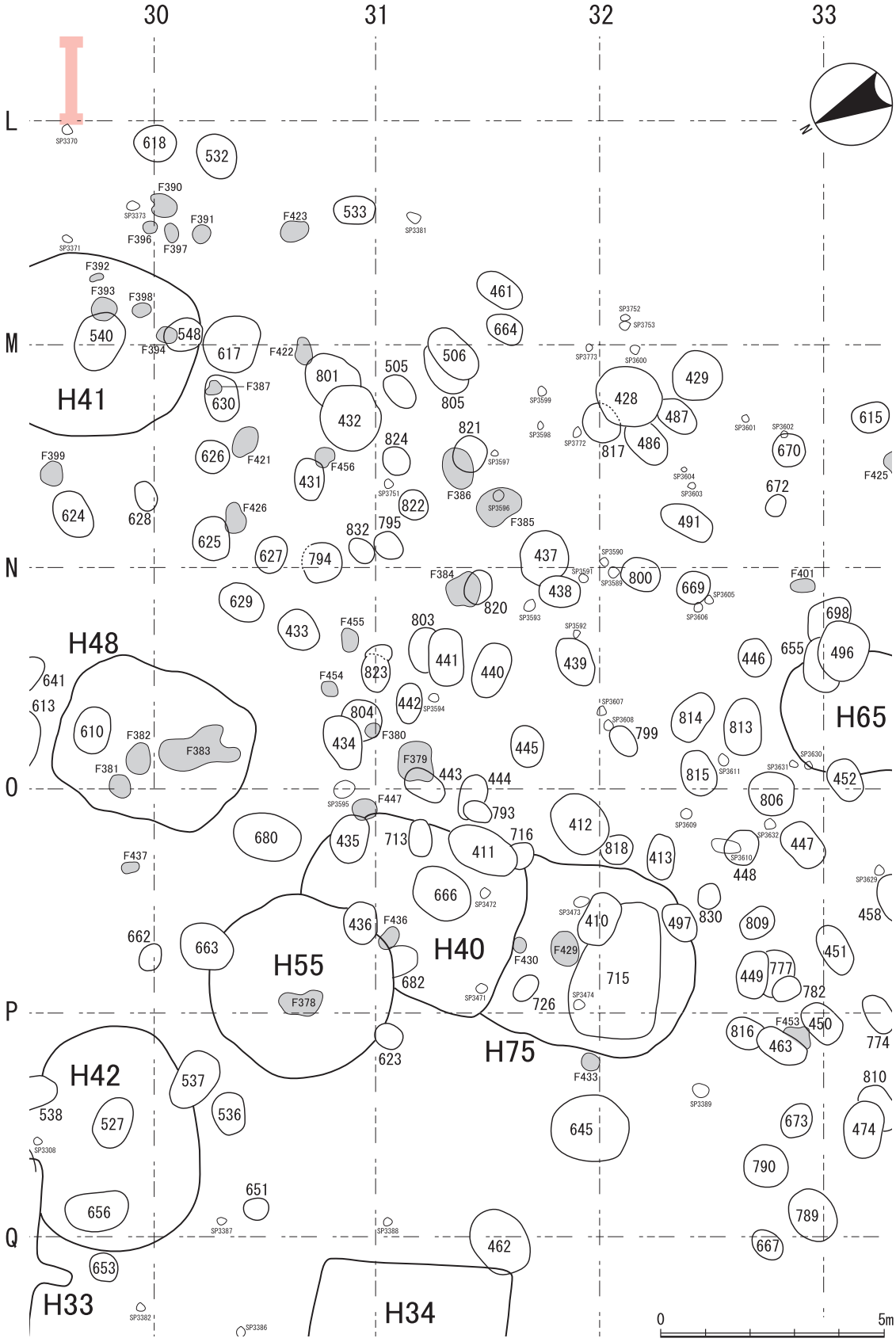
図Ⅲ－13　分割図Ｆ


G
26
27
28
29
L
M
N
O
P
Q
H12
H41
H48
H29
H26
H42
H49
H33
TP14
531
420
499
500
498
424
427
611
540
624
659
494
525
489
490
419
523
524
636
637
613
610
641
616
644
425
416
417
426
414
415
423
422
421
418
493
550
604
495
607
538
527
530
656
653
492
F333
F334
F364
F367
F368
F365
F366
F352
F353
F376
F377
F392
F393
F399
F335
F338
F336
F337
F370
F369
F388
F407
F350
F373
F374
F375
F339
F340
F341
F342
F332
F331
F343
F362
F420
F363
F361
F360
F253
F257
F351
F389
F381
SP3312
SP3313
SP3314
SP3315
SP3316
SP3317
SP3318
SP3319
SP3320
SP3321
SP3322
SP3323
SP3324
SP3325
SP3326
SP3327
SP3328
SP3329
SP3330
SP3331
SP3332
SP3333
SP3334
SP3335
SP3336
SP3337
SP3338
SP3339
SP3340
SP3341
SP3342
SP3343
SP3344
SP3345
SP3346
SP3347
SP3348
SP3349
SP3351
SP3352
SP3353
SP3354
SP3355
SP3356
SP3357
SP3358
SP3359
SP3360
SP3361
SP3362
SP3363
SP3364
SP3365
SP3366
SP3367
SP3368
SP3369
SP3370
SP3371
SP3374
SP3375
SP3376
SP3377
SP3378
SP3379
SP3289
SP3290
SP3291
SP3292
SP3293
SP3294
SP3295
SP3296
SP3297
SP3298
SP3299
SP3300
SP3301
SP3302
SP3303
SP3304
SP3305
SP3306
SP3307
SP3308
SP3309
SP3310
SP3311
SP2801
SP2802
SP3746
SP3745
SP3013
SP3012
0
5m

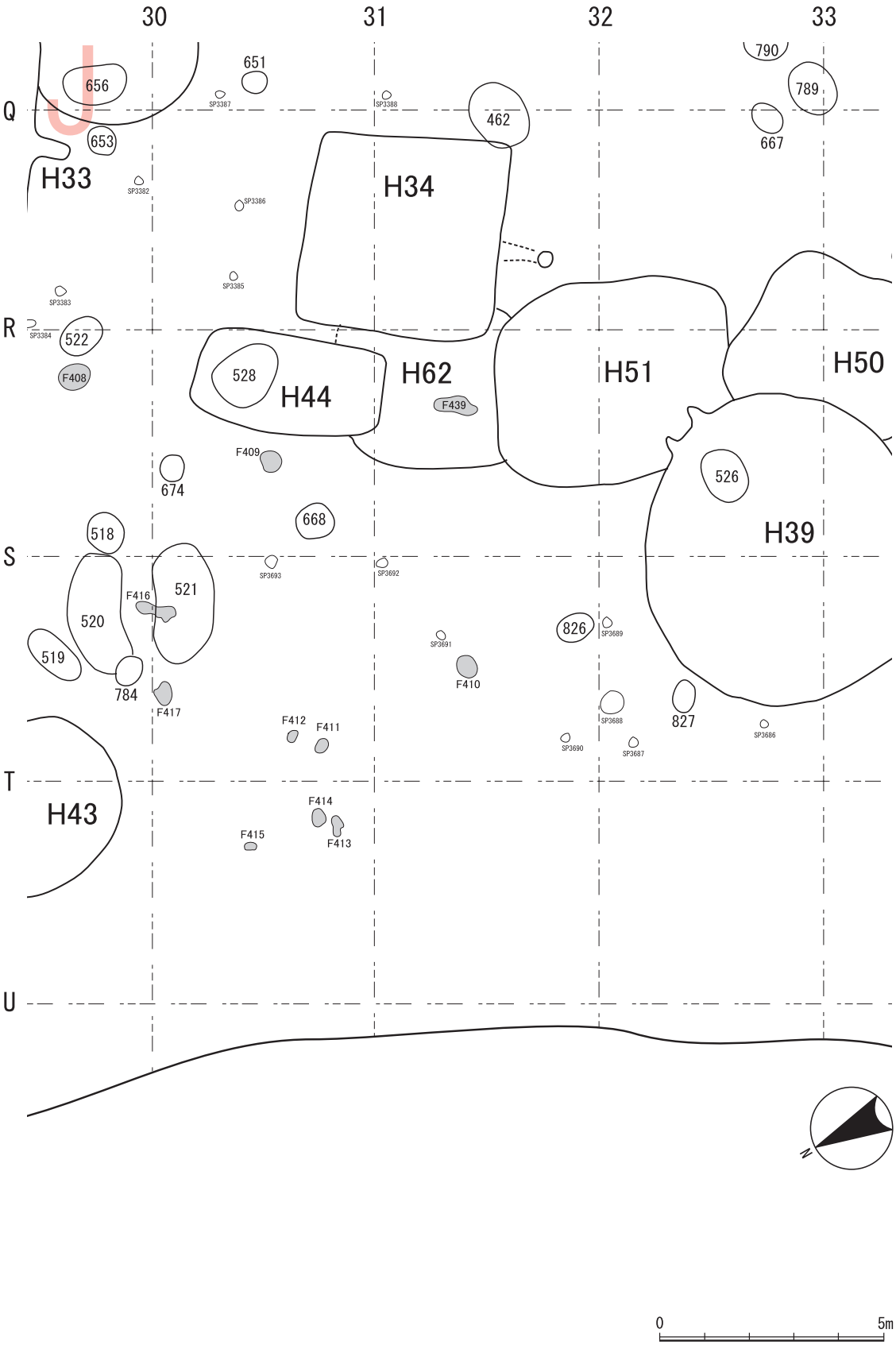
図Ⅲ－14　分割図G


26
27
28
29
Q
R
S
T
U
H
H27
H31
H33
H57
H47
H30
H32
H43
430
415
422
492
656
653
F363
F361
F360
F253
F395
F268
F344
F269
F267
F249
F345
F320
F266
F248
652
797
508
509
F418
F438
F428
F403
515
642
F432
F431
522
F408
516
517
377
F346
F357
F356
F358
511
510
398
399
401
675
400
402
518
397
F402
825
514
520
395
513
F354
403
519
F371
F372
609
512
635
F347
396
F445
608
F349
F348
F404
605
F405
F406
0
5m
N

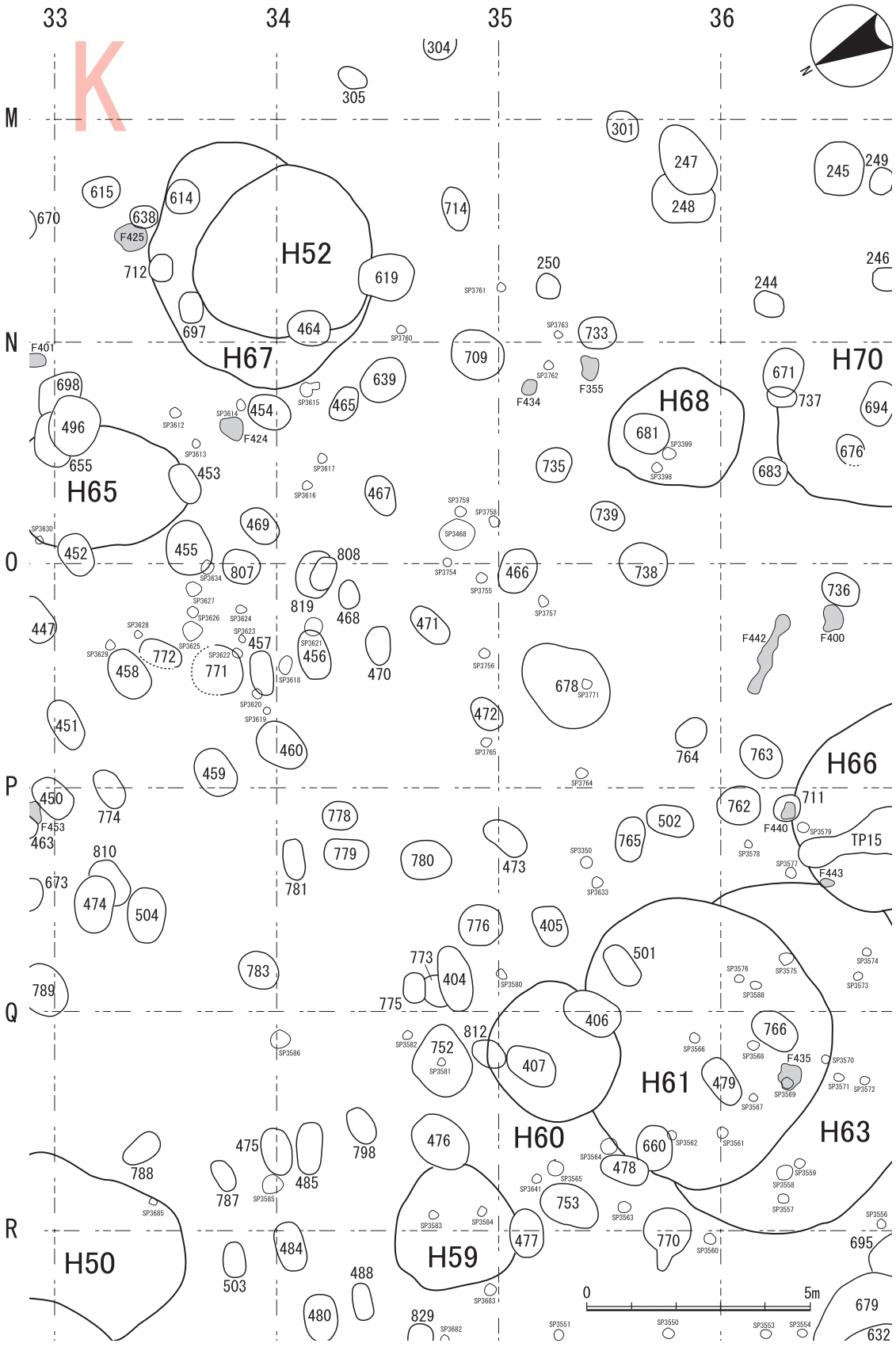
図Ⅲ－15　分割図H


30
31
32
33
L
M
N
O
P
Q
I
N
H41
H48
H65
H55
H40
H75
H42
H33
H34
F390
F391
F396
F397
F423
F392
F393
F398
F394
F422
F387
F399
F421
F456
F426
F386
F385
F384
F455
F454
F380
F379
F382
F383
F381
F447
F437
F436
F429
F430
F378
F433
F453
F401
F425
0
5m

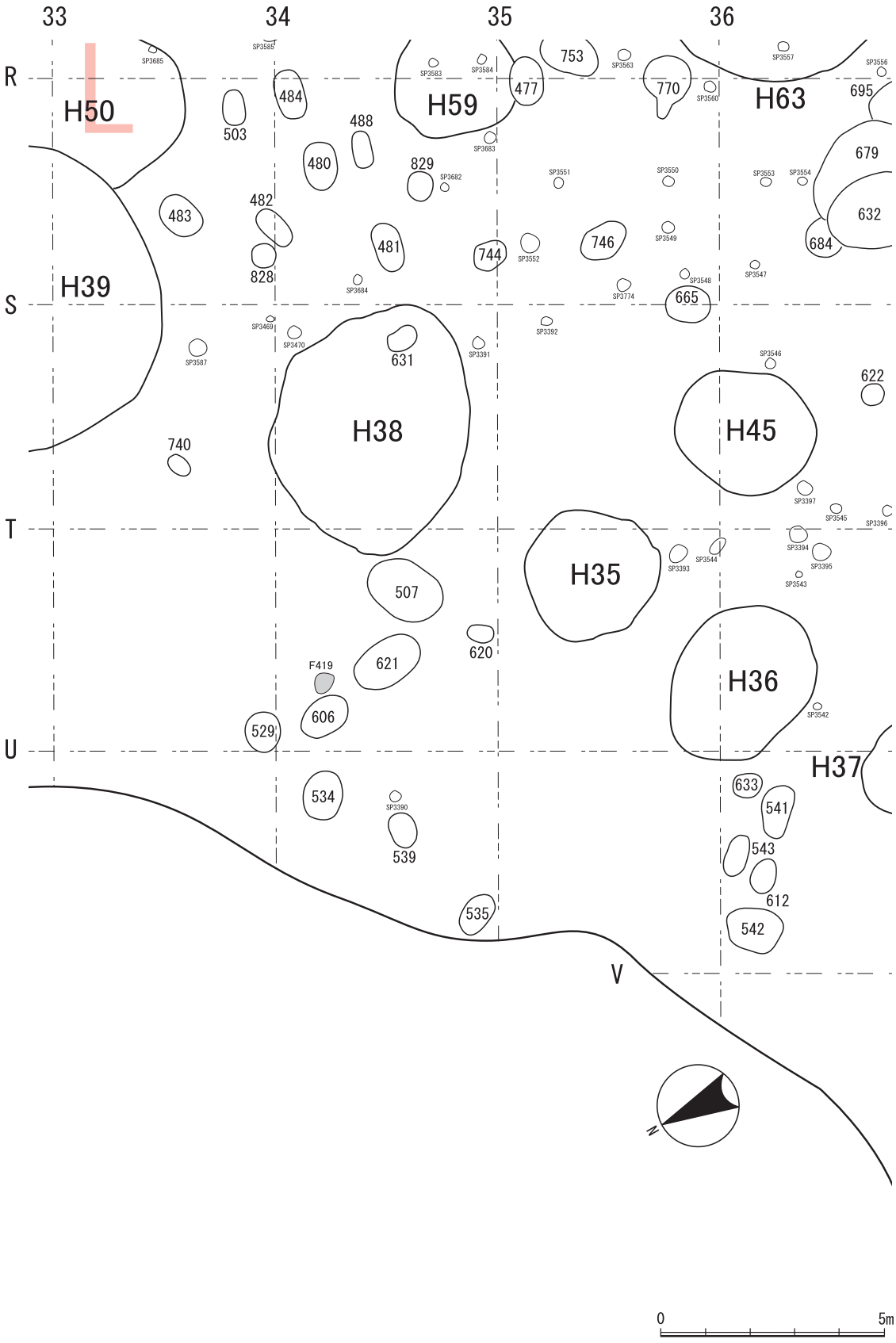
図Ⅲ－16　分割図Ⅰ


30
31
32
33
Q
R
S
T
U
J
656
651
653
462
790
789
667
H33
H34
H44
H62
H51
H50
H39
H43
SP3387
SP3388
SP3382
SP3386
SP3385
SP3383
SP3384
522
528
F408
F439
F409
674
668
526
518
521
520
519
784
F416
F417
SP3693
SP3692
SP3691
826
SP3689
F410
SP3688
827
SP3686
SP3690
SP3687
F412
F411
F414
F415
F413
N
0
5m

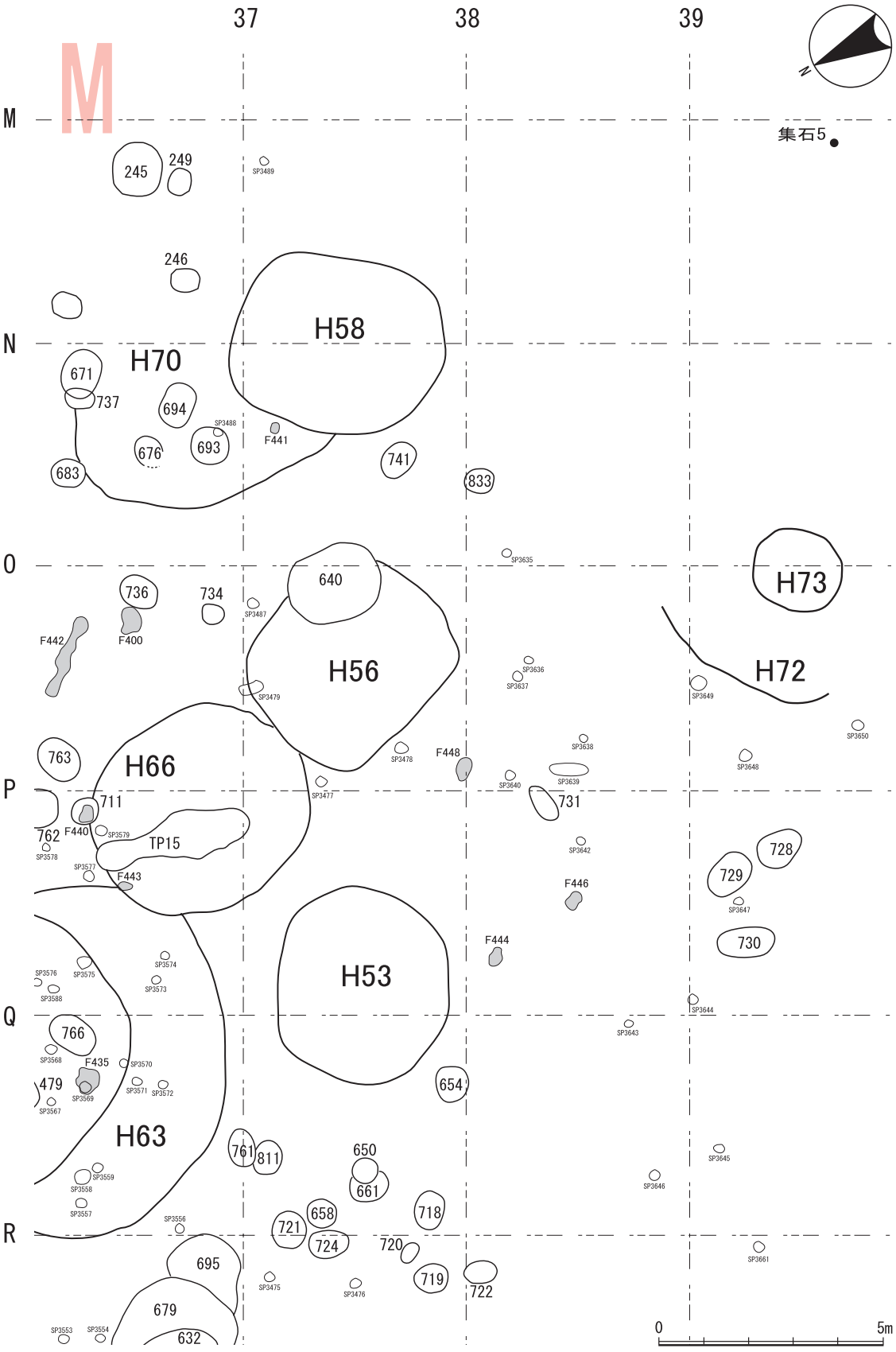
図Ⅲ－17　分割図 J


K
33
34
35
36
M
N
O
P
Q
R
H52
H67
H65
H70
H68
H66
H61
H60
H63
H59
H50
TP15
0
5m

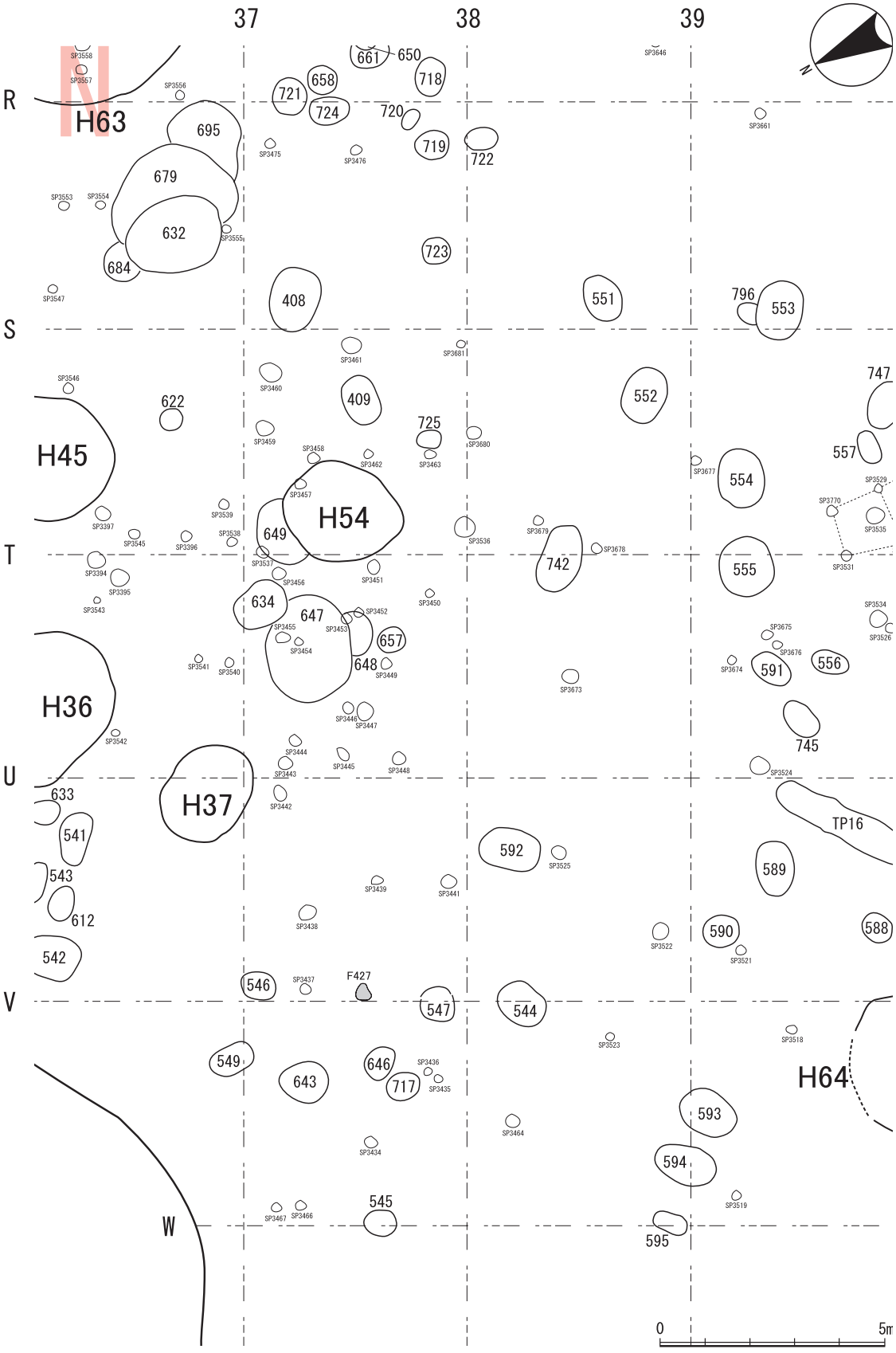
図Ⅲ－18　分割図K


33
34
35
36
R
S
T
U
V
H50
H59
H63
H39
H38
H45
H35
H36
H37
SP3685
SP3585
SP3583
SP3584
SP3563
SP3557
SP3556
SP3560
SP3683
SP3682
SP3551
SP3550
SP3553
SP3554
SP3549
SP3552
SP3684
SP3548
SP3547
SP3774
SP3469
SP3470
SP3587
SP3391
SP3392
SP3546
SP3397
SP3545
SP3396
SP3394
SP3395
SP3543
SP3393
SP3544
SP3542
SP3390
F419
503
484
488
480
829
483
482
828
481
744
746
753
477
770
695
679
632
684
665
631
622
740
507
620
621
606
529
534
539
535
633
541
543
612
542
N
0
5m

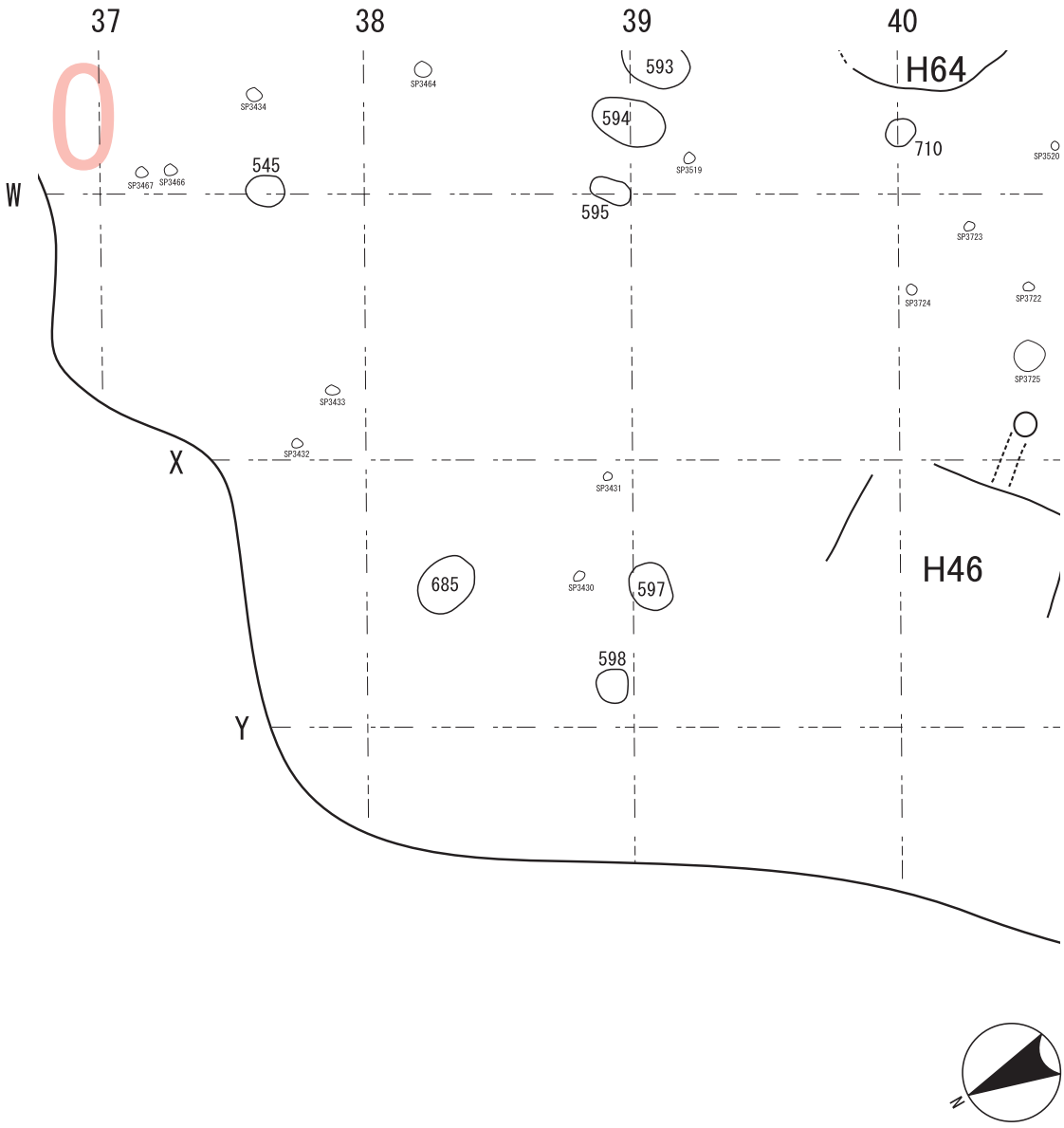
図Ⅲ－19　分割図Ｌ


M
37
38
39
N
M
N
O
P
Q
R
集石5
245
249
SP3489
246
H58
H70
671
737
694
SP3488
693
676
683
F441
741
833
SP3635
640
H73
736
734
SP3487
F442
F400
H56
SP3636
SP3637
H72
SP3649
SP3479
SP3650
763
H66
SP3478
F448
SP3638
SP3648
SP3640
SP3639
SP3477
711
731
762
F440
SP3579
TP15
SP3578
SP3642
728
SP3577
F443
729
F446
SP3647
730
F444
SP3574
SP3576
SP3575
H53
SP3573
SP3588
SP3644
766
SP3643
SP3568
F435
SP3570
479
SP3571
SP3572
SP3569
654
SP3567
H63
761
811
650
SP3645
SP3559
661
SP3646
SP3558
SP3557
SP3556
658
718
721
724
720
SP3661
695
SP3475
SP3476
719
722
679
SP3553
SP3554
632
0
5m

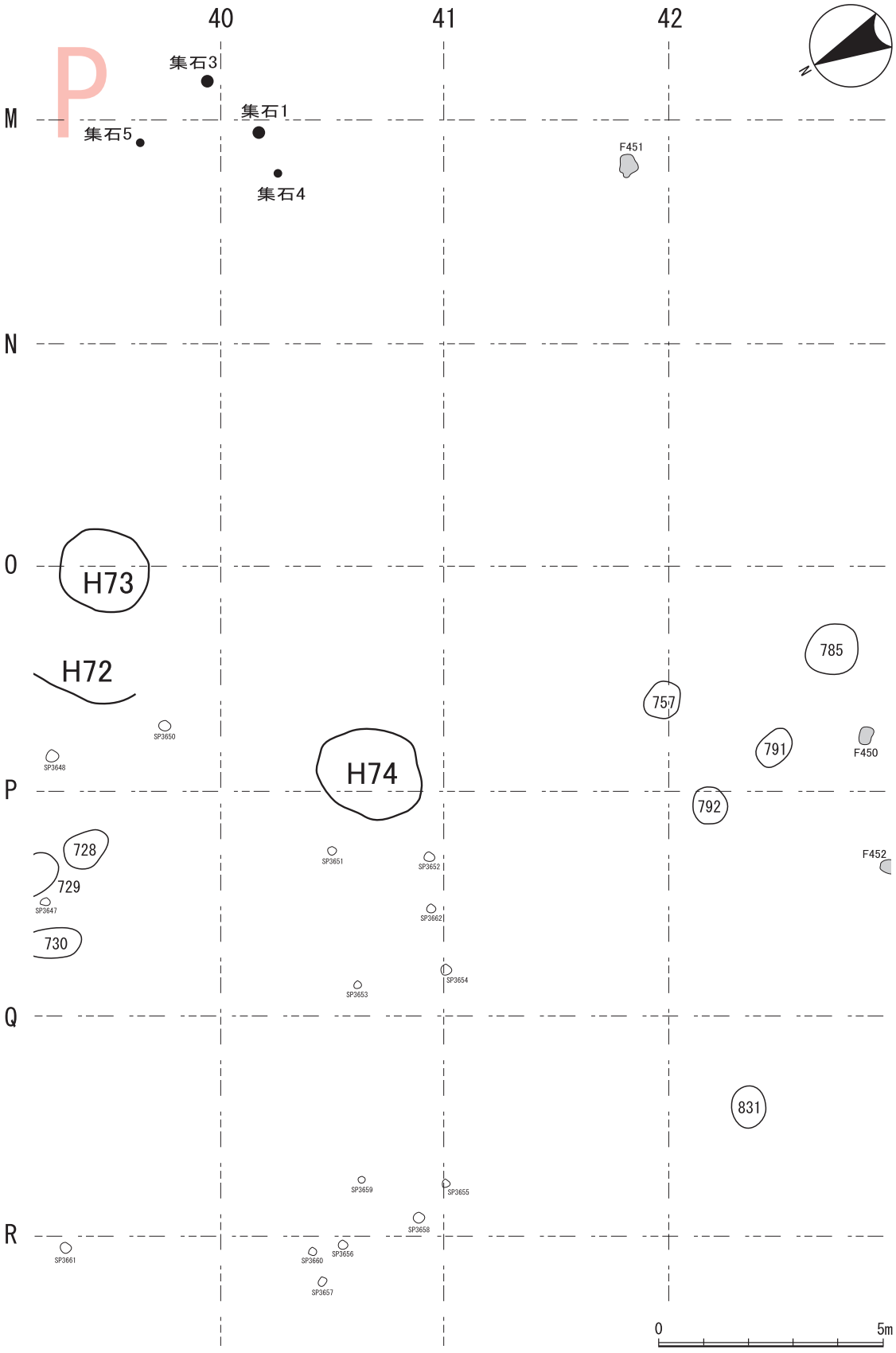
図Ⅲ－20　分割図M


37
38
39
R
S
T
U
V
W
N
H63
H45
H54
H36
H37
H64
TP16
695
679
632
684
658
721
724
661
650
718
720
719
722
723
408
551
796
553
409
622
725
552
747
557
554
649
634
647
657
648
742
555
591
556
745
592
589
590
588
543
612
542
633
541
546
547
544
549
643
646
717
593
594
595
545
F427
0
5m

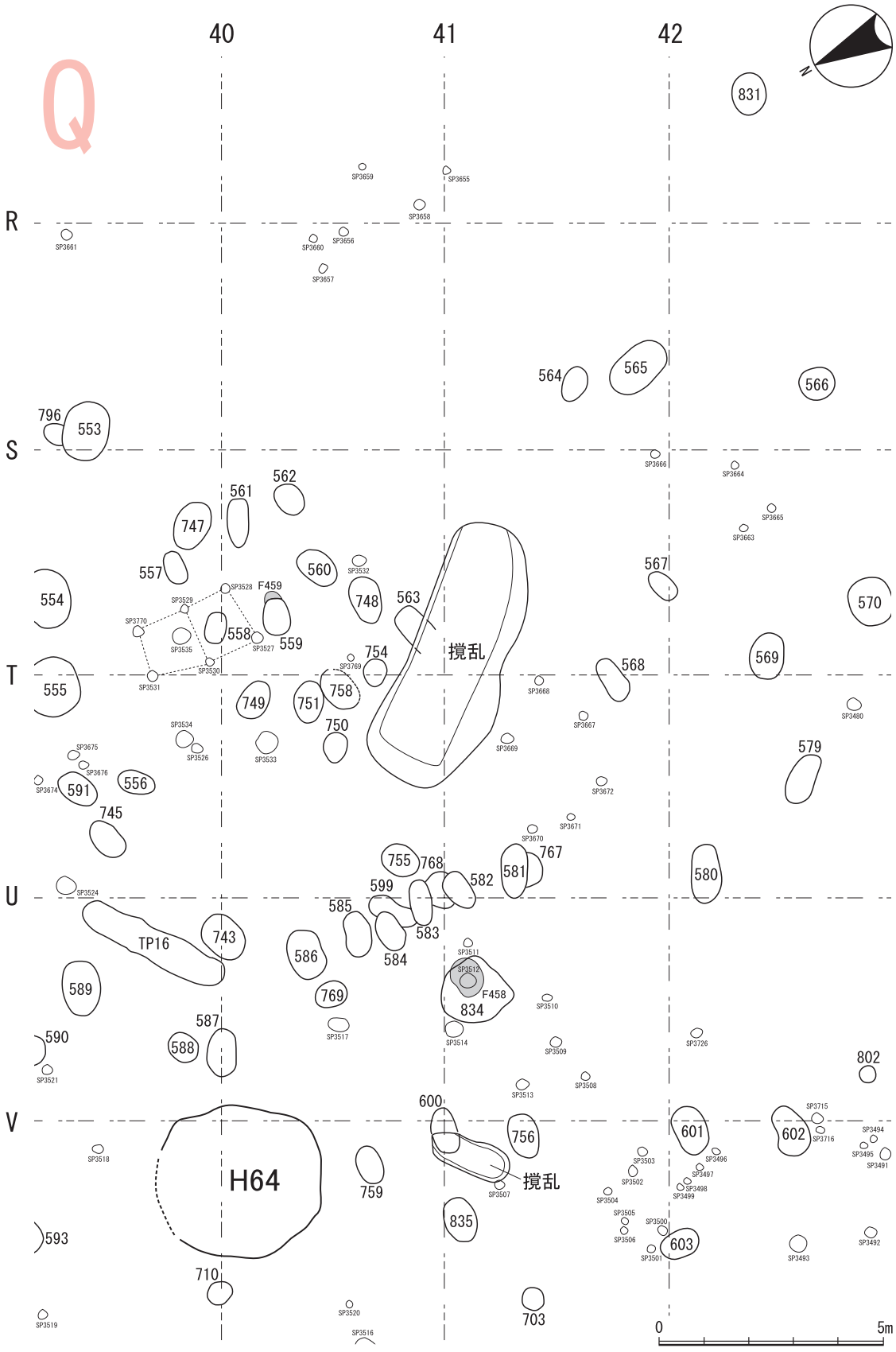
図Ⅲ－21　分割図N


37
38
39
40
O
W
X
Y
H64
H46
593
594
595
710
545
685
597
598
SP3434
SP3464
SP3467
SP3466
SP3519
SP3520
SP3723
SP3724
SP3722
SP3725
SP3433
SP3432
SP3431
SP3430
N
0
5m

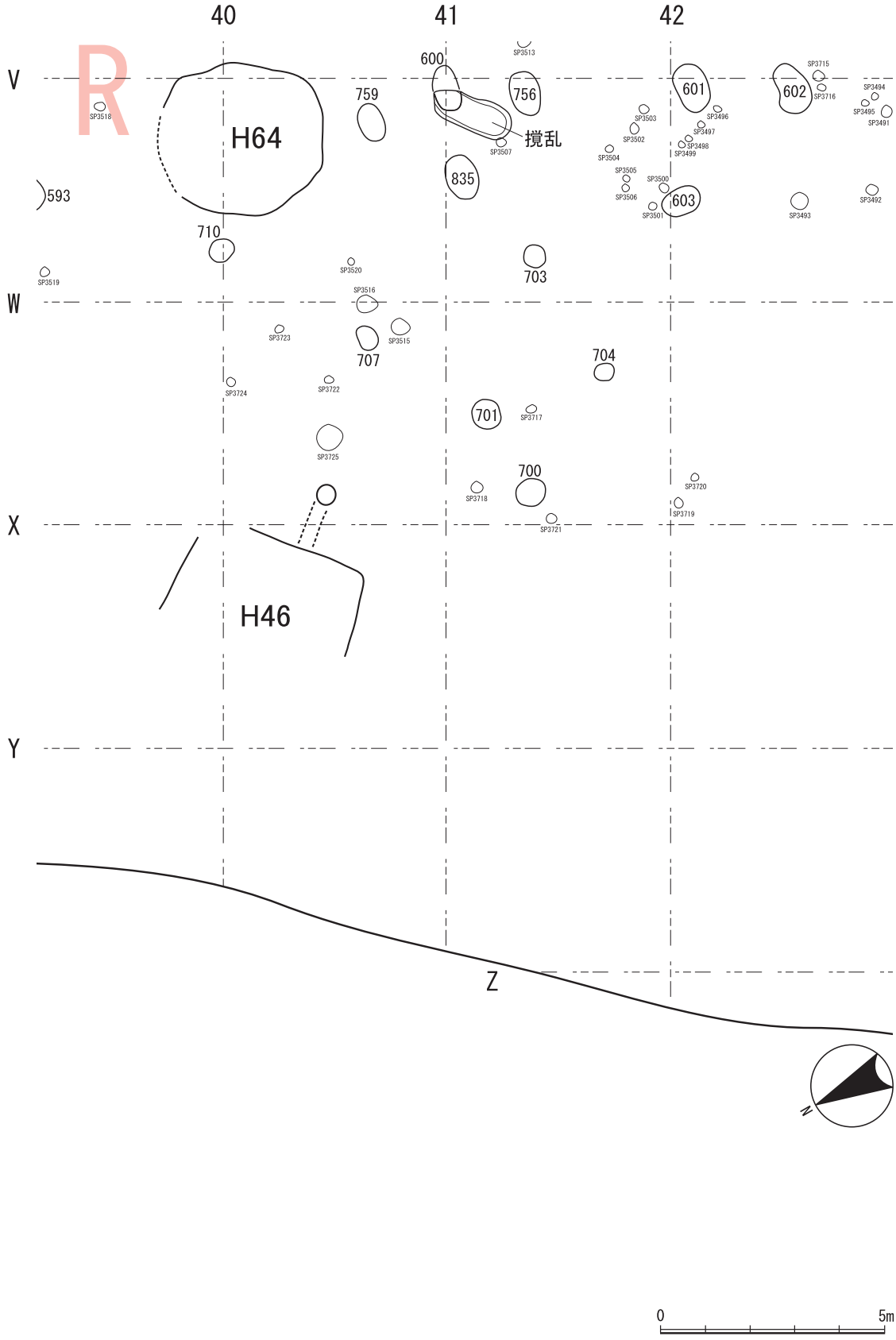
図Ⅲ－22　分割図O


40
41
42
P
集石3
集石1
集石5
集石4
F451
M
N
O
H73
H72
785
757
791
F450
SP3650
SP3648
H74
792
P
728
729
SP3647
730
SP3651
SP3652
F452
SP3662
SP3654
SP3653
Q
831
SP3659
SP3655
SP3658
R
SP3661
SP3660
SP3656
SP3657
0
5m

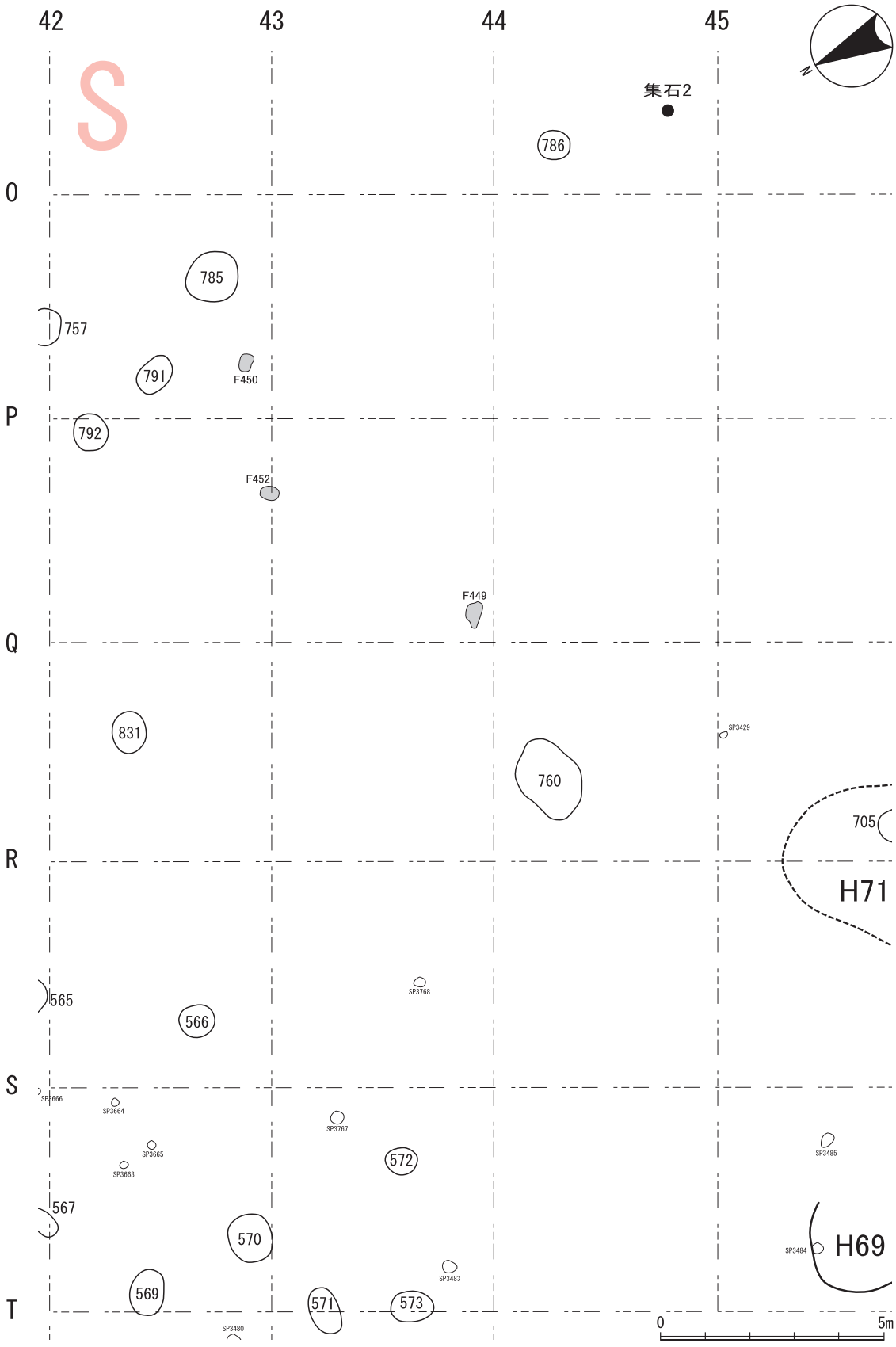
図Ⅲ－23　分割図Ｐ


Q
40
41
42
R
S
T
U
V
N
831
SP3659
SP3655
SP3658
SP3661
SP3660
SP3656
SP3657
564
565
566
796
553
SP3666
SP3664
562
561
747
SP3665
SP3663
557
560
SP3532
567
554
SP3528
F459
SP3529
748
563
570
SP3770
558
559
SP3535
SP3527
754
攪乱
569
SP3530
SP3769
568
555
SP3531
758
SP3668
749
751
SP3480
SP3534
750
SP3667
SP3675
SP3526
SP3533
SP3669
579
SP3676
SP3674
591
556
SP3672
745
SP3671
SP3670
755
768
767
581
580
SP3524
599
582
585
583
TP16
743
586
584
SP3511
SP3512
589
769
F458
834
SP3510
587
SP3517
590
588
SP3514
SP3509
SP3726
802
SP3521
SP3513
SP3508
600
SP3715
V
601
602
SP3716
SP3494
756
SP3518
SP3503
SP3496
SP3495
SP3491
H64
759
SP3497
SP3502
SP3498
SP3499
SP3507
攪乱
SP3504
SP3505
835
SP3500
593
SP3506
603
SP3492
SP3501
SP3493
710
SP3520
703
SP3519
SP3516
0
5m

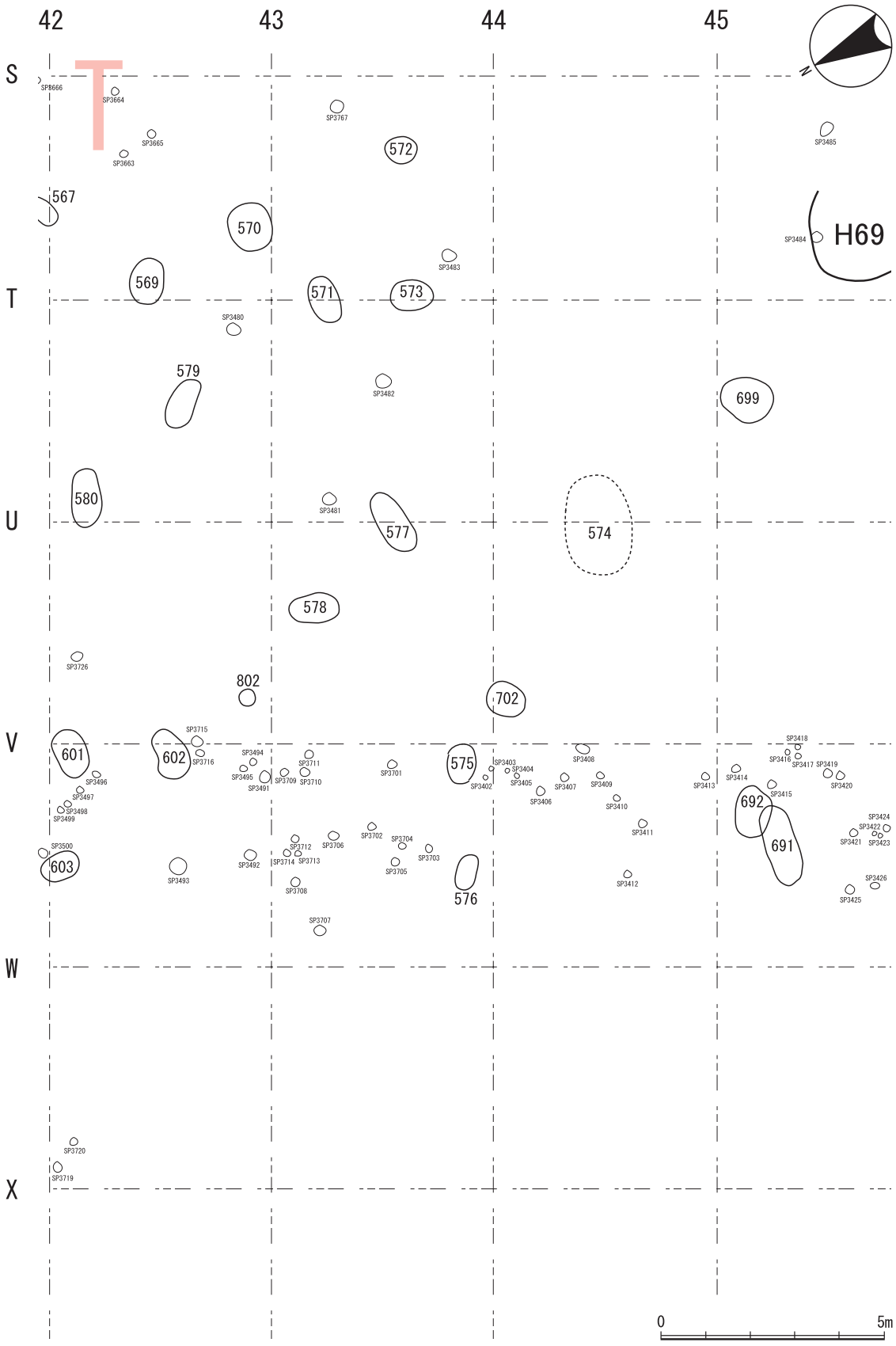
図Ⅲ－24　分割図Q


40
41
42
V
W
X
Y
Z
R
H64
H46
600
759
756
601
602
603
835
593
710
703
704
707
701
700
撹乱
SP3513
SP3518
SP3507
SP3503
SP3502
SP3504
SP3505
SP3506
SP3500
SP3501
SP3496
SP3497
SP3498
SP3499
SP3715
SP3716
SP3494
SP3495
SP3491
SP3493
SP3492
SP3519
SP3520
SP3516
SP3723
SP3515
SP3724
SP3722
SP3717
SP3725
SP3718
SP3721
SP3720
SP3719
N
0
5m

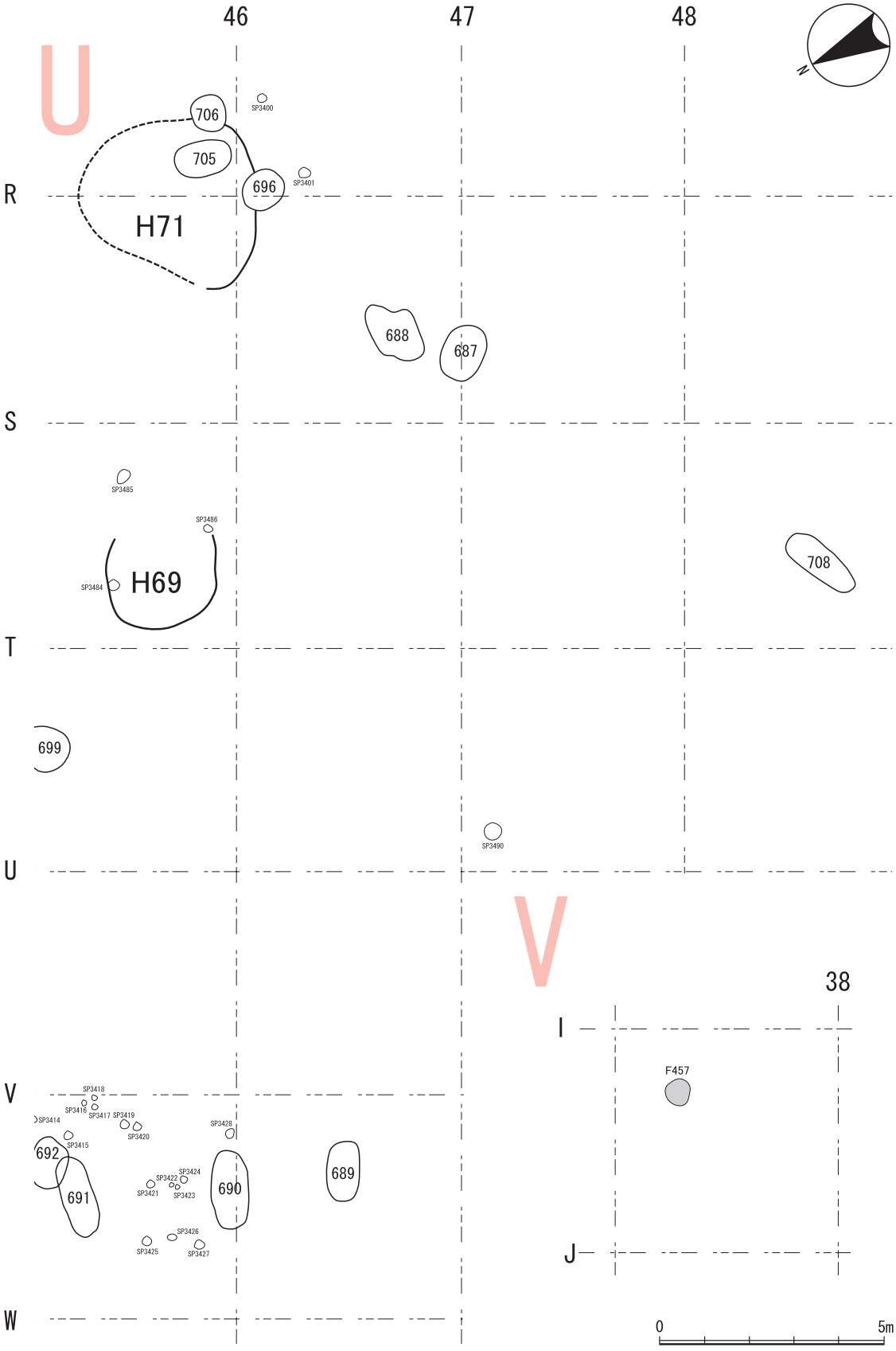
図Ⅲ－25　分割図R


42
43
44
45
S
集石2
786
O
785
757
791
F450
P
792
F452
F449
Q
831
760
SP3429
705
R
H71
565
566
SP3768
S
SP3666
SP3664
SP3665
SP3663
SP3767
572
SP3485
567
570
SP3484
H69
SP3483
569
571
573
T
SP3480
0
5m

図Ⅲ－26　分割図Ｓ


42
43
44
45
S
T
U
V
W
X
T
H69
567
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
601
602
603
691
692
699
702
802
SP8666
SP3664
SP3665
SP3663
SP3767
SP3485
SP3484
SP3483
SP3480
SP3482
SP3481
SP3726
SP3715
SP3716
SP3494
SP3495
SP3491
SP3709
SP3711
SP3710
SP3701
SP3496
SP3497
SP3498
SP3499
SP3500
SP3493
SP3492
SP3712
SP3714
SP3713
SP3706
SP3702
SP3704
SP3703
SP3705
SP3708
SP3707
SP3403
SP3404
SP3402
SP3405
SP3406
SP3407
SP3408
SP3409
SP3410
SP3411
SP3412
SP3413
SP3414
SP3415
SP3416
SP3417
SP3418
SP3419
SP3420
SP3421
SP3422
SP3423
SP3424
SP3425
SP3426
SP3720
SP3719
0
5m

図Ⅲ－27　分割図Ｔ


46
47
48
N
U
706
705
696
SP3400
SP3401
H71
R
688
687
S
SP3485
SP3486
H69
SP3484
708
T
699
SP3490
U
V
38
I
F457
V
SP3418
SP3416
SP3417
SP3419
SP3414
SP3420
SP3428
SP3415
692
691
SP3422
SP3424
SP3421
SP3423
690
689
SP3426
SP3425
SP3427
J
W
0
5m

図Ⅲ－28　分割図Ｕ・Ｖ

Ⅳ　遺構と遺物

1　概要

平成14・15・16年度に調査した土坑495基、Ｔピット６基、焼土299ヵ所、小ピット1,257基、集石遺構５基について報告する。調査区内のうち、もと西島松３遺跡側は造成によりⅣ層深部まで削平を受け、多くの遺構が失われている。一方、平成14年度の調査範囲は元地権者の家屋敷地であり、建物跡や防空壕の跡などの局地的な撹乱を受けてはいるが、それ以外の場所は包含層の残りが良好だった。この地域は、縄文時代後期後葉の遺物を多量に含む盛土遺構（ＭＣ盛土）の範囲と重なり遺構の確認が難しい状況であった。結果として遺構分布図上でも遺構の密度に差が生じたが、調査区境には、縄文時代前期・中期・後期の住居址やＭＣ盛土層を掘りぬく円形土坑が続いていたとみられる。また、本報告の遺構図は、なるべく番号順の掲載に努めたが、遺物の量により土坑番号が前後している部分がある。

2　土坑

第一分冊では、平成14年度に調査した土坑Ｐ337からＰ394、平成15・16年度に調査した土坑Ｐ395からＰ835合計495基の土坑を報告する。

Ｐ337　（図２　図版８）

遺構　Ⅲ層で確認された長径約220㎝の不整形の浅い土坑である。平面形の西側は撹乱層につられ掘りすぎたもの。覆土下位には少量のⅣ層起源のパミスが少量混じる黒色土が堆積し、Ⅳ層との境は明瞭である。坑底部中央より縄文時代前期前半の静内中野式相当の破片が出土、破片の大半は４の個体になった。本土坑周辺から西側のキトウシュメンナイ川縁にかけて、同時期の遺物がまとまって出土していることから、本土坑は住居址の窪みの一部であった可能性もある。同時期の柱穴とみられるＰ342が隣のグリッドで検出されており、両遺構は関係があるのかもしれない。

遺物　出土した土器片には中・後期の破片がわずかに入るが、圧倒的に静内中野式相当の破片が多い。１は覆土中出土の黒曜石製のスクレイパー、２～４は静内中野式相当の土器。いずれも胎土には繊維を含み、４に施された縄文は斜行であるが、一部の節が摩り消されており、より古い綱文式に似る特徴を持つ。同じように節をつぶした資料が56号住居（北埋調報224）や包含層出土の資料（北埋調報248）にみられる。

Ｐ338（図３　図版９）

遺構　Ⅲ層面で確認した小判型を呈する土坑。覆土にはⅡ層起源の黒色土が入る。接するように位置するＰ339をわずかに切る。Ⅲ層からの調査なので深さは約10㎝しか確認できなかった。出土遺物から後期後葉以降の土坑とみられる。

遺物　覆土中から中期・後期後葉の土器片少量と、フレイク３点が出土している。

Ｐ339（図３　図版９）

遺構　Ⅲ層面で確認した楕円形を呈する土坑。隣接するＰ338に切られている。覆土にはⅡ層起源の黒色土が入る。深さは約８㎝しか確認できなかった。

遺構　覆土から遺物は出土していない。土坑の特徴が隣に位置するＰ338に類似することから、縄文時代後期後葉と推定した。

Ｐ340（図３　図版９）

遺構　Ⅲ層面で確認した楕円形の土坑。覆土下位にはⅣ層起源の暗褐色土が入り、上位にはⅡ層起源の黒褐色土が落ち込む。検出面にはやや大きな礫が入る。深さは70㎝を超えており、断面図太線部分で柱穴と推定している。

遺物　覆土中からは中期の土器片21点のほか、礫が５点出土。土器から判断すると縄文時代中期のものとみられる。

Ｐ341（図３　図版８・９）

遺構　Ⅲ層面で確認した楕円形の土坑。覆土下位はⅢ層・Ⅳ層が混じる暗褐色土層が入り、最上層にはⅡ層がⅢ状に落ち込む。検出面付近はやや不整形だが、土坑の中位ぐらいから下は隅丸方形に掘られている。坑底付近の南東壁面には長径30㎝を超える礫が長軸にそって１点ある。土坑の深さは約80㎝あり、形状からも墓の可能性がある。

遺物　覆土中からは中期の円筒上層式とみられる破片が１点

（掲載№１）、一部被熱した（トーン表現）すり石（掲載№２）１点が出土した。出土遺物から判断すると、縄文時代中期の墓と考えられる。

P342（図４　図版８・９）

遺構　Ⅲ層面で確認したほぼ円形の土坑。覆土上位にはⅡ層の落ち込み、覆土下位はⅢ・Ⅳ層が混じる暗褐色土層が入る。平面形は小さいが深さがあり、柱穴状である。

遺物　覆土から静内中野式相当の破片１点出土したほかに遺物はない。遺構の時期も縄文時代前期前半とみられる。P337との関連が考えられる遺構である。

P343（図４　図版８・９）

遺構　Ⅲ層面で確認したやや隅丸方形の土坑。覆土上位にはⅡ層が落ち込み、覆土下位はⅢ・Ⅳ層が混じる暗褐色土層が入る。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは少量のフレイクのほか、縄文時代中期の土器片のみが43点出土した。１は口縁部片で、胎土に繊維を含み、内面はみがかれている。口縁部の貼り付けは地紋を施文後に貼付し、縄の圧痕を施している。２は胴下部片で、胎土には砂粒を含み、内面はみがかれていない。

P344（図４　図版10）

遺構　Ⅲ層面で確認したほぼ円形で坑底面も平らに掘られた土坑。覆土上位はⅡ層起源の黒褐色土、覆土下位はⅡ・Ⅲ・Ⅳ層が混じる黒褐色土層が入る。出土遺物から縄文時代後期後葉としているが、同時期の土坑はまとまって検出されており、このような形状で、単体で存在する土坑は後北C_2D式期のものと推測する。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片１点、後期後葉の破片３点が検出されている。

P345（図４　図版10）

遺構　Ⅲ層面で確認した楕円形の土坑。覆土上位にはⅡ層が落ち込み、覆土下位はⅢ・Ⅳ層が混じる暗褐色土層が入る。出土遺物から縄文時代中期とみられる。

遺物　覆土から縄文時代中期の破片12点出土したほかフレイクが６点出土している。

P346（図５　図版10）

遺構　Ⅲ層面で確認した楕円形の土坑。覆土最上位にはローム粒を含むⅡ層が落ち込み、覆土下位はⅢ・Ⅳ層が混じる黄褐色土層が厚く入る。坑底も平らに調整され、土層は埋め戻しの様相を呈する。出土遺物から判断すると縄文時代中期の墓とみられる。

遺物　覆土からは礫１点のほか、縄文時代中期の破片21点が出土した。

P347（図５　図版10・11）

遺構　Ⅲ層面で確認した不整形の土坑。坑底面も凹凸があり、覆土は全般にⅡ層が主な黒色土層である。覆土中には遺物が多数含まれる。出土遺物の新しいもので縄文時代晩期中葉の土坑とみているが、近現代の撹乱の可能性がある。

遺物　覆土からはスクレイパー１点（掲載№１）のほか縄文時代後期後葉の土器片が76点、これにまぎれるように晩期中葉の破片が２点出土した。掲載２は晩期中葉の口縁部片、器形は浅鉢の可能性がある。３は後期後葉の無紋の鉢口縁部片で、突き瘤がある。４は沈線文が施された鉢の破片である。

P348（図５　図版10・11）

遺構　撹乱の穴を抜いた時点で壁面に断面が目視でき確認した土坑。平面形は円形に近かったものとみられる。覆土上部には焼土があり、焼骨もみられる。焼土下にはⅡ層が混じる黒褐色土層がはいり、断面に礫や土器が見える状況であった。出土遺物から判断すると後北C_2D式期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは礫３点のほか土器は後期後葉の破片が11点、後北C_2D式の破片が２点出土している。掲載１は、後北C_2式の口縁部片で、口縁部の添付帯は１本で、微隆起線紋には本体と異なる白色の粘土が利用されている。

P349（図６　図版11）

遺構　Ⅲ層面で確認した小判型の土坑。覆土はローム粒をわずかに含むⅡ層の落ち込みで、坑底面はⅢ状に窪む。出土遺物から縄文時代晩期中葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは後期後葉の破片が32点、晩期中葉の破片２点が出土。掲載１は後期後葉の深鉢口縁部片で、沈線文の間を棒状工具で連続刺突したもので、三ツ谷式期相当とみられる破片。２は口唇部に棒状工具による刻みが施された晩期中葉とみられる破片である。

P350（図６　図版11）

遺構　撹乱下のⅣ層面で検出した円形の土坑。覆土は黒色のⅡ層の落ち込みで、坑底面は平らである。出土遺物から後期後葉のものとしたが、形状は後北C_2D式期の土坑である可能性がある。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片４点と後期後葉の破片１点が出土している。

P351（図６　図版11）

遺構　Ⅲ層面で検出した直径150㎝ほどの円形の土坑。覆土にはパミスを含む黒色土層がはいる。

出土遺物は後期後葉の破片も入るが、坑底に木根痕も見られるため中期の土坑とした。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片18点と後期後葉の破片２点が出土。１は天神山式期相当の口縁部片で、口唇に半截

竹管による押し引き文が施される。

P352（図7　図版11・12）

遺構　Ⅳ層面で検出した長径約90㎝の楕円形の土坑。覆土は全般にローム粒を含む黒色土層が堆積する。遺構の残りは悪いが、覆土から出土した多数の土器片には後北C_2D式期の破片が含まれており、同時期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片2点と後期後葉から晩期前葉の破片91点、後北C_2D式の破片4点が出土。1は御殿山式相当の復元個体であるが、本土坑からは破片2点のみ接合し、あとは包含層の遺物である。爪形文で区画された文様帯には曲線文が施される。2～5は胴部にくびれを持つ深鉢片。2には遺構から1片が接合している。小波状の口縁部に沈線文が施される。3～5は同一個体、これも遺構からは1点が接合したのみで、文様帯の境目に、竹管状工具による三日月形の細かな刺突が施される。2～5は破片の厚さから三ツ谷式相当と見られる。6は鉢形土器片、文様には三叉文もみられる。7は後北C_2D式の底部片。本土坑から3点と隣に位置するP353から1点接合した。

P353（図8　図版11・12）

遺構　Ⅳ層面で検出した直径約90㎝のほぼ円形の土坑。覆土はローム粒を含む黒色土層がはいる。隣にあるP352と同様にMC盛土層を掘りぬく土坑で、覆土からは後期後葉の破片が多数検出された。出土遺物から判断すると後北C_2D式期の土坑と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片1点と後期後葉から晩期前葉の破片82点、後北C_2D式の破片5点のほか石器が少量出土。1は黒曜石製で、縄文時代中期の石槍か。2～4は三ツ谷式～御殿山式に相当する小形の鉢の破片で、2は口縁部に沈線文がめぐる。このほかP352－7に掲載した底部片に本土坑の破片が含まれている。

P354（図8　図版13）

遺構　Ⅳ層面で検出した長径約4ｍの楕円形の大型土坑。覆土上位にはパミス混じりのⅡ層がⅢ状に落ち込み、覆土下位にはⅢ・Ⅳ層の混じる暗褐色土層がはいる。出土遺物から早期の東釧路Ⅳ式相当の時期とみられるが、土坑の規模から住居址の可能性もある。

遺物　覆土上位からは縄文時代後期後葉の破片5点が、覆土下位からは縄文時代早期の東釧路Ⅳ式相当の破片が16点出土している。1は東釧路Ⅳ式相当の深鉢口縁部片で、接合破片のすべてが本遺構から出土したもの。2は三ツ谷式相当の口縁部片で、口縁部には突瘤文、編み紐の圧痕文が施される。

P355（図9　図版12・13）

遺構　Ⅲ層面で検出した直径約70㎝の円形土坑。覆土にはパミス混じりのⅡ層が落ち込む。覆土からは縄文時代後期後葉の破片が多数出土した。本遺構の位置に盛土遺構は分布していないとされるが、出土遺物の状況は盛土遺構を掘りぬいた土坑に類似している。本土坑と特徴が似るP357が並んで分布することから、後北C_2D式期の土坑かもしれない。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片2点、後期後葉の破片128点が出土。1、2は同一個体とみられる深鉢片で、口縁部の突起下と胴部に貼瘤文があり、口縁部の突瘤文と同じ工具で刺突される。3は小形の土器底部片で、器面に0段の縄文が施される。底部は上げ底である。いずれも三ツ谷式相当の破片とみられる。

P356（図9　図版12）

遺構　Ⅲ層面で検出した長径約90㎝短径75㎝の楕円形の土坑。覆土は最上層にⅡ層が落ち込むほかはⅢ・Ⅳ層が混じる埋め戻しの様相を呈する。遺構の位置は盛土遺構の範囲と重なり、それを掘りぬいているとみられるが、覆土中の遺物が少ない。遺物や遺構の状況から縄文時代晩期前葉の墓とみている。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片2点、後期後葉の破片4点が出土している。

P357（図9　図版15）

遺構　直径約65㎝の円形の土坑。覆土にはパミス混じりのⅡ層が落ち込む。確認が遅く深さも浅いが、土器片は多かった。出土遺物の傾向から判断して晩期前葉の土坑としたが、約1ｍ離れて位置するP355と特徴が似ており、後北C_2D式期の土坑である可能性がある。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片1点、後期後葉の破片27点、のほか礫、石鏃などが出土している。1は五角形の黒曜石製の石鏃で、縄文時代早期の流れ込みとみられる。

P358（図9　図版13・15）

遺構　キトウシュメンナイ川に面する斜面縁のⅣ層面で検出した長径約190㎝、短径170㎝のほぼ円形の大型土坑。覆土上位にはⅡ層が落ち込み、覆土下位にはⅢ層が混じる黒褐色土層が入る。Ⅳ層で確認したため深さは平面の規模のわりに浅い土坑である。出土遺物から判断して縄文時代中期の土坑とみている。約1ｍ離れて並ぶP360と特徴が似ており、同時の土坑とみられる。

遺物　覆土下位から縄文時代中期の破片のみ32点が検出されている。1は中期の胴部片で、貼付帯上に半截竹管による押引文、胴部には腹面を利用した沈線文が施される。

P359（図10　図版13・15）

遺構　Ⅳ層面で検出した長径約80㎝の長円形の土坑。覆土上位にはパミスやブロック状のⅣ層が混じる黒褐色土、下位にはⅢ・Ⅳ層の混土が入り、埋め戻しの様相である。出土遺物から、縄文時代晩期中葉の墓と考えられる。

遺物　覆土からは後期後葉の破片４点、晩期中葉の破片８点出、スクレイパーなどが検出されている。１は頁岩製のスクレイパー、２、３は同一個体片とみられる晩期中葉の胴部、底部片である。

Ｐ360（図10　図版14）

遺構　キトウシュメンナイ川に面する斜面縁のⅣ層面で検出した、ほぼ円形の大型土坑である。覆土上位にはⅡ層が落ち込み、覆土下位にはⅢ・Ⅳ層が混じる黒褐色土層が入る。Ⅳ層で確認したため深さは浅い。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみている。約１ｍ離れて並ぶＰ358と特徴が類似しており、ほぼ同時期の土坑とみられる。

遺物　覆土下位からは縄文時代中期の破片のみ22点が検出されている。

Ｐ361（図10　図版14・15）

遺構　Ⅳ層面で検出した長径約100㎝、短径約65㎝の小判型の土坑。坑底面は平らであり、覆土は全般にパミスやⅣ層を含み、埋め戻しの様相を呈する。土坑長軸南東側では人歯を確認しており、墓とみられる。出土遺物から判断すると縄文時代晩期前葉の墓とみている。

遺物　覆土から縄文時代中期の破片13点、後期後葉の破片２点が検出されている。１は縄文時代中期中葉の突起片で、半截竹管による施文が施される。包含層からの流れ込みとみられる。

Ｐ362（図11　図版14）

遺構　Ⅳ層面で検出した長径約100㎝、短径約70㎝のほぼ小判型の土坑。覆土は全般にローム粒を含み、埋め戻しの様相を呈する。本土坑はＰ356とＰ361の間に２～３ｍの間隔をとり、長軸を揃えた形状で検出されている。このような状況から縄文時代晩期前葉の墓とみている。

遺物　遺構の覆土からは遺物は検出されていない。

Ｐ363（図11　図版14・15）

遺構　Ｐ362の長軸東側に検出され、直径約60㎝の円形である。覆土はローム粒がふくまれるⅡ層で、土坑の状況から判断すると縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片が６点検出されている。１は縄文時代中期中葉の口縁部片で、口縁部の貼付帯には半截竹管による押引文が施される。

Ｐ364（図11　図版14）

遺構　キトウシュメンナイ川に面する斜面縁のⅣ層面で検出した長径約90㎝の楕円形の土坑と推測される。覆土にはⅡ層が落ち込む。土坑特徴から縄文時代中期の土坑と考える。

遺物　覆土からは後期後葉の破片３点が出土している。

Ｐ365（図11　図版14）

遺構　ⅣⅡ層下位で検出した長径約80㎝の楕円形の土坑である。覆土上位はパミスが混じるⅡ層が、下位にはさらにⅢ・Ⅳ層が混じる黒褐色土が入る。出土遺物から判断すると縄文時代中期の土坑と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片６点が出土している。

Ｐ366（図12　図版15）

遺構　Ⅱ層中位で検出した長径約180㎝短径約70㎝の長円形の土坑。覆土は全般にⅡ層にパミスとⅣ層が混じった黒褐色土層で埋め戻しの状況である。土坑の状況から時期は縄文時代晩期前葉と考える。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片が６点、後期後葉の破片３点、礫１点などが出土している。

Ｐ367（図12　図版15）

遺構　Ⅲ層面で検出した長径約110㎝の長円形の土坑。覆土は最上層にⅡ層が落ち込み、下位にはⅢ・Ⅳ層が混じる黒褐色土がはいる。土坑の状況から判断すると縄文時代晩期前葉と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片が９点、後期後葉の破片１点が出土している。

Ｐ368（図12　図版15）

遺構　Ⅲ層面で検出した直径約70㎝の円形土坑。覆土にはローム粒混じりのⅡ層が落ち込む。土坑の状況から判断すると縄文時代晩期前葉と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片が２点、後期後葉の破片７点が出土している。

Ｐ369（図12　図版16・17）

遺構　Ⅲ層面で検出した長径約110㎝短径約80㎝の楕円形土坑。覆土上位にはⅡ層起源の黒色土が落ち込み、覆土下位にはⅢ・Ⅳ層がブロック状に混じる黒褐色土層が入る。覆土には後期後葉の破片が多数含まれ、後期後葉の包含層を掘り抜いた縄文時代晩期前葉の土坑と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の土器片が11点、後期中葉１点、後期後葉159点が出土している。１～３は深鉢口縁部片で、口縁部は細かい刻みか小波状の口縁部で、器壁も薄く、堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する。

Ｐ370（図13　図版16）

遺構　Ⅱ層からⅢ層にかかる斜面で検出した長径約180㎝短径約130㎝の小判型の土坑である。斜面に掘られているため坑底面には一部Ⅱ層の面が残る。覆土はパミスやローム粒が混じるⅡ層で、出土遺物から判断すると縄文時代後期中葉と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片が３点、後期中葉の破

片１点が出土している。

Ｐ371（図13　図版16・17）

遺構　Ⅲ層で検出した長径約80㎝短径約65㎝の小判型の土坑である。覆土は全般にパミス混じりのⅡ層で、覆土には縄文時代後期後葉の土器片が比較的多く含まれ、ＭＣ盛土を掘りぬいているものとみられる。このような状況から、縄文時代晩期前葉の土坑と考えている。

遺物　覆土からは後期後葉の破片28点や石鏃などが出土している。１は黒曜石製の石鏃で、形状の特徴から判断すると縄文時代後期後葉のものとみられる。２は深鉢口縁部片で、小波状の口縁部とその下位に爪形文が施される御殿山式期相当の破片である。

Ｐ372（図13　図版16）

遺構　Ⅲ層で検出した直径約120～130㎝のおおよそ円形の土坑である。覆土はパミス混じりのⅡ層で黒褐色土である。覆土からは縄文時代中期の土器片１点のみが出土、遺物量は少ないが、このような状況はＰ358やＰ360の特徴と似ており、時期も縄文時代中期の土坑と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片１点のほかは剥片が１点出土している。

Ｐ373（図13　図版16・17）

遺構　Ⅲ層で検出した長径約160㎝短径約100㎝の小判型の土坑である。覆土にはローム粒の混じるⅡ層が入る。遺物は縄文時代後期後葉の土器片が少数出土しているが、樹の根穴も多く混入とみられる。時期は最も多く出土した縄文時代中期と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片70点、後期後葉の破片４点が出土している。１は胴部片で、内面は磨かれ器面の貼付帯は半截竹管による押引きが施される。２は底部片で、胎土に繊維を含む。

Ｐ374（図14　図版16）

遺構　Ⅳ層で検出した直径約100～110㎝のほぼ円形の土坑である。覆土上位にはⅡ層、下位にはパミスやⅢ層の混じる黒褐色土層である。覆土からは縄文時代後期後葉の破片が出土していることから、縄文時代晩期前葉の土坑と考えている。

遺物　覆土からは後期後葉の破片が２点出土している。

Ｐ375（図14　図版17）

遺構　Ⅲ層で検出した長径約100㎝短径約80㎝の楕円形の土坑である。覆土上位にはⅡ層が落ち込み、下位はⅣ層やⅡ層が薄く互層に堆積しており、埋め戻しの様相を呈する。覆土中と坑底付近には長径約20㎝の円礫が２点入る。出土遺物から判断して縄文時代中期の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片が10点出土しているほか、礫２点などが出土している。

Ｐ376（図14　図版17）

遺構　Ⅲ層で検出した直径約110㎝の円形土坑である。覆土にはⅡ層にローム粒やⅢ・Ⅳ層が混じった黒褐色土が入る。覆土中には縄文時代後期後葉の遺物が多数入ることから、ＭＣ盛土を掘りぬいた縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片が４点、後期後葉の破片108点が出土しているほか、石鏃２点やスクレイパー、剥片などが出土している。１、２は黒曜石製の石鏃で、１は破損品である。３、４は深鉢片で、３は小波状口縁に突瘤文が施される。４の口縁部にある爪形文より下は無紋である。５、６は壷あるいは注口土器の胴部・頚部片である。７は小形の土器の底部片。

Ｐ377（図15　図版18・19）

遺構　Ⅲ層で検出した長径約130㎝短径約110㎝の長円形の土坑である。覆土は上位と下位に比較的Ⅱ層を多く含む土が入り、そのほかはⅣ層主体の黄褐色土層により埋め戻されている。覆土中には縄文時代後期後葉の遺物が多数入ることから、同時期の包含層を掘りぬいているとみられ、この状況から縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片が３点、中期の破片が３点、後期後葉の破片142点のほか、スクレイパー類や砥石などが出土している。１、２、５は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢とみられる。地文には羽状縄文が施され、１、２の口縁部は小波状である。３、４は同一個体片である。胴部にゆるやかなくびれをもつ無紋の深鉢とみられ、頚部には３条の沈線文にＡ状の突起が付される。御殿山式から大洞Ｂ１式相当の土器とみられる。６は黒曜石製のつまみ付きナイフである。

Ｐ378（図15　図版17）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約200㎝短径約170㎝の土坑である。覆土上位には縄文時代後期後葉の遺物を多量に含む黒色土が入り、覆土下位には遺物は少ない。断面から、縄文時代中期の土坑と晩期前葉の土坑が重なったものとみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片が１点、中期の破片が26点、後期後葉の破片56点が出土しているほか、台石片なども出土している。１は堂林式から御殿山式に相当する鉢形土器の口縁部片で、器壁は薄い。

Ｐ379（図16　図版19・20）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約85㎝短径約80㎝のほぼ円形の土坑である。覆土はⅡ層にローム粒やパミスを含む黒褐色土層で、覆土下位には特に炭化物が多く含まれる。包含層を下げた後に調査したため確認面からの深さは浅いが、縄文時代後期後葉の遺物を多く含むことから、ＭＣ盛土を掘りぬいた晩

期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは後期後葉の破片63点が出土している。１～３は壷形あるいは注口土器の破片で、２、３は同一個体である。口縁部は開かず、すぼまった胴部端を若干直立させて口縁部を作り出している。文様は口縁部付近にのみ施される。盛土と土坑の破片が接合したものである。文様から三ツ谷式期に相当するものとみられる。

Ｐ380（図16　図版18・19）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約150㎝短径約140㎝のほぼ円形の土坑である。覆土は上部にⅡ層が多く含まれる黒色土、下位にはⅣ層を多く含む黒褐色土層になっている。包含層を下げた後に調査したため確認面からの深さは浅いが、後期後葉の遺物を多量に含むことから、ＭＣ盛土を掘りぬいた縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片が２点、後期後葉の破片372点が出土しているほか、礫などが出土している。１～７は深鉢片である。１、２は口縁部に突瘤文が施され、１は無紋のやや小ぶりな深鉢片２は小波状の口縁部をもち、突瘤文の下位には２列の爪形文が施される。３～８は口縁部に無文帯があることや玉抱き三叉文の存在などから晩期前葉の資料とみられ、本土坑にはそのような時期の破片が多くみられる。３は突起上面に三叉文その下には玉抱き三叉文が施される。口縁部には爪形文が退化したとみられる刻み目が施され玉抱き三叉文の中心には補修孔が空けられる。８の口唇部は爪形文により斜めに刻まれ、口縁部には２列の刺突文が施される。器形は浅鉢の可能性がある。９は壷形あるいは注口土器の破片である。器面には竹管状工具による刺突列が施される。掲載遺物のなかには、ある程度接合している資料もあるが、遺構出土の破片どうしで接合したものではなく、周辺の盛土遺構中の破片に土坑中の破片が接合したものである。

Ｐ381（図17　図版一）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約90㎝短径約65㎝の長円形の土坑である。覆土はパミス混じりのⅡ層である。Ⅳ層面で確認しているため、残りは浅い。覆土からは縄文時代後期後葉の土器片が出土していることから、晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは後期後葉の破片22点が出土している。

Ｐ382（図17　図版一）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約75㎝短径約60㎝の小判型の土坑である。覆土はⅣ層とパミス混じりのⅡ層である。包含層を下げた後に確認しているため、浅い土坑となっている。残りの悪い土坑ではあるが、覆土からは縄文時代後期後葉の土器片が出土していることから、晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは後期後葉の破片10点が出土している。

Ｐ383（図17　図版18・19）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約110㎝短径約85㎝の小判型の土坑である。覆土は全般にパミスが混じるⅡ層が主体である。包含層を下げた後に確認・調査したため浅いが、縄文時代後期後葉の遺物を多量に含むことから、ＭＣ盛土層を掘りぬいた縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片が１点、後期後葉の破片203点、石鏃やスクレイパー類、土製品などが出土している。１は黒曜石製の石鏃で、形状の特徴から縄文時代後期のもとみられる。２は頁岩製の石錐である。３は土製垂飾品片で、上部の突起に孔が空けられ、形状は環状だったと推測される。表面には縄文・沈線文が施される。４、５は深鉢口縁部片で、５は口縁部の突瘤文を施文した後に内面の調整が施されている。６は壷形あるいは注口土器の無文の口縁部片。７は壷形とみられる復元個体である。復元に使用した45片のうち、本土坑の破片は１点のみで、ほかは周辺の包含層から出土した。口縁部は無紋で細かい縄文が施された胴部との境には刻みが施される。底部は上げ底で肩部の文様には三叉文が施される。８、９は大きさから見て深鉢の底部片とみられる。８の底部中央には焼成前に貫通孔が空けられている。このように底部に焼成前に穿孔される例は、恵庭市カリンバ３遺跡や本遺跡で時折みられるが、大型底部片の例は少ない。６、７は御殿山式から晩期前葉にまで相当しそうである。

Ｐ384（図17　図版20・21）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約100㎝短径約85㎝の小判型の土坑である。覆土はパミス混じりのⅡ層である。包含層を下げた後に確認しているため、残りは浅いが、覆土からは縄文時代後期後葉の土器片が多数出土していることから、ＭＣ盛土を掘りぬいた晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片が１点、後期後葉の破片94点が出土しているほか、石鏃やスクレイパー類が検出されている。１～３は黒曜石製の石鏃で、形状の特徴から判断すると縄文時代後期の所産とみられる。４は鉢形の口縁部片とみられる。

Ｐ385（図18　図版20・21）

遺構　Ⅲ層で検出した直径約130㎝のほぼ円形の土坑である。覆土上部はⅣ層主体の黒褐色土層で、坑底付近に黒色土が入る。残りは浅いが、覆土からは後期後葉の破片が多量に出土したほか、続縄文期（赤穴式）の破片が出土している。このことより後北C_2Ｄ式期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは少量の縄文時代早期・中期の破片のほか、後期後葉の破片148点、続縄文期の破片11点などが出土している。１～４は同一個体片で、いずれも赤穴式に相当する。底部は平らに調整され、胴部には絡縄体やあやくり文が施される。

P386（図18　図版20・21）

遺構　Ⅲ層で検出した長径約65㎝短径約55㎝のほぼ円形の土坑である。土坑の中央には長径30㎝を越える大型の礫が入り、覆土上部はⅣ層主体の黒褐色土層、坑底付近にⅡ層主体の黒色土が入る。包含層を下げた後に確認しているため、残りは浅いが、覆土からは縄文時代後期後葉の土器片が多く出土しているほか、土坑内から後北C_2D式期の破片が少量出土していることから同時期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片41点、続縄文期の破片４点などのほか耳栓の破片などが出土している。１は凝灰岩製の玉の破片で、土壌水洗で見つかったもの。２～４は縄文時代後期後葉～晩期前葉の破片である。５は後北C_2D式期の口縁部片である。

P387（図18　図版20・21）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約100㎝短径約80㎝の不整形である。覆土にはⅡ層主体の黒色土が入る。残存する土坑の深さは８㎝と浅いが、覆土からは後期後葉の土器片が出土していることから、ＭＣ盛土層を掘りぬいた晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片29点、石斧片などが出土している。１～３は深鉢片１、２には突瘤文、２には爪形文、３は口縁部の摩消し下位に１条の沈線文があり、剥離しているがＡ状の突起があったとみられる。４は無紋の鉢の底部片とみられる。これらの土器も御殿山式から晩期前葉のものとみられる。

P388（図19　図版20）

遺構　Ⅳ層で検出した直径約70㎝のほぼ円形の土坑である。覆土にはⅡ層主体の黒色土が入る。包含層調査後に検出しているため残りは浅いが、覆土からは多数の縄文時代後期後葉の土器片と後北C_2D式期の破片が出土しているため、時期は後北C_2D式期とみられる。

遺物　覆土からは後期後葉の破片42点、後北C_2D式期の破片４点、スクレイパー、台石片などが出土している。

P389（図20～23　図版21～23）

遺構　Ⅲ層で検出した長径約150㎝短径約85㎝の長円形の土坑である。覆土にはパミス混じりのⅡ層が入る。本土坑は平成13年度と14年度の調査区の境に検出されたもので、平成13年度では土坑扱いではなく、一括遺物４として調査され、遺物検出も同年にほぼ終了していた。また、土坑の南半分の遺物はこの時点で取り上げ、出土した土器と石皿片は『西島松５遺跡（２）北埋調報194』に報告済である。平成20年度の整理のさいに本土坑の一部が報告されていることに気付き、割れた石皿９と報告済みの破片が接合するのではと確認したところ、土坑の中央付近から出土したと石皿片がまとまり、ほぼ完形品の石皿となった。風倒木の窪みに落ち込んだ縄文時代前期の遺物である可能性もあったが、半分以上が掘り終えている遺構から、その確認も出来なかった。出土遺物から判断して、縄文時代前期前葉の静内中野式期相当の土坑とみられる。

遺物　遺構覆土からは縄文時代前期の破片193点、後期後葉の破片３点、凝灰岩製の石皿片102点が出土した。１、２は静内中野式相当の土器で、口径が約40㎝ある大型の鉢である。１は内面が無紋で、２は内面にも縄文が施される。３～７のうち、内面が無紋の３、４、５は１と同一個体片とみられ、内面に縄文のある７は２と同一個体片とみられる。６は底部付近の破片であるが、どの個体のものかは不明である。８は砂岩製の砥石、９は安山岩製の石皿である。10は凝灰岩製の石皿で、両面が利用されている。また、表面は被熱しており、赤く変色している部分がみられる。

P390（図19　図版23）

遺構　Ⅲ層で検出した長円形の土坑である。覆土にはⅡ層主体の黒色土が入る。包含層調査中に後期後葉の破片が集中して出土することから確認した土坑である。断面は遺物を取り上げ後に調査しているため浅い。遺物のほとんどは断面より高い位置で出土した。ＭＣ盛土層を掘りぬいた縄文時代晩期前葉のものとみられる。

遺物　遺構上からは後期後葉の破片157点、石鏃２点、スクレイパー類１点などが出土した。１は黒曜石製の石鏃。２、３は同一個体片で、包含層と接合したもの。４は注口土器の口縁部片とみられ、５は鉢の胴部片である。

P391（図19　図版23）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約100㎝短径約80㎝の小判型の土坑。覆土にはⅣ層を含む黒褐色土が主体で、埋め戻しの状況である。時期は不明である。

遺物　土坑覆土からは遺物は出土していない。

P392（図19　図版24）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約80㎝短径約50㎝の長円形の土坑である。覆土上位にはⅡ層にローム粒を含む黒色土が主体で、下位にⅣ層を主体とする黄褐色土が入る埋め戻しの状況である。遺物が出土しなかったが、付近には形態が類似する土坑が１列に並ぶ様子があるため、それらの時期と同じ晩期中葉の墓ではないかと考えている。

遺物　土坑覆土からは遺物は出土していない。

P393（図24　図版24）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約60㎝短径45㎝の楕円形の土坑である。覆土にはⅣ層が混じりのⅡ層が入る。覆土からは後期後葉の破片が出土しており、検出された位置とあわせ晩期前葉の土坑とみている。

遺物　覆土から後期後葉の土器片が１点出土している。

Ｐ394（図24　図版24）

遺構　Ⅳ層で検出した長径約75㎝短径約70㎝のほぼ円形の土坑である。覆土にはパミスを含むⅡ層が入る。土器片が出土していないため土坑の時期は不明である。

遺物　１は土坑中央から出土した凹み石である。

Ｐ395（図25・26　図版24～27）

遺構　平成14年度と15年度の調査区境付近で検出され、平成15年最初に手がけた土坑である。ⅡＣ層上面で検出し、長径約135㎝短径約120㎝の楕円形の土坑である。平成14年度の調査範囲は本来26ラインであったが、擦文時代の住居址Ｈ20（全体図参照）の煙道を調査するため、幅15ｍ奥行き２ｍで、調査範囲を拡張した。付近はＭＣ盛土が堆積し、遺物も多い場所である。平成15年度の調査は、年度境の断面を記録することから始め、最初に２ｍの突出している部分を調査した。包含層を下げはじめ、まもなく13の「お猪口」形ともみなせる土製品を検出した。包含層から土製品が出土することは珍しくもなかったため、これを取り上げるよう指示する。しばらくすると、また同形の土製品14が出土した。土製品が立て続けに出土することもあり得るほどの包含層の濃さであったため、再びこれも取り上げるよう指示した。まもなく同形の土製品12が出土する。さすがに３個の同形の土製品がまとまって出土するのは人為的と考え、周囲の精査をおこなった。その結果Ⅱ層の黒色土面にⅣ層が混じる黒褐色土の落ち込んでいるのを確認した。落ち込みの中央は黒色土で、土器片が多数入っているのが解った。一見これらの土器片にまとまりはなく、あるいは包含層の落ち込ともみえたが、ある程度掘り下げてみると、土器がまとまって検出される。付近に拡がるＭＣ盛土内の遺物出土状況とは異なるため、このような状況は遺構に伴うものと判断できた。

土器が集中して出土したのは覆土上位の層までで、覆土中位からはⅣ層がブロック状に入る褐色土となる。坑底ではベンガラ層が南西側に片寄って認められ、ベンガラ層よりサメ歯穿孔品や玉類、ナイフなどが出土した。復元された土器から、本土坑は縄文時代晩期初頭期の墓とみられる。

遺物　１は無紋の注口土器で、底部と注口部先端が欠損する。外面は磨かれているが、内面の調整はやや雑である。頚部にはＡ状の突起を付した粘土が貼付される。注口の付け根には二重の沈線が付され、注口下は三叉文状に刻まれている。底部は欠損し、尖底か乳房状突起が付されていたかは不明であるが、胴部の最大径が胴部の中心より下にくることや、底部の平たい立ち上がりなどに晩期初頭期の要素があり、本個体を晩期初頭期とみた。２の壷形土器は底部を欠損するが、上げ底であったとみられる。器面には縄文が施され頚部にはＡ状の突起が施される。胴部上半分には沈線で渦巻きなどの不規則な文様が施され、その間に三叉文状の沈線文が施される。内面は丁寧になでられる。１、２は覆土上部に口縁部を上にした状態で並んで検出された。３は小形で無紋のキャリパー形土器である。口縁部は楕円で、長径9.2㎝短径8.1㎝である。（実測図は長径側から）頚部と底部の器台に１条の沈線文が施され、頚部内面にも稜線を作り出している。20は３の器形をミニチュアにしたものとみられ、破片の下位に括れがある。また、口縁部には１対の穿孔が施される。４は３の器形の口縁部を除いた形で、胴部はゆるやかに内反する。器台部との境に沈線文が施され胴部には縄文、台部は無紋である。口縁部に一ヵ所、焼成前に孔が空けられているが、反対側の破片が無いため対の孔かどうかは不明であるが、20の例から対であったとみられる。これも土坑の上部出土だが、破片が細かく取り上げ時の記録がない。５、６も土坑上部から出土した破片の接合を試みたところ、包含層の破片も合わせて形になった小形の深鉢である。５の口縁部にはＡ状の突起に沈線文が、６の口縁部にはＡ状の突起のみが付される。破片の残存率が低いが、包含層のと接合でここまで復元されるのは、やはり土坑に伴っていたと考えられる。７～11は無紋の台付ミニチュア土器で、底部片の16作りと砂粒を多く含む胎土から同じものである。12～14の「お猪口形」のミニチュア土器は上下が不明であるが、台付ミニチュア土器と比べると胎土の砂粒は少なく割れ口が黒い特徴がある。同グリッドから出土した15はお猪口形と同じものとみられ、本土坑に伴うものと考えた。17～20は土坑上部から出土した、別のミニチュア土器の破片である。断片的なため器形は不明であるが、胎土や焼成の特徴はお猪口形に似る。ミニチュア土器の焼成の違いは、同じ墓の副葬品の製作者が異なる可能性もある。21は覆土上部の破片と包含層の接合資料で、文様の特徴から判断して晩期前葉のものとみられる。22～24はアオザメ上顎歯を利用したサメ歯穿孔品である。いずれも歯根部は腐食して失われているが、歯根側に穿孔の痕跡が認められる25はツノガイ化石である。貝殻に詰まった泥に穿孔しようとした痕跡はあるが、貫通していない。26～41は玉類である。出土した16点すべてが緑泥石岩製で、多くが土壌水洗で見つかった。26は棗玉状で破損している。42は黒曜石製の石鏃、43は坑底部出土の頁岩製のナイフである。

Ｐ396（図24　図版ー）

遺構　平成14年度と15年度の調査区の境を土層観察するため掘り下げたところ半分が検出された。本土坑上には後期後葉の焼土が重なることから、それより下位から掘られている。出土遺物から判断すると縄文時代中期とみられる。

遺物　覆土より縄文時代中期の破片５点が出土している。

Ｐ397（図24　図版23・28・29）

遺構　ⅡＣ層面でパミスやローム粒の混じる黄褐色土が長円形に落ち込む状況で検出した、長径約120㎝短径約50㎝の長円形の土坑である。本土坑周囲では同時にＰ398～Ｐ402を検出、どの土坑も黒色のⅡＣ層面に黄褐色土が落ち込む状況で検出された。覆土はパミスやローム粒が混じる、埋め戻し

で、周囲の土坑と同時期の御殿山式期相当の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片25点、後期後葉の破片18点などが出土している。1は後期後葉の深鉢胴部片で、羽状縄文が施される。

P398（図27～30　図版28～32）

遺構　重機による表土除去の際に本土坑とP399が黒色土中に認められ、同時に土坑上に土器片104が確認された。周辺を精査したところP397～P402の6基の土坑を検出したので、このうちの3基に着手した。後に、これらの土坑は御殿山式期の墓域の中心に位置するものと判断した。その根拠のひとつは、6基のうち5基から漆製品や玉類などの副葬品が検出されたからである。P398は6基のうち最も規模の大きなもので、ⅡC層面にⅣ層の黄褐色土層、Ⅱ層とⅣ層の混土である黒褐色土、包含層のⅡ層の落ち込みが同心円状に重なり検出された。断面を観察すると、中央のⅡ層の落ち込みは浅く、その直下の黒褐色土層から注口土器105と、台付鉢とみられる104の破片がまとまって検出され、断面残り側からは、ばらばらに割れた漆製品103が検出される。自然層の落ち込みであるⅡ層の直下から検出されているため、これらの遺物は地表面付近に置かれたものとみられる。覆土下位の南側には炭化物層が入り、櫛や玉類はその上面から出土している。北側には炭化物層は無く、坑底面にはベンガラ層が検出され、玉の一部はその上面より検出した。覆土外側に堆積するⅣ層の埋土は坑底縁を取り囲むように堆積し、黒褐色土層は土坑の中央に隅丸方形に落ち込む。炭化物層やベンガラはこく黒褐色土層の下位に添って堆積することから、本土坑の被葬者は何かに包まれて埋葬されている可能性があり、111の石斧は炭化物範囲の外側に位置しすることから直接坑底に置かれたものと考えられる。復元された注口土器は御殿山式期のものである。

遺物　1～101は玉類である。坑底面付近から検出された玉類には、まとまって出土したものと散らばって出土するものがあった。玉類の図示にあたっては、玉の連なりをある程度復元している。本土坑では、出土状況をもとにから3つの分布域ごとに示した。1～28は坑底面の櫛より南側からまとまって検出されたもので、本土坑出土の琥珀玉4点すべてが含まれている。4点の内、出土状況図の赤番112が破損のため未実測である。残りは7、19、21が琥珀製である。7は勾玉状であったが、劣化が著しく、2つに割れた玉の下側のみを実測したものである。29～70は連なった状況で出土した。玉の脇には人歯があることから、首にかけていたものとみられる。この連珠には勾玉状の玉は含まれない。71～101は坑底面付近で散らばって出土したものである。当初から坑底付近に散布した状況であった可能性もある。93、95はツノガイ化石を利用したもの。この2点はもともと別物で、95は両端から穿孔され、93は自然の孔を利用したものである。102は結歯式の竪櫛（以下櫛とよぶ）である。色調は赤系で、透かしがある。歯は12本で、幅9.7㎝、高さ5.4㎝ある。四隅に三角形、中央には工字とそれをかこみ「(　)」形の透かしが施される。103～105は覆土上部から出土した。103は漆製品だが、小片に砕けているため、形状は不明である。104は鉢形土器である。底部は剥離しており、造りは不明だが残存状況から台部の径は4㎝以下で、高さのある台が付いていた可能性がある。105は注口土器である。注口下部には3つの貼瘤があり、ほとんど剥離しており図では解りにくいが、口縁部と肩部の境と胴部最大径の付近に連続するA状の突起が貼付されていた。底部は丸く調整された後に径約5㎝の台が付けられる。文様は肩部のみで、連続する入り組み文の間に刻みや三叉文が施される。106～110は覆土中の遺物で、包含層からの流れ込みとみられる。106、107は堂林～三ツ谷式期相当の深鉢口縁部、108、110は黒曜石製、109は頁岩製のつまみ付きナイフ。111は坑底部西側から出土した泥岩製の石斧である。全面敲打による調整がなされ、刃部と側面を研摩する。

P399（図31～35　図版29・32～36）

遺構　重機による表土除去の際にⅡC層面で、Ⅳ層と黒褐色土（Ⅱ層とⅣ層の混土）が円形に落ち込むのが認められた。周辺を精査したところP397～P402の6基の土坑が検出され、このうち3基を同時に着手した。本土坑は縄文時代後期中葉ころの焼土を切っている。検出面の中央にはⅡ層が薄く落ち込み、直下の黒褐色土から深鉢胴部片（51ほか）が出土、当初は包含層の流れ込みと見ていた。

断面側を下げる際に注口土器（46）などがまとまって検出され、その周りからも同じ深鉢の胴部片が出土し、注口土器と深鉢が副葬されていたものとみている。覆土中位には主にⅣ層起源の褐色の土層で埋め戻され、覆土下位にはベンガラを含む黒褐色の土層が堆積し、この層から漆製品の破片や玉類が散らばった状況で検出された。櫛はすべて透かしのあるもので、出土位置は坑底の北西側にかたよっている。破片のため厳密な点数ではないが、部位の重複を考えると出土した櫛は8点である。これらの櫛の位置と櫛の下から人歯が出土したことから判断して、頭位は北西とした。櫛のほかには環状漆塗製品とみられる破片がおもに坑底南側に散布していた。破片の観察から、耳栓ほどの小形のものから、色調ではオレンジ系のもの、赤系のものがあり、最低でも3個はある。玉類も坑底全域に散在して21点が出土した。本土坑は規模が小さく、装身具は大きく落ち込み、ばらばらになったとみられる。

遺物　1～11は櫛を示した。番号に（　）が付いたものは、復元想定図である。現地調査では漆製品は土ごと取り上げているが、後に土から分離できたのは1のみである。四隅に三角形、中央には工字状とそれをかこむ「(　)」形の透かしが施される櫛は1、2、3、4、5の5点で、それらの破片とみられるものが10、11である。なお、7の破片は5の復元に

利用している。これら８点のうち、１には頂部の突起下にも三角形の透かしがあけられており、カリンバ３遺跡の出土品例では、頂部の両突起の間の形状は、弧線状ではなく、方形あるいは円形に切り込まれたものだったと考えられる。中央に円形あるいはひし形の孔を空け、その両端にそれぞれ三つの三角形の透かしをあけた、合計７ヵ所の透かしもつ櫛が６、８、９の３点である。12～21は環状漆製品の破片である。遺物の状態から復元は困難であり、想定図はないが、17は直径３㎝ほどの小形の環状漆製品とみられ、16は環状漆製品の装飾部の破片で、厚みのある破片には円形の突出部が付いている。色調は、12、13の右側にある小片群、14の右下の破片、15の右下側の破片がオレンジ系の破片で同一製品とみられる。のこりの破片は赤系の色を呈する。22～43はばらばらに出土した玉類である。22～25はいわゆる勾玉で、長径が1.5㎝以下のものは本遺跡では最小の部類に含まれる。同様の製品は隣に位置するＰ398内から散らばって出土した玉にもみられる。Ａ類に分類される玉類には緑泥石岩製36～43と緑色凝灰岩製26～35があり、後者のほうが大きい。44、45は覆土から出土した黒曜石製の石鏃と砂岩の砥石片である。46は覆土上位で倒れた状態でつぶれて出土した御殿山式相当の注口土器である。上げ底で、胴部は丸く、口の大きい注口で、口唇部には幅広で上に出る突起と斜め横に突出する突起が交互に並び、口縁部と胴部の境にはＡ状の突起が並ぶ。胴部の文様は注口部を中心に胴部真横付近まで施されている。沈線文による入組文系の文様のあいだには切り込まれた三叉文が施される。47の破片の一部は注口土器の上から出土した。注口土器の46より47の破片は散らばっていたが、覆土上位や同グリッドの包含層片が接合し、復元できた小形の深鉢である。底部は丁寧な作りの上げ底で、口縁部に突起はないとみられる。口縁部と胴部下位、底部の境に２条の沈線が施され、口縁部と胴部の沈線の間には刻みが施される。胴部上位には入組文系の文様が施される。48～50は深鉢口縁部片、51は胴部片で、50と同一個体である。本土坑からはほかにも同一個体の胴部片が出土している。52は深鉢底部片で上げ底である。50、51は同一個体片かは不明である。

Ｐ400（図36　図版29・37）

遺構　ⅡＣ層面で、黒褐色土（Ⅱ層とⅣ層の混土）が小判型に落ち込むのが認められた。周辺には縄文時代後期中葉以前の焼土Ｆ402があり、土坑はこれを切っている。覆土上位にはⅡ層が多く含まれる黒色土が落ち込み、中位にはⅣ層やⅢ層、焼土などが混じる暗褐色土、坑底付近には、ベンガラをわずかに含む黒色土で埋められている。覆土中からは中期の破片10点、後期後葉の破片61点、石鏃、石錐などが出土している。土坑上面は削平されている。坑底の西側にはわずかにベンガラが散布され、壁際から櫛３点が重なって検出された。いずれの櫛も透かしのあるタイプであるが、この３点を土から分離することは出来なかった。そのため重なった下位にある櫛の詳細は不明である。

遺物　１～２は櫛である。１の色調は朱色で、中央に円形の孔を空け、その両端にそれぞれ三つの三角形の透かしを空けた、合計７ヵ所の透かしもつ櫛である。２は四隅に三角形、中央には工字とそれをかこみ「(　)」形の透かしが施される櫛である。色調は黒ずんでいるが、表面の赤い塗膜が剥がれているようである。出土状況に赤の８で示した位置に残りもう１点の櫛がある。図上でも詳細を確認するのは困難であるが、数ヵ所に透かしがあることが認められる。色調は朱色である。３つの櫛の出土位置は、１と赤の８が並んでいる上に２の櫛が乗っている。３、４は石錐である。３は頁岩製で先端部にアスファルトが付着したように黒ずんでいる。４は黒曜石製で、刃先と側縁は使用痕で丸く摩滅している。５は石槍またはナイフと分類されている。黒曜石製で全体に被熱し、光沢を失っている。６、７は覆土に流れ込んだ土器片とみられる。堂林式の新しい段階から御殿山式に相当するものとみられる。６は深鉢口縁部片で、波状の沈線文が施されている。７は３点が接合した鉢形土器の破片である。６、７の破片はいずれも被熱している。

Ｐ401（図37・38　図版38・39）

遺構　ⅡＣ層面で、Ｐ398、Ｐ399と並ぶ位置で黄褐色土が小判型に落ち込む状況で確認した。Ｐ398、399とともに着手し、本遺跡で最初に漆製品が発掘された土坑である。覆土は中位と下位には黒色土層が筋状に入るが、ほかはⅢ層やⅣ層などがブロック状に混ざり合う、埋め戻しの土層である。土層断面を頭位側である西側から切ったため、土坑の壁出しを行っている際、１の櫛左側に移植の先端が当たり破損させたが、そのことで、漆製品が存在することが判明した。周囲の土坑からも漆製品の検出があいついだので土坑の分布範囲の確認を優先した。そして、このあと７グリッドほど離れた場所で確認されている土坑４基（Ｐ404～407）の調査に着手した。Ｐ401は覆土中からまとまった遺物は出土しなかったが、坑底面から別な櫛の破片３と環状漆塗製品２点、玉類が検出された。南側の環状漆塗製品は完形で出土したが取り上げ時に破損した。

遺物　１～５は漆製品である。１、３は櫛で、１は土から分離できなかった。四隅に三角形、中央には工字が上下に分かれたような、十字形と三角形の透かしを空け、下位の十字形のまわりに「(　)」形の透かしが施される櫛である。３は櫛の中央部分の破片で、工字と周りの「(　)」形の透かし部分の破片である。観察する限り１と部分的に重複ヵ所があるので別な櫛と考えている。２の環状漆製品は土坑の南側から出土し、推定で外径約12㎝、内径約7.8㎝あるもので、出土時には完形だったが、取り上げ時に破損させた。実測図は推定で破片を並べたものであり、右下の破片が土から外れず、図の展開をしていない。出土時に裏側だった部分に４、５はもともと１点の環状漆製品だったとみられるものである。二つ

に分かれて検出されたが、取り上げ前に雨水が流入したので状態を悪くした。これら漆塗製品の色調はいずれも朱色である。６～12は玉類である。石質は、すべて緑泥石岩製で６、８は２の環状漆製品の横から、７は５の環状漆製品の下から出土し、９～12は２の取り上げ後に漆製品の下から出土したものである。６の垂珠は頂部に２ヵ所、背面に１ヵ所の刻みが施される。７はいわゆる嚢玉であるが、本遺跡出中もっともの厚みがある。13は頁岩製の小形のつまみ付きナイフ14は堂林式新段階～三ツ谷式相当の深鉢口縁部。

Ｐ402（図39　図版40・41）

遺構　ⅡＣ層面で、Ⅲ・Ⅳ層が混じる黄褐色土が小判型に落ち込む状況で確認された。覆土上位はⅣ層主体の黄褐色土、覆土下位はⅡ層主体の黒色土層で埋められた、土色による埋め分けがなされている土坑である。本遺跡ではこのような埋土の土坑が多数あり、縄文時代後期後葉～末葉の土坑であること手がかりの１つと考えている。覆土下位の黒色土中からは後期後葉の土器片が200点出土しているが、これは流れ込みのものと見られる。坑底部中央付近からは、木芯の玉に漆を塗ったとみられる漆塗玉が20点、玉類４点が検出された。この付近には人歯の痕跡もあったことから一連の首飾りだったとみられる。

遺物　１～20は漆塗玉である。色調はいずれも朱色で、１～３は土から分離することが出来た。その内１が唯一の完品で、発掘時に土から分離できた。漆塗玉の芯の木質部は消失し空洞になっており、形状は嚢玉状で径約12㎜、厚さ19㎜である。穿孔面は平らに削り、表面には５条の刻みを縦方向や斜めに施す。ほかの漆塗玉もほぼ同形同大だったとみられるが、つぶれた状況で重なって出土したものはそのまま固めている。21～24は玉類で、木製の玉の間からややまとまって出土している。25は黒曜石製の石鏃、26～28は堂林式の新段階～三ツ谷式相当の深鉢口縁部片である。これら土器片は包含層から混入したものとみられる。

Ｐ403（図40　図版41・42）

遺構　６基並んだＰ397～402の土坑の東側約２ｍのⅡＣ層面で、Ⅱ・Ⅳ層が混じる黒褐色土が小判型に落ち込む状況で確認された。６基並ぶ土坑のうちＰ397からは副葬品がみつからないため、これらの土坑の分布の外側に位置する土坑を調査したものである。覆土上位と下位は、Ⅱ層にⅢ・Ⅳ層が混入する黒褐色土、中位はパミス混じりのⅡ層で埋められており、上部は削平されるが、土色による埋め分けをしたものとみられる。坑底部北側壁際の覆土下位から漆製品の破片が出土した。さらに、坑底面西側からは頭部の痕跡と人歯が検出され、頭部わきからも漆の塗膜片が検出された。覆土下位から出土した漆製品片は副葬品であった可能性が高い。

遺物　１は漆製品片である。環状漆塗製品としては形状的に整合しない部分があり、容器片の可能性もある。２も漆片であり、幅の広さから櫛の破片かもしれない。色調はどちらも朱色である。覆土からは縄文時代後期後葉の土器片が152点、石器類が48点、銛頭片が検出されているが、これらは包含層からの混入とみられる。３は焼けた銛頭の破片とみられ、尾部には穿孔があり、側面には刻みが施される。４は黒曜石製の石鏃、５、６は、珪質頁岩製のスクレイパー類、７は砂岩製の砥石片である。８～11は堂林式の新段階～三ツ谷式相当の深鉢口縁部片である。

Ｐ404（図41・42　図版42～44）

遺構　Ⅲ層近くまで削平された面で、Ⅲ・Ⅳ層が混じる黄褐色土が長円形に落ち込む状況で検出された。本土坑周辺では約10基の土坑が確認され、このうちの隣接する４基にＰ404～407までの番号を付け調査した。本土坑の覆土は黒褐色土層と褐色土層が互層に入る埋め戻しの様相である。西側の壁際、覆土中からは小形の環状漆塗製品の破片が検出され、坑底面からは被葬者の頭部跡にベンガラが検出された。このことは被葬者の上にベンガラが散布されたものとみられる。頭部の周辺からは、頭上のベンガラ中からサメの歯が１点、頭頂部から三角形の石製品１点、頭部左側から櫛が１点、頭部左下からは刃部を体側に向けて小形の石斧１点が出土した。坑底面の胸上付近からは動物意匠のある勾玉ほか３点の玉類が、坑底中央付近では勾玉と小形の石斧が出土している。

遺物　１は櫛である。頂部の突起下には前後交互に６ヵ所の四角い突起を有するが、これは14本の櫛歯を束ねる際に太い繊維を用い、両脇の２本には巻きつけ、間の12本には交互に縄を掛けて作り出した突出部に、下地の黒漆で形を整えたものとみられる。色調は朱色で、幅は9.3㎝、高さ5.5㎝ある大型の櫛である。２は小形の環状漆塗製品片であったものだが、取り上げ前に乾燥のため形がくずれてしまった。Ｐ399－17に図示した漆製品と類似するものとみられる。３は体長２ｍ前後のホホジロザメの上顎右側の歯を用いたサメ歯穿孔品とみられる。４～８は玉類である。４は二等辺三角形に加工した素材の短片に３ヵ所の穿孔を加えたもので、サメ歯穿孔品を模したともみられる石製品である。本土坑では、頭頂付近で出土しているが、Ｐ411では被葬者の両耳付近から２点、包含層から１点（北埋調報209）の出土例がある。５、６は勾玉である。６の勾玉の上部には動物意匠とみられる加工が施される。９、10は緑色片岩製の石斧である。全面を敲打による調整で形状を整えたのちに刃部や基部を作出したものである。長さが10㎝前後の９ほどのサイズの石斧はしばしばみられるが、10の長さ６㎝ほどのサイズのものはかなり小型である。これらの石斧は刃部の傷などの使用痕がみられないことから、もともと副葬品として作られたものとみられる。覆土からは縄文時代後期後葉の破片67点が出土している。11は堂林式の古手の壺形あるいは注口土器片で、頚部に２段の刻みが施される。

P405（図42　図版42・44）

遺構　Ⅲ層近くまで削平された面で、Ⅲ・Ⅳ層が混じる黄褐色土が小判型に落ち込む状況で検出された。本土坑の覆土は黒褐色土層や褐色土層、黄褐色土層が交互に入る埋め戻しの様相であるが、Ⅳ層を多く含む褐色土層は覆土の上位に多い。坑底は平らで、西側には頭部らしき痕跡もあったが図示するには至らなかった。埋土の状況と出土遺物から判断すると縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片４点、後期後葉の破片44点のほかフレイク19点が出土した。１、２は堂林式の新段階の深鉢口縁部片である。

P406（図43～45　図版42・45・46）

遺構　Ⅱ層下位まで削平された面で、Ⅳ層主体の黄褐色土が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位には、一部黒色土が落ち込むが、そのほかは主に掘り返されたⅣ層が堆積し、覆土下位は黒色土や黒褐色土層が交互に入る埋め戻しの様相であるが、全体に黒色系の土で埋められていることから、土色による埋め分けが行われている。上部は削平されているにもかかわらず深さ約90㎝あり、最も深い墓のひとつである。坑底の南西側からは、被葬者の頭部とみられる有機質な黒色土層の高まりがみつかり、付近から歯の痕跡も検出された。被葬者の左側からは、アスファルト塊とその下から石器、フレイク類、が出土した。石鏃や石錐の出土位置や向きがそろっている点から、石器類、フレイク類、を置いた後、アスファルト塊、石斧、ナイフを置いたとみられる。アスファルト塊の端は石斧34とつまみ付きナイフ13に接する位置で途切れ、下部はフレイクがささる状況だった。副葬品付近にはベンガラ粒も観察された。

遺物　１～８は黒曜石製の有茎鏃である。１～６、８は副葬品で、形状もほぼそろっているが、７は覆土中の遺物で、形状も異なる。覆土出土の縄文時代中期の破片と同時期の石器である可能性がある。９は頁岩製の石錐である。つまみの両端には抉りが入り、装飾的な基部を持つ。この形態は縄文時代後期後葉の特徴を示すものである。10～20はスクレイパー類である。つまみ付きナイフとしたものは11、13、20である。13はスクレイパー類中唯一頁岩製で、副葬品中最大の剥片石器である。石斧34と並んでアスファルト塊の端から出土した。12は破損しているがつまみ付きナイフであった可能性はある。21～32はフレイク類である。副葬されたスクレイパー類やフレイクは、ほとんどが赤井川産の黒曜石と見られるが、28は頁岩製、17、29は十勝産の黒曜石のようである。また、赤井川産とみられるものも、白色に近いものから透明にちかい黒色のものまでその質感には幅があり、一つの母岩から作られたものではないようである。これは遺跡に持ち込まれる赤井川産の黒曜石が小さいことに起因するのかもしれない。後に説明するP596は、縄文時代中期頃とみられる赤井川産黒曜石の原石や剥片で埋まった小ピットだが、最大の原石でもこぶし大ぐらいである。33、34は泥岩製の石斧である。全面を敲打によって形状を整えたのちに刃部や基部を作出したものである。33の長さが8.8㎝、34の長さが10.2㎝である。長さが10㎝前後のサイズの石斧はしばしばみられるが、これらの石斧は刃部の傷などの使用痕もないことから、もともと副葬品として作られた小型の石斧とみられる。35は石器の上に置かれたアスファルト塊である。表面には土器片が付いており、もともと土器に収められていたのかもしれない。36は覆土の遺物で堂林式の新段階の深鉢口縁部片である。

P407（図46　図版42・46・47）

遺構　Ⅱ層下位まで削平された面で、黄褐色土が小判型に落ち込む状況で検出された。本土坑の覆土上位はⅣ層主体の土、覆土下位はⅡ層主体の黒色土層で埋められた、土色による埋め分けがなされている土坑である。坑底付近にはベンガラ粒がわずかに混じる褐色土層が堆積し、坑底部南西側より被葬者の頭部とみられる有機質な黒色土層の高まりと歯の痕跡が検出された。

遺物　覆土からは縄文時代早期２点、前期２点、中期10点、後期後葉27点の土器片などが出土している。１は堂林式新段階の深鉢口縁部片である。

P408（図46　図版47）

遺構　Ⅲ層まで削平された面で、Ⅱ層主体の黒色土が小判型に落ち込む状況で検出された。本土坑は、墓域の広がりと内容をつかむために広い範囲の調査を進めていた際、先に説明したP404～407の分布から約20ｍ西側のⅢ層面で確認した２基の土坑（P408、P409）の一つである。削平がはげしい地域に位置するため浅い土坑である。覆土の上位にはⅡB層が主な黒色土、中位は褐色土、坑底直上には黒色土が堆積する。土坑南東から円礫が出土したほか目立った遺物は出土していない。隣に位置するP409と特徴が似ていることから縄文時代晩期中葉のものとした。

遺物　覆土からは縄文時代中期６点、後期後葉１点の土器片が出土しているほかつまみ付きナイフや点が出土した。１覆土から出土した頁岩製のつまみ付きナイフである。

P409（図46　図版47）

遺構　Ⅲ層下位まで削平された面で、黒褐色土が小判型に落ち込む状況で検出された。本土坑の覆土下位にはⅡ層主体の黒色土層が入り、その直上より縄文時代晩期中葉の土器片がまとまって出土した。覆土からも同時期の土器片が出土しており、縄文時代晩期中葉の土坑と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期３点、後期後葉３点、晩期中葉42点土器片のほか石鏃、スクレイパー類などが出土している。１は覆土下位からまとまって出土した縄文時代晩期中葉の浅鉢である。底部はまるみをもち、口唇部はおおむね角型

で縄文が施される。口縁部は全体の４割近く残るが、その範囲に突起は無い。２は浅鉢口縁部片で、口唇部に交差する刻みが施される。３、４は深鉢口縁部片とみられ、口縁部には縄線文が施される。器壁は深鉢としては薄いため、小型の鉢かもしれない。図示した土器のうち１は出土状況から土坑に伴っているものとみられ、ほかの３点よりやや新しいものとみられる。

Ｐ410（図47　図版48）

遺構　本土坑は縄文時代前期の住居と重なっており、住居の覆土上部に落ち込んだⅡ層面で、Ⅳ層主体の黄褐色土が長円形に落ち込む状況で検出された。覆土上位は、Ⅳ層で埋められ、その下位はⅡ層主体の黒色土層や黒褐色土で埋められてり、土色による埋め分けがなされている。坑底付近の北西壁よりベンガラ層がみつかったことから、頭位はこの付近だったとみられる。形状や覆土の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期26点、後期前葉４点、後期後葉112点の土器片が出土しているほか石鏃、スクレイパー類が出土した。１は黒曜石製の石鏃、形状の特徴から判断すると遺構より古いとみられる。２～６は堂林式新段階から三ツ谷式相当の破片で、５、６は壷または注口土器破片である。二条の沈線文の間に円形の刺突が施されることから同一個体かもしれない。

Ｐ411（図48～50　図版48～50）

遺構　Ⅱ層下位まで削平された面で、長円形の礫を土坑の縁に沿って並べた配石と副葬品とみられる壷形土器複数が、長円形に落ち込む褐色土層上に重なっている状況で検出された。遺物出土状況を観察すると、検出面には褐色土層上に灰褐色の土層、その上に暗褐色土層が重なり、配石や副葬品の土器は最上位に堆積する暗褐色土層の範囲にのみ分布していた。この範囲は被葬者のほぼ真上で、覆土の落ち込みが最も大きかった場所である。そのため遺体が朽ちたあとの窪みに落ち込んだ遺物のみ削平を免れて残った可能性が高く、土坑の南西側のみに残る配石は、本来土坑全体の縁を放射状に長円形の礫で囲み、配石の中央に副葬品の土器が置かれていた可能性もある。検出面付近からは副葬品の壷形土器６点と配石に利用された礫23点が出土した。覆土は、上位にⅣ層が主体の褐色土層が入り、下位にはⅡ層主体の黒色土層で埋められ、土色による埋め分けがなされている。坑底面にはベンガラが混じる層が堆積し、被葬者の頭部付近はベンガラ層の盛り上がりがあり、やや離れて歯の痕跡、坑底中央付近には足の痕跡が検出された。頭部の左右からは、被葬者の耳あるいは頭の両側に装着していたものとみられる三角形の石製品と玉がそれぞれ対になって出土し、その中間のやや足側からは、胸につけていたとみられる垂珠１点が出土した。副葬品の土器は三ツ谷式期の新段階とみられ、墓も同時期と考えられる。

なお、調査区は全体に削平されていたためか、検出面上に配石が確認された例は少なく、中でも複数の礫が検出されたのは本例が唯一である。

遺物　１～４の玉類のうち、１は３とついになって被葬者の右耳付近から、２と４は左耳付近から、それぞれ玉を外側、石製品を内側にして出土した。３、４は二等辺三角形に加工した石材の短片に沿って三ヵ所の穿孔を加えたもので、サメ歯穿孔品を模したともみられる石製品である。本土坑では、両耳付近で出土しているが、Ｐ404被葬者の頭頂部付近から１点、このほかに包含層から１点（北埋調報209）の出土例がある。３は穿孔部周辺が肥厚する。孔は１ヵ所が破損していることから、中央の孔に玉を連ねて装着していたとみられる。４は本遺跡最大の大珠で、厚さが54.5㎜あり、両端から穿孔している。形状は平たい棗玉状である。被葬者の頭部周辺からは、炭化したクルミの殻が出土したが、人為的な痕跡かどうかは判断できない。６は黒曜石製の石鏃で、包含層からの流れ込みとみられる。７～12は墓の上部に副葬されていたとみられる６点の壷形の土器である。ほぼ復元出来たのは８、９、10、の３点で、７は口縁部から胴部の一部が、11は胴部のみ、12は口縁部のみである。７～10、12は密集していた上面が削平されたものだが、11はほかの土器より少し離れた下の層中から一括出土したが、ベンガラが付着し、口縁部や胴部の一部を欠くことから当初から壊されて副葬されたものと見られる。７、10、12の胴部や頚部には貼瘤文が施され、７と12は、肥厚させた口縁部に縄文を施し、頚部に刻みをくわえた垂下貼付けを施すなどの特徴が類似する。８は検出面で倒れて出土した。口唇部には縄文が施され、口唇直下と頚部、胴部文腰帯の上下には連続する爪形文が施される。口縁部から肩部、胴下部は無文である。連続する爪形文が見られる点で、本土坑出土の土器の中では最も新しい要素をもつものである。９の口縁部には半截竹管による押し引き風の文様が施されるが、これ以外の文様には半截竹管や棒状工具による連続刺突文が施される。７、９には沈線文による入組文が施されている。13～15は覆土から出土した堂林式新段階から三ツ谷式相当の深鉢片で、15は無紋で、の波状口縁で、突起とその中間の口唇部に粘土を貼り付け刻みをいれたものである。

Ｐ412（図51～53　図版51～53）

遺構　Ⅱ層下位で、Ⅳ層が小判型に落ち込む状況で検出された。本遺跡では大型の土坑である。覆土上位はⅣ層主体の褐色土、下位はⅡ層主体の黒褐色土層で埋められており、土色による埋め分けがみられる。坑底面西側からは被葬者の頭部の痕跡が２ヵ所みつかり、南側の被葬者からは首飾りが、北側の被葬者の胸部付近からは玉１点、頭部右側からは髪飾とみられる漆片と、サメの歯５点が検出された。それぞれの被葬者の頭部右側には１点の石斧が、柄の部分が頭部と重なる

ような位置で出土した。北側の被葬者の下から南側の被葬者の頭部付近にはベンガラが敷かれ、遺体と重なった部分のベンガラは茶褐色に変色している。また、南側の被葬者の足元付近からは石斧がもう１点検出されている。周りに遺体の痕跡は見つからなかったが、坑底面にはもう一人分の広さが残っており、頭部と重ねて置かれた石斧の出土状況や被葬者の位置から、３人の合葬墓である可能性もある。覆土中の土器や周囲の墓の状況から三ツ谷式期の墓とみられる。

遺物　１は髪針とみられる漆製品である。器体の頂部付近の装飾加工部分とみられ、横向きに図示しているが、図の上下には３ヵ所の突起がある。２～６はサメ歯穿孔品とみられる。ホホジロザメの歯を用いたものがほとんどだが、４は鋸歯の状況や歯根部の欠損状況からメジロザメ科の上顎歯を利用したものとみられる。７～38は南側の被葬者が装着していた首飾りを玉の配列順に示した。連珠の中心には最大の垂珠状の玉21が、ところどころに棗玉状の13、16、31が入る。10は唯一勾玉状に加工されたものである。石材は本遺跡では少ないタルク化蛇紋岩が使用されたものが多く含まれる。39は北側の被葬者の胸付近から出土した垂珠状の玉である。40～42は坑底部に副葬された石斧である。いずれも泥岩製で、刃部が摩滅している。覆土からは縄文時代早期５点、前期１点、中期５点、後期後葉70点の土器片が出土している。43・44は堂林式新段階から三ツ谷式相当の破片で、43は深鉢口縁部、44は注口土器あるいは壷形土器の胴下部片である。

P413（図47　図版53）

遺構　Ⅱ層下位で、Ⅳ層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位はⅣ層、その下位はⅡ層主体の黒褐色土層で埋められており、土色による埋め分けがなされている。坑底部北西側より被葬者の頭部とみられる痕跡みつかった。土坑の形状や覆土の特徴から判断すると縄文時代後期後葉の墓と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期16点、中期６点、後期後葉34点の土器片が出土している。１は堂林式に相当する深鉢口縁部、２は堂林式新段階から三ツ谷式期相当の壷または注口土器頚部片である。

P414（図47　図版53・55）

遺構　Ⅱ層下位で、土器片を多量に含むＭＣ盛土とみられる層が丸く落ち込む状況で検出された。覆土上位は、ローム粒や土器片を多量に含む盛土層そのものが堆積し、下位には黒褐色土層が堆積している。上部にあったＭＣ盛土を掘りぬいたか、あるいは同時期のものとみられ、覆土上部の盛土層は埋め戻しではない可能性もある。覆土の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とした。

遺物　削平された浅い土坑だが、覆土からは縄文時代早期１点、前期１点、中期３点、後期後葉339点の土器片のほか、石鏃やスクレイパー類、400点近いフレイクなどが出土している。１は黒曜石製の石鏃、２～６は御殿山式～大洞Ｂ１式に相当する破片である。２口縁部にはＡ状の突起があり、３の口縁部には３列の爪形文が施される。４は片口土器の破片で、片口わきには三叉文と貼瘤が施される。６は無紋の鉢で、５と同一個体の可能性もある。７は堂林式新段階から御殿山式相当の小形の鉢底部片である。

P415（図54　図版54・55）

遺構　Ⅱ層下位で、土器片を多量に含むＭＣ盛土が丸く落ち込む状況で検出された。覆土上位は、骨片や土器片を多量に含む盛土層そのものが堆積し、下位には遺物量がやや少ない黒褐色土層が堆積している。上部にあった縄文時代晩期前葉のＭＣ盛土を掘りぬいたか、あるいは盛土と同時期に埋められたものとみられる。覆土の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とした。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片84点が出土している。１～３は堂林式新段階から御殿山式相当の破片で、１は小波状の口縁部をもつ深鉢片で、貼瘤文が施される。２は壷あるいは注口土器の無文の口縁部で、焼成前に貫通孔が空けられる。３は深鉢胴部片である。

P416（図55　図版54・55）

遺構　縄文時代前期の住居Ｈ29の覆土上部で、多量の土器片やローム粒を含むＭＣ盛土とみられる黒色土が円形に落ち込む状況で検出された。上部にあった縄文時代晩期前葉のＭＣ盛土を掘りぬいたか、あるいは同時期のものとみられ、覆土は埋め戻しではない可能性もある。覆土の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とした。

遺物　覆土からは縄文時代前期１点、中期29点、後期後葉666点の土器片が出土している。覆土からは縄文時代中期３点、後期後葉55点の土器片が出土しているほか、石鏃３点、つまみ付きナイフ、スクレイパー類、石斧、剥片類など多数の石器もみつかっている。１は環状土製品の破片で、図右側の貼付け左側にはスリットが入れられ、右側には穿孔されている痕跡がある。製品全体にベンガラが塗られている。２～13は堂林式新段階から御殿山式相当の土器片である。２、３は鉢形土器口縁部片で、２は沈線で施文される。４は斜行縄文が施された深鉢片で、本土坑からは左側のまとまった破片、右側の口縁部片はⅠ層から見つかったもの。５は羽状縄文が施される大型の深鉢口縁部片、６～11は胴部に括れを持つ深鉢片で、磨消文、沈線文が施される。８～11は周囲の包含層や遺構覆土から集められた同一個体片で、胴部には貼瘤文が施される。12は三叉文、入組文の施された片口あるいは舟形と見られる器形の土器。13は深鉢底部片である土器片はまとまりがなく、復元できた土器は遺構に入っていたものの可能性がたかいため、４は削平された土坑としてはまとまりのある出土状況で、ＭＣ盛土からの流れ込みではなく土坑に伴っていたものなのかもしれない。

Ｐ417（図54　図版54・55）

遺構　縄文時代前期の住居Ｈ29の覆土上部に黒色土が長円形に落ち込む状況で検出された。覆土は黒褐色土の単層だが、完掘時に縄文時代晩期前葉の土坑Ｐ426に切られていることが判明した。縄文時代後期後葉の土器片13点が出土しているが、これはＰ426からの遺物とみられる。時期は出土遺物から縄文時代中期とした。

遺物　１は黒曜石製の石鏃で、形状の特徴から判断すると縄文時代後期後葉よりは古いとみられる。２は堂林式新段階から三ツ谷式相当の鉢の口縁部片であり、Ｐ426からの流れ込みとみられる。

Ｐ418（図54　図版56・57）

遺構　Ⅲ層上面で、ローム粒や土器片を多量に含むＭＣ盛土とみられる黒色土が円形に落ち込む状況で検出された。上部にあった縄文時代晩期前葉のＭＣ盛土を掘りぬいたか、あるいは同時期のものとみられ、土坑覆土は埋め戻しではないかもしれない。覆土の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とした。

遺物　覆土からは縄文時代中期３点、後期後葉55点の土器片が出土している。１、２は堂林式新段階から御殿山式相当の鉢の口縁部片である。

Ｐ419（図56　図版56・57）

遺構　Ⅲ層上面で、ローム粒を含んだⅡ層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は土器片をしばしば含むが、坑底まで黒色土が変化なく堆積している。掘り進むと坑底面付近で、一個体が割れた状態の深鉢を検出した。出土遺物から判断すると後北C_2Ｄ式期の土坑と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期３点、後期後葉25点、続縄文期65点の土器片が出土。１は坑底面付近で割れて出土した後北Ｄ式の深鉢である。口縁部には１対の補修孔、内面には炭化物の付着も見られ、煮炊きに使用された土器とみられる。破片は１ヵ所の突起を除きすべてがそろっている。２、３は同一個体の小形の注口土器片で、坑底面付近から１点が出土したほかは覆土から出土したものである。

Ｐ420（図56　図版56）

遺構　グリッドの境に位置し、片側の包含層をⅢ層まで下げた時点で、Ⅱ層が円形に落ち込む状況を確認した。覆土は時々土器片を含むが、坑底まで変化なく、土坑の北西側覆土中よりやや大きな円礫片が出土した。土坑の形状などから後北C_2Ｄ式期の土坑と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期１点、後期後葉10点の土器片と礫１点などが出土している。

Ｐ421（図57　図版57）

遺構　Ⅲ層面で、土器片を多量に含むＭＣ盛土とみられる土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土上位には、ローム粒や土器片を多量に含む盛土層が堆積し、下位にはⅣ層が混じる黒褐色土層が堆積している。本土坑は上部にあった縄文時代晩期前葉のＭＣ盛土を掘りぬいたか、あるいは同時期のものとみられ、覆土上部の盛土層は埋め戻しではないかもしれない。覆土の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とした。

遺物　覆土からは縄文時代前期１点、中期５点、後期後葉117点の土器片が出土した。１、２は御殿山式から大洞Ｂ１式期相当の破片とみられる。１の口唇部外側は爪形文状に刻まれ、口縁部には突瘤文と口縁に併行して三列の爪形文が施される。

Ｐ422（図57　図版58）

遺構　Ⅲ層上面で、土器片を多量に含むＭＣ盛土とみられる黒色土とそれを囲むⅣ層混じりの黒褐色土層が円形に重なる状況で検出された。覆土上位には、ローム粒や土器片を含む盛土層が堆積し、下位にはⅣ層が混じる黒褐色土層が、覆土下位にはさらにⅣ層を多く含んだ黒褐色土層が堆積している。本土坑は上部にあった縄文時代晩期前葉のＭＣ盛土を掘りぬいたか、あるいは同時期のものとみられ、覆土上部の盛土層は埋め戻しではないかもしれない。覆土の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とした。

遺物　覆土からは縄文時代中期４点、後期後葉258点の土器片ほか石鏃、スクレイパー類、剥片などの遺物が出土した。１は黒曜石製の楔形石器、２～７は堂林式新段階から大洞Ｂ１式相当の深鉢口縁部片である。２～４は沈線文が施されたもので、堂林式相当と見られる３は沈線施文後に縄文が付されている。４には貼瘤文が施される。５は口縁部に１列の爪形文が施されることから御殿山式以降のものとみられる。６は口縁部の無紋帯にＡ状突起が付される大洞Ｂ式相当の破片である。７は無紋で口縁部に突瘤文が施される。８～11は鉢形土器の口縁部である。８は胴部の括れがやや強いことや突起の形状から、大型の注口土器口縁部片の可能性もある。12、13は壷あるいは注口土器の破片である。12の頚部には爪形文が施され、無紋の口縁部は急角度に立ち上がる。器形から大洞Ｂ式相当とみられる。13は文様から堂林式新段階～御殿山式相当のもの。

Ｐ423（図58　図版58）

遺構　Ⅲ層面で、黒褐色土層と黒色土が円形に重なり落ち込む状況で検出された。覆土上位には、Ⅳ層を多く含む黒褐色土が堆積し、下位には黒色土層が堆積している。本土坑からは上部にあった後期後葉の包含層からの遺物の流入が無く、出土した遺物から縄文時代中期の土坑とした。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片10点が出土。１はその半数が接合した萩ヶ岡２式相当の胴部片である。

P424（図58　図版57）

遺構　道跡の轍下の踏み固められたⅢ層から検出された土坑である。土坑の壁は圧力のためかゆがんでいた。北東壁からはやや大きな礫２点が重なって出土した。土坑の特徴から判断すると後北C_2D式期のものと考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期１点、後期後葉25点の土器片や礫２点などが出土している。

P425（図58　図版59）

遺構　Ⅲ層上面で、土器片を多量に含むMC盛土とみられる黒色土層が長円形に落ち込む状況で検出された。覆土は土器片を含む盛土層が坑底まで堆積する。本土坑は縄文時代晩期前葉のMC盛土を掘りぬいたか、あるいは同時期のものとみられる。覆土の特徴から縄文時代晩期前葉のものとした。

遺物　覆土からは縄文時代中期30点、後期後葉79点の土器片やつまみ付きナイフやスクレイパー類などが出土している。１は口縁部に併行する沈線の間に爪形文を施した三ツ谷式以降の深鉢片とみられる。

P426（図59　図版59）

遺構　縄文時代前期の住居H29の覆土上部に位置する縄文時代中期の土坑P417を完掘した際、本土坑がP417を切って存在していることに気付いた。そのため、図面では平面は欠けているが、本来は円形の土坑であったとみられる。覆土には土器片やパミスが混じるMC盛土層が落ち込んだ状況で、縄文時代晩期前葉のMC盛土を掘りぬいたか、あるいは同時期のものとみられる。覆土の盛土層は埋め戻しではないかもしれない。これらの特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とした。

遺物　覆土からは縄文時代中期12点、後期後葉73点の土器片や石鏃、スクレイパー類などが出土している。１～３は器壁の薄さから御殿山式から大洞Ｂ式相当の深鉢口縁部片とみられる。１の口縁部には１条の爪形文が施される。３は無紋土器で、口唇部外側に爪形文が施される。

P427（図59　図版59・60）

遺構　Ⅲ層上面で、黒褐色土と黒色土が円形に重なる状況で確認された。覆土上位には黒褐色土、下位には黒色土がはいり、検出面上には石皿が１点、覆土中には多数の土器片が含まれていた。出土遺物から後北C_2D式期と考えられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉47点、続縄文期10点の土器片が出土した。１は赤穴式の深鉢口縁部片である。口唇はゆるやかな波状で、口縁部に１条の縄線文、胴部には絡縄体が施され、原体の端部のあたりが口縁部に併行して巡る。内面には炭化物が付着し、土器のつくりは在地の後北C_2D式と類似する。２は後北Ｄ式の深鉢胴部片で、これも内面に炭化物が付着する。

P428（図60　図版60・61）

遺構　平成13年度調査範囲との境目のMライン付近でP429と並んで検出された。Ⅱ層の緩斜面で、中央に黒色土、外側に褐色土が円形に落ち込む状況で検出された。土層断面をみると、覆土上位に黒色土、中間にⅣ層を多く含む暗褐色土、下位に黒褐色土がはいり、いずれの層もパミスが含まれ、埋め戻しの様相を呈する。坑底面の北東側にはわずかにベンガラの散布が確認された。覆土には後期後葉（晩期前葉の破片も含む）の土器片が含まれ、出土遺物や土坑の位置を勘案して縄文時代晩期前葉の墓と考えた。小形の深鉢や大洞Ｂ式相当の注口土器片がややまとまって出土しており、覆土上部の副葬品である可能性がある。

遺物　１は黒曜石製の石鏃である。２～12は堂林式新段階～大洞Ｂ式相当の破片である。２は、のちに本土坑に接して検出されるP486の覆土上部の破片と接合し、復元された小型の深鉢で、御殿山式以降のものとみられる。口唇部は細かく刻み小波状に作られ、底部は上げ底である。３は口縁部の突起片で幅広の突起口唇部には３条の沈線文が施される。突起の形状から晩期前葉とみられる。４、５は堂林式新段階から三ツ谷式相当の破片とみられ、４は小型の深鉢片、５は鉢形土器の破片である。６から12は大洞Ｂ式相当の壷あるいは注口土器の破片である。６、７は鉢形土器の口縁部かもしれない。８は無紋の頚部片、９～12は胴部片である。10の胴上部は沈線で施文されるが、注口部周辺にのみ文様が施される例があるため、８～12は同一個体である可能性がある。

P429（図59　図版61）

遺構　平成13年度調査範囲との境目のMライン付近でP428と並んで検出された。この付近の包含層は、二年間風雨にさらされたため崩れやすくなっていた。本土坑は、それらを取り除いたⅡ層からⅣ層にかけての緩斜面で、中央に黒色土、外側に褐色土が円形に落ち込む状況で検出された。断面は覆土上位に黒色土、中間にⅣ層を多く含む暗褐色土、下位に黒褐色土がはいり、いずれの層もパミスが含まれ、埋め戻しの様相を呈する。覆土中には後期後葉の土器片が含まれ、出土遺物や土坑の特徴から縄文時代晩期前葉の墓と考えた。

遺物　覆土からは縄文時代早期２点、中期２点、後期後葉38点の土器片が出土。石器類の出土量も少ないため、この付近に縄文時代後期後葉の遺物を含む盛土遺構はなかったとみられる。１～３は堂林式新段階から三ツ谷式相当の破片で、１、２は深鉢口縁部、３は壷あるいは注口土器の口縁片である。口唇には突起があり、口縁部に併行した２条の沈線の間を棒状工具でハの字状に刺突している。

P430（図60　図版62）

遺構　Ⅲ層上面で、黒色土が小判型に落ち込む状況で検出した。遺構の確認が遅かったため、残りも浅く、覆土から遺物は検出されなかった。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ431（図61・62　図版62・63）

遺構　Ⅱ層下位で、Ⅳ層が混じる黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。検出面上に遺物はほとんど見えなかったが、掘りはじめるとすぐに土器片や礫が多数検出された。破片のほとんどは水平に出土したが、その中に口縁部を欠損する以外ほぼ完品の注口土器１点が礫とともに坑底面に置かれた状況で検出された。同時期の副葬品は墓の上部に置かれる傾向があることから、墓以外の遺構の可能性もあると考えたが、坑底面の南西壁際よりサメ歯穿孔品３点が検出されたことから、御殿山式期の墓と考え、同時に頭位も南西付近にあると推測した。覆土は、図ではパミスが混じる黒色土１層になっているが、検出面上には薄く黒褐色土があり、本来は土色による埋め分けがなされていた可能性がある。

遺物　１～３は坑底面から出土したホホジロザメ下顎歯を用いたサメ歯穿孔品とみられる。４は覆土上位から出土した砂岩製の砥石片である。この砥石には割れた後も使用されていた痕跡が残る。覆土からは縄文時代後期後葉の土器片273点が出土。５は口縁部と注口部を欠損する以外は原形をとどめる。文様は注口の周りにのみ施され、ひとつは剥離しているが、注口下には２個の貼瘤があり、それを三叉文が囲む。注口より上にはＡ状の突起が繰り返される貼付帯が１条施され、底部には中央に刺突のある乳房状突起が付く。６には地紋がなく、口縁部に２条の平行沈線、胴部には矢羽状の沈線が施される鉢形土器である。口唇部は角型で器壁は薄く、上げ底の底部を持つ。未接合の破片をあわせると、９割以上の破片が遺構覆土から出土している。７の器面には縄文が施され、口唇は丸く上げ底である。未接合の破片をあわせると７割以上の破片が遺構覆土から出土している。８の大型の深鉢は、底部周辺の破片が覆土上部から出土した。胴部中央から口縁部にかけては、隣のＰ432覆土や周辺の包含層の破片が接合したものである。遺構の残り悪いため包含層からの出土量が多いのかもしれないが、となりの遺構覆土からも出土するのは、本土坑が作られた時点であるていど破片が散らばっていた可能性もある。底部は上げ底で、口唇部外側には、親指と人差し指でつまむように刻んだ縦方向の親指の爪痕と上から人差し指の爪先による刻みが連続する。９、10は覆土出土の深鉢口縁部片、11～13は注口土器の破片である。11の口縁部は大小の突起が交互に付されるもので、大きな突起の下には三叉文が施される。12は注口部の破片、13は無紋の注口土器あるいは壷の胴部上半の破片で、Ｐ508－213に図示した注口土器に似たものとみられる。

Ｐ432（図63～65　図版64・65）

遺構　平ⅡＢ層面で中央にパミス混じりの黒褐色土、外側に褐色土が円形に重なり落ち込む状況で検出された。直径約140㎝の本遺跡中では大型の円形土坑である。断面は覆土上位に黒褐色土、中間にⅣ層を多く含む褐色土、下位に黒褐色土がはいり、いずれの層もパミスが含まれ、埋め戻しの様相を呈する。覆土上位の黒褐色土層中からは、副葬品とみられる縄文時代晩期前葉の土器５点が出土、このうち注口土器と片口土器は、口縁を落ち込みの中央に向けた状態で倒れて出土した。これらの土器は埋め戻しの際、並べて置かれていたのかもしれない。また、坑底付近より装身具とみられる玉類23点や人歯の痕跡が出土した。副葬された土器から縄文時代晩期前葉の墓と考えられる。出土土器には隣に位置するＰ431に伴う大型の深鉢口縁部片が十数点出土しているが、本遺構のほうがＰ431より新しいため、埋め戻しの際に流れ込んだ破片とみられる。

遺物　１～23は坑底付近から出土した玉類である。１は蛇紋岩製の本遺構最大の玉である。これは高いレベルでほかの玉類からやや離れた高い位置で出土したが、ネズミの咬み跡が見られることから、埋葬地より後世に動いた可能性がある。２は勾玉状の玉で、線刻が施される。３は丸玉状、８、９は棗玉状である。石材は６がジャスパー製、23がヒスイ製、残りはすべて緑泥石岩製である。24～28は覆土上部に副葬されていた縄文時代晩期前葉の土器である。24の口唇は平らに調整され、頚部と注口付近に縄文が、頚部と肩部の境には爪による刻みが施される。胴部の張り出し付近に１条の沈線をめぐらせ、注口下部の貼り付けは左右非対称で、三叉文が施される。底部は平らに調整される。25は胴部の一部が欠落するため、厳密には壷型か注口土器かは不明である。胴部の形状は24と類似し、底部は平らに調整される。26はキャリパー型の土器とみられ、これらの類例であるＰ395・Ｐ462・Ｐ508からの出土資料と比較すると口縁部と頚部の境にあるくびれが無くなるなど、最も新しい要素が見られる。底部は上げ底である。27はやや小ぶりの浅鉢で、器面になでた痕跡が残る。底部の大きさは26、28に匹敵する。28無紋の片口土器である。墓の上面で倒立した状況で出土し、一部欠損する口縁部は検出面側のため、削平されたものとみられる。無紋の浅鉢形土器の口縁の一部をつまみ出したような調整で、口唇部は平らに調整される。この５点の土器は器面調整や焼成が類似しており、同時に作られたものとみられる。29から32は覆土中の破片である。29は口唇を爪で刻み、口縁部に２列の爪形文が並ぶ。30の口縁部は棒状工具で斜めに刻まれ、口縁部には突瘤文と爪形文が施される。31は浅鉢とみられ、三叉文が施される。32は口縁部が無紋で地紋との境に沈線文が施される。

Ｐ433（図66・67　図版66・67）

遺構　Ⅱ層下位で、Ⅱ層とⅣ層の混土である黒褐色土層とⅣ層の褐色土が小判型に落ち込む状況で検出された。検出面西側を占める黒褐色土層上には副葬品と見られる土器片が認められた。覆土上部からは注口土器１点、注口あるいは壷形とみられる底部片１点、ミニチュア土器３点が割れた状態で出

土した。覆土は、全体に褐色土と黒褐色土が互層に堆積した埋め戻しである。坑底面西側には頭部の痕跡がわずかにみられ、付近から歯が検出された。頭部の南側からは折られた石刀が置かれ、その周辺からはサメ歯穿孔品３点と玉類８点が散らばって出土した。出土した注口土器から縄文時代晩期前葉の墓とみられる。

遺物　１～３はサメ歯穿孔品とみられる。１、２はホホジロザメ下顎歯、３は同上顎歯を利用したもの。４から11の玉類のうち、４は線刻の施された勾玉状の玉、５は扁平な棗玉状の玉である。石材は５が赤色変質岩、６がコハク、そのほかは緑泥石岩である。12は緑色凝灰岩製の石刀片である。最も幅のある部分での長軸と短軸の比率は55.8％であり、数値的に石刀とした。断面は楕円形で片方の側面には面取りが施される。図の上部は破損面が新しく、副葬するさいに折ったものとみられ、尖っていたとみられる図下部の破損面はつぶれて磨耗している。13は注口土器である。底部は丸く、口縁部には10ヵ所の貼付けがあり、その上面に沈線が施される。口縁部と肩部の境には６ヵ所の突起がある貼付帯が付され、突起間に沈線が付される。14は口縁部に１対の孔が空けられ、底部は丸底である。15は半球状、16の底部は剥離し、口縁部は内湾する。14～16はミニチュア土器である。17は乳房状の底部をもつ壷または注口土器の胴下部片で、底部の貼付けは破損している。18、19は堂林式新段階から御殿山式期相当の破片で覆土の遺物で、18は深鉢口縁部、19は壷または注口土器の肩部片である。

P 434（図68　図版67・68）

遺構　Ⅱ層下位で、Ⅳ層が混じる黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は上部にⅣ層にⅡ層の混じる黒褐色土が落ち込み、覆土下位は主にⅣ層起源の土で埋まる。坑底面中央付近からは環状漆塗製品と玉６点が、北側壁際からは玉３点（このうち２点が接合し、玉の合計は８点となる）が出土した。覆土上部は削平のせいか遺物は出土しなかった。墓の位置や覆土の状況から縄文時代後期末葉の墓とみている。

遺物　１は環状漆塗製品とみられる。表面には矢羽状の文様がみられる。２～９は緑泥石岩のおもに臼玉状の玉である。10は黒曜石製の石鏃である。11は堂林式新段階から三ツ谷式期相当の深鉢胴部片である。

P 435（図69・70　図版68・69）

遺構　縄文時代前期の40号住居の黒褐色土の覆土層で、中央にⅡ層の黒色土、外側にⅣ層が混じる黒褐色土層が重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上部には包含層のⅡ層が落ち込みその周りは主にパミスを含むⅡ層とⅣ層の混土により埋められている。土層断面図に示した６層の黒褐色土層中からは７点の玉類が出土した。本層は覆土上位の包含層の落ち込みとの間に埋め戻しの褐色土層が挟まることから、埋葬時に半分近く埋め戻したおりに埋められたものとみられる。覆土中位から玉類が見つかった墓は本遺構のみである。坑底面北西側からは６点のサメ歯穿孔品がまとまって出土したことから、被葬者の頭位もこの付近と考えた。なお、出土したサメ歯穿孔品のうち２点は破損のため図示しなかった。坑底の中央付近からはつまみ付きナイフ１点が出土した。遺構の形態的な特徴から判断すると縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　１から４はサメ歯穿孔品とみられる。歯根部は失われている。１はホホジロザメ下顎歯、２、４は同上顎歯を利用したもの。３は破損品だが、下顎歯を利用したものとみられる。５から11は覆土中位からばらばらで出土した玉・垂飾類である。５は縦長の垂飾とみられ、頂部には装飾が施され、下部は欠損する。６は扁平な丸玉状である。石材はすべて緑泥石岩である。12は坑底面から出土した黒曜石製のつまみ付きナイフである。13から18は覆土中の土器片である。１の口縁部には突瘤文と爪形文が付される。口唇部の細かい刻みの間には幅のある突起が付くようである。14は無紋の口縁部に文様が刻まれ、口縁部の下位には爪形文が施される。13、14は縄文時代晩期前葉の破片である。15、16は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する破片で、15は深鉢、16は壷または注口土器の胴部片である。17、18は三ツ谷式から御殿山式期相当の壷または注口土器の底部片で、内面の様子をみると未使用の個体片である。副葬された土器の一部である可能性もある。

P 436（図70・71　図版69・70）

遺構　縄文時代後期中葉の55号住居の覆土面で、Ⅳ層とⅣ層混じりの黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土最上部にはⅡ層の落ち込みがあり、その下位は黒褐色土層が検出面から南側に落ち込み、褐色土層がその下位、坑底面付近には黒色土堆積し、断面南側には副葬品と見られる石斧が北側には玉（勾玉状）が２点入っているのが観察された。断面で見えた遺物はそれ以外に出土しなかったが、坑底付近の北西側からは頭の痕跡と見られる黒褐色土の高まりが見つかり、その顎側からは人歯が、あたまの北側からは櫛が立った状態で出土（検出の際に移植が当たり、角を欠損する）した。頭部と見られる黒褐色土は調査のさい掘り下げたが、そのおり頭頂部付近からサメ歯穿孔品歯８点が検出された。また、坑底部中央付近からは環状漆塗製品が２点ひとつは横につぶれ、ひとつは環状に出土、また、人歯とほぼ重なる位置で１点の勾玉状の玉が出土した。北側壁中央付近から２点の勾玉状の玉が重なるように出土した。覆土上部は削平のせいか遺物は出土しなかった。墓の位置や覆土の状況から縄文時代後期後葉の墓とみている。

遺物　１～３には漆製品を掲載した。色調はいずれも朱色である。１は櫛である。透かしはなく、欠損箇所は発見の際に移植が当たったもの。２、３は環状漆塗製品である。２は立

った状態で埋まり、つぶれたものとみられる、３は環状に出土した。直径はおよそ８㎝前後とみられ、被葬者が両腕に装着していたものとみられる。４～11はサメ歯穿孔品である。いずれもホホジロザメの歯を利用したもので、４、11は上顎歯を利用したもの、５～８、10は半分欠損品、９は下顎歯とみられる。12は頭部と重なる位置で見つかった勾玉状の玉で、13はＥ字状、14は表面に文様が刻まれたもので、いずれも緑泥石岩である。15は断面でみえていた石斧である。基部は前面敲打による調整である。石斧の下位にはベンガラ層があり、石斧にも付着していた。16は堂林式新段階から三ツ谷式期相当の深鉢口縁部片である。

Ｐ437（図72　図版71）

遺構　Ⅱ層下位で、褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。検出状況からＰ438に一部切られていることがわかった。覆土上部にはⅣ層主体の褐色土層が皿状に落ち込み、下位にⅡ層が混じる黒褐色土層で、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底北西寄りからは頭部の痕跡と見られる黒褐色の高まりが見つかった。出土遺物から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片が３点、中期の破片が９点、後期後葉の破片111点が出土しているほか、石鏃、スクレイパー類なども出土している。出土した遺物はすべて流れ込みとみられる。１は黒曜石製の石鏃、２はメノウ製のスクレイパー類、３から６は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する破片である。

Ｐ438（図72・73　図版71・72）

遺構　Ⅱ層下位で黒褐色土層が円形にお落ち込む状況で検出された土坑である。検出状況からＰ437を切ることがわかった。覆土は上部に黒褐色土、中位にⅣ層が混じるにぶい黄褐色土、下位には黒褐色土が堆積する。坑底の北東寄りから頭蓋骨の痕跡、中央からは大腿骨の痕跡がみつかり、首の位置からはコハク玉を含む首飾りが出土、被葬者の西側、膝付近から透かしのある櫛１点が検出された。櫛の位置は頭からは離れており、被葬者のわきに置かれたものとみられる。

遺物　１は櫛である。表面の赤彩は検出の際に水洗で流れたが、色調はオレンジ系である。四隅に三角形、中央には工字状の透かしを空け、その下位に「(　)」形の透かしが施される櫛である。櫛歯は12本、幅8.8㎝、高さ6.5㎝である。２、３は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する破片で覆土の遺物である。４から25は玉類である。14は嚢玉状で、17、25が厚みのあるもの、あとは臼玉状のものである。石材はほとんどが緑泥石岩製であるが、12、13、23がコハク製である。

Ｐ439（図74～77　図版72～77）

遺構　検出面は撹乱が激しく受けるが、Ⅲ層面で褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認された土坑である。覆土は全般にⅣ層主体の褐色土層とⅡ層を含む黒褐色土層が互層に堆積する。土坑の東側を掘ったさいに坑底付近から10点の玉が並んで出土した。全体を坑底付近まで下げると、細長い土坑にもかかわらず２体分の頭部の痕跡と人歯が認められ、合葬墓であることがわかった。それぞれの被葬者頭上には櫛が１点ずつ、南側の頭上には透かしのある櫛が、北側の頭上からは透かしの無い櫛が検出された。さらに二人の頭の間には倒立した状態で１点、その櫛の下である被葬者の頭の下にはもう１点の櫛がみとめられ、合計４点の櫛が確認された。頭の間と下から検出された櫛は、どちらの被葬者が装着していたかはっきりしないが、櫛歯の方向は南側の被葬者頭部に向いていた。またそれぞれの被葬者の頭部の下からは首飾りが検出された。北側の被葬者の顎の下からは22点の連なった土玉と、それと重なるように勾玉状の玉２点が出土し、南側の被葬者からは嚢玉状の玉を中心に勾玉状の玉やコハク製の玉など24点が連なった状況で検出された。被葬者の歯冠の残りが良く、それぞれ上顎と下顎の歯が確認できた。特に北側の被葬者は歯列のまま出土した。北側の被葬者上顎の歯列の上には動物犬歯（大きさから推測するとヒグマであった可能性がある）を利用した歯牙製品らしき痕跡も認められたが、取り上げるには至らなかった。二人の頭部の中間から約10㎝離れた胸元付近からは環状漆塗製品２点が重なって検出された。出土位置から北側の被葬者が二連で腕に装着していた可能性が高いとみられる。坑底面中央付近からは、被葬者がそれぞれ腰に付けていたと考えられる位置で漆塗腰飾２点が坑底を横切るように検出された。先に見つかった10点の玉は腰飾よりも足側に位置することから、足首に装着されていた可能性もある。

遺物　１～４には櫛を示した。４点出土した櫛のうち透かしが施されるのは２だけである。２は土から分離することが出来なかった。四隅に三角形、中央には工字が上下に分かれたような、十字形と三角形の透かしを空け、下位の十字形のまわりに「(　)」形の透かしが施される櫛である。１、２、４は透かしのない櫛である。１は北側の被葬者頭上から出土したもので、櫛歯は12本で、体部の上部に５ヵ所、下部に２ヵ所の瘤が作られる。残存する幅は82㎜、高さ56㎜である。３は被葬者の頭の間に横向きに立って出土したものである。突起部は方形に切り込まれた状態で、体部の上部に１ヵ所、下部に２ヵ所の瘤が作られる。櫛歯は10本と推測され、残存する幅は69.5㎜である。４は被葬者の頭の下から出土したもの。櫛歯は12本で、現存する幅は87㎜である。発見時３と重なる部分を水洗した際、その部分の顔料が流れたことから、表面の赤彩に使われた漆が少ないのかもしれない。色調は赤系で、体部の上部に３ヵ所、下部に２ヵ所の瘤が作られる。５は２点重なったまま取り上げ、土から分離することが出来なかった環状漆塗製品である。表面は滑らかで張り出した装飾は無いとみられる。６、７は漆塗腰飾である。本遺跡ではＰ439が唯一の出土例である。６は北側の被葬者上から検出

されたもので全長約60㎝、幅約２㎜の細長い繊維５条を平行に合わせて約15㎜の幅に加工されている。７は南側の被葬者上から検出されたもので、残存する長さは約36㎝、幅約15㎜で、細い繊維をまとめ状況にない。８～64は玉類である。８～30は南側の被葬者の首飾りで、棗玉状の20を中心に勾玉状の玉２点などを連ねたもの。10、11、14、15、18、19、21、22、24、25はコハク製で、２点並べて大きな玉の両側などや連の途中に配している。31～54は北側の被葬者の首飾りである。31～52は土玉で、球状に丸めた粘土に穿孔したものである。53、54の勾玉状の２点は土玉の連珠からはみ出しており、土玉の連から飛び出した位置に配されていたとみられる。55～64は北側の被葬者の足付近から出土した連珠である。棗玉状の60を中心に10点を連ねたもので、すべて緑泥石岩製である。65は覆土中の土器片で、御殿山式期相当の鉢の口縁部である。

Ｐ440（図77　図版78）

遺構　Ⅱ層下位で、褐色土層が長円形に落ち込む状況で検出された。覆土上部にはⅣ層主体の褐色土層が皿状に落ち込み、下位にⅡ層主体の黒褐色土層が堆積しており、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底北西寄りからは頭部の痕跡と見られる黒褐色の高まりがみつかった。出土遺物から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　覆土からは縄文時代晩期中葉の破片も出土しているが、土坑の上面は撹乱にまぎれたものと見られる。１、２は三ツ谷式の鉢の破片である。

Ｐ441（図78・79　図78～80）

遺構　Ⅱ層下位で、褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上部には比較的Ⅳ層主体の褐色土層が皿状に落ち込み、下位にⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底北西寄りからは頭部の痕跡と見られる黒褐色の高まりと人歯がみつかり、その頭上には櫛が１点と複数の漆塗垂飾とみられる製品がみつかった。漆塗垂飾はその後、被葬者の首や肩、胸元付近からも玉類とともに出土し、合計14点まで確認できた。形状は宮城県の沼津貝塚から出土した骨製の環状垂飾に似るもので、楕円形に空けた穴の長短の軸方向に複雑な突起を配したもので、同様の骨角器がＦ312からもみつかっている。漆塗垂飾は形状の複雑さから壊れやすく、検出作業の時点で破損したものがあり、確認した点数よりも実際には多くあったとみられる。また、処理後の状態から形状がわかりにくいため、出土位置図に写真と復元想定図を掲載した。覆土の出土遺物から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　１には櫛を示した。透かしは無く、破損が激しいため体部の瘤の有無や櫛歯の数は不明である。２～15は漆塗垂飾である。全体に崩れており図では形状はわからない。16～38は胸元付近から出土した玉類33点である。ほとんどが緑泥石岩製だが、18、20、38は凝灰岩とみられる。39は黒曜石製の石鏃40は覆土出土の石斧である。41～48は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する破片である。

Ｐ442（図80　図版80）

遺構　Ⅲ層面で、黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上部には比較的Ⅳ層主体の褐色土層が混じり、下位にⅡ層主体の黒褐色土層が堆積しているが、上面の削平が深いため、土色による埋め分けがされているかは不明である。坑底北西寄りからは北東向きの頭蓋骨、坑底中央からは左右大腿骨と左脛骨の痕跡が検出された。覆土中の遺物から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　１、２は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する土器片で、３は晩期中葉とみられる破片で、おそらく覆土上位の撹乱にまぎれていたものとみられる。

Ｐ443（図81・82　図版81・82）

遺構　Ⅲ層面で、黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上部には比較的Ⅳ層主体の褐色土層が混じり、下位にⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされていた可能性はある。覆土上位からは、北東側で台石（10）が、中央から南西側で深鉢片（９）がまとまって出土した。坑底面南西側からは北西向きの頭蓋骨の痕跡が検出された。顎の周囲や頭の下にはベンガラが散布され、黒曜石の剥片やスクレイパー類、石鏃が出土している。これらは被葬者の頭に下に故意に置かれたものとみられる。北東側では左右の大腿骨と脛骨の痕跡が残り、被葬者の腰付近からは赤彩された環状土製品が出土している。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　１、２は黒曜石製の有茎鏃である。どちらも破損しており、１は頭骨下から、２は頭骨脇から出土したもの。３、４は黒曜石製のスクレイパー類である。３は顎の脇から、４は頭の下から出土した。５は赤彩された環状土製品で、図の縦方向に貫通孔が空けられている。側面には１条の沈線文を巡らせている。６～９は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する土器片で、６は深鉢口縁部、７は沈線文が施される鉢の口縁部、８は小形の土器の底部である。９は覆土上部に副葬された土器の口縁部片で、小波状口縁と突瘤文をもつ。10は覆土上部出土の安山岩製の台石である。

Ｐ444（図83・84　図版82・83）

遺構　Ⅲ層面で、黒褐色土層で落ち込むＰ444とＰ793の２基の土坑がＬ字状に重なって検出された。Ｐ444の長軸で断面を設定し、観察したところ、土坑の上部で本土坑がＰ793に切られているのがわかった。また、この時点でＰ793の半分が失われた。Ｐ444の覆土は全体にⅡ層・Ⅳ層の混じる黒褐色土で、埋め戻しの様相を呈している。覆土上位には１片の深鉢胴部片がみとめられ、Ｐ443の例から副葬品の可能性が

あると考え図化した。坑底部北西側からは南西を向く頭部の痕跡が出土し、被葬者の歯の付近から後頭部にかけて、47点の玉を連ねた首飾りが出土した。また、坑底部南東側からは左右の大腿骨と脛骨の痕跡が出土した。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　1～47は玉類である。このうち勾玉状の玉が17と27の2点、棗玉状のものが4と9などで、のこりのほとんどは臼玉状のものである。石材はすべて緑泥石岩製である。48は三ツ谷式期に相当する壷あるいは注口土器胴部片である。49は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片。50は覆土上部で検出した深鉢胴部片である。

P 445（図85～87　図版83～85）

遺構　Ⅲ層面で、黒褐色土層と暗褐色土層が小判型に重なって落ち込む状況で検出された。検出面上では上部副葬品の三ツ谷式期の片口土器55が口縁部を上に見えていたが、口唇の一部は破損していた。断面はこの土器をとおる長軸で設定した。覆土は上位にはⅣ層とⅡ層の混土である黒褐色土層が堆積し、下位にはⅡ層が主な黒色土で埋められている。また、坑底面には薄くベンガラがしかれていた。坑底部西側の土器の真下付近には被葬者の頭部があり、櫛3点とサメの歯の集中や人歯が検出された。これらの遺物集中域から離れた坑底部東側にも、玉類、サメの歯、土製品のまとまりがあり、有機質な遺物（図では歯としている）もみられた。サメの歯は被葬者の頭部付近から出土する例が多いことから、この位置にもう一人の被葬者の頭部があった可能性があり、本土坑は縄文時代後期後葉の三ツ谷式期の合葬墓であったとみられる。

遺物　1～3は櫛である。1の体部には、対向する2対の三角形を横に並べ、中心が菱形になった形の透かしが施される。突起部は方形に切り込まれ、体部の上部に1ヵ所、透かしの間に2ヵ所、下部に2ヵ所の瘤が付される。櫛歯は推定10本である。2は1の下から同じ向きで検出された透かしのない櫛である。突起部は弧線状に加工され、体部の上部に5ヵ所、下部に2ヵ所の瘤が付される。3は1と2の横に倒立して出土した半円形の体部をもつ櫛である。取り上げは2と3を一緒に固め、分離は出来なかった。体部の文様帯は完全に崩れているが、紐状の心材を塑型材（漆）で固め、半円形の文様に仕上げたものとみられ、恵庭市カリンバ3遺跡119号土坑墓の出土例に似たものと考えられる。4～46はサメ歯穿孔品である。このうち4～21と出土地点の記録が無いが、櫛の取り上げのさいに出土した46が坑底部西側のまとまりで、22～45は東側のまとまりである。西側と東側を比較すると、前者にはイタチザメの歯3点（11、14、21）が含まれている。イタチザメは秋田県の定置網に入った記録があるそうだが、通常はもっと南海の種である。上顎、下顎かは不明であるが、最大の21が第1歯だとしても全長4m前後はあると推測される大きさである。(北海道大学教授　仲谷一宏氏ご教示による）本種を用いたサメ歯穿孔品は東北地方の遺跡からも出土例はあるが、明確な出土例は北海道では初である。西側から出土した歯はホホジロザメの下顎歯が多く、東側のものより大型の歯を利用している。東側出土のものにはホホジロザメ上顎歯の8番目以降の歯が目立つ。47～52は玉類と土製品である。すべて坑底部東側からの出土で、サメの歯の集中域の外側に散らばる状況で少数が出土した。52は赤彩のある分銅形土製品である。頂部付近には穿孔があり、表面には縄文が施され一条の沈線を螺旋状に施す。出土状況からこれらの玉・土製品は一緒に連ねられた可能性もある。53、54は覆土出土の土器片である。55は覆土上部に副葬されて片口土器である。沈線文の一部にはベンガラがみられ、口縁部と文様帯の下には棒状工具による刺突が施され、無紋の底部は上げ底である。口唇部の片口脇には2ヵ所の突起が施される。

P 446（図80　図版86）

遺構　Ⅱ層下面で、褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上部にはⅣ層主体の褐色土層が混じり、下位にⅡ層主体の黒褐色土層が堆積しており、土色による埋め分けがされている。坑底面西側からはベンガラが混じる頭部の高まりと人歯が検出された。出土遺物から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　1は頁岩製のつまみ付きナイフ、2～4は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する土器片である。

P 447（図88　図版86・87）

遺構　耕作跡の残るⅢ層面で、褐色土層が黒褐色土層に囲まれて楕円形に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にⅣ層主体の褐色土、下位にⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底面には薄くベンガラが敷かれ、坑底西側から頭部の痕跡がみつかり、歯の周囲からは4点の玉が出土した。また、被葬者の頭上北側の坑底面より高い位置で櫛が1点検出された。出土遺物の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　1は透かしのない櫛である。突起部は弧線状に加工され、体部の上部に5ヵ所、下部に2ヵ所の瘤が付される。櫛歯は12本で、幅は88㎜である。2～5は玉類である。このうち2は勾玉状で、3は棗玉状である。石材は2、3が緑泥石岩製、4、5が緑色凝灰岩製である。6は東側の壁際覆土出土の石斧である。全面が磨かれ、後期後葉より古いものとみられる。7、8は覆土から出土した堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する土器片である。

P 448（図89・90　図版87～89）

遺構　耕作跡の残るⅢ層面で、暗褐色土層が黒褐色土層に囲まれて円形に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にⅣ層主体の暗褐色土、下位にⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑

底部の長軸が70㎝を切る小形の土坑だが、底には薄くベンガラが敷かれ、坑底部南東側の黒褐色土層中からは４点の櫛（透かしのあるもの２点、無いもの２点）と櫛の下から５点の環状土製品が検出された。土製品は５点のうち２点が櫛の真下に位置し、後の保存処理時に見つかったものである。土製品のそばに人歯も検出されたことから、これら土製品と櫛は被葬者の頭に装着していたものとみられる。出土遺物から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　１～４は櫛である。１は四隅に三角形、中央には工字状の透かしを空け、そのまわりに「(　)」形の透かしを施した櫛である。色調は朱色で、体部の下位には２ヵ所の瘤が造られる。櫛歯は12本で、幅86㎜である。２は中央に工字状とまわりに「(　)」形の透かしを空け、体部の端には三角形の透かしを３ヵ所空けている。櫛歯は12本で幅は87㎜である。３は透かしのない櫛である。突起部は弧線状に加工され、体部の上部に５ヵ所、下部に１ヵ所の瘤が付される。櫛歯は13本で、幅は92.5㎜である。４は透かしのない櫛である。突起部は弧線状に加工され、体部の上部に６ヵ所、下部に１ヵ所の瘤が付される。櫛歯は11本で、幅は69㎜である。５～８は環状土製品である。５点のうち、５～７は櫛２を取り上げるさい、まわりから検出されたもので、８、９が櫛２を土から分離した際に見つかったものである。出土位置は発見時の状況から復元した。これら環状土製品に文様は無い。

P 449（図84　図版89）

遺構　耕作の激しいⅡ層面で、褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にⅣ層主体の褐色土、下位にⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。本土坑を半最中に、同時期の777号土坑を確認し、これを切っているとみたが、深く撹乱を受けた場所のため確実ではない。坑底部の北西端から頭部の痕跡である黒色土の高まりと歯がみつかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片が２点、中期の破片９点、後期後葉の破片106点が出土した。１～３は覆土出土の堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢片である。

P 450（図91　図版89・90）

遺構　Ⅱ層下面で、パミス混じりの黒褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出された。土坑の位置はＰ－33の杭と重なる。覆土上位にはⅣ層がやや多く混じる黒褐色土が皿状に落ち込み、下位には比較的Ⅱ層主体の黒褐色土層が堆積している。覆土は全般にパミス混じりで、埋め戻しの様相を呈する。坑底部の南西側からは人歯が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片23点、後期後葉の破片35点が出土した。１～３は覆土から出土した堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢片である。

P 451（図91　図版90・91）

遺構　Ⅱ層下面で、一部大きく撹乱を受けるが褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認された。覆土上位にはⅣ層の褐色土層、その下にⅣ層主体の暗褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがなされたものとみられる。坑底部西側にはベンガラの散布が確認された。頭位も同じ方向とみられる。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片が１点、中期の破片22点、後期後葉の破片39点が出土した。１は頁岩製の石錐、２、３は堂林式新段階から三ツ谷式期の破片である。

P 452（図91　図版90・91）

遺構　耕作跡の残るⅢ層面で、暗褐色土層が黒褐色土層に囲まれて楕円形に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅣ層主体の暗褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部西側からは人歯が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片９点、後期後葉の破片15点が出土した。１、２は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

P 453（図92　図版91）

遺構　H65の覆土上で、褐色土層が焼土を切って小判型に落ち込む状況で確認された。覆土上位はⅣ層主体の褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたとみられる。坑底部の西側からは頭骨と歯、東側からは左右の大腿骨の痕跡が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、前期の破片２点、中期の破片７点、後期後葉の破片34点が出土した。１、２は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

P 454（図92　図版91）

遺構　Ⅱ層下面で、褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認された。覆土上位はⅣ層主体の褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部の南西側からはベンガラの散布と頭部の痕跡が、北東側からは大腿部とみられる痕跡が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片22点、前期の破片５点、中期の破片５点、後期後葉の破片39点が出土した。１～３は堂林式新段階から三ツ谷式期の深鉢片である。

Ｐ455（図93・94　図版92）

遺構　耕作跡の残るⅢ層面で、暗褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。検出面上に土器片の集中がみられ、注口土器が復元された。覆土は全般にパミス混がまじり、Ⅱ層とⅣ層の混土である暗褐色土層と褐色土層がスジ状に互層に堆積し、埋め戻しの様相を呈する。坑底部の中央から東側にかけてベンガラの散布がみられ、歯の痕跡も２ヵ所確認された。また、坑底面には刃部を南に向けた石斧２点が約35㎝はなれて並び検出された。このような状況から、被葬者は頭を北向きに、南北方向に体をそろえて２体ならんでいた合葬墓とみられる。時期は、上部に副葬された注口土器より三ツ谷式期とみられる。

遺物　１、２は坑底部に副葬された石斧である。１は東側、２は西側から出土したもので敲打による形状調整の後に刃部をつけたものである。３は検出面の注口土器である。口縁部と胴部上半には直線の区画内に弧線を重ねる文様を施し、文様の区画部に刻みを付した貼瘤を施す。注口部下には円形の貼付け上に小さな貼瘤を付す。胴下部と頚部は無紋で、図示していないが器面全面にベンガラが塗布された痕跡がみられる。大きいほうの底径は36㎜で、底径18㎜の小さな底と二重の構造に加工される。４～８は覆土出土の堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する破片である。４、５は深鉢口縁部、６は片口土器、７、８は注口または壷形土器である。６と８にはベンガラが付着する。

Ｐ456（図92　図版93・94）

遺構　Ⅲ層面で、パミス混じりの黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。検出面上の西寄りには長径約30㎝の石皿１点が乗っていた。覆土は全般にパミス混じりのⅡ層とⅣ層の混土で、埋め戻しの様相を呈する。坑底面からはベンガラの厚い堆積が確認された。ベンガラ面の西寄りでは頭部の痕跡とみられる暗赤褐色の範囲がみられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片17点が出土した。１は三ツ谷式期に相当する鉢の口縁部片である。

Ｐ457（図95　図版93・94）

遺構　耕作跡の残るⅣ層上面で、褐色土層が黒褐色土層に囲まれて小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅣ層主体の褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部から遺体の痕跡などは見つからなかったが、土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片９点、後期後葉の破片25点が出土した。１は三ツ谷式期に相当する深鉢の口縁部片である。

Ｐ458（図95　図版93・94）

遺構　耕作跡の残るⅣ層上面で、暗褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出された。覆土は全般にパミス混がまじり、Ⅲ層とⅣ層の混土である暗褐色土層と褐色土層がスジ状に互層に堆積し、埋め戻しの様相を呈する。坑底部西側のから南側縁にそってベンガラの散布がみられ、西側には頭部の痕跡と歯が確認された。また、頭部の北側には石斧が１点添えられていた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓と考える。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片３点、後期後葉の破片８点が出土している。１は覆土中から出土した堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する注口土器または壷の破片である。２は被葬者の頭部北側に添えられていた石斧である。敲打による形状調整の後に刃部をつけたものである。

Ｐ459（図96・97　図版94）

遺構　耕作跡の残るⅣ層上面で、褐色土層が暗褐色土層にかこまれて円形に落ち込む状況で検出された。覆土上位はⅣ層主体の褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部西側を中心にベンガラ層が厚く堆積しており、西側壁付近には２体分の人歯がみとめられた。また、北側の被葬者の頭部付近にサメ歯穿孔品とみられるホホジロザメの上顎歯が１点検出され、その北側の壁際では、ホホジロザメの胎児とみられる（北海道大学教授　仲谷一宏氏ご教示による）歯108点がまとまって出土した。このような出土状況は、加工されたサメ歯穿孔品が集中しているのではなく、小形のサメの顎が置かれていた可能性もある。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の合葬墓とみられる。

遺物　１～80にはサメ歯穿孔品ともられるものを示した。１は北側の被葬者頭部付近から出土したホホジロザメの上顎歯（推定全長は２ｍを下回る小さな個体）を利用したもの。２～80は108点出土したサメの歯のうち実測出来た79点である。図では見えないが、縁には鋸歯状の構造がみられるものが多く、細長い歯では観察できないが、同じ個体の歯であるとすれば、上顎と下顎のセットと考えられる。81、82は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する口縁部片である。

Ｐ460（図98　図版95）

遺構　耕作跡の残るⅣ層上面で、褐色土層が暗褐色土層にかこまれて長円形に落ち込む状況で検出された。覆土上位はⅣ層主体の褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積し、坑底部にはⅢ層とⅣ層の混土が堆積しているが、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部にはベンガラの散布がみられ、坑底部西側からは２ヵ所の頭部と歯の痕跡が確認された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の合葬墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、前期の破片２点、中期の破片19点、後期後葉の破片18点が出土した。

P461（図98　図版95）

遺構　Ⅲ層面で、パミス混じりの暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位はⅡ層にⅣ層とパミスが混じる黒褐色土層であり、下位にはⅡ層主体の比較的上層と比べると黒色土層が堆積している。ある程度は土色による埋め分けをしたものとみられる。坑底部の西側からは頭部の痕跡と見られる黒褐色の高まりがみつかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の合葬墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片５点、後期後葉の破片101点が出土している。１、２は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する口縁部片である。

P462（図99～101　図版96～98）

遺構　擦文時代の住居址H34の北角のⅣ層上面で、Ⅲ層が混じる褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。検出面には耕作の撹乱があるが、土坑の中央には灰白色の層とそれを囲む黒褐色土層が認められ、上部は削平されているのがわかった。残る覆土は坑底部までⅢ層とⅣ層の混土で、埋め戻しの様相を呈する。覆土上部の灰白色層と黒褐色土層を下げると土坑の中央に４の注口土器が倒れて出土し、周辺からは複数の土器がつぶれた状態で検出され、これらの土器は副葬品と考えられた。坑底部中央にはベンガラの散布があり、その上から環状漆塗り製品１点が壊れた状態で見つかった。

また、土坑の北西側からは頭部の痕跡と見られる黒褐色の高まりもみつかった。上部に副葬された土器から縄文時代晩期前葉の墓とみられる。

遺物　１（１－１～１－９）は環状漆塗製品である。図は１－１と１－２を合わせ図上で全体像を復元したものである。掲載した９点すべてが同じ環状漆塗製品の破片とみられる。製品には環状に張り出す装飾が１ヵ所付けられるが、１－１、１－２とも土からの分離が出来なかったため、詳細は推定である。色調は朱色である。２～14には墓の上部から出土した一括性の高い土器を示した。２は丸底で、胴部は張り出し、そろばん玉に近い形状をなす。頚部は胴部の張り出しの直上で弱くくびれ、口縁部は失われている。胎土には小石が含まれているのが観察できる。３の胴部は丸く張り出し頚部は胴部の張り出しのから近い位置でくびれる。底部と口縁部を欠くが、丸底であったと推測される。注口部の根元はふくらみ、下部には抉りの入る突起とそれを囲み三叉文が施される。４は土坑の中央に横向きで出土した注口土器である。胴部の張り出しは弱く縦長の器形で、底部は剥離するが、乳房状突起が付されていとみられる。口縁部は無紋で頚部には４条１組の弧線文が、胴部には２条から３条一組の渦巻き文や三叉文が施される。５は小形の注口土器で、胴部は丸く張り出し、頚部には明瞭な段を有する。底部には沈線文が施され中央は丸く窪ませる。口縁部と注口部は欠損する。６は注口土器の胴部片である。外面は丁寧に磨かれ胴部の張り出し直上に頚部の括れを有する。７は注口土器か鉢形土器の口縁部片、８はキャリパー形の口縁部を有する鉢である。無紋の口縁部は内反し、胴部には斜行縄文が施される。底部は上げ底で無紋である。９は深鉢の口縁部～胴部片である。口縁部は無紋帯があり、縄文が施される胴部の境には爪形文が施される。10～14は小形の鉢形土器である。いずれも上げ底で、焼成前から底部中央が穿孔される。11は器面に菱形の文様が施され、10以外は台部と胴部の境に沈線文が施される。14は口縁部の開きが弱い、ミニチュア土器である。

P463（図102　図版99）

遺構　耕作跡に切られるが、Ⅱ層下位で、褐色土層が小判型に落ち込む状況がかろうじて確認できた土坑である。上部には撹乱層が入るが、覆土上位にはⅣ層主体の褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底面にはベンガラが散布され、坑底部南西からは頭部の痕跡と見られるベンガラの高まりがみつかり、被葬者の南脇には石棒が１点、柄頭を頭側に向けて置かれていた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１～２は覆土出土の堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する口縁部片である。３は砂岩製の砥石である。４は被葬者の南脇に置かれていた単頭の石棒である。長さ54.8㎝で、柄頭には１条の線刻とその下に細く菱形の刻みが施され、端部は細身に加工し先端は平らに調整される。柄頭より下位には２条の線刻とその下に細い線刻が２条みられる。両側には敲打痕がのこり、全面磨かれている。

P464（図103　図版100・101）

遺構　縄文時代前期の住居址H52上で、褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出した。覆土上位にはⅣ層が混じる黒褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部南西からは頭部の痕跡と見られる黒褐色土層の高まりと人歯がみつかり、北東側ではベンガラの散布と足の痕跡が認められた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片16点、中期の破片４点、後期後葉の破片57点が出土している。１～２は覆土出土の堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する土器片である。３は東釧路Ⅳ式の底部片である。

P465（図103　図版100・101）

遺構　Ⅱ層下面で、褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片20点、中期の破片４点、後期後葉の破片22点が出土している。１～３は覆土出土

の堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する土器片である。２、３は壷または注口土器の同一個体片で、口縁部は広がらず、胴部の張り出しから狭まったまま口縁部となる。

P466（図103　図版100・101）

遺構　耕作跡の残るⅡ層下面で、暗褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出された。覆土はパミス混がまじり、Ⅱ層とⅣ層の混土である暗褐色土層と褐色土層がスジ状に互層に堆積し、埋め戻しの様相を呈する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片２点、後期後葉の破片20点が出土している。１は覆土出土の堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

P467（図104　図版101）

遺構　Ⅲ層面で褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出された。一部黒褐色土層が入るが、覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部には有機質な黒褐色土があり、その西側には頭部の痕跡と見られる黒褐色土層の高まりがみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、中期の破片４点、後期後葉の破片36点が出土している。１、２は覆土出土の堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する破片で、１は深鉢口縁部片、２は無紋の片口土器片とみられる。

P468（図104　図版101）

遺構　耕作跡の残るⅢ層面で褐色土層に黒褐色土層が重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片２点、中期の破片４点、後期後葉の破片43点などが出土している。また、出土地点が確認できなかったが玉が１点出土している。１は緑泥石岩製の玉、２は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

P469（図104　図版102・103）

遺構　耕作跡の残るⅢ層面で暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底面の一部にはベンガラの散布がみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片６点、後期後葉の破片140点などが出土している。１～３は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢片である。

P470（図105　図版102・103）

遺構　耕作跡の残るⅢ層面で暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部北西縁には頭部の痕跡と見られる有機質な黒褐色土層がみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片１点、中期の破片７点、後期後葉の破片40点などが出土している。１～３は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する。１はミニチュア土器である。頚部はくびれ、口縁部に３条の細い沈線文が施される。２、３は深鉢口縁部片である。

P471（図105　図版102・103）

遺構　耕作跡の残るⅢ層面で暗褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片８点、後期後葉の破片46点などが出土している。１～３は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する土器片である。１は深鉢口縁部、２は鉢形で刻みが施される突起の下には穿孔が施される。３は壷または注口土器の頚部片である。

P472（図105　図版103）

遺構　耕作跡の残るⅢ層面で褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部には遺体の痕跡とみられる有機質な黒褐色土層がみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、前期の破片４点、中期の破片７点、後期後葉の破片18点などが出土している。１、２は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する破片である。

P473（図105　図版103）

遺構　耕作跡の残るⅢ層面で黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはパミスが混じるⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積している。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片１点、中期の破片25点、後期後葉の破片７点などが出土している。１は堂林式新

段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

P474（図106・107　図版104）

遺構　耕作跡の残るⅢ層面で褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。上部に少量の黒褐色土層の落ち込みがみられたが、覆土はⅣ層主体の褐色土層が坑底付近まで堆積していた。坑底部は全体に厚くベンガラが堆積し、坑底部北西側には頭部の痕跡と見られるくすんだベンガラ層の高まりがみとめられ、その北側横からは２点のサメ歯穿孔品と透かしのない櫛１点が検出された。また、坑底部南側には環状漆塗製品１点分の破片が散らばって検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１、２はサメ歯穿孔品とみられるもので、１は全長２ｍ前後のホホジロザメ上顎歯、２は鋸歯の状況と歯根部の欠損状況からオオメジロザメの歯を利用した可能性がある。３は透かしのない櫛である。色調は朱色で、状態が悪いため細部の特徴は不明である。４、５は同一の環状漆塗製品の破片である。これらの漆塗製品はいずれも土から分離することが出来なかった。

P475（図107　図版105）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面で黒褐色土層に暗褐色土層が重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部東縁ではわずかにベンガラの痕跡がみられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、中期の破片１点、後期後葉の破片11点などが出土している。１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢胴部片である。

P476（図108・109　図版105～107）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面で黒褐色土層に褐色土層が重なるように小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅡ層がU字状に落込み、そのまわりにⅣ層主体の褐色土層、下位にはⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積する。坑底面南半分にはベンガラが散布され、ベンガラ上の南西側には環状漆塗製品２点が壊れた状況で出土し、その東横には人歯の痕跡がみられたことからこれら漆製品は頭部に装着されていたものとみられる。さらに頭部付近ではサメの歯２点も出土している。頭部の南側壁際には刃部を足側に向けた石斧が１点おかれ、ベンガラの無い坑底部北側には玉類の集中が２ヵ所みられた。出土遺物や土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は環状漆塗製品である。取り上げの際に１－２、１－３が外れたため、両面展開させている。色調は朱色で、装飾などの突起はみとめられない。２、３はサメ歯穿孔品とみられる。ホホジロザメ上顎歯が用いられている。４～38は玉類である。４～15が坑底部中央付近から出土したもので、16～38が頭部に近い坑底部南西側で出土したものである。それぞれ連なっていた順を想定した掲載としている。いずれも緑泥石岩製で、９、12は深い刻み見で立体的な装飾が施される。31、38の縁には刻みが施される。39は頭部の脇に置かれていた石斧である。全面敲打により形を整えたのちに刃部の加工が施される。

P477（図110　図版108・109）

遺構　Ⅳ層面で黒褐色土層に暗褐色土層が重なるように小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。本土坑は縄文時代中期の住居址Ｈ59を切っているが、住居址を先に調査し、断面の一部が失われている。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片11点、後期後葉の破片29点などが出土している。１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

P478（図110　図版108・109）

遺構　Ⅲ層面で黒褐色土層に褐色土層が重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部北東側からは頭部の痕跡と見られるベンガラ層の高まりがみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片１点、中期の破片19点、後期後葉の破片26点などが出土している。１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する壷または注口土器の胴部片である。

P479（図110　図版108）

遺構　Ⅳ層面で黒褐色土層に暗褐色土層と褐色土層が混ざり合い小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が、上位はⅣ層主体の褐色土とⅡ層主体の黒褐色土層が堆積している。坑底部中央付近にはベンガラの散布がみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片17点、後期後葉の破片８点などが出土している。

P480（図111　図版109）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面で黒褐色土層に黒褐色土、褐色土層が重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けが

されたものとみられる。坑底部西側からは玉が３点検出されたことから、頭位もこの方向とみられる。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片２点、中期の破片２点、後期後葉の破片８点などが出土している。１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する注口土器あるいは特殊な器形の土器の装飾部の破片とみられる。２～３は緑泥石岩製の玉類である。

Ｐ481（図110　図版109）

遺構　Ⅳ層面で黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。遺存する深さは17㎝で、覆土は坑底付近に堆積するⅡ層主体の黒褐色土層のみである。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片３点、後期後葉の破片１点などが出土している。

Ｐ482（図112　図版110）

遺構　Ⅳ層面で黒色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。遺存する深さは10㎝で、覆土は坑底付近に堆積するⅡ層主体の黒色土層のみである。土坑の西側、検出面直下から透かしのない櫛が１点検出され、櫛の西側からはサメの歯17点が検出、櫛の下位からは、漆塗製品の破片がみつかった。このような状況から被葬者の頭位は西南西側で、土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は櫛である。透かしはなく体部上位には６ヵ所、下位には２ヵ所の瘤が施されていると推測する。２は櫛の下から見つかった漆塗製品の破片で、詳細は不明である。３～18はサメ歯穿孔品とみられる17点出土したうちの１点が破損のため実測できなかったが、出土状況から並び順を復元し掲載した。全長２ｍ前後のホホジロザメ上顎歯を用いたものが多く、中央に大き目の歯を、両端には小さめの歯が並ぶ。

Ｐ483（図113・114　図版111・112）

遺構　Ⅳ層面で黒褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出された。遺存する深さは18㎝で、覆土は坑底付近に堆積するⅡ層主体の黒褐色土層のみである。土坑の南西側では頭部の痕跡と見られるベンガラ層が薄く乗る、有機質な黒褐色土層の高まりがみとめられた。頭部の痕跡の北側からは67点の玉類を用いた首飾りが、連なったままの状況で出土した。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１～67は玉類である。連珠を復元すると、大きめの重い玉が中央に集まり、端には小形の玉を連ね、両端付近には小形の勾玉状の玉が配置されている。石材は８がジャスパー、57がタルク製であるほかは緑泥石岩製である。

Ｐ484（図111　図版113）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面でⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位には暗褐色土層、下位には黒褐色土層やⅣ層がブロック状に混じるⅡ層が堆積している。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片１点、中期の破片１点、後期後葉の破片３点が出土している。１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

Ｐ485（図111　図版113）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面で黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は全般にⅡ層とⅢ層の混土にⅣ層が混じる状況である。坑底部北西側には頭部の痕跡とみられる有機質な黒褐色土層の高まりがみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、中期の破片１点、後期後葉の破片35点などが出土している。１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

Ｐ486（図115・116　図版113・114）

遺構　Ⅱ層下位で黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にⅡ層とⅣ層が混じる黒褐色土層が堆積し、下位には上位の層よりも比較的Ⅱ層が多く混じる黒褐色土層が堆積する。土坑は一部縄文時代晩期前葉の墓Ｐ429と重なっている。坑底部西側寄りから人歯と、その横に玉類73点を用いた首飾りが出土した。また、首飾りの南側からは環状漆塗製品が１点検出された。環状漆塗製品は頭部付近から出土していることから頭に装着されていたものとみられる。首飾りには緑泥石岩製の玉とコハク製の玉が利用され、棗玉状に加工された深緑色の玉の脇にコハク玉製の赤い玉を連ねる傾向がみられ、玉の色調を意識した配列がなされているとみられる。覆土上部から出土した無紋の注口土器から、本土坑は縄文時代後期末葉の御殿山式期の墓とみられる。

遺物　１は被葬者の頭部に装着されていたものとみられる環状漆塗製品である。芯材に幅のある樹皮あるいは草皮を縦に巻きつけ、２ヵ所の肥厚する丸い装飾が付けられる。色調は朱色である。２～68は玉類である。73点出土したもののうち６点が破損のため未実測である。石材は２、４、９、10、13、18～20、23、24、28、34の12点がコハク玉である。69は覆土上部の破片と一部付近の晩期前葉の土坑上部から出土した破片と合わせてある程度の形状を復元できた御殿山式期相当の無紋の注口土器胴部から底部である。底径17㎜前後で上げ底である。70～72は覆土出土の堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

Ｐ487（図117　図版115）

遺構　Ⅱ層下位に遺物混じりのⅣ層が広がっている状況から土坑と判断したものである。Ⅳ層下の黒色土からは７点の玉が集中して検出されるなど、遺物包含層とは異なる状況がみ

られ、本時期にみられる盛土墓であった可能性があるとみている。覆土上位のⅣ層主体の褐色土層は図では撹乱層としているが、本層中から出土した遺物はまとまっていることから、撹乱ではなく覆土であったとみられる。

覆土上部から出土した無紋の注口土器から、本土坑は縄文時代後期末葉の御殿山式期の墓とみられる。

遺物　1～7はまとまって出土した玉類である。ヒスイ製で片側穿孔のものが6点で、残り1点は緑泥石岩製である。8～11は覆土上部の褐色土層中の土器片である。8は覆土上部の破片と、一部付近の晩期前葉の土坑上部から出土した破片と合わせて復元できた御殿山式期相当の無紋の注口土器である。底径22.5㎜で上げ底である。口縁部と頚部の境には1条の沈線文が施される。9は覆土上部の破片と、一部付近の晩期前葉の土坑上部から出土し復元できた御殿山式期相当の鉢形土器である。口縁部と胴下部には細かい縄文が施され、胴中央部には、沈線文で区画された無紋帯が施される。10、11は三ツ谷式期～御殿山式期に相当する深鉢口縁部片である。11の口縁部には突瘤文の上下に爪形文が施される。

P488（図116　図版116）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面でパミスの混じる黒色土層が黒褐色土層に重なり長円形に落ち込む状況で検出された。遺存する深さは5㎝で、覆土上位にはパミスの混じるⅡ層が堆積し、下位にはⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からはフレイク2点が出土した。

P489（図118　図版116・117）

遺構　Ⅲ層面で黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土はⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層である。覆土から敲き石1点が検出された。出土遺物から縄文時代前期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片4点、敲き石1点などが出土している。1は安山岩製の敲き石で、端部の角2ヵ所に敲打痕がのこる。

P490（図118　図版116・117）

遺構　Ⅲ層面で黒褐色土層が不整形に落ち込む状況で検出された。覆土はⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層である。覆土からは後期前葉の破片が出土していることと、付近に同時期の住居址H28があることなどから縄文時代後期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片3点、後期前葉の破片19点などが出土している。1は中期中葉の口縁部片で、2～4は縄文時代後期前葉のタプコプ式に相当する破片である。

P491（図118　図版117）

遺構　Ⅲ層面でパミス混じりの黒色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は上部にパミスが混じるⅡ層が、下位にはⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層が堆積する。覆土からは縄文時代後期前葉の破片も出土しているが、上位から後北C_2D式の破片が出土したため、同時期の土坑とみられる。

遺物　1、2は同一個体と見られる後北C_2D式の口縁部片である。口唇部は刻まれ、口縁部には1条の貼付帯貼が施される。

P492（図119　図版117）

遺構　Ⅲ層面で黒色土が黒褐色土層と重なり円形に落ち込む状況で検出された。検出地点はQ－28の杭と重なる。覆土は上位にⅡ層の落込みがあり、下位はⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。覆土からは多数の縄文時代後期後葉の破片が出土しており、この付近に広がっていたMC盛土からの流れ込みとみられる。遺構の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　1は縄文時代晩期前葉の口縁部片とみられる。無紋の口縁部の下には爪形文が施される。2～4は御殿山式～晩期前葉期に相当する破片である。2の口縁部には無紋帯がある。3は無紋の浅鉢の口縁部片、4は爪形文が施される胴部片である。

P493（図119　図版118）

遺構　Ⅲ層面で黒色土が黒褐色土層と重なり楕円形に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にパミス混じりのⅡ層の落込みがあり、下位はⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。覆土から遺物は目立って出土していないが、盛土との位置に関連するのかもしれない。遺構の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片2点、中期の破片12点、後期後葉の破片6点などが出土している。

P494（図119　図版118）

遺構　Ⅲ層面で黒色土が楕円形に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にパミス混じりのⅡ層の落込みがあり、下位はⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。覆土は上位に黒色土、下位にパミス混りの黒褐色土層が堆積する。遺構の特徴から縄文時代前期の土坑と考えた。

遺物　覆土から遺物は出土していない。

P495（図119　図版118）

遺構　Ⅱ層下面で黒色土と黒褐色土が円形に落ち込む状況で確認された。検出面上には扁平な円礫が1点乗っていた。覆土は黒色土や黒褐色土層が皿状に堆積している。覆土から遺物はほとんど出土しなかったが、遺構の特徴から後北C_2D式期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期前葉の破片1点、後期後葉の破片1点などが出土している。

Ｐ496（図120　図版119）

遺構　Ⅱ層下面で、パミスの混じる黒色土層が小判型に落ち込み、褐色土層の落込みを切る状況で確認された。断面から、本土坑は縄文時代後期後葉の墓であるＰ655を切ることが確認された。覆土は上位にパミスの混じる黒色土層が、下位には黒褐色土層が堆積する。覆土上位から後北Ｃ$_2$Ｄ式の注口土器の破片が出土したことから、同時期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片14点、後期後葉の破片59点、後北Ｃ$_2$Ｄ式の破片２点などが出土している。１は後北Ｃ$_2$Ｄ式の注口土器の破片である。器高は10㎝以下の小形のものとみられる。２は晩期前葉の口縁部片、３、４は後期後葉の破片である。

Ｐ497（図121・122　図版119・120）

遺構　耕作跡の残るⅡ層下面で黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。検出面上の一部明褐色シルト層が堆積しており、シルト層の下からは黒褐色土層を挟んで、２個体の深鉢片や礫が出土した。覆土はⅡ層主体の黒色土層や黒褐色土層、Ⅲ層、Ⅳ層の混土である暗褐色土層が互層で堆積し、埋め戻しの様相を呈する。坑底面には薄いベンガラの散布がみとめられ、坑底部西側からは、頭部の痕跡と見られる有機質な黒褐色土層の高まり２ヵ所が歯とともにみつかり、東側からは２体分の足の痕跡がみとめられた。出土遺物から三ツ谷式期の合葬墓とみられる。

遺物　１は胴下部片である。２、３の土器は底部が欠けるが、別個体とみられる。２、３は三ツ谷式期の深鉢である。２の口唇には爪形文が施された突起が５ヵ所あり、突起の間には指などで口唇をつぶした窪みが付される。口縁部の文様には対向する三叉文とその間に、上下交互に向く三叉文を中心に沈線文で文様を描き、充填縄文が施される。３は小波状の口唇部をもつ深鉢で、口縁部には突瘤文が施される。

Ｐ498（図120　図版120・121）

遺構　Ⅳ層面で暗褐色土層が黒色土層に重なり円形に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にⅣ層が混じる暗褐色土層、下位にはパミスの混じるⅡ層主体の黒褐色土層が堆積する。坑底部西側からは、後北Ｃ$_2$Ｄ式の底部片が出土したことから、同時期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片14点、後北Ｃ$_2$Ｄ式の破片６点などが出土している。１は後北Ｃ$_2$Ｄ式の底部片である。底は平らに調整され、縞縄文が施される。

Ｐ499（図120　図版120・121）

遺構　Ⅳ層面でパミス混じりの黒色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は全般にパミスの混じる黒色土層が堆積する。付近にはＰ498、Ｐ500の３基の土坑が並び、残り２基とも後北Ｃ$_2$Ｄ式期の土坑で、覆土も特徴が似ていることから、本土坑も後北Ｃ$_2$Ｄ式期とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片４点が出土した。

Ｐ500（図120　図版121）

遺構　Ⅳ層面で暗褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。検出面上には礫が１点乗っていた。残りは悪いが出土遺物か、後北Ｃ$_2$Ｄ式期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片４点、後北Ｃ$_2$Ｄ式の破片６点などが出土している。

Ｐ501（図123　図版122・123）

遺構　Ⅲ層面で、Ⅲ層とⅣ層の混土である褐色土層が黒色土層と重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底面にはわずかにベンガラの痕跡がみとめられ、坑底部西側壁には頭部の痕跡と見られる有機質な黒褐色土層の高まりがみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片５点、後期後葉の破片34点などが出土している。１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

Ｐ502（図123　図版122・123）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面で、Ⅲ層面で、Ⅲ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が黒色土層と重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底面にはわずかにベンガラの痕跡がみとめられ、坑底面にはベンガラの散布がみとめられ、坑底部南西側には頭部の痕跡と見られる有機質な黒褐色土層の高まりと、はっきりしたベンガラの散布がみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する無紋の深鉢口縁部片である。２は覆土出土の石斧である。特徴が同時期の石斧の形態と異なることから流れ込みとみられる。

Ｐ503（図123　図版122）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面で、パミスが混じるⅡ層が小判型に落ち込む状況で検出された。遺存する深さは10㎝で、覆土は上位に黒色土層が堆積し、下位にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積している。坑底部より浮いた位置の西側と東側から２点の玉が出土した。出土位置が異なるが、東側から出土した玉にはネズミのかじり跡が付いており、原位置から移動しているものと考えられる。被葬者の頭位は西側出土の玉付近とみられ、土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　1、2玉である。2の表面にはネズミのかじり跡が付いている。いずれも緑泥石岩製である。3は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

P504（図124　図版123）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面で褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土の中央に薄く黒褐色土層の堆積がみられたが、そのほかはⅣ層主体の褐色土層が坑底付近まで堆積していた。坑底部は全体に厚くベンガラが堆積し、坑底部北西側には歯の痕跡が、南東側には足の痕跡がみとめられた。北側壁際の覆土中からはベンガラが付着した石皿が縦向きに出土し、坑底部中央にはツノガイ化石が1点、被葬者の足付近からはサメの歯が1点検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　1サメ歯穿孔品とみられる。鋸歯部両端は接着時に狭まってしまったが、全長2m前後のホホジロザメ上顎歯を用いている。2はツノガイ化石を利用した垂飾である。3は覆土出土の頁岩製の石鏃である。4、5は覆土出土の堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する破片である。4は深鉢口縁部、5は壷または注口土器の胴部片である。6は壁際から縦向きに出土した安山岩製の石皿である。片面にはベンガラの付着がみられ、坑底部に敷かれるベンガラの制作に関係する遺物かもしれない。

P505（図125　図版124・125）

遺構　Ⅱ層下位で、暗褐色土層に黒褐色土層が重なり小判型に落ち込む状況で検出された。本土坑は縄文時代晩期前葉の墓、P432の隣に位置するが、覆土上位に黒褐色土層が堆積するため、確認面がP432より10㎝前後低い面となった。覆土は上位にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積し、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積する。坑底部からは遺体の痕跡などはみつからなかったが、土坑の状況から縄文時代後期末葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片8点、後期後葉の破片74点などが出土している。1～3は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

P506（図126・127　図版124・125）

遺構　P505の南側Ⅱ層下位で、暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。検出面上には少量の土器片が散らばっていた。覆土は上位にパミスが混じる黒褐色土層、下位にはⅡ層にⅣ層がブロック状に混じる比較的黒色土層が堆積する。また、上位の層中からは比較的大きな土器片が検出されたが、南西側からは、注口土器と深鉢の破片がまとまって出土した。坑底部からは遺体の痕跡などはみつからなかったが、土坑の状況と出土遺物から縄文時代晩期前葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片572点、晩期前葉の破片88点など大量の土器片が出土している。1～8は堂林式新段階から晩期前葉に相当する土器である。1は堂林式の深鉢口縁部片、2は御殿山式～大洞B1式期相当の破片である。3は覆土上位から一括で出土した注口土器である。底部と注口部、口縁部の大半を欠き、頚部にのみ沈線による文様が施される。口縁部と胴部の境には連続する瘤を貼付け、貼瘤の稜に沿って1条の沈線文を施す。頚部には玉抱き三叉文が施されることから大洞B1式期相当とみられる。4は上げ底の深鉢底部片、5は無紋の浅鉢口縁部、6は壷（注口）形土器の胴部片である。7は破片のほとんどが遺構確認以前の包含層からみつかっている。胴部は張り出し、そろばん玉状に近い形状をなす。胴部上半に文様が施される。大洞B1式期相当の壷（注口）形土器とみられる。8は小波状の口縁部を持つ深鉢である。底部を欠き、口唇は指先で刻まれる。

P507（図125　図版125・126）

遺構　H38の確認作業のためⅣ層上面精査していたところ、黒褐色土の落ち込みを確認した。長軸にあわせて南東側を半截すると、不明瞭ながらも壁、坑底を確認することができた。覆土は黒褐色土で、坑底は緩やかで平坦であるが、北東壁際に小さなくぼみがある。重複する遺構の可能性があったが、覆土が区別できなかったため、土坑内に形成されたくぼみと判断した。壁は坑底と緩やかに連続している。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片66点が出土している。1は萩ヶ岡2式相当の胴部片である。

P508（図128～132　図版126～130）

遺構　Ⅱ層面で、黒色土層が暗褐色土層に重なり円形に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にⅡ層の落込みと見られる黒色土、その下にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層、覆土下位はⅣ層主体の褐色土層が堆積する。Ⅱ層の落込みには割れた円礫がみとめられ、その下の黒褐色土層中からは上部に副葬されたと見られる土器類9点がつぶれた状態で出土した。坑底部の中央から西側にはベンガラの散布かみとめられ、ベンガラ範囲の南側、壁際には黒曜石製の剥片や石鏃、石錐、石斧などが直線状に並んで出土、またベンガラ上からはサメの歯と臼玉状の玉196点が検出された。上部に副葬された土器から縄文時代晩期前葉の墓とみられる。

遺物　1、2は黒曜石製の石鏃で、1は坑底部剥片の下から出土したもの、2は覆土上位から出土したもの。3、4は頁岩製の石錐で、どちらも坑底部の剥片の下から出土したものである。5は坑底部の剥片上から出土した泥岩製の小形の石斧である。側面と端部に敲打痕がある。6～8は黒曜石製の剥片である。赤井川産とみられる。14～16はサメ歯穿孔品とみられる。14はホホジロザメ上顎歯の1～2番目を利用したもので、全長3mほどの個体のものとみられる。本遺跡から出土した最大のサメの歯である。15、16は坑底部の土壌水洗

で見つかったもの。鋸歯のない小形の歯で、種は不明である。17～212は坑底部にまとまって出土した玉類である。これらのうち４点は土壌水洗で見つかったものである。石材はすべて緑泥石岩製で、119が勾玉状に近い形態であるが、そのほかの玉の形態はほとんどが臼玉状である。213～222には土器を示した。これらのうち213は坑底部に副葬されたフレイク類の上に乗っていた注口土器底部片で、包含層からの流れ込みの可能性がある。時期は御殿山式期とみられ、乳房状突起を有する。そのほかの土器類は覆土上部から出土した一括遺物である。文様の無いものがほとんどである。213は胴部と頚部の境がわずかに括れ、１条の沈線が施される。底部は剥離しているが、乳房状突起があったとみられる。215の胴部上半は粘土の輪積みがはがれた状態で、アスファルトによる補修が行われている。注口部を欠損し、口縁部に１条の細い沈線、底部には乳房状突起が施される。胴部は張り出し、底部は半球状でそろばん玉状にちかい形態である。このような器形は晩期初頭期にみられる新しい要素であるため、これらの土器は大洞Ｂ１式相当とみている。216はキャリパー型の鉢である。底部は上げ底で、口縁部は強く括れ内反する。217、218口縁部にＡ状の突起を連続して施し、218には上げ底の台部が付く。217は底部との境に１条の沈線が施され、台部は欠ける。底の状況から欠損部は開くとみられ、あるいは上下逆で、より大きい口縁部が付く可能性もある。219～222はワイングラス状とも言うべきか、細長い台部を有する縦長の器形である。220、221は台部を欠損するが、219や222に類似する器形であったとみられる。219の台部の破片は土坑西側の壁際覆土中位ほどから出土したが、口縁部は覆土上位から出土している。口縁部のＡ状の突起は219が12ヵ所、220が７ヵ所あったと推測され、221には無い。222は219などのミニチュアともみられる。口縁部にはＡ状の突起を貼付し、突起の間と下位に沈線を施す。また底部の境に沈線が施され、胴部下の細い台部との境にも一部沈線がある。

Ｐ509（図133　図版130・131）

遺構　Ⅱ層下面で、Ⅲ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は全般にパミスが混じる暗褐色土層で、埋め戻しの様相を呈する。坑底面の東側にはベンガラの散布があり、ベンガラ範囲と重なり玉類と漆の小片などが検出された。土坑の特徴から縄文時代晩期前葉の墓とみられる。

遺物　１～18は玉類である。いずれも緑泥石岩製で、９、16、18が勾玉状のもの、11は勾玉状だが２ヵ所の穿孔がある。12は縁に刻みを施した三角形の形状で、Ｐ476から類例２点がみつかっている。残りの玉はほとんどが臼玉状である。19、20は覆土から出土した堂林式新段階から御殿山式期に相当する深鉢口縁部片である。

Ｐ510（図134・135　図版131～133）

遺構　Ⅱ層下面で、Ⅲ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。検出面上の北西側には、鉢形土器２個体の破片がまとまって出土した。覆土は上部にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が落込み、検出面上の土器も本層中にあったとみられる。覆土中位から下位にかけては、坑底部直上にⅣ層がブロック状に堆積するほかは、パミスが混じるⅡ層主体の覆土である。土坑中央の覆土中からは交差する穿孔が施された垂飾１点が検出された。覆土中位に玉類を副葬した例にはＰ435がある。坑底部中央の北側壁際からは雨だれ石を利用した垂飾が２点、坑底部北西側からは臼玉状の玉類39点を利用した首飾りが出土した。土坑上部から出土した土器から縄文時代後期末葉の御殿山式期の墓とみられる。

遺物　１は覆土中位から出土した交差する穿孔が施された玉である。２、３は泥岩製の雨だれ石を利用した垂飾である。２は割れた雨だれ石に２ヵ所の穿孔を加えたもので、穿孔部内面にはベンガラの付着がみられる。３は雨だれ石そのもので、孔の内側にはベンガラが付着する。４～42首飾りに利用されていた臼玉状の玉類である。すべて緑泥石岩製で、玉ずれがはげすく、穿孔面が皿状に窪むものや、ゆるやかに膨らむものが多い。43、44は検出面上で一括出土した御殿山式期の鉢形土器である。43の口唇には幅のある突起と、２個１組の小さな突起が交互に付される。文様は胴上部に施され、上下に間に刻みを加えた２条の沈線が施され、その間には対向する三叉文を中心に文様が施される。44は口縁部、胴部中央、胴下部、台部に分けて縄文を施す。45～47は覆土から出土した三ツ谷式～御殿山式期に相当する深鉢片である。

Ｐ511（図136～138　図版133～135）

遺構　Ⅲ層面で、Ⅱ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土はパミス混じりの黒褐色土層が上位に落込み、下位には範囲を記録するには至らなかったが、ベンガラが混じるとみられる赤味を帯びたⅡ層が堆積する。坑底部西側からは、状態が悪いが透かしのある櫛２点が出土し、その東横からは主に臼玉状の玉176点が検出された（土壌水洗も含む）。出土した櫛との位置から首飾りとみられる。坑底部東側では臼玉状の玉52点の玉が検出された。玉類の集中する場所は土壌水洗をおこない、その結果９点の玉が出土した。出土状況は不明であるが、玉の大きさから、櫛の東側から出土した首飾りのものとみられる。土坑の特徴から縄文時代後期末葉の御殿山式期の墓とみられる。

遺物　１、２には櫛を示した。状態が悪く、２点を同時に取り上げ、土から分離することは出来なかったが、２点とも四隅に三角形、中央には工字状の透かしを空け、そのまわりに「(　)」形の透かしを施した櫛であるとみられる。残りの良い部分で観察すると、色調は朱色である。３～54は坑底部東側から出土した首飾りである。形状はほとんどが臼玉状で、

石材は22がヒスイ、25、27がジャスパー、のこりはすべて緑泥石岩製である。55～222は櫛の東側から出土した。径の小さい玉が増えるためか丸みのある玉が増える傾向がある。石材は149が凝灰岩、209が蛇紋岩製であるほかはすべて緑泥石岩製である。223～231は土壌水洗でみつかった玉類である。大きさから後者の首飾りに属するものとみられる。

P512（図125　図版135）

遺構　Ⅱ層面で、黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積し、覆土下位にはⅡ層主体の黒色土が堆積する。坑底面には少量のベンガラの散布がみとめられ、坑底部北西側で、玉類12個を連ねた首飾りが出土した。土坑の状況から縄文時代晩期前葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片２点、後期後葉の破片47点などが出土している。１～12は緑泥石岩製の玉類で、中央に大きな玉、端には小形の玉が連なる。13は御殿山式期～晩期前葉の深鉢口縁部片である。

P513（図139・140　図版136・137）

遺構　Ⅱ層下面で、黒色土層が黒褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で検出された。検出面には割れた礫の一部が見えていた。覆土はローム粒が混じるⅡ層が坑底面まで堆積していた。土坑の西側に頭位がある例が多いため、東側半分を掘り始めると、検出面に見えていた礫は石皿で、土坑の中位まで落ち込み、石皿の上に口縁部を下向きに鉢形土器１点がつぶれて検出された。土坑の北側壁際には頁岩製のフレイクがまとまって出土するのもみとめられた。上位出土の遺物を取り上げ、坑底まで下げると、玉類25個を連ねた首飾りが出土し、その西側からは環状漆塗製品が１点検出された。

　この状況から石皿が被葬者の頭部と重なる位置にあることがわかった。完掘時に頁岩製のフレイクの続きと玉１点が検出された。そのほかは目立って遺物は出土していない。覆土上部の遺物から縄文時代後期末葉の御殿山式期の墓とみられる。

遺物　１は環状漆塗製品である。残りは悪く土から切り離すことは出来なかった。色調は朱色である。２は石皿の上から出土した鉢である。底部は上げ底で、端部は波状で、５ヵ所波打つ。口縁部には２条の沈線が施され、間を竹管状工具で刻む。台部との境には浅く沈線が施される。３は覆土に散在した破片が接合したもので、壷または注口土器の口縁部片である。４は３と同一個体の可能性がある無紋の胴部片である。５～30は玉類である。５は離れて１点出土した玉で、緑色凝灰岩製である。６～26までは連なって出土した。並び順は中央に凝灰岩製の16が位置し、両側に向かって徐々に小さい玉が連なる。27～30は連なった玉の途切れた場所に散らばった４点でやはり同じ首飾りのものと見られる。やや大きい30は琥珀製である。31～45は覆土上部で検出された頁岩製のフレイクである。頁岩の質から母岩は２つ以上あるとみられる。46は安山岩製の石皿である。

P514（図141　図版138）

遺構　縄文時代後期末葉の墓が集まる場所の包含層調査時に、Ⅱ層下位で土器や礫が出土し始め、Ⅲ層面で、黒色土層が円形に落ち込む状況で確認した。覆土はⅡ層で埋まり、土器の底部片２個体や礫などが出土した。出土遺物から北大Ⅱ～Ⅲ式期の土坑とみられる。

遺物　１、２は北大Ⅱ～Ⅲ式期の底部片である。本土坑周辺は包含層の残りはよいが、破片は土坑からのみ接合した。当初から土坑に底部片を入れたものとみられる。内外面とも縦方向に磨かれ、底部には笹葉の圧痕がのこる。

P515（図142・143　図版138～140）

遺構　Ⅱ層下位で黒色土層がⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層と重なり楕円形に落ち込む状況で検出された。本土坑は縄文時代中期の深い住居址H57と重なる。覆土はⅡ層主体の黒色土層とⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が互層で堆積する。覆土上位の東壁付近からは黒曜石と頁岩のフレイクがまとまって出土した。坑底部にはベンガラの散布がみとめられ、南西壁際からは頭部の痕跡と見られるベンガラ層が薄く乗る、有機質な黒褐色土層の高まりがみとめられ、付近には歯の痕跡もみとめられた。歯の周辺には９点の玉類が散在し、被葬者の体と重なる位置からは、柄頭をもたない石棒が、尖った端部を頭に向け出土した。また、頭部の高まりの中からはサメ歯穿孔品とみられるアオザメの歯15点が検出された。土坑の特徴から御殿山式期の墓とみられる。

遺物　１は片岩製の石棒である。長さ56.3㎝で、柄頭は無く、柄尻に穿孔が施される。柄部には２条１組の線刻が２ヵ所施され、その中間にも弱い１条の線刻が施される。端部は尖らせ、貫通しない穿孔が１ヵ所施される。２～10は玉類である。棗玉状や丸味のある臼玉状のものが多く、石材すべては緑泥石岩製である。11～25はサメ歯穿孔品とみられる。全長２m前後のアオザメの歯を利用したもので、上顎左の歯を利用したものが16、22、25、そのほかは下顎歯を利用している。20と23は互いに半分欠けるが、接合しなかった。26～36は覆土上位に副葬されたとみられるフレイクである。石材は35、36が黒曜石製で、のこりは頁岩製である。頁岩の母岩は33以外同じである。37～40は覆土から出土した三ツ谷式～御殿山式期に相当する破片である。

P516（図144　図版141）

遺構　Ⅱ層下位で、黒褐色土層が暗褐色土層に重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にⅡ層主体の黒褐色土、下位にはⅡ層とⅣ層の混じる暗褐色土が堆積する。坑底部の南寄りからは、51点の玉を連ねた首飾りが出土し、その南脇からは黒曜石製の石鏃１点が出土した。石鏃の出土位置

は被葬者の頭部と重なると考えられる。この遺物は包含層からの流れ込みともみられるが石器類を頭部の下に副葬した例がP443にあることから、副葬品である可能性もある。土坑の特徴から御殿山式期の墓とみられる。

遺物　1～51は坑底部から連なる状況で出土した玉類である。石材には12がヒスイ、13、17、19、31が緑色凝灰岩、そのほかは緑泥石岩がつかわれている。出土状況から玉の並びを考慮した掲載としているが、縦長の深緑色の玉の両側に緑色凝灰岩製の薄い緑の玉を並べるなど、色にも配慮した並びがみられる。52は首飾りのわきから出土した黒曜石製の石鏃である。

P517（図145　図版142・143）

遺構　Ⅱ層下位で、パミスが混じる暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土はⅡ層主体の黒色土層とⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が互層に堆積する。坑底部西側からは頭部の痕跡とみられる有機質な土層がみられた。土坑の状況から縄文時代後期末葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片6点などが出土している。1は堂林式新段階から御殿山式期に相当する深鉢頚部片である。

P518（図146　図版142・143）

遺構　Ⅱ層下位で、褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部南西からは透かしのある櫛1点と、玉類5点が出土し、北寄りにはベンガラの散布がみとめられ、環状漆塗製品2点が並んで検出された。土坑の状況から御殿山式期の墓とみられる。

遺物　1は土から分離することは出来なかったが、四隅に三角形、中央には工字状の透かしを空け、そのまわりに「(　)」形の透かしを施した櫛である。色調は朱色で、体部の上位に1ヵ所、下位には2ヵ所の瘤が造られる。2、3は環状漆塗製品である。2は芯材に編み物を巻き付け漆で固定したもの、2は樹皮あるいは草皮を縦に巻きつけたものとみられる。出土状況での幅は2が20㎜前後、3は9㎜前後である。ともに装飾的な突起は無く、色調は小豆色である。4～8は玉類である。4、5は勾玉状の玉で、4は長軸が最大で44㎜あり、本遺跡出土最大のコハク製の勾玉である。5は表面に線刻が施される。9、10は堂林式新段階から御殿山式期に相当する破片である。

P519（図147～149　図版144・145）

遺構　Ⅱ層下位で、パミス混じりの黒褐色土層と褐色土層が重なり合い小判型に落ち込む状況で検出された。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層が比較的多く入り、下位にはパミスやロームブロックが混じるⅡ層が堆積している。坑底部にはベンガラの散布がみとめられ、南西側からは頭部の痕跡と見られる有機質な黒褐色土層の高まりがみとめられ、付近には歯の痕跡もみとめられた。被葬者の体上にはサメ歯穿孔品とみられるはサメの歯が33点出土、このうちの16点は基部を揃えた状態で並んで出土した。サメの歯の分布の外側には、部分的には連をなすが、遺体を取り囲むように玉類が土坑の壁際に散在して出土した。坑底部東側からは透かしのある櫛が1点と、同一個体の環状漆塗製品の破片が玉類と同様に南側壁際と西側壁際などに散らばって出土した。土坑の状況から御殿山式期の墓とみられる。

遺物　1は土から分離することは出来なかったが、四隅に三角形、中央には工字状の透かしを空け、そのまわりに「(　)」形の透かしを施した櫛である。色調は朱色で、体部の上位に1ヵ所、下位には2ヵ所の瘤が造られる。2～5は同一個体の環状漆塗製品の破片である。芯材に編み物を巻きつけ漆で固定したものとみられ、出土状況での幅は19㎜前後である。P518出土のものと似た製品とみられる。6～23には、サメ歯穿孔品とみられる。6～17まで基部を揃えて並んで出土したものだが、間の4点が破損している。小さな歯でもホホジロザメの歯を利用しているものが多く、18～23はアオザメの歯を利用したものである。最も大きい歯は3で、ホホジロザメの下顎歯を利用したもので、4～5番の歯だとしても2.5m前後の個体とみられる。24～69には玉類を示した。このうち65はヒスイ、24、69は凝灰質泥岩、61、63は緑色凝灰岩、26、28、32、36、43～45、48、67がコハク、のこりは緑泥石岩製である。形状では24は丸玉状、62は左右非対称形で刻みを施すもの、69は雨だれ石を利用したものである。70～72は三ツ谷式から御殿山式期に相当する破片である。

P520・521（図150　図版146・147）

遺構　Ⅱ層面でⅣ層混じりの暗褐色土層が落ち込む状況で確認したが、予想以上に大きな遺構であったため、途中をⅣ層まで下げた時点で並んで分布する全体を確認した。平面形は互いの方向にやや括れた長円形で、長径約270㎝あり、P520は縄文時代後期後葉の土坑P784に一部切られる。2基の土坑はその形状と配列から同時に存在したとみられ、約80㎝離れる2基の間には特に遺構は見当たらなかった。断面は、遺構の中央にⅡ層が落込み、遺構の両端や下位にはⅢ層とⅣ層が混じる暗褐色土層が堆積し、埋め戻しの様相を呈する。出土遺物の最も新しい遺物から縄文時代後期末葉たが、覆土からは後期中葉や中期の遺物が多く出土しており、縄文時代後期中葉の遺構とみられる。

遺物　1～3はP520から出土した遺物である。1は御殿山式期相当の無紋の鉢で、2、3は黒曜石製の石鏃である。4～7はP521から出土いたもので、4は縄文時代後期中葉の底部片、5は黒曜石製の石鏃で、6、7はすり石である。

P522（図145　図版148）

遺構　Ⅳ層面で、パミスが混じる黒色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は主にⅡ層主体の黒色土層で、下位に一部Ⅲ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積する。検出面北側には土器片の集中がみられ、接合した結果、底部片とオロシガネ状土製品であることがわかった。出土遺物から縄文時代後期中葉の墓とみられる。

遺物　1は縄文時代後期中葉の底部片である。底は平らで底部付近は無紋である。2はオロシガネ状土製品である。皿状に窪む円盤状で、表には縄文を施し、裏は無紋である。

P523（図151　図版147）

遺構　Ⅳ層面で、パミスが混じる黒褐色土層が長円形に落ち込む状況で検出された。覆土は主にパミスが混じるⅡ層主体の黒褐色土層である。土器片は出土しなかったが、土坑の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑と考えた。

遺物　覆土からは石斧未成品が1点出土した。

P524（図151　図版147）

遺構　Ⅲ層面で、パミスが混じる黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出した。覆土は主にパミスが混じるⅡ層主体の黒褐色土層である。遺構の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片3点、後期後葉の破片12点などが出土している。

P525（図151　図版148）

遺構　Ⅲ層面で、パミスが混じる黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出した。覆土は上位には炭化材やパミスを含む黒褐色土層が堆積し、坑底部にはⅡ層が多く混じる黒褐色土層が堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片2点、後期後葉の破片11点などが出土している。

P526（図152・153　図版149・150）

遺構　縄文時代後期中葉のホッケマ式期の住居址H39の床面から検出された。住居址を先に調査したが、確認時の土坑上部には黒曜石の剥片や土器片が散在していた。覆土は全般にローム粒やパミスを含む黒褐色土層や暗褐色土層で、埋め戻しの様相を呈する。坑底面には部分的にベンガラの散布がみられた。坑底部の東側からは透かしのある櫛とみられる製品1点と、壊れた状態でばらばらな環状漆塗製品1点、ミニチュアの石皿1点が出土した。出土遺物から縄文時代晩期前葉の墓とみられる。

遺物　1は透かしのある櫛とみられるが、歪んだ状態で出土しているため、推測ではあるが、四隅に三角形、中央には工字状の透かしを空け、そのまわりに「(　)」形の透かしを施しているものとみられる。2、3は同じ環状漆塗製品の破片と見られ、4、5もその小片と推測される。破損の状況から装飾の突起などが付されていた可能性がある。出土した漆塗製品の色調は朱色である。6は上部から出土した無紋の浅鉢で、7も同一個体片とみられる。8は縄文の施された口縁部片で、破片の曲がり具合からキャリパー型土器の口縁部片とみられる。9はミニチュアの壷または注口土器とみられる。口縁部は無紋で、頚部には貼瘤があり、丸底の底部をもつ胴部には全面細い沈線による文様が施される。10、11はともに頁岩製のスクレイパー類である。12はミニチュアの石皿である。扁平な安山岩の円礫の片面を敲打し皿状に窪めたものである。

P527（図151　図版151）

遺構　縄文時代中期の住居址H42の床面から検出された。覆土は主にⅢ層とⅣ層が混じる暗褐色土層で、埋め戻しの様相を呈する。坑底面の南東側にはベンガラの散布がみられた。H42を切る状況はなかったことから、住居の床面に掘られた縄文時代中期の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片6点などが出土している。1は頁岩製の石錐で、ベンガラ層中から出土した。

P528（図154　図版151）

遺構　縄文時代前期とみられる住居址H44を切る状況で検出された。平面形は長円形で、覆土は主にⅡ層主体の黒色土が堆積する。遺構の特徴から縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片8点、後期後葉の破片2点などが出土している。1は砂岩製の砥石である。

P529（図154　図版150）

遺構　T-33区において遺構確認のためⅣ層上面を調査中に黒色土の落ち込みを確認した。落ち込みは不明瞭で自然攪乱の可能性もあったため、長軸にあわせたトレンチを落ち込みの範囲を超えて設定し、Ⅳ層まで掘り下げた。その結果明瞭な壁、坑底を確認した。覆土にはパミスを含む黒褐色土層が堆積し、縄文時代中期の破片が出土した。時期は不明である。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片8点などが出土した。

P530（図154　図版151）

遺構　擦文時代の住居址H33の壁に断面がみとめられた。覆土は上部にⅡ層、中位にパミスを含む黒褐色土層が、下位にⅡ層主体の黒色土層が水平に堆積する。擦文住居の壁面の崩落ともみられるが、坑底部出土の遺物から縄文時代中期の土坑とした。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片25点、後期後葉の破片101点などが出土している。1は縄文時代中期の胴部片である。2は御殿山式期相当の底部片である。

Ｐ531（図155　図版152・153）

遺構　Ⅳ層面で、パミスが混じる黒褐色土層が暗褐色土層と重なり円形に落ち込む状況で検出された。覆土は上部にⅡ層とⅢ層の混土が落ち込み、下位にはⅣ層主体の暗褐色土層が堆積し、坑底部にはやや黒ずんだ層が薄く堆積する。坑底面北側にはベンガラの散布がみとめられ、付近から縄文時代前期の土器片が出土した。出土遺物から縄文時代前期前葉の静内中野式期相当の墓とみられる。

遺物　１は坑底面のベンガラ付近から出土した静内中野式期相当の胴部片である。

Ｐ532（図155　図版152・153）

遺構　Ⅲ層面で、パミスが混じる黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は主にⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　１は縄文時代早期の東釧路Ⅳ式の胴部片。２は御殿山式期～晩期前葉の深鉢片である。

Ｐ533（図155　図版152）

遺構　Ⅲ層面で、パミスが混じる黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土はⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層である。覆土からは後北C_2D式の破片が出土しており、土坑の時期も後北C_2D式期とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、後期後葉の破片３点、後北C_2D式の破片１点などが出土している。

Ｐ534（図155　図版152・153）

遺構　U-34区において、Ⅲ層上面を精査中、黒褐色土の落ち込みを確認した。長軸に合わせて南西側を半截すると、不明瞭ではあるが壁、坑底を確認することができた。土層は暗褐色から黒褐色土の様相を呈し、パミスブロックが混じる。埋め戻しの様相を呈する。出土遺物から縄文時代中期の土坑と考える。

遺物　１は縄文時代中期の深鉢口縁部片である。

Ｐ535（図156　図版153）

遺構　U-34区においてⅢ層上面を精査中、黒色土の落ち込みを確認した。落ち込みは北東側に自然攪乱とみられる落ち込みを伴っていたため、自然攪乱と重複する部分を避けて東側を半截した。その結果、壁、坑底を確認することができた。土層は３層に区分した。上位２層はレンズ状を呈する自然堆積である。３層はパミスブロックが混じる人為的堆積とみられる層である。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片３点が出土している。

Ｐ536（図156　図版153）

遺構　Ⅲ層面で、黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土はⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。土器片は出土していないが、隣に位置するＰ537と似た特徴から縄文時代前期の土坑と考える。

遺物　覆土からはフレイク１点が出土している。

Ｐ537（図157・158　図版153・154）

遺構　縄文時代中期の住居址Ｈ42に切られて検出された長円形の土坑である。覆土は主にⅢ層とⅣ層が混じる暗褐色土層である。坑底部からはか各種の石器類が検出され、その分布は主に土坑の北西側に偏っていた。付近には根穴などによる落込みがあり、その中からも石器が検出された。出土した石器類の特徴から縄文時代前期の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片２点、前期の破片２点のほか55点の石器類が出土している。

１、２は燕尾形の基部をもつ石鏃で、石材には１は黒曜石、２は頁岩が利用されている。３～７は頁岩製で、３、６、７はスクレイパー類、４、５はつまみ付きナイフである。８～11は泥岩製の石斧である。形状の近い自然石を用いたとみられ、９の側面には茶色、11は刃部を除く全面に黒色の付着物がみられる。12～15は砥石である。いずれも薄い砂岩製で、縁辺部に顕著な使用痕が残る。

Ｐ538（図156　図版155）

遺構　縄文時代中期の住居址Ｈ42を切って検出された長円形の土坑である。覆土にはパミス混じりのⅢ層とⅣ層の混土が堆積する。出土遺物から縄文時代後期末葉の土坑としたが、特徴はとなりにあるＰ527と似ており、中期の墓である可能性もある。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片３点、後期後葉の破片５点などが出土している。１は三ツ谷式から御殿山式期に相当する深鉢胴部片である。

Ｐ539（図156　図版155）

遺構　U-34区においてⅢ層上面を精査中、黒色土の落ち込みを確認した。落ち込みの形状が不明瞭であったため、短軸方向にトレンチを設定してⅣ層まで掘り下げた。その結果明瞭な壁、坑底を確認した。出土遺物から縄文時代早期の土坑と考える。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片７点などが出土している。１は東釧路Ⅳ式の胴下部片である。

Ｐ540（図159　図版155）

遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ41の床面で暗褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出された。覆土は主にⅢ層とⅣ層が混じる暗褐色土層である。覆土上位からは小形の土器や石器類が検出され、坑底面の一部にはベンガラの散布もみとめられ

た。出土遺物から住居址の床面に掘られた縄文時代前期の墓とみられる。
遺物　1は縄文時代前期の静内中野式期に相当する小形の尖底土器である。底部を欠き、胎土には石英を含み、内面の口縁部付近にも縄文が施される。2～4は黒曜石製の石錐である。5は頁岩製のスクレイパー類である。

P541（図160　図版156・157）
遺構　U-36区においてⅣ層上面を遺構確認作業中、黒褐色土の落ち込みを確認した。短軸方向にあわせて南東側を半截すると、やや明瞭な壁、坑底を確認できた。覆土は上位にレンズ状に黒色土が堆積し、下位にはパミスが混じるⅢ層とⅣ層が混じる暗褐色土層である。出土遺物から縄文時代早期の土坑と考える。
遺物　覆土からは縄文時代早期の破片1点が出土している。1は東釧路Ⅳ式の胴下片である。

P542（図160　図版156・157）
遺構　U-36区においてⅣ層上面を遺構確認作業中、黒褐色土の落ち込みを確認した。短軸にあわせて南西側を半截すると、明瞭な壁、坑底を確認した。覆土は上位にレンズ状に黒色土が堆積し、下位にはパミスが混じるⅢ層とⅣ層が混じる暗褐色土層である。出土遺物から縄文時代後期中葉の土坑とした。
遺物　覆土からは縄文時代後期中葉の破片1点が出土している。1は後期中葉の無紋の破片である。

P543（図160　図版156・157）
遺構　U-36区においてⅣ層上面を遺構確認作業中、黒色土の落ち込みを確認した。短軸にあわせて半截すると、明瞭な壁、坑底を確認することができた。覆土は上位に黒色土が堆積し、下位にはパミスが混じる黒褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代前期の破片1点、中期の破片2点が出土している。1は静内中野式相当の口縁部片である。

P544（図160　図版157）
遺構　V-38の杭付近のⅣ層上面で、ローム粒が混じる黒褐色土層が小判型に落ち込むのを確認した。覆土は、全体にパミスブロックが混じる褐色土と黒褐色土が互層に堆積する。坑底面から黒曜石の剥片が散在して出土した。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代早期の破片4点、中期の破片7点、後期後葉の破片2点などが出土している。1は堂林式期に相当する深鉢口縁部片である。

P545（図161　図版156）
遺構　ⅣⅢ層上面において黒褐色土層が円形に落ち込むのを確認した。覆土にはⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。遺物は出土していないが、検出された場所から縄文時代後期後葉の土坑である可能性があると考える。
遺物　遺物は出土していない。

P546（図161　図版157）
遺構　U-37区においてパミス混じりの黒色土層が長円形に落ち込むのを確認した。覆土はパミス混じりのⅡ層である。出土遺物から縄文時代前期の土坑とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代前期の破片13点などが出土している。1は胎土に砂粒や繊維を含む静内中野式期相当の胴部片である。

P547（図161　図版158）
遺構　Ⅲ層上面を精査中に黒褐色土層が円形に落ち込むのを確認した。土坑の南東側には木の根とみられる自然攪乱が2ヵ所みられる。覆土は全般にパミスが混じる黒褐色土が堆積する。出土遺物から縄文時代前期の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代前期の破片1点などが出土している。1は内外面に縄文が施される静内中野式期相当の胴部片である。2は覆土下位から出土した頁岩製のつまみ付きナイフである。

P548（(図161　図版158）
遺構　縄文時代前期の住居址H41の壁際で暗褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は主にⅢ層とⅣ層が混じる暗褐色土層である。覆土には縄文時代前期の土器片が混じり、坑底面からは、つまみ付きナイフが出土。土坑の状況から住居址の床面に掘られた縄文時代前期の墓とみられる。
遺物　1は縄文時代前期の静内中野式期に相当する破片である。2は坑底面出土の頁岩製のつまみ付きナイフである。

P549（図162　図版158）
遺構　V-38杭付近のⅢ層上面において遺構確認作業中、黒褐色土の落ち込みを確認した。落ち込みの短軸にあわせて南側を半截すると、覆土は上位にはレンズ状に堆積する黒色土、下位にはパミスが混じる黒褐色土層が堆積している。出土遺物から縄文時代早期の土坑とみられる。
遺物　1は縄文時代早期の東釧路Ⅳ式相当の胴部片である。器面には絡縄体圧痕文が施される。

P550（図162　図版ー）
遺構　Ⅳ層面で、黒色土層の円形の落込みが、黒褐色土層の楕円形の落込みと重なる状況で検出された。前者をP550、後者をP604として調査した。土坑は浅く、黒色土層が薄く堆積する。出土遺物から縄文時代晩期前葉の土坑とした。
遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片1点が出土した。

Ｐ551（図162　図版159）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてローム粒やパミスが混じる黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。全体にパミスが混じる褐色土と黒褐色土が互層に堆積した埋め戻しである。坑底部の西側からは頭部の痕跡と見られる有機質な黒褐色土層の高まりがみとめられた。土器は出土していないが土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは石鏃１点が出土している。

Ｐ552（図162　図版159）

遺構　削平を受けたⅣ層面において黒色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。遺存する深さは14㎝で、Ⅱ層の黒色土が坑底面まで堆積する。坑底部の中央から透かしの無い櫛１点が検出された。出土遺物から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は透かしの無い櫛である。残りは悪く検出の際に上面は失われている。わずかに残る表面の破片から色調は朱色であったとみられる。

Ｐ553（図163・164　図版160・161）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてローム粒が混じる黒色土層が小判型に落ち込む状況で検出した。本土坑は１号周堤墓の周堤上にほられた土坑とみられる。遺存する深さは11㎝で、坑底まで同層が堆積する。坑底面には粒状のベンガラの散布がみられ、土坑北側には石棒が１点頭部を土坑の中央に向けて出土した。石棒の北側には６点の玉が出土し、石棒の南横からは人歯の痕跡と35点の玉を連ねた首飾りが検出された。石棒を挟んで出土したこれらの玉類は一連のものとみられ、石棒脇の被葬者が身に付けていたものとみられる。土坑の北西側でもわずかに人歯と見られる痕跡が見つかり、付近には長径18㎜前後の丸玉状の玉５点などが出土した。また、土坑中央からは石斧が１点検出され、石斧の南からは８点の玉類が検出され、このうち３点は、大きな玉は中心に並んで検出された。本土坑は長軸が130㎝あるため付近に３人目の被葬者がいた可能性もある。土坑の特徴や出土遺物から縄文時代後期後葉の合葬墓とみられる。

遺物　１～55には玉類を示した。このうち１～41までが土坑の北側の被葬者が身に付けていたとみられる首飾りである。石材は22、25、26がタルク製、そのほかは緑泥石岩製である。13、19の人の臼歯状の玉類を境に大きめの玉を連ね、周りに臼玉状の玉を配した首飾りである。なお、19には交差した特殊な穿孔が施される。42～47は土坑の北西側の被葬者の首飾りとみられ、１点の厚みのある小さな玉以外はやや大型の丸玉状の玉である。石材は43が赤色変質岩製であるほかは緑泥石岩製である。48～55は土坑の南東側から出土したものである。54の断面が半球状の垂珠の両側に大き目の玉を連ねた３点は並んで出土し、残りの臼玉状の玉５点は散らばる状況で出土した。石材はすべて緑泥石岩製である。56は泥岩製の石斧である。敲打により形状が整えられ、刃部が施される。57は緑色凝灰岩製の石棒である。長さ379㎜あり、断面は楕円形である。頭部は無紋で、頭頂部の溝は自然の亀裂とみられる。端部は破損している。

Ｐ554（図165・166　図版162・163）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層とローム粒が混じる暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出した。本土坑は１号周堤墓の周堤上にほられた土坑とみられる。遺存する深さは27㎝で、坑底まで同層が堆積する。坑底面にはベンガラの散布がみられ、土坑北側から人歯の痕跡と、それと重なりサメの歯１点が出土した。また、頭部とみられる位置から透かしのない櫛１点が出土した。土坑の北西側でも人歯と見られる痕跡が見つかり、この周辺には玉類９点とサメの歯１点が散在して検出される。さらに、土坑南東側からも人歯の痕跡とサメの歯４点、さらに玉類47点が連なる首飾りと、やや離れて径の大きい玉23点が集中して出土する。また、周囲から３点の隅丸方形の平玉３点がみつかった。土坑の壁際からは、このほかにも玉類６点が散在して検出された。土坑の特徴や出土遺物から縄文時代後期後葉の３人の合葬墓とみられる。

遺物　１は透かしの無い櫛である。細かく割れており土からの分離が出来なかったが、幅は84㎜で、体部上部に１ヵ所の瘤が付される。色調は朱色である。２～７はサメ歯穿孔品とみられる。２は全長2.5ｍ前後のアオザメ右上顎２番目の歯を利用したもの。３はホホジロザメ右上顎の歯を利用したもので、４～７はホホジロザメ下顎歯を利用したものである。８～95は玉類である。このうち33～79が南西側の被葬者の首飾りとみられる47点の連珠で、８～10はその付近から出土した平玉状の大きな玉、11～32、95はやや大きめの玉の連なりである。81～89は北西側の被葬者周辺から出土した玉類である。出土した玉類88点の石材は81、82、85、94がタルク製で、残りは緑泥石岩製である。

Ｐ555（図167　図版163）

遺構　削平を受けたⅣ層面において黒色土層が円形に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤上にほられた土坑とみられる。遺存する深さは13㎝で、ローム粒を含むⅡ層の黒色土が坑底面まで堆積する。坑底部の北西側にはベンガラの散布が認められた。出土遺物から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、中期の破片２点、後期後葉の破片１点などが出土した。

Ｐ556（図167　図版164）

遺構　削平を受けたⅣ層面において黒色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤上にほられた土坑とみられる。覆土はローム粒を含むⅡ層の黒色土が坑

底面まで堆積する。土坑の坑底面からは小ピットが確認され、本土坑はこれを切ることがみとめられた。出土遺物は少ないが、土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、中期の破片４点などが出土した。

Ｐ557（図167　図版164・165）
遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは42㎝で、覆土上位にはⅣ層主体の暗褐色土層が堆積し、覆土下位にはローム粒を含むⅡ層の黒褐色土層が堆積する。土坑西側の覆土上位からは堂林式期の小形の鉢がつぶれて検出された。出土遺物から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　１は堂林式期の鉢である。口径は93㎜で、器面には縄文が施され、口唇は平らに調整され、底部は円形に窪ませた状態である。

Ｐ558（図168　図版164・165）
遺構　削平を受けたⅣ層面において黒褐色土層がⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは60㎝で、覆土は最上部に黒褐色土層が落ち込み、そのほかはⅣ層主体の暗褐色土層が坑底部まで堆積する。土坑北西側の覆土上位からは堂林式期の小形の深鉢が口縁部を上に傾いて検出された。出土遺物から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　１は堂林式期の小形の深鉢である。切り出し状の口唇部は小波状に調整され、胴部には沈線化された入組文と充填縄文が施される。口径は13.7㎜で、底部は無紋である。２は切り出し状の口縁部を持つ堂林式期の深鉢口縁部片である。

Ｐ559（図168　図版165）
遺構　削平を受けたⅣ層面においてパミス混じりの黒褐色土層がⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは60㎝で、覆土は最上部に黒褐色土層が落ち込み、そのほかはⅣ層主体の暗褐色土層が坑底まで堆積する。坑底面にはベンガラが散布される。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片３点などが出土した。

Ｐ560（図169　図版165）
遺構　削平を受けたⅣ層面においてパミスやローム粒混じりの黒褐色土層がⅣ層主体の暗褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは73㎝で、覆土は最上部に黒褐色土層が落ち込み、そのほかはⅣ層主体の暗褐色土層が坑底まで堆積する。坑底面にはわずかにベンガラの散布もみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片１点が出土した。

Ｐ561（図169　図版166・167）
遺構　削平を受けたⅣ層面においてパミスやローム粒混じりの黒褐色土層がⅣ層主体の暗褐色土層と重なり長円形に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは32㎝で、覆土は最上部に黒褐色土層が落ち込み、そのほかはⅣ層主体の暗褐色土層が坑底部まで堆積する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代前期の破片２点が出土した。

Ｐ562（図169　図版166・167）
遺構　削平を受けたⅣ層面においてパミス混じりの黒褐色土層がⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは59㎝で、覆土は最上部に黒褐色土層が落ち込み、そのほかはⅣ層主体の暗褐色土層が坑底部まで堆積する。坑底面には厚くベンガラが散布される。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片３点が出土した。

Ｐ563（図170　図版167）
遺構　付近の家屋の跡とみられる深い撹乱の壁に断面で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは53㎝で、覆土は最上部に黒色土層が落ち込み、そのほかはⅣ層主体の暗褐色土層が坑底部まで堆積する。遺体の痕跡と見られる有機質な層とベンガラそうの散布がみられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代後期前葉の破片が１点、後期後葉の破片３点などが出土した。

Ｐ564（図170　図版168）
遺構　削平を受けたⅣ層面においてパミス混じりの黒色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。遺存する深さは23㎝で、覆土は上位にパミス混じりの黒色土層が落ち込み、下位にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。坑底部からは頭部の痕跡とみられる有機質な黒褐色土層から人の臼歯が咬み合せの状態で７点出土した。土坑の特徴から縄文時代晩期後葉の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片２点などが出土した。

P565（図171　図版168）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてパミス混じりの黒褐色土層がⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で確認した。遺存する深さは40㎝で、覆土は最上位にパミス混じりの黒色土層が少量落ち込み、下位には主にⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。坑底部からは被葬者の頭部と大腿骨の痕跡がみつかった。被葬者の頭部東側には砥石が１点検出された。土坑の特徴から縄文時代晩期後葉の墓とみられる。

遺物　１は縄文時代晩期後葉の壷あるいは鉢の底部片である。底は平らに調整され、底部縁には２条の沈線文と縦に縄文が施される。２は砂岩製の砥石である。被熱した痕跡がみられ、裏面は表面が剥離する。

P566（図170　図版169）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてパミス混じりの黒色土層が円形に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは８㎝で、覆土は黒色土層が坑底部まで堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点などが出土した。

P567（図170　図版169）

遺構　削平を受けたⅣ層面において黒色土層が小判型に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは13㎝で、覆土は黒色土層が坑底部まで堆積する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

P568（図172　図版169）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてローム粒混じりの黒色土層が長円形に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは８㎝で、覆土は黒色土層が坑底部まで堆積する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片３点などが出土した。

P569（図172　図版170）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出した。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積し、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされた可能性がある。覆土南東側からはベンガラの痕跡もみつかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片７点、後期前葉の破片２点などが出土した。

P570（図173　図版170）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が黒色土層と重なり円形に落ち込む状況で検出した。覆土上位にはⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が薄く堆積し、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされた可能性がある。土坑北側の坑底部からは、12点の玉類がまとまって検出され、やや東側に離れた壁際からも２点の玉が出土した。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。出土した玉類の３点にはネズミのかじり跡がみられた。出土位置からみて、離れて見つかった２点と、まとまって出土した玉類の中でも離れた位置にある１点にその痕跡がみられ、ネズミが巣穴を掘った際に後天的に玉の位置をずらしたものと見られる。玉類にネズミのかじり痕がみられる土坑は複数あるが、いずれも上部が削平された土坑であり、これらのかじり痕も、本地域が造成された昭和40年代以降に受けたものとみられる。

遺物　１、２は覆土から出土した石器類である。１は黒曜石製の石鏃で燕尾形の基部をもつ。２は頁岩製のつまみ付きナイフである。これらの石器は遺構の時期とは異なる可能性がある。３～16は土坑に副葬された玉類14点である。石材はすべて緑泥石岩製で、丸玉状のものが目立つ。６～８にはネズミのかじり痕がみられる。かじり痕は穿孔面の縁に集中し、棗玉状の長さのある玉では側面の中央にもみられる。

P571（図172　図版171）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅣ層主体の暗褐色土層がパミス混じりのⅡ層と重なり長円形に落ち込む状況で検出した。覆土上位にはⅣ層主体の暗褐色土層が落ち込み、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部西側からは遺体頭部の痕跡とみられる有機質な黒色土層の堆積もみつかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片２点、中期の破片10点のほか、多数のフレイクが出土した。

P572（図172　図版171）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅣ層主体の暗褐色土層がパミス混じりのⅡ層と重なり円形に落ち込む状況で検出した。覆土上位にはⅣ層主体の暗褐色土層がわずかに落ち込み、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされた可能性もあるとみられる。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は黒曜石製の石鏃である。２は縄文時代中期の円筒上層式に相当する口縁部片である。いずれも土坑の時期とは異なるものとみられる。

P573（図174　図版171）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層がパミス混じりのⅡ層と混じり小判型に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは８㎝で、覆土にはパミス混

じりのⅡ層主体の黒褐色土層とⅣ層主体の暗褐色土層が重なって堆積する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　遺物は出土していない。

P574（図174　図版172・177）
遺構　削平を受けたⅣ層面において、土坑の坑底面に散布されたとみられるベンガラ層が撹乱層直下に広がることで土坑の痕跡とした。平面形は失われ、断面にはベンガラ層とⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層がみられる。縄文時代後期後葉の墓の痕跡とみられる。
遺物　1は縄文時代中期の胴部片である。

P575（図174　図版172）
遺構　遺構の一部は撹乱を受け、削平されたⅣ層面において、パミス混じりのⅡ層の下位にベンガラ層が堆積するのがみとめられた。遺存する深さは8㎝で、覆土はパミス混じりのⅡ層とベンガラ層が重なって堆積する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片3点などが出土した。

P576（図174　図版172）
遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層がパミス混じりのⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層と重なり長円形に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは8㎝で、覆土上部に少量の暗褐色土層が落ち込み、下位にはパミスを含む黒褐色土層が堆積する。坑底面にはベンガラの散布がみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　遺物は出土していない。

P577（図175　図版173）
遺構　削平を受けたⅣ層面において、パミス混じりのⅡ層主体の黒色土層がⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層と重なり、長円形に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは18㎝で、覆土上部に黒色土層が落ち込み、下位にはパミスを含む黒褐色土層が堆積する。坑底部にはベンガラの散布もわずかにみとめられ、坑底西側には遺体の痕跡とみられる有機質な黒褐色土層の堆積もみつかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代前期の破片7点、後期後葉の破片2点などが出土した。

P578（図175　図版173）
遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅣ層主体の褐色土層が長円形に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは21㎝で、覆土は部分的にⅡ層の混じる黒褐色土層がスジ状に堆積するほかは、褐色土層が坑底面まで堆積する。坑底面からは遺体の痕跡とみられる有機質な土層と、一部骨の遺存もみつかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　遺物は出土していない。

P579（図175　図版173）
遺構　削平を受けたⅣ層面において、Ⅱ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が長円形に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは17㎝で、覆土は坑底部付近まで暗褐色土層が堆積し、坑底面直上には黒色土が薄く堆積するのがみとめられた。坑底面からは被葬者の頭部と足の痕跡が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片1点などが出土した。

P580（図175　図版174）
遺構　削平を受けたⅣ層面において、パミスの混じるⅡ層が長円形に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは9㎝で、覆土は坑底までパミス混じりの黒褐色土層が堆積する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　遺物は出土していない。

P581（図176　図版174・175・177）
遺構　削平を受けたⅣ層面において、パミス混じりのⅡ層が長円形に落ち込む状況で検出した。検出場所付近には、本遺構を含め6基の土坑が1列に並ぶ状況が確認でき、同時に古い土坑との切り合いも確認した。6基の土坑の最も南側に位置し、縄文時代早期とみられるP767を切って検出されたのが本土坑である。遺存する深さは30㎝で、覆土には主にⅡ層主体の黒色土が堆積する。坑底面からは遺体の痕跡とみられる有機質な黒色土層と歯が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　1は焼けた骨製の装飾品の破片である。シカの四肢骨を利用したものとみられ、平らに加工された骨片端部に7ヵ所の円形の窪みが付される。2は燕尾形の基部をもつ黒曜石製の石鏃である。どちらの遺物も包含層からの流れ込みの可能性がある。

P582（図176　図版174・175・177）
遺構　本土坑は1列に並ぶ6基の土坑のうち、南から2番目に位置し、縄文時代早期とみられるP768を切る。削平を受けたⅣ層面において、Ⅱ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは36㎝で、覆土上位にはⅡ層とⅣ層の混土である黒色土が堆積し、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積する。坑底部西側からは遺体の痕跡とみられる有機質な黒色土層と歯が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　1は燕尾形の基部をもつ黒曜石製の石鏃で包含層からの流れ込みの可能性がある。

Ｐ583（図176　図版175・177）

遺構　本土坑は１列に並ぶ６基の土坑のうち、南から３番目に位置し、縄文時代早期とみられるＰ768と縄文時代後期前葉とみられるＰ599の一部を切る。削平を受けたⅣ層面において、Ⅱ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が黒色土層と重なり長円形に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは34㎝で、覆土上位にはⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土がわずかに落ち込み、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積する。坑底部からは頭部と足の痕跡である有機質な黒色土層と歯が検出された。遺体の上部からはやや浮いた位置で石鏃とつまみ付きナイフが検出されたが、包含層の流れ込みとみられる。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１、２は遺体の上から浮いて出土した石器である。１は燕尾形の基部をもつ黒曜石製の石鏃、２は頁岩製のつまみ付きナイフである。

Ｐ584（図176　図版175～177）

遺構　本土坑は１列に並ぶ６基の土坑のうち、北から３番目に位置し、縄文時代後期前葉とみられるＰ599を切る。削平を受けたⅣ層面において、Ⅱ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が黒色土層と重なり小判型に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは50㎝で、覆土上位にはⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土がわずかに落ち込み、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積する。坑底部西側からは歯が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片３点、中期の破片29点、晩期中葉の破片２点などが出土した。

Ｐ585（図177　図版175～177）

遺構　本土坑は１列に並ぶ６基の土坑のうち、北から２番目に位置する。削平を受けたⅣ層面において、パミスの混じるⅡ層が小判型に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは16㎝で、覆土は坑底部までⅡ層主体の黒色土層が堆積する。坑底部からは遺体の痕跡とみられる有機質な層が検出され、西側壁際には頭部とみられる痕跡も見つかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片２点などが出土した。

Ｐ586（図177　図版176～177）

遺構　本土坑は１列に並ぶ６基の土坑のうち、最も北側に位置する。削平を受けたⅣ層面において、Ⅱ層が小判型に落ち込む状況で検出した。遺存する深さは38㎝で、覆土は坑底部までⅡ層主体の黒色土層が堆積する。坑底部からは遺体の痕跡とみられる有機質な層が検出され、西側からは頭部とみられる痕跡も見つかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からはフレイクと礫が１点ずつ出土した。

Ｐ587（図177　図版177）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、Ⅳ層主体の褐色土層がパミス混じりのⅡ層主体の黒褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で検出した。覆土上位にはⅣ層主体の褐色土層が落ち込み、下位にはⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部北西側から歯の痕跡も見つかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片２点、中期の破片７点などが出土した。

Ｐ588（図177　図版178）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、ローム粒の混じる黒色土層が円型に落ち込む状況で検出した。覆土はⅡ層主体の黒色土層が堆積する。遺構の特徴から縄文時代後期後葉の土坑とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ589（図178　図版178・179）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、Ⅲ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が、黒褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で検出した。覆土はパミスやロームブロックの混じる暗褐色土層がスジ状に堆積し、埋め戻しの様相を呈する。坑底部北西側からは頭部の痕跡とみられる有機質な黒色土層の高まりがみられ、付近から歯の痕跡と玉１点が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は緑泥石岩製の棗玉状の玉で、厚さは17㎜あり、この１点を首飾りにしていたものとみられる。

Ｐ590（図178　図版178・179）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、ローム粒の混じる黒褐色土層が円型に落ち込む状況で検出した。覆土はⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。坑底面には石斧などの堀具の痕跡がわずかにみられる。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　１は縄文時代晩期後葉の胴部片とみられる。

Ｐ591（図178　図版179）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、Ⅲ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が、黒褐色土層と混じり小判型に落ち込む状況で検出した。覆土は上位にロームブロックの混じるⅡ層が堆積し、坑底部直上によりロームブロックを含む黒褐色土層が堆積する。坑底部南西側からは頭部の痕跡とみられる有機質な黒色土層の高まりが検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は縄文時代前期の静内中野式相当の口縁部片である。２は縄文時代早期の東釧路Ⅲ式相当の底部片である。いずれも包含層からの流れ込みとみられる。

Ｐ592（図179　図版179）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、Ⅳ層がⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は上位と下位にⅣ層主体の褐色土層が堆積し、中位の断面北西側にロームブロックやパミスを含む黒褐色土層が堆積する。坑底部南西側からは頭部の痕跡とみられる有機質な層が検出され、その付近からは首飾りとみられる３点の玉類が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１～３は緑泥石岩製の玉である。形状はすべて臼玉状である。４、５は同一個体とみられる。覆土出土の破片が接合したもので、無紋の片口土器とみられる。

Ｐ593（図179　図版180）

遺構　Ⅴ-38、39のⅣ層上面でⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が小判型に落ち込むのを確認した。覆土は上位にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積し、坑底付近にはⅡ層が多く含まれる黒色土が堆積する。坑底部の北東寄りからは頭部の痕跡とみられる有機質な黒色土が見つかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は頁岩製のつまみ付きナイフである。

Ｐ594（図179　図版180）

遺構　Ⅴ-38、39のⅣ層上面でⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が小判型に落ち込むのを確認した。覆土は上位にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積し、下位にはローム粒を含む黒色土が堆積する。坑底部のからは遺体の痕跡とみられる有機質な層が見つかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は黒曜石製の石鏃で、先端部を欠く。２は堂林式期に相当する胴下部片である。

Ｐ595（図180　図版180）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅡ層の黒色土層が小判型に落ち込むのを確認した。遺存する深さは４㎝で、覆土にはⅡ層の黒色土層が堆積する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ596（図180　図版181）

遺構　Ⅱ層下位で、黒曜石のフレイクが直径約20㎝の円形の範囲に集中して検出された。この状態を半截し、断面を図化したのちに、遺物を回収した。本遺構は袋状の入れ物に剥片類を詰め、小ピットに収めたものとみられる。検出面の状況から縄文時代中期頃の遺構とみられる。

遺物　遺構からは、スクレイパー類や原石を含め、895点のフレイク類が出土した。黒曜石はすべて赤井川産である。

Ｐ597（図180　図版183）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、Ⅲ層とⅣ層の混土である黒褐色土層がⅡ層主体の黒色土層と重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は上位と下位東側にⅣ層主体の褐色土層が堆積し、中位にはローム粒を含む黒色土層が堆積する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は安山岩製の台石である。

Ｐ598（図180　図版182）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、Ⅱ層主体の黒色土層が円形に落ち込む状況で検出された。検出面上には礫が１点乗っていた。覆土は上位にⅡ層主体の黒色土層が堆積し、下位にⅣ層主体の褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代中期以降の土坑とみられるが詳細は不明である。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片１点などが出土した。

Ｐ599（図181　図版182・183）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、パミスの混じる黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出した。本土坑は縄文時代後期後葉の墓Ｐ583、Ｐ584に切られる。遺存する深さは５㎝で、覆土は坑底部まで黒褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代後期前葉の土坑とみられる。

遺物　１は縄文時代後期前葉の胴部片で、内外面に縄文が施される。

Ｐ600（図181　図版182）

遺構　付近の深い撹乱を除去した際、壁に現れた断面で確認した。平面は削平を受けたⅣ層面のＶ－41の杭と重なる位置で、パミス混じりの黒色土層がⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層と重なり小判型に落ち込む。本土坑は２号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは72㎝で、覆土主にⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が坑底部まで堆積する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ601（図181　図版183）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。遺存する深さは38㎝で、覆土は上位に暗褐色土層が落ち込み、下位にはパミス混じりの黒色土層が堆積する。土色による埋め分けがなされている可能性のある土坑である。坑底部西側からは頭部との痕跡とみられる有機質な層が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。

遺物　１は頁岩製のスクレイパーである。

Ｐ602（図182　図版183）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅡ層とⅣ層の混土である

黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。遺存する深さは52㎝で、覆土は黒褐色土層とⅣ層主体の褐色土層が互層に堆積する。埋め戻しの様相を呈する。平面の西側は一部撹乱され掘りすぎで、本来は小判型の平面形である。坑底部西側からは頭部の痕跡とみられる有機質な層が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片１点などが出土した。

Ｐ603（図182　図版184・185）
遺構　Ⅳ層面において黒色土の撹乱を受けるⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が、小判型に落ち込む状況で確認した。遺存する深さは６㎝で、黒褐色土層が坑底面まで堆積する。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。
遺物　１は縄文時代中期の北筒式相当の口縁部片である。

Ｐ604（図182　図版184）
遺構　Ⅳ層面においてⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が、小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は縄文時代晩期前葉のＰ550に切られる。覆土はパミスを含む黒褐色土層が坑底面に堆積する。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片３点が出土した。

Ｐ605（図182　図版184・185）
遺構　Ⅲ層面においてⅡ層の黒色土層が、円形に落ち込む状況で確認した。覆土は下位にパミスを含むが、Ⅱ層主体の層が堆積する。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。
遺物　１は縄文時代中期の萩ヶ岡２式相当の胴部片である。

Ｐ606（図183　図版185）
遺構　T-34区のⅣ層面で、Ⅱ層とⅣ層の混土である暗褐色土が小判型に落ち込むのを検出した。
　覆土はパミスを含む暗褐色土層が坑底面まで堆積する。土坑の特徴から縄文期の墓とみられるが、時期は不明である。
遺物　遺物は出土していない。

Ｐ607（図183　図版185）
遺構　Ⅲ層面においてⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が円形に落ち込む状況で確認した。覆土は上位にパミスを含む黒褐色土層が堆積し中位に土器片を含む黒色土層、下位は上位と似た層が堆積し、坑底部に小ピットが重なる。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。
遺物　覆土中位からは縄文時代中期の破片29点が出土した。１は珪岩製のスクレイパーである。２、３は円筒上層式期の口縁部片である。

Ｐ608（図183　図版186・187）
遺構　Ⅲ層面においてパミスが混じるⅡ層が円形に落ち込む状況で確認した。全般にⅡ層起源の黒色土層が堆積する。覆土出土遺物から縄文時代後期中葉の土坑とみられる。
遺物　覆土中位からは縄文時代中期の破片29点が出土した。１は黒曜石製のスクレイパーである。２、３は縄文時代後期中葉の胴部片である。

Ｐ609（図184　図版186・187）
遺構　縄文時代後期中葉の住居址Ｈ47の床面に掘られた土坑である。覆土はⅡ層起源の黒色土層の間にⅣ層混じりの褐色土層や茶褐色土層がスジ状に堆積する。覆土上位は住居址の覆土が落ち込んだ状態である。土坑の上位には住居が埋まる際に流れ込んだ縄文時代後期後葉の破片がまとまって出土した。この破片は、周囲の包含層と接合し復元に至った。坑底部からは縄文時代後期中葉の破片が出土した。坑底部から出土した遺物から縄文時代後期中葉の土坑とみられる。
遺物　１、２は、覆土上位に落ち込んだ破片が包含層の破片と接合し、復元された堂林式期の深鉢である。１は比較的多くの破片が出土し、２は口縁部片の１点が接合したもので、土坑の時期より新しい遺物である。３～５は坑底部より出土した縄文時代後期中葉の破片である。このうち４は先に記したＰ608の破片と同一個体である可能性がある。６は黒曜石製の石鏃である。

Ｐ610（図185　図版186・187）
遺構　縄文時代中期後葉の北筒式の住居址Ｈ48を調査中、断面で見つかった土坑である。本土坑は住居址が完全に埋まった後に掘られた土坑である。覆土は、上部にパミス混じりのⅡ層が落ち込み、中位から下にはパミスやローム粒の混じる黒色土とⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が互層に堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片39点、後期後葉の破片２点などが出土した。１は縄文時代中期の萩ヶ岡２式相当の胴部片である。

Ｐ611（図185　図版188・189）
遺構　耕作跡の残るⅣ層面でⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は全般にパミスやローム粒を含む暗褐色土層が坑底付近まで堆積する。坑底部中央付近からは、つまみ付きナイフが１点検出された。土坑の特徴から縄文時代前期の墓とみられる。
遺物　１は坑底部出土の頁岩製のつまみ付きナイフである。

Ｐ612（図185　図版188）
遺構　Ｕ－36区においてⅢ層上面を遺構確認調査中、黒色土層がⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層と重なり楕円形に落ち込むのを確認した。覆土は上位にレンズ状に堆積する黒色土層、下位に黒褐色土層が堆積する。縄文時代の土坑とみられるが具体的な時期は不明である。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ613（図186　図版189）

遺構　Ⅲ層面で、パミス混りのⅡ層が不整形に落ち込むことで確認した。本土坑の北東側はＴＰ14に切られるが、長軸で２ｍほどの規模があったと推測される。覆土は上位に黒色土層、下位にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。坑底部は平らに掘られることから、小規模の住居址であった可能性もある。遺構の特徴と出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　覆土から縄文時代中期の破片58点、後期後葉の破片１点などが出土した。１は縄文時代中期の底部片である。

Ｐ614（図186　図版189）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面でローム粒を含む黒色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は黒色土層が坑底付近まで堆積する。出土遺物から縄文時代晩期中葉の土坑とみられる。

遺物　１は黒曜石製の石鏃である。２、３は縄文時代晩期中葉の破片である。２は口縁部に無紋帯があり、口唇部に棒状工具による刻みが施される。３の口縁部には縄線文が３条施される。

Ｐ615（図186　図版188・189）

遺構　Ⅲ層面でパミスを含む黒色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は黒色土層が坑底付近まで堆積する。出土遺物から縄文時代晩期中葉の土坑とみられる。

遺物　１は黒曜石製の石鏃である。２は後期後葉の深鉢片３、４は縄文時代晩期中葉の底部片である。

Ｐ616（図187　図版190・191）

遺構　Ⅳ層面においてパミスを含む黒色土層が長円形に落ち込む状況で検出された。土坑の中央付近で断面を切ったところ、坑底面が立ち上がりはじめ、柱穴状の土坑２基が重なる遺構であると確認した。断面は土坑の中心から外れた。土坑は深いもので80㎝あり、覆土はパミスやローム粒を含むⅡ層主体の黒色土層が坑底付近まで堆積する。土坑の特徴から、縄文時代晩期前葉の柱穴であったとみられる。

遺物　１は黒曜石製のつまみ付きナイフである。２は縄文時代中期の口縁部片である。

Ｐ617（図187　図版190・191）

遺構　Ⅲ層面において少量のパミスを含むⅡ層が円形に落ち込むことで検出した。覆土は上位に黒色土層、下位にはⅡ層とⅢ層との混土である黒褐色土層が堆積する。坑底面の南側は一部窪みがある。遺構の特徴から縄文時代前期の土坑とみられる。

遺物　１、２は東釧路Ⅳ式の破片で、３は静内中野式期相当の胴部片である。

Ｐ618（図187　図版190・191）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面でⅡ層とⅢ層との混土である黒褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出した。覆土は黒褐色土層が坑底まで堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期前葉の土坑とみられる。

遺物　１は黒曜石製の石鏃である。２は縄文時代後期後葉縄の破片である。３は前期の静内中野式期の口縁部片である。

Ｐ619（図188　図版191）

遺構　Ⅲ層面で少量のパミスを含むⅡ層が円形に落ち込むことで検出した。本土坑は縄文時代前期の住居址Ｈ52を切る。覆土は上位にⅡ層が落ち込み、下位にⅢ層とⅣ層との混土である黒褐色土層が堆積する。遺構の特徴から縄文時代後期後葉の土坑とみられる。

遺物　１、２は堂林式新段階から御殿山式相当の深鉢底部片と注口土器胴下部片である。

Ｐ620（図188　図版191）

遺構　Ｔ－34区のⅣ層上面で黒色土層が小判型の落ち込むことで検出した。土層は黒色土が坑底面まで堆積する。出土遺物から縄文時代中期以降の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片１点、中期の破片２点が出土した。

Ｐ621（図188　図版192）

遺構　Ｔ－34区のⅣ層上面でⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が小判型に落ち込むことで検出した。覆土は坑底部まで暗褐色土層が堆積でする。墓とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　覆土からはフレイク１点が出土した。

Ｐ622（図188　図版192・193）

遺構　Ｓ－36区のⅣ層上面で黒色土層が円形に落ち込むことで検出された。土層は黒色土が坑底面まで堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　１は覆土から出土した天神山式相当の胴部片である。

Ｐ623（図189　図版192・193）

遺構　Ⅳ層面においてⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が円形に落ち込むことで確認した。本土坑は縄文時代後期中葉の住居址Ｈ55を一部切る。覆土は黒褐色土層が坑底まで堆積する。出土遺物から、縄文時代後期後葉の土坑とみられる。

遺物　１は黒曜石製の石鏃である。２は御殿山式期の口縁部片、３、４は静内中野式相当の破片である。

Ｐ624（図189　図版192・193）

遺構　Ⅳ層面においてⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が小判型に落ち込むことで確認した。本土坑は縄文時代後期中葉の住居址Ｈ55を一部切る。覆土は黒褐色土層が坑底まで堆積する土坑の特徴から縄文時代前期の土坑とみられる。

遺物　１は覆土下位から出土した頁岩製のつまみ付きナイフである。

Ｐ625（図189　図版193）

遺構　Ⅲ層下位においてパミスの混じるⅡ層が黒褐色土層と重なり小判型に落ち込むことで確認した。本土坑の検出面より上位の包含層からは縄文時代中期の破片がまとまって出土した。覆土は上位にⅡ層が落ち込み中位にⅣ層が混じる黒褐色土層、下位に黒色土層が堆積する。覆土中位から出土した破片から、縄文時代早期の東釧路Ⅳ式期の土坑とみられる。

遺物　１は、覆土中位から出土した東釧路Ⅳ式期の口縁部から胴下部にかけての破片である。

Ｐ626（図189　図版193）

遺構　Ⅲ層下位においてパミスが少量混じる黒褐色土層が円形に落ち込むことで確認した。覆土は坑底部まで、ほぼ同質の黒褐色土層が堆積する。出土遺物から、縄文時代前期の静内中野式相当の土坑とみられる。

遺物　１、２は静内中野式相当の胴部片である。いずれも胎土に繊維を含む。

Ｐ627（図190　図版194）

遺構　Ⅲ層下位においてパミスの混じる黒色土層が円形に落ち込むことで確認した。覆土は上位にパミスの混じるⅡ層が落ち込み下位に暗褐色土層が堆積する。縄文時代の土坑とみられるが、決め手となる遺物は出土しなかった。

遺物　覆土からは礫が１点出土した。

Ｐ628（図189　図版194）

遺構　Ⅳ層面において、少量のパミスの混じる黒色土層が黒褐色土層と重なり円形に落ち込むことで確認した。覆土は上位にパミスの混じるⅡ層が落ち込み、下位にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。縄文時代の土坑とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ629（図190　図版194・195）

遺構　Ⅳ層面において、少量のパミスの混じる黒色土層が黒褐色土層と重なり小判型に落ち込むことで確認した。覆土は上位にパミスの混じるⅡ層が落ち込み、下位にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。縄文時代の土坑とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　覆土からは東釧路Ⅳ式の破片８点などが出土した。１は東釧路Ⅳ式の胴部片である。

Ｐ630（図190　図版195）

遺構　Ⅲ層下位においてパミスの混じる黒色土層が円形に小判型に落ち込むことで確認された。覆土は上位にパミスの混じるⅡ層が落ち込み、下位にはⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代の早期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは東釧路Ⅳ式の破片４点などが出土した。

Ｐ631（図190　図版ー）

遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ38の調査中、住居址の覆土を切って構築される土坑があるのを確認した。覆土は上位にパミスが混じる黒色土層が堆積し、下位にはⅡ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積する。住居を切ることから、縄文時代前期以降の遺構であるとみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ632（図191　図版195・221）

遺構　Ｒ－36区のⅣ層上面で、黒褐色土の大きな落ち込みを確認した。トレンチで確認したところ、付近には、土坑３基が重複していることがわかった。それらの重複関係の中で最も新しいのが本土坑である。覆土は上部にⅡ層が落ち込み、中位にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が、下位には炭化物や土器片を多数含む黒色土層が堆積していた。また本遺構の北東端の壁斜面には、フレイク・チップの集中域１ヶ所が検出されている。坑底部付近から出土した遺物から、縄文時代中期の土坑（あるいは小形の住居址）とみられる。

遺物　坑底直上から縄文時代中期の破片461点のほか、石器類954点が出土した。１～４は坑底部から出土した黒曜石製の石鏃である。木葉形のものと基部を持つものがみられる。５～15は坑底部から出土した土器片で、円筒上層式期に相当する破片である。

Ｐ633（図192　図版ー）

遺構　Ⅲ層上面で黒褐色土層が円形に落ち込むのを確認した。短軸方向に断面を設定した結果、覆土は炭化物混じりのⅡ層が堆積する。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ634（図192　図版196・197）

遺構　Ⅲ層上面で黒褐色土層が小判型に落ち込むのを確認した。本遺構はＰ647を切る。覆土は上位にパミスが混じるⅡ層が堆積し、下位にはⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。遺構の特徴から縄文時代後期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土から縄文時代中期の破片１点などが出土している。１は覆土出土の円筒上層式の口縁部片である。

Ｐ635（図193　図版196・197）

遺構　包含層調査中に、出土した石皿を置いた状態でⅢ層まで下げると黒色土が円形に落ち込むのを確認した。石皿が断面を通るように断面を設定した。覆土は全般にⅡ層主体の黒色土が落ち込み、土坑の坑底部北西側には、石皿と黄橙色の粘土も検出された。出土遺物から縄文時代後期中葉の遺構とみられる。

遺物　遺物１は覆土出土した珪岩製のスクレイパーである。２は全面を敲打し形を整えた、多孔質な安山岩製の石皿である。形状から縄文時代後期中葉である可能性がある。３は覆土上位から出土した石皿である。出土位置から包含層の流れ込みである可能性もある

Ｐ636（図192　図版196・197）

遺構　Ⅲ層下位でパミスの混じる黒褐色土層が円形に落ち込む状態で確認した。覆土は上位にパミスが混じるⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積し、下位にはⅡ層とⅢ層の混土である暗褐色土層が堆積する。遺構の特徴から縄文時代前期の墓とみられる。

遺物　覆土から縄文時代前期の破片16点などが出土している。１は安山岩製のすり石である。２は静内中野式相当の胴部片である。

Ｐ637（図194　図版197）

遺構　Ⅳ層面でパミスの混じる暗褐色土層が円形に落ち込む状態で確認した。覆土は主にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が坑底部まで堆積する。縄文時代の遺構とみられるが、決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　覆土から縄文時代後期後葉の破片１点が出土した。

Ｐ638（図194　図版197）

遺構　Ⅲ層下位で黒色土層が楕円形に落ち込む状態で確認した。覆土は主にⅡとⅢ層の混土である黒色土層が坑底まで堆積する。出土遺物から縄文時代晩期中葉の土坑とみられる。

遺物　１はから縄文時代晩期中葉の浅鉢底部片とみられる。

Ｐ639（図194　図版197～199）

遺構　Ⅲ層下位で黒色土層が小判型に落ち込む状態で確認した。覆土上位にはパミス混じりのⅡ層が落ち込み、下位には主にパミス混じりのⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代晩期中葉の土坑とみられる。

遺物　１～３から縄文時代晩期中葉の破片である。１の口唇は棒状工具で刻まれ、口縁部に縄線文が施される。２は底部片で、底部にも縄文が施される。３は鉢の口縁部片である。４は縄文時代後期後葉の破片である。

Ｐ640（図195・196　図版198・199）

遺構　縄文時代前期の住居址H56覆土を掘り下げていたところ、南東壁に遺構の重複を確認した。精査すると、H56を切って掘られた土坑を確認した。覆土は上位にパミスを含む黒褐色土層が堆積し、下位には黒色土層が堆積する。上位の層には縄文時代中期の破片がまとまって出土する。覆土から出土遺物から、縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　１は黒曜石製のスクレイパー類である。２～４は覆土上位から出土した縄文時代中期の破片である。２は柏木川式に相当するとみられる。３、４は萩ヶ岡２式相当の土器である。胴部の貼付帯上には半截竹管による押引文が施される。４は底部にも結束の縄文が施される。

Ｐ641（図194　図版199）

遺構　Ⅳ層面で、パミスの混じる暗褐色土層と褐色土層が混ざり円形に落ち込む状態で確認した。覆土は主にⅣ層主体の暗褐色土層が堆積する。土坑の特徴から縄文時代前期の遺構と考えた。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ642（図197　図版198・199）

遺構　Ⅲ層下位で黒色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が円形に落ち込み、下位にはⅡ層の黒色土層が堆積する。出土遺物から後期末葉の土坑と考えたが、検出面上にはわずかＴａ－ａらしき堆積も見られたため、より新しい土坑である可能性もある。

遺物　１、２は御殿山式期相当の破片である。

Ｐ643（図197　図版200）

遺構　Ⅲ層上面でⅢ層とⅣ層が混じる褐色土が不鮮明ながら円形に落ち込む状況で確認した。覆土は上位に褐色土層が堆積し、下位には黒褐色土層が堆積する。また、この土坑は柱穴１ヵ所を切る。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　覆土から礫１点が出土している。

Ｐ644（図197　図版200・201）

遺構　Ⅲ層下位でⅢ層とⅣ層が混じる褐色土が円形に落ち込む状況で確認した。覆土は上位に褐色土層が堆積し、下位には暗褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代中期の土坑と考える。

遺物　１は萩ヶ岡２式相当の胴部片である。

Ｐ645（図197　図版200・201）

遺構　Ⅲ層下位でⅢ層主体の暗褐色土層が円形に落ち込む状況で確認した。覆土は暗褐色土層が薄く堆積する。出土遺物から縄文時代早期の土坑と考える。

遺物　１は中茶路式の胴部片である。

Ｐ646（図198　図版201）

遺構　Ⅲ層下位で、Ⅲ層とⅣ層が混じる暗褐色土が円形に落ち込む状況で確認した。覆土は暗褐色土層が坑底まで堆積する。また、この土坑は柱穴１ヵ所を切る。縄文時代の遺構とみられるが、決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　覆土からフレイク１点が出土している。

Ｐ647（図198　図版201）

遺構　Ⅲ層下位で、黒色土層が落ち込む状況で検出された。Ｐ634に切られ、覆土は上位にパミスを含むⅡ層が落込み、下位にはⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代前期の土坑とかんがえる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片５点などが出土している。１は静内中野式相当の胴部片である。

Ｐ648（図198　図版201）

遺構　Ⅲ層下位で、黒褐色土層が落ち込む状況で検出された。Ｐ647に切られる。覆土はⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。出土遺物からＰ647とほぼ同時期の縄文時代前期の土坑とかんがえる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片１点、フレイク３点が出土している。１は静内中野式相当の口縁部片である。

Ｐ649（図199　図版ー）

遺構　Ⅲ層下位で、黒褐色土層が落ち込む状況で検出された。本土坑は縄文時代前期の住居址Ｈ54に切られる。覆土はⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。遺構の状況からＨ54とほぼ同時期の縄文時代前期の土坑とかんがえる。

遺物　覆土からはフレイク１点が出土している。

Ｐ650（図199　図版202・203）

遺構　Ⅲ層下位で、黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土にはパミスが少量混じるⅡ層が堆積する。縄文時代後期後葉の土坑Ｐ661を切ることから後北C_2Ｄ式の土坑とかんがえる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片２点などが出土した。１は堂林式新段階から三ツ谷式期の口縁部片である。

Ｐ651（図199　図版202・203）

遺構　Ⅲ層下位で、暗褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。検出面には礫が１点見えていた。覆土はパミスが少量混じるⅢ層が堆積する。出土遺物から縄文時代早期の土坑とかんがえる。

遺物　１は東釧路Ⅳ式相当の胴部片である。

Ｐ652（図199　図版202・203）

遺構　Ⅲ層下位で、黒色土層が不整形に落ち込む状況で検出された。覆土にはパミスが少量混じるⅡ層が堆積する。遺構の状況から縄文時代晩期前葉の土坑とかんがえる。

遺物　１、２は堂林式新段階から三ツ谷式期の胴部片。

Ｐ653（図200　図版203）

遺構　Ⅳ層面で、黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土にはパミスが少量混じるⅡ層が堆積する。遺構の状況から縄文時代後期後葉の土坑とかんがえる。

遺物　１は萩ヶ岡２式相当の口縁部片である。

Ｐ654（図200　図版202・203）

遺構　Ⅲ層下位で黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土にはパミスが少量混じるⅡ層が堆積する。出土遺物から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　１は東釧路Ⅳ式の胴部片である。

Ｐ655（図200　図版203）

遺構　Ⅱ層下面で、褐色土層の落ち込みで検出された。検出面では、小判型に落ち込む新しい土坑に切られる状況が確認された。断面から、本土坑は後北C_2Ｄ式期の土坑Ｐ496に上部の一部を切られることがわかった。覆土は上位にはⅣ層主体の褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがなされたものとみられる。遺構の状況から縄文時代後期後葉の墓とかんがえる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片51点、後期後葉の破片67点などが出土している。１～３は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する破片である。

Ｐ656（図201　図版204・205）

遺構　Ⅳ層面で、暗褐色土層が、小判型に落ち込むれる状況で確認された。覆土は上位に少量の黒色土が落ち込み、ほかはⅣ層主体の暗褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代早期の土坑とかんがえる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片57点などが出土している。１は東釧路Ⅳ式に相当する口縁部片である。

Ｐ657（図201　図版204）

遺構　Ⅳ層上面でパミス混じりの黒色土層が円形に落ち込む状況で確認した。覆土は坑底面まで黒色土層が堆積する。遺構の特徴から、後北C_2Ｄ式期の土坑と考える。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ658（図201　図版204・205）

遺構　Ⅳ層上面でパミス混じりの黒色土層が円形に落ち込む状況で確認した。覆土は坑底まで土器片を含む黒色土層が堆積する。遺構の特徴から、後北C_2Ｄ式期の土坑と考える。

遺物　１は堂林式新段階から御殿山式期に相当する口縁部片である。

Ｐ659（図201　図版204）

遺構　Ⅳ層上面で炭化物粒を含む褐色土が長円形に落ち込む状況で確認した。覆土は褐色土層が坑底まで堆積する。遺構の特徴から、縄文時代早期の土坑と考える。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ660（図202　図版205）

遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ61の床面上でパミス混じりの黒色土層が小判型に形に落ち込む状況で確認した。覆土は上部にⅡ層を多く含む黒色土層が薄く堆積し、下位は黒褐色土層が坑底まで堆積する。出土遺物から縄文時代中期の土坑と考える。

遺物　１は円筒上層式期の胴部片である。

Ｐ661（図202　図版205）

遺構　Ⅳ層上面でⅡ層の黒色土のⅣ層の褐色土が重なり小判型に落ち込む状況で確認した。検出面で円形の土坑Ｐ650に切られるのがみとめられた。覆土は上位にはⅣ層主体の褐色土層、下位にはⅡ層主体の黒褐色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがなされ可能性がある。遺構の特徴から縄文時代後期後洋の墓と考える。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片１点が出土している。

Ｐ662（図202　図版205）

遺構　Ⅳ層上面でパミス混じりの黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は主にⅡ層とⅢ層が混じる黒褐色土層の堆積である。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ663（図202　図版206・207）

遺構　Ⅳ層上面でパミスが混じる暗褐色土層が円形に落ち込む状況で確認した。本土坑は縄文時代地後期中葉の住居址Ｈ55に切られる。覆土は上位に一部Ⅱ層の混じる黒褐色土層が落ち込むが、他は主にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代前期の土坑と考える。

遺物　１は静内中野式相当の胴部片である。２は泥岩製の石斧で、縁辺を荒割りした状態のもの。

Ｐ664（図203　図版206）

遺構　Ⅲ層下位でパミスが混じるⅡ層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は上位にⅡ層が落ち込み、下位には全般にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積する。土坑の特徴から縄文時代前期の土坑と考える。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ665（図204　図版206・207）

遺構　Ⅳ層上面で、黒褐色土層が楕円形に落ち込むことで確認した。検出面には副葬品とみられる石器類が確認できた。覆土は主にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積し、覆土上位や中位から、副葬品と見られる石器類16点が検出された。土坑の特徴や出土遺物から縄文時代前期の墓とみられる。

遺物　１～４はつまみ付きナイフ、５～９はスクレイパー類、10は石槍またはナイフである。石材は７、８が黒曜石製でほかは頁岩製である。11は泥岩製の石斧で、器面全体に磨かれる。

Ｐ666（図205・206　図版208・209）

遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ40を調査中に、黒色土が落ち込み、住居址を切ることから確認した。覆土は上部にⅡ層主体の黒色土層が落ち込み、下位にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積する。覆土上位には一部Ⅳ層が落ち込み、その上部に堆積する黒褐色土層中からは42点の玉類と６点のサメの歯が散在した状態で出土した。覆土下位の暗褐色土層からはほとんど遺物は出土していない。出土遺物から縄文時代後期後葉の墓とみられるが、覆土上位の黒色土層と下位の暗褐色土層の重なりが自然な堆積であることから、黒色土中に坑底部をもつ盛土墓状の墓と、前期の土坑が重なったものともみられる。

遺物　１は刃部を破損した石斧である。基部は研摩され、後期後葉の石斧とは特徴が異なる。２～７サメ歯穿孔品とみられる。全長２ｍ以下のホホジロザメの上顎歯を利用したもの。８～49は玉類である。石材はすべて緑泥石岩製である。これらのうち勾玉状のものが14、34、45で14の縁には刻みが施される。26、27は厚みのある玉類で、44は嚢玉状である。そのほかの玉類は丸みのある臼玉状のものが目立つ。

Ｐ667（図203　図版207）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面で黒褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出した。覆土はⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が坑底まで堆積する。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ668（図207　図版209・210）

遺構　Ⅳ層上面で、黒褐色土層が楕円形に落ち込むことで確認した。覆土には主にパミスが混じる黒褐色土層が堆積し、土坑の南東側には一部落込みがみられた。落込みの上位からは土器片がまとまって出土した。出土遺物から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　１は一括で出土した破片を復元したもので、東釧路Ⅳ式の口縁部である、山形の突起が４ヵ所付くとみられる。

Ｐ669（図203　図版210・211）

遺構　Ⅲ層面でパミスが混じるⅡ層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は上位にⅡ層の黒色土層が堆積し、下位にはⅡ層とⅢ層とⅣ層の混土である黒暗褐色土層が堆積する。遺構の特徴から、後北C_2D式期の土坑と考える。

遺物　１は黒曜石製のつまみ付きナイフである。２は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する胴部片である。

Ｐ670（図203　図版210・211）

遺構　Ⅲ層下位でパミスが混じる黒褐色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は上位にⅡ層が混じる黒色土層が堆積し、下位にはⅡ層とⅢ層との混土である黒暗褐色土層が堆積する。出土遺物から、縄文時代中期の土坑と考える。

遺物　１は円筒上層式期の胴部片である。

Ｐ671（図208　図版211）

遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ70の床面上でパミス混じりの黒褐色土層が小判型に形に落ち込む状況で確認した。覆土は主にⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層である。遺構の特徴から縄文時代中期の土坑とした。

遺物　１は黒曜石製の石鏃である。２は静内中野式相当の破片で、口縁部に縄端部の圧痕が施される。

Ｐ672（図208　図版211）

遺構　Ⅲ層下位でパミスが混じる黒色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は上位に少量に焼土が落ち込むが、ほかはⅡ層主体の黒色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代中期の土坑下位にはⅡ層とⅢ層との混土である黒暗褐色土層が堆積する。遺構の特徴から、縄文時代後期後葉の土坑と考える。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片１点が出土している。

Ｐ673（図208　図版211）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面で黒褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出した。覆土はパミスが混じるⅢ層とⅣ層の混土が堆積する。遺構の特徴から、縄文時代早期の土坑と考える。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ674（図208　図版212）

遺構　Ⅳ層上面で黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出した。覆土にはパミスが混じるⅡ層とⅢ層の混土が堆積する。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　覆土からは礫４点が出土している。

Ｐ675（図208　図版212）

遺構　Ⅲ層下位でパミスが混じる黒色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土はパミスが混じるⅡ層とⅣ層の混土が堆積する。遺構の特徴から、縄文時代中期の土坑と考える。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ676（図209　図版213）

遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ70の覆土面で黒色土層が円形に落ち込むことで確認した。覆土は黒色土が坑底まで堆積する。出土遺物から縄文時代晩期中葉の土坑とみられる。

遺物　１は黒曜石製の石鏃である。２～４は縄文時代晩期中葉の底部片である。いずれも底部に縄文が施される。４の器面には複節の縄文がと沈線文が付される。

Ｐ677（欠　番）

Ｐ678（図209　図版213）

遺構　Ⅲ層下位で黒色土層が黒褐色土層に重なり円形に落ち込むことから確認した。検出面は撹乱を受けるが、覆土上位には少量のパミスを含むⅡ層が落込み、下位にはⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。土坑の北側が深く落ち込むことから、浅い土坑との重なりだったとみられる。出土遺物から縄文時代前期の土坑と考える。

遺物　１は黒曜石製のスクレイパー類である。２は静内中野式相当の胴部片である。

Ｐ679（図209　図版213・221）

遺構　Ⅳ層上面で、黒褐色土層の大きく落ち込むことから確認した。本土坑は縄文時代中期の土坑Ｐ632に切られる。覆土はⅡ層が薄く堆積し、坑底はⅣ層を若干掘り下げてほぼ平坦に作られている。

出土遺物から、縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片18点などが出土した。

Ｐ680（図210　図版215・215）

遺構　Ⅲ層下位で黒色土層が小判型に落ち込むことから確認した。覆土は全般に少量のパミスを含むⅡ層が堆積する。出土遺物から縄文時代前期の土坑と考える。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片38点などが出土している。１安山岩製のすり石で、半分近くが欠損する。２は静内中野式相当の口縁部片である。

Ｐ681（図210　図版214・215）

遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ68を調査中に住居址を切る黒褐色土層が円形に落ち込み検出された。土層は上位に少量のパミスを含むⅡ層が堆積し、下位にはⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代晩期中葉の土坑と考える。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片86点、晩期中葉の破片２点などが出土している。１は黒曜石製の石鏃である。２～４は御殿山式期相当の口縁部片である。

Ｐ682（図210　図版214・215）

遺構　縄文時代後期中葉の住居址Ｈ55に切られた状態で検出された土坑である。覆土上位にはパミス混じりのⅡ層が落ち込み、下位にはⅡ層とⅢ層の混土が堆積する。出土遺物から縄文時代前期の土坑と考える。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片９点が出土している。１は静内中野式相当の胴部片である。

Ｐ683（図211　図版214・215）

遺構　Ⅳ層上面で、黒褐色土層が円形に落ち込むことから確認した。土層はロームブロックが混じる黒色土である。遺構の特徴から縄文時代晩期中葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片７点、後期後葉の破片18点などが出土した。１は堂林式新段階から御殿山式期に相当する口縁部片である。

Ｐ684（図211　図版214・215）

遺構　縄文時代中期の土坑Ｐ632に切られて検出された。土層はロームブロックが混じる黒色土である。覆土から出土した遺物から、縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片34点などが出土した。１、２は円筒上層式期の破片である。１は口縁部片、２は底部片である。

Ｐ685（図211　図版214）

遺構　Ⅲ層下位から黒褐色土層が楕円形に落ち込むことで確認した。覆土は上位に少量のパミスを含むⅡ層が堆積し、下位にはⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ686（欠　番）

Ｐ687（図212　図版215）

遺構　柏木川に面する斜面際の、削平を受けたⅣ層面でパミス混じりの黒色土が、暗褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で確認した。遺存する深さは21㎝で、覆土は上位にⅡ層とⅣ層の混土である黒色土層が堆積し、下位の東側にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積する。坑底面の北西側からは遺体の頭部の痕跡とみられるベンガラ混じりの層が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土から縄文時代中期の破片４点などが出土た。

Ｐ688（図212　図版216・218）

遺構　柏木川に面する斜面際の、削平を受けたⅣ層面でパミス混じりの黒色土層が不整形に落ち込むことで検出した。遺存する深さは10㎝で、全般にパミスが混じるⅡ層が堆積する。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　１は縄文時代中期の胴部片である。

Ｐ689（図212　図版216・217・218）

遺構　削平を受けたⅣ層面において褐色土層がⅡ層とⅣ層の混土である暗褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は３号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは41㎝で、覆土は上部にⅣ層が落ち込み下位にはⅣ層がブロック状に混じるⅡ層が堆積する。坑底面の北西側からは頭部の痕跡と見られる有機質な黒褐色土層の高まりがみとめられた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片13点などが出土している。１は坑底部から出土したコハクの破片である。玉に加工されていたものとみられる。

Ｐ690（図213　図版216・217・218）

遺構　削平を受けたⅣ層面において褐色土層がⅡ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が長円形に落ち込む状況で確認した。本土坑は３号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは48㎝で、覆土は上部にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積し、下位には比較的Ⅱ層が含まれる黒色土が薄く堆積する。坑底部の北西側からは漆製品の破片が検出され、付近にはベンガラの散布も確認された。坑底部中央からは土坑の長軸に沿って片岩製の石棒が１点出土した。石棒は部分的に砂質で、節理面から崩れた状態で出土した。まは、坑底面の南東側からは足の痕跡と坑底部から浮いた位置で石鏃が１点検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。なお、３号周堤墓の設定には本土坑から石棒が出土していることも意識しているが、周堤墓とする根拠はやや弱い。

遺物　１は漆片である。断片的な遺存で詳細は不明だが、出土位置から櫛であった可能性もある。２は頁岩製の石鏃で、包含層からの流れ込みとみられる。３は石棒である。頭部の縁には瘤状の突起を６ヵ所作り出し、×字の刻みを施す。風化のため脆く、半対面の文様は、調査時に削ってしまった可能性がある。節理面から崩れた状態を、土ごと取り上げ、樹脂で固めたものである。

Ｐ691（図214　図版216・217・218）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてパミスやローム粒を含む黒褐色土層が長円形に落ち込む状況で確認した。本土坑は３号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは52㎝で、検出面で、一部接する縄文時代晩期後葉の土坑であるＰ692に切られる。覆土は上部にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積し、下位にはⅣ層主体の褐色土層が堆積する。坑底部の西側からは少量のベンガラがブロック状に出土した。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は静内中野式相当の破片で、包含層からの流れ込みとみられる。

Ｐ692（図215・216　図版219・220）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてパミスを含む黒色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は一部接する縄文時代後期後葉の土坑Ｐ691を切る。上部の黒色土を10㎝前後掘り下げると、長軸80㎝、幅38㎝の長円形の落ち込みとなり、上面には複数の土器がつぶれて検出された。出土した破片のほとんどは接合し、土器３個体が復元された。土器片の下位の土層も上部の土層とほぼ同じパミスを含むⅡ層が堆積していた。出土遺物から縄文時代晩期後葉の墓とみられる。

遺物　紙面都合から、図216に掲載した土器実測図の縮尺を30％としている。復元された３個体の土器には内部にも使用痕がなく、副葬品として造られたものとみられ、器面にわずかながらベンガラの塗付された痕跡がみられる。ほんらいは完形品で収められたとみられるが、上面が削平されているため定かでない。縄文時代晩期中葉以降に在地系土器に現れる、口縁部に１対の向かい合う突起（穿孔を伴う）を持つ器形は、末葉になると舟形土器や壷形土器に分化するとみられるが、本土坑から出土した３個体は舟形や壷形に分化する直前の器形とみられる。１は口縁部を欠くが（未接合の破片が一部ある）、口縁部に向かい合う突起を有する器形とみられ、胴部の無紋帯は内側に強く括れ、その上下に櫛歯状工具による沈線を下地とし文様が施される。底部中央の割れ口は穿孔されたものである可能性がある。このような器形は後に壷形土器に変化するものとみられる。２の口縁部は４分の１ほどしか残っていないが、器形は浅鉢形だったとみられる。器面の無紋帯や沈線文にはベンガラが塗付された痕跡がみられる。３は底部の一部を欠く。胴部は２段の無紋帯を挟んで括れ、口縁部には櫛歯状工具による沈線文を施したのち工字文状の文様を施す。口縁部は突起の方向に広がる楕円形で、突起は２列の粘土の貼り付けの間に貫通穴が施される。このような器形は後に船形土器になるとみられ、器形を分化させる意図はこのような時期から始まっていたのかもしれない。４は頁岩製の石鏃で破損する基部にはアスファルトの付着がみられる。５は黒曜石製のスクレイパー類である。これらの石器は集中する土器片と同じ層位から出土しており、副葬品である可能性がある。

Ｐ693（図214　図版220）

遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ70を調査中に住居址を切る黒色土層が円形に落ち込み検出された。土層はいずれもロームブロックが多く混じるⅡ層主体の黒色土層で埋め戻しとみられる。遺構の特徴から縄文時代晩期中葉の土坑とみられる。

遺物　１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する口縁部片である。２は静内中野式相当の胴部片である。

Ｐ694（図214　図版221）

遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ70を調査中に住居址を切る黒色土層が小判型に落ち込み検出された。覆土にはローム粒とベンガラを少量含むⅡ層主体の黒色土層である。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　覆土から縄文時代早期の破片２点、前期の破片が１点、中期の破片が１点出土している。

Ｐ695（図214　図版220・221）

遺構　Ⅳ層上面で、黒褐色土層の大きく落ち込むことから確認した。本土坑は縄文時代中期の土坑Ｐ679に切られる。覆土はⅡ層とⅢ層の混土である暗褐色土層が薄く堆積し、坑底はⅣ層を若干掘り下げて平坦に作られている。出土遺物から、縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　覆土から縄文時代中期の破片が３点、後期後葉の破片３点などが出土している。

Ｐ696（図214　図版221）

遺構　縄文時代中期の住居址Ｈ71を調査中に住居址の一部を切る円形の土坑が検出された。検出面はパミスを含む黒褐色土層が黒色土と重なり落ち込み、覆土は全般にパミスを含むⅡ層主体の黒褐色土層の堆積である。坑底面には掘り具の痕跡が明瞭にみられた。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　１は珪岩製のつまみ付きナイフである。２は天神山式相当の口縁部片である。

Ｐ697（図218　図版222・223）

遺構　縄文時代早期の住居址Ｈ67の床面付近に黒曜石のフレイク類が集中している状況がみられ、これを精査したところ楕円形の土坑が検出された。覆土は全般にパミスを含むⅡ層とⅢ層の混土で、覆土中から77点の石器類が出土した。坑底部には一部ベンガラの散布もみられた。遺構の特徴から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　１～３は頁岩製のつまみ付きナイフである。４は黒曜石製の石鏃片で、５～７はスクレイパー類で、５、６は黒曜石製、７は砂岩製である。

Ｐ698（図217　図版221）

遺構　Ⅳ層上面で、後北Ｃ$_2$Ｄ式期の土坑Ｐ496と縄文時代後期後葉の土坑Ｐ655に切られて落ち込む黒褐色土層の落込みが確認された。覆土は上位にパミスを含むⅡ層が落ち込み下位にⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　覆土から縄文時代中期の破片などが出土している。

Ｐ699（図219　図版222）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてⅣ層主体の褐色土層が不

整形に落ち込み検出された。覆土は上位と下位にパミスを含むⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積し、中位にⅣ層主体の褐色土層が堆積する。坑底部南西側からは歯と頭部の痕跡が検出された。土坑の特徴から縄文時代晩期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からはフレイク１点などが出土している。

Ｐ700（図219　図版222・223）

遺構　削平を受けたⅣ層面より黒色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は主にローム粒が混じるⅡ層の黒色～黒褐色土層が坑底部まで堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片４点などが出土した。

Ｐ701（図219　図版222・223）

遺構　削平を受けたⅣ層面より黒色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は主にローム粒が混じるⅡ層の黒色～黒褐色土層が坑底部まで堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片３点、晩期後葉の破片１点出土している。１は縄文時代晩期後葉の胴部片である。

Ｐ702（図220　図版222・223）

遺構　削平を受けたⅣ層面より黄褐色土層が楕円形に落ち込む状況で検出された。覆土は主にⅣ層主体の黄褐色土層が堆積する。坑底部南西側からは土器片とつまみ付きナイフが検出された。出土遺物から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　１は黒曜石製のつまみ付きナイフである。２は東釧路Ⅲ式相当の底部片とみられる。

Ｐ703（図220）

遺構　削平を受けたⅣ層面より黒色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は主にパミスを含むⅡ層の黒色土層が坑底部まで堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ704（図220）

遺構　削平を受けたⅣ層面より黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は上部には赤色顔料、炭化物の混じるⅡ層が堆積し、下位にはローム粒が混じる黒褐色土が堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ705（図220　図版223）

遺構　縄文時代中期の住居址Ｈ71を調査中に住居址を切る小判型の土坑が検出された。検出面はパミスを含む黒色土がⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層がと重なり落ち込んでいた。覆土は上位にⅡ層が落ち込み、下位にⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積し、埋め戻しの様相を呈する。坑底面直上には薄く黒褐色土層が堆積し、平らに掘られた坑底面には、掘り具の痕跡がみられた。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片５点などが出土した。

Ｐ706（図220　図版224）

遺構　縄文時代中期の住居址Ｈ71を調査中に住居址と接する位置から住居を切る円形の土坑が検出された。検出面はパミスを含む黒褐色土層が落ち込み、覆土も主にパミス混じりのⅡ層が坑底面まで堆積する状況であった。また、坑底面には、掘り具の痕跡がみられた。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片１点が出土している。

Ｐ707（図221　図版224）

遺構　削平されたⅣ層面より黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は、上部に赤色顔料や炭化物の混じる黒色土、下位にはローム粒の混じる黒褐色土が堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片１点が出土している。

Ｐ708（図221　図版224・225）

遺構　柏木川に面する斜面際の、削平を受けたⅣ層面でパミスⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層が長円形に落ち込む状況で確認した。遺存する深さは15㎝で、覆土は褐色土層が坑底面まで堆積する。坑底面の南西端からは無頭の石棒が１点、坑底面を横切るように出土した。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは石棒１点のほかフレイク２点が出土した。１は石英片岩製の石棒である。形状は縄文時代中期に形状の似た製品が出土しているが、土坑の形態からみても、この石棒は後期後葉の遺物とみいいと考える。ある程度磨耗した形状の近い自然石に調整を加えたものとみられ、表面にはわずかに敲打や研摩の痕跡がみられる。

Ｐ709（図222　図版225）

遺構　Ⅲ層下面でローム粒の混じるⅡ層が円形に落ち込むのを確認した。覆土は上部にⅡ層が落ち込み、下位にはⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。また、覆土中位からは縄文時代中期の破片が多数出土した。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片152点、フレイク252点などが出土した。１は黒曜石製の石鏃である。２～５は萩ヶ岡２式相当の破片である。２は厚みがある口縁部片で、胎土には繊維を含む。３の突起下には垂下する瘤を貼付し、胴部や口縁部の添付帯上には半截竹管による押し引きが施され

る。また、胴部には半截竹管による沈線文が施される。４は突起部の破片で、貼付帯上に半截竹管による押し引き文が施される。５はやや上げ底の底部片で、底にも縄文が施される。

Ｐ710（図221　図版226）

遺構　削平を受けたⅣ層面より黒色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土はローム粒や炭化物を含む黒色土が堆積する。特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ711（図223　図版226）

遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ66の北壁を確認していた際、壁面に住居の輪郭から少しはみ出た黒褐色土の落ち込みを確認した。検出面にはＦ440が重なり、覆土にはパミス混じりのⅡ層が坑底面まで堆積する。住居址との新旧関係は不明であるが、覆土の色調が類似していることから、ほぼ同じ時期の土坑とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ712（図223　図版226）

遺構　縄文時代早期の住居址Ｈ67の床面から暗褐色土層が円形に落ち込む状況で検出した。覆土にはパミスを含む黒褐色土層が堆積する。状況から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ713（図224　図版227）

遺構　Ⅲ層上面でⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が小判型に落ち込む状況を確認した。遺存する深さは18㎝で、覆土は全般に少量のパミスを含む黒褐色土層が堆積する。坑底部北西側にはベンガラ層が厚く堆積し、ベンガラ層中からは人歯が出土した。歯の位置からみて被葬者の胸付近からは11点の玉類が出土した。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられるが、付近にある同時期の墓と比較すると、土坑の深さが極端に浅いため、盛土墓のような構造をしていた可能性もある。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片５点、後期後葉の破片18点のほか11点の玉類などが出土している。１～11はすべて緑泥石岩製の玉類である。頭位に近い順に並べたもので、これらのうち９、10は勾玉状で並んで出土した。６は臼玉に装飾的な突起が２ヵ所付されたものである。

Ｐ714（図224　図版227）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面でⅣ層主体の褐色土層がⅡ層主体の黒色土層に重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は上位に褐色土層が落ち込み、下位にⅡ層主体の黒色土層が堆積していることから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底面には薄くベンガラが敷かれ、坑底西北西側から頭部の痕跡とみられる有機質な黒色土層の高まりがみつかり、付近から人歯も検出された。また、土坑の南東側からは足の痕跡も出土した。土坑の特徴から、縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片２点、後期後葉の破片18点などが出土している。

Ｐ715（図225　図版228・229）

遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ75を調査中に住居址を切る黒色土層が大きく落ち込むのを確認した。平面形は方形に近く、縄文時代後期後葉の墓であるＰ410に切られる状況である。土層は上位に少量のパミスを含むⅡ層が落ち込み、下位にはＨ75の下位の土層が流れ込んで堆積する。遺構の状況からＨ75に近い時期の土坑と考える。

遺物　１は砂岩製の断面が三角形のすり石である。２、３は頁岩製のつまみ付きナイフである。４は泥岩製の石斧で、全面敲打による調整がほどこされ、刃部はまだ付されていないことから未製品とみられる。この石斧は黒色土中から出土しており、縄文時代後期後葉の遺物とみられる。５は黒曜石製の石鏃である。６は黒曜石製のスクレイパー類である。７、８は静内中野式相当の胴部片である。

Ｐ716（図223　図版228・229）

遺構　三ツ谷式期の墓であるＰ411の南西側に重なって検出した土坑である。Ｐ411の調査終了時に存在に気付き調査したため、土層で前後関係を捉えることが出来なかった。しかし、Ｐ411の東隣に位置するＰ444にも同様に小さな墓が重なり、その前後関係も捉えられていることから、大きな墓を意識した小さな墓が、上部に追葬されたものとみられる。覆土は上位にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が落ち込み、下位には黒色土層が堆積する。坑底面には薄くベンガラが敷かれ、南西側から人歯とサメの歯が１点検出された。時期は三ツ谷式期に近いものとみられる。

遺物　１はサメ歯穿孔品とみられる。ホホジロザメの上顎右の歯を利用したものである。２、３は三ツ谷式から御殿山式期に相当する破片で、２は小形の鉢の口縁部片、３は壺または注口土器の胴部片である。

Ｐ717（図226　図版229）

遺構　Ⅳ層上面で薄い暗褐色土の落ち込みを確認した。落ち込みはかなり不明瞭なものであったが、坑底、壁が明瞭に確認できたため、土坑として記録した。時期は不明であるが、覆土の色調、検出した状態からすると、縄文時代の比較的古い段階のものとみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ718（図226　図版229）

遺構　Ⅳ層上面において黒色土が円形に落ち込むことから確認した。土層はⅡ層主体にパミス、炭化物、赤色顔料が混じ

る黒褐色土である。坑底はⅣ層を10㎝掘り込む。出土遺物から縄文時代早期の土坑とみられる。
遺物　遺物１は黒曜石製のつまみ付きナイフである。２は中茶路式相当の胴部片である。

Ｐ719（図226　図版230・231）
遺構　Ⅳ層上面において黒褐色土が明瞭な楕円形に落ち込むのを確認した。土層はすべてがローム粒、炭化物が混じる黒褐色土を基調とした、人為的堆積である。坑底は中心がくぼんでおり、壁は急である。出土遺物から縄文時代早期の土坑とみられる。
遺物　遺物１は黒曜石製の石鏃である。

Ｐ720（図226　図版230）
遺構　Ⅳ層上面において黒色土が楕円形に落ち込むのを確認した。土層は径にして２㎝以下のパミスが混じる黒色土で人為的な堆積とみられる。坑底は平坦、壁は緩やかであるが、坑底の北東端には土坑の中心に向かった張り出しがある。遺構の特徴から縄文時代早期の土坑とみられる。
遺物　遺物は出土していない。

Ｐ721（図227　図版230・231）
遺構　Ⅳ層上面においてⅣ層主体の褐色土が円形に落ち込むのを確認した。覆土は上位にⅣ層主体の褐色土層が堆積し、下位には炭化物が混じる黒色土層が堆積する。出土遺物から、縄文時代早期の土坑とみられる。
遺物　１は東釧路Ⅳ式の口縁部片である。

Ｐ722（図227　図版230・231）
遺構　Ⅳ層上面において黒色土が楕円形に落ち込むのを確認した。土層はいずれも黄褐色土ブロックが混じる黒色土で、人為的な堆積とみられる。出土遺物から、縄文時代早期の土坑とみられる。
遺物　１は頁岩製のつまみ付きナイフである。２は東釧路Ⅳ式の口縁部片である。

Ｐ723（図227　図版230）
遺構　Ⅲ層下位で黒色土が円形に落ち込むのを確認した。土層はⅡ層主体の黒色土である。坑底と壁は緩やかな曲線を呈する。遺構の特徴から、縄文時代早期の土坑とみられる。
遺物　遺物は出土していない。

Ｐ724（図227　図版231）
遺構　Ⅳ層上面で黒褐色土が楕円形に落ち込むのを確認した。土層は黄褐色土ブロックや炭化物が混じる人為的堆積である。坑底は概ね平坦で、遺構の特徴から、縄文時代早期の土坑とみられる。
遺物　遺物は出土していない。

Ｐ725（図228　図版231）
遺構　Ⅳ層上面で暗褐色土が楕円形に落ち込むのを確認した。土層はパミスが混じるⅡ層が落ち込み、壁際にはパミス混じりの黒褐色土が堆積する。出土遺物から縄文時代早期の土坑とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代早期の破片が16点出土している。１は東釧路Ⅳ式の口縁部片、２は中茶路式の胴部片である。

Ｐ726（図228　図版231）
遺構　縄文時代前期の住居址Ｈ75の床面で、暗褐色土が楕円形に落ち込むのを確認した。土層は主にパミスが混じるⅡ層とⅢ層の混土が堆積する。遺構の状況から住居址と同じ時期の土坑とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代前期の破片が１点や礫などが出土している。１は静内中野式相当の胴部片である。

Ｐ727（欠番）

Ｐ728（図228　図版232）
遺構　Ⅳ層上面で黄褐色土ブロックが混じる黒褐色土が楕円形に落ち込むのを確認した。覆土は黄褐色土ブロックや炭化物が混じる人為的な堆積である。遺構の状況から縄文時代晩期後葉の墓である可能性が高い。
遺物　覆土からはフレイクが１点出土している。

Ｐ729（図228　図版232）
遺構　Ⅳ層上面で黒色土が小判型に落ち込むのを確認した。覆土は黄褐色土ブロックや炭化物、骨片が混じる人為的な堆積である。遺構の状況から縄文時代晩期後葉の墓と考える。
遺物　覆土からはスクレイパーが１点、フレイクが１点出土している。

Ｐ730（図229　図版232）
遺構　Ⅳ層上面で黒色土が長円形に落ち込むのを確認した。覆土には骨片、炭化物の混じる黒色土層が堆積する。遺構の状況から縄文時代晩期後葉の墓である可能性が高い。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片が３点出土している。

Ｐ731（図229　図版232）
遺構　Ⅳ層上面で黒色土が長円形に落ち込むのを確認した。覆土にはパミス混じりの黒色土層が堆積する。坑底は概ね平坦で、壁の立ち上がりは急である。遺構の状況から縄文時代後期後葉の土坑である可能性が高い。
遺物　覆土から縄文時代中期の破片４点などが出土した。

Ｐ732（欠番）

Ｐ733（図229　図版233）

遺構　Ⅳ層上面で黒褐色土層が楕円形に落ち込むのを確認した。土層は上位に黒色土層が堆積し、下位に炭化物、パミスが混じる暗褐色土が堆積し、人為的である。坑底はⅣ層を掘り込んで作られ概ね平坦である。遺構の状況から縄文時代晩期中葉の土坑である可能性が高い。

遺物　覆土から縄文時代後期後葉の破片６点などが出土している。１は堂林式新段階から御殿山式期に相当する深鉢胴部片である。

Ｐ734（図229　図版233）

遺構　Ⅳ層上面で黒褐色土層が円形に落ち込むのを確認した。土層はパミス混じりの黒色土層が堆積する。坑底はⅣ層を掘り込み概ね平坦である。時期は不明である。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ735（図230　図版233）

遺構　Ⅳ層上面で黒褐色土層が楕円形に落ち込むのを確認した。覆土は炭化物、黄褐色土ブロックなどを含むⅡ層主体の黒褐色土で、人為的な堆積とみられる。坑底はⅣ層を掘り込んで作られ、凹凸が多い。壁は比較的緩やかに立ち上がる。出土遺物から、縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　１は黒曜石製の石鏃である。

Ｐ736（図230　図版234・235）

遺構　Ⅳ層上面で黒色土層が楕円形に落ち込むのを確認した。覆土は上位にパミスの混じるⅡ層が堆積し、中位に炭化物、パミスが混じる暗褐色土層、下位に黒色土層が堆積する。時期は不明である。

遺物　１は中茶路式の胴部片である。

Ｐ737（図230　図版234・235）

遺構　縄文時代中期の土坑Ｐ671の下位から暗褐色土層が楕円形に落ち込むのを確認した。土層は上位には暗褐色土が堆積し、下位にははにぶい黄褐色土と黒色土が堆積する。出土遺物と遺構の前後関係から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　１は東釧路Ⅳ式相当の胴部片である。

Ｐ738（図231　図版234・235）

遺構　Ⅳ層上面において黒色土層が楕円形に落ち込むことから確認した。覆土は上位にパミスが混じるⅡ層が落ち込み、中位にはⅣ層がブロック状に堆積し、坑底部にはロームブロックを含むⅡ層が堆積する。出土遺物から、縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　１は中茶路式相当の胴部片である。２、３は東釧路Ⅳ式相当の破片で、２は突起のある口縁部片、３は胴下部の破片である。４は安山岩製の石皿である。

Ｐ739（図230　図版235）

遺構　Ⅲ層下位において黒色土層が不整形に落ち込むことから確認した。覆土はパミスが混じるⅡ層主体の黒色土層が坑底部まで堆積し、壁際にⅣ層主体の黄褐色土が堆積する。坑底は概ね平坦で、壁は急激に立ち上がっている。出土遺物から、縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　１は頁岩製のつまみ付きナイフである。２は東釧路Ⅳ式相当の胴部片である。

Ｐ740（図231　図版234）

遺構　Ⅳ層上面において暗褐色土層が楕円形に落ち込むことから確認した。覆土はローム粒が混じる暗褐色土である。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ741（図232　図版235）

遺構　Ⅳ層上面において黒色土層が暗褐色土層と重なり楕円形に落ち込むことから確認した。覆土は上部にⅡ層が少量落ち込み、中位にはロームブロックが混じる暗褐色土層が堆積し、坑底面には黒褐色土層が薄く堆積する。時期は不明であるが、付近で検出される遺構から、縄文時代前期前半のものである可能性がある。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ742（図232　図版236）

遺構　Ⅳ層上面において黒褐色土層が長円形に落ち込むことから確認した。覆土は主にローム粒を含むⅡ層とⅢ層の混土である。坑底面の南東壁際からは蛇紋岩製の石斧１点が出土し、北西側の坑底部中央からは、砥石が１点出土した。検出された遺物から、縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　１は砂岩製の砥石である。２は蛇紋岩製の石斧で、体部は黒色に変色した、使い込まれた石斧である。

Ｐ743（図232　図版236）

遺構　削平を受けたⅣ層面よりⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は上部にⅣ層を多く含む暗褐色土層が落ち込み、下位にⅡ層主体の黒褐色土層が堆積することから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底部の南西側からは被葬者の頭部の痕跡、坑底中央付近には足の痕跡が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、後期後葉の破片１点が出土した。１は東釧路Ⅲ式相当の口縁部片である。

Ｐ744（図233　図版236）

遺構　削平を受けたⅣ層面より黒褐色土層が不整形に落ち込む状況で検出された。覆土は少量のパミスを含む黒褐色土層

が坑底面まで堆積する。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。
遺物　遺物は出土していない。

P745（図233　図版237）
遺構　削平を受けたⅣ層面よりⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は上部にⅣ層主体の褐色土層が落ち込み、下位にⅡ層主体の黒色土層が堆積することから、土色による埋め分けがされたものとみられる。坑底面には厚くベンガラが敷かれていたが、遺体の痕跡は見つけられなかった。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。なお、本遺構の覆土はⅡ層面から掘り込まれたものであることや、近隣に分布する同時期の土坑の遺存する深さの比較から、１号周堤墓の周堤の範囲を推測する材料とした。
遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、前期の破片４点、中期の破片８点などが出土している。

P746（図233　図版237）
遺構　削平を受けたⅣ層面よりパミスが混じる黒色土層が楕円形に落ち込むことから確認した。覆土には全般にⅡ層主体の黒色土が堆積する。坑底は平坦で、壁の立ち上がりは急角度である。遺構の時期は不明である。
遺物　覆土からはフレイク１点が出土した。

P747（図233　図版166・237）
遺構　削平を受けたⅣ層面よりⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは34㎝で、覆土は全般に暗褐色土層の堆積で、埋め戻しの様相を呈する。坑底面は平坦で土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片６点、後期後葉の破片１点が出土した。

P748（図234　図版238）
遺構　削平を受けたⅣ層面よりパミスを含むⅡ層が褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは68㎝で、覆土は最上位にパミスやローム粒を含む黒褐色土層が薄く落ち込み、残りは全般にⅣ層主体の褐色土層が堆積し、埋め戻しの様相を呈する。坑底面西側からはベンガラ層が厚く堆積しているのが検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片７点が出土した。１は堂林式新段階の鉢形土器口縁部片である。

P749（図234　図版238）
遺構　削平を受けたⅣ層面において暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。小判型に落ち込む状況で検出された。遺存する深さは62㎝で、覆土は最上部にわずかにⅡ層が混じるが、主にⅣ層主体の褐色土層で坑底部まで埋まり、坑底面直上に、薄くベンガラ混じりの堆積していた。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片１点が出土した。

P750（図235　図版238・239）
遺構　削平を受けたⅣ層面より黒褐色土層が褐色土層と重なり楕円形に落ち込む状況で確認した。検出面上の黒褐色土層中には土器片のまとまりがみられた。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは40㎝で、覆土は最上部にⅡ層が混じる黒褐色土層が落ち込み、下位は主にⅣ層主体の褐色土層で埋まる。覆土上位からは注口土器１点や深鉢土器が複数出土する破片の間に漆製品の破片が検出された。出土遺物から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　１は漆製品片である。出土時点で破片に砕けた状況で、詳細は不明だが、環状漆塗製品であった可能性がある。色調は朱色である。２は注口土器である。底部は上げ底で、口縁部や胴部に施された沈線文の間には充填縄文が施される。口唇は平らで突起はない。３は胴部に括れをもつ深鉢胴部片である。口縁部と底部の破片はなく、胴部には羽状縄文が施される。４は最も低い位置で出土した深鉢口縁部片である。これらの土器は堂林式の新段階とみられる。

P751（図234　図版239）
遺構　削平を受けたⅣ層面において褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は１号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは72㎝で、覆土はⅣ層にわずかにⅢ層が混じる褐色土層で埋まり、坑底面には遺体の痕跡とみられる黒褐色土層が薄く堆積する。土坑の状況から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代後期前葉の破片１点が出土した。

P752（図236　図版240・241）
遺構　Ⅳ層上面よりパミス混じりのⅡ層がⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層に重なり不整形に落ち込む状況で検出された。覆土は上部に黒色土層、下位にⅣ層を含む黒褐色土層が堆積する。坑底部面は平坦で壁の立ち上がりはゆるやかである。下位の層中から出土した遺物から縄文時代前期の土坑とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代前期の破片７点、後期後葉の破片１点が出土した。１は静内中野式相当の口縁部片である。

Ｐ753（図236　図版240・241）

遺構　Ⅳ層面でローム粒の混じる黒色土層が楕円形に落ち込む状況で検出された。断面から黒褐色土層が堆積する浅い土坑を、小判型の土坑が切る状態で重なっていることが判明した。小判型の土坑は上位にローム粒の混じる黒色土層、下位にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。坑底部の中央付近にはわずかに有機質な層が堆積し、その層中から勾玉状の玉１点が検出された。遺構の状況と出土遺物から、縄文時代中期の土坑を縄文時代後期後葉の墓が切っているものとみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片１点、後期後葉の破片19点が出土した。１は緑泥石岩製の勾玉状の玉で、上部に欠損がある。

Ｐ754（図236　図版240・241）

遺構　１号周堤墓内の撹乱層を掘り抜いている際に、褐色土の落ち込みを確認した。本土坑は周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは42㎝で、覆土は坑底面まで掘削されたⅣ層が堆積し、坑底面付近に黒ずんだ層が薄く堆積する。坑底面北西側からはヒスイ製の小玉が４点検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。

遺物　覆土からは玉類以外の遺物は出土しなかった。１～４はヒスイ製の玉である。径は６～8.8㎜で小さい玉が多く、すべて片側穿孔である。

Ｐ755（図237　図版241）

遺構　削平を受けたⅣ層面において暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。本土坑は直線状に６基並ぶ墓の東側に位置し、覆土は掘削されたⅢ層とⅣ層の混土が堆積する。遺構の状況から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ756（図237　図版241）

遺構　削平を受けたⅣ層面よりⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。本土坑は２号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは70㎝で、覆土は坑底部よりやや上部に黒色土層が薄く堆積するほかは、Ⅲ層とⅣ層の混土である褐色土層で埋まる。坑底面の西側からは被葬者の頭部の痕跡と見られる有機質な高まりが検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、中期の破片１点などが出土している。

Ｐ757（図237　図版242）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、黒褐色土層がおおむね円形に落ち込む状況で確認した。覆土は上位にⅢ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が、下位にはⅢ層がやや多く混じる土層が堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期中期の破片などが出土した。

Ｐ758（図237　図版242）

遺構　１号周堤墓内の撹乱層を掘り抜いている際に、褐色土の落ち込みを確認した。本土坑は周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは51㎝で、覆土は坑底面まで掘削されたⅣ層が堆積する。また、同じ周堤墓内の土坑Ｐ751と接するほど近くに位置する。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期中期の破片１点が出土した。

Ｐ759（図238　図版242・243）

遺構　削平を受けたⅣ層面より、Ⅳ層の褐色土がⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層と重なり、小判型に落ち込む状況で検出された。本土坑は２号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。遺存する深さは47㎝で、覆土は上部にⅣ層の落ち込みが堆積し、そのほかの覆土は、Ⅲ層とⅣ層の混土である暗褐色土層で坑底面まで埋まる。坑底面の中央付近からは副葬品とみられる石斧が刃部を頭位側に向けて出土、また、坑底部西側からは、被葬者の頭部の痕跡と見られる有機質な高まりと人歯が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。

遺物　土坑からは副葬品とみられる石斧１点が出土した。１は泥岩製の石斧で、縁辺には敲打による調整痕がみられ、最後に刃部を付している。

Ｐ760（図239　図版243）

遺構　柏木川に面する斜面際の、削平を受けたⅣ層面でパミス混じりの黒色土が不整形に落ち込む状況で確認した。覆土は上位にパミス混じりのⅡ層が落ち込み、下位にはⅢ層とⅣ層の混土が堆積する。坑底面は平坦で、壁の立ち上がりは緩やかである。出土遺物から縄文時代前期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片36点などが出土した。１～４は縄文時代前期前半の静内中野式に相当する破片である。１は内外面に縄文が施される。４の口縁部片には補修孔が空けられた痕跡がみられる。いずれの破片も胎土に繊維を含む。

Ｐ761（図238　図版243）

遺構　Ⅲ層面において、ローム粒を含むⅡ層が黒褐色土層に重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にローム粒やⅣ層ブロックを含む黒褐色土層が、下位にはⅡ層とⅢ層がやや多く混じる土層が堆積する。Ⅳ層起源の褐色土層は覆土の上位に堆積していることから、土色による埋め分けがなされている可能性がある。遺構の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片２点などが出土した。１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

Ｐ762（図239　図版244）

遺構　Ⅳ層上面において、パミスを含む黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にパミスを含むⅢ層とⅣ層の混土が堆積し、下位にはローム粒ブロックが混じる黒色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代後期後葉以降の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片１点、後期後葉の破片１点が出土した。１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。

Ｐ763（図239　図版244）

遺構　Ⅳ層上面において、黒褐色土層が円形に落ち込む状況で検出された。覆土はローム粒を含むⅡ層とⅢ層の混土が坑底面まで堆積する。出土遺物から縄文時代後期後葉以降の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片４点、後期後葉の破片４点が出土した。１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する鉢形土器の口縁部片である。

Ｐ764（図240　図版244）

遺構　耕作跡の残るⅣ層面で黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土はパミスを含むⅡ層とⅢ層の混土で、ローム粒を含むⅡ層とⅢ層の混土が坑底面まで堆積する。周辺の遺構との特徴の比較から縄文時代後期後葉以降の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片４点、前期の破片４点などが出土した。

Ｐ765（図240　図版245）

遺構　Ⅳ層上面において、黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で検出された。覆土はパミスを含むⅡ層とⅢ層の混土が坑底面まで堆積する。周辺の遺構との特徴の比較から縄文時代後期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは石斧未成品１点が出土した。

Ｐ766（図240　図版245）

遺構　Ⅳ層面で黒色土層が黒褐色土層と重なり小判型に落ち込む状況で検出された。覆土は上位にパミスを含むⅡ層が落ち込み、下位にはⅡ層とⅢ層の混土が堆積する。周辺の遺構との比較から縄文時代後期後葉の土坑と考える。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ767（図240　図版245）

遺構　削平を受けたⅣ層面において暗褐色土層の円形の落ち込みが、直線状に６基並ぶ墓の南端に位置する、縄文時代後期後葉の墓Ｐ581に切られる状況で検出した。覆土は掘削されたⅢ層とⅣ層の混土が坑底面まで堆積する。周辺の遺構との比較から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ768（図241　図版246）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、暗褐色土層の円形の落ち込みが、直線状に６基並ぶ墓の中央に位置する、縄文時代後期後葉の墓Ｐ582とＰ583に南北方向を切られる状況で検出した。覆土は掘削されたⅢ層とⅣ層の混土が坑底面まで堆積する。周辺の遺構との特徴の比較から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ769（図241　図版246）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、暗褐色土層が楕円形に落ち込むことから確認した。本土坑は直線状に６基並ぶ墓の西側に位置する。覆土は掘削されたⅢ層とⅣ層の混土が坑底面まで堆積する。周辺の遺構との特徴の比較から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　覆土からはフレイク１点が出土した。

Ｐ770（図241　図版246・247）

遺構　Ⅲ層下面において、黒色土層が円形に落ち込むことから確認した。土層は上位にⅡ層が落ち込み、下位にローム粒の混じるⅡ層が堆積する円形の土坑が、パミス混じりの黒褐色土層で埋まる小土坑を切る状況であった。坑底面からは炭化物が出土した。遺構の特徴から縄文時代中期の土坑が早期の小土坑を切っているものとみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片３点などが出土した。１は東釧路Ⅳ式相当の胴下部片である。

Ｐ771（図241　図版247）

遺構　耕作痕の残るⅢ層下面において、黒褐色土層が落ち込むことから確認した。本土坑は試掘穴とみられる長方形の穴に切られ、推定円形とみられる平面の半分は失われていた。土層は全般にⅢ層とⅣ層が混じる黒褐色土層が坑底まで堆積する。出土遺物から縄文時代後期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片９点、後期前葉の破片１点、後期後葉の破片２点などが出土した。１は余市式相当の胴部片である。

Ｐ772（図242　図版247）

遺構　耕作痕の残るⅢ層下面において、黒褐色土層が小判型に落ち込むことから確認した。本土坑は試掘穴とみられる長方形の穴に切られ、Ｐ771との前後関係も不明である。覆土は全般にロームブロックを含むⅡ層とⅢ層とが混じる黒褐色

土層が坑底まで堆積する。坑底面の南西側からは被葬者の頭部の痕跡とみられる、有機質な黒色土層がみられ、付近から人歯の痕跡もみつかった。また、調査中は意識していなかったが、覆土から出土した土器片には、壺または注口土器の同一個体片含まれ、復元に至った。おそらく覆土上位に副葬されたものとみられる。出土遺物から本土坑は縄文時代後期後葉の三ツ谷式期の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、中期の破片16点、後期前葉の破片58点などが出土した。１は三ツ谷式期の壺または注口土器で、器面全面にベンガラが塗られた痕跡がのこる。大きいほうの底径は40㎜で、底径18㎜の小さな底と二重の構造に加工される。胴部の張り出しと頚部に沈線による文様が施され、縄文が充填される。また頚部には５ヵ所の円い貼り付けが施されるとみられる。２～４は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する破片で、２は鉢形土器の口縁部片、３は深鉢胴部片、４は鉢形時底部片である。

Ｐ773（図242　図版248）

遺構　縄文時代後期後葉の墓Ｐ414の壁面に断面が現れ確認した土坑である。Ⅲ層下位において、黒褐色土層が円形に落ち込む土坑で、縄文時代後期後葉の墓Ｐ414とＰ775に南北方向を切られる状況で検出した。覆土はパミスを含む黒褐色土層が堆積する。状況から縄文時代前期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片３点が出土した。

Ｐ774（図243　図版248・249）

遺構　Ⅲ層下面において、ローム粒を含む黒色土層が小判型に落ち込むことから確認した。土層は全般にローム粒を含むⅡ層主体の黒色土層で埋まる。坑底面からは遺体の痕跡など発見出来なかったが、遺構の特徴から縄文時後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片１点、中期の破片13点、後期後葉の破片40点などが出土した。１は堂林式新段階から三ツ谷式期の深鉢胴部片で羽状縄文が施される。

Ｐ775（図243　図版248・249）

遺構　Ⅲ層下面において、パミスを含む黒色土層が小判型に落ち込むことから確認した。土層はパミスを含むⅡ層主体の黒色土層で埋まる。坑底面は平坦で立ち上がりは急である。遺構の特徴から縄文時後期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片６点などが出土した。１は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する鉢形土器の口縁部片である。

Ｐ776（図243　図版248・249）

遺構　Ⅲ層下面において、パミスを含む黒褐色土層が円形に落ち込むことから確認した。土層は主にパミスを含むⅡ層主体の黒色土層で埋まる。覆土からは土器片が多く出土した。遺構の特徴から縄文時後期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片３点、中期の破片５点、後期後葉の破片64点などが出土した。１～４は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する破片である。１～３は深鉢口縁部片で、４は壺または注口土器の胴部片である。

Ｐ777（図244　図版249）

遺構　Ⅱ層下位において、縄文時代後期後葉の墓であるＰ449の断面をトレンチ状に調査している際に、同時に発見された土坑がＰ777とＰ782である。付近は撹乱を激しく受け、Ｐ449以外の土坑が見えない状況であった。断面から、Ｐ777はＰ449とＰ782の両方に切られていることがわかった。わずかに残った断面から、覆土はパミスⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が坑底付近まで堆積していたものと推測できる。坑底面の南東側からは櫛が１点出土した。頭位もこの付近であったと考えられる。遺構の特徴から縄文時後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片９点、後期前葉の破片２点、後期中葉の破片１点、後期後葉の破片59点などが出土した。１は透かしのある櫛である。木の根による穴が空いており、詳細は不明であるが、四隅に三角形、中央にはおそらく工字状の透かしを空け、そのまわりに「(　)」形が上下に分かれたような透かしが施されたいたものみられる。色調は朱色で、体部の下位には２ヵ所の瘤が造られる。２は三ツ谷式期に相当する深鉢口縁部片である。３は手稲式に相当する胴部片である。

Ｐ778（図244　図版250）

遺構　耕作痕の残るⅣ層上面において、パミスを含む黒褐色土層が円形に落ち込むことから確認した。土層は主にパミスを含むⅡ層主体の黒褐色土層で埋まる。出土遺物から縄文時後期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片３点、後期後葉の破片３点などが出土した。

Ｐ779（図245　図版250）

遺構　耕作痕の残るⅣ層上面において、パミスを含む黒色土層が黒褐色土層と重なり長円形に落ち込むことから確認した。土層は上位にパミスを含むⅡ層主が落ち込み、下位にⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ780（図245　図版250・251）

遺構　耕作痕の残るⅣ層上面において、パミスを含む黒褐色土層が楕円形に落ち込むことから確認した。土層はパミスを含むⅡ層とⅢ層の混土である。坑底面にはやや起伏があり、

北東側からつまみ付きナイフが１点出土した。出土遺物から縄文時代前期の土坑とみられる。
遺物　１は頁岩製のつまみ付きナイフである。

Ｐ781（図246・247　図版251・252）
遺構　耕作痕の残るⅣ層上面において、パミスを含む黒褐色土層が長円形に落ち込むことから確認した。覆土は主にパミスを含むⅡ層主体の黒褐色土層で、上位は黒色土、下位は黒褐色土で埋まる。坑底面にはベンガラが散布され、坑底部北西側からは櫛が２点と玉類11点、サメの歯19点がまとまって出土した。これらの遺物が集中出土しているまわりは、やや有機質な層が堆積し、人歯の痕跡もみとめられたことから、被葬者の頭部周辺だったとみられる。土坑の特徴から縄文時後期後葉の墓とみられる。
遺物　１、２は透かしのない櫛である。突起部は弧線状に加工され、１は体部の上部に１ヵ所、下部に２ヵ所の瘤が付される。２は体部の上部に１ヵ所の瘤が付される。いずれも破損して出土したため詳細は不明である。色調は朱色である。３～20はサメ歯穿孔品とみられる。19点出土したもののうち１点は破損のため未実測である。すべて全長２ｍ前後のホホジロザメの下顎歯を利用したものである。21～31は玉類ですべて緑泥石岩製である。21は玉類のまとまりから離れて出土した、ネズミの齧り痕がみられる玉である。本遺構付近はⅣ層上面まで削平されており、ネズミが墓遺内に進入したのも上部が削平された以降とみられる。同様にネズミの齧り痕のある玉類が出土した墓にはＰ432、Ｐ503、Ｐ570の３基があるが、いずれも上部が削平されるか、道と重なり墓の上部が露出していた環境にある。27はもっとも大きな垂飾で、縦長の体部には深い刻みが施される。そのほかの玉類には扁平な棗玉状のもの22、29、や棗玉状のもの23、25、丸玉状のもの24、26、28、30などがある。本土坑出土の玉類には側面の最大径部分に稜線を造り出すもの目立つ。

Ｐ782（図245　図版252）
遺構　Ⅱ層下位において、縄文時代後期後葉の墓であるＰ449の断面をトレンチ状に調査している際に、同時に発見された土坑である。付近は撹乱を激しく受け、Ｐ449以外の土坑が見えない状況であった。断面から、Ｐ782は縄文時代後期後葉の墓Ｐ777を切ることがわかった。土坑は柱穴状で坑底面は平坦で直径約40㎝の円形に掘られ、深さは１ｍを超える。覆土は上部にⅡ層とⅣ層の混土である黒色土が堆積し、坑底部にⅡ層のみの黒色土が堆積する。出土遺物から縄文時代後期後葉の単独の柱穴とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代前期の破片２点、中期の破片13点、後期後葉の破片24点などが出土した。１、２は三ツ谷式から御殿山式期相当の深鉢片で、１は胴部、２は上げ底の底部片である。

Ｐ783（図247　図版252）
遺構　耕作痕の残るⅣ層上面において、黒色土層が黒褐色土層と重なり円形に落ち込むのを確認した。土層はパミスを含むⅡ層が上位に堆積し下位にはⅡ層とⅢ層の混土が堆積する。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。
遺物　１は黒曜石製の石鏃である。

Ｐ784（図247　図版253）
遺構　Ⅱ層面においてパミス混じりの黒褐色土層が円形に落ち込むことから確認した。本土坑は縄文時代後期中葉の土坑Ｐ520を切る。覆土はパミスを含むⅡ層層とⅢ層の混土が堆積する。坑底面はⅢ層上面で平坦である。出土遺物から縄文時代後期中葉以降の土坑とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代早期の破片２点、中期の破片２点、後期後葉の破片１点などが出土した。１は東釧路Ⅳ式相当の破片である。

Ｐ785（図248　図版253）
遺構　柏木川に面する斜面際のⅢ層面でパミス混じりの黒褐色土層が円形に落ち込む状況で確認した。覆土は上部にパミスを含むⅡ層、坑底面にはⅡ層とⅢ層の混土である暗褐色土層が堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代後期中葉の破片２点、後期後葉の破片１点などが出土した。

Ｐ786（図248　図版253）
遺構　柏木川に面する斜面際のⅡ層下面でパミス混じりの黒色土層が円形に落ち込む状況で確認した。覆土はパミスを含むⅡ層が坑底まで堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑と考える。
遺物　覆土から縄文時代後期中葉の破片などが出土した。

Ｐ787（図249　図版254・255）
遺構　耕作痕の残るⅣ層上面において、パミスを含む黒色土層が長円形に落ち込む状況で確認した。覆土は全般にⅡ層の黒色土層が堆積する。坑底面の西側からは玉類57点が連なった状況で出土した。被葬者の頭位も付近にあったようで、遺構の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられる。
遺物　覆土からは玉類57点のほか縄文時代後期後葉の破片５点のどが出土した。１～57には玉類である。石材は13、38、42がタルク製で、それ以外は緑泥石岩製である。１、２は扁平な棗玉状であり、連珠とは離れた位置で出土した。首飾りとは別な装飾なのかもしれない。勾玉状の玉は９、12であるが、破損しているが10も勾玉状であったとみられる。表面には先刻がみられる。そのほかは臼玉状、丸玉状の玉が多い。

Ｐ788（図248　図版255）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、暗褐色土層が長円形に落ち込むことから確認した。覆土はローム粒を含むⅢ層が堆積し、坑底面は平坦に掘られる。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ789（図248　図版254）

遺構　削平を受けたⅣ層面のＱ－33の杭の位置において、黒褐色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土はおもにパミスを含むⅡ層とⅢ層の混土が堆積する。出土遺物から縄文時代後期後葉以降の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片２点、前期の破片２点、後期中葉の破片９点などが出土している。１は堂林式から三ツ谷式期の深鉢口縁部片である。

Ｐ790（図250　図版256）

遺構　耕作痕の残るⅣ層面において、黒色土層が暗褐色土層と重なり円形に落ち込むことから確認した。覆土は上位にパミスを含むⅡ層が堆積し、下位はⅡ層とⅢ層の混土が堆積する。縄文時代の遺構とみられるが、決め手となる遺物が出土しなかった。出土遺物から縄文時代後期後葉以降の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、中期の破片１点、後期中葉の破片12点などが出土している。

Ｐ791（図250　図版256）

遺構　柏木川に面する斜面際のⅢ層面でローム粒混じりの黒褐色土層が楕円形に落ち込む状況で確認した。覆土はローム粒を含むⅡ層とⅢ層の混土が堆積する。坑底面はやや傾斜する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期中葉の破片２点などが出土している。

Ｐ792（図250　図版256）

遺構　柏木川に面する斜面際のⅢ層面でローム粒混じりの暗褐色土層が円形に落ち込む状況で確認した。覆土はローム粒を含むⅡ層とⅢ層の混土が堆積する。遺構の特徴から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ793（図251　図版257）

遺構　Ⅲ層面で、黒褐色土層で落ち込むＰ444とＰ793の２基の土坑がＬ字状に重なって検出された。Ｐ444の長軸で断面を設定し、観察したところ、土坑の上部で本土坑がＰ444を切っていのがわかった。また、この時点でＰ793は一部が失われた。覆土は上位にⅡ層・Ⅳ層の混じる黒褐色土層が堆積し、下位にパミスを含むⅡ層が堆積する。坑底部南西側からは人歯の痕跡とサメの歯６点が検出された。土坑の特徴から縄文時代後期後葉の墓とみられ、さらに、隣の墓Ｐ411とＰ716の重複と同様に本土坑はP444上に追葬されたものとみられる。

遺物　１～６はサメ歯穿孔品とみられる。すべてホホジロザメの上顎歯を利用したもの。なかでも最大の４は全長2.5m前後の個体の上顎歯左４～６番目を利用したとみられる。

Ｐ794（図250　図版254）

遺構　Ⅲ層上面で、ローム粒を含む黒色土層が黒褐色土層と重なり円形に落ち込む状況で確認した。覆土は上位にローム粒を含むⅡ層が落ち込み、下位にⅡ層とⅢ層の混土が堆積する。坑底面は平坦である。出土遺物から縄文時代中期の土坑とみられる。

遺物　１は黒曜石製の石鏃である。２は天神山式相当の深鉢の突起片である。

Ｐ795（図251　図版255）

遺構　Ⅲ層上面で、黒色土層が円形に落ち込む状況で確認した。覆土は上位にローム粒を含むⅡ層、下位にⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代前期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、前期の破片５点が出土している。

Ｐ796（図252　図版255）

遺構　削平を受けたⅣ層面において暗褐色土層の長円形の落ち込みが、縄文時代後期後葉の墓Ｐ553に切られる状況で検出された。覆土はパミスを含む黒褐色土層が堆積し、坑底面は平坦である。縄文時代後期後葉以前の土坑であるが、具体的な時期を示す遺物は出土していない。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ797（図252　図版255）

遺構　Ⅲ層上面で、パミスを含む黒色土層が小判型に円形に落ち込む状況で確認した。土坑の一部はⅡ層下位から残る。覆土は上位にⅡ層が堆積し、下位にはⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する、埋め戻しの様相を呈する。土坑の状況から、縄文時代晩期前葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片２点が出土している。１は御殿山式期相当の壷または注口土器の底部の貼り付けが剥離したものである。

Ｐ798（図252　図版256）

遺構　耕作痕の残るⅣ層面において、Ⅱ層とⅣ層の混じる黒褐色土層が長円形に落ち込むことから確認した。覆土にはパミスを含む黒褐色土層が平坦な坑底面まで堆積する。土坑の状況から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片７点などが出土している。１は三ツ谷式から御殿山式期に相当する壷または注口土器の頚部片で、貼り瘤は横に貫通穴が空けられる。

Ｐ799（図252　図版256・257）

遺構　耕作痕の残るⅣ層上面において、検出面は全体に撹乱を受けるが、覆土にベンガラを含む黒褐色土層が小判型に落ち込むことから確認した。土坑は浅く、覆土にはパミス、ベンガラ、炭化物を含むⅡ層が堆積する。坑底面の西側と中央付近にはベンガラ層がブロック状に堆積するのがみられたがその間は撹乱層が底面まで達していた。また、撹乱を受けていない坑底部中央付近からはコハク玉２点が検出された。撹乱層中からはコハク玉２点とコハク玉の破片20点、サメの歯が出土した。土坑の状況から縄文時代後期後葉の墓とみられる。本土坑はＰ412とＰ439の間に位置し、深さ70㎝の差があることから盛土墓であった可能性もある。

遺物　１はサメ歯穿孔品とみられる。ホホジロザメ上顎右の歯を利用したものである。２～５はコハク玉である。このうち坑底面で検出されたものが２の破損した勾玉状の玉と臼玉状の３で、４と５は撹乱層中から出土したものである。これ以外にも複数のコハク玉片が出土しており、その中には棗玉状の玉なども含まれているとみられる。

Ｐ800（図253　図版256）

遺構　耕作痕の残るⅣ層面において、パミスを含む黒褐色土層が小判型に落ち込むことから確認した。覆土は全般にパミスやローム粒を含む黒褐色土層が坑底面まで堆積する。坑底面は平坦で、遺構の状況から縄文時代後期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片６点、中期の破片３点、後期後葉の破片12点などが出土している。１はアルトリ式相当の胴部片である。２は東釧路Ⅳ式相当の口縁部片、３は堂林式新段階から三ツ谷式期に相当する底部片である。

Ｐ801（図253　図版256）

遺構　縄文時代晩期前葉の墓であるＰ432調査後の東側壁面から断面が現れ確認した。覆土は上位にローム粒を含む黒色土層が堆積し、中位にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が、下位には黒褐色土層が堆積する。坑底面は平坦で、中央付近からやや大型の礫が１点検出された。遺構の状況と出土遺物から縄文時代後期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片２点、前期の破片17点、中期の破片２点、後期後葉の破片４点などが出土した。

Ｐ802（図253　図版257）

遺構　削平を受けたⅣ層面において擦文土器の口縁部片や炭化物を含む灰と黒色土の混土層が直径35㎝前後の円形に落ち込むことから確認した。覆土には黄褐色や褐灰色を呈する灰層に擦文土器が混じる状況であった。土坑の状況から完全に削平された擦文時代の竪穴住居址の煙道の竪穴の底のみが残ったものとみられる。

遺物　１は９世紀前半期ほどの擦文土器の口縁部片で、口縁部には横走沈線が施される。２は同時期の胴部片で、外面は縦方向、内面は横方向にハケメの調整痕が付く。

Ｐ803（図254　図版257）

遺構　縄文時代後期末葉の墓であるＰ441の調査後に北側壁面から断面が現れ確認した。覆土は黒色土層と暗褐色土層が互層に堆積する。平面は楕円形とみられ、坑底面は平坦である。遺構の状況から縄文時代前期の土坑とみられる。

遺物　遺物は出土していない。

Ｐ804（図254　図版257）

遺構　縄文時代後期末葉の墓であるＰ434の調査後に南壁面から断面が現れ確認した。覆土は上位にローム粒を含む黒色土層が、中位にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が、下位には黒褐色土層が堆積する。遺構の状況から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　１は黒曜石製の石鏃である。２は東釧路Ⅳ式相当の胴部片である。

Ｐ805（図254　図版258）

遺構　縄文時代晩期前用の墓であるＰ506の調査後に北側壁面から断面が現れ確認した。覆土は全般にローム粒とパミスを含むⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。平面は楕円形とみられ、坑底面は平坦である。遺構の状況から縄文時代前期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは礫が１点出土した。

Ｐ806（図255　図版259）

遺構　耕作痕の残るⅣ層面において、黒色土やパミスを含む黒褐色土層が入り乱れ円形に落ち込むことから確認した。覆土は上位にパミス混じりの黒褐色土層、下位にⅢ層とⅣ層の混土である褐色土層が堆積したものに、後天的に根穴とみられる１の層が入り込んだものとみられる。坑底面は平坦で、坑底部北側からはヒスイ製の玉類２点が出土し、坑底部中央付近からは、石斧が１点出土した。土坑の状況と出土遺物から、縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１はヒスイ製の勾玉状の玉、２は垂珠状で、穿孔は主に片側から空けられ、最後に反対側から調整が加わっている。２の穿孔面とは反対側の穴の周りには敲打痕が残り、側面から穿孔部にかけて緩やかな窪みを施す。３は泥岩製の石斧である。体部にはわずかに敲打による調整痕が残るが、全面を研摩した石斧である。後期後葉のほかの石斧とはやや異なる特徴である。

Ｐ807（図254　図版258）

遺構　耕作痕の残るⅣ層面において、パミス混じりの黒色土層が楕円形に落ち込むことから確認した。覆土はパミスを含むⅡ層とⅢ層の混土である。遺構の状況から縄文時代前期の土坑とみられる。

遺物　覆土からは楔形石器３点が出土した。

Ｐ808（図256　図版258・260）

遺構　耕作痕の残るⅣ層面において、パミス混じりの黒色土層が長円形に落ち込みⅢ層とⅣ層の混土が落ち込むＰ819を切る状況で確認した。出土遺物から縄文時代後期後葉以降の土坑とみられるが、性格は不明である。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片15点などが出土した。１、２は堂林式新段階から三ツ谷式期相当の深鉢口縁部片である。

Ｐ809（図256　図版260）

遺構　耕作痕の残るⅢ層面において、パミス混じりのⅡ層が長円形に落ち込む状況で確認した。覆土は坑底面まで黒色土層が堆積し、坑底面は平坦である。坑底部南西側からは透かしのない櫛１点が検出された。出土遺物から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　１は透かしのない櫛である。突起部は破損するが弧線状に加工され、体部の上部に１ヵ所、下部に２ヵ所の瘤が付される。破損して出土したため詳細は不明であるが、幅は83㎜で色調は朱色である。２は堂林式新段階から三ツ谷式期相当の深鉢口胴部片である。

Ｐ810（図256　図版260）

遺構　縄文時代後期後葉の墓であるＰ474の調査後に南壁面から断面が現れ確認した。覆土は主にⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。平面は小判型とみられ、坑底面は平坦である。遺構の状況から縄文時代早期の土坑とみられる。

遺物　覆土からはフレイク１点が出土した。

Ｐ811（図257　図版261）

遺構　削平を受けたⅣ層面においてパミス混じりの黒褐色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は主にパミスの混じるⅡ層が堆積する。本土坑はＰ761と接する。出土遺物から縄文時代後期後葉以降の土坑とかんがえる。

遺物　覆土からは縄文時代後期後葉の破片１点が出土した。

Ｐ812（図257　図版261）

遺構　縄文時代中期の住居址Ｈ60に切られ、半分が失われている。覆土は上位にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が、下位にはパミス混りのⅡ層が堆積する。平面は小判型だったとみられ、坑底面は平坦である。遺構の状況から縄文時代前期の土坑とみられる。

遺物　覆土からはフレイク１点が出土した。

Ｐ813（図257　図版261）

遺構　耕作痕の残るⅣ層面において、パミス混じりの黒褐色土層が楕円形に落ち込む状況で確認した。覆土は全般にⅡ層とⅣ層の混土が堆積するが、比較的上位にⅣ層が多く混じり、下位はⅡ層が多く混じるようである。遺構の状況から縄文時代後期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片２点、前期の破片１点、中期の破片13点などが出土した。

Ｐ814（図257　図版262・263）

遺構　耕作痕の残るⅣ層面において、パミス混じりの黒褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。覆土は全般にローム粒やパミスを含む、Ⅱ層とⅢ層の混土が堆積するが、比較的上位にⅣ層が多く混じり、下位はⅡ層が多く混じる。遺構の状況から縄文時代後期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代早期の破片３点、前期の破片２点、中期の破片５点などが出土した。１は東釧路Ⅳ式相当の口縁部片。２は萩ヶ岡２式相当の口縁部片である。

Ｐ815（図258　図版262・263）

遺構　耕作痕の残るⅣ層面において、Ⅳ層の暗褐色土層が小判型に落ち込む状況で確認した。覆土は上位にパミスが混じる黒褐色土層が堆積し、下位にはⅢ層とⅣ層の混土が堆積する。坑底部西側から人歯と玉類７点が検出された。遺構の状況から縄文時代後期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは玉類７点が出土した。１～３は管玉状の玉である。石材は緑泥石岩製で、両端から穿孔した棗玉状の玉などの表面を磨いて管玉状までに加工したものである。本遺跡で、管玉状の玉に分類されたものはこの３点のみである。残りの石材は、３が緑色凝灰岩製、４、５がヒスイ製、６が緑泥石岩製である。ヒスイ製の玉は片側穿孔である。

Ｐ816（図258　図版262）

遺構　縄文時代後期後葉の墓であるＰ463の北東壁に断面の一部が現れ、確認したものである。覆土は上位Ⅲ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積し、下位にはⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。平面は小判型だったとみられ、坑底面は丸みがある。遺構の状況と出土遺物から縄文時代後期後葉の土坑とかんがえる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片12点、後期後葉の破片１点などが出土した。

Ｐ817（図259　図版263）

遺構　縄文時代晩期前葉の墓であるＰ428の北壁に断面の一部が現れ、確認したものである。主にⅡ層とⅢ層の混土である黒色土層が覆土は上位堆積し、下位には褐色土層が薄く堆

積する。平面は円形で、坑底面は平坦である。縄文時代の遺構とみられるが、決め手となる遺物が出土しなかった。
遺物　1は唯一の出土遺物である、黒曜石製のつまみ付きナイフである。

P818（図259　図版263）
遺構　Ⅳ層上面において、パミスの混じるⅡ層が円形に落ち込むことから確認した。本土坑は、縄文時代後期後葉の墓であるP412に切られる。覆土は上位にパミスを含む、黒色土層、下位にはⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代早期の土坑とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代早期の破片などが出土した。1は黒曜石製の石錐、2は東釧路Ⅳ式相当の口縁部片である。

P819（図259　図版263）
遺構　耕作痕の残るⅣ層面において、縄文時代後期後葉以降の土坑であるP808に切られる状況で、Ⅲ層とⅣ層の混土が円形に落ち込むのを確認した。覆土はⅡ層とⅣ層が混じる黒褐色土層が堆積し、坑底面は丸みがある。縄文時代後期後葉以前の土坑とみられるが、詳細は不明である。
遺物　遺物は出土していない。

P820（図259　図版263）
遺構　Ⅳ層上面において、パミスの混じる黒褐色土層が楕円形に落ち込むことから確認した。覆土は全般にパミスを含むⅡ層の堆積で、下位には薄く褐色土層が堆積する。自然の落込みである可能性のある土坑である。
遺物　遺物は出土していない。

P821（図260　図版264）
遺構　Ⅲ層下面において、パミスの混じる黒色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は上位にパミスを含むⅡ層が堆積し、下位にはⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積する。坑底面は平坦であるが、自然の落込の可能性がある土坑である。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片1点、後期後葉の破片1点が出土した。

P822（図260　図版264）
遺構　Ⅲ層下面において、パミスの混じる黒褐色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は全般にパミスを含むⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。坑底面は丸く、自然の落込の可能性がある土坑である。
遺物　遺物は出土していない。

P823（図260　図版264）
遺構　Ⅲ層下面において、パミスの混じる黒色土層が不整形に落ち込むことから確認した。覆土は上位にパミスを含むⅡ層、下位にⅢ層とⅣ層の混土である暗褐色土層が堆積する。自然の落込の可能性がある土坑である。
遺物　遺物は出土していない。

P824（図260　図版264）
遺構　Ⅲ層下面において、パミスの混じる黒褐色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は全般にⅡ層とⅢ層との混土である黒褐色土層が堆積し、根穴と見られる黒色土層が重なる。自然の落込の可能性がある土坑である。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片1点、後期後葉の破片4点が出土した。

P825（図261　図版264・265）
遺構　Ⅲ層下面において、パミスの混じる黒色土層が円形に落ち込むことから確認した。検出面からは、すり石が1点出土した。覆土は全般にⅡ層の黒褐色土層が堆積し、坑底面は平坦である。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。
遺物　覆土からはすり石1点が出土した。1は唯一の遺物である安山岩製のすり石である。

P826（図261　図版264）
遺構　削平を受けたⅣ層下面において、パミスの混じる黒褐色土層が楕円形に落ち込むことから確認した。覆土は全般にⅡ層とⅢ層の混土である黒褐色土層が堆積する。縄文時代の遺構とみられるが、決め手となる遺物が出土しなかった。
遺物　覆土からはフレイク1点が出土した。

P827（図261　図版264・265）
遺構　削平を受けたⅣ層下面において、ロームブロックの混じる黒褐色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は全般にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。出土遺物から縄文時代の早期の土坑とした。
遺物　覆土からは縄文時代早期の破片1点が出土した。1は中茶路式相当の胴部片である。

P828（図261　図版265）
遺構　削平を受けたⅣ層下面において、ロームブロックの混じる黒褐色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は全般にⅡ層とⅣ層の混土である黒褐色土層が堆積する。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。
遺物　遺物は出土していない。

P829（図262　図版265）
遺構　耕作痕の残るⅣ層面において、ローム粒の混じる黒色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は全般にⅡ層とⅢ層の混土である黒色土層が堆積する。縄文時代の遺構と

みられるが、決め手となる遺物が出土しなかった。
遺物　遺物は出土していない。

P830（図262　図版265）
遺構　Ⅳ上層面において、ローム粒の混じる黒色土層が円形に落ち込むことから確認した。一部切り損じ、断面の上部が失われるが、覆土は全般にⅡ層とⅣ層の混土である黒色土層が堆積していた。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。
遺物　遺物は出土していない。

P831（図262　図版266）
遺構　柏木川に面する斜面際のⅣ層面でパミス混じりの黒褐色土層と掘り返されたⅣ層がほぼ円形に落ち込む状況で確認した。覆土はローム粒を含むⅡ層とⅣ層ブロックがスジ状に堆積し、埋め戻しの様相を呈する。遺構の状況から縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代早期の破片１点、前期の破片１点などが出土した。

P832（図262　図版265）
遺構　Ⅳ上層面において、パミスの混じる黒褐色土層が楕円形に落ち込むことから確認した。覆土は全般にパミス混じりのⅡ層が堆積する。坑底面は平坦で壁の立ち上がりは急である。出土遺物から縄文時代早期の土坑とかんがえた。
遺物　覆土からは縄文時代早期の破片７点が出土した。

P833（図263　図版265）
遺構　削平を受けたⅣ層面において、ローム粒の混じる黒色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は全般にⅣ層混じりのⅡ層が堆積する。坑底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。縄文時代の遺構とみられるが、時期の決め手となる遺物が出土しなかった。
遺物　遺物は出土していない。

P834（図263　図版266）
遺構　削平を受けたⅣ層面において、パミスの混じる黒色土層が不整形に落ち込むことから確認した。覆土はパミスやローム粒を含むⅡ層が上位に落ち込み、下位にはⅢ層とⅣ層が混じる暗褐色土層が堆積する。坑底面はやや起伏がみられ、壁は緩やかに立ち上がる。坑底面北側からはアルトリ式期の底部片が底を上向きに出土した。遺構の状況から周堤墓を造る際に削平された、縄文時代早期の住居址の痕跡とみられる。なお、20ｍほど南の柏木川に面する斜面下からは、同時期の遺物や土砂を送ったとみられる土器、石器の集中が見つかっている（北埋調報248参照）。
遺物　覆土からは縄文時代早期のアルトリ式相当の破片13点が出土した。１は床面出土の底部片で器面には貝殻条痕文による調整が施される。２は口縁部片である。口縁部には１条の貼付帯が施され、口唇部外側と貼付帯上には貝殻腹縁文による刻みが施される。なお、１と２は別個体と見られる。

P835（図263　図版267）
遺構　削平を受けたⅣ層面で、深い撹乱の穴を掘りぬいている際に、壁面にⅣ層の落ち込みで検出された土坑である。本土坑は２号周堤墓の周堤内にほられた土坑とみられる。検出面は掘り返されたⅣ層で、平面からは存在に気付かなかった。平面は小判型で、覆土は上位に掘り返されたⅣ層の褐色土層が堆積し、下位にはⅡ層とⅣ層の混土が堆積する。遺存する深さは68㎝で、坑底面被葬者の足の痕跡がみつかった。特徴から縄文時代後期後葉の堂林式期の墓とみられる。
遺物　覆土からは縄文時代中期の破片１点が出土している。

３．周堤墓の設定（図264～266　図版267）

土坑の報告中には、１号周堤墓から３号周堤墓まで設定しているが、ここでは、その設定の経緯について記す。最初に設定したのは１号周堤墓である。平成15年度の調査時点で、確認できた土坑については番号を付し、平成16年度の調査時点で新たに見つかった土坑については、最終番号のつづきの番号を付したため、１号周堤墓の周堤内には、Ｐ557からＰ563までの７基、Ｐ747からＰ751までの５基、およびさいごに発見されたＰ754、Ｐ758と番号の離れた14基の墓がある。そもそも当初は周堤墓が存在している意識が無いまま、調査を進めたため周堤墓内の墓にも、通常の土坑番号が付されている。１号周堤墓が位置する地所は、昭和38年に北海道大学の大場利夫らにより擦文時代の竪穴住居２軒の調査がおこなわれた遺跡（当時　西島松南Ｂ遺跡）である。当時は付近に10ヵ所の竪穴の窪みが確認され、そのうちの南端の２軒を調査し、報告（恵庭遺跡1966）されている。当時調査した竪穴住居があったとみられる地点はグリッド番号のｅ～ｉ－65～68といったところである。今回の報告範囲で、当時みられた10軒の竪穴住居跡とみられるものは、Ｈ46（Ｘ－40）とＰ802（Ｕ－42）の２ヵ所だけで、Ｈ46は削平が一部床面まで達し、Ｐ802は、住居址とは言えないところまで削平されていた。土坑は竪穴住居より深く掘られる可能性はあるが、削平はⅣ層の20～30㎝下まで達し、１号周堤墓内の土坑の依存する深さから、削平は東側ほど深いとみられる。１号周堤墓とした土坑群の検出状況は、削平を受けたⅣ層面で暗褐色土層が小判型に落ち込み、上部に黒色土層が重なる９基の比較的小さな土坑が密集した状態であった。調査を始めると、遺存する深さは、60㎝前後のものが多く、周辺の土坑より深さがあることが判明する。これに対し、土坑群の北側にある、石棒や櫛などが出土した大型土坑のＰ553、Ｐ554は、遺存する深さがそれぞれ、11㎝、27㎝と浅い。このことから、土坑の掘込み面が異なることが考えられ、周堤墓が存在していたものと考えた。また、周堤墓内にある土坑の覆土は、Ⅳ層起

源の土層が主なもので、覆土上位に黒色土が落ち込む状況であることも根拠の一つであった。次に、周堤の規模について考える。P553、P554の付近の土坑をさらに比較すると、P745が比較的深い土坑で、その覆土は黒色土に褐色土が重なる状態の、土色による埋め分けがされたものであった。このような土坑は黒色土層面から掘られたものであり、本土坑は周堤の外側に位置するものとみられた。近くの同規模の土坑P556とP591で深さを比較すると、P556、P591、P745はそれぞれ25㎝、43㎝、62㎝であった。位置関係から削平の度合いに差は無いとみられ、深さの差は、掘り込み面が周堤部と重なるかどうかの差だと考えた。周堤内の14基の土坑がすべて入り、P745まで達しない条件で規模を当てはめると、幅約2.5m、内径7.5m、直径12.6mの規模の周堤部が想定できた（図264・265）。1号周堤墓からはP557から出土した小波状の口縁部をもつ小形の深鉢や、P750から出土した胴部最大径が張り出す形状の注口土器や、胴部の括れに広い無紋帯をもつ深鉢などが出土していることから堂林式新段階の周堤墓とみられる。1号周堤墓の西側には、1列に並ぶ6基の土坑が検出された。これらの土坑の覆土には、下位に黒色土層が堆積し、削平されているが覆土上位には、褐色土層が堆積していた痕跡が部分的にあり、周堤の外側に掘られた土坑とみられる。しかし、1列に並ぶのはなぜなのか疑問に思い、周堤墓に挟まれている可能性があるのではと考え、これら6基の土坑より西側に位置するP600、P756、P759、P835に注目した。これら4基の土坑は平均で深さ64㎝が遺存し、その覆土にはⅣ層起源の褐色土層が堆積し、周堤墓内の墓であった可能性はあると考え、2号周堤墓を設定した。周堤内の墓で、P835の覆土上位はきれいにⅣ層で埋められ、上面からは存在に気付かず、調査終了間際に、近くの撹乱の穴を掘っているときに断面に現れ、確認した本遺跡で最後に調査した墓である。近隣には後期後葉とみられる土坑P601があるが、その覆土は上部にⅣ層が多く混じる暗褐色土層、下位にはⅡ層の黒色土が堆積する、黒色土から掘り込まれた土坑であった。そのことを踏まえ周堤の規模を考えると、長径約9m、内径約5mの周堤が想定される。副葬品として出土したものはP759の坑底から出土した石斧が1点だけである。時期は1号周堤墓とほぼ同時期の堂林式の後半期とみられる。これら1、2号周堤墓より古い周堤墓があるとみて設定したのが3号周堤墓である。包含層の遺物では、堂林前半期の遺物がR・S－53・54付近に集中するのが確認され、1号周堤墓より南側にも、堂林式前半期の墓が存在するものとみられた。V－45・46に3基の長円形の土坑が2～2.5mの間隔で並んで検出された。中央に位置するP690からは石棒や漆製品の破片が出土し、最も北側に位置するP691は一部縄文時代晩期後葉の土坑P692に切られる。この3基の土坑が周堤墓だった可能性があると設定したのが3号周堤墓（図266）である。推定される規模は、周堤の内径で約9m、外径で14～15mほどだったと考える。ただ、これらの土坑の覆土は黒色土が比較的多く含まれ、中期の破片が混じっていることなど、黒色土層から掘り込まれた状況がみられることから、3号周堤墓の設定はやや強引だったかもしれない。

4．Tピット（図267～273　図版268・269）

6年間の調査で西島松5遺跡からは合計23基のTピットが検出された。この数の中には、北埋調報178集で擦文時代の土坑されていたP124・142・147・215・216も含まれる。これらの土坑は、長径50㎝ほどの小型のTピットがL字に並ぶ状況で、同市内の西島松18遺跡（「西島松17遺跡・西島松18遺跡」恵庭市教育委員会1992）やユカンボシE7（北埋調報132)・E11遺跡（「ユカンボシE11遺跡」2002恵庭市教育委員会）などで報告されている「小形Tピット群」と類似する特徴なので、Tピットとして数えた。これと類似するものとしてP140・141もTピットとして数えている。Tピットの配列は、平成12年度に調査した5基と本報告範囲にあるTP12の6基や段丘の縁に列状に並ぶ状況がみられ、残りは調査区内に散在する（図267参照)。本報告範囲には6基のTピットが存在する。その土層は、いずれも掘られた後に壁面の崩落を繰り返し、最後の窪みに厚くⅡ層が堆積する、自然堆積の土層を呈する。上位の黒色土中には後期後葉の遺物が含まれるが、時期は縄文時代中期とみられる。

5．焼土（図267～273　図版271～277）

本報告範囲では299基の焼土が調査されている。その分布範囲は包含層の残る地域に偏り、縄文時代晩期前葉のMC盛土範囲にあるものは、ほとんどが盛土と同時期の焼土とみられる。また、削平された範囲で検出された焼土には、住居址の炉跡とみられるものが含まれる。焼土には多量の焼骨などを含むものが多いため、その土壌はすべて回収、水洗し、なかから炭化種子、焼骨、その他の遺物を回収している。そのため、通常の包含層調査では回収が難しい、小形の土製品や骨角器などの遺物が出土している。特に直径5㎜前後の土玉は、そのほとんどが土壌水洗から見つかったものである。形状は丸めた粘土に穴を空けたものが多いが、中には平玉状や垂飾状の形のものもみられる。F168からは土偶の肩部分の破片とみられるもが出土している。耳栓や環状土製品は包含層中から大量に出土しており、同様にF294、311、314からも出土した。包含層中のものがたまたま焼土と位置が重なったものとみられる。なお、これらの耳栓を身に付けた同時期の墓は無く、耳栓は埋葬とは別な用途があったとみられる。出土した骨角器は、ほとんどが骨針の破片であるが、F325からユハズ型製品の破片が、また、F312からは骨製垂飾品の破片が出土している。本製品の形状は宮城県沼津貝塚から出土した骨角製の装飾品に類似するものとみられる。F312はMC盛土上の焼土で、付近からは一括性のある土器片も出土している。

6．集石遺構（図267～273　図版269・270）

西島松５遺跡から検出された集石遺構は５ヵ所である。いずれも低位の段丘上のほぼまとまった位置に検出された。周囲から出土した遺物より、時期は縄文時代中期のものとみられる。集石１から出土している礫は、材料として持ち込まれたものとみられる。石材は泥岩や頁岩が多く、たたき石として利用されているものも含まれる。集石２、３は皿状に窪ませた場所に安山岩製の礫や石皿片を集めたものである。集石２は他の集石よりやや離れて検出された。集石３、４は礫や礫石器の破片がまとまって出土した状況である。これは集石２、３のようにまとまった状況のものから、礫が抜き取られるか、あるいは、散らされた状況のものとみられる。

7．小ピット（図310～361・370・371　図版281～283）

本報告範囲では1,257ヵ所の小ピットが検出されている。その分布範囲は調査区の東側、柏木川に面する台地の縁からやや離れた位置に多くみられる。柱穴状のものや小土坑がみられるが、分布する範囲は縄文時代の住居址の分布と重なり、関係する遺構ともみられる。検出された小ピットで配列が確認されたものは、図361に示したＳＰ3527～3532、3770の７基が並ぶ１ヵ所だけである。６ヵ所の柱穴が100～120㎝間隔で並び、そこから約280㎝離れた位置に１ヵ所の柱穴が位置するもので、図示しなかったが、離れた１ヵ所の柱穴との間には、Ⅳ層面が焼けたＦ459がある。この焼土と柱穴は住居址の痕跡とみられる。この配列は、１号周堤墓の位置と重なっており、縄文時代後期後葉にはすでに竪穴は削平されていたとみられる。目立った遺物が検出された小ピットには摩り切り痕のある石斧未成品が刺さった状態で１点出土したＳＰ3350、堂林式から三ツ谷式期相当の鉢が復元されたＳＰ3353などがある。

8．キウス５遺跡出土の漆塗櫛（図372　図版283）

ここに掲載する遺物は平成８年度に調査した千歳市キウス５遺跡Ａ地区から出土した漆塗櫛である。出土地点は斜面下のＶ－３層（縄文時代後期後葉の面）で、その層中の泥炭層の溜まりで、多量の流木とともに出土したものである。流木以外ほとんど遺物が検出されない中、唯一出土した土器片が図372の下部に示した、壷または注口土器の底部片である。土器片はすでに報告済み（北埋調報125）だが、この破片から、流木溜の時期も御殿山式期相当と判明し、同層中から出土した透かしのある櫛も同時期のものとみられる。残念ながら出土時点で破損してしまったため、修復に時間を要し、報告に間に合わなかったものである。中央に楕円形の透かしを空け、その左右に３ヵ所の三角形の透かしを施した櫛である。色調はにぶい朱色で、体部上位に１ヵ所、下位に２ヵ所の瘤が造られる。櫛歯は10本で、幅80㎜である。櫛歯の先端まで残るものとみられたが、破損のため接合出来なかった。

9．西島松３遺跡追加の遺構（図373～376　図版267）

西島松３遺跡の平成15年度までの調査区からは土坑14基、Ｔピット２基、焼土24ヵ所、小ピット19ヵ所を検出し、報告済（北埋調報248号）ではあるが、平成19年度の調査中、当該地に遺物水洗場所を設置する際に、撹乱土層の下から新たに土坑が検出された。急ぎ周辺の撹乱土層を掘りぬいたところ、全部で土坑４基、Ｔピット１基が検出された。これらを合わせた遺構数は土坑18基、Ｔピット３基、焼土24ヵ所、小ピット19ヵ所となった（表記）。新たに見つかった５基の遺構は本報告書に掲載した。また、新たに見つかった遺構出土の遺物や、縄文時代前期前半の漆塗繊維製品４点も含め、計42,395点が出土した。

西島松３遺跡遺構数

	遺構番号	欠番	合計
土坑	１号～18号	—	18基
Ｔピット	１号～３号	—	３基
焼土	１号～24号	—	24ヵ所
小ピット	１号～19号	—	19カ所

Ｐ15（図375　図版281）

遺構　撹乱層を取り除いたⅣ層面において、パミスの混じる黒色土層が楕円形に落ち込むことから確認した。検出面には土器片が集中しているのがみとめられた。覆土は全般にⅡ層主体の黒色土層が堆積する。覆土上位の土器は接合し壷形の土器が復元された。出土遺物から西島松５遺跡のＰ692と同時期の縄文時代晩期後葉の土坑とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代晩期後葉の破片60点などが出土している。１は縄文時代後期後葉の壷形に近い器形の深鉢である。底部にはわずかに縄文が施され、器面は櫛歯状工具による細い条痕文が施された後、沈線文と刺突による文様が付される。器面にはベンガラが塗付される。

Ｐ16（図375　図版281）

遺構　撹乱層を取り除いたⅣ層面において、黒色土層にロームブロックが混じり、長円形に落ち込むことから確認した。覆土は、砕かれたⅣ層にⅡ層が混じるもので、埋め戻しの様相を呈する。検出面から、土坑の南東端には、黒色土層で埋まる小ピットが重なることを確認した。この小ピットが遺構に伴うものかは不明である。出土遺物から縄文時代晩期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土からは縄文時代前期の破片２点、中期の破片３点、後期後葉の破片７点、晩期後葉の破片５点などが出土している。

Ｐ17（図376　図版282）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、ロームブロックの混じる黒色土層がＴＰ３を切り、小判型に落ち込むことから確認

した。覆土は上位にⅡ層が多く混じり、下位は砕かれたⅣ層がブロック状に堆積する、埋め戻しの様相を呈するものであった。坑底面は平らで、Ｔピットより30㎝深い。また、坑底面は検出面よりやや広がり、断面はフラスコ状である。Ｔピットが埋まってから掘られることや形状から、縄文時代晩期後葉の墓とみられる。ただし、切られているＴＰ３の深さは本来１ｍ近くあったと考えられ、これが埋まったのちに掘られたものとたら。深さ130㎝以上の柱穴状の土坑であったことになる。あるいは周堤墓のように、掘り下げた面から掘り込んだものか、近現代の土坑の可能性もあるかもしれない。

遺物　覆土からは縄文時代中期の破片３点などが出土した。

Ｐ18（図376　図版282）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、ロームブロックの混じる黒色土層が円形に落ち込むことから確認した。覆土は上位と下位にⅡ層が多く混じり、中位に砕かれたⅣ層がブロック状に堆積する埋め戻しの様相を呈する。土坑の特徴から縄文時代晩期後葉の墓とみられる。

遺物　覆土から縄文時代前期の破片１点などが出土した。

ＴＰ３（図376　図版282・283）

遺構　削平を受けたⅣ層面において、ロームブロックの混じる黒色土層がＰ17に切られ、細長く落ち込むことから確認した。遺存する深さは48㎝で、重なる土坑Ｐ17より浅い。覆土は通常のＴピット下位の状況に類似するもので、坑底付近は黒色土が堆積し、あとは崩落した壁面のⅣ層やⅡ層が混じる堆積である。長軸は約４ｍあり、深さは１ｍ以上あったとみられる。縄文時代中期の遺構とみられる。

遺物　覆土からは礫やフレイクが出土した。

10. 考察（図377～379）

ここでは縄文時代後期後葉から晩期前葉にかけての墓域の変遷について若干の考察を加える。図377は副葬された土器をまとめたものである。代表的な出土土器をまとめたもので、出土遺物のすべては掲載していない。本遺跡では、包含層からも大量の土器が出土しているが、まとまって出土する例はほとんど無いことからも、覆土の上部から一括で出土し、復元された土器は副葬品と考えられる。なお、本遺跡は南側ほど深く削平されているため、周堤墓を除いて上部の副葬品が残っていた墓は、検出された墓の中でも北側に偏って分布している。図378には、副葬された土器を時期別に分けたものである。最も古いものは、すべて１号周堤墓から検出された。鉢の口縁部は小波状で、沈線化した入組文が施され、底部は丸く窪ませ小さいことから堂林式期新段階に相当するものである。次いで三ツ谷式期に相当する土器がＰ411、445、455、497、772から出土している。図では深鉢を載せていない。このうち、隣り合うＰ455、772から出土した注口土器（壷形土器）は、太い頚部をもち、底部が２重に加工されるなど特徴が類似しており、時期も近いものとみられる。Ｐ411、445から出土した土器は器面に爪形文や、棒状工具による爪形文風な施文が施され、底部は上げ底である。Ｐ497から出土した深鉢にも爪形文や三叉文がみられ、のちの御殿山式にみられる文様の特徴が現れることから、三ツ谷式期のなかでも新段階に相当するものとみられる。なお、本時期の墓からは、透かしのある櫛と無い櫛が混じって出土する傾向がみられた。御殿山式期の土器はＰ398、399、431、510、513から出土している。注口土器の頚部には貼付帯が施され、文様には三叉文が施される。Ｐ431は底部に乳房状突起が施され、そのほかの土器の底部は上げ底である。鉢には爪形文ではなく２条の沈線の間に刻みが施される。本時期の墓からは透かしのある櫛のみが出土している。縄文時代晩期前葉の大洞Ｂ１式併行の土器はＰ395、432、433、462、506、508から出土している。Ｐ506の注口土器には玉抱き三叉紋が施される。図示していないがＰ433の注口土器は丸底の底部である。Ｐ508の注口土器には乳房状の突起を有するが、Ｐ395の注口土器と同様に、胴部の張り出しが胴部中央より下位にあり、底部が緩やかな角度で立ち上がることなど、のちの大洞Ｂ１式にみられる新しい要素が見られる。また、Ｐ395、432、508からは多数の個体が副葬され、その器種にはミニチュア土器やキャリパー形の口縁部をもつ鉢が含まれている特徴がみられる。Ｐ432はもっとも新しい土器のセットとみられ、その中にもキャリパー形の鉢が出土しているが、内面の括れは無く、口縁部が内反する鉢になる。以上の土器の時期区分から考察した墓の変遷を示したのが図379である。最も古い段階は堂林式期の３号周堤墓としたもので、そこから堂林式新段階の１、２号の周堤墓と周堤上の墓に移る。次に三ツ谷式期に相当する墓域が周堤墓周辺の墓から15ｍほどはなれたＯ～Ｒ－33～36に分布する。この地域の墓は削平を激しく受けており、副葬された土器は出土していない。墓域は東西方向に広がりがあることから２つの墓域が近接しているものとみられる。その後、三ツ谷式の新段階の範囲と御殿山式期の西側の墓域に別れ、それぞれ墓域の外郭北側に後の大洞Ｂ１式併行の墓や御殿山式期の墓が造られる。東西に離れた墓域の中央には、ＭＣ盛土と大洞Ｂ１式併行の土坑群が造られてゆく。

１、２号周堤墓には、規模に大小があるが、墓域の規模はそのまま続いてゆくものとみられる。三ツ谷式新段階の墓域の外郭には御殿山式期の墓がみられることから、西側にある御殿山式期の墓域は時期的にやや遅れて造られたものとみられる。本遺跡で周堤墓が造られるのは堂林式新段階までで、それ以降の墓は、縄文時代前期や中期の住居址と重なっていることや、墓の覆土の状況から周堤は無いとみられる。しかし、三ツ谷式期以降の墓には、各時期とも墓域に中心域があり、新しい墓はその周辺に造られてゆく傾向がみられるが、これは周堤墓において新しい墓が周堤上やまわりに造られる状況と類似する。

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(1)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P337	図２－１	8	T－16	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	4.20	3.31	1.29	16.27	
	図２－２	8	T－16	覆土	5	Ⅱａ	2	深鉢（口）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図２－３	8	T－16	覆土	5	Ⅱａ	1	深鉢（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図２－４	8	T－16	覆土下	5	Ⅱａ	59	尖底土器（完）	静内中野式相当	31.9	33.6	(尖底)	－	一括土器
P341	図３－１	8	S－16	覆土	5	Ⅲａ	1	深鉢（胴）	円筒上層式相当	－	－	－	－	
	図３－２	9	S－16	覆土	3	礫石器	1	北海道式石冠	砂岩	7.20	13.40	6.59	909.0	
P342	図４－１	8	S－16	覆土	5	Ⅱａ	1	深鉢（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P343	図４－１	8	Q－16	覆土１	5	Ⅲｂ	1	深鉢（口）	－	－	－	－	－	
	図４－２	8		覆土１	5	Ⅲｂ	2	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	
P347	図５－１	11	P－18	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	3.00	3.98	0.28	4.99	
	図５－２	11	P－18	覆土	5	Ⅴｂ	1	鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	
				MC層			1							
	図５－３	11	P－18	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図５－４	11	P－18	覆土	5	Ⅴｂ	1	深鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	
				Ⅰ層			1							
P348	図５－１	11	O－16	覆土	5	Ⅵ	1	深鉢（口）	後北C$_2$D	－	－	－	－	
				Ⅰ層			1							
P349	図６－１	11	O－18	覆土	5	Ⅳｃ～Ⅴａ	1	深鉢（口）	御殿山式～大洞式相当	－	－	－	－	
				Ⅰ・MC層			2							
			P－18	ⅡB・MC層			5							
			P－17	ⅡB層			1							
			Q－19	Ⅰ層			1							
	図６－２	11	O－18	覆土	5	Ⅴｂ	1	鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	
P351	図６－１	11	P－17	覆土	5	Ⅲ	1	深鉢（口）	天神山式相当	－	－	－	－	
P352	図７－１	12	M－19	覆土	5	Ⅳｃ	7	深鉢（口）	御殿山式相当	17.5	－	－	－	
			F188	－			3							
			K－20	Ⅰ・MC層			2							
			L－18	Ⅱ層			1							
			L－19	Ⅰ・Ⅱ層			10							
			M－18	Ⅱ層			1							
			M－19	Ⅰ・ⅡB MC層			26							
	図７－２	12	M－19	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	御殿山式相当	33.0	－	－	－	
			M－18	Ⅰ・Ⅱ層			3							
			M－19	Ⅰ・ⅡB層			11							
			M－21	MC層			1							
	図７－３	12	M－19	Ⅱ層	5	Ⅳｃ	3	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	同一個体
	図７－４	12	M－19	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（胴）		－	－	－	－	
			F198	－			1							
			O－17	ⅡB層			2							
			P－22	MC層			1							
	図７－５	12	L－22	Ⅰ層	5	Ⅳｃ	1	深鉢（胴）		－	－	－	－	
			M－22	ⅡB層			1							
	図７－６	12	M－19	覆土	5	Ⅳｃ	1	浅鉢（口～底）	御殿山式相当	－	－	－	－	
				ⅡB層			7							
	図７－７	12	M－19	覆土	5	Ⅵ	3	深鉢（底）	後北C$_2$D	－	－	9.7	－	
			P353				1							
			M－19	ⅡB層			5							
			N－18	Ⅰ層			2							
P353	図８－１	12	M－19	覆土	3	剥片	1	石槍	obs	5.91	2.80	1.03	9.34	
	図８－２	12	M－19	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	御殿山式相当	11.8	－	－	－	
			L－19	Ⅱ層			1							
	図８－３	12	M－19	覆土	5	Ⅳｃ	2	鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
				ⅡB層			1							
	図８－４	12	M－19	覆土	5	Ⅳｃ	5	浅鉢（口）	御殿山式相当	13.8	－	－	－	
				MC層			2							
P354	図８－１	13	N－18.19	覆土	5	Ⅰｂ－４	7	深鉢（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
	図８－２	13	N－18.19	覆土	5	Ⅳｃ	3	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
			N－19	MC層			4							

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(2)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P355	図９－１	13	Q－20	覆土 Ⅰ・Ⅱ層	5	Ⅳc	1 2	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	同一個体
	図９－２	13	Q－20	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（胴）		－	－	－	－	
	図９－３	13	Q－20	－	5	Ⅳc	1	ミニチュア（底）	御殿山式相当	－	－	2.5	－	
P357	図９－１	15	Q－20	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	1.80	0.90	0.14	0.19	
P358	図９－１	15	R－20	覆土 覆土２	5	Ⅲb	1 1	深鉢（胴）	天神山式相当	－	－	－	－	
P359	図10－１	15	L－19	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	5.22	4.70	1.83	41.16	
	図10－２	15	L－19	覆土	5	Ⅴb	4	浅鉢（胴）	晩期中葉	－	－	－	－	同一個体
	図10－３	15	L－19	覆土	5	Ⅴb	3	深鉢（底）		－	－	－	－	
P361	図10－１	15	P－21	覆土	5	Ⅲb	1	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
P363	図11－１	15	P－21	覆土	5	Ⅲa	1	深鉢（口）	－	－	－	－	－	
P369	図12－１	17	Q－23	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図12－２	17	Q－23	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図12－３	17	Q－23	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
P371	図13－１	17	O－23	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.35	1.25	0.51	0.92	
	図13－２	17	O－23	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
P373	図13－１	17	M－19.20	覆土	5	Ⅲ	2	深鉢（胴）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図13－２	17	M－19.20	覆土	5	Ⅲ	10	深鉢（底）	萩ヶ岡２式相当	－	－	15.4	－	
P376	図14－１	17	N－23	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.00	1.50	0.36	0.79	
	図14－２	17	N－23	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.21	1.40	0.31	0.72	
	図14－３	17	N－23	覆土 Ⅱ層	5	Ⅳc	2 3	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図14－４	17	N－23	覆土	5	Ⅴa	1	深鉢（口）	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
	図14－５	17	N－23	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図14－６	17	N－23 N－22	覆土 Ⅰ層	5	Ⅳc	1 1	ツボ・注口（胴）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図14－７	17	N－23	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（底）	御殿山式相当	－	－	4.0	－	
P377	図15－１	19	R－26	覆土	5	Ⅳc	3	深鉢（口）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図15－２	19	R－26	覆土	5	Ⅳc	3	深鉢（口）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図15－３	19	R－26	覆土	5	Ⅳc	3	鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	同一個体
	図15－４	19	R－26	覆土	5		9	鉢（胴）		－	－	－	－	
	図15－５	18	R－26	覆土	5	Ⅳc	11	深鉢（胴）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図15－６	19	R－26	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	obs	5.48	1.98	0.74	6.66	
P378	図15－１	17	M－23	覆土	5	Ⅳc	3	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
P379	図16－１	19	O－24	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図16－２	19	P－24 P－25	MC層	5	Ⅳc	4 1	ツボ・注口（口）	三ツ谷式相当	6.0	－	－	－	同一個体
	図16－３	19	O－24	覆土 MC層	5	Ⅳc	1 2	ツボ・注口（胴）		－	－	－	－	
P380	図16－１	19	N－23	覆土 MC層	5	Ⅳc	1 2	深鉢（口）	御殿山式相当	16.2	－	－	－	
	図16－２	19	N－23 N－22 N－24	覆土 ⅡB層	5	Ⅳc	2 3 1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図16－３	19	N－23 K－22	覆土 Ⅱ層	5	Ⅴa	1 1	鉢（口）	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
	図16－４	19	N－23 N－24	覆土 ⅡB層	5	Ⅴa	1 1	深鉢（口）	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
	図16－５	19	N－23	覆土 MC層	5	Ⅴa	1 1	深鉢（口）	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
	図16－６	19	N－23	覆土	5	Ⅴa	1	深鉢（口）	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
	図16－７	19	N－23	覆土	5	Ⅴa	1	深鉢（口）	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
	図16－８	19	N－23	覆土 MC層	5	Ⅴa	1 1	鉢（口）	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
	図16－９	18	N－23	覆土 MC層	5	Ⅳc	2 3	ツボ・注口（頚部）	御殿山式相当	－	－	－	－	
P383	図17－１	19	L－21	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.18	1.93	0.37	0.63	
	図17－２	19	L－21	覆土	3	剥片	1	石錐	頁岩	3.09	2.71	0.69	4.23	
	図17－３	19	L－21	覆土	6	土製品	1	土製垂飾	－	(2.50)	(2.75)	0.75	2.54	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(3)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P383	図17－４	19	L－21	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
				Ⅰ・MC層			2							
	図17－５	19	L－21	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図17－６	19	L－21	覆土	5	Va	1	ツボ・注口（口）	大洞B式相当	11.0	－	－	－	
	図17－７	18	L－21	覆土	5	Va	1	ツボ（完）	大洞B式相当	11.7	17.1	6.9	－	
				Ⅰ・ⅡB MC層			43							
			M－21	Ⅰ層			1							
	図17－８	19	L－21	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（底）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	底部穿孔
	図17－９	19	L－21	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（底）	御殿山～大洞B式相当	－	－	7.2	－	
				Ⅰ・ⅡB MC層			4							
P384	図17－１	21	L－21	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.40	1.50	0.26	0.59	
	図17－２	21	L－21	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.23	1.20	0.33	0.53	
	図17－３	21	L－21	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.20	1.50	0.42	0.82	
	図17－４	21	L－21	覆土	5	Va	1	浅鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
P385	図18－１	21	M－25	覆土	5	Ⅵ	2	深鉢（口）	赤穴式相当	－	－	－	－	同一個体
	図18－２	21	L－25	Ⅰ層	5	Ⅵ	2	深鉢（胴）		－	－	－	－	
			M－25				2							
	図18－３	21	M－25	覆土	5	Ⅵ	3	深鉢（胴）		－	－	－	－	
				ⅡB層			1							
	図18－４	21	M－25	覆土	5	Ⅵ	1	深鉢（底）		－	－	－	－	
P386	図18－１	21	K－23	坑底部	4	玉	1	－	緑色凝灰岩	5.0	3.5	2.4	0.04	フローテーション　割れ
	図18－２	21	K－23	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図18－３	21	K－23	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図18－４	21	K－23	覆土	5	Ⅳc	2	鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図18－５	21	K－23	覆土	5	Ⅵ	1	深鉢（口）	後北C_2D	－	－	－	－	
P387	図18－１	21	K－21	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図18－２	21	K－21	覆土	5	Vc	1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図18－３	21	K－21	覆土	5	Vc	1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
				ⅡB層			1							
	図18－４	21	K－21	覆土	5	Vc	1	浅鉢（底）	大洞B式相当	－	－	－	－	
P389	図21－１	22	J．K－20 (点取り)	覆土	5	Ⅱa	28	尖底土器（口～胴）	静内中野式相当	42.6	35.4	－	－	
	図21－２	22	J．K－20 (点取り)	覆土	5	Ⅱa	56	尖底土器（口～胴）	静内中野式相当	39.5	23.4	－	－	
	図22－３	22	K－20 (点取り)	覆土	5	Ⅱa	1	尖底土器（口）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図22－４	22	K－20 (点取り)	覆土	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図22－５	22	K－20	覆土	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
				(点取り)			9							
	図22－６	22	K－20	覆土	5	Ⅱa	2	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
				(点取り)			1							
	図22－７	23	K－20	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	28.10	12.00	8.80	3460	
	図22－８	22	J．K－20	覆土	3	礫石器	1	石皿	安山岩	(26.70)	(35.30)	(8.30)	10.9kg	
	図23－９	22	J．K－20	覆土	3	礫石器	56	石皿	安山岩	48.8	34.6	10.6	15.1kg	
			一括４	－			(5)							北埋調報194集 報告済　一括4.4－7.4－11
P390	図19－１	23	K－22	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.00	1.20	0.44	0.76	
	図19－２	23	K－22	覆土	5	Ⅳc	4	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	同一個体
	図19－３	23	K－22	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）		－	－	－	－	
			K－20	MC層			1							
			K－22	Ⅱ層			1							
	図19－４	23	K－22	覆土	5	Ⅳc	1	注口（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図19－５	23	K－22	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（胴）	御殿山式相当	－	－	－	－	
P394	図24－１	24	S－22	覆土	3	礫石器	1	凹み石	泥岩	(12.40)	(6.90)	(3.20)	(306)	
P395	図26－１	26	S－26	覆土 (点取り)	5	Va	16	注口	大洞B式相当	9.7	(20.3)	－	－	
				覆土上			6							
				覆土２層			57							
				Ⅱ層			1							

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(4)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P395	図26－2	26	S－26	覆土(点取り)	5	Va	1	ツボ	大洞B式相当	9.7	(14.8)	－	－	
				覆土２層			10							
				Ⅱ層			43							
	図26－3	26	S－26	覆土１層	5	Va	25	キャリパー	大洞B式相当	8.5	8.7	6.0	－	
				覆土２層			2							
				覆土			1							
				上			1							
	図26－4	26	S－26	覆土	5	Va	40	キャリパー	大洞B式相当	9.3	10.2	5.0	－	
				Ⅱ層			1							
	図26－5	26	S－26	覆土上	5	Va	5	深鉢	大洞B式相当	15.5	12.0	－	－	
				Ⅱ層			19							
	図26－6	26	S－26	覆土１層	5	Va	23	深鉢	大洞B式相当	15.9	12.7	－	－	
				Ⅱ層			6							
				ⅡB層			1							
	図26－7	27	S－26	覆土(点取り)	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	6.6	7.2	3.1	－	
	図26－8	27	S－26	覆土(点取り)	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	5.6	7.7	2.8	－	
				覆土上			2							
	図26－9	27	S－26	覆土	5	Va	5	ミニチュア	大洞B式相当	5.6	8.3	2.9	－	
	図26－10	27	S－26	覆土(点取り)	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	5.7	7.5	2.7	－	
	図26－11	27	S－26	覆土(点取り)	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	6.2	7.6	3.2	－	
				覆土			5							
				覆土２層			3							
				Ⅱ層			2							
	図26－12	27	S－26	覆土(点取り)	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	3.8	5.6	3.4	－	
	図26－13	27	S－26	覆土	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	4.0	(5.0)	－	－	
	図26－14	27	S－26	覆土	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	(4.6)	5.9	(3.6)	－	
	図26－15	27	S－26	－	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	－	3.8	3.6	－	
	図26－16	27	S－26	覆土	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	－	2.2	3.3	－	
				Ⅱ層			1							
	図26－17	27	S－26	覆土	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	－	1.6	2.9	－	
	図26－18	27	S－26	覆土１	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	－	1.3	2.7	－	
	図26－19	27	S－26	覆土	5	Va	1	ミニチュア	大洞B式相当	－	1.5	2.3	－	
	図26－20	27	S－26	覆土	5	Va	3	ミニチュア	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図26－21	25	S－26	覆土１	5	Va	6	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
				Ⅱ層			1							
	図26－22	25	S－26	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	L上1 or 2	2.40	1.10	0.50	0.17	
	図26－23	25	S－26	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	L４～５	1.40	1.10	0.45	0.10	
	図26－24	25	S－26	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	R４～５	1.40	0.95	0.33	0.08	
	図26－25	25	S－26	坑底部	4	石製品	1	E－1	ツノ貝化石	19.0	10.0	9.0	0.86	割れ　穿孔しようとした
	図26－26	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	12.5	12.4	16.5	2.45	破片３
	図26－27	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.6	8.5	6.1	0.68	
	図26－28	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.1	7.9	5.1	0.43	
	図26－29	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.9	3.0	0.15	
	図26－30	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.2	3.1	0.13	
	図26－31	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.3	5.6	0.55	
	図26－32	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.0	7.1	4.5	0.36	
	図26－33	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－7	ヒスイ	8.4	8.2	5.6	0.46	
	図26－34	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	7.9	4.5	0.39	
	図26－35	25	S－26	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	8.3	6.9	3.9	0.24	割れ
	図26－36	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.7	5.2	0.36	
	図26－37	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.4	4.4	0.23	
	図26－38	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	9.2	4.4	0.53	フローテーション
	図26－39	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.5	3.6	0.30	フローテーション
	図26－40	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.3	6.0	4.0	0.20	フローテーション
	図26－41	25	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	7.7	5.3	0.47	フローテーション
	図26－42	25	S－26	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	(2.3)	(1.45)	(0.45)	0.85	
	図26－43	25	S－26	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	8.3	4.35	1.5	56.80	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(5)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位)	土器形式	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	－	備考
								(玉類)／器種	石材	長径(cm)	短径(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	
								(石器・石製品)／器種	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(土製品)／名称	－					
								(骨角器)／種名	部位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(漆・他)／名称	－					
P397	図24－１	23	R．S－28	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
P398	図29－１	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.9	8.2	4.7	0.51	
	図29－２	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.6	9.4	5.0	0.67	
	図29－３	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.3	8.3	3.4	0.40	
	図29－４	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.8	9.3	6.4	0.90	
	図29－５	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.0	7.8	4.5	0.49	
	図29－６	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.2	8.1	3.5	0.39	
	図29－７	31	R－28	坑底部	4	玉	1	C－２	コハク	(15.0)	10.0	6.7	0.42	割れ　破片２
	図29－８	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.5	9.2	4.5	0.62	
	図29－９	31	R－28	坑底部	4	玉	1	C－２ｂ	緑泥石岩	24.0	15.5	8.5	2.70	割れ　２個接合
	図29－10	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.9	7.9	4.1	0.42	
	図29－11	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.7	9.5	5.3	0.73	
	図29－12	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	10.9	9.6	6.6	1.05	
	図29－13	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	10.9	10.1	7.2	1.09	
	図29－14	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.9	8.5	7.4	0.67	
	図29－15	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.8	7.7	3.7	0.40	
	図29－16	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.6	7.5	4.3	0.40	
	図29－17	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.9	7.8	3.7	0.36	
	図29－18	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.9	7.6	4.8	0.47	
	図29－19	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	コハク	9.3	9.3	7.1	0.33	剥片
	図29－20	31	R－28	坑底部	4	玉	1	C－２ｂ	緑泥石岩	19.0	10.5	5.5	1.07	
	図29－21	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－３	コハク	10.9	10.1	12.6	0.74	破片３
	図29－22	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.3	8.1	3.9	0.39	
	図29－23	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.4	7.2	2.3	0.18	
	図29－24	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.9	7.5	4.3	0.34	
	図29－25	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.6	7.6	4.6	0.42	
	図29－26	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.1	7.7	4.1	0.37	
	図29－27	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.6	7.3	3.8	0.32	
	図29－28	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.4	7.9	4.2	0.45	
	図29－29	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	凝灰岩	10.0	9.4	4.6	0.69	
	図29－30	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	10.0	9.7	5.0	0.69	
	図29－31	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.1	9.0	4.5	0.50	
	図29－32	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.0	8.6	3.7	0.41	
	図29－33	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－２	緑泥石岩	10.0	9.5	5.6	0.65	
	図29－34	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.5	9.3	4.9	0.51	割れ
	図29－35	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	10.1	9.7	4.4	0.61	
	図29－36	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	凝灰岩	9.4	9.3	4.3	0.55	
	図29－37	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－２	緑泥石岩	9.6	9.4	5.0	0.74	
	図29－38	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	凝灰岩	9.9	9.7	5.3	0.71	
	図29－39	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－３	緑泥石岩	10.7	9.9	11.7	1.79	
	図29－40	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－２	緑泥石岩	11.7	10.6	7.4	1.29	
	図29－41	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	10.0	9.6	6.0	0.66	
	図29－42	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.9	8.6	3.7	0.45	
	図29－43	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.1	8.1	3.6	0.35	
	図29－44	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.6	8.1	4.1	0.41	
	図29－45	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.4	8.8	4.4	0.52	
	図29－46	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.4	8.7	4.4	0.51	
	図29－47	31	R－28	坑底部	4	玉	1	B－１	緑泥石岩	9.4	7.7	3.6	0.41	破片２接合
	図29－48	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.6	9.1	5.1	0.61	
	図29－49	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.0	8.3	2.9	0.30	
	図29－50	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.5	8.7	4.2	0.49	
	図29－51	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－２	緑泥石岩	9.3	8.9	5.3	0.57	
	図29－52	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.8	9.2	3.8	0.56	
	図29－53	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.7	9.2	3.6	0.56	
	図29－54	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	10.8	9.7	4.6	0.59	
	図29－55	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	11.3	10.8	6.4	1.11	破片５接合
	図29－56	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	11.7	10.5	7.1	1.27	
	図29－57	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	12.4	11.1	9.4	1.80	
	図29－58	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－３	緑泥石岩	11.1	10.6	12.0	1.49	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(6)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P398	図29－59	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.6	11.0	7.2	1.50	
	図29－60	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.7	3.9	0.48	
	図29－61	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.0	9.3	4.2	0.56	
	図29－62	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.3	3.1	0.34	
	図29－63	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	8.4	4.8	0.46	
	図29－64	31	R－28	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	9.9	－	4.7	0.28	割れ
	図29－65	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.0	3.1	0.24	
	図29－66	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	ロジン岩？	10.5	9.5	4.3	0.70	
	図29－67	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	8.8	5.4	0.62	
	図29－68	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	9.6	3.9	0.53	
	図29－69	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.3	4.7	0.68	
	図29－70	31	R－28	坑底部	4	玉	1	B－1	緑色凝灰岩	8.5	7.1	5.5	0.33	
	図29－71	31	R－28	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	21.0	13.0	5.4	1.49	
	図29－72	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.6	5.5	0.62	
	図29－73	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	13.1	12.9	7.4	1.80	
	図29－74	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.4	9.6	5.7	0.84	
	図29－75	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.1	4.2	0.20	
	図29－76	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.9	2.7	0.18	(裏面全て欠損)
	図29－77	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	7.2	2.2	0.16	
	図29－78	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	14.7	14.3	8.1	2.57	
	図29－79	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑色凝灰岩	8.7	8.3	5.8	0.30	
	図29－80	31	R－28	坑底部	4	玉	1	C－1ｂ	緑泥石岩	9.1	9.0	3.5	0.27	割れ
	図29－81	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.1	5.0	2.8	0.09	
	図29－82	31	R－28	坑底部	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	14.0	8.1	4.5	0.65	
	図29－83	31	R－28	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	(16.0)	5.9	4.9	0.55	割れ
	図29－84	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.3	6.2	2.7	0.15	
	図29－85	31	R－28	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	25.0	12.5	6.5	1.94	
	図29－86	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.8	6.4	4.5	0.25	破片３接合
	図29－87	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.2	8.6	6.5	0.63	破片３接合
	図29－88	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.3	9.9	5.9	0.82	
	図29－89	31	R－28	坑底部	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	12.5	7.5	5.6	0.70	
	図29－90	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	5.7	5.7	3.4	0.16	
	図29－91	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.0	6.2	4.7	0.26	
	図29－92	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	8.1	6.6	0.51	
	図29－93	31	R－28	坑底部	4	石製品	1	E－1	ツノ貝化石	19.5	7.0	12.5	0.35	割れ　自然ツノ貝化石
	図29－94	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.5	3.5	0.34	
	図29－95	31	R－28	坑底部	4	石製品	1	E－1	ツノ貝化石	12.0	11.0	1.0	1.13	割れ　加工ツノ貝化石
	図29－96	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.6	5.0	0.68	
	図29－97	31	R－28	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	16.2	11.0	3.9	0.75	
	図29－98	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	8.9	4.3	0.55	
	図29－99	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.4	10.0	5.1	0.84	
	図29－100	31	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.4	6.4	5.5	0.28	
	図29－101	31	R－28	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	15.8	9.0	4.2	0.63	
	図30－102	32	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗椀	－	58.0	97.0	23.0	11.33	
	図30－103	31	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図30－104	32	R－28	覆土 (点取り)	5	Ⅳc	4 6	鉢	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図30－105	32	R－28	覆土	5	Ⅳc	32	注口（完）	御殿山式相当	6.7	14.3	5.2	－	
	図30－106	31	R－28	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図30－107	31	R－28	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図30－108	31	R－28	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.39	1.60	0.28	0.77	
	図30－109	31	R－28	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	3.34	1.52	0.50	3.05	
	図30－110	31	R－28	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	2.00	3.25	0.46	2.37	
	図30－111	30	R－28	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	13.5	5.2	2.75	271.1	
	図28－112	－	R－28	坑底部	3	玉	1	－	コハク	－	－	－	0.09	未実測　割れ　破片９
	図28－113	－	R－28	坑底部	3	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	－	0.21	未実測　割れ12点
P399	図33－１	34	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗椀	－	68.5	90.0	11.0	13.27	
	図33－２	34	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗椀片	－	39.5	45.5	－	－	椀片？
	図33－３	33	R－28	覆土中	1	漆	1	漆塗椀片	－	60.0	86.5	－	－	椀片？

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(7)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P399	図33－4	34	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	59.5	87.5	－	－	(4)
	図33－5	34	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	57.0	89.0	－	－	(5)
	図33－6	34	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛片	－	28.5	26.5	－	－	(6)
	図33－7	34	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	57.5	81.0	－	－	(7)
	図33－8	34	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛片	－	42.0	55.5	－	－	(8)
	図33－9	34	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	61.0	83.5	－	－	
	図34－10	34	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛片	－	23.5	21.0	4.5	0.55	
	図34－11	34	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛片	－	16.5	13.0	5.5	0.27	櫛片？
	図34－12	35	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	67.0	22.0	－	－	
	図34－13	35	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図34－14	35	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図34－15	35	R－28	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	－	11	－	－	腕輪片？
	図34－16	35	R－28	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	45.0	21.5/13.5	－	－	腕輪片？
	図34－17	35	R－28	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	29.5	－	－	－	
	図34－18	35	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	45.5	17.0	－	－	
	図34－19	35	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	28.0	17.0	－	－	
	図34－20	34	R－28	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	77	－	－	－	腕輪片？
	図34－21	35	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図34－22	36	R－28	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	16.0	8.5	4.0	0.49	
	図34－23	36	R－28	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	15.0	9.5	4.0	0.51	
	図34－24	36	R－28	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	17.0	11.0	5.0	0.81	
	図34－25	36	R－28	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	14.0	8.5	3.5	0.38	
	図34－26	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑色凝灰岩	12.5	12.0	9.0	1.35	
	図34－27	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑色凝灰岩	10.7	10.2	7.1	0.77	
	図34－28	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑色凝灰岩	10.8	10.4	6.5	0.66	
	図34－29	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑色凝灰岩	10.2	9.9	7.9	0.77	
	図34－30	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑色凝灰岩	10.4	8.9	7.9	0.80	
	図34－31	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑色凝灰岩	10.0	9.2	6.7	0.64	
	図34－32	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑色凝灰岩	9.3	8.9	6.4	0.49	
	図34－33	36	R－28	坑底部	4	玉	1	B－1	緑色凝灰岩	11.1	9.4	6.7	0.76	
	図34－34	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑色凝灰岩	9.9	9.2	6.5	0.55	
	図34－35	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑色凝灰岩	9.5	9.1	4.8	0.36	
	図34－36	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.7	5.5	0.60	
	図34－37	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.5	5.4	0.59	
	図34－38	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.5	5.1	0.54	
	図34－39	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	8.4	4.8	0.53	
	図34－40	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	9.0	6.4	0.72	
	図34－41	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	8.7	5.3	0.57	
	図34－42	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.9	8.6	5.7	0.64	
	図34－43	36	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.1	5.9	3.7	0.18	
	図34－44	36	R－28	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.15	1.82	0.40	1.55	
	図34－45	36	R－28	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	6.26	6.22	1.36	45.36	
	図35－46	36	R－28	覆土 (点取り)	5	Ⅳc	5 28	注口	御殿山式相当	8.6	5.3	15.7	－	
	図35－47	36	R－28	覆土 (点取り)	5	Ⅳc	15 6	深鉢	御殿山式相当	13.2	14.9	6.0	－	
	図35－48	36	R－28	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図35－49	36	R－28	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図35－50	36	R－28	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	同一個体
	図35－51	36	R－28	覆土 (点取り)	5	Ⅳc	3 10	深鉢（胴）		－	－	－	－	
	図35－52	36	R－28	覆土	5	Ⅳc		深鉢（底）	堂林～御殿山式相当	－	－	8.6	－	
P400	図36－1	37	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	57.0	82.5	－	－	
	図36－2	37	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	78.5	77.0	－	－	
	図36－3	37	R－28	覆土	3	剥片	1	石錐	頁岩	3.71	1.98	0.56	1.62	
	図36－4	37	R－28	覆土	3	剥片	1	石錐	obs	4.40	1.71	0.70	4.62	
	図36－5	37	R－28	覆土	3	剥片	1	石槍ナイフ	obs	4.70	2.10	0.70	5.96	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－1　土坑掲載遺物一覧(8)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P400	図36－6	37	R－28	覆土上面	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図36－7	37	R－28	覆土上面 覆土	5	Ⅳc	1 2	鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図36－8	37	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	－	－	－	－	
P401	図38－1	39	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	70.0	99.5	－	－	
	図38－2	39	R－29	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－		24.0	9.0		
		39	R－29							104.0	29.5	11.5	5.24	
		39	R－29							59.5	27.5	6.5	0.87	
		39	R－29							62.5	23.0	4.5	0.88	
		39	R－29							103.0	28.5	－	－	
	図38－3	39	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛片	－	－	－	－	－	
	図38－4	39	R－28	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	53.5	－	－	－	製品（腕輪？）
	図38－5	39	R－28	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図38－6	39	R－29	坑底部	4	玉	1	C－3b	緑泥石岩	43.6	17.0	23.5	23.39	
	図38－7	39	R－28	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	16.0	15.1	31.3	10.65	漆から外した物
	図38－8	39	R－29	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	10.1	9.3	11.6	1.37	
	図38－9	39	R－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.3	10.2	4.8	0.68	腕輪の下から出土
	図38－10	39	R－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.3	7.0	3.7	0.24	腕輪の下から出土
	図38－11	39	R－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.0	6.7	3.6	0.14	腕輪の下から出土
	図38－12	39	R－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.0	6.7	4.2	0.19	
	図38－13	39	R－29	坑底近く	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	2.78	1.60	0.44	1.71	フローテーション
	図38－14	39	R－29	覆土	5	Ⅳc	3	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
P402	図39－1	40	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	19.0	14.0	13.0	0.22	
	図39－2	40	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	20.0	17.0	10.0	0.68	
	図39－3	40	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	18.0	18.5	10.0	0.26	
	図39－4	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	17.5	17.5	－	－	
	図39－5	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	19.5	14.5	－	－	
	図39－6	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	18.0	21.0	－	－	
	図39－7	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	21.0	(14.0)	－	－	
	図39－8	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	19.0	15.5	－	－	
	図39－9	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図39－10	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図39－11	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図39－12	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図39－13	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	22.5	16.0	－	－	
	図39－14	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図39－15	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図39－16	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	20.0	17.0	－	－	
	図39－17	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	21.5	16.5	－	－	
	図39－18	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図39－19	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	25.0	16.5	－	－	
	図39－20	41	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図39－21	40	R－29	坑底部	4	玉	1	C－3	緑泥石岩	19.0	14.1	12.8	3.76	
	図39－22	40	R－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.0	10.2	8.0	1.25	
	図39－23	40	R－29	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.0	9.0	6.6	0.76	
	図39－24	40	R－29	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	8.5	6.6	4.9	0.37	
	図39－25	40	R－29	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.52	1.40	0.36	0.95	
	図39－26	40	R－29	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図39－27	40	R－29	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図39－28	40	R－29	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P403	図40－1	42	S－28	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	34.0	29.0	－	－	
	図40－2	42	S－28	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	66.5	29.5	－	－	漆製品？
	図40－3	42	S－28	坑底部	2	骨角器	1	銛頭	－	1.1	0.65	0.45	0.27	
	図40－4	42	S－28	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	1.80	1.55	0.34	0.73	
	図40－5	42	S－28	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	珪岩	4.61	3.38	1.01	17.26	
	図40－6	42	S－28	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	珪岩	6.00	3.40	1.20	28.28	
	図40－7	42	S－28	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	7.10	7.00	9.00	55	
	図40－8	42	S－28	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図40－9	42	S－28	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－1　土坑掲載遺物一覧(9)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P403	図40－10	42	S－28	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図40－11	42	S－28	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P404	図42－1	44	P－34	坑底部	1	漆	1	漆塗椀	－	57.0	93.5	14.0	10.76	
	図42－2	44	P－34	覆土中	1	漆	1	環状漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図42－3	43	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R３～５	1.50	1.80	0.42	0.14	
	図42－4	43	P－34	坑底部	4	玉類	1	D－3	緑泥石岩	53.5	33.0	6.0	8.90	
	図42－5	43	P－34	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	31.0	20.0	13.0	10.42	
	図42－6	43	P－34	坑底部	4	玉	1	C－2b	緑泥石岩	34.0	19.5	10.5	6.66	
	図42－7	43	P－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.2	10.1	9.9	1.63	
	図42－8	43	P－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.6	10.0	9.2	1.50	
	図42－9	44	P－34	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	9.8	3.9	1.75	105.15	
	図42－10	44	P－34	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	6.35	3.4	1.35	38.56	
	図42－11	43	P－34	覆土	5	Ⅳc	1	注口（胴）	堂林式相当	－	－	－	－	
P405	図42－1	44	P－35	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	
	図42－2	44	P－35	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	
P406	図44－1	46	P－35	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	(3.1)	1.4	0.45	1.23	
	図44－2	46	P－35	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.2	(1.75)	0.45	1.35	
	図44－3	46	P－35	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.45	(1.5)	0.35	1.04	
	図44－4	46	P－35	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.45	(1.3)	0.35	0.99	
	図44－5	46	P－35	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.6	1.5	0.4	1.61	
	図44－6	46	P－35	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.9	1.8	0.45	1.57	
	図44－7	46	P－35	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	(3.65)	1.8	0.5	1.95	
	図44－8	46	P－35	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	(2.0)	1.3	0.3	0.70	
	図44－9	46	P－35	覆土	3	剥片	1	石錐	頁岩	4.55	2.5	0.5/0.2	2.31	
	図44－10	46	P－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	4.1	2.4	0.9	8.39	
	図44－11	46	P－35	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	obs	4.8	3.1	0.6	6.45	
	図44－12	46	P－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	(4.3)	(2.2)	(0.7)	7.74	
	図44－13	46	P－35	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	7.4	4.6	1.5	39.21	
	図44－14	46	P－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	7.4	4.15	1.5	27.35	
	図44－15	46	P－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	5.8	2.9	1.0	15.13	
	図44－16	46	P－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	4.5	3.6	1.0	13.28	
	図44－17	46	P－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	3.0	4.6	0.9	9.51	
	図44－18	46	P－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	2.5	4.2	0.8	7.67	
	図44－19	46	P－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	3.0	4.7	0.9	9.14	
	図44－20	46	P－35	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	obs	4.25	3.6	1.05	8.21	
	図44－21	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク	obs	4.60	2.80	0.90	8.06	
	図44－22	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク	obs	5.40	2.40	0.70	7.13	
	図44－23	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク	obs	5.45	2.90	0.90	10.09	
	図44－24	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク（スクレイパー）	obs	4.40	2.75	1.00	8.28	アスファルトより外れたもの
	図44－25	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク	obs	3.45	3.30	0.90	7.80	
	図44－26	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク	obs	3.35	4.65	0.85	10.55	
	図44－27	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク	obs	4.00	4.40	0.95	14.70	
	図45－28	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	4.80	3.65	1.10	14.22	
	図45－29	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク	obs	5.15	3.30	1.20	16.65	
	図45－30	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク	obs	4.20	4.70	1.00	20.98	
	図45－31	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク（スクレイパー）	obs	4.10	6.05	1.10	16.65	
	図45－32	46	P－35	覆土	3	剥片	1	フレイク	obs	4.50	4.95	1.00	18.40	
	図45－33	45	P－35	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	9.0	4.1	1.45	65.95	
	図45－34	45	P－35	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	10.23	4.25	1.65	91.62	
	図45－35	45	P－35	覆土	7	その他	－	アスファルト	－	－	－	－	102.52	5点接合
	図45－36	46	P－35	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	
P407	図46－1	47	Q－35	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	
P408	図46－1	47	R－37	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	6.83	1.90	0.95	10.78	
P409	図46－1	47	S－37	覆土（点取り）	5	Vb	14	浅鉢	晩期中葉	23.0	10.0	12.0	－	底部拓本
	図46－2	47	S－37	覆土	5	Vb	1	浅鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	
	図46－3	47	S－37	覆土	5	Vb	1	鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	
	図46－4	47	S－37	覆土	5	Vb	1	鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(10)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P410	図47－１	46	O－32	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	4.40	1.70	0.56	2.36	
	図47－２	46	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図47－３	46	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図47－４	46	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図47－５	46	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（頚部）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	同一個体
	図47－６	46	O－32	覆土上面	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）		－	－	－	－	
P411	図48－１	50	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.5	9.6	6.6	1.12	
	図48－２	50	O－31	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.9	8.8	4.9	0.59	
	図48－３	50	O－31	坑底部	4	玉類	1	D－3	緑泥石岩	52.0	31.5	4.0	6.98	
	図48－４	50	O－31	坑底部	4	玉類	1	D－3	緑泥石岩	40.0	27.5	6.0	5.01	
	図48－５	50	O－31	坑底部	4	玉	1	B－3	緑泥石岩	32.3	18.3	53.6	52.29	
	図48－６	50	O－31	覆土	3	剥片石器	1	石鏃	obs	2.95	1.54	0.31	0.97	
	図48－７	49	O－31	覆土(点取り) 検出面	5	Ⅳc	11 5	ツボ	三ツ谷式相当	7.2	－	－	－	
	図48－８	49	O－31	(点取り)	5	Ⅳc	10	ツボ	三ツ谷式相当	6.5	17.7	5.2	－	内面ベンガラ付着
	図48－９	50	O－31	覆土(点取り) 覆土	5	Ⅳc	37 5	ツボ	三ツ谷式相当	2.5	13.3	4.0	－	保留
	図48－10	50	O－31	覆土(点取り)	5	Ⅳc	23	ツボ	三ツ谷式相当	－	10.3	－	－	ベンガラ付着
	図48－11	50	O－31	(点取り)	5	Ⅳc	18	ツボ	三ツ谷式相当	－	(6.1)	2.8	－	ベンガラ付着
	図48－12	50	O－31	(点取り) 覆土	5	Ⅳc	5 1	ツボ	三ツ谷式相当	4.8	－	－	－	
	図48－13	50	O－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図48－14	50	O－31	壙底面	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図48－15	50	O－31		5	Ⅳc	3	鉢（口）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	ベンガラ付着
	図50－16	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	11.8	5.2	3.8	377.5	
	図50－17	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	14.2	7.8	4.5	652.7	
	図50－18	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	19.0	8.5	7.9	1602.3	
	図50－19	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	16.4	4.8	4.6	469.0	
	図50－20	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	17.0	7.3	4.5	732.2	石皿？
	図50－21	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	16.2	6.7	4.9	912.2	すり石？
	図50－22	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	14.7	6.2	4.9	640.4	
	図50－23	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	16.8	9.0	6.5	1284.7	
	図50－24	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	14.8	8.0	5.5	925.3	
	図50－25	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	18.0	9.5	3.8	911.8	
	図50－26	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	12.9	6.8	6.5	783.2	
	図50－27	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	13.9	10.0	6.5	1279.7	
	図50－28	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	(8.0)	(6.0)	(2.5)	153.0	
	図50－29	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	11.8	9.0	8.2	1100.9	
	図50－30	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	12.0	8.0	7.5	1052.6	
	図50－31	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	10.2	6.4	4.8	398.4	
	図50－32	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	12.5	6.5	5.3	705.0	
	図50－33	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	14.6	7.8	4.1	774.7	
	図50－34	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	11.8	10.2	5.2	799.0	
	図50－35	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	13.1	6.6	4.9	567.7	
	図50－36	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	12.1	9.5	8.2	1375.8	
	図50－37	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	12.8	7.1	4.5	569.2	
	図50－38	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	14.9	7.8	5.9	913.2	
	図50－39	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	15.3	9.8	9.8	2190.0	石皿？
	図50－40	－	O－31	覆土	3	礫石器	1	礫	安山岩	11.6	8.6	6.4	763.1	
P412	図53－１	52	O－31	坑底部	1	漆	1	髪針？	－	59.0	6.5	－	－	
	図53－２	52	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L 1 or 2	1.90	1.50	0.33	0.18	
	図53－３	52	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.70	1.35	0.22	0.11	
	図53－４	52	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	(オオメジロザメ)	上顎L	1.60	1.60	0.30	0.08	個体差の可能性もあるが、歯根の風化の状況からオオメジロザメの可能性がある
	図53－５	52	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.40	1.30	0.25	0.06	
	図53－６	52	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.15	0.85	0.28	0.05	
	図53－７	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	タルク化蛇紋岩	15.2	14.7	9.8	3.02	
	図53－８	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－4	タルク化蛇紋岩	12.6	12.6	11.7	1.98	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(11)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P412	図53－9	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	タルク化蛇紋岩	13.2	12.9	9.5	2.24	
	図53－10	52	O－31	坑底部	4	玉	1	C－2	タルク化蛇紋岩	16.0	11.8	5.0	1.25	
	図53－11	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	タルク化蛇紋岩	10.8	10.6	7.4	1.08	
	図53－12	52	O－31	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	10.4	8.3	5.4	0.78	
	図53－13	52	O－31	坑底部	4	玉	1	B－2	タルク化蛇紋岩	11.9	9.9	15.0	2.78	
	図53－14	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	タルク化蛇紋岩	14.4	13.4	10.3	2.32	
	図53－15	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.7	10.9	9.8	1.77	
	図53－16	52	O－31	坑底部	4	玉	1	B－2	タルク化蛇紋岩	13.2	10.9	16.4	2.88	
	図53－17	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	タルク化蛇紋岩	14.0	13.0	8.7	2.05	
	図53－18	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク化蛇紋岩	11.6	11.5	9.5	1.30	
	図53－19	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク化蛇紋岩	11.4	11.0	9.2	1.52	
	図53－20	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.3	11.0	8.6	1.70	
	図53－21	52	O－31	坑底部	4	玉	1	B－3	タルク化蛇紋岩	17.7	13.2	27.1	9.64	
	図53－22	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－4	タルク化蛇紋岩	13.4	13.1	11.2	2.08	
	図53－23	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	13.1	13.0	8.7	1.81	
	図53－24	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	13.9	13.7	7.6	2.10	
	図53－25	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク化蛇紋岩	12.8	12.3	8.6	1.35	
	図53－26	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.2	11.8	10.1	2.22	
	図53－27	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.4	11.1	8.7	1.55	
	図53－28	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	タルク化蛇紋岩	14.3	14.2	9.2	2.50	
	図53－29	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	タルク化蛇紋岩	13.8	12.9	6.1	1.69	
	図53－30	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.0	9.0	7.5	0.89	
	図53－31	52	O－31	坑底部	4	玉	1	B－2	タルク化蛇紋岩	10.2	8.0	14.8	1.53	
	図53－32	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク化蛇紋岩	13.2	12.4	7.7	1.43	
	図53－33	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	タルク化蛇紋岩	13.2	12.5	7.4	1.57	
	図53－34	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク化蛇紋岩	11.1	10.8	7.7	1.33	
	図53－35	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク化蛇紋岩	13.4	13.2	10.2	2.12	
	図53－36	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.6	12.1	7.9	1.50	
	図53－37	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク化蛇紋岩	11.6	11.1	5.7	0.91	
	図53－38	52	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク化蛇紋岩	12.1	11.8	8.0	1.27	
	図53－39	52	O－31	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	16.6	10.6	18.7	4.94	
	図53－40	52	O－31	覆土上面	3	礫石器	1	石斧	泥岩	15.9	5.0	3.0	349.7	壙底面にベンガラ
	図53－41	52	O－31	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	12.5	4.9	2.3	222.7	
	図53－42	52	O－31	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	13.7	5.0	2.0	207.7	
	図53－43	53	O－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図53－44	53	O－31 P411	覆土 －	5	Ⅳc	1 1	ツボ・注口（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P413	図47－1	53	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	
	図47－2	53	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（頚）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	ベンガラ付着
P414	図47－1	55	P－27	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.15	1.39	0.31	0.57	3点中1点
	図47－2	55	P－27	覆土	5	Ⅳc～Va	1	鉢（口）	御殿山～大洞式相当	－	－	－	－	
	図47－3	55	P－27 P－26	覆土 MC層	5 5	Ⅳc	1 1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図47－4	55	P－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図47－5	55	P－27	覆土	5	Va	1	片口（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図47－6	55	P－27	覆土	5	Va	3	浅鉢（口～底）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図47－7	55	P－27	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（底）	堂林～御殿山式相当	－	－	2.8	－	
P415	図54－1	55	P－26	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図54－2	55	P－26	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	貫通孔
	図54－3	55	P－26	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
P416	図55－1	55	O－26	覆土	6	土製品	1	環状土製品	（スリット有）	(2.2)	(3.2)	1.7	6.44	ベンガラ付着
	図55－2	55	O－26	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図55－3	55	O－26	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図55－4	55	O－26	覆土 Ⅰ・ⅡB層	5	Ⅳc	9 4	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図55－5	55	O－26	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図55－6	55	O－26	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図55－7	55	O－26	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(12)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P416	図55－8	55	P－22	MC層	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図55－9	55	P－22	Ⅰ層	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）		－	－	－	－	
	図55－10	55	O－26	覆土	5	Ⅳc	4	深鉢（胴）		－	－	－	－	11.12と同一個体
				Ⅰ・ⅡB・MC層			4							
			P－25	Ⅰ層			1							
	図55－11	55	H20	覆土9	5	Ⅳc	2	深鉢（胴）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	8.9.10と同一個体
			N－25	MC層			1							
			O－25	MC層			1							
			P－24	MC層			1							
	図55－12	55	O－26	覆土	5	Ⅳc	4	片口（胴）	御殿山式相当	－	－	－	－	
				ⅡB層			2							
	図55－13	55	O－26	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（底）	堂林～御殿山式相当	－	－	5.4	－	
P417	図54－1	55	O－26	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	1.67	1.40	0.31	0.49	
	図54－2	55	O－26	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P418	図54－1	57	P－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図54－2	57	P－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
P419	図56－1	57	N－27	覆土（点取り）	5	Ⅵ	44	深鉢	後北C2D	20.6	19.7	8.0	－	
	図56－2	57	N－27	覆土	5	Ⅵ	2	注口	後北C2D	－	－	－	－	同一個体
				ⅡB			1							
	図56－3		N－27	覆土	5	Ⅵ	3	注口胴部		－	－	－	－	
				（点取り）			1							
P421	図57－1	57	P－27	覆土	5	Ⅳc～Va	2	深鉢（口）	御殿山～大洞式相当	－	－	－	－	
	図57－2	57	P－27	覆土	5	Ⅳc～Va	2	深鉢（口）	御殿山～大洞式相当	－	－	－	－	
P422	図57－1	58	P－27	覆土	3	剥片	1	楔形石器	obs	2.50	2.30	0.77	4.27	2点中1点
	図57－2	58	P－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～大洞式相当	－	－	－	－	
	図57－3	58	P－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	
				MC層			1							
	図57－4	58	P－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	
	図57－5	58	P－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図57－6	58	P－27	覆土	5	Va	1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図57－7	58	P－27	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	堂林～大洞式相当	－	－	－	－	
	図57－8	58	P－27	覆土	5	Va	2	鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図57－9	58	P－27	覆土	5	Va	2	鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図57－10	58	P－27	覆土	5	Va	1	鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図57－11	58	P－27	覆土	5	Va	2	鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図57－12	58	P－27	覆土	5	Va	1	ツボ・注口（頚）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図57－13	58	P－27	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
P423	図58－1	58	P－27	覆土	5	Ⅲ	5	深鉢（胴）	萩ヶ岡2式相当	－	－	－	－	
P425	図58－1	59	O－26	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～大洞B式相当	－	－	－	－	
P426	図59－1	59	P－26	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山～大洞式相当	－	－	－	－	
				MC層			1							
	図59－2	59	P－26	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山～大洞式相当	－	－	－	－	
				Ⅰ層			1							
	図59－3	59	P－26	覆土	5	Vb	2	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
			P417	覆土			1							
P427	図59－1	59	L－27	覆土（点取り）	5	Ⅵ	3	深鉢（口）	赤穴式相当	－	－	－	－	
	図59－2	59	L－27	覆土	5	Ⅵ	3	深鉢（胴）	後北C2D	－	－	－	－	
P428	図60－1	61	M－32	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.40	1.10	0.30	0.56	
	図60－2	60	M－32	覆土	5	Ⅳc	8	鉢	御殿山～大洞B式相当	13.2	10.4	5.4	－	
				Ⅱ層			4							
			P486	覆土			7							
			M－32	覆土上			2							
	図60－3	61	M－32	覆土	5	Va	1	鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図60－4	61	M－32	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図60－5	61	M－32	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図60－6	61	M－32	覆土	5	Va	4	ツボ・注口（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図60－7	61	M－32	覆土	5	Va	4	ツボ・注口（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図60－8	61	M－32	覆土	5	Va	2	ツボ・注口（頚）		－	－	－	－	同一個体
	図60－9	61	M－32	覆土	5	Va	2	ツボ・注口（胴）		－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(13)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P428	図60－10	61	M－32	覆土	5	Ⅴa	2	ツボ・注口（胴）	大洞B式相当	－	－	－	－	
			P429	P429			2							
	図60－11	61	M－32	覆土	5	Ⅴa	4	ツボ・注口（胴）	大洞B式相当	－	－	－	－	同一個体
	図60－12	61	M－32	覆土	5	Ⅴa	5	ツボ・注口（胴）		－	－	－	－	
P429	図59－１	61	M－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図59－２	61	M－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図59－３	61	M－32	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P431	図62－１	62	M－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.75	1.15	0.45	0.11	
	図62－２	62	M－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.30	0.95	0.35	0.07	
	図62－３	62	M－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.30	0.85	0.40	0.07	
	図62－４	63	M－30	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	10.10	10.60	2.65	295	
	図62－５	63	M－30		5	Ⅳc	3	注口	御殿山式相当	－	(12.2)	1.2	－	
	図62－６	63	M－30	覆土	5	Ⅳc	33	鉢	御殿山式相当	17.0	11.4	8.0	－	
				Ⅱ層			1							
			M－31	Ⅰ層			2							
	図62－７	63	M－30	覆土	5	Ⅳc	37	鉢	御殿山式相当	17.0	11.4	8.0	－	
	図62－８	63	M－30	覆土	5	Ⅳc	9	深鉢	御殿山式相当	35.9	37.8	9.0	－	
			P432	覆土			6							
				覆土上面			15							
			M－30	Ⅱ・MC層			7							
			M－31	Ⅱ・MC層			114							
			N－31	Ⅱ層			1							
	図62－９	63	M－30	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図62－10	63	M－30	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図62－11	63	M－30		5	Ⅳc	1	ツボ・注口（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図62－12	63	M－30	覆土	5	Ⅳc	1	注口	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図62－13	63	M－30	覆土	5	Ⅳc	3	ツボ・注口（胴）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
P432	図64－１	65	M－30	覆土中	4	玉	1	C－3	蛇紋岩	47.5	17.0	22.0	32.33	ネズミにかじられている
	図64－２	65	M－30	坑底部	4	玉	1	C－2 b	緑泥石岩	32.5	20.0	12.0	10.68	
	図64－３	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	16.3	15.9	12.5	4.47	
	図64－４	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.4	11.4	9.5	1.76	
	図64－５	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.6	4.9	0.21	
	図64－６	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－2	ジャスパー	9.5	9.4	6.9	0.79	
	図64－７	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.4	7.4	0.68	
	図64－８	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	10.6	10.6	12.6	2.18	
	図64－９	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	14.3	13.7	16.2	4.68	
	図64－10	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	14.9	14.6	12.9	3.88	
	図64－11	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.2	11.7	8.5	1.95	
	図64－12	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.7	10.5	7.5	1.26	
	図64－13	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.2	7.3	0.83	
	図64－14	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	7.9	5.8	0.55	
	図64－15	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.0	8.4	5.5	0.58	
	図64－16	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.2	10.0	7.7	1.10	
	図64－17	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	15.3	14.5	11.3	3.81	
	図64－18	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.4	12.1	11.5	2.49	
	図64－19	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	7.8	5.9	0.51	
	図64－20	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.2	9.5	7.6	1.01	
	図64－21	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.5	5.4	0.33	割れ
	図64－22	65	M－30	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	8.9	4.7	0.50	
	図64－23	65	M－30	坑底部	4	玉	1	C－1	ヒスイ	15.8	8.0	5.5	1.19	
	図65－24	64	M－30	(一括)	5	Ⅴa	76	注口	大洞B式相当	9.0	15.0	6.0	－	
				覆土			14							
	図65－25	64	M－30	覆土	5	Ⅴa	24	ツボ	大洞B式相当	8.3	9.0	6.0	－	
				Ⅱ層			2							
			M－31	Ⅰ層			1							
	図65－26	64	M－30	覆土	5	Ⅴa	25	鉢	大洞B式相当	16.8	12.0	8.0	－	
				Ⅱ層			2							
	図65－27	64	M－30	覆土	5	Ⅴa	22	浅鉢	大洞B式相当	12.5	5.55	7.0	－	
			M－31	Ⅰ層			2							

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧⑭

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位)	土器形式	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	－	備考
								(玉類)／器種	石材	長径(cm)	短径(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	
								(石器・石製品)／器種	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(土製品)／名称	－					
								(骨角器)／種名	部位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(漆・他)／名称	－					
P432	図65－28	64	M－30	(一括)	5	Ⅴa	25	片口	大洞B式相当	21.0	9.0	8.3	－	
	図65－29	65	M－30	覆土	5	Ⅴa	2	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図65－30	65	M－30	覆土	5	Ⅴa	1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図65－31	65	M－30	覆土	5	Ⅴa	2	鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図65－32	65	M－30	覆土	5	Ⅴa	1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
P433	図67－１	66	N－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.15	0.60	0.28	0.03	
	図67－２	66	N－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.35	0.75	0.30	0.06	破片４
	図67－３	66	N－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	－	0.7	0.45	0.15	0.01	＋破片２接合
	図67－４	66	N－30	坑底部	4	玉	1	Ｃ－２ｂ	緑泥石岩	30.1	20.0	10.4	6.90	
	図67－５	66	N－30	坑底部	4	玉	1	Ｂ－２	赤色変質岩	15.8	12.7	24.4	7.47	
	図67－６	66	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－２	コハク	8.2	7.7	5.3	0.17	
	図67－７	66	N－30	坑底部	4	玉	1	Ｃ－１	緑泥石岩	13.5	8.0	3.2	0.43	
	図67－８	66	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	10.6	10.2	5.6	0.76	
	図67－９	66	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	11.4	10.5	8.6	1.32	
	図67－10	66	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－２	緑泥石岩	11.3	10.0	8.3	1.27	
	図67－11	66	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	10.7	10.3	8.6	1.23	
	図67－12	66	N－30	坑底部	4	石製品	1	石刀	緑色凝灰岩	(22.3)	3.7	2.0	－	
	図67－13	67	N－30	覆土	5	Ⅴa	49	注口	大洞B式相当	－	13.0	－	－	
	図67－14	67	N－30	覆土	5	Ⅴa	6	ミニチュア	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図67－15	67	N－30	－	5	Ⅴa	2	ミニチュア	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図67－16	67	N－30	覆土	5	Ⅴa	30	ミニチュア	大洞B式相当	(4.0)	(5.6)	－	－	
	図67－17	67	N－30	－	5	Ⅴa	1	－	大洞B式相当	－	3.2	－	－	
	図67－18	67	N－30	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
	図67－19	67	N－30	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
P434	図68－１	68	N－30	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図68－２	68	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	7.7	7.6	5.8	0.56	
	図68－３	68	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－４	緑泥石岩	10.5	10.2	5.8	0.93	
	図68－４	68	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	8.4	7.9	3.3	0.28	
	図68－５	68	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	8.3	7.9	4.4	0.30	
	図68－６	68	N－30	坑底部	4	玉	1	Ｂ－１	緑泥石岩	9.4	7.7	5.4	0.45	
	図68－７	68	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	7.9	7.8	4.4	0.41	
	図68－８	68	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	9.6	9.0	3.3	0.25	割れ
	図68－９	68	N－30	坑底部	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	9.6	9.2	4.8	0.62	
	図68－10	68	N－30	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.00	1.20	0.50	1.42	
	図68－11	68	N－30	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P435	図70－１	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.05	0.70	0.30	0.04	
	図70－２	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｒ	1.15	0.90	0.22	0.04	
	図70－３	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	不明	下顎	1.00	0.60	(0.20)	0.03	破片資料
	図70－４	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｒ	0.65	0.50	0.20	0.01	
	図70－５	69	O－30	覆土中	4	玉	1	Ｃ－１ｂ	緑泥石岩	24.5	8.0	7.0	1.37	割れ
	図70－６	69	O－30	覆土中	4	玉	1	Ｂ－２	緑泥石岩	21.3	17.2	22.7	13.86	
	図70－７	69	O－30	覆土中	4	玉	1	Ａ－２	緑泥石岩	11.5	11.0	6.3	1.21	
	図70－８	69	O－30	覆土中	4	玉	1	Ａ－４	緑泥石岩	10.8	9.4	9.7	1.34	
	図70－９	69	O－30	覆土中	4	玉	1	Ａ－２	緑泥石岩	10.9	10.6	8.1	1.36	
	図70－10	69	O－30	覆土中	4	玉	1	Ｂ－２	緑泥石岩	11.3	8.9	13.3	1.87	
	図70－11	69	O－30	覆土中	4	玉	1	Ａ－２	緑泥石岩	14.2	14.1	9.1	2.75	
	図70－12	69	O－30	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	obs	8.0	2.25	1.15	16.94	
	図70－13	69	O－30	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図70－14	69	O－30	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図70－15	69	O－30	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図70－16	69	O－30	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図70－17	69	O－30	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	3.2	－	
	図70－18	69	O－30	覆土	5	Ⅳc	2	ツボ・注口（底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	4.0	－	
	図69－19	－	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（３）	－	－	－	＜0.01	未実測
	図69－20	－	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（２）	－	－	－	＜0.01	未実測
P436	図71－１	70	O－30	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	56.0	64.0	10.0	7.09	
	図71－２	70	O－30	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	91.0	25.0	－	－	
	図71－３	70	O－30	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図71－４	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎１or２	1.50	1.15	0.30	0.17	1.5～２mの小型の個体

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧⑮

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P436	図71－５	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎の可能性あり	0.65	0.45	0.17	0.01	破片資料
	図71－６	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	－	0.70	0.55	0.20	0.02	破片資料
	図71－７	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎の可能性あり	0.65	0.25	0.23	0.01	破片資料
	図71－８	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	－	0.65	0.50	0.27	0.01	破片資料
	図71－９	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎の可能性あり	0.70	0.60	0.20	0.02	
	図71－10	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎の可能性あり	0.65	0.50	0.20	0.01	
	図71－11	69	O－30	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎の可能性あり	0.60	0.60	0.18	0.03	
	図71－12	70	O－30	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	37.0	23.5	12.0	12.31	
	図71－13	70	O－30	坑底部	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	30.0	18.5	9.0	5.56	
	図71－14	70	O－30	坑底部	4	玉	1	C－2 b	緑泥石岩	29.0	18.0	10.5	6.87	
	図71－15	70	O－30	覆土	3	－	1	石斧	泥岩	17.0	5.7	3.05	465.7	赤彩あり
	図71－16	69	O－30	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P437	図72－１	71	M－31	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.60	1.59	0.53	1.69	
	図72－２	71	M－31	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	メノウ	6.50	4.40	1.58	37.74	
	図72－３	71	M－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図72－４	71	M－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図72－５	71	M－31	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図72－６	71	M－31	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P438	図72－１	72	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	73.5	89	－	－	
	図72－２	72	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図72－３	72	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図72－４	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	8.5	4.7	0.52	
	図72－５	72	N－31	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	9.5	7.9	5.0	0.48	
	図72－６	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.9	9.4	4.9	0.09	
	図72－７	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	9.1	4.3	0.20	
	図72－８	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	7.8	3.9	0.34	
	図72－９	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	7.1	5.8	0.80	
	図72－10	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	9.2	4.0	0.77	
	図72－11	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	9.7	3.3	0.60	
	図72－12	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	9.5	9.2	7.7	0.45	
	図72－13	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－2	コハク	8.5	8.4	5.4	0.70	
	図72－14	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	10.3	10.0	11.8	0.67	
	図72－15	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	8.1	7.6	0.54	
	図72－16	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.0	8.6	8.0	0.52	
	図72－17	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	8.3	8.3	8.5	0.73	
	図72－18	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	9.2	4.3	0.59	
	図72－19	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.9	9.7	4.7	0.37	
	図72－20	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.3	9.4	5.2	0.43	
	図72－21	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	8.0	3.4	0.57	
	図72－22	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.3	3.4	0.54	
	図72－23	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	6.3	6.0	4.8	0.35	
	図72－24	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	6.7	6.6	0.22	
	図72－25	72	N－31	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	7.9	7.5	8.0	1.33	
P439	図76－１	76	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	56.0	82.0	10.0	11.05	
	図76－２	76	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	64.5	83.5	－	－	
	図76－３	76	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	55.0	69.5	16.5	6.93	
	図76－４	76	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	55.5	87.0	10.0	11.07	
	図76－５	76	N－31	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	112.0	94.0	－	－	
	図76－６	77	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗腰飾	－	247.0	42.0	－	－	
	図76－７	76	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗腰飾	－	－	－	－	－	
	図77－８	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	7.7	5.2	0.41	
	図77－９	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.5	4.3	0.25	
	図77－10	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－2	コハク	7.3	7.1	4.6	0.15	
	図77－11	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	7.4	6.6	6.4	0.20	
	図77－12	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.3	5.5	0.43	
	図77－13	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.5	3.4	0.28	
	図77－14	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	8.4	7.8	7.2	0.25	
	図77－15	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	7.6	7.4	6.2	0.21	
	図77－16	77	N－31	坑底部	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	20.0	12.0	6.7	1.72	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧⑯

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P439	図77－17	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	6.9	4.1	0.28	
	図77－18	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	7.1	7.0	5.7	0.15	
	図77－19	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	8.2	7.9	5.2	0.19	
	図77－20	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	15.9	13.9	27.9	9.21	
	図77－21	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－2	コハク	8.5	8.2	5.5	0.25	
	図77－22	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	8.8	8.4	5.5	0.21	破片５
	図77－23	77	N－31	坑底部	4	玉	1	C－2ｂ	緑泥石岩	37.5	22.0	9.5	8.66	
	図77－24	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－2	コハク	8.4	7.7	6.0	0.21	
	図77－25	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－2	コハク	9.0	8.4	5.6	0.19	割れ
	図77－26	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	8.8	8.8	10.6	1.19	
	図77－27	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	6.8	3.7	0.24	
	図77－28	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.4	4.0	0.36	
	図77－29	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.1	9.9	5.8	0.88	
	図77－30	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.8	9.8	6.1	0.84	
	図77－31	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.20	1.18	1.11	1.37	
	図77－32	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.08	1.00	0.94	0.93	
	図77－33	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.08	1.08	0.98	1.12	
	図77－34	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.10	1.05	0.98	1.11	
	図77－35	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.00	1.09	1.00	1.03	
	図77－36	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	0.99	0.90	0.87	0.79	
	図77－37	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.04	1.05	0.93	0.93	
	図77－38	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.10	1.10	0.98	1.13	
	図77－39	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.20	1.20	0.98	1.27	
	図77－40	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.10	1.00	0.91	0.99	
	図77－41	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.06	1.09	0.93	0.93	
	図77－42	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.10	1.00	0.95	1.01	
	図77－43	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	0.99	0.99	0.93	0.85	
	図77－44	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.10	1.10	1.01	1.18	
	図77－45	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.00	1.00	0.98	0.88	
	図77－46	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.01	1.00	0.99	0.98	
	図77－47	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.10	1.01	0.93	0.92	
	図77－48	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.10	1.00	0.81	0.86	
	図77－49	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.20	1.10	0.96	1.06	
	図77－50	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.10	1.10	0.94	0.90	
	図77－51	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.10	1.00	0.99	1.01	
	図77－52	77	N－31	坑底部	6	土製品	1	土玉	－	1.15	1.09	1.06	1.21	
	図77－53	77	N－31	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	38.1	20.0	10.3	9.09	
	図77－54	77	N－31	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	32.0	18.5	10.0	6.63	
	図77－55	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.6	5.3	5.0	0.19	
	図77－56	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.6	8.2	6.4	0.58	
	図77－57	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.6	8.2	6.5	0.56	
	図77－58	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.0	8.8	6.5	0.71	
	図77－59	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	10.0	9.5	8.3	1.01	
	図77－60	77	N－31	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	14.6	11.7	22.1	4.77	
	図77－61	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.5	9.3	7.5	0.83	
	図77－62	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.8	8.8	8.7	0.79	
	図77－63	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.5	9.1	6.9	0.55	破片２接合　割れ
	図77－64	77	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	9.2	7.8	0.79	
	図77－65	77	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図75－66	－	N－31	坑底部	4	玉	1	－	コハク	－	－	－	0.05	破片７
P440	図77－１	78	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図77－２	78	N－31	覆土	5	Ⅴb	4	浅鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	
P441	図79－１	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗椀	－	56.0	73.0	－	－	
	図79－２	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－３	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－４	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－５	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－６	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－７	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(17)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P441	図79－８	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－９	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－10	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－11	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－12	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	16.0	14.5	－	－	
	図79－13	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－14	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－15	79	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗玉	－	－	－	－	－	
	図79－16	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.0	8.2	5.0	0.60	
	図79－17	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.0	7.9	4.9	0.48	
	図79－18	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	凝灰岩？	8.3	7.9	5.2	0.49	
	図79－19	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.7	4.5	0.46	
	図79－20	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	凝灰岩	7.7	7.3	4.4	0.31	
	図79－21	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.8	4.7	0.43	
	図79－22	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.4	5.5	0.72	
	図79－23	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.5	4.1	0.34	
	図79－24	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	7.2	4.3	0.31	
	図79－25	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.5	10.0	6.1	0.94	
	図79－26	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.8	10.3	5.8	1.10	
	図79－27	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.3	7.0	3.9	0.29	
	図79－28	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.7	10.3	7.1	1.25	
	図79－29	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.1	10.5	6.8	1.40	
	図79－30	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.0	9.8	6.4	0.94	
	図79－31	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.1	3.9	0.33	
	図79－32	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.6	9.9	6.3	1.08	
	図79－33	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.6	9.5	7.3	1.23	
	図79－34	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	6.8	3.3	0.22	
	図79－35	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－2	凝灰岩？	8.9	8.8	6.6	0.67	
	図79－36	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	8.1	4.7	0.54	
	図79－37	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.7	10.4	7.6	1.45	
	図79－38	80	N－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	7.1	4.6	0.33	
	図79－39	80	N－31	覆土	3	剥片	1	石槍	obs	5.10	2.00	0.61	4.01	
	図79－40	80	N－31	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	(8.10)	3.85	1.30	55	
	図79－41	80	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図79－42	80	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図79－43	80	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図79－44	80	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	ミニチュア（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図79－45	80	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	ミニチュア（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	朱塗
	図79－46	80	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図79－47	80	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口？（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図79－48	80	N－31	覆土	5	Ⅳc	4	ツボ・注口（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	ベンガラ付着
P442	図80－１	80	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図80－２	80	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図80－３	80	N－31	覆土	5	Ⅴb	1	浅鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	
P443	図82－１	81	O－31	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	(2.7)	1.4	0.5	1.37	
	図82－２	81	O－31	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	(2.5)	(1.4)	(0.35)	0.97	
	図82－３	81	O－31	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	4.2	3.5	1.1	15.93	
	図82－４	81	O－31	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	7.4	4.2	1.4	40.82	
	図82－５	82	N－31	覆土	6	土製品	1	環状土製品	－	5.42	5.40	1.43	29.87	ベンガラ
	図82－６	81	N－31	覆土	5	Ⅳc	4	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当				－	
	図82－７	81	N－31	覆土	5	Ⅳc	2	ミニチュア（口）	堂林～三ツ谷式相当				－	
	図82－８	81	N－31	覆土	5	Ⅳc	1	ミニチュア（底）	堂林～三ツ谷式相当			2.0	－	
	図82－９	81	O－31	覆土	5	Ⅳc	13	深鉢（口）	三ツ谷式相当				－	
	図82－10	82	N. O－31	覆土	3	礫石器	1	台石	安山岩	32.20	20.70	10.40	9200	
P444	図84－１	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.2	10.0	6.4	1.18	
	図84－２	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.6	10.9	9.7	1.88	
	図84－３	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.6	9.2	6.0	0.85	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(18)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P444	図84－４	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	11.3	11.2	11.6	1.98	
	図84－５	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.9	10.1	7.8	1.35	
	図84－６	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.9	11.8	8.3	1.71	
	図84－７	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.9	9.1	8.9	1.14	
	図84－８	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.7	10.0	8.7	1.48	
	図84－９	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	12.1	11.6	14.0	3.01	
	図84－10	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	9.2	4.9	0.61	
	図84－11	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.4	4.8	0.46	
	図84－12	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.7	9.4	5.9	0.77	
	図84－13	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.2	3.4	0.26	
	図84－14	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.2	9.5	8.5	1.27	
	図84－15	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.5	9.2	8.1	0.97	
	図84－16	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.8	9.6	7.5	1.04	
	図84－17	83	O－31	坑底部	4	玉	1	C－2 b	緑泥石岩	30.0	15.0	10.5	6.85	
	図84－18	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.5	7.9	4.9	0.47	
	図84－19	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.8	9.6	7.2	0.89	
	図84－20	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	9.5	5.6	0.77	
	図84－21	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.6	7.1	0.88	
	図84－22	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.3	7.0	0.68	
	図84－23	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.6	10.1	5.1	0.95	
	図84－24	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.4	7.0	4.5	0.33	
	図84－25	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.3	9.1	4.9	0.72	
	図84－26	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	8.0	4.3	0.45	
	図84－27	83	O－31	坑底部	4	玉	1	C－1 b	緑泥石岩	23.0	17.9	11.1	5.37	
	図84－28	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.6	11.1	8.7	1.87	
	図84－29	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	13.1	13.0	9.9	2.80	
	図84－30	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.4	7.2	0.97	
	図84－31	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	8.8	4.7	0.64	
	図84－32	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.0	9.0	6.7	0.88	
	図84－33	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	8.9	5.8	0.69	
	図84－34	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	9.0	8.7	1.09	
	図84－35	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.1	7.3	0.73	
	図84－36	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	8.7	5.4	0.64	
	図84－37	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.5	4.0	0.49	
	図84－38	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	8.8	6.3	0.82	
	図84－39	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.0	7.7	5.2	0.49	
	図84－40	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	7.9	6.3	0.61	
	図84－41	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.9	9.6	7.1	0.97	
	図84－42	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.1	5.2	0.55	
	図84－43	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	8.9	6.4	0.85	
	図84－44	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.5	10.2	5.0	0.91	
	図84－45	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.3	9.4	5.8	0.92	
	図84－46	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.1	4.8	0.52	
	図84－47	83	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	7.1	4.7	0.38	
	図84－48	83	O－31	覆土	5	Ⅳc	2	ツボ・注口（胴）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	最大径14.2cm
			N－31	P438			1							
				P439			1							
				P440			2							
				P441			1							
	図84－49	83	O－31	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図84－50	83	O－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P445	図86－１	84	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	60.0	83.5	－	－	
	図86－２	84	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	57.0	67.5	－	－	
	図86－３	84	N－31	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	36.0	73.5	－	－	
	図87－４	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.25	0.90	0.38	0.06	
	図87－５	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.25	1.10	0.35	0.06	
	図87－６	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.25	1.15	0.40	0.06	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(19)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) － 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) － 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) － 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) － 重さ(g)	備考
P445	図87－７	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.30	1.00	0.35	0.07	
	図87－８	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.35	1.20	0.40	0.08	
	図87－９	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.35	1.10	0.40	0.07	
	図87－10	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.40	1.20	0.45	0.06	
	図87－11	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	イタチザメ	－	1.85	2.85	0.43	0.17	
	図87－12	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.43	1.23	0.43	0.08	
	図87－13	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｌ	1.50	1.65	0.40	0.17	
	図87－14	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	イタチザメ	－	1.25	2.53	0.38	0.11	
	図87－15	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｒ	1.52	1.57	0.35	0.12	
	図87－16	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎Ｒ	1.43	1.15	0.37	0.09	
	図87－17	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎Ｌ	1.30	1.20	0.35	0.07	
	図87－18	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎Ｌ	1.33	1.20	0.38	0.07	
	図87－19	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	1.93	1.50	0.37	0.15	
	図87－20	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.45	0.95	0.45	0.09	
	図87－21	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	イタチザメ	－	2.00	2.90	0.50	0.20	１番だと４ｍ前後の個体
	図87－22	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎Ｌ	0.50	0.70	0.20	0.01	
	図87－23	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.75	0.85	0.25	0.03	
	図87－24	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎Ｒ	0.95	0.70	0.25	0.04	
	図87－25	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.05	0.60	0.30	0.04	
	図87－26	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎Ｌ	0.95	0.85	0.25	0.03	
	図87－27	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎Ｌ	0.75	0.65	0.22	0.02	
	図87－28	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎Ｌ	1.30	0.90	0.32	0.08	
	図87－29	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｒ	0.90	1.63	0.30	0.05	
	図87－30	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｌ	0.95	1.73	0.30	0.05	
	図87－31	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｌ	1.30	1.18	0.30	0.06	
	図87－32	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｒ	1.00	1.85	0.25	0.05	
	図87－33	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.05	0.65	0.30	0.04	
	図87－34	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.95	0.90	0.25	0.04	
	図87－35	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｒ	0.65	1.20	0.25	0.03	
	図87－36	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎Ｌ	0.80	0.70	0.25	0.02	
	図87－37	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.15	0.80	0.30	0.05	
	図87－38	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｌ９～	0.75	1.32	0.25	0.03	
	図87－39	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.75	0.65	0.25	0.02	
	図87－40	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.00	0.60	0.28	0.04	
	図87－41	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｒ	0.80	1.30	0.28	0.04	
	図87－42	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｌ９～	0.75	1.60	0.25	0.03	
	図87－43	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.80	0.75	0.22	0.03	
	図87－44	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.00	0.60	0.30	0.04	
	図87－45	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	1.00	0.75	0.28	0.05	
	図87－46	85	N－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｒ	1.05	1.40	0.30	0.08	
	図87－47	85	N－31	坑底部	4	玉	1	Ｃ－２	緑泥石岩	29.9	14.0	7.0	3.64	
	図87－48	85	N－31	坑底部	4	玉	1	Ｃ－２	緑泥石岩	17.9	11.0	6.1	1.51	
	図87－49	85	N－31	坑底部	4	玉	1	Ａ－６	緑泥石岩	10.1	9.7	10.6	1.59	
	図87－50	85	N－31	坑底部	4	玉	1	Ｂ－２	緑泥石岩	12.8	9.1	12.8	2.20	
	図87－51	85	N－31	坑底部	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	4.7	4.7	4.0	0.12	
	図87－52	85	N－31	坑底部	6	土製品	1	分銅形土製品	－	2.70	1.60	1.60	4.96	ベンガラ付着
	図87－53	85	N－31	覆土	5	Ⅳｃ	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図87－54	85	N－31	覆土	5	Ⅳｃ	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図87－55	85	N－31	覆土 覆土上面	5	Ⅳｃ	10 1	片口	三ツ谷式相当	12.0	6.7	4.0	－	赤彩あり
P446	図80－１	86	N－32	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	5.71	5.73	1.15	24.62	
	図80－２	86	N－32	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	朱塗
	図80－３	86	N－32	覆土	5	Ⅳｃ	2	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	朱塗
	図80－４	86	N－32	覆土	5	Ⅳｃ	6	鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P447	図88－１	87	O－32	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	59.0	88.0	10.0	6.20	
	図88－２	87	O－32	坑底部	4	玉	1	Ｃ－１	緑泥石岩	21.0	15.0	6.6	3.07	
	図88－３	87	O－32	坑底部	4	玉	1	Ａ－６	緑泥石岩	12.0	11.9	12.5	2.42	
	図88－４	87	O－32	坑底部	4	玉	1	Ａ－１	緑色凝灰岩	6.2	6.1	5.3	0.25	
	図88－５	87	O－32	坑底部	4	玉	1	Ａ－３	緑色凝灰岩	5.7	5.5	6.3	0.22	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧⑳

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P447	図88－6	87	O－32	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	6.25	2.15	1.0	23	
	図88－7	87	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図88－8	87	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P448	図90－1	88	O－32	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	58.5	86.0	13.0	9.64	
	図90－2	88	O－32	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	64.0	87.0	23.5	11.09	
	図90－3	88	O－32	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	67.0	92.5	9.5	9.59	
	図90－4	89	O－32	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	48.0	69.0	10.0	7.13	
	図90－5	89	O－32	坑底部	6	土製品	1	環状土製品	－	2.72	2.70	0.82	6.44	
	図90－6	89	O－32	坑底部	6	土製品	1	環状土製品	－	3.00	3.00	0.84	4.50	
	図90－7	89	O－32	坑底部	6	土製品	1	環状土製品	－	2.82	2.71	0.78	4.91	
	図90－8	89	O－32	坑底部	6	土製品	1	環状土製品	－	2.70	2.60	0.77	3.81	
	図90－9	89	O－32	坑底部	6	土製品	1	環状土製品	－	2.60	2.50	0.92	4.82	
P449	図84－1	89	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図84－2	89	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	同一個体
	図84－3	89	O－32	覆土	5	Ⅳc	3	深鉢（胴）		－	－	－	－	
P450	図91－1	89	P－33	覆土	5	Ⅳc	5	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図91－2	89	P－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図91－3	89	P－33	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P451	図91－1	91	O－33	覆土	3	剥片	1	石錐	頁岩	3.20	1.05	0.47	1.79	
	図91－2	91	O－33	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図91－3	91	O－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P452	図91－1	91	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図91－2	91	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P453	図92－1	91	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図92－2	91	N－33	覆土	5	Ⅳc	3	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P454	図92－1	91	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図92－2	91	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図92－3	91	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P455	図94－1	92	N－33	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	11.6	4.6	2.2	199.6	
	図94－2	92	O－33	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	13.8	4.8	1.5	178.5	
	図94－3	92	N－33	覆土上	5	Ⅳc	13	注口	三ツ谷式相当	11.7	18.3	3.5	－	
				覆土			35							
			M－34	Ⅱ層			1							
			N－33	Ⅱ層			1							
			O－33	Ⅱ層			16							
	図94－4	92	N－33	覆土	5	Ⅳc	4	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
			N－34	P469	5		1							
	図94－5	92	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図95－6	92	N－33	覆土	5	Ⅳc	3	片口（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図94－7	92	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図94－8	92	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P456	図92－1	94	O－34	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P457	図95－1	94	O－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P458	図95－1	92	O－33	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（頚）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図95－2	92	O－33	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	14.9	5.8	2.8	383.8	
P459	図97－1	94	P－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｌ５～６	1.60	1.60	0.30	0.07	
	図97－2	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.25	0.18	＜0.01	
	図97－3	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.65	0.40	0.20	0.01	
	図97－4	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.70	0.50	0.20	0.01	
	図97－5	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.65	0.45	0.15	0.01	
	図97－6	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.65	0.50	0.15	0.01	
	図97－7	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.65	0.25	0.15	0.01	
	図97－8	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.65	0.40	0.15	0.01	
	図97－9	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.70	0.30	0.20	0.01	
	図97－10	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.75	0.50	0.15	0.01	
	図97－11	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.50	0.40	0.15	＜0.01	
	図97－12	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.70	0.40	0.15	＜0.01	破片２
	図97－13	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.55	0.22	0.15	＜0.01	
	図97－14	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.70	0.45	0.20	＜0.01	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(21)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P459	図97－15	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.65	0.40	0.20	＜0.01	
	図97－16	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.60	0.50	0.15	0.01	
	図97－17	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.55	0.50	0.15	0.01	
	図97－18	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.40	0.18	0.01	
	図97－19	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.40	0.35	0.12	0.01	
	図97－20	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.65	0.30	0.20	0.01	
	図97－21	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.65	0.40	0.15	0.01	
	図97－22	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.70	0.50	0.18	0.01	
	図97－23	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.50	0.30	0.18	0.01	
	図97－24	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.40	0.15	0.01	
	図97－25	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.70	0.45	0.18	0.01	
	図97－26	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.70	0.45	0.17	0.01	
	図97－27	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.30	0.20	0.01	
	図97－28	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.70	0.50	0.18	0.01	
	図97－29	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.35	0.35	0.12	0.01	
	図97－30	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.35	0.35	0.12	0.01	
	図97－31	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.70	0.45	0.20	＜0.01	
	図97－32	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.50	0.50	0.15	0.01	
	図97－33	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.25	0.15	0.01	
	図97－34	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.35	0.15	0.01	
	図97－35	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.50	0.45	0.15	0.01	
	図97－36	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.55	0.25	0.15	0.01	
	図97－37	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.25	0.30	0.10	0.01	
	図97－38	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.25	0.18	0.01	
	図97－39	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.60	0.45	0.15	0.01	
	図97－40	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.60	0.50	0.17	0.01	
	図97－41	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.55	0.30	0.15	0.01	
	図97－42	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.35	0.18	0.10	0.01	
	図97－43	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.70	0.50	0.15	0.01	
	図97－44	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎の可能性あり	0.55	0.25	0.15	0.01	破片２
	図97－45	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.60	0.40	0.17	0.01	
	図97－46	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.65	0.25	0.20	0.01	
	図97－47	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.70	0.50	0.20	0.01	
	図97－48	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.65	0.45	0.17	0.01	
	図97－49	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.75	0.50	0.17	0.01	
	図97－50	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.70	0.45	0.17	0.01	
	図97－51	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.70	0.50	0.17	0.01	
	図97－52	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.65	0.50	0.17	0.01	
	図97－53	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.60	0.50	0.17	0.01	
	図97－54	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｒ	0.70	0.55	0.17	0.01	
	図97－55	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.65	0.25	0.17	0.01	
	図97－56	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.30	0.17	0.01	
	図97－57	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.50	0.35	0.15	0.01	
	図97－58	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.40	0.25	0.15	0.01	破片２
	図97－59	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.55	0.50	0.15	0.01	
	図97－60	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.30	0.17	0.01	
	図97－61	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.60	0.40	0.15	0.01	
	図97－62	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.65	0.45	0.15	0.01	
	図97－63	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.65	0.40	0.17	0.01	
	図97－64	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.50	0.28	0.15	0.01	
	図97－65	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.45	0.15	0.01	
	図97－66	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.50	0.40	0.15	0.01	破片２
	図97－67	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.30	0.17	0.01	
	図97－68	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.70	0.45	0.20	0.01	
	図97－69	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.30	0.15	0.01	
	図97－70	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.60	0.40	0.15	0.01	
	図97－71	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.35	0.40	0.12	0.01	
	図97－72	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.60	0.40	0.17	0.01	
	図97－73	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.65	0.45	0.17	0.01	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(22)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P459	図97－74	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.65	0.45	0.17	0.01	
	図97－75	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.30	0.17	0.01	
	図97－76	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.45	0.20	0.15	0.01	
	図97－77	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.60	0.25	0.15	0.01	
	図97－78	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.50	0.20	0.15	0.01	
	図97－79	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.50	0.30	0.17	0.01	
	図97－80	94	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	0.65	0.50	0.15	0.01	1ｍほどの小型の個体の顎が入ったいたものと見られる
	図97－81	94	O－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図97－82	94	O－33	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	台付底部かも？
	図97－83	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（２）	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－84	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－85	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（３）	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－86	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（２）	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－87	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－88	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（３）	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－89	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－90	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－91	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（４）	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－92	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（２）	0.35	0.20	0.07	0.01	
	図97－93	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（６）	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－94	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－95	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（２）	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－96	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（４）	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－97	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－98	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－99	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－100	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－101	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－102	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（３）	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－103	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－104	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－105	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－106	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－107	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（３）	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－108	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（２）	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－109	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図97－110	－	O－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（２）	－	－	－	<0.01	未実測
P461	図98－１	95	L－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図98－２	95	L－31	覆土	5	Ⅳc	2	鉢（口～底）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P462	図100-1-1	97	Q－31	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	113.5	108.0	－	－	環状漆片へ（接合）
	図100-1-2	97	Q－31	坑底部	1	漆	1		－	－	17.5	－	－	
	図100-1-3	97	Q－31	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	22.5	15.5	11.5	0.44	
	図100-1-4	97	Q－31	坑底部	1	漆	2	環状漆塗製品	－	8.0	14.5	12.5	0.19	
	図100-1-5	97	Q－31	坑底部	1	漆	－	環状漆塗製品	－	10.0	12.0	9.0	0.16	
	図100-1-6	97	Q－31	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	16.0	17.0	－	－	
	図100-1-7	97	Q－31	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	21.0	12.0	－	－	
	図100-1-8	97	Q－31	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	22.0	18.0	－	－	
	図100-1-9	97	P－31	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図101－２	98	Q－31	(点取り)	5	Ⅴa	76	注口	大洞Ｂ式相当	－	(11.1)	1.3	－	
	図101－３	98	Q－31	(点取り)	5	Ⅴa	10	注口	大洞Ｂ式相当	－	9.45	－	－	
				覆土			2							
			P－31	Ⅰ層			5							
	図101－４	98	Q－31	(点取り)	5	Ⅴa	33	注口	大洞Ｂ式相当	7.1	15.2	－	－	
				覆土			3			7.4				
			P－31	Ⅰ層			2							
	図101－５	98	Q－31	(点取り)	5	Ⅴa	8	注口	大洞Ｂ式相当	－	(7.0)	(2.0)	－	
				覆土			11							
			Q－31	Ⅱ層			1							
	図101－６	98	Q－31		5	Ⅴa	1	ツボ・注口（胴）	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
				Ⅱ層			2							

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(23)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P462	図101－7	98	Q－31		5	Va	1	ツボ・注口（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図101－8	98	P－31	(点取り) 覆土	5	Va	76 9	キャリパー形	大洞B式相当	(15.3)	13.1	5.4	－	
	図101－9	98	Q－31		5	Va	10	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図101－10	97	P－31	(点取り)	5	Va	15	浅鉢	大洞B式相当	(8.9)	5.1	(4.2)	－	底部穿孔
	図101－11	97	Q－31	(点取り) 覆土 H34	5	Va	2 2 1	浅鉢	大洞B式相当	8.4	4.4	3.9	－	底部穿孔
	図101－12	97	Q－31	(点取り)	5	Va	5	浅鉢	大洞B式相当	7.9	4.5	(4.0)	－	底部穿孔
	図101－13	97	Q－31	覆土	5	Va	2	浅鉢	大洞B式相当	(7.3)	(3.7)	(4.0)	－	底部穿孔
	図101－14	97	Q－31 P－31	(点取り) Ⅰ層	5	Va	6 1	浅鉢	大洞B式相当	(4.3)	3.85	(2.7)	－	底部穿孔
P463	図102－1	99	P－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図102－2	99	P－32	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図102－3	99	P－32	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	(8.00)	(5.50)	(2.25)	(78)	
	図102－4	99	P－32	覆土	4	石製品	1	泥質ホルンフェルス	石棒	54.8	3.2	2.9	－	
P464	図103－1	101	M－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図103－2	101	M－34	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図103－3	101	M－34	壙底 覆土	5	Ⅰb－4	1 6	深鉢（底）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
P465	図103－1	101	N－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図103－2	101	N－34	覆土	5	Ⅳc	5	ツボ・注口（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	同一個体
	図103－3	101	N－34	覆土	5	Ⅳc	3	ツボ・注口（胴）						
P466	図103－1	101	O－35	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P467	図104－1	101	N－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図104－2	101	N－34	覆土	5	Ⅳc	1	片口（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P468	図104－1	101	O－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.9	10.8	7.7	1.39	
	図104－2	101	O－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P469	図104－1	103	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	突起部分つぶしていてわからない
	図104－2	103	N－33	覆土上 P455	5	Ⅳc	1 2	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	同一個体
	図104－3	103	N－33	覆土	5	Ⅳc	3	深鉢（胴）						
P470	図105－1	103	O－34	覆土	5	Ⅳc	6	ミニチュア	堂林～三ツ谷式相当	3.9	5.05	1.5	－	
	図105－2	103	O－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図105－3	103	O－34	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P471	図105－1	103	O－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図105－2	103	O－34	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図105－3	103	O－34	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（頚）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P472	図105－1	103	O－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図105－2	103	O－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P473	図105－1	103	P－35	覆土		Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P474	図107－1	104	P－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	1.70	1.55	0.30	0.06	
	図107－2	104	P－33	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	(オオメジロザメ)	上顎R３～	1.50	1.50	0.33	0.07	個体差の可能性もあるが、歯根の風化の状況からオオメジロザメの可能性がある
	図107－3	104	P－33	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	51.0	79.0	－	－	
	図107－4	104	P－33	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図107－5	104	P－33	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	－	－	－	－	
P475	図107－1	105	Q－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P476	図109－1	106	Q－34	坑底部	1	漆	2	環状漆塗製品	－	68.0	18.0	7.0	2.21	
		106							－	－	－	－	－	
		106			1		1		－	50.0	18.0	4.0	1.06	1－2
		106			1		1		－	42.0	11.5	2.5	0.35	1－3
	図109－2	107	Q－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメの可能性	上顎L	0.80	0.80	0.20	0.02	
	図109－3	107	Q－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメの可能性	上顎L	0.75	0.75	0.20	0.02	
	図109－4	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.4	6.6	0.91	
	図109－5	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	12.3	10.3	10.4	2.30	
	図109－6	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.5	10.3	6.4	1.09	
	図109－7	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.7	10.6	10.5	2.18	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(24)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P476	図109－8	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	14.7	13.7	19.7	6.04	
	図109－9	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	C－1 b	緑泥石岩	26.0	12.0	10.5	4.71	
	図109－10	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.0	10.7	5.1	0.98	
	図109－11	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	11.3	10.0	11.4	1.90	
	図109－12	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	C－1 b	緑泥石岩	24.0	16.0	8.8	5.09	
	図109－13	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	14.8	13.8	10.7	3.02	
	図109－14	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	16.4	13.4	12.7	3.44	
	図109－15	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.3	12.2	9.8	2.04	
	図109－16	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.0	9.7	4.3	0.71	
	図109－17	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	8.9	6.4	0.80	
	図109－18	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.0	10.9	8.6	1.84	
	図109－19	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.3	11.2	7.5	1.48	
	図109－20	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	12.2	11.7	15.1	3.37	
	図109－21	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	8.2	5.0	0.68	
	図109－22	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.3	9.9	10.8	1.99	
	図109－23	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.1	10.0	8.4	1.41	
	図109－24	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	9.1	5.6	0.72	
	図109－25	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.3	9.1	5.3	0.80	
	図109－26	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.2	11.7	8.5	1.93	
	図109－27	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.7	10.5	6.3	1.12	
	図109－28	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.9	10.6	9.3	1.73	
	図109－29	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.9	10.2	5.6	1.02	
	図109－30	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	10.2	9.9	11.7	1.88	
	図109－31	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	C－1 b	緑泥石岩	14.0	11.0	4.4	0.77	
	図109－32	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	7.9	5.2	0.56	
	図109－33	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	10.3	9.3	11.0	1.69	
	図109－34	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	29.5	12.0	10.0	5.00	
	図109－35	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	11.5	11.1	13.6	2.94	
	図109－36	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.0	8.9	7.2	1.07	
	図109－37	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.9	10.5	6.8	1.14	
	図109－38	107	Q－34	坑底部	4	玉	1	C－1 b	緑泥石岩	16.2	12.0	5.3	1.28	
	図109－39	106	Q－34	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	13.5	5.2	2.5	245.4	
P477	図110－1	109	R－35	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P478	図110－1	109	Q－35	覆土上面	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P480	図111－1	109	R－34	覆土	5	Ⅳc	1	装飾部	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	貫通孔があけられている
	図111－2	109	R－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.9	6.3	0.45	
	図111－3	109	R－34	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク	11.2	10.9	5.4	1.05	
	図111－4	109	R－34	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク	9.7	9.5	6.2	0.90	
P482	図112－1	110	R－34	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	49.5	73.5	－	－	
	図112－2	110	R－34	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図112－3	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.10	0.95	0.30	0.04	
	図112－4	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.00	0.95	0.25	0.03	
	図112－5	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	0.90	0.70	0.20	0.02	
	図112－6	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.30	1.20	0.30	0.06	破片２
	図112－7	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R	1.10	0.95	0.25	0.03	破片２
	図112－8	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R	1.25	1.15	0.25	0.06	破片２
	図112－9	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.80	1.40	0.35	0.12	破片２
	図112－10	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R	1.55	1.30	0.32	0.07	
	図112－11	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎L	1.65	1.30	0.40	0.09	破片２
	図112－12	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.75	1.60	0.35	0.13	破片２
	図112－13	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R	1.80	1.25	0.35	0.25	
	図112－14	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R	1.42	1.35	0.27	0.13	
	図112－15	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.70	1.40	0.35	0.20	
	図112－16	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.20	1.00	0.30	0.04	
	図112－17	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R	1.10	1.10	0.35	0.05	
	図112－18	110	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.00	0.95	0.25	0.03	破片３
	図112－19	－	R－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（５）				0.02	未実測
P483	図114－1	112	R－33	坑底部	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	19.0	8.5	5.5	0.91	
	図114－2	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.5	5.4	0.34	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(25)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P483	図114－3	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.4	7.3	4.9	0.37	
	図114－4	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.3	5.7	3.9	0.23	
	図114－5	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.4	4.0	0.18	
	図114－6	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.3	3.5	0.21	
	図114－7	112	R－33	坑底部	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	18.0	9.5	5.5	1.10	
	図114－8	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－1	ジャスパー？	6.0	6.0	4.8	0.24	
	図114－9	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.0	7.7	4.3	0.41	
	図114－10	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.7	6.1	0.53	
	図114－11	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.3	8.2	5.7	0.56	
	図114－12	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.4	8.2	6.4	0.61	
	図114－13	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.0	8.2	8.6	0.93	
	図114－14	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.6	8.5	8.1	0.79	
	図114－15	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.9	8.9	6.9	0.83	
	図114－16	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.7	7.8	7.8	0.77	
	図114－17	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	8.8	8.8	8.8	1.08	
	図114－18	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.1	8.4	8.5	0.97	
	図114－19	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.8	8.0	8.3	0.83	
	図114－20	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.8	9.4	8.4	0.95	
	図114－21	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.4	8.2	8.6	0.99	
	図114－22	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.6	9.5	7.9	1.06	
	図114－23	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.9	9.1	7.3	1.01	
	図114－24	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	11.3	10.0	9.9	1.58	
	図114－25	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.8	8.5	8.3	0.91	
	図114－26	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.3	8.4	7.8	0.98	
	図114－27	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	10.0	9.4	8.0	1.10	
	図114－28	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	10.5	9.6	8.7	1.06	
	図114－29	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	12.8	12.5	12.2	2.59	
	図114－30	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	12.9	12.7	12.6	2.87	
	図114－31	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	10.8	10.6	8.7	1.28	
	図114－32	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	12.9	11.9	11.2	2.56	
	図114－33	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.6	11.5	8.6	1.69	
	図114－34	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	11.9	11.5	9.3	1.79	
	図114－35	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	12.9	12.7	10.5	2.44	
	図114－36	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	11.1	10.9	8.3	1.57	
	図114－37	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	12.2	12.0	10.2	2.07	
	図114－38	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	11.4	10.9	10.7	1.71	
	図114－39	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	10.1	8.7	7.8	1.01	
	図114－40	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.4	8.7	8.9	1.04	
	図114－41	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.7	7.5	8.6	0.84	
	図114－42	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	10.1	10.0	8.0	1.05	
	図114－43	112	R－33	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	9.8	8.1	9.3	1.06	
	図114－44	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.9	9.8	7.7	0.97	
	図114－45	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.6	8.6	9.4	1.10	
	図114－46	112	R－33	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	9.1	7.6	8.0	0.87	
	図114－47	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.1	8.6	6.9	0.74	
	図114－48	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.4	9.3	9.1	1.14	
	図114－49	112	R－33	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	8.6	7.1	8.1	0.69	
	図114－50	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.1	8.1	7.7	0.69	
	図114－51	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.6	7.9	7.9	0.78	
	図114－52	112	R－33	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	9.2	7.0	7.5	0.72	
	図114－53	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.8	8.2	7.9	0.78	
	図114－54	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.4	8.2	5.3	0.57	
	図114－55	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.7	8.0	7.5	0.76	
	図114－56	112	R－33	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	8.2	6.8	7.0	0.54	
	図114－57	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.3	7.4	7.5	0.63	
	図114－58	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.2	8.8	7.8	0.94	
	図114－59	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	タルク	9.4	8.3	8.4	0.99	
	図114－60	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.2	8.2	7.4	0.74	
	図114－61	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.9	8.1	6.7	0.59	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(26)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P483	図114－62	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.2	4.8	0.19	
	図114－63	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.2	6.0	5.6	0.26	
	図114－64	112	R－33	坑底部	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	14.0	8.5	6.5	0.87	
	図114－65	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－1	ジャスパー	6.4	6.4	3.5	0.20	
	図114－66	112	R－33	坑底部	4	玉	1	C－2	タルク化蛇紋岩	13.5	10.0	6.0	1.35	
	図114－67	112	R－33	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	10.8	10.1	9.5	1.63	
P484	図111－1	113	R－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P485	図111－1	113	Q－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P486	図116－1	114	M－32	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	146.5	93.0	－	－	
	図116－2	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	9.0	9.0	6.4	0.28	
	図116－3	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	9.7	9.7	10.4	0.83	割れ
	図116－4	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－2	コハク	8.2	8.1	6.1	0.23	
	図116－5	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	11.6	11.0	15.4	2.11	
	図116－6	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.4	5.3	0.41	
	図116－7	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	9.0	5.4	0.54	
	図116－8	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.8	9.1	8.2	1.08	
	図116－9	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	10.6	9.7	8.5	0.56	
	図116－10	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－4	コハク	11.5	11.1	8.9	0.75	
	図116－11	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.0	4.7	0.48	
	図116－12	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.1	4.2	0.38	
	図116－13	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	8.6	8.2	7.5	0.24	
	図116－14	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.7	5.6	0.48	
	図116－15	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.5	4.8	0.47	
	図116－16	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.0	8.8	5.0	0.51	
	図116－17	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	9.0	6.4	0.60	
	図116－18	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	9.3	9.0	7.3	0.35	
	図116－19	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	7.2	7.0	4.7	0.14	破片２
	図116－20	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－4	コハク	11.1	10.5	11.0	0.81	
	図116－21	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	11.9	10.8	16.9	3.04	
	図116－22	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	12.2	11.3	17.1	2.81	
	図116－23	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－2	コハク	11.1	10.8	8.0	0.58	
	図116－24	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－4	コハク	10.4	9.6	8.5	0.48	
	図116－25	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	8.6	5.7	0.52	
	図116－26	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	8.9	5.6	0.59	
	図116－27	114	M－32	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	8.0	7.0	8.5	0.35	割れ
	図116－28	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	8.7	7.6	7.1	0.26	
	図116－29	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.0	5.1	0.42	
	図116－30	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.0	4.4	0.39	
	図116－31	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.1	5.2	0.38	接合
	図116－32	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	8.1	4.3	0.41	
	図116－33	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	6.9	4.4	0.36	
	図116－34	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	9.3	9.1	6.5	0.32	
	図116－35	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.8	5.2	0.56	
	図116－36	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.6	4.8	0.43	
	図116－37	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.0	7.3	0.63	
	図116－38	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.7	3.2	0.27	
	図116－39	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	7.0	2.3	0.19	
	図116－40	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.6	2.0	0.15	
	図116－41	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.6	1.7	0.08	
	図116－42	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.4	3.9	0.31	
	図116－43	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	7.7	4.7	0.41	
	図116－44	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	7.4	3.2	0.29	
	図116－45	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	7.1	4.1	0.28	
	図116－46	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.1	2.8	0.16	
	図116－47	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.2	3.7	0.32	
	図116－48	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	7.4	4.0	0.32	
	図116－49	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	6.4	2.8	0.19	
	図116－50	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.8	2.9	0.18	
	図116－51	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	7.1	3.8	0.22	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－1　土坑掲載遺物一覧(27)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P486	図116－52	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.1	4.0	0.31	
	図116－53	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.0	7.4	3.9	0.37	接合
	図116－54	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.5	2.9	0.18	
	図116－55	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.6	2.2	0.18	
	図116－56	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.0	6.9	2.9	0.23	
	図116－57	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	6.7	2.4	0.16	
	図116－58	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.6	2.2	0.17	
	図116－59	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.3	6.1	2.6	0.10	
	図116－60	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.1	6.2	0.50	
	図116－61	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.6	4.3	0.43	
	図116－62	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.3	2.8	0.23	
	図116－63	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	8.0	3.5	0.33	
	図116－64	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.0	3.0	0.23	
	図116－65	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.5	3.2	0.27	
	図116－66	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.8	9.2	5.9	0.66	
	図116－67	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.7	5.0	0.45	
	図116－68	114	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	8.7	5.7	0.50	
	図116－69	114	M－32	覆土	5	Ⅳc	5	注口（底）	御殿山式相当	－	－	1.6	－	
				覆土上面			1							
			P428	覆土			2							
			M－32	Ⅱ層			1							
	図116－70	114	M－32	覆土上面	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
			P487	覆土			1							
	図116－71	114	M－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図116－72	114	M－32	覆土	5	Ⅳc	2	鉢（口）	堂林～御殿山式相当	11.6	－	－	－	
				覆土上面			2							
			P487	覆土			2							
	図115－73	－	M－32	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	－	0.12	破片4
	図115－74	－	M－32	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	－	0.55	破片4
	図115－75	－	M－32	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	－	0.28	破片2
	図115－76	－	M－32	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	－	0.96	破片22
	図115－77	－	M－32	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	－	0.50	破片12
	図115－78	－	M－32	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	－	0.17	破片5
P487	図117－1	115	M－32	坑底部	4	玉	1	A－7	ヒスイ	7.1	7.1	5.9	0.42	
	図117－2	115	M－32	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.7	5.2	0.33	
	図117－3	115	M－32	坑底部	4	玉	1	A－7	ヒスイ	10.3	10.1	7.7	1.28	
	図117－4	115	M－32	坑底部	4	玉	1	A－7	ヒスイ	9.6	9.3	7.9	1.09	
	図117－5	115	M－32	坑底部	4	玉	1	A－7	ヒスイ	8.6	8.4	6.9	0.81	
	図117－6	115	M－32	坑底部	4	玉	1	A－7	ヒスイ	9.9	9.9	8.1	1.18	
	図117－7	115	M－32	坑底部	4	玉	1	A－7	ヒスイ	7.3	7.3	5.0	0.38	
	図117－8	115	M－32	覆土	5	Ⅳc	34	注口	御殿山式相当	4.8	10.3	2.0	－	一括
			P486				1							
			M－32	Ⅱ・MC層			2							
	図117－9	115	M－32	覆土	5	Ⅳc	9	鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
			P428				2							
			M－32	Ⅱ層			3							
	図117－10	115	M－32	覆土	5	Ⅳc	4	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図117－11	115	M－32	覆土	5	Ⅳc	25	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
P489	図118－1	117	N－27	覆土	3	礫石器	1	敲き石	安山岩	11.60	8.20	6.00	692	
P490	図118－1	117	N－27	覆土	5	Ⅲ	1	深鉢（口）	－	－	－	－	－	
	図118－2	117	N－27	覆土	5	Ⅳa	1	深鉢（口）	タプコプ式	－	－	－	－	
	図118－3	117	N－27	覆土	5	Ⅳa	1	深鉢（口）	タプコプ式	－	－	－	－	同一個体
	図118－4	117	N－27	覆土	5	Ⅳa	3	深鉢（胴）		－	－	－	－	
P491	図118－1	117	M－32	覆土	5	Ⅵ	1	深鉢（口）	後北C_2D	－	－	－	－	同一個体
			P609				1							
	図118－2	117	M－32	覆土	5	Ⅵ	1	深鉢（口）		－	－	－	－	
P492	図119－1	117	Q－28	覆土	5	Ⅴa	1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	補修孔作ろうとしたアト有
	図119－2	117	Q－28	覆土	5	Ⅳc～Ⅴa	1	鉢（口）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
	図119－3	117	Q－28	覆土	5	Ⅳc～Ⅴa	1	浅鉢（口）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
	図119－4	117	Q－28	覆土	5	Ⅳc～Ⅴa	1	深鉢（胴）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(28)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P496	図120－１	119	N－33	(点取り)	5	Ⅵ	1	注口	後北C$_2$D	－	－	－	－	
	図120－２	119	N－33	覆土	5	Ⅴa	1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図120－３	119	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図120－４	119	N－33	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（底）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P497	図122－１	120	O－32	(点取り)	5	Ⅳc	1	深鉢（底）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図122－２	120	O－32	(点取り) 覆土	5	Ⅳc	24 1	深鉢	三ツ谷式相当	24.6	(20.5)	－	－	
	図122－３	120	O－32	(点取り) 覆土	5	Ⅳc	42 3	深鉢	三ツ谷式相当	22.0	(27.7)	－	－	
P498	図120－１	120	L－28	(点取り) 覆土	5	Ⅵ	3 1	鉢（底）	後北C$_2$D	－	－	7.6	－	
P499	図120－１	120	L－28	覆土	5	Ⅴb	1	浅鉢（口～底）	晩期中葉	－	3.4	－	－	
P501	図123－１	123	P－35	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P502	図123－１	123	P－35	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図123－２	123	P－35	覆土	3	礫石器	1	石斧	片岩	8.70	3.50	1.40	71	ベンガラ付着
P503	図123－１	123	R－33	坑底部	4	玉	1	B－１	緑泥石岩	13.8	11.9	10.2	2.55	
	図123－２	123	R－33	坑底部	4	玉	1	A	緑泥石岩	11.3	－	7.8	1.15	ネズミにかじられている
	図123－３	123	R－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P504	図124－１	123	P－33	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	2.10	1.45	0.32	0.08	
	図124－２	123	P－33	坑底部	4	石製品	1	E－１	ツノ貝化石	29.0	9.5	9.5	0.72	割れ　自然ツノ貝化石
	図124－３	123	P－33	覆土	3	剥片	1	石鏃	頁岩	2.81	1.10	0.43	1.03	
	図124－４	123	P－33	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	ベンガラ付着
	図124－５	123	P－33	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	ベンガラ付着
	図124－６	123	P－33	覆土	3	礫石器	1	石皿	安山岩	30.90	26.40	8.90	9900	
P505	図125－１	125	M－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図125－２	125	M－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図125－３	125	M－31	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P506	図126－１	125	M－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	
	図126－２	125	M－31	覆土	5	Ⅳc	3	深鉢（口）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
	図126－３	125	M－31	覆土 MC	5	Ⅴa	26 3	注口	大洞B式相当	－	(15.3)	－	－	
	図126－４	125	L．M－31	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（底）	御殿山～大洞B式相当	－	－	5.8	－	
	図126－５	125	M－31	覆土	5	Ⅴa	2	浅鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図126－６	125	M－31	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
	図126－７	125	M－31 L．M－31	覆土 Ⅰ･Ⅱ･MC層	5	Ⅴa	1 25	ツボ・注口	大洞B式相当	－	(12.0)	－	－	玉抱き三叉文
	図126－８	125	M－31	覆土 Ⅱ･MC層	5	Ⅴa	59 26	深鉢	大洞B式相当	(30.4)	37.2	－	－	
	図126－９	125	L．M－31	覆土	3	礫石器	1	敲き石	安山岩	12.50	6.40	4.90	530	
P507	図125－１	125	T－34	覆土	5	Ⅲ	1	深鉢（胴）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
P508	図131－１	129	R－27	坑底部	3	剥片	1	石鏃	obs	1.8	1.2	0.4	0.47	
	図131－２	129	R－27	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.40	1.47	0.43	0.92	
	図131－３	129	R－27	坑底部	3	剥片	1	石錐	頁岩	3.9	1.5	0.75	2.98	
	図131－４	129	R－27	坑底部	3	剥片	1	石錐	頁岩	2.5	1.3	0.5	0.91	
	図131－５	129	R－27	坑底部	3	礫石器	1	石斧	泥岩	5.3	3.1	1.2	31.18	
	図131－６	129	R－27	坑底部	3	剥片	1	フレイク	obs	5.25	2.65	0.95	14.80	
	図131－７	129	R－27	坑底部	3	剥片	1	フレイク	obs	6.40	2.30	1.00	11.32	
	図131－８	129	R－27	坑底部	3	剥片	1	フレイク	obs	2.95	4.15	0.90	8.80	
	図131－９	129	R－27	坑底部	3	剥片	1	フレイク	obs	3.30	3.90	1.35	15.66	
	図131－10	129	R－27	坑底部	3	剥片	1	フレイク	obs	4.05	3.35	1.20	16.43	
	図131－11	129	R－27	坑底部	3	剥片	1	フレイク	obs	4.50	3.60	1.70	17.04	
	図131－12	129	R－27	坑底部	3	剥片	1	フレイク	obs	3.80	4.20	1.45	18.61	
	図131－13	129	R－27	坑底部	3	剥片	1	フレイク	obs	3.45	4.60	1.30	20.84	
	図131－14	128	R－27	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R 1 or 2	3.30	2.75	0.55	0.60	3m前後の個体　現在でも5m前後の個体が奥尻や岩内の定置網に入ることがある
	図131－15	128	R－27	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	不明	－	0.55	0.55	0.18	0.01	土壌水洗
	図131－16	128	R－27	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	不明	－	0.60	0.50	0.15	0.01	土壌水洗

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(29)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P508	図131－17	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.5	10.1	5.2	0.72	
	図131－18	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.0	8.8	5.5	0.57	
	図131－19	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.6	4.5	0.38	欠け
	図131－20	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.3	4.4	0.50	
	図131－21	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.3	3.7	0.40	
	図131－22	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.7	3.6	0.28	
	図131－23	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	8.1	3.2	0.36	
	図131－24	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	8.0	4.5	0.44	
	図131－25	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	8.8	3.7	0.45	
	図131－26	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.8	4.7	0.41	
	図131－27	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.7	3.5	0.15	
	図131－28	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.9	3.1	0.11	破片２
	図131－29	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	8.3	3.1	0.35	
	図131－30	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	9.0	3.0	0.37	
	図131－31	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	7.7	5.5	0.50	
	図131－32	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	9.7	4.4	0.65	
	図131－33	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.7	5.2	0.38	
	図131－34	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	7.0	1.9	0.14	
	図131－35	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.0	6.9	2.9	0.13	
	図131－36	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.5	4.1	0.28	
	図131－37	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	7.0	3.1	0.21	
	図131－38	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.4	2.2	0.19	
	図131－39	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.7	3.6	0.31	
	図131－40	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.7	4.1	0.10	
	図131－41	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.3	5.8	2.7	0.10	破片３
	図131－42	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.3	6.2	3.4	0.19	
	図131－43	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.5	5.5	3.4	0.14	
	図131－44	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.9	3.0	0.18	
	図131－45	128	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	6.0	4.0	3.5	0.07	(２／３欠け)
	図131－46	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.4	3.0	0.14	
	図131－47	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.6	3.6	0.21	
	図131－48	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.4	3.6	0.20	
	図131－49	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.0	6.5	3.6	0.21	
	図131－50	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.7	3.5	0.22	
	図131－51	128	R－27	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	6.7	5.3	2.7	0.14	
	図131－52	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.6	3.8	0.28	
	図131－53	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.5	6.2	4.0	0.22	
	図131－54	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.5	6.5	3.7	0.23	
	図131－55	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.7	4.0	0.20	
	図131－56	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.5	4.6	0.27	
	図131－57	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.5	6.5	3.3	0.17	欠け
	図131－58	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.9	4.1	0.19	
	図131－59	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.1	2.6	0.16	
	図131－60	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.2	3.5	0.19	
	図131－61	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.3	3.2	0.18	
	図131－62	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.5	5.3	3.2	0.11	
	図131－63	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.3	6.1	3.7	0.17	欠け
	図131－64	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.2	3.8	0.21	
	図131－65	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.7	4.3	0.23	
	図131－66	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	6.5	3.7	0.20	
	図131－67	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	7.8	4.5	0.34	
	図131－68	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.2	3.8	0.38	
	図131－69	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.7	4.8	0.45	
	図131－70	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.4	10.7	6.4	1.22	
	図131－71	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.2	6.1	3.3	0.19	
	図131－72	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	7.9	3.6	0.26	欠け
	図131－73	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	9.0	4.8	0.52	
	図131－74	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	9.4	4.7	0.66	
	図131－75	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	9.4	4.7	0.66	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－1　土坑掲載遺物一覧(30)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P508	図131－76	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	7.4	5.2	0.39	
	図131－77	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.4	5.8	0.43	
	図131－78	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.1	10.1	6.4	1.10	
	図131－79	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.8	3.8	0.28	
	図131－80	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.0	6.8	4.4	0.25	
	図131－81	128	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	10.1	8.1	5.1	0.40	(2／5欠け)
	図131－82	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.6	5.2	0.40	
	図131－83	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	8.6	3.9	0.42	
	図131－84	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	8.9	5.7	0.77	
	図131－85	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.8	4.0	0.35	
	図131－86	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	8.6	4.5	0.46	
	図131－87	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	9.1	3.8	0.45	
	図131－88	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.5	3.3	0.21	
	図131－89	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.2	3.3	0.34	
	図131－90	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	8.1	3.8	0.39	
	図131－91	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	8.6	5.7	0.63	
	図131－92	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.9	3.6	0.26	
	図131－93	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.5	4.0	0.42	
	図131－94	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.9	3.9	0.39	
	図131－95	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.9	4.3	0.41	
	図131－96	128	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	9.0	6.9	5.1	0.36	(半分)
	図131－97	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.5	4.1	0.37	
	図131－98	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.7	10.4	5.1	0.80	
	図131－99	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	8.4	4.1	0.47	
	図131－100	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	8.5	4.3	0.50	
	図131－101	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.2	4.0	0.39	
	図131－102	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.5	4.4	0.47	
	図131－103	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.7	4.8	0.52	
	図131－104	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.3	10.8	4.4	0.80	
	図131－105	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.5	4.3	0.24	
	図131－106	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	6.0	3.4	0.12	
	図131－107	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.0	6.7	4.1	0.28	
	図131－108	128	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	6.0	5.0	1.5	0.03	(破片)
	図131－109	128	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	10.0	8.0	4.8	0.34	(半分)
	図131－110	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.3	6.5	4.8	0.26	
	図131－111	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.3	4.4	0.27	
	図131－112	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.9	9.6	4.5	0.62	
	図131－113	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.1	5.7	2.3	0.14	
	図131－114	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.6	3.2	0.12	
	図131－115	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.3	3.1	0.26	
	図131－116	128	R－26	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	6.6	5.3	3.6	0.14	
	図131－117	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	5.3	5.1	3.4	0.14	
	図131－118	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.7	6.8	0.53	
	図131－119	128	R－26	坑底部	4	玉	1	C－1 b	緑泥石岩	10.1	8.1	4.8	0.96	
	図131－120	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.0	7.7	4.6	0.41	
	図131－121	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.2	4.9	0.22	欠け
	図131－122	128	R－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	8.5	3.3	0.36	
	図131－123	128	R－26.27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.6	4.9	0.50	
	図131－124	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.7	3.1	0.14	
	図131－125	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.1	6.0	3.2	0.15	
	図131－126	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.8	4.4	0.22	
	図131－127	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.8	9.6	4.0	0.51	
	図131－128	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.5	3.4	0.33	
	図131－129	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.3	3.6	0.33	
	図131－130	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.4	3.3	0.40	
	図131－131	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.2	6.1	3.5	0.18	
	図131－132	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.2	6.0	2.9	0.13	
	図131－133	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.4	5.3	2.9	0.11	
	図131－134	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.2	6.2	3.4	0.17	

※分類1：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(31)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P508	図131－135	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.5	6.4	3.5	0.14	
	図131－136	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.5	6.2	2.9	0.14	
	図131－137	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.1	2.9	0.15	
	図131－138	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.6	2.3	0.10	
	図131－139	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.0	7.8	5.2	0.45	
	図131－140	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.6	2.9	0.11	
	図131－141	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	7.0	4.0	0.29	
	図131－142	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.5	4.3	0.16	
	図131－143	128	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	6.0	－	3.1	0.08	(1／2欠け)
	図131－144	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.8	4.0	0.27	
	図131－145	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.0	7.9	3.9	0.34	
	図131－146	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.3	7.2	4.0	0.29	
	図131－147	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.2	5.5	0.53	
	図131－148	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.3	2.9	0.32	
	図131－149	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	8.1	3.7	0.37	
	図131－150	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.2	6.2	5.1	0.30	
	図131－151	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.6	3.5	0.24	
	図131－152	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.5	6.3	3.2	0.16	
	図131－153	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.9	4.0	0.22	
	図131－154	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	8.5	4.8	0.48	
	図131－155	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.9	10.0	6.6	1.03	
	図131－156	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	6.0	4.4	0.24	
	図131－157	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.2	6.2	3.7	0.20	
	図131－158	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.0	7.6	3.8	0.27	
	図131－159	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.8	3.6	0.29	
	図131－160	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.0	7.0	2.5	0.17	
	図131－161	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.5	3.6	0.40	
	図131－162	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.8	3.8	0.43	
	図131－163	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	7.7	3.8	0.34	
	図131－164	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	8.9	3.8	0.48	
	図131－165	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.4	4.5	0.23	
	図131－166	128	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	6.1	4.0	2.6	0.09	(1／3破損)
	図131－167	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.4	4.0	0.24	
	図131－168	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.2	3.7	0.17	
	図131－169	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.8	2.6	0.12	
	図131－170	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.5	6.5	4.0	0.20	
	図131－171	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.1	6.0	3.7	0.19	
	図131－172	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.4	3.2	0.19	
	図131－173	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.0	6.7	4.7	0.29	
	図131－174	128	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	5.9	－	3.8	0.11	(1／2欠け)
	図131－175	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.5	5.5	3.2	0.14	
	図131－176	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.1	6.0	4.0	0.21	
	図131－177	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.3	3.6	0.20	
	図131－178	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.1	6.1	4.2	0.19	
	図131－179	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.8	3.5	0.16	
	図131－180	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.7	3.4	0.15	
	図131－181	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.3	5.3	2.4	0.07	
	図131－182	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.3	5.2	3.0	0.10	
	図131－183	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.5	5.3	2.4	0.10	
	図131－184	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.5	5.5	3.2	0.11	
	図131－185	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.6	3.9	0.20	
	図131－186	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.2	6.2	3.9	0.21	
	図131－187	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.1	5.8	3.4	0.14	欠け
	図131－188	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.9	3.5	0.19	
	図131－189	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	7.1	3.9	0.29	
	図131－190	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	7.2	4.2	0.29	
	図131－191	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.9	4.1	0.24	
	図131－192	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.6	3.9	0.26	
	図131－193	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.6	3.5	0.24	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－1　土坑掲載遺物一覧(32)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構.グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P508	図131－194	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.7	4.5	0.27	
	図131－195	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.2	6.3	3.7	0.21	
	図131－196	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	6.9	5.0	0.33	
	図131－197	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.7	4.5	0.30	
	図131－198	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.6	5.6	3.5	0.13	
	図131－199	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.4	3.7	0.22	
	図131－200	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.8	3.3	0.16	
	図131－201	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.3	2.7	0.09	
	図131－202	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.3	4.9	1.7	0.06	
	図131－203	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.3	3.1	0.15	
	図131－204	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.2	5.2	1.8	0.07	
	図131－205	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.0	3.0	0.17	
	図131－206	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.4	3.4	0.14	
	図131－207	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.6	3.3	0.11	
	図131－208	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.1	2.3	0.09	
	図131－209	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.6	3.9	0.24	土壌水洗
	図131－210	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.5	3.5	0.15	土壌水洗
	図131－211	128	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.8	2.9	0.11	土壌水洗
	図131－212	128	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	6.8	3.7	2.8	0.08	土壌水洗（1／2欠け）
	図132－213	129	R－27	西覆土 西1回目 西2回目	5	Va	7 50 14	注口	大洞B式相当	5.9	(14.5)	－	－	
	図132－214	129	R－27	(点取り)	5	Ⅳc	2	ツボ・注口（底）	御殿山式相当	－	－	1.6	－	
	図132－215	129	R－26.27	覆土 1回目 2回目 西覆土 西1回目 西2回目	5	Va	5 27 7 3 2 4	注口	大洞B式相当	2.6	14.3	1.8	－	
	図132－216	129	R－26	覆土 1回目 2回目 西2回目	5	Va	4 32 25 1	キャリパー	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図132－217	130	R－27	西1回 西2回 西覆土 Ⅱ層	5	Va	12 1 1 1	鉢	大洞B式相当	11.4	(5.9)	－	－	
	図132－218	130	R－27	西1回 西2回 覆土1回 覆土2回 覆土 西覆土	5	Va	7 3 1 2 3 2	鉢	大洞B式相当	12.6	6.6	4.5	－	
	図132－219	129	R－27	西1回 西2回 Ⅱ層	5	Va	4 6 1	?	大洞B式相当	9.5	12.1	3.3	－	
	図132－220	129	R－26.27	西1回 西2回	5	Va	1 6	?	大洞B式相当	8.6	(9.1)	－	－	
	図132－221	130	R－27	西1回	5	Va	1	?	大洞B式相当	8.0	(7.0)	－	－	
	図132－222	130	R－26.27	西2回	5	Va	4	ミニチュア	大洞B式相当	4.9	5.2	1.5	－	
P509	図133－1	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.4	4.1	0.25	
	図133－2	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	6.9	4.6	0.32	
	図133－3	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.1	3.9	0.27	
	図133－4	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	8.1	5.0	0.47	
	図133－5	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.1	5.4	0.53	
	図133－6	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.2	3.0	0.15	
	図133－7	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.7	2.3	0.10	
	図133－8	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	8.9	6.1	0.75	
	図133－9	131	R－27	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	29.0	21.0	11.0	8.08	
	図133－10	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.0	8.2	5.3	0.50	
	図133－11	131	R－27	坑底部	4	玉類	1	D－2	緑泥石岩	23.0	12.0	5.7	1.81	

※分類1：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－1　土坑掲載遺物一覧(33)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P509	図133－12	131	R－27	坑底部	4	玉	1	C－1 b	緑泥石岩	18.2	12.0	5.7	1.62	
	図133－13	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.4	6.4	0.54	
	図133－14	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	9.1	5.7	0.71	
	図133－15	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.4	10.0	5.6	0.63	欠け
	図133－16	131	R－27	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	24.1	18.1	9.0	4.92	
	図133－17	131	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.8	11.7	7.6	1.46	
	図133－18	131	R－27	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	28.1	18.0	8.6	5.16	
	図133－19	131	R－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図133－20	131	R－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
P510	図135－1	132	R－27	覆土中	4	玉類	1	D－1	緑泥石岩	23.0	14.0	11.3	4.95	
	図135－2	132	R－27	坑底部	4	石製品	1	E－2	泥岩	41.0	25.0	7.3	13.02	
	図135－3	132	R－27	坑底部	4	石製品	1	E－3	泥岩	40.0	30.9	15.7	18.46	雨だれ石 ベンガラ付着
	図135－4	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.5	4.2	0.40	
	図135－5	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	7.2	3.5	0.28	
	図135－6	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.7	4.4	0.39	
	図135－7	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	蛇紋岩	8.6	8.3	4.6	0.49	
	図135－8	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	8.7	4.3	0.56	
	図135－9	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.0	8.9	4.3	0.51	
	図135－10	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.0	4.2	0.49	
	図135－11	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.3	3.6	0.39	
	図135－12	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	8.4	4.3	0.53	
	図135－13	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.4	3.9	0.41	
	図135－14	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	8.9	4.7	0.57	
	図135－15	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	9.3	3.7	0.53	
	図135－16	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	9.0	4.1	0.58	
	図135－17	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.5	3.9	0.48	
	図135－18	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.2	3.8	0.42	
	図135－19	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	9.2	5.1	0.65	
	図135－20	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	8.1	5.1	0.46	
	図135－21	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.9	5.3	0.64	
	図135－22	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	9.0	5.2	0.69	
	図135－23	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	7.9	4.6	0.36	
	図135－24	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	9.3	5.1	0.71	
	図135－25	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	8.9	4.6	0.56	
	図135－26	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	9.5	5.2	0.74	
	図135－27	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	9.3	3.8	0.54	
	図135－28	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.6	5.5	0.71	
	図135－29	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.4	5.6	0.60	
	図135－30	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	9.1	4.8	0.63	
	図135－31	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	9.2	3.2	0.42	
	図135－32	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.4	4.2	0.58	
	図135－33	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.0	9.8	4.8	0.67	
	図135－34	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.0	7.8	4.2	0.43	
	図135－35	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	9.3	4.7	0.63	
	図135－36	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.1	11.8	7.0	1.24	
	図135－37	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.7	10.5	5.3	1.01	
	図135－38	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.2	10.0	3.4	0.55	
	図135－39	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.0	9.8	4.8	0.64	
	図135－40	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.3	10.2	5.4	0.70	
	図135－41	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.7	11.5	7.0	1.34	
	図135－42	132	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.7	11.2	5.5	1.05	
	図135－43	133	R－27	検出面 覆土 Ⅰ・MC層	5	Ⅳc	74 1 15	深鉢	御殿山式相当	20.9	13.2	8.2	－	
	図135－44	133	R－27	検出面 MC層	5	Ⅳc	12 12	深鉢	御殿山式相当	11.6	6.7	5.0	－	
	図135－45	132	R－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図135－46	132	R－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図135－47	132	R－27	覆土	5	Ⅳc	1	－	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(34)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P511	図136－１	135	R－27	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	60.5	46.5	－	－	
	図136－２	135	R－27	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	58.5	62.0	－	－	
	図138－３	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.0	7.9	4.2	0.37	
	図138－４	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.9	7.9	4.1	0.40	
	図138－５	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.5	7.4	3.2	0.24	
	図138－６	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.3	8.2	4.0	0.39	
	図138－７	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.0	9.0	4.9	0.61	
	図138－８	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	10.0	9.5	4.3	0.63	
	図138－９	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	10.0	9.5	4.1	0.62	
	図138－10	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	10.0	9.0	5.8	0.78	
	図138－11	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.7	9.3	5.0	0.64	
	図138－12	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.5	8.9	4.3	0.54	
	図138－13	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.4	9.2	4.9	0.64	
	図138－14	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.6	8.9	5.2	0.66	
	図138－15	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.2	8.5	5.4	0.54	
	図138－16	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.1	8.6	3.9	0.48	
	図138－17	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.7	8.1	5.3	0.56	
	図138－18	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.5	7.2	5.1	0.46	
	図138－19	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.9	7.6	4.4	0.45	
	図138－20	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.9	8.6	5.3	0.48	
	図138－21	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.2	8.9	5.8	0.66	
	図138－22	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－７	ヒスイ	8.8	8.5	5.0	0.55	
	図138－23	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.5	8.1	3.8	0.33	
	図138－24	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.4	7.3	4.1	0.28	
	図138－25	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	ジャスパー	7.0	6.6	4.1	0.26	
	図138－26	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.8	7.5	4.5	0.40	
	図138－27	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	ジャスパー	8.0	8.0	4.8	0.46	
	図138－28	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.1	7.9	4.9	0.38	
	図138－29	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.5	7.2	3.3	0.24	
	図138－30	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.0	6.8	3.1	0.22	
	図138－31	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－２	緑泥石岩	9.1	8.8	6.7	0.76	
	図138－32	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.5	8.0	4.5	0.41	
	図138－33	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.0	8.0	4.8	0.44	
	図138－34	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.6	7.6	4.2	0.35	
	図138－35	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.6	8.3	3.1	0.31	
	図138－36	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－２	緑泥石岩	8.4	7.9	4.2	0.38	
	図138－37	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.8	7.4	3.7	0.31	
	図138－38	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.4	7.8	5.0	0.49	
	図138－39	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.8	7.4	3.5	0.30	
	図138－40	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.8	7.5	4.3	0.40	
	図138－41	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.0	6.8	4.1	0.26	
	図138－42	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.4	8.9	4.4	0.52	
	図138－43	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.6	8.5	4.8	0.53	
	図138－44	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.3	8.1	4.2	0.38	
	図138－45	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.8	9.8	5.0	0.69	
	図138－46	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.6	9.6	4.1	0.59	
	図138－47	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.5	9.2	6.5	0.75	
	図138－48	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.8	8.8	6.0	0.69	
	図138－49	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.3	9.3	6.0	0.69	
	図138－50	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.6	8.3	4.7	0.53	
	図138－51	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	9.2	9.0	4.9	0.60	
	図138－52	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.4	8.2	5.3	0.54	
	図138－53	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.2	8.2	4.7	0.46	
	図138－54	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	8.4	8.4	4.9	0.53	
	図138－55	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－４	緑泥石岩	7.0	7.0	5.4	0.33	
	図138－56	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－４	緑泥石岩	7.1	7.0	5.3	0.35	
	図138－57	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.0	6.9	4.6	0.32	
	図138－58	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－１	緑泥石岩	7.3	7.1	5.8	0.39	
	図138－59	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－２	緑泥石岩	7.8	7.7	5.5	0.43	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(35)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P511	図138－60	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.0	6.9	5.4	0.33	
	図138－61	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.7	7.7	6.9	0.49	
	図138－62	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.5	6.3	5.1	0.25	
	図138－63	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.9	6.8	5.2	0.30	
	図138－64	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.7	7.5	6.3	0.48	
	図138－65	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.4	5.2	0.26	
	図138－66	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.5	7.3	6.1	0.45	
	図138－67	134	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	7.0	(5.5)	5.1	0.16	割れ
	図138－68	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.2	6.1	4.4	0.19	
	図138－69	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.6	6.5	4.7	0.27	
	図138－70	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.4	7.4	5.2	0.38	
	図138－71	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.3	7.1	5.8	0.39	
	図138－72	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.0	6.8	5.4	0.31	
	図138－73	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.6	6.4	4.4	0.23	
	図138－74	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.7	7.6	5.2	0.44	
	図138－75	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.5	6.2	5.0	0.22	
	図138－76	134	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	6.0	5.0	4.3	0.12	割れ 破片4
	図138－77	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.5	6.5	4.7	0.25	
	図138－78	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.5	6.3	4.6	0.25	
	図138－79	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.4	5.2	0.28	
	図138－80	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.1	6.0	3.9	0.18	
	図138－81	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.7	6.5	4.5	0.26	
	図138－82	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.2	6.1	4.4	0.21	
	図138－83	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	7.1	5.8	0.41	
	図138－84	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.9	7.7	6.4	0.53	
	図138－85	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.0	7.7	5.8	0.52	
	図138－86	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.1	8.0	5.9	0.52	
	図138－87	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.6	8.4	6.6	0.61	
	図138－88	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.0	8.9	7.2	0.76	
	図138－89	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.4	8.1	7.7	0.68	
	図138－90	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.2	7.8	6.1	0.55	
	図138－91	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.8	7.4	6.1	0.48	
	図138－92	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.4	6.4	5.2	0.27	
	図138－93	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.5	6.4	4.3	0.22	
	図138－94	134	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	5.0	4.0	4.8	0.09	破片3
	図138－95	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.0	6.9	5.5	0.34	
	図138－96	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.1	6.0	4.2	0.20	
	図138－97	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	5.4	5.4	3.4	0.11	
	図138－98	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.5	6.5	4.7	0.26	
	図138－99	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.5	7.4	5.9	0.46	
	図138－100	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.2	7.1	5.5	0.38	
	図138－101	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.3	5.1	0.26	
	図138－102	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.4	7.1	5.5	0.40	
	図138－103	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.6	7.5	5.5	0.45	
	図138－104	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.7	3.6	0.16	
	図138－105	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.7	4.0	0.19	
	図138－106	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.2	8.0	6.7	0.58	
	図138－107	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	7.2	6.0	0.43	
	図138－108	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.8	6.7	5.5	0.31	
	図138－109	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.8	6.5	5.2	0.31	
	図138－110	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.6	5.5	0.30	
	図138－111	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.8	6.8	5.7	0.32	
	図138－112	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.6	6.5	4.8	0.27	
	図138－113	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.5	6.5	5.0	0.28	
	図138－114	134	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	－	0.24	割れ 破片6
	図138－115	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.5	3.5	0.09	
	図138－116	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.7	5.3	0.28	
	図138－117	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.2	5.9	0.45	
	図138－118	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.9	6.7	5.3	0.34	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(36)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P511	図138－119	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.8	6.8	6.4	0.38	
	図138－120	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	7.1	7.1	5.7	0.36	
	図138－121	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.2	6.2	5.1	0.29	
	図138－122	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.2	4.2	0.23	
	図138－123	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.4	4.4	0.25	
	図138－124	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.4	5.0	0.29	
	図138－125	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.4	5.2	3.8	0.14	
	図138－126	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.4	6.2	4.2	0.21	
	図138－127	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.6	6.4	5.3	0.27	
	図138－128	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.4	6.4	4.9	0.25	
	図138－129	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.1	6.0	4.3	0.18	
	図138－130	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.1	6.5	5.2	0.27	欠け
	図138－131	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.8	6.7	5.5	0.31	
	図138－132	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.6	5.1	0.29	
	図138－133	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.9	6.6	4.8	0.27	
	図138－134	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.5	6.4	4.8	0.26	
	図138－135	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	5.8	5.6	3.7	0.15	
	図138－136	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.4	6.2	4.4	0.23	
	図138－137	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	5.8	5.6	3.9	0.15	
	図138－138	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.1	6.0	4.1	0.19	
	図138－139	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.2	6.1	4.0	0.17	接合
	図138－140	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.2	6.1	4.2	0.21	
	図138－141	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.1	6.0	4.9	0.23	
	図138－142	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.3	5.9	4.9	0.21	
	図138－143	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.2	5.0	0.24	
	図138－144	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.1	6.0	4.9	0.21	
	図138－145	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	6.0	4.5	0.20	
	図138－146	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.1	5.9	4.2	0.19	
	図138－147	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.4	6.3	4.4	0.23	
	図138－148	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.9	6.8	4.8	0.29	
	図138－149	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	凝灰岩	6.8	6.7	5.1	0.33	
	図138－150	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.7	4.7	0.30	
	図138－151	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.2	5.0	0.27	
	図138－152	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.6	7.4	5.5	0.44	
	図138－153	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.1	6.7	5.0	0.29	
	図138－154	134	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	6.0	4.3	5.0	0.14	割れ
	図138－155	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.6	6.5	4.9	0.23	
	図138－156	134	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	6.0	4.0	1.6	0.04	割れ
	図138－157	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.9	6.9	5.3	0.29	
	図138－158	134	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	6.0	4.8	4.0	0.09	割れ
	図138－159	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.6	4.3	0.26	
	図138－160	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	7.7	5.1	0.57	
	図138－161	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	6.9	5.4	0.43	
	図138－162	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.3	5.6	0.57	
	図138－163	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	8.2	5.2	0.57	
	図138－164	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.6	5.4	0.61	
	図138－165	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.0	8.7	5.3	0.65	
	図138－166	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.5	4.3	0.31	
	図138－167	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.5	5.0	0.36	
	図138－168	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.1	4.8	0.41	
	図138－169	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.3	4.8	0.29	
	図138－170	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.2	4.1	0.27	
	図138－171	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	6.0	3.5	0.22	
	図138－172	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.6	3.6	0.17	
	図138－173	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.6	5.5	3.2	0.15	
	図138－174	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.2	3.6	0.16	
	図138－175	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.7	4.0	0.21	
	図138－176	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.4	5.2	3.6	0.14	
	図138－177	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.4	3.5	0.16	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(37)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P511	図138－178	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	4.6	4.6	2.8	0.11	
	図138－179	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	4.7	4.4	2.2	0.06	
	図138－180	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	4.8	4.8	2.4	0.08	
	図138－181	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.0	5.0	1.8	0.05	
	図138－182	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.0	4.8	2.9	0.11	
	図138－183	134	R－27	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	6.2	5.0	3.8	0.18	
	図138－184	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.5	4.9	3.5	0.14	
	図138－185	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.3	4.6	0.28	
	図138－186	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.9	3.9	0.21	
	図138－187	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.6	5.0	3.6	0.15	
	図138－188	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.3	5.3	2.6	0.11	
	図138－189	134	R－27	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	6.0	5.0	3.6	0.14	欠け
	図138－190	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.4	5.2	2.5	0.11	
	図138－191	134	R－27	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	6.5	5.5	3.9	0.19	欠け
	図138－192	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.3	3.2	0.15	
	図138－193	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.5	3.5	0.17	
	図138－194	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.3	3.6	0.20	
	図138－195	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.1	3.6	0.15	
	図138－196	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.2	4.1	0.19	
	図138－197	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.1	4.9	3.4	0.16	
	図138－198	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.3	5.0	2.8	0.12	
	図138－199	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.5	5.3	3.2	0.16	
	図138－200	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.2	5.1	3.6	0.15	
	図138－201	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.3	5.1	3.6	0.15	
	図138－202	134	R－27	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	6.0	4.6	3.7	0.14	
	図138－203	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.5	4.9	3.0	0.13	
	図138－204	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.5	5.3	2.9	0.13	
	図138－205	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.8	3.7	0.19	
	図138－206	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.3	3.2	0.15	
	図138－207	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	4.8	4.4	2.5	0.08	
	図138－208	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	4.7	4.6	2.7	0.11	
	図138－209	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	蛇紋岩	5.7	4.9	4.0	0.17	
	図138－210	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.5	3.7	0.21	
	図138－211	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.1	5.9	3.3	0.22	
	図138－212	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.3	4.0	0.20	
	図138－213	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.5	4.1	0.32	
	図138－214	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.6	4.2	0.27	
	図138－215	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	7.0	4.9	0.45	
	図138－216	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.6	4.7	0.39	
	図138－217	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.0	5.3	0.46	
	図138－218	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.5	5.4	0.46	
	図138－219	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.2	5.6	0.42	
	図138－220	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.0	5.5	0.48	
	図138－221	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	6.8	5.1	0.41	
	図138－222	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.2	4.5	0.39	
	図138－223	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	4.3	4.3	1.8	0.06	土壌水洗
	図138－224	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.3	5.0	3.8	0.12	土壌水洗
	図138－225	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.2	5.1	3.8	0.16	土壌水洗
	図138－226	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.9	6.8	4.8	0.28	土壌水洗
	図138－227	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.8	6.7	4.8	0.26	土壌水洗
	図138－228	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	6.4	6.1	5.0	0.24	土壌水洗
	図138－229	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.2	4.8	0.22	土壌水洗
	図138－230	134	R－27	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	－	0.19	割れ 破片5 土壌水洗
	図138－231	134	R－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.3	6.2	4.7	0.21	土壌水洗
P512	図125－1	135	S－26	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	6.8	5.0	4.7	0.12	割れ
	図125－2	135	S－26	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	8.3	7.4	6.3	0.55	
	図125－3	135	S－26	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.3	9.8	6.6	0.83	
	図125－4	135	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.6	9.7	8.6	1.26	
	図125－5	135	S－26	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.1	11.8	8.5	1.59	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(38)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位)	土器形式	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	－	備考
								(玉類)／器種	石材	長径(cm)	短径(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	
								(石器・石製品)／器種	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(土製品)／名称	－					
								(骨角器)／種名	部位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(漆・他)／名称	－					
P512	図125－6	135	S－26	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.1	11.0	8.0	1.51	
	図125－7	135	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.9	10.6	7.1	1.04	
	図125－8	135	S－26	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.1	9.0	6.6	0.67	
	図125－9	135	S－26	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	8.3	5.1	0.46	
	図125－10	135	S－27	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.6	8.6	5.5	0.55	
	図125－11	135	S－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	7.2	5.1	0.35	
	図125－12	135	S－27	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.5	4.8	0.18	
	図125－13	135	S－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	－	－	－	－	－	
P513	図139－1	137	S－28	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	125.0	39.0	－	－	
	図139－2	136	S－28	覆土	5	Ⅳc	11	浅鉢	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図139－3	136	S－28	覆土上 覆土	5	Ⅳc	5 2	ツボ・注口（口）	御殿山式相当	7.2	－	－	－	
	図139－4	137		覆土	5	Ⅳc	5	鉢（胴）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図140－5	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑色凝灰岩	8.5	7.5	4.4	0.26	
	図140－6	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.9	6.3	4.7	0.25	
	図140－7	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.6	6.9	4.7	0.28	
	図140－8	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.6	6.5	3.4	0.18	
	図140－9	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.7	6.6	3.6	0.21	
	図140－10	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.5	7.3	4.5	0.33	
	図140－11	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.5	4.2	0.32	
	図140－12	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.5	4.5	0.36	
	図140－13	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.3	7.8	4.7	0.42	
	図140－14	137	S－28	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	8.6	7.1	4.3	0.37	
	図140－15	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.3	10.3	6.1	0.91	
	図140－16	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク化蛇紋岩	12.8	12.2	8.1	1.34	
	図140－17	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.4	4.8	0.72	
	図140－18	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	9.1	5.1	0.67	
	図140－19	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	7.7	4.4	0.38	
	図140－20	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.6	8.1	4.6	0.41	
	図140－21	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.9	7.3	4.5	0.38	
	図140－22	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	7.1	3.7	0.28	
	図140－23	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.5	3.9	0.34	
	図140－24	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.6	3.5	0.32	
	図140－25	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	6.9	4.3	0.30	
	図140－26	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	7.2	7.0	4.5	0.26	
	図140－27	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.4	6.3	3.9	0.22	
	図140－28	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.4	3.1	0.12	
	図140－29	137	S－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.4	4.0	0.23	
	図140－30	137	S－28	覆土	4	玉	1	A－1	コハク	9.1	8.6	5.4	0.28	
	図140－31	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	4.40	4.70	1.05	17.42	
	図140－32	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	3.75	3.05	0.75	6.91	
	図140－33	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	4.30	4.35	1.10	17.15	
	図140－34	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	3.60	4.50	0.80	8.59	
	図140－35	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	4.00	4.35	0.75	10.83	
	図140－36	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	3.70	3.95	1.20	14.18	
	図140－37	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	3.00	5.55	0.65	9.09	
	図140－38	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	3.40	5.05	0.65	9.75	
	図140－39	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	4.60	7.50	1.60	42.64	
	図140－40	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	4.05	5.70	1.15	22.25	
	図140－41	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	3.20	4.00	0.60	4.63	
	図140－42	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	4.90	3.55	1.00	15.15	
	図140－43	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	5.35	4.00	0.80	15.15	
	図140－44	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	6.50	3.70	0.85	10.87	
	図140－45	137	S－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	7.25	3.75	1.60	24.89	
	図140－46	137	S－28	覆土	3	礫石器	1	石Ⅲ	安山岩	(26.60)	19.50	9.40	6700	
P514	図141－1	138	S－28	覆土	5	Ⅶ	23	甕（底）	北大Ⅲ式相当	－	(13.3)	7.5	－	
	図141－2	138	S－28	覆土	5	Ⅶ	6	甕（底）	北大Ⅲ式相当	－	8.1	8.2	－	
P515	図142－1	140	R－28	坑底部	4	石製品	1	石棒	片岩	56.3	3.6	2.75	－	
	図142－2	140	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	15.6	15.5	10.8	3.30	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(39)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P515	図142－3	140	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	13.6	12.7	13.1	3.22	
	図142－4	140	R－28	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	13.7	12.9	17.0	3.97	
	図142－5	140	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.9	11.6	8.0	1.14	
	図142－6	140	R－28	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	10.5	7.1	7.9	0.67	（1／2割れ）
	図142－7	140	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	13.2	12.8	9.6	2.32	
	図142－8	140	R－28	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	13.4	12.9	19.3	4.37	
	図142－9	140	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.5	12.2	8.5	1.89	
	図142－10	140	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.2	11.1	8.3	1.02	
	図143－11	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎	1.70	0.65	0.35	0.06	
	図143－12	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎	1.75	0.70	0.37	0.08	
	図143－13	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎Ｒ３	2.00	0.70	0.37	0.09	
	図143－14	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎Ｌ	2.00	0.70	0.40	0.09	
	図143－15	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎Ｒ	1.80	0.70	0.40	0.15	
	図143－16	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	上顎Ｌ１or２	1.45	0.90	0.30	0.11	
	図143－17	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎Ｒ３	2.00	0.70	0.40	0.09	
	図143－18	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎Ｌ	2.05	0.75	0.42	0.11	
	図143－19	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎Ｒ	1.95	0.60	0.40	0.09	２mぐらいの個体の歯
	図143－20	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎	1.85	0.35	0.40	0.04	半分欠
	図143－21	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎Ｌ	1.70	0.60	0.40	0.07	
	図143－22	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	上顎Ｌ１or２	1.35	0.85	0.32	0.06	
	図143－23	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎	1.80	0.40	0.35	0.04	半分欠
	図143－24	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎Ｒ３	2.00	0.65	0.40	0.10	
	図143－25	140	R－28	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	上顎Ｌ１or２	1.45	0.90	0.30	0.07	
	図143－26	140	R－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	4.10	6.25	1.85	24.38	
	図143－27	140	R－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	3.40	4.70	0.90	12.54	
	図143－28	140	R－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	5.90	4.00	1.05	10.15	
	図143－29	140	R－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	4.55	3.55	1.50	9.58	
	図143－30	140	R－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	4.20	3.40	1.30	7.48	
	図143－31	140	R－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	2.50	2.45	1.20	2.92	
	図143－32	140	R－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	2.55	3.40	0.70	3.21	
	図143－33	140	R－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	3.40	4.20	1.45	10.55	
	図143－34	140	R－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	頁岩	3.50	2.65	0.90	4.20	
	図143－35	140	R－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	obs	4.80	2.05	1.30	11.63	
	図143－36	140	R－28	覆土	3	剥片	1	フレイク	obs	3.80	1.65	0.95	5.14	
	図143－37	140	R－28	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図143－38	140	R－28	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図143－39	140	R－28	覆土	5	Ⅳc	1	浅鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図143－40	140	R－28	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（底）	御殿山式相当	－	－	－	－	
P516	図144－1	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	7.4	3.9	0.36	
	図144－2	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	8.1	4.4	0.36	
	図144－3	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.3	4.4	0.40	
	図144－4	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.1	3.6	0.29	
	図144－5	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.3	3.3	0.34	
	図144－6	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.4	4.0	0.27	
	図144－7	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	7.9	4.4	0.40	
	図144－8	141	R－28	坑底部	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	9.9	7.2	3.8	0.38	
	図144－9	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.5	4.2	0.37	
	図144－10	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	7.1	3.2	0.25	
	図144－11	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	8.5	4.9	0.55	
	図144－12	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	ヒスイ	8.2	7.7	6.1	0.61	
	図144－13	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑色凝灰岩	9.7	8.8	6.5	0.56	
	図144－14	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.2	9.1	5.2	0.67	
	図144－15	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.2	5.6	0.76	
	図144－16	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.9	4.1	0.43	
	図144－17	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑色凝灰岩	8.7	7.7	5.5	0.30	
	図144－18	141	R－28	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	15.0	9.4	5.6	1.20	
	図144－19	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑色凝灰岩	10.1	9.2	6.5	0.53	
	図144－20	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	8.9	5.1	0.62	
	図144－21	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.1	4.8	2.3	0.07	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－1　土坑掲載遺物一覧(40)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P516	図144－22	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.2	5.1	2.4	0.08	
	図144－23	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.5	3.8	0.37	
	図144－24	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.6	3.7	0.33	
	図144－25	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.6	4.5	0.43	
	図144－26	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	7.2	3.8	0.33	
	図144－27	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.0	7.8	3.5	0.38	
	図144－28	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.1	6.0	2.7	0.13	
	図144－29	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.1	5.9	2.7	0.14	
	図144－30	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.1	11.1	5.3	0.96	
	図144－31	141	R－28	坑底部	4	玉	1	B－1	緑色凝灰岩	13.0	8.0	4.1	0.46	
	図144－32	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.1	4.9	2.3	0.07	
	図144－33	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.7	4.6	0.45	
	図144－34	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	7.1	4.0	0.31	
	図144－35	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.6	3.7	0.34	
	図144－36	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.5	2.0	0.11	
	図144－37	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.4	2.8	0.17	
	図144－38	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.9	4.3	0.42	
	図144－39	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.5	3.8	0.39	
	図144－40	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.7	4.1	0.39	
	図144－41	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.8	4.6	0.55	
	図144－42	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.9	3.3	0.27	
	図144－43	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	7.1	3.7	0.30	
	図144－44	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.9	3.1	0.23	
	図144－45	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.1	6.8	3.6	0.26	
	図144－46	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.6	3.0	0.18	
	図144－47	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.5	2.3	0.15	
	図144－48	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.7	2.5	0.13	
	図144－49	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.6	5.5	2.3	0.07	
	図144－50	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.4	2.6	0.14	
	図144－51	141	R－28	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.0	6.5	3.3	0.21	
	図144－52	141	R－28	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.5	1.6	0.4	0.91	
P517	図145－1	143	R－29	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
P518	図146－1	143	R－29	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	65.5	95.0	－	－	
	図146－2	143	R－29	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	113.0	117.5	－	－	
	図146－3	143	R－29	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	134.0	42.0	－	－	
	図146－4	143	R－29	坑底部	4	玉	1	C－2b	コハク	44.0	26.0	12.5	7.05	
	図146－5	143	R－29	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.7	9.9	7.8	1.06	破片2
	図146－6	143	R－29	坑底部	4	玉	1	C－2b	緑泥石岩	31.0	22.5	11.0	7.51	
	図146－7	143	R－29	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	10.3	10.3	－	1.31	破片5
	図146－8	143	R－29	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.7	10.5	6.5	0.94	
	図146－9	143	R－29	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図146－10	143	R－29	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
P519	図149－1	145	S－29	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	60.0	88.0	－	－	
	図149－2	145	S－29	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図149－3	144	S－29	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	38.0	16.5	－	－	
	図149－4	144	S－29	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	31.0	22.0	－	－	
	図149－5	145	S－29	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	49.5	19.0	－	－	
	図149－6	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	1.35	0.90	0.25	0.04	
	図149－7	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	2.10	1.70	0.47	0.16	
	図149－8	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R	1.20	1.10	0.25	0.05	
	図149－9	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.25	1.15	0.30	0.06	
	図149－10	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R	1.15	1.05	0.25	0.04	
	図149－11	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.25	1.00	0.25	0.04	
	図149－12	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R	1.45	1.05	0.25	0.04	
	図149－13	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.80	0.55	0.25	0.02	破片2
	図149－14	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（3）	0.58	0.46	0.12	＜0.01	未実測→実測へ
	図149－15	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	－	0.55	0.50	0.15	0.01	
	図149－16	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	－	0.65	0.50	0.15	0.01	
	図149－17	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	－	0.65	0.55	0.15	0.01	

※分類1：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(41)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P519	図149－18	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	－	0.60	0.35	0.13	0.01	
	図149－19	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（3）	0.87	0.41	0.09	<0.01	
	図149－20	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎	0.90	0.40	0.15	0.01	
	図149－21	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.65	0.33	0.15	0.01	
	図149－22	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	下顎	0.90	0.45	0.25	0.01	
	図149－23	145	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	0.55	0.35	0.15	0.01	
	図149－24	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－4	凝灰質泥岩	16.6	15.4	12.9	3.95	
	図149－25	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.2	9.9	7.8	0.95	
	図149－26	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	8.5	8.4	6.9	0.31	
	図149－27	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.3	5.1	4.0	0.13	
	図149－28	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	8.2	7.5	5.9	0.23	
	図149－29	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	9.3	6.5	0.85	
	図149－30	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.9	9.3	7.3	1.07	
	図149－31	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.0	9.3	8.3	0.89	
	図149－32	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－4	コハク	10.4	9.8	8.5	0.47	
	図149－33	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	9.3	6.4	0.80	
	図149－34	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.3	4.9	0.51	
	図149－35	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.0	9.7	7.0	0.99	
	図149－36	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－2	コハク	7.8	7.6	5.3	0.20	
	図149－37	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	9.0	7.2	0.91	
	図149－38	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.8	9.7	6.9	1.02	
	図149－39	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	9.1	6.4	0.82	
	図149－40	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.3	9.6	7.1	1.04	
	図149－41	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.5	5.7	0.66	
	図149－42	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	9.2	6.7	0.87	
	図149－43	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	7.3	7.2	6.1	0.18	
	図149－44	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－2	コハク	9.6	9.4	5.9	0.21	破片３
	図149－45	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	6.6	6.5	4.4	0.07	割れ
	図149－46	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.9	6.6	0.84	破片２
	図149－47	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.7	5.2	0.45	
	図149－48	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	6.3	6.1	3.0	0.06	
	図149－49	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	凝灰岩	6.1	5.8	2.7	0.09	
	図149－50	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.8	5.7	2.6	0.10	
	図149－51	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.4	5.4	2.6	0.10	
	図149－52	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.6	3.0	0.16	
	図149－53	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.4	3.2	0.24	
	図149－54	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.9	2.9	0.15	
	図149－55	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.7	2.8	0.15	
	図149－56	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.3	5.1	3.6	0.10	
	図149－57	145	S－29	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	7.7	6.4	4.8	0.30	
	図149－58	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	9.0	7.2	0.85	
	図149－59	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.0	6.7	3.9	0.23	
	図149－60	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.8	3.5	0.16	
	図149－61	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－2	緑色凝灰岩	8.6	7.4	5.3	0.33	破片２
	図149－62	145	S－29	坑底部	4	玉	1	C－1ｂ	緑泥石岩	23.0	11.0	7.3	2.61	
	図149－63	145	S－29	坑底部	4	玉	1	B－1	緑色凝灰岩	8.3	6.7	5.2	0.26	
	図149－64	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	9.3	6.1	0.79	
	図149－65	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－7	ヒスイ	10.6	9.9	8.1	1.51	
	図149－66	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.7	10.2	5.6	0.93	
	図149－67	145	S－29	坑底部	4	玉	1	B－2	コハク	10.1	8.5	9.9	0.42	
	図149－68	145	S－29	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.0	9.4	7.9	1.13	歯から出土
	図149－69	145	S－29	坑底部	4	石製品	1	E－3	凝灰質泥岩	39.7	35.0	19.1	26.60	
	図149－70	145	S－29	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図149－71	145	S－29	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図149－72	145	S－29	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（頚）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図147－73	－	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－74	－	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－75	－	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－76	－	S－29	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（2）	－	－	－	<0.01	未実測

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(42)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) － 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) － 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) － 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) － 重さ(g)	備考
P519	図147－77	－	S－29	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（2）	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－78	－	S－29	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（2）	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－79	－	S－29	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－80	－	S－29	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（7）	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－81	－	S－29	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（2）	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－82	－	S－29	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－83	－	S－29	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－84	－	S－29	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－85	－	S－29	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－86	－	S－29	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片（4）	－	－	－	<0.01	未実測
	図147－87	－	S－29	坑底部	2	ｻﾒ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	<0.01	未実測
P520	図150－1	146	S－29	覆土	5	Ⅳc	1	浅鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図150－2	146	S－29	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.02	1.40	0.44	0.85	
	図150－3	146	S－29	覆土上面	3	剥片	1	石鏃	obs	2.10	0.95	0.27	0.36	
P521	図150－4	146	S－30	覆土	5	Ⅳb	2	鉢（底）	手稲～ホッケマ式相当	－	－	－	－	
	図150－5	146	S－30	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.88	1.60	0.47	1.25	
	図150－6	146	S－30	覆土	3	礫石器	1	すり石	安山岩	7.90	5.70	5.90	751	
	図150－7	146	S－30	覆土	3	礫石器	1	すり石	安山岩	6.70	12.30	0.40	495	
P522	図145－1	148	R－29	覆土	5	Ⅳb	22	深鉢（底）	手稲式相当			10.4		
	図145－2	148	R－29	覆土	6	土製品	1	オロシガネ状	－	(10.0)	9.60	1.80	67.71	(破片５接合) 重さはバイサムを含む
P526	図152－1	149	R－32	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	94.0	47.0	－	－	
	図152－2	149	R－32	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	75.0	－	－	－	
	図152－3	149	R－32	坑底部	1	漆	1	環状漆塗製品	－	71.0	－	－	－	
	図152－4	149	R－32	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図152－5	149	R－32	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	17.0	－	－	－	
	図152－6	150	R－32	(点取り)	5	Ⅴa	4	浅鉢	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	同一個体
	図152－7	150	R－32	(点取り)	5	Ⅴa	1	浅鉢（口）		－	－	－	－	
	図152－8	150	R－32	(点取り)	5	Ⅴa	2	キャリパー形	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
	図152－9	150	R－32	(点取り) 覆土	5	Ⅴa	12 24	ツボミニチュア	?	－	－	－	－	
	図152－10	150	R－32	検出面	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	10.20	6.20	1.48	79.76	
	図152－11	150	R－32	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	4.60	3.30	1.32	18.16	
	図152－12	150	R－32	坑底部	4	石製品	1	ミニ石皿	安山岩	6.7	6.2	2.7	118.5	
P527	図151－1	151	P－29	覆土	3	剥片	1	石錐	頁岩	3.90	1.20	0.55	2.14	ベンガラの中から出土
P528	図154－1	151	R－30	覆土１	3	礫石器	1	砥石	砂岩	(8.30)	(6.5)	(0.90)	53	３点接合
P530	図154－1	151	P－29	覆土	5	Ⅲ	1	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	
	図154－2	151	P－29	覆土１	5	Ⅳc	1	ミニチュア（底）	御殿山式相当	－	－	1.6	－	
P531	図155－1	153	K－28	(点取り)	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P532	図155－1	153	L－30	覆土	5	Ⅰb－4	1	深鉢（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
	図155－2	153	L－30	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	御殿山～大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
P534	図155－1	153	U－34	覆土	5	Ⅲ	1	深鉢（口）	－	－	－	－	－	
P537	図158－1	154	P－30	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	(3.2)	(1.6)	(0.45)	1.53	
	図158－2	154	P－30	覆土	3	剥片	1	石鏃	頁岩	4.5	2.1	0.35	2.61	
	図158－3	154	P－30	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	(4.8)	(4.2)	1.0	10.24	
	図158－4	154	P－30	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	8.9	4.8	1.2	20.46	
	図158－5	154	P－30	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	10.1	3.3	1.3	24.59	
	図158－6	154	P－30	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	7.5	2.9	1.4	19.46	
	図158－7	154	P－30	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	7.9	5.0	1.3	36.59	
	図158－8	154	P－30	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	8.4	4.9	1.2	72.55	
	図158－9	154	P－30	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	10.8	4.9	2.3	175.5	
	図158－10	154	P－30	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	9.5	3.1	1.5	84.57	
	図158－11	154	P－30	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	6.6	3.2	0.9	31.82	
	図158－12	154	P－30	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	12.0	3.2	1.3	38.71	
	図158－13	154	P－30	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	13.1	11.2	1.05	143.1	15点接合
	図158－14	154	P－30	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	(9.0)	5.1	(1.0)	43.14	
	図158－15	154	P－30	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	6.8	3.65	0.8	25.38	
P538	図156－1	155	P－29	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(43)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構．グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位)	土器形式	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	－	備考
								(玉類)／器種	石材	長径(cm)	短径(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	
								(石器・石製品)／器種	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(土製品)／名称	－					
								(骨角器)／種名	部位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(漆・他)／名称	－					
P539	図156－1	155	U－34	覆土	5	Ⅰb－4	1	深鉢（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
P540	図159－1	155	L．M－29	覆土	5	Ⅱa	30	尖底土器	静内中野式相当	14.5	11.45	－	－	H41HP1より
	図159－2	155	L－29	覆土1	3	剥片	1	石錐	obs	3.8	2.8	0.5	2.22	H41HP1より
	図159－3	155	L－29	覆土	3	剥片	1	石錐	obs	4.62	3.10	0.79	10.46	
	図159－4	155	L－29	覆土	3	剥片	1	石錐	obs	4.70	3.50	0.48	7.76	
	図159－5	155	L－29	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	5.08	3.90	1.38	19.92	
P541	図160－1	157	U－36	覆土	5	Ⅰb－4	1	深鉢（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
P542	図160－1	157	U－36	覆土	5	Ⅳb	1	深鉢（口）	手稲式相当	－	－	－	－	
P543	図160－1	157	U－36	覆土	5	Ⅱa	1	尖底（口）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P544	図160－1	157	U．V－38	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	
P546	図161－1	157	U－37	覆土	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P547	図161－1	158	V－37	覆土	5	Ⅲ	1	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	
	図161－2	158	V－37	覆土2	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	7.29	2.85	0.67	13.73	
P548	図161－1	158	L－30	（点取り）	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	H41HP2－3より
	図161－2	158	L－30	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	7.7	3.3	1.1	24.55	H41HP2より
P549	図162－1	158	V－36	覆土	5	Ⅰb－4	1	深鉢（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
P552	図162－1	159	S－38	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	50.0	73.0	－	－	
P553	図164－1	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	9.1	7.4	0.89	
	図164－2	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.4	4.0	0.45	
	図164－3	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	8.4	4.1	0.52	
	図164－4	161	R－39	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	11.4	9.6	7.7	1.17	
	図164－5	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	9.1	5.3	0.69	
	図164－6	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.7	5.7	0.52	
	図164－7	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.1	9.6	5.0	0.79	
	図164－8	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.8	3.8	0.39	
	図164－9	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.3	9.3	6.2	0.90	
	図164－10	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.3	9.6	4.9	0.63	
	図164－11	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.0	4.6	0.50	
	図164－12	161	R－39	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	12.6	10.3	11.2	1.89	
	図164－13	161	R－39	坑底部	4	玉	1	C－1b	緑泥石岩	27.0	15.0	11.9	5.79	
	図164－14	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	10.8	10.4	14.8	2.24	
	図164－15	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	12.7	12.3	15.1	2.79	
	図164－16	161	R－39	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	14.5	12.2	19.0	4.81	
	図164－17	161	R－39	坑底部	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	15.9	10.9	9.4	1.84	
	図164－18	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	13.0	12.2	13.0	2.72	
	図164－19	161	R－39	坑底部	4	玉類	1	D－1	緑泥石岩	26.9	15.0	12.1	5.82	
	図164－20	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	11.2	9.8	11.6	2.11	
	図164－21	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.0	4.8	0.52	
	図164－22	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク	8.8	8.2	4.8	0.59	
	図164－23	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.2	4.3	0.49	
	図164－24	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.5	7.4	1.08	
	図164－25	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク	8.5	7.9	4.0	0.41	
	図164－26	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク	9.1	8.3	4.1	0.50	
	図164－27	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.0	9.5	5.8	0.84	
	図164－28	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	9.1	5.8	0.81	
	図164－29	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	7.9	5.5	0.61	
	図164－30	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	7.5	4.3	0.40	
	図164－31	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	9.4	5.6	0.80	
	図164－32	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.6	5.4	0.66	
	図164－33	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	8.2	4.2	0.41	
	図164－34	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.0	8.6	4.9	0.52	
	図164－35	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.8	2.7	0.27	
	図164－36	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	8.9	5.6	0.74	
	図164－37	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	8.6	6.1	0.79	
	図164－38	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.2	10.5	7.4	1.46	
	図164－39	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	9.1	5.7	0.87	
	図164－40	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	8.7	5.5	0.67	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(44)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P553	図164－41	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	8.8	5.7	0.76	
	図164－42	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	7.9	7.0	9.5	0.72	
	図164－43	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－4	赤色変質岩	19.8	19.5	15.6	8.30	
	図164－44	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	17.9	16.9	15.8	6.93	
	図164－45	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	18.7	18.2	12.2	6.02	
	図164－46	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	18.4	17.5	16.1	7.75	
	図164－47	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	20.2	19.9	14.1	8.26	
	図164－48	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	7.6	5.7	0.65	
	図164－49	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	8.3	6.3	0.66	
	図164－50	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.2	8.1	5.7	0.48	
	図164－51	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.8	5.1	0.44	
	図164－52	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.0	4.1	0.23	
	図164－53	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	14.4	13.3	10.0	2.49	
	図164－54	161	R－39	坑底部	4	玉	1	C－3	緑泥石岩	28.5	18.0	25.0	18.00	
	図164－55	161	R－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	13.1	12.7	8.8	2.20	
	図164－56	161	R－39	坑底部	3	礫石器	1	石斧	泥岩	11.6	4.4	1.9	143.1	
	図164－57	161	R－39	覆土	4	石製品	1	石棒	緑色凝灰岩	(37.9)	3.25	2.4	－	
P554	図166－1	162	S－39	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	60.0	84.0	21.5	－	
	図166－2	162	S－39	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	アオザメ	上顎R 2	2.25	1.45	0.55	0.56	2.5m前後 比較的沖合いの種
	図166－3	162	S－39	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R 2	1.00	1.20	0.25	0.05	
	図166－4	162	S－39	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.65	0.70	0.30	0.05	
	図166－5	162	S－39	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.10	0.70	0.35	0.04	
	図166－6	162	S－39	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.10	0.70	0.30	0.03	
	図166－7	162	S－39	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.05	0.55	0.30	0.03	
	図166－8	163	S－39	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	20.0	11.8	16.2	6.67	
	図166－9	163	S－39	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	19.0	12.0	14.1	6.07	
	図166－10	163	S－39	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	18.8	11.1	15.6	6.14	
	図166－11	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.7	12.6	10.2	2.42	
	図166－12	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	14.0	13.5	9.6	2.79	
	図166－13	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	15.3	15.3	11.9	4.40	
	図166－14	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	12.6	12.0	12.6	2.69	
	図166－15	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	14.0	13.9	11.8	3.75	
	図166－16	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.2	11.9	8.6	2.01	
	図166－17	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	13.6	13.3	9.6	2.70	
	図166－18	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.8	11.7	6.6	1.39	
	図166－19	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.1	9.6	6.0	0.81	
	図166－20	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.3	9.9	5.8	0.90	
	図166－21	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.2	11.8	6.1	1.26	
	図166－22	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.5	10.7	7.4	1.44	
	図166－23	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.8	12.1	8.8	2.15	
	図166－24	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.2	12.1	8.0	1.89	
	図166－25	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.1	11.1	7.4	1.48	
	図166－26	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.7	11.5	6.8	1.46	
	図166－27	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.3	11.0	7.6	1.40	
	図166－28	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.6	10.3	6.1	1.12	
	図166－29	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.7	9.4	5.6	0.79	
	図166－30	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.6	9.6	5.5	0.75	
	図166－31	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.2	9.9	5.6	0.81	
	図166－32	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	7.9	5.3	0.53	
	図166－33	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.5	6.4	4.2	0.25	
	図166－34	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.5	6.3	3.9	0.19	
	図166－35	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.7	6.7	3.2	0.22	
	図166－36	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	6.1	6.1	3.7	0.16	
	図166－37	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	7.4	3.9	0.32	
	図166－38	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.9	5.8	2.9	0.12	
	図166－39	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.4	5.2	3.6	0.10	
	図166－40	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	5.7	5.6	2.8	0.12	
	図166－41	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.5	6.2	3.0	0.19	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(45)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P554	図166－42	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.5	6.1	4.1	0.18	
	図166－43	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.5	7.3	3.9	0.27	
	図166－44	163	S－39	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	7.5	6.3	4.9	0.34	
	図166－45	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	9.4	8.7	10.4	1.39	
	図166－46	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.4	9.6	7.5	1.08	
	図166－47	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	8.6	8.2	8.6	0.77	
	図166－48	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.4	5.0	0.52	
	図166－49	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.7	11.0	8.4	1.29	
	図166－50	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	7.8	7.5	0.83	
	図166－51	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	9.3	8.4	9.4	1.10	ベンガラ付着
	図166－52	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.7	9.3	5.9	0.75	
	図166－53	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	7.7	8.1	0.92	ベンガラ着色
	図166－54	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	7.4	6.9	7.8	0.54	ベンガラ着色
	図166－55	163	S－39	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	7.8	6.5	8.3	0.62	ベンガラ着色
	図166－56	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.5	4.5	0.45	
	図166－57	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.6	8.6	5.3	0.57	
	図166－58	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	8.2	3.8	0.43	
	図166－59	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.4	4.4	0.56	
	図166－60	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.5	8.0	4.6	0.40	欠け
	図166－61	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.4	7.4	5.2	0.46	
	図166－62	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	8.0	4.7	0.37	
	図166－63	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.4	5.1	0.60	
	図166－64	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	8.5	4.9	0.57	
	図166－65	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	8.7	5.5	0.63	
	図166－66	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	7.9	5.0	0.53	
	図166－67	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.1	8.0	4.4	0.48	
	図166－68	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.4	4.8	0.55	
	図166－69	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.3	8.3	4.5	0.47	
	図166－70	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	7.4	8.1	0.82	
	図166－71	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.8	8.7	4.1	0.54	
	図166－72	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	7.9	4.6	0.34	
	図166－73	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.2	3.2	0.24	
	図166－74	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.2	6.2	2.7	0.15	
	図166－75	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.6	7.1	4.2	0.29	
	図166－76	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.0	8.8	6.6	0.80	
	図166－77	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	9.0	6.1	0.79	
	図166－78	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.5	4.1	0.39	
	図166－79	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.9	7.8	5.4	0.56	
	図166－80	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.7	9.5	10.2	1.72	
	図166－81	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－4	タルク	11.7	10.9	9.0	1.84	
	図166－82	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク	9.4	9.1	7.3	0.88	
	図166－83	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－6	赤色変質岩	10.6	10.0	11.4	1.40	
	図166－84	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.3	11.0	8.5	1.56	
	図166－85	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク	9.7	9.7	6.5	0.97	
	図166－86	163	S－39	坑底部	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	11.0	8.1	6.3	0.90	
	図166－87	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.8	9.5	7.6	1.28	
	図166－88	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.7	6.7	4.6	0.33	
	図166－89	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	13.8	13.5	8.9	2.69	
	図166－90	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	13.4	12.5	8.5	2.40	
	図166－91	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.4	11.9	6.9	1.68	
	図166－92	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.4	12.0	8.1	1.85	
	図166－93	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.7	11.3	7.1	1.48	
	図166－94	163	S－39	坑底部	4	玉	1	A－1	タルク	10.9	10.5	7.6	1.51	
	図166－95	163	S－39	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	12.3	10.1	10.2	2.00	
P555	図167－1	163	T－39	覆土	5	Ⅰa	1	深鉢（口）	アルトリ式相当	－	－	－	－	
P557	図167－1	165	S－39	(点取り)	5	Ⅳc	33	鉢	堂林式相当	9.3	6.1	2.5	－	1号周堤墓
P558	図168－1	165	S－39	(点取り)	5	Ⅳc	29	鉢	堂林式相当	13.7	11.1	2.8	－	1号周堤墓
	図168－2	165		覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	
P565	図171－1	168	R－41	覆土	5	Ⅴc	2	鉢（底）	晩期後葉	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(46)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P565	図171－2	168	R－41	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	(17.5)	(17.2)	(5.3)	2050.0	
P570	図173－1	170	S－42	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.78	1.51	0.40	1.27	
	図173－2	170	S－42	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	6.05	3.11	0.53	9.86	
	図173－3	170	S－42	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.6	10.4	7.4	1.33	
	図173－4	170	S－42	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.2	10.9	8.6	1.65	
	図173－5	170	S－42	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.8	10.5	7.5	1.31	
	図173－6	170	S－42	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	－	2.08	ネズミにかじられている
	図173－7	170	S－42	覆土上	4	玉	1	－	緑泥石岩	12.9	11.9	－	2.40	ネズミにかじられている
	図173－8	170	S－42	覆土上	4	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	5.0	2.71	ネズミにかじられている
	図173－9	170	S－42	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	14.6	14.1	10.9	3.37	
	図173－10	170	S－42	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	14.6	13.8	13.0	4.09	
	図173－11	170	S－42	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	13.6	13.6	12.4	3.41	
	図173－12	170	S－42	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.8	12.6	10.2	2.38	
	図173－13	170	S－42	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	12.5	11.8	9.8	2.22	
	図173－14	170	S－42	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	13.7	13.2	8.4	2.43	
	図173－15	170	S－42	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.2	10.2	8.6	1.39	
	図173－16	170	S－42	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.7	10.4	6.8	1.09	
P572	図172－1	171	S－43	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.81	1.15	0.35	0.88	
	図172－2	171	S－43	(点取り)	5	Ⅲa	1	深鉢（口）	円筒上層式相当	－	－	－	－	
P574	図174－1	177	U－44	覆土	5	Ⅲ	2	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	
P581	図176－1	177	T－41	坑底部	2	骨角器	1	装飾品	－	(1.15)	1.4	0.3	－	
	図176－2	177	T－41	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.70	1.48	0.41	1.14	
P582	図176－1	177	T－41	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	1.78	1.30	0.21	0.31	
P583	図176－1	177	U－40	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	1.85	1.30	0.28	0.50	
	図176－2	177	U－40	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	6.2	3.8	0.6	11.47	
P589	図178－1	179	U－39	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	17.0	15.8	26.6	10.54	
P590	図178－1	179	U－39	覆土	5	Ⅴc	1	深鉢（胴）	晩期後葉	－	－	－	－	
P591	図178－1	179	T－39	覆土	5	Ⅱa	1	尖底土器（口）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図178－2	179	T－39	覆土	5	Ⅰb－1	1	深鉢（底）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
P592	図179－1	179	U－38	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.2	6.0	3.9	0.14	
	図179－2	179	U－38	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.0	5.8	3.5	0.14	
	図179－3	179	U－38	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	6.8	6.5	3.8	0.20	
	図179－4	179	U－38	覆土	5	Ⅳc	2	片口（口）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	同一個体
	図179－5	179	U－38	覆土	5	Ⅳc	3	片口（口）		－	－	－	－	
P593	図179－1	180	V－39	覆土2上面	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	6.70	2.10	0.71	12.98	
P594	図179－1	180	V－39	覆土2	3	剥片	1	石鏃	obs	2.00	1.40	0.37	0.94	
	図179－2	180	V－38	覆土	5	Ⅳc	2	鉢（胴）	堂林式相当	－	－	－	－	
P597	図180－1	183	X－39	撹乱	3	礫石器	1	台石	安山岩	7.10	9.95	3.55	382	
P599	図181－1	183	T－40	覆土	5	Ⅳa	1	深鉢（胴）	タプコプ式相当	－	－	－	－	
P601	図181－1	183	V－42	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	4.60	4.49	0.65	15.20	
P603	図182－1	185	V－42	覆土2	5	Ⅲb	2	深鉢（口）	－	－	－	－	－	
P605	図182－1	185	T－28	覆土	5	Ⅲb	1	深鉢（胴）	萩ヶ岡2式相当	－	－	－	－	
P607	図183－1	185	P－28	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	珪岩	4.69	2.20	0.99	10.10	
	図183－2	185	P－28	(点取り)	5	Ⅲa	1	深鉢（口）	円筒上層式相当	－	－	－	－	
	図183－3	185	P－28	(点取り)	5	Ⅲa	1	深鉢（口）	円筒上層式相当	－	－	－	－	
P608	図183－1	187	S－28	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	4.42	2.25	0.47	4.38	
	図183－2	187	S－28	(点取り)	5	Ⅳb	1	深鉢（胴Z）	手稲式相当	－	－	－	－	
				覆土			4							
P609	図184－1	187	S－28	(点取り)	5	Ⅳc	10	鉢	堂林式相当	15.6	11.7	4.0	－	
			S－27	MC			2							
			S－28	Ⅱ・MC層			11							
	図184－2	187	S－28	(点取り)	5	Ⅳc	1	鉢	堂林式相当	24.1	15.1	7.0	－	
				覆土1(点取り)			1							
			S－28	Ⅱ・MC層			27							
	図184－3	187	S－28	覆土	5	Ⅳb	6	深鉢（口）	手稲式相当	－	－	－	－	
	図184－4	187	S－28	覆土	5	Ⅳb	1	深鉢（胴）	手稲式相当	－	－	－	－	
	図184－5	187	S－28	覆土	5	Ⅳb	1	深鉢（口）	手稲式相当	－	－	－	－	
	図184－6	187	S－28	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.28	1.15	0.37	0.67	
P610	図185－1	187	N－29	覆土	5	Ⅲb	1	深鉢（胴）	萩ヶ岡2式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(47)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P611	図185－1	189	L－28	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	7.20	2.22	0.82	12.35	
P613	図186－1	189	N－29	(点取り)	5	Ⅲ	6	深鉢（底）	－	－	－	－	－	
P614	図186－1	189	M－33	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.20	0.80	0.20	0.34	
	図186－2	189	M－33	覆土	5	Ⅴb	1	鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	
	図186－3	189	M－33	覆土	5	Ⅴb	1	鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	
P615	図186－1	189	M－33	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.22	2.03	0.48	2.16	
	図186－2	189	M－33	(点取り)	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	
	図186－3	189	M－33	覆土	5	Ⅴb	1	鉢（底）	晩期中葉	－	－	－	－	
	図186－4	189	M－33	(点取り)	5	Ⅴb	1	鉢（底）	晩期中葉	－	－	－	－	
P616	図187－1	191	O－28	覆土（西）	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	obs	4.10	1.60	0.33	2.81	
	図187－2	191	O－28	覆土西	5	Ⅲ	1	深鉢（口）	－	－	－	－	－	
P617	図187－1	191	L－30	覆土	5	Ⅰb－4	1	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
	図187－2	191	L－30	覆土	5	Ⅰb－4	4	尖底土器（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
	図187－3	191	L－30	覆土	5	Ⅱa	4	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P618	図187－1	191	L－30	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.10	1.88	0.49	1.82	
	図187－2	191	L－30	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図187－3	191	L－30	覆土	5	Ⅱa	1	尖底土器（口）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P619	図188－1	191	M－34	覆土	5	Ⅳc	7	深鉢	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図188－2	191	M－34	覆土	5	Ⅳc	2	ツボ・注口（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
P622	図188－1	193	S－36	覆土	5	Ⅲb	1	深鉢（胴）	天神山式相当	－	－	－	－	
P623	図189－1	193	P－31	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.00	1.71	0.21	0.31	フローテーション
	図189－2	193	P－31	(点取り)	5	Ⅳc	1	浅鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図189－3	193	P－31	覆土	5	Ⅱa	1	尖底土器（口）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図189－4	193	P－31	覆土	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P624	図189－1	193	M－29	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	5.90	2.45	0.96	14.36	
P625	図189－1	193	M－30	(点取り) 覆土	5	Ⅰb－4	7 13	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	17.2	－	－	－	
P626	図189－1	193	M－30	(点取り)	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図189－2	193	M－30	覆土	5	Ⅱa	2	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P629	図190－1	195	N－30	(点取り) 覆土	5	Ⅰb－4	3 1	尖底土器（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
P632	図191－1	195	R－36	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.80	1.60	0.38	1.01	
	図191－2	195	R－36	覆土４	3	剥片	1	石鏃	obs	2.60	1.21	0.45	1.34	炭化物集中
	図191－3	195	R－36	覆土４	3	剥片	1	石鏃	obs	2.90	1.25	0.40	1.07	炭化物集中
	図191－4	195	R－36	覆土４	3	剥片	1	石鏃	obs	2.50	1.28	0.35	0.78	
	図191－5	195	R－36	覆土 覆土１ 覆土４	5	Ⅲa	2 1 1	深鉢（口）	円筒上層式相当	－	－	－	－	図８・14と同一個体
	図191－6	195	R－36	覆土	5	Ⅲa	2	深鉢（口）	円筒上層式相当	－	－	－	－	
	図191－7	195	R－36	覆土４	5	Ⅲa	1	深鉢（口）	円筒上層式相当	－	－	－	－	図12と同一個体
	図191－8	195	R－36	覆土	5	Ⅲa	1	深鉢（口）	円筒上層式相当	－	－	－	－	図５・14と同一個体
	図191－9	195	R－36	覆土４	5	Ⅲa	2	深鉢（口）	円筒上層式相当	－	－	－	－	図11と同一個体
	図191－10	195	R－36	覆土４	5	Ⅲa	3	深鉢（口）	円筒上層式相当	－	－	－	－	
	図191－11	195	R－36	覆土４	5	Ⅲa	10	深鉢（胴）	円筒上層式相当	－	－	－	－	図９と同一個体
	図191－12	195	R－36	覆土	5	Ⅲa	2	深鉢（胴）	円筒上層式相当	－	－	－	－	図７と同一個体
	図191－13	195	R－36	覆土	5	Ⅲa	2	深鉢（胴）	円筒上層式相当	－	－	－	－	
	図191－14	195	R－36	覆土 覆土４	5	Ⅲa	4 3	深鉢（胴）	円筒上層式相当	－	－	－	－	図５・８と同一個体
	図191－15	195	R－36	覆土	5	Ⅲa	1	深鉢（底）	円筒上層式相当	－	－	－	－	
P634	図192－1	197	T－37	覆土	5	Ⅲa	1	深鉢（口）	円筒上層式相当	－	－	－	－	
P635	図193－1	197	S－26	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	珪岩	4.40	3.00	0.81	10.68	
	図193－2	197	S－26	覆土	3	礫石器	1	石皿	安山岩	18.60	21.40	10.90	5250	
	図193－3	197	S－26	覆土	3	礫石器	1	石皿	安山岩	34.20	18.60	4.20	3600	
P636	図192－1	197	N－28	覆土	3	礫石器	1	すり石	安山岩	5.60	(7.70)	5.00	(295)	焼成
	図192－2	197	N－28	覆土	5	Ⅱa	3	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P638	図194－1	197	M－33	覆土	5	Ⅴb	1	鉢（底）	晩期中葉	－	－	－	－	
P639	図194－1	199	N－34	覆土	5	Ⅴb	1	鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	
	図194－2	199	N－34	覆土	5	Ⅴb	1	鉢（底）	晩期中葉	－	－	－	－	
	図194－3	199	N－34	覆土	5	Ⅴb	1	鉢（口）	晩期中葉	－	－	－	－	
	図194－4	199	N－34	覆土	5	Ⅳc	2	鉢（底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	5.6	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(48)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構.グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P640	図195－1	199	O－37	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	3.80	1.39	1.03	4.57	
	図195－2	199	O－37	覆土１	5	Ⅲb	2	深鉢（胴）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図195－3	199	N．O－37	覆土１	5	Ⅲb	24	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図196－4	199	N．O－37	覆土	5	Ⅲb	1	深鉢	萩ヶ岡２式相当	30.0	47.3	12.0	－	
				覆土１層			34							
			N－37	Ⅱ層			2							
			O－37	Ⅱ層			4							
P642	図197－1	199	R－28	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図197－2	199	R－28	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
P644	図197－1	201	O－27	(点取り)	5	Ⅲa	1	深鉢（胴）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
P645	図197－1	201	P－32	覆土	5	Ⅰb－3	2	深鉢（胴）	中茶路式相当	－	－	－	－	
P647	図198－1	201	T－37	覆土	5	Ⅱa	3	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P648	図198－1	201	T－37	覆土	5	Ⅱa	1	尖底土器（口）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P650	図199－1	203	Q－37	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P651	図199－1	203	P－30	(点取り)	5	Ⅰb－4	2	尖底土器（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
				覆土			3							
P652	図199－1	203	Q－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図199－2	203	Q－27	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P653	図200－1	203	Q－29	覆土	5	Ⅲb	1	深鉢（口）	－	－	－	－	－	
P654	図200－1	203	Q－37	(点取り)	5	Ⅰb－4	1	尖底土器（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
P655	図200－1	203	N－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図200－2	203	N－32	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図200－3	203	N－32	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P656	図201－1	205	P－29	(点取り)	5	Ⅰb－4	3	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
				覆土			7							
P658	図201－1	205	Q－37	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
P660	図202－1	205	Q－35	覆土上面	5	Ⅲa	1	深鉢（胴）	円筒上層式相当	－	－	－	－	
				覆土			1							
P663	図202－1	207	O－30	(点取り)	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図202－2	207	O－30	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	10.05	4.50	1.60	100	
P665	図204－1	207	S－35	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	4.68	1.95	0.87	8.45	
	図204－2	207	R－35	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	9.30	4.40	1.01	36.44	
	図204－3	207	S－35	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	6.45	2.50	1.22	18.07	
	図204－4	207	S－35	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	6.99	2.65	0.97	15.99	
	図204－5	207	R－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	5.70	2.00	0.55	6.72	
	図204－6	207	S－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	5.10	3.15	0.88	14.55	
	図204－7	207	S－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	4.00	2.70	1.05	12.89	
	図204－8	207	S－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	5.13	2.49	0.34	3.42	
	図204－9	207	S－35	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	7.00	3.60	1.27	24.11	
	図204－10	207	S－35	覆土	3	剥片	1	石槍・ナイフ	頁岩	9.72	3.00	1.29	34.53	
	図204－11	207	S－35	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	8.91	4.50	1.49	99.58	
P666	図205－1	209	O－31	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	(10.0)	(4.4)	2.0	139.3	
	図205－2	209	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｌ	1.25	1.05	0.25	0.06	
	図205－3	209	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	1.05	0.90	0.23	0.04	2m以下のサイズと見られる
	図205－4	209	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｌ	1.60	1.10	0.28	0.13	
	図205－5	209	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	1.60	1.10	0.30	0.08	
	図205－6	209	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｒ	1.50	1.10	0.30	0.09	
	図205－7	209	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎Ｒ	1.05	0.80	0.23	0.04	
	図205－8	209	O－31	覆土上	4	玉	1	Ａ－２	緑泥石岩	14.1	12.6	10.1	2.84	
	図205－9	209	O－31	覆土上	4	玉	1	Ａ－２	緑泥石岩	10.5	9.9	6.4	0.94	
	図205－10	209	O－31	覆土上	4	玉	1	Ａ－２	緑泥石岩	10.4	10.2	7.5	1.09	
	図205－11	209	O－31	覆土上	4	玉	1	Ａ－２	緑泥石岩	10.7	10.4	6.9	1.06	
	図205－12	209	O－31	覆土上	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	10.8	10.1	6.4	1.08	
	図205－13	209	O－31	覆土上	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	9.6	9.5	5.7	0.75	
	図205－14	209	O－31	覆土上	4	玉	1	Ｃ－１ｂ	緑泥石岩	25.5	12.0	6.0	2.27	
	図205－15	209	O－31	覆土上	4	玉	1	Ａ－１	緑泥石岩	8.8	8.8	5.9	0.71	
	図205－16	209	O－31	覆土上	4	玉	1	Ａ－２	緑泥石岩	9.1	8.8	6.3	0.66	
	図205－17	209	O－31	覆土上	4	玉	1	Ａ－２	緑泥石岩	11.1	9.9	7.0	1.17	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(49)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P666	図205－18	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.2	11.0	7.7	1.40	
	図205－19	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.0	11.6	7.0	1.53	
	図205－20	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.9	10.5	5.7	1.00	
	図205－21	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.7	12.3	8.7	2.12	
	図205－22	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.3	11.3	9.7	1.67	
	図205－23	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.7	11.7	6.8	1.42	
	図205－24	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.4	11.5	6.6	1.38	
	図205－25	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.7	12.4	10.0	2.42	
	図205－26	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	13.1	12.7	12.9	3.50	
	図205－27	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－3	緑泥石岩	14.2	12.4	22.1	6.12	
	図205－28	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	15.7	14.8	8.9	3.37	
	図205－29	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.6	12.1	9.3	2.13	
	図205－30	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	13.0	12.2	8.7	1.90	
	図205－31	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.1	11.8	8.9	1.95	
	図205－32	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	9.0	5.2	0.66	
	図205－33	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	13.0	12.9	8.6	1.97	
	図205－34	209	O－31	覆土上	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	34.0	17.0	11.5	7.33	
	図205－35	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.6	11.9	7.6	1.68	
	図205－36	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.3	10.8	7.2	1.32	
	図205－37	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.4	8.6	5.3	0.61	
	図205－38	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.1	10.0	6.6	0.97	
	図205－39	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.1	10.0	5.6	0.88	
	図205－40	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	9.0	5.5	0.69	
	図205－41	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	11.6	11.2	7.1	1.42	
	図205－42	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	14.4	13.9	10.3	2.83	
	図205－43	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.8	10.6	7.0	1.26	
	図205－44	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	13.5	12.1	14.0	3.12	
	図205－45	209	O－31	覆土上	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	26.9	12.9	6.1	2.33	
	図205－46	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.3	12.1	7.2	1.59	
	図205－47	209	O－31	覆土上	4	玉	1	B－1	緑泥石岩	10.6	8.7	5.8	0.86	
	図205－48	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.6	8.2	5.7	0.54	
	図205－49	209	O－31	覆土上	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	9.1	5.8	0.70	
P668	図207－1	209	R－30	(点取り) 覆土	5	Ⅱa	39 1	尖底土器	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
P669	図203－1	211	N－32	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	obs	3.20	3.00	0.75	5.79	
	図203－2	211	N－32	(点取り)	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当					
P670	図203－1	211	M－32	(点取り)	5	Ⅲ	1	深鉢（胴）	－					
P671	図208－1	211	N－36	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	1.82	0.70	0.14	0.17	
	図208－2	211	N－36	覆土	5	Ⅰb－4	1	深鉢（口）	静内中野式相当					
P676	図209－1	213	N－36	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.11	1.51	0.33	0.72	
	図209－2	213	N－36	覆土	5	Vb	1	鉢（底）	晩期中葉	－	－	－	－	
	図209－3	213	N－36	覆土	5	Vb	1	鉢（底）	晩期中葉	－	－	－	－	
	図209－4	213	N－36	(点取り)	5	Vb	2	鉢（底）	晩期中葉	－	－	－	－	
P678	図209－1	213	O－35	覆土3	3	剥片	1	スクレイパー	obs	4.10	2.99	0.37	5.32	
	図209－2	213	O－35	覆土	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P680	図210－1	215	O－30	覆土2	3	礫石器	1	すり石	安山岩	(6.60)	(8.20)	(4.50)	(321)	
	図210－2	215	O－30	覆土3（点取り）	5	Ⅱa	6	尖底土器（口）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P681	図210－1	215	N－35	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.20	1.50	0.59	1.72	
	図210－2	215	N－35	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口～底）	御殿山式相当	－	7.9	－	－	
	図210－3	215	N－35	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図210－4	215	N－35	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
P682	図210－1	215	O－31	(点取り)	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P683	図211－1	215	N－36	(点取り)	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
P684	図211－1	215	R－36	覆土	5	Ⅲa	2	深鉢（口）	円筒上層式相当	－	－	－	－	
	図211－2	215	R－36	覆土	5	Ⅲa	2	深鉢（底）	円筒上層式相当	－	－	7.4	－	
P688	図212－1	218	R－46	(点取り)	5	Ⅲ	1	深鉢（胴）	－					

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(50)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P689	図212－1	218	V－46	坑底部	4	玉	1	－	コハク	12.0	7.9	5.2	0.28	3号周堤墓
P690	図213－1	218	V－45	坑底部	1	漆	1	漆塗製品	－	－	－	－	－	
	図213－2	218	V－45	覆土	3	剥片	1	石鏃	頁岩	5.00	2.55	0.42	3.64	3号周堤墓
	図213－3	218	V－45	坑底部	4	石製品	1	石棒	片岩	52.4	7.0	4.95	－	
P691	図214－1	218	V－45	覆土	5	Ⅲb	1	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	3号周堤墓
P692	図216－1	220	V－45	(点取り)	5	Vc	111	深鉢	晩期後葉	－	(22.8)	13.8	－	
				覆土			1			－	－	－	－	
	図216－2	220	V－45	(点取り)	5	Vc	27	浅鉢	晩期後葉	－	8.1	8.8	－	
				覆土			1			－	－	－	－	
	図216－3	220	V－45	(点取り)	5	Vc	84	深鉢	晩期後葉	－	－	－	－	
	図216－4	220	V－45	覆土	3	剥片	1	石鏃	頁岩	3.70	1.30	0.41	1.56	アスファルト付着
	図216－5	220	V－45	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	5.09	6.60	1.13	44.29	
P693	図214－1	220	N－36	(点取り)	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図214－2	220	N－36	(点取り)	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P696	図217－1	220	Q．R－46	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	珪岩	5.90	2.40	0.99	14.80	
	図217－2	220	Q－46	(点取り)	5	Ⅲb	1	深鉢（口）？	天神山式相当	－	－	－	－	把手のようなものがついている
P697	図218－1	223	M－33	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	6.2	2.8	0.8	9.65	
	図218－2	223	M－33	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	7.1	1.9	0.8	11.32	
	図218－3	223	M－33	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	(4.7)	(3.2)	(0.7)	6.87	
	図218－4	223	M－33	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	(2.2)	(1.3)	0.2	0.48	
	図218－5	223	M－33	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	4.5	3.9	0.6	6.99	
	図218－6	223	M－33	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	4.5	4.2	1.4	15.75	
	図218－7	223	M－33	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	砂岩	(7.5)	(5.4)	2.8	94.69	
P701	図219－1	223	W－41	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	晩期後葉	－	－	－	－	
P702	図219－1	223	U－44	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	obs	3.99	1.89	0.34	1.69	
	図219－2	223	U－44	(点取り)	5	Ⅰb－1	4	深鉢（底）	東釧路Ⅲ式相当	－	－	－	－	
P708	図221－1	225	S－48	坑底	4	石製品	－	石棒	石英片岩	32.4	4.4	3.7	－	
P709	図222－1	225	N－34	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	1.87	1.41	0.23	0.44	
	図222－2	225	N－34	(点取り)	5	Ⅲb	1	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図222－3	225	N－34	(点取り)	5	Ⅲb	20	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図222－4	225	N－34	(点取り)	5	Ⅲb	1	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図222－5	225	N－34	(点取り)	5	Ⅲb	23	深鉢（底）	萩ヶ岡２式相当	－	－	11.8	－	
P713	図224－1	227	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.6	9.1	5.4	0.67	
	図224－2	227	O－31	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	11.4	10.7	10.6	1.75	
	図224－3	227	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.4	8.2	6.8	0.61	
	図224－4	227	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.6	8.1	6.3	0.61	
	図224－5	227	O－31	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.2	8.9	8.4	0.93	
	図224－6	227	O－31	坑底部	4	玉	1	C－1b	緑泥石岩	15.2	9.0	8.2	1.33	
	図224－7	227	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.2	10.0	5.2	0.75	
	図224－8	227	O－31	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.8	10.2	5.8	0.98	
	図224－9	227	O－31	坑底部	4	玉	1	C－2	緑泥石岩	22.0	10.0	8.5	0.91	
	図224－10	227	O－31	坑底部	4	玉	1	C－1b	緑泥石岩	30.5	15.0	6.5	3.12	
	図224－11	227	O－31	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.9	7.9	5.4	0.54	
P715	図225－1	229	O－32	覆土	3	礫石器	1	すり石	砂岩	7.80	(13.00)	6.10	(657)	
	図225－2	228	O－32	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	5.40	3.30	1.12	17.37	
	図225－3	228	O－32	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	7.50	2.40	0.54	11.80	
	図225－4	229	O－32	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	16.10	9.80	4.70	1221	
	図225－5	228	O－32	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	2.35	1.50	0.35	1.12	
	図225－6	228	O－32	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	obs	3.61	1.79	0.59	3.10	
	図225－7	228	P－32	(点取り)	5	Ⅱa	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図225－8	228	P－32	(点取り)	5	Ⅱa	2	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
P716	図223－1	228	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R	0.95	1.20	0.28	0.05	
	図223－2	228	O－31	覆土	5	Ⅳc	1	ミニチュア（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図223－3	228	O－31	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
P718	図226－1	228	Q－37	覆土1	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	obs	6.90	2.02	0.83	10.43	
	図226－2	228	Q－37	(点取り)	5	Ⅰb－3	3	深鉢（胴）	中茶路式相当	－	－	－	－	
P719	図226－1	231	R－37	覆土2	3	剥片	1	石鏃	obs	2.11	0.81	0.23	0.33	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(51)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構．グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm) 器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
Ｐ721	図227－１	231	Ｑ－37	覆土3（点取り） 床面（点取り）	5	Ⅰｂ－４	1 1	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	
Ｐ722	図227－１	231	Ｒ－38	覆土２	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	5.09	2.38	0.55	7.23	
	図227－２	231	Ｒ－38	床面（点取り）	5	Ⅰｂ－４	1	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
Ｐ725	図228－１	231	Ｓ－37	覆土	5	Ⅰｂ－４	3	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
Ｐ725	図228－２	231	Ｓ－37	覆土	5	Ⅰｂ－３	3	深鉢（胴）	中茶路式相当	－	－	－	－	
Ｐ726	図228－１	231	Ｏ－31	（点取り）	5	Ⅱａ	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
Ｐ733	図229－１	233	Ｎ－35	覆土1（点取り）	5	Ⅳｃ	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
Ｐ735	図230－１	233	Ｎ－35	床	3	剥片	1	石鏃	obs	2.50	1.29	0.46	1.10	
Ｐ736	図230－１	235	Ｏ－36	覆土	5	Ⅰｂ－３	1	深鉢（胴）	中茶路式相当	－	－	－	－	
Ｐ737	図230－１	235	Ｎ－36	覆土2（点取り）	5	Ⅰｂ－４	8	尖底土器（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
Ｐ738	図231－１	235	Ｎ－35	覆土6（点取り）	5	Ⅰｂ－３	1	深鉢（胴）	中茶路式相当	－	－	－	－	
	図231－２	235	Ｎ．Ｏ－35	（点取り） 覆土6（点取り）	5	Ⅰｂ－４	1 1	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
	図231－３	235	Ｎ－35	覆土	5	Ⅰｂ－４	2	尖底土器（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
	図231－４	235	Ｎ－35	覆土３	3	礫石器	1	石皿	安山岩	25.30	21.00	4.70	3600	
Ｐ739	図230－１	235	Ｎ－35	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	3.90	2.90	0.65	7.46	
	図230－２	235	Ｎ－35	（点取り）	5	Ⅰｂ－４	1	尖底土器（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
Ｐ742	図232－１	236	Ｔ－38	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	14.1	10.6	1.5	200.3	
	図232－２	236	Ｓ－38	覆土	3	礫石器	1	石斧	蛇紋岩	6.8	5.6	1.2	76.08	
Ｐ743	図232－１	236	Ｕ－40	覆土	5	Ⅰｂ－１	1	深鉢（口）	東釧路Ⅲ式相当	－	－	－	－	
Ｐ748	図234－１	239	Ｓ－40	覆土	5	Ⅳｃ	2	鉢（口）	堂林式相当	－	－	－	－	１号周堤墓
Ｐ750	図235－１	239	Ｔ－40	覆土上	1	漆	1	漆塗製品	－	40.0	－	－	－	１号周堤墓
	図235－２	239	Ｔ－40	覆土上 覆土 Ⅰ層	5	Ⅳｃ	15 38 1	注口	堂林式相当	9.7	18.3	2.6	－	
	図235－３	239	Ｔ－40	覆土 Ⅰ層	5	Ⅳｃ	17 8	深鉢	堂林式相当	－	(11.9)	－	－	
	図235－４	239	Ｔ－40	覆土	5	Ⅳｃ	18	深鉢（口）	堂林式相当	13.8	－	－	－	
Ｐ752	図236－１	241	Ｑ－34	覆土	5	Ⅱａ	2	尖底土器（口）	静内中野式相当	－	－	－	－	
Ｐ753	図236－１	241	Ｑ－35	坑底部	4	玉	1	Ｃ－１	緑泥石岩	38.1	19.0	7.1	4.72	
Ｐ754	図236－１	241	Ｔ－40	坑底部	4	玉	1	Ａ－７	ヒスイ	9.1	8.8	5.8	0.61	１号周堤墓
	図236－２	241	Ｔ－40	坑底部	4	玉	1	Ａ－７	ヒスイ	8.7	8.6	6.8	0.79	
	図236－３	241	Ｔ－40	坑底部	4	玉	1	Ａ－７	ヒスイ	7.6	7.6	6.3	0.49	
	図236－４	241	Ｔ－40	坑底部	4	玉	1	Ａ－７	ヒスイ	6.0	6.0	3.9	0.18	破片２　割れ
Ｐ759	図238－１	243	Ｖ－40	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	14.0	6.0	2.6	384.6	２号周堤墓
Ｐ760	図239－１	243	Ｑ－44	覆土	5	Ⅱａ	2	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図239－２	243	Ｑ－44	覆土	5	Ⅱａ	4	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図239－３	243	Ｑ－44	覆土	5	Ⅱａ	1	尖底土器（胴）	静内中野式相当	－	－	－	－	
	図239－４	243	Ｑ－44	覆土	5	Ⅱａ	1	尖底土器（口）	静内中野式相当	－	－	－	－	
Ｐ761	図238－１	243	Ｑ－36.37	覆土	5	Ⅳｃ	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
Ｐ762	図239－１	245	Ｐ－36	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
Ｐ763	図239－１	245	Ｏ－36	覆土	5	Ⅳｃ	2	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
Ｐ770	図241－１	245	Ｒ－35	覆土	5	Ⅰｂ－４	1	尖底土器（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
Ｐ771	図241－１	247	Ｏ－33	覆土	5	Ⅳａ	1	深鉢（胴）	余市式相当	－	－	－	－	
Ｐ772	図242－１	247	Ｏ－33 Ｏ－34	覆土 Ⅱ層 撹乱 Ⅱ層	5	Ⅳｃ	12 1 1 1	ツボ・注口	三ツ谷式相当	13.5	17.4	4.2	－	赤彩あり
	図242－２	247	Ｏ－33	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	図４と同一個体
	図242－３	247	Ｏ－33	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図242－４	247	Ｏ－33	覆土	5	Ⅳｃ	3	深鉢（胴～底）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	図２と同一個体
Ｐ774	図243－１	247	Ｐ－33	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
Ｐ775	図243－１	247	Ｐ－34	覆土	5	Ⅳｃ	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
Ｐ776	図243－１	247	Ｐ－34	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図243－２	247	Ｐ－34	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図243－３	247	Ｐ－34	覆土	5	Ⅳｃ	3	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図243－４	247	Ｐ－34	覆土	5	Ⅳｃ	1	ツボ・注口（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(52)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P777	図244－1	248	O－32	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	63.5	94.5	－	－	
	図244－2	249	O－32	撹乱	5	Ⅳc	1	鉢（口）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図244－3	249	O－32	覆土	5	Ⅳb	1	－	手稲式相当	－	－	－	－	
P780	図245－1	249	P－34	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	7.10	2.15	0.82	13.14	
P781	図246－1	250	P－34	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	56.5	72.0	－	－	
	図246－2	250	P－34	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	48.5	76.0	－	－	
	図247－3	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.55	0.80	0.35	0.07	
	図247－4	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.42	0.75	0.35	0.06	
	図247－5	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.25	0.80	0.28	0.04	破片２
	図247－6	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.20	0.95	0.30	0.05	
	図247－7	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.20	0.85	0.30	0.04	
	図247－8	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.50	0.80	0.37	0.07	
	図247－9	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.25	1.00	0.32	0.06	
	図247－10	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.35	0.80	0.40	0.06	
	図247－11	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.30	1.00	0.35	0.05	
	図247－12	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.30	1.00	0.33	0.05	
	図247－13	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.50	0.72	0.35	0.07	
	図247－14	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.40	1.05	0.40	0.07	
	図247－15	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.75	1.05	0.40	0.07	
	図247－16	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.35	0.65	0.33	0.06	
	図247－17	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.20	0.80	0.35	0.04	
	図247－18	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.55	0.90	0.38	0.10	
	図247－19	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.50	0.63	0.35	0.06	
	図247－20	249	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	下顎	1.25	0.75	0.40	0.06	破片３
	図247－21	250	P－34	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	－	－	－	1.34	破損ネズミにかじられている
	図247－22	250	P－34	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	17.3	14.6	15.4	5.55	
	図247－23	250	P－34	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	13.1	12.2	13.8	3.01	
	図247－24	250	P－34	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	13.5	13.2	12.5	2.90	
	図247－25	250	P－34	坑底部	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	14.0	13.8	19.3	5.28	
	図247－26	250	P－34	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	11.7	11.3	8.9	1.36	
	図247－27	250	P－34	坑底部	4	玉	1	C－1b	緑泥石岩	45.1	12.0	10.5	7.77	
	図247－28	250	P－34	坑底部	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.2	11.6	8.9	1.57	
	図247－29	250	P－34	坑底部	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	16.5	13.6	17.9	5.33	
	図247－30	250	P－34	坑底部	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	13.0	11.7	11.6	2.32	
	図247－31	250	P－34	坑底部	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.2	6.6	4.6	0.39	
	図246－32	－	P－34	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	破片	－	－	－	＜0.01	未実測
P782	図245－1	250	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図245－2	250	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
P783	図247－1	250	P－33	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	3.92	1.40	0.42	1.62	
P784	図247－1	250	S－29	覆土	5	Ⅰb－4	2	尖底土器（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
P787	図249－1	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	13.9	11.2	18.4	4.11	
	図249－2	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	B－2	緑泥石岩	14.1	10.6	19.2	4.91	
	図249－3	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.9	9.8	6.6	0.94	
	図249－4	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	8.7	5.2	0.60	
	図249－5	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.7	10.1	6.6	0.89	
	図249－6	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.1	8.9	7.8	0.75	
	図249－7	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	9.8	9.4	6.9	0.64	
	図249－8	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.4	9.0	3.3	0.37	
	図249－9	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	C－1	緑泥石岩	21.0	9.9	4.9	1.20	
	図249－10	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	－	緑泥石岩	22.1	9.9	6.2	1.17	割れ　破片４　内２点とNo34の１点接合
	図249－11	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	16.9	16.5	10.9	5.22	
	図249－12	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	C－2b	緑泥石岩	20.0	12.0	7.5	2.16	
	図249－13	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	タルク	10.2	9.8	3.4	0.51	
	図249－14	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	8.9	8.6	5.2	0.61	
	図249－15	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	7.8	7.7	6.0	0.35	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(53)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構，グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P787	図249－16	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.6	9.9	5.6	0.86	
	図249－17	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	8.7	8.7	6.0	0.52	
	図249－18	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.8	9.1	5.9	0.91	
	図249－19	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.5	8.9	3.8	0.55	
	図249－20	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.3	9.2	4.9	0.53	
	図249－21	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	－	緑泥石岩	7.1 7.8	4.0 6.0	4.8 3.5	0.45 0.29	割れ 破片５（内２個実測）
	図249－22	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.1	10.0	10.5	1.50	
	図249－23	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	10.5	10.0	9.8	1.13	
	図249－24	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.8	9.8	7.7	0.86	
	図249－25	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	9.8	8.8	9.0	1.19	
	図249－26	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－6	緑泥石岩	9.9	9.4	10.3	1.25	
	図249－27	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	12.5	12.2	11.3	1.68	
	図249－28	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	－	緑泥石岩	10.0	8.0	9.3	0.60	割れ
	図249－29	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	13.0	12.9	6.8	1.70	
	図249－30	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.0	11.8	6.6	1.35	
	図249－31	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	10.6	10.0	7.4	1.30	
	図249－32	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.9	10.8	9.2	1.70	
	図249－33	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－4	緑泥石岩	11.1	11.0	10.4	1.29	
	図249－34	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	－	緑泥石岩	8.0	8.0	4.8	0.36	割れ　破片２内１点 №10と接合
	図249－35	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	9.2	8.7	6.9	0.87	
	図249－36	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	10.9	10.5	7.6	1.25	
	図249－37	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑色凝灰岩	9.8	9.2	5.7	0.66	
	図249－38	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	タルク	10.0	9.6	5.4	0.79	
	図249－39	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.0	10.8	5.7	1.03	
	図249－40	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.5	12.1	8.3	1.55	
	図249－41	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.6	11.9	8.2	1.87	
	図249－42	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	タルク	10.7	9.8	5.4	0.90	
	図249－43	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	11.1	11.1	8.6	1.71	
	図249－44	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.2	12.2	8.4	1.84	
	図249－45	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.2	12.2	9.0	1.85	
	図249－46	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	12.2	12.0	6.8	1.47	
	図249－47	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.7	12.7	9.8	2.28	
	図249－48	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.1	12.0	4.9	1.16	
	図249－49	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.1	11.6	8.7	1.93	
	図249－50	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.3	12.2	11.0	2.42	
	図249－51	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	14.1	13.8	9.9	2.55	
	図249－52	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.7	12.6	11.1	2.69	
	図249－53	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.6	12.4	8.6	1.79	
	図249－54	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－2	緑泥石岩	13.0	12.2	9.6	2.19	
	図249－55	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	12.7	11.7	11.2	2.63	
	図249－56	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	14.2	12.4	11.9	2.69	
	図249－57	253	Q－33	覆土中	4	玉	1	A－1	緑泥石岩	14.3	14.2	13.3	4.40	
P789	図248－1	252	P－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P793	図251－1	255	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.40	1.40	0.32	0.07	
	図251－2	255	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎	1.30	1.15	0.32	0.07	
	図251－3	255	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.23	1.33	0.35	0.09	
	図251－4	255	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L4,5,6	2.00	2.15	0.45	0.19	
	図251－5	255	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L	1.15	1.25	0.35	0.07	
	図251－6	255	O－31	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎L4,5,6	1.50	1.30	0.35	0.09	
P794	図250－1	255	M－30	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	1.90	1.40	0.24	0.48	
	図250－2	255	M－30	覆土	5	Ⅲb	1	深鉢（口）	天神山式相当	－	－	－	－	
P797	図252－1	255	Q－27	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（底）	御殿山式相当	－	－	－	－	
P798	図252－1	257	Q－34	覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（頚）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	貼付の所貫通孔
P799	図252－1	257	N－32	坑底部	2	サメ歯穿孔品	1	ホホジロザメ	上顎R	0.60	0.65	0.18	0.01	土壌水洗で出土 （フローテーション）
	図252－2	257	N－32	坑底部	4	玉	1	C－1	コハク	24.0	9.0	8.3	1.01	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－１　土坑掲載遺物一覧(54)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構．グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
P799	図252－3	257	N－32	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	7.7	7.2	6.0	0.14	破片3
	図252－4	257	N－32	坑底部	4	玉	1	A－1	コハク	7.1	6.4	3.8	0.11	
	図252－5	257	N－32	坑底部	4	玉	1	A－2	コハク	8.9	8.1	5.7	0.27	
P800	図253－1	257	N－32	覆土	5	Ⅰa	1	深鉢（胴）	アルトリ式相当	－	－	－	－	
	図253－2	257	N－32	覆土	5	Ⅰb－4	1	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
	図253－3	257	N－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（底）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P802	図253－1	257	U－42	(点取り)	5	Ⅶ	1	甕（口）	擦文　九世紀	－	－	－	－	
	図253－2	257	U－42	(点取り)	5	Ⅶ	1	甕（胴）	擦文　九世紀	－	－	－	－	
P804	図254－1	257	N－30	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	1.61	1.40	0.23	0.37	
	図254－2	257	N－30	覆土	5	Ⅰb－4	2	尖底土器（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
P806	図255－1	259	O－32	坑底部	4	玉	1	C－2	ヒスイ	39.5	24.0	12.5	17.06	
	図255－2	259	O－32	坑底部	4	玉	1	C－1	ヒスイ	45.0	26.0	25.0	34.76	
	図255－3	259	N．O－32	覆土	3	礫石器	1	石斧	泥岩	16.7	5.3	2.8	440.4	
P808	図256－1	260	O－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図256－2	260	O－34	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P809	図256－1	260	O－32	坑底部	1	漆	1	漆塗櫛	－	41.5	83.0	－	－	
	図256－2	260	O－32	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P814	図257－1	263	N－32	覆土	5	Ⅰb－4	1	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
	図257－2	263	N－32	覆土	5	Ⅲb	1	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
P815	図258－1	263	N－32	坑底部	4	玉	1	A－5	緑泥石岩	7.1	6.7	21.3	1.40	
	図258－2	263	N－32	坑底部	4	玉	1	A－5	緑泥石岩	6.8	6.2	22.2	1.31	
	図258－3	263	N－32	坑底部	4	玉	1	A－5	緑泥石岩	7.0	7.0	22.8	1.37	
	図258－4	263	N－32	坑底部	4	玉	1	A－2	緑色凝灰岩	9.7	9.3	6.5	0.39	
	図258－5	263	N－32	坑底部	4	玉	1	A－7	ヒスイ	10.1	9.8	6.6	1.09	
	図258－6	263	N－32	坑底部	4	玉	1	A－7	ヒスイ	8.5	8.4	6.7	0.70	
	図258－7	263	N－32	坑底部	4	玉	1	－	緑泥石岩	10.0	7.0	6.1	0.24	割れ
P817	図259－1	263	M－32	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	obs	4.30	2.60	1.11	11.40	
P818	図259－1	263	O－32	覆土	3	剥片	1	石錐	obs	3.89	1.85	1.23	5.43	
	図259－2	263	O－32	覆土	5	Ⅰb－4	1	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
P824	図260－1	265	M－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図260－2	265	M－31	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
P825	図261－1	265	S－28	覆土	3	礫石器	1	すり石	安山岩	8.90	17.80	5.00	1111	
P827	図261－2	265	S－32	覆土	5	Ⅰb－3	1	深鉢（胴）	中茶路式相当	－	－	－	－	
P834	図263－1	266	U－41	(点取り)	5	Ⅰa	1	深鉢	アルトリ式相当	－	(10.2)	7.0	－	
	図263－2	266	U－41	覆土	5	Ⅰa	3	深鉢（口）	アルトリ式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－2　遺構別掲載遺物一覧　ＴＰ

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	地文及び主な調整 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
ＴＰ12	図362－1	269	Ｍ－18	覆土	5	Ⅲｂ	2	深鉢（口）	北筒式相当	－	－	－	－	
	図362－2	269		覆土	5	Ⅲｂ	1	深鉢（胴）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図362－3	269		覆土	5	Ⅲｂ	1	深鉢（底）	－	－	－	－	－	
ＴＰ13	図362－1	269	Ｌ－24	覆土	5	Ⅲｂ	1	深鉢（胴）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図362－2	269		覆土	5	Ⅲｂ	1	深鉢（胴）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
ＴＰ14	図362－1	269	Ｎ－29	覆土	5	Ⅲｂ	1	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図362－2	269		覆土	5	Ⅲｂ	1	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
ＴＰ15	図362－1	269	Ｐ－36	覆土	5	Ⅲｂ	1	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図362－2	269		覆土	5	Ⅲｂ	1	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図362－3	269		覆土	5	Ⅲｂ	3	深鉢（胴）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
	図362－4	269		覆土	5	Ⅲｂ	7	深鉢（胴）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
ＴＰ16	図362-1-2	269	Ｕ－39	覆土	5	Ⅰｂ－4	1	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
	図362-1-1	269		覆土	5	Ⅰｂ－4	4	尖底土器（胴）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	

表Ⅳ－3　遺構別掲載遺物一覧　焼土(1)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	地文及び主な調整 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
Ｆ162	図362－1	272	Ｑ－17	覆土	5	Ⅳａ	1	深鉢（胴部）	余市式相当	－	－	－	－	
Ｆ165	図362－1	272	Ｒ－18		5	Ⅳｃ	1	深鉢（口縁）	堂林式相当	－	－	－	－	
Ｆ166	図362－1	272	Ｐ－18	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口縁）	堂林式相当	－	－	－	－	
Ｆ167	図362－1	272	Ｏ－18		5	Ⅳｃ	1	深鉢（口縁）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
Ｆ168	図362－1	271	Ｏ－19	フク土	6	土製品	2	土偶片	－	3.90	2.20	0.85	3.76	フローテーションより（接合）
	図362－2	272	Ｏ－19	覆土	5	Ⅳｃ	1	ツボ・注口（底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	1.5	－	
Ｆ169	図362－1	272	Ｏ－18		5	Ⅳｃ	1	深鉢（口縁）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図362－2	272			5	Ⅳｃ	3	深鉢（胴部）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
Ｆ170	図362－1	272	Ｐ－18		5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図362－2	272			5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図362－3	272			5	Ⅳｃ	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
Ｆ172	図362－1	272	Ｐ－16	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
Ｆ173	図362－1	272	Ｐ－16		5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
Ｆ176	図362－1	272	Ｏ－17	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（底）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
Ｆ177	図362－1	272	Ｏ－17	覆土	5	Ⅳｃ	5	鉢（口～底）	堂林～三ツ谷式相当	11.2	3.1	5.1	－	
Ｆ179	図362－1	272	Ｏ－16	Ⅱ層	5	Ⅴａ	1 4	深鉢（口）	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
	図362－2	272			5	Ⅵ	2	深鉢（口）	後北Ｃ$_2$Ｄ	－	－	－	－	
Ｆ180	図363－1	272	Ｏ－16		5	Ⅳｃ	1	ミニチュア（口）	御殿山～大洞Ｂ式相当	2.4	－	－	－	ミニチュア
	図363－2	272			5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図363－3	272			5	Ⅳｃ	3	深鉢（口）	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
	図363－4	272			5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
Ｆ188	図363－1	271	Ｍ－19		2	骨角器	1	骨針	－	(0.30)	0.20	0.15	0.01	フローテーション
	図363－2	272			5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図363－3	272			5	Ⅳｃ	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図363－4	272			5	Ⅳｃ	2	深鉢（底）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図363－5	272			5	Ⅵ	2	深鉢（口）	後北Ｃ$_2$Ｄ	－	－	－	－	
Ｆ189	図363－1	271	Ｍ－19	Ⅱ層	4	玉	1	Ａ－1	緑泥石岩	0.80	0.79	0.53	0.34	
	図363－2	272			5	Ⅳｃ	2	鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図363－3	272			5	Ⅳｃ	1	浅鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図363－4	272			5	Ⅳｃ	1	ツボ・注口（胴）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図363－5	272			5	Ⅳｃ	2	深鉢（底）	御殿山式相当	－	－	－	－	
Ｆ193	図363－1	272	Ｍ－19		5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図363－2	272			5	Ⅳｃ	4	深鉢（底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
Ｆ194	図363－1	271	Ｌ－19	(Ⅱ)	6	玉	1	土玉	－	0.60	0.75	0.70	0.26	
	図363－2	271	Ｌ－19	(Ⅱ)	6	玉	1	土玉	－	0.60	0.75	0.70	0.25	
Ｆ194	図363－3	272	Ｌ－19		5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	御殿山～大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
Ｆ195	図363－1	272	Ｌ－19	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
Ｆ197	図363－1	272	Ｌ－19		5	Ⅳｃ	2	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－3　遺構別掲載遺物一覧　焼土(2)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構,グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	地文及び主な調整 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
F198	図363－1	272	L－19	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図363－2	272		覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図363－3	272		覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F203	図363－1	272	R－19	覆土	5	Ⅳa	1	深鉢（胴）	タプコプ式相当	－	－	－	－	
F204	図363－1	272	R－25	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図363－2	272		覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図363－3	272		覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F206	図363－1	271	Q－22		2	骨角器	1	骨針	－	(0.75)	0.30	0.25	0.03	フローテーション
	図363－2	272		覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図363－3	272		覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F208	図363－1	272	Q－22	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図363－2	272		覆土	5	Ⅳc	1	浅鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図363－3	272		覆土	5	Ⅳc	7	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図363－4	272		覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F210	図363－1	272	R－20	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F215	図363－1	271	P－22		2	骨角器	1	骨針	－	(1.10)	0.30	0.25	0.07	フローテーション
F216	図363－1	271	P－22	フク土	5	玉	1	土玉	－	0.45	1.00	1.00	0.42	
	図363－2	271	P－22	フク土	5	玉	1	土玉	－	0.45	1.10	1.10	0.46	
F220	図363－1	272	O－22		5	Ⅳa	1	深鉢（胴）	余市式相当	－	－	－	－	
F221	図363－1	273	O－22		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F222	図363－1	273	O－22	覆土	5	Ⅳc	3	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F223	図364－1	273	P－22		5	Ⅵ	1	深鉢（胴）	後北C$_2$D	－	－	－	－	
F225	図364－1	273	Q－23		5	Ⅲb	1	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	
F226	図364－1	273	Q－23	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図364－2	273		覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F227	図364－1	273		覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F228	図364－1	273	Q－24	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F231	図364－1	271	S－22		4	玉	1	A－1	緑泥石岩	0.60	0.55	0.39	0.15	フローテーション
F232	図364－1	273	P－23	覆土	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図364－2	273		覆土	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴～底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	ミニチュア
	図364－3	273		覆土	5	Ⅵ	1	深鉢（口）	後北C$_2$D	－	－	－	－	
F233	図364－1	273	P－23	覆土	5	Ⅲb	1	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
F236	図364－1	273	P－23	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F238	図364－1	273	P－25		5	Ⅳc	1	鉢（口）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
F239	図364－1	271	T－25	フク土	6	玉	1	土玉	－	0.65	0.70	0.65	0.25	フローテーションより
	図364－2	271	T－25	フク土	6	玉	1	土玉	－	0.65	0.80	0.70	0.30	フローテーションより
	図364－3	271	T－25	フク土	6	玉	1	土玉	－	0.60	0.65	0.70	0.22	フローテーションより
	図364－4	273	T－25	覆土	5	Ⅳc	1	鉢（底）	堂林～御殿山式相当	－	－	1.5	－	
F241	図364－1	273	P－23	覆土	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F242	図364－1	271	P－23	復土	6	玉	1	土玉	－	0.30	0.45	0.45	0.07	フローテーションより
F243	図364－1	273	R－22		5	Ⅳc	1	深鉢（底）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F245	図364－1	273	T－23		5	Ⅳc	2	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図364－2	273			5	Ⅳc	6	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F246	図364－1	273	S－22		5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F247	図364－1	273	R－25		5	Ⅳc	2	深鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F248	図364－1	273	R－26		5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F249	図364－1	273	Q－26		5	Ⅳc	1	鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図364－2	273			5	Ⅳc	1	鉢（口）	御殿山式相当	－	－	－	－	
	図364－3	273			5	Ⅶ	1	深鉢（口）	北大Ⅲ式相当	－	－	－	－	
F251	図364－1	271	Q－22		2	骨角器	1	骨針	－	(0.70)	0.45	0.35	0.14	フローテーション
	図364－2	273	Q－22		5	Ⅲb	1	深鉢（口）	柏木川式相当	－	－	－	－	
F255	図364－1	273	S－23		5	Ⅳc	2	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F258	図364－1	273	R－25		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F261	図364－1	273	N－22		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図364－2	273			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F262	図364－1	273	S－24		5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F265	図364－1	273	N－20		5	Ⅳc	3	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F266	図364－1	271	R－26		2	骨角器	1	骨針	－	(0.50)	0.30	0.15	0.01	フローテーション
	図364－2	271			2	骨角器	1	骨針	－	(1.00)	0.30	0.25	0.06	フローテーション
	図364－3	273			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図364－4	273			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図364－5	273			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－3　遺構別掲載遺物一覧　焼土(3)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構．グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	地文及び主な調整 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
F269	図365－1	271	Q－26		2	骨角器	1	骨針	－	(7.80)	0.50	0.50	1.23	
	図365－2	273			5	Ⅳb	2	深鉢（胴）	手稲式相当	－	－	－	－	
F270	図265－1	273	N－21		5	Ⅳc	1	浅鉢（底）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F271	図265－1	273	M－20		5	Ⅳc	2	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F272	図365－1	273	M－21		5	Ⅳc	2	深鉢（底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図365－2	273			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図365－3	273			5	Ⅳc	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F274	図365－1	271	N－23	MC中	6	玉	1	土玉	－	0.75	0.84	0.80	0.46	フローテーション
	図365－2	273			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F277	図365－1	273	M－21		5	Ⅳc	3	深鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F278	図365－1	271	O－24	MC	6		1	土玉	－	0.55	0.60	0.60	0.18	フローテーション
	図365－2	273			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図365－3	273			5	Ⅳc	2	ツボ・注口（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図365－4	273			5	Ⅳc	3	ツボ・注口（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F279	図365－1	274	O－24		5	Va	1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図365－2	274			5	Va	1	深鉢（胴）	大洞B式相当	－	－	－	－	
F280	図365－1	271	N－25	MC	6	土製品	1 1	土製垂飾 その他	－	4.35	2.00	0.85	7.15	9／5のその他と接合 フローテーション
	図365－2	274			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図365－3	274			5	Ⅳc	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図365－4	274			5	Ⅳc	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図365－5	274			5	Ⅳc	2	ツボ・注口（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図365－6	274			5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F285	図365－1	274	N－24		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図365－2	274			5	Ⅳc	2	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図365－3	274			5	Ⅳc	1	鉢（底）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	2.5	－	
	図365－4	274			5	Ⅳc	4	深鉢（底）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	6.0	－	
	図365－5	274			5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F286	図365－1	274	N－24		5	Ⅳc	1	注口（頸）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図365－2	274			5	Ⅳc	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F287	図365－1	274	N－24		5	Ⅵ	1	深鉢（胴）	後北C$_2$D	－	－	－	－	
	図365－2	274			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F288	図365－1	274	O－24		5	Ⅳc	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F289	図365－1	274	M－25		5	Ⅳc	1	鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F290	図365－1	274	M－25		5	Ⅵ	1	深鉢（口）	赤穴式相当	－	－	－	－	
F291	図365－1	271	M－25	MC	6	玉	1	土玉	－	1.10	1.15	0.50	0.64	フローテーション
	図365－2	274			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F292	図366－1	274	M－25		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F293	図366－1	274	M－25		5	Ⅵ	2	深鉢（胴）	後北C$_2$D	－	－	－	－	
F294	図366－1	271	M－22	ⅡB	6	玉	1	土玉	－	(1.70)	(0.70)	1.10	1.10	フローテーション
	図366－2	271		ⅡB	6	土製品	1	耳栓	－	0.30	0.45	0.40	0.06	フローテーション
	図366－3	274			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図366－4	274			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図366－5	274			5	Ⅵ	1	深鉢（胴）	後北C$_2$D	－	－	－	－	
F295	図366－1	274	M－22		5	Ⅳc	2	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F296	図366－1	274	M－22		5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F297	図366－1	274	L－25 L－24	Ⅰ層 Ⅱ層	5	Va	4 3 2	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	同一個体
	図366－2	274	L－25 L－24	Ⅰ層	5		6 3	深鉢（口）		－	－	－	－	
	図366－3	274	L－25		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F299	図366－1	274	L－24	Ⅰ層 Ⅱ層	5	Va	2 1 1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	同一個体
	図366－2	274		Ⅰ層	5		5 1	深鉢（口）		－	－	－	－	
	図366－3	274		Ⅰ層 Ⅱ層	5		1 2 2	深鉢（胴）		－	－	－	－	
	図366－4	274			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
	図366－5	274			5	Ⅳc	1	浅鉢（口）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	

※分類1：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－3　遺構別掲載遺物一覧　焼土(4)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構.グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	土器形式 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) 長さ(mm)	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) 幅(mm)	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) 厚さ(mm)	－ 重さ(g) 重さ(g) 重さ(g)	備考
F299	図366－6	274	L－24		5	Ⅳc	4	キャリパー	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
	図366－7	274			5	Ⅳc	1	深鉢（底）	御殿山～大洞B式相当	－	－	10.4	－	
F302	図366－1	275	I－25		5	Ⅲ	1	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	
F308	図366－1	275	K－25		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F309	図366－1	275	K－20		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F310	図366－1	271	K－20	ⅡB	6	土製品	1	スタンプ形	－	4.15	(3.30)	(2.90)	21.92	フローテーション
	図366－2	275			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図366－3	275			5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F311	図367－1	271	K－20	MC	6	土製品	1	耳栓	－	(2.65)	(1.50)	2.75	7.21	
	図367－2	275			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
	図367－3	275			5	Va	5	浅鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
F312	図367－1	271	K－20		2	骨角器	1	環状垂飾	－	1.10	0.75	0.40	0.14	フローテーション
	図367－2	275			5	Ⅳc	2	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図367－3	275			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図367－4	275			5	Ⅳc	3	深鉢（口）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
	図367－5	275			5		6	深鉢（口）		－	－	－	－	同一個体
	図367－6	275			5		4	深鉢（胴）		－	－	－	－	
F313	図367－1	275	K－20		5	Va	2	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図367－2	275			5	Va	1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図367－3	275			5	Va	1	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図367－4	275			5	Va	1	鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図367－5	275			5	Va	3	浅鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図367－6	275			5	Ⅳc	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図367－7	275			5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
	図367－8	275			5	Ⅳc	2	深鉢（底）	御殿山～大洞B式相当	－	－	8.2	－	
F314	図367－1	271	K－21	MC	6	玉	1	土玉	－	0.80	0.97	0.90	0.54	フローテーション
	図367－2	271		MC	6	土製品	1	耳栓	－	3.46	3.50	1.70	20.72	北埋248に報告
	図367－3	275			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図367－4	275			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図367－5	275			5	Ⅳc	2	深鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図367－6	275			5	Va	2	浅鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図367－7	275			5	Ⅳc	1	深鉢（底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図368－8	275			5	Ⅳc	5	鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F315	図368－1	275	K－21		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F317	図368－1	271	L－23	Ⅱ	6	玉	1	土玉	－	0.54	0.65	0.60	0.19	フローテーション
F318	図368－1	275	K－23		5	Ⅳc	3	深鉢（胴）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
	図368－2	275			5	Va	2	深鉢（口）	大洞B式相当	－	－	－	－	
	図368－3	275			5	Ⅳc	1	深鉢（底）	御殿山～大洞B式相当	－	－	－	－	
F321	図368－1	271	K－22	Ⅱ		玉	1	土玉	－	0.60	0.65	0.65	0.22	フローテーション
F323	図368－1	275	K－22		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F325	図368－1	271	K－20		2	骨角器	1	弭形骨角器	－	1.50	0.90	0.40	0.36	フローテーション
	図368－2	275			5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図368－3	275			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F326	図368－1	275	L－25		5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F327	図368－1	275	K－21		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F328	図368－1	275	M－24		5	Ⅳc	3	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F329	図368－1	276	M－24		5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図368－2	276			5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F332	図368－1	276	O－27	ⅡB層上	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F334	図368－1	271	L－26	MC上	6	玉	1	土玉	－	0.20	0.53	0.50	0.06	
F336	図368－1	276	M－26		5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F337	図368－1	276	M－26		5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F339	図368－1	276	O－27	ⅡB層	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図368－2	276		ⅡB層	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図368－3	276		ⅡB層	5	Ⅳc	1	鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F340	図368－1	276	O－27	ⅡB層上	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図368－2	276		ⅡB層上	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F341	図368－1	276	O－27	ⅡB層上	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F342	図368－1	276	O－27	ⅡB層上	5	Ⅳb	1	深鉢（底）	－	－	－	－	－	
F343	図368－1	276	O－27	ⅡB層上	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－3　遺構別掲載遺物一覧　焼土(5)

遺構	図番号	図版番号	接合遺構.グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位)	地文及び主な調整	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	－	備考
								(玉類)／器種	石材	長径(cm)	短径(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	
								(石器・石製品)／器種	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(土製品)／名称	－					
								(骨角器)／種名	部位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(漆・他)／名称	－					
F344	図368－1	276	Q－26	ⅡB層上	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F347	図368－1	276	S－26	焼土下	5	Ⅳb	1	注口（胴）	ホッケマ式相当	－	－	－	－	同一個体
	図368－2	276		焼土下	5	Ⅳb	1	注口（胴）		－	－	－	－	
	図368－3	276		焼土下	5	Ⅳc	5	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図368－4	276		ⅡB層上	5	Ⅳc	1	ツボ・注口（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F348	図368－1	276	T－26	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
F349	図368－1	276	T－26	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F354	図368－1	276	S－29	Ⅱ層	5	Ⅳb	1	深鉢（胴）	手稲式相当	－	－	－	－	
F358	図368－1	276	R－27	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F363	図368－1	276	P－28	Ⅱ層下	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F366	図368－1	276	L－26	Ⅱ層上	5	Ⅵ	1	深鉢（胴）	後北C_2D	－	－	－	－	
F370	図368－1	276	N－26	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F371	図368－1	276	S－27	Ⅱ層	5	Ⅳb	1	キャリパー（口）	手稲式相当	－	－	－	－	
F373	図369－1	276	N－27	Ⅱ層	5	Ⅲb	1	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
F375	図369－1	276	O－28	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
F378	図369－1	276	O－30	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F379	図369－1	276	N－31	Ⅱ層	5	Ⅳa	1	深鉢（口）	余市式相当	－	－	－	－	
F381	図369－1	276	N－29	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図369－2	276		Ⅱ層	5	Ⅳc	2	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F382	図369－1	276	N－29	Ⅱ層	5	Ⅲb	1	深鉢（胴）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	
F383	図369－1	276	N－30	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図369－2	276		Ⅱ層	5	Ⅳc	2	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図369－3	276		Ⅱ層	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図369－4	276		Ⅱ層	5	Ⅳc	3	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F384	図369－1	276	N－31	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図369－2	276		Ⅱ層	5	Ⅳa	5	深鉢（口）	余市式相当	－	－	－	－	同一個体
	図369－3	276		Ⅱ層	5		8	深鉢（胴）		－	－	－	－	
F385	図369－1	276	M－31	盛土中	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図369－2	276		盛土中	5	Ⅳc	2	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F386	図369－1	277	M－31	ⅡB層上	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F391	図369－1	277	L－30	Ⅱ層	5	Ⅲb	1	深鉢（口）	天神山式相当	－	－	－	－	
F393	図369－1	277	L－29	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F394	図369－1	277	L－30	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F395	図369－1	277	Q－27	Ⅱ層	5	Ⅳb	1	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	
F396	図369－1	277	L－29	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F398	図369－1	277	L－29	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F399	図369－1	277	M－29	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F407	図369－1	277	N－29	Ⅱ層下	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F409	図369－1	277	R－30	Ⅱ層	5	Ⅲ	1	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	
F416	図369－1	277	S－30	Ⅱ層	5	Ⅳc	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F417	図369－1	277	S－30	Ⅱ層	5	Ⅰb－4	1	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
F418	図369－1	277	R－27	Ⅲ層	5	Ⅳc	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F432	図369－1	277	R－28	覆土中	5	Ⅲb	1	深鉢（口）	萩ヶ岡２式相当	－	－	－	－	H57より
F435	図369－1	277	Q－36	上面	5	Ⅳc	1	鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
F438	図369－1	277	R－28	Ⅱ層	5	Ⅲb	1	深鉢（口）	天神山式相当	－	－	－	－	
F441	図369－1	277	N－37		5	Ⅲ	1	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	
F452	図369－1	277	P－43	11層より上	5	Ⅰb－4	1	尖底土器（口）	東釧路Ⅳ式相当	－	－	－	－	
F453	図369－1	277	P－32	Ⅱ層	5	Ⅲ	1	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	

表Ⅳ－4　遺構別掲載遺物一覧　集石

遺構	図番号	図版番号	接合遺構.グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位)	地文及び主な調整	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	－	備考
								(玉類)／器種	石材	長径(cm)	短径(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	
								(石器・石製品)／器種	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(土製品)／名称	－					
								(骨角器)／種名	部位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
								(漆・他)／名称	－					
集石1	図304－1	269	M－40	Ⅱ層	3	礫石器	1	敲き石	縞頁岩	5.4	5.2	3.8	173.8	
集石1	図304－2	269	M－40	Ⅱ層	3	礫石器	1	敲き石	不明	7.0	6.1	4.8	282.2	
集石1	図304－3	269	M－40	Ⅱ層	3	礫石器	1	敲き石	泥岩	9.1	7.1	4.3	322.2	
集石1	図304－4	269	M－40	Ⅱ層	3	礫石器	2	敲き石	泥岩	7.3	5.9	1.9	85.8	接合
										8.1	6.5	2.7	210.8	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－５　遺構別掲載遺物一覧　ＳＰ

遺構	図番号	図版番号	接合遺構.グリッド	層位	※分類Ⅰ	分類Ⅱ	点数	(土器)／器種(部位) (玉類)／器種 (石器・石製品)／器種 (土製品)／名称 (骨角器)／種名 (漆・他)／名称	地文及び主な調整 石材 石材 － 部位 －	口径(cm) 長径(cm) 長さ(mm) － 長さ(mm) －	器高(cm) 短径(cm) 幅(mm) － 幅(mm) －	底径(cm) 厚さ(cm) 厚さ(mm) － 厚さ(mm) －	－ 重さ(g) 重さ(g) － 重さ(g) －	備考
ＳＰ2525	図370－１	280	Ｍ－17	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2529	図370－１	280	Ｍ－21	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2641	図370－１	280	Ｋ－19	覆土	6	土製品	1	耳栓	－	2.00	2.01	2.09	9.09	
	図370－２	280	Ｋ－19	覆土	5	Ⅳｃ	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
	図370－３	280		覆土	5	Ⅳｃ	1	鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2643	図370－１	280	Ｋ－19	覆土	5	Ⅳｃ	1	鉢（底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2733	図370－１	280	Ｑ－22	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2769	図370－１	280	Ｎ－21	覆土	5	Ⅳｃ	3	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2792	図370－１	280	Ｍ－20	覆土	5	Ⅳｃ	1	浅鉢（口）	御殿山～大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2836	図370－１	280	Ｍ－22	覆土	5	Ⅳｃ	1	鉢（胴）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2853	図370－１	280	Ｍ－22	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2858	図370－１	280	Ｍ－22	覆土	5	Ⅳｃ	2	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2862	図370－１	280	Ｍ－22	覆土	5	Ⅳｃ	1	鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2885	図370－１	280	Ｌ－22	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（底）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2899	図370－１	280	Ｌ－22	覆土	5	Ⅳｃ	2	深鉢（口）	三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2965	図370－１	280	Ｎ－24	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ2993	図370－１	280	Ｎ－24	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	三ツ谷～御殿山式相当	－	－	－	－	
			Ｍ－25	ＭＣ層			1							
			Ｎ－24	ＭＣ層			2							
			Ｏ－25	ＭＣ層			1							
ＳＰ3053	図370－１	280	Ｍ－23	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3187	図370－１	280	Ｋ－23	覆土	5	Ⅳｃ	2	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3260	図370－１	280	Ｋ－18	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3267	図370－１	280	Ｋ－18	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3289	図370－１	280	Ｏ－27	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（洞）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3298	図370－１	280	Ｏ－28	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3303	図370－１	280	Ｏ－28	覆土	5	Ｖａ	1	鉢（口）	大洞Ｂ式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3350	図370－１	279	Ｐ－35	覆土	3	礫石器	1	石斧未成品	泥岩	20.0	7.7	3.65	830	擦り切痕
ＳＰ3309	図371－１	280	Ｏ－29	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3316	図371－１	280	Ｍ－26	覆土	5	Ⅳｃ	3	深鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3353	図371－１	279	Ｍ－28	覆土	5	Ⅳｃ	9	鉢	堂林～三ツ谷式相当	12.9	8.2	3.7	－	
				Ⅱ層			5							
ＳＰ3380	図371－１	280	Ｒ－28	覆土	5	Ⅳｃ	3	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3399	図371－１	280	Ｎ－35	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3430	図371－１	279	Ｘ－38	覆土	3	礫石器	1	すり石	砂岩	(8.6)	(9.7)	(4.9)	(480)	
ＳＰ3493	図371－１	279	Ｖ－42	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	13.4	8.1	2.5	305	
ＳＰ3503	図371－１	279	Ｖ－41	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	6.45	3.4	1.15	15.52	
ＳＰ3512	図371－１	279	Ｕ－41	覆土	3	剥片	1	つまみ付きナイフ	頁岩	(4.5)	2.2	0.6	(5.46)	
ＳＰ3516	図371－１	280	Ｗ－40	覆土	5	Ⅲｂ	1	深鉢（底）	－	－	－	－	－	
	図371－２	279	Ｗ－40	覆土	3	剥片	1	スクレイパー	頁岩	3.9	3.8	1.7	21.21	
ＳＰ3521	図371－１	280	Ｕ－39	覆土	5	Ⅳａ	1	深鉢（胴）	余市式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3524	図371－１	279	Ｔ－39	覆土	3	剥片	1	石鏃	obs	(2.8)	1.7	0.42	(1.51)	
ＳＰ3591	図371－１	280	Ｎ－31	覆土	5	Ⅳｃ	1	鉢（胴）	堂林～御殿山式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3594	図371－１	280	Ｎ－31	覆土	5	Ⅳｃ	3	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
	図371－２	280		覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3552	図371－１	279	Ｒ－35	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	9.8	9.3	2.35	279	
ＳＰ3607	図371－１	279	Ｎ－32	覆土	3	礫石器	1	砥石	砂岩	11.9	7.4	2.15	167	2個体
ＳＰ3609	図371－１	280	Ｏ－32	覆土	5	Ⅳａ	1	深鉢（胴）	タプコプ式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3697	図371－１	280	Ｓ－28	覆土	5	Ⅲ	1	深鉢（胴）	－	－	－	－	－	
ＳＰ3727	図371－１	280	Ｓ－29	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（口）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	
ＳＰ3738	図371－１	280	Ｒ－26	覆土	5	Ⅳｃ	1	深鉢（胴）	堂林～三ツ谷式相当	－	－	－	－	

※分類１：1.漆製品　2.骨角器　3.石器　4.石製品／玉類　5.土器　6.土製品　7.その他

表Ⅳ－6　土坑出土遺物一覧(1)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オロシガネ状土製品	焼成粘土	鹿の子瓜	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗櫛片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	石鏃ナイフ	石錐	石錐ナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	石斧製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク	石器計	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	石製品骨角器	全体合計	備考
P337	T－15・16	Ⅲ	前　期	218	180	13	2	239	1			5						247															1			1	1					1						1		4	9								256	静内中野式相当
P338	R・S－17	Ⅲ	後期後葉	113	72	11			2			3						5																															3	3								8	P339を切る
P339	R・S－17	Ⅲ	後期後葉	92	(57)	8																																																						柱穴
P340	R－16	Ⅲ	中　期	80	56	74			21									21																													5		10	15								36	
P341	R・S－16	Ⅲ	中　期	116	80	78			1									1																											1			1		14	16								17	柱穴
P342	S－16	Ⅲ	前　期	47	43	65		1										1																																									1	
P343	Q－16	Ⅲ	中　期	64	62	26			43									43																															6	6								49	
P344	Q－16	Ⅲ	後期後葉	54	50	32			1			3						4																															1	1								5	
P345	Q－16	Ⅲ	中　期	108	73	17			12									12																															6	6								18	
P346	P－17	Ⅲ	中　期	125	90	60			21									21																													1			1								22	
P347	P－18	Ⅲ	晩期中葉	76	62	34			2			71		7				80																			1											1		9	11								91	
P348	O－16	Ⅱ	後北C2D	(65)	(63)	19						11				2		13																													3		13	16								29	焼土とC2D土器
P349	O－18	Ⅳ	晩期中葉	118	89	14			3			32		2				37																															9	9								46	
P350	R－16	Ⅲ	後期後葉	52	51	11			4			1						5																															2	2								7	
P351	O・P－17	Ⅲ	中　期	154	130	12			18			2						20																																								20	
P352	M－19	Ⅳ	後北C2D	88	73	24			2			91				4		97						1		1																							1	1								99	
P353	M－19	Ⅳ	後北C2D	92	88	20			1			80		2		5		88																1													1		8	10								98	
P354	N－18・19	Ⅲ	早　期	376	335	28	16					5						21																															1	1								22	
P355	Q－20	Ⅲ	晩期前葉	74	69	24			2			128						130						1		1										1											1		23	25								156	
P356	P－20	Ⅲ	晩期前葉	92	75	60			2			4						6																															3	3								9	
P357	Q－20	Ⅲ	晩期前葉	66	64	9			1			27						28															1														2		8	11								39	
P358	R・S－20・21	Ⅲ	中　期	190	170	16			32									32																																								32	
P359	L－19	Ⅳ	晩期中葉	83	64	30						4		8				12																			1												3	4								16	
P360	R・S－21	Ⅱ	中　期	186	164	18			22									22																																								22	
P361	P－21	Ⅳ	晩期前葉	103	66	30			13			2						15																															1	1								16	
P362	P－21	Ⅳ	晩期前葉	101	73	31																																																						
P363	P－21	Ⅳ	晩期前葉	63	61	12			6									6																																								6	人歯
P364	T－22	Ⅱ中	後期中葉	95	(63)	11					3							3																															1	1								4	
P365	S－22	Ⅱ中	中　期	84	57	31			6									6																																								6	
P366	R・S－22	Ⅱ中	晩期前葉	178	68	76			6			3						9																													1		1	2								11	
P367	P－23	Ⅲ上	晩期前葉	112	83	17			9			1						10																																								10	
P368	O・P－23	Ⅲ上	晩期前葉	74	70	15			2			7						9																													1			1								10	
P369	Q－23	Ⅲ	晩期前葉	115	83	33			11		1	159						171																			1												20	21								192	
P370	T－23・24	Ⅱ中	後期中葉	179	129	27			3		1							4																															5	5								9	
P371	O－23	Ⅲ上	晩期前葉	79	66	21						28						28															1																5	6								34	
P372	S・T－24	Ⅲ下	中　期	132	118	16			1									1																															1	1								2	
P373	M－19・20	Ⅳ	中　期	161	97	8			70			4						74																																								74	
P374	M－20	Ⅳ	晩期前葉	114	102	20						2						2																																								2	
P375	N－21・22	Ⅳ	中　期	100	81	48			10									10																													2		3	5								15	
P376	N－23	Ⅲ	晩期前葉	112	110	29			4			107	1					112						1		1							2				1												28	31								144	
P377	R－26	Ⅱ下	晩期前葉	128	108	56		3	3			142						148						1		1										1	1							1						11	14								163	
P378	M・N－23	Ⅱ下	晩期前葉	197	168	18	1		26			56						83																												1			21	22								105	
P379	O－24	Ⅳ	晩期前葉	86	80	19						63						63																															9	9								72	
P380	N－23・24	Ⅳ	晩期前葉	153	140	20			2			366	6					374						1		1																					2		34	36								411	
P381	L・M－21	Ⅳ	晩期前葉	92	64	6						22						22																															17	17								39	
P382	L・M－20・21	Ⅳ	晩期前葉	76	59	7						10						10																															2	2								12	
P383	L－21	Ⅳ	晩期前葉	109	86	15			1			201	2					204		1						1							1		1		1										1			32	36								241	
P384	L－21	Ⅳ	晩期前葉	104	86	16			1			93	1					95															3				1										1		20	25								120	
P385	M－25	ⅡB	後北C2D	135	129	19	1		2			148				11		162																															20	20								182	赤穴式出土
P386	K－22・23	Ⅱ下	後北C2D	66	55	16						39	2			4		45			1					1									1		1											2		16	20	1						1	67	
P387	K－21	Ⅲ	晩期前葉	104	83	8						26			3			29																								1							1	2								31	
P388	K－22・23	Ⅲ	後北C2D	74	72	14						42				4		46																			1									1			2	4								50	
P389	J・K－20	Ⅲ	前　期	(154)	86	22		193				3						196																									3		1		98			102								298	
P390	J・K－22	Ⅱ下	晩期前葉	64	56	6			1			157						158						1		1							2				1										4		27	34								193	
P391	K－25・26	Ⅲ	—	106	77	29																																																						
P392	P－19	Ⅲ	晩期中葉	80	47	34																																																						
P393	O・P－24・25	Ⅲ	晩期前葉	76	68	9						1						1																																								1	

表Ⅳ－6　土坑出土遺物一覧(2)

| 遺構番号 | グリッド | 検出面 | 時期 | 長径(cm) | 短径(cm) | 深さ(cm) | 土器 | | | | | | | | | | | | 土器計 | 土製品 | | | | | | | 土製品計 | 漆塗製品 | | | | | | 漆塗製品計 | 石器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 石器計 | 石製品 | | | その他 | 骨角器 | | 石鯨骨鏃 | 全体合計 | 備考 |
|---|---|---

表Ⅳ－6　土坑出土遺物一覧(3)

| 遺構番号 | グリッド | 検出面 | 時期 | 長径(cm) | 短径(cm) | 深さ(cm) | 土器 | | | | | | | | | | | | 土器計 | 土製品 | | | | | | | 土製品計 | 漆塗製品 | | | | | 漆塗製品計 | 石器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 石器計 | 石製品 | | | その他 | 骨角器 | | 石錘・礫 | 全体合計 | 備考 |
|---|---|---

表Ⅳ－6　土坑出土遺物一覧(4)

| 遺構番号 | グリッド | 検出面 | 時期 | 長径(cm) | 短径(cm) | 深さ(cm) | 土器 | | | | | | | | | | | | | | 土器計 | 土製品 | | | | | | | 土製品計 | 漆塗製品 | | | | | 漆塗製品計 | 石器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 石器計 | 石製品 | | | その他 | 骨角器 | | 石錘・礫 | 全体合計 | 備考 |
|---|---|---

表Ⅳ－6　土坑出土遺物一覧(5)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オロシ・ガネ状土製品	焼成粘土	鹿の子盆	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗櫛片	環漆製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	石槍ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	剥片製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク	石器計	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	石製品骨角器他	全体合計	備考
P565	R－41	Ⅳ	晩期後葉	146	84	40	1		1			1			3			6																										1						2	3								9	
P566	R－42	Ⅳ	晩期後葉	82	78	8	1											1																													1			1								2	
P567	S－41・42	Ⅳ	後期後葉	74	48	13																																																						
P568	S・T－41	Ⅳ	後期後葉	102	46	8			3									3																																3	3								6	
P569	S・T－42	Ⅳ	後期後葉	102	74	41			7	2								9																			1	1													2								11	ベンガラ
P570	S－42	Ⅳ	後期後葉	114	98	21	2		23									25															1			1									1			5		27	35	14						14	74	
P571	S・T－43	Ⅳ	後期後葉	109	62	24		3	10									13															1																	375	376								389	
P572	S－43	Ⅳ	後期後葉	72	62	22			2									2															1									2								10	13								15	
P573	S・T－43	Ⅳ	後期後葉	96	70	8																																																						
P574	T・U－44	Ⅳ	後期後葉	198	90	－			2									2																																									2	ベンガラ
P575	V－43	Ⅳ	後期後葉	(90)	(67)	8			3									3																																14	14								17	ベンガラ
P576	V－43	Ⅳ	後期後葉	82	42	8																																																						ベンガラ
P577	T・U－43	Ⅳ	後期後葉	146	68	18		7				2						9															2			1	1													8	12								21	遺体層ベンガラ含む
P578	U－43	Ⅳ	後期後葉	114	64	21																																																						遺体層　歯
P579	T－42	Ⅳ	後期後葉	120	56	17			1									1																																4	4								5	遺体層
P580	T・U－42	Ⅳ	後期後葉	133	65	9																																																						
P581	T－41	Ⅳ	後期後葉	116	54	30			9									9															2				1													6	9						1	1	19	遺体層　歯
P582	T・U－40・41	Ⅳ	後期後葉	89	54	36		1	24									25															4				1													10	15								40	遺体層　ベンガラ　歯
P583	T・U－40	Ⅳ	後期後葉	102	44	34		4	24									28															5			1	2											2		6	16								44	遺体層　歯
P584	U－40	Ⅳ	後期後葉	90	56	50		3	29			1		2				35																			1											1		14	16								51	歯
P585	U－40	Ⅳ	後期後葉	101	56	16			2									2																																5	5								7	遺体層
P586	U－40	Ⅳ	後期後葉	110	90	38																																										1		1	2								2	遺体層
P587	U－39・40	Ⅳ	後期後葉	106	64	65		2	7									9																			1													4	5								14	歯
P588	U－39	Ⅳ	晩期後葉	69	60	16																																																						
P589	U－39	Ⅳ	後期後葉	121	85	58			5			2						7																																2	2	1						1	10	遺体層
P590	U－39	Ⅳ	晩期後葉	81	74	17		1	2			6			1			10																														1		2	3								13	
P591	T－39	Ⅳ	後期後葉	91	60	43	1	6	12			1						20																								1		1				1		19	22								42	
P592	U－38	Ⅳ	後期後葉	142	88	63						14						14																																3	3	3						3	20	遺体層
P593	V－38・39	Ⅳ	後期後葉	130	96	23	2	20	15			2						39																		1	2													14	17								56	
P594	V－38・39	Ⅳ	後期後葉	142	89	28	1	18	38	4		10						71															4				2							1				1		16	24								95	
P595	V・W－38	Ⅳ	後期後葉	71	39	4																																																						
P596	T－25	Ⅳ	中　期	(52)	50	22						3						3																			1		1										7	895	904								907	
P597	X－38・39	Ⅳ	晩期後葉	91	76	19	1		4									5																													1			4	5								10	
P598	X－38	Ⅳ	―	62	58	11			1									1																														1			1								2	
P599	T・U－40	Ⅳ	後期前葉	109	46	5				1								1																																										1	
P600	U－41杭	Ⅳ	後期後葉	(102)	58	72																																																							2号周堤墓
P601	U・V－42	Ⅳ	後期後葉	108	71	38		6	14									20																			1													3	4								24	
P602	U・V－42	Ⅳ	後期後葉	114	64	52			1									1																														1			1								2	
P603	V－41・42	Ⅳ	中　期	90	62	6			1									1																			1														1								2	
P604	P－28	Ⅳ	中　期	89	60	34			3									3																																									3	P550に切られる
P605	T－28	Ⅲ	中　期	90	78	19			1									1																																									1	
P606	T－34	Ⅳ	―	116	79	24																																																						
P607	P－28	Ⅳ	中　期	(86)	79	47			29									29																			5											2		36	43								72	
P608	S・T－28	Ⅲ	後期中葉	62	57	22			5		5							10																			1											1	1	2	5								15	
P609	S－27・28	H47上	後期中葉	88	81	37			3		26	37						66															1									1							1	8	11								77	中期の住居の下から検出
P610	N－29	H28上	晩期前葉	105	82	70			39			2						41																																11	11								52	中期の住居H48を切る
P611	L－28	Ⅳ	前　期	104	94	24																														1															1								1	
P612	U－36	Ⅲ	―	82	56	16																																																						
P613	N－29	Ⅲ	中　期	(164)	191	16			58			1						59																																									59	炭化物
P614	M－33	Ⅲ	晩期中葉	78	75	12			2			2		5				9															1																	1	2								11	
P615	M－33	Ⅲ	晩期中葉	82	61	30	2		6			15		13				36															1				3											2		17	23								59	
P616	O－28	Ⅲ	晩期前葉	121	64	80			23			2						25																		1														5	6								31	深い柱穴が2つ並んだもの
P617	L・M－30	Ⅲ	前　期	127	120	44	15	13	18									46															1																	12	13								59	
P618	L－29・30	Ⅳ	晩期前葉	106	80	19	1	3	3			29						36															1				1													10	12								48	
P619	M－34	Ⅲ	後期後葉	120	105	29	2		2	2		51						57															1				3											2	1	22	29								86	
P620	T－34	Ⅲ	中　期	60	44	10		1	2									3																																									3	
P621	T－34	Ⅲ	―	162	100	23																																												1	1								1	

表Ⅳ－6　土坑出土遺物一覧(6)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状製品	オコボ状土製品	焼成粘土	鹿角製品	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗櫛柳片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	植刃ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	剥片製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク	石器計	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	石製品	全体合計	備考
P622	S－36	Ⅲ	晩期後葉	52	50	12			4			2						6															1																	1								7	
P623	P－31	Ⅲ	後期後葉	60	51	9		6	1			15						22															1																34	35								57	
P624	M－29	Ⅳ	前　期	112	81	21		1										1																		1													1								2	
P625	M－30	Ⅲ	早　期	98	82	28	27		135									162																																								162	
P626	M－30	Ⅲ	前　期	76	74	26		4										4																														1			1							5	
P627	M・N－30	Ⅲ	—	80	64	15																																										1			1							1	
P628	M－29・30	Ⅳ	—	66	50	27																																																					
P629	N－30	Ⅲ	—	106	78	23	8											8																															1		1							9	
P630	M－30	Ⅲ	早　期	102	79	12	4											4																														2			2							6	
P631	S－34	Ⅲ	—	72	45	14																																																				H38ＨＰ13をP631に
P632	R－36	Ⅲ	中　期	218	162	28	1		461			3						465															9	6		1	4													934	954							1419	ＦＣ集中・炭化物集中
P633	U－36	Ⅲ	—	66	44	18																																																					
P634	T－36・37	Ⅲ	中　期	123	96	27			1									1																														3		1	4							5	
P635	S－26	Ⅲ	後期中葉	118	107	32			3			7						10																			2							2			1		5								15	粘土
P636	N・O－28	Ⅲ	前　期	114	102	44		14										14																										1					1								15	
P637	N－28	Ⅲ	—	84	60	12						1						1																																								1	
P638	M－33	Ⅲ	晩期中葉	66	48	14								7				7																			1											1			2							9	
P639	N－34	Ⅲ	晩期中葉	115	98	35			1			68		31				100																				1											1	17	19							119	
P640	N・O－37	Ⅲ	中　期	213	165	13		3	141									144															1				2											2		3	8							152	Ｈ56を切る
P641	N－29	Ⅳ	前　期	88	59	30																																																					
P642	R－28	Ⅲ	後期末葉	69	60	50		1				20						21																			1		1	1								1		3	7							28	
P643	V－37	Ⅲ	—	104	90	60																																										1			1							1	
P644	O－27	Ⅳ	中　期	73	60	13			1									1																																								1
P645	P－31・32	Ⅲ	早　期	173	148	11	3											3																																2	2							5	
P646	V－37	Ⅲ	前　期	80	60	42																																												1	1							1	
P647	T－37	Ⅲ	前　期	245	194	15		5										5															2				1											1		4	8							13	Ｐ634・648と切りあう
P648	T－37	Ⅲ	前　期	103	(46)	14		1										1																																3	3							4	Ｐ647と切りあう
P649	S・T－37	Ⅲ	前　期	150	(77)	6																																												1	1							1	Ｈ54と切りあう
P650	Q－37	Ⅲ	後北C2D	58	53	18						2						2																																1	1							3	
P651	P－30	Ⅲ	早　期	56	48	16	8											8																														1			1							9	
P652	Q－27	Ⅲ	晩期前葉	56	42	12						15						15																						1										1								16	
P653	Q－29	Ⅲ	後期後葉	73	62	21	1		1			2						4																																5	5							9	
P654	Q－37・38	Ⅲ	早　期	78	71	19	6											6																		1												1			2							8	
P655	N－32・33	Ⅲ	後期後葉	125	(84)	88	1	1	51			67						120															1				1					3						2		18	25							145	歯
P656	P－29	Ⅲ	早　期	143	90	14	57											57																																1	1							58	
P657	T－37	Ⅲ	後北C2D	64	56	20																																																				
P658	Q－37	Ⅲ	後北C2D	66	63	28						14						14																			1												12	13							27	
P659	N－27	Ⅳ	早　期	142	71	22																																																				
P660	Q－35	H61床	中　期	104	80	18			7									7															1				2											2		9	14							21	
P661	Q－37		後期後葉	91	(60)	24			1									1																																								1	Ｐ650と切りあう
P662	O－29・30	Ⅲ	—	64	51	21																																																				
P663	O－30	Ⅲ	前　期	128	104	43		5										5																						1		2						2			5							10	Ｈ55（後中）に切られる
P664	L－31	Ⅲ	前　期	84	61	41																																																				Ｐ461（後）に切られる
P665	R・S－35	Ⅲ	前　期	102	79	30			1									1																1		5	8			2								1	1	1	19							20	
P666	O－31	Ⅱ	後期後葉	138	111	52		1	4		2	4						11																						1								14		1	16	42				6		48	75	
P667	P・Q－32	Ⅳ	—	76	56	39																																																				
P668	R－30	Ⅲ	早　期	86	77	24	47											47																																								47	
P669	N－32	Ⅲ	後北C2D	78	74	29		1	1			15						17																		1														3	4							21	
P670	M－32	Ⅲ	中　期	77	75	26			2									2																																								2	
P671	N－36	Ⅳ	中　期	108	84	20	5	2				5						12															1		1		1											3		3	9							21	
P672	M－32	Ⅲ	後期後葉	53	42	16			1									1																																								1	
P673	P－32	Ⅳ	早　期	82	63	13																																																				
P674	R－30	Ⅳ	—	61	60	10																																										4			4							4	
P675	R－28	Ⅳ	中　期	62	60	11																																																				
P676	N－36	Ⅲ	晩期中葉	(60)	60	15			10			18		4				32															1						1									1	6	9							41	
P677	欠番	—	—	—	—	—																																																					元P677はT P15へ　H66そば
P678	O－35	Ⅲ	前　期	220	176	24	3	20	4			6						33															1				1											4		16	22							55	

表Ⅳ－6　土坑出土遺物一覧(7)

| 遺構番号 | グリッド | 検出面 | 時期 | 長径(cm) | 短径(cm) | 深さ(cm) | 土器 | | | | | | | | | | | | 土器計 | 土製品 | | | | | | | 土製品計 | 漆塗製品 | | | | | 漆塗製品計 | 石器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 石器計 | 石製品 | | | その他 | 骨角器 | | 石錘・礫 | 全体合計 | 備考 |
|---|---|---

表Ⅳ－6　土坑出土遺物一覧(8)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器											土器計	土製品							土製品計	漆塗製品					漆塗製品計	石器																		石器計	石製品			その他	骨角器		貝類	全体合計	備考
							Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群			Ⅴ群			Ⅵ群	Ⅶ群		土玉	垂飾	耳栓	環状製品	オロシ状土製品	焼成粘土	歯ブラシ		漆塗櫛	漆塗櫛片	環漆製品	漆塗玉	その他		石鏃	石錐ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	石斧未製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	磨石類その他	礫	その他	フレイク		玉類	石棒	石製品		サメ歯	骨角器			
P732	欠番	－	－	－	－	－																																												1	1							1	遺物は包含層へ
P733	M・N－35	Ⅳ	晩期中葉	86	73	12						6						6																																1	2							8	
P734	O－36	Ⅳ	—	50	47	9																																																			
P735	N－35	Ⅳ	中　期	82	78	14	1		3									4																1																1								5	
P736	O－36	Ⅲ上	—	86	70	26	4											4																																								4	
P737	N－36	Ⅳ	早　期	67	44	15	8											8																																								8	
P738	N・O－35	Ⅳ	早　期	105	92	34	13											13																			2									1		2		3	8							21	
P739	N－35	Ⅳ	早　期	77	62	21	7		3									10																											1			1					2							12	
P740	S－33	Ⅳ	—	54	35	6																																																			
P741	N－37	Ⅳ	—	88	66	32																																																		
P742	S・T－38	Ⅳ	早　期	151	89	21																																																		2							2	
P743	U－39・40	Ⅳ	後期後葉	107	77	44	1					1						2																																								2	
P744	R－34・34	Ⅳ	—	72	60	13																																																			
P745	T－39	Ⅳ	後期後葉	93	51	62	1	4	8									13																1																6	7							20	ベンガラ　歯
P746	R－35	Ⅳ	—	113	71	20																																																		1	1							1	
P747	S－39	Ⅳ	後期後葉	113	78	34			6			1						7																																								7	1号周堤墓
P748	S－40	Ⅳ	後期後葉	106	62	68						7						7																																								7	1号周堤墓・ベンガラ
P749	T－40	Ⅳ	後期後葉	92	61	62			1									1																																								1	1号周堤墓
P750	T－40	Ⅳ	後期後葉	68	51	40						130						130														6	6																								136	1号周提墓
P751	T－40	Ⅳ	後期後葉	95	61	72				1								1																																								1	1号周提墓・遺体層
P752	Q－34	Ⅳ	前　期	158	130	22		7				1						8																																								8	
P753	Q－35	Ⅳ	後期後葉	134	81	22			1			19						20																			1															5	6	1					1	27	
P754	S・T－40	Ⅳ	後期後葉	66	(50)	42																																																			4				4	4	1号周堤墓
P755	T－40	Ⅳ	早　期	86	66	11																																																						
P756	U・V－41	Ⅳ	後期後葉	100	62	70	1		1									2																																								4	2号周堤墓・遺体層
P757	O－41・42	Ⅳ	晩期後葉	83	80	6			3									3																																								4	
P758	S・T－40	Ⅳ	後期後葉	100	(70)	51			1									1																																								1	1個体重複・P753と切り合い関係なし
P759	V－40	Ⅳ	後期後葉	86	55	47																																																			1	2号周堤墓・遺体層
P760	Q－44	Ⅳ	前　期	169	129	20		36										36																			1														1	3							39	
P761	Q－36・37	Ⅳ	後期後葉	86	59	32						2						2																																								4	4							6	
P762	O・P－35・36	Ⅳ	後期後葉	98	81	10		1				1						2																																											2	
P763	O－36	Ⅳ	後期後葉	101	82	11	4					4						8																																											8	
P764	O－35	Ⅳ	後期後葉	74	56	8	4	4										8																																								2	2							10	
P765	P－35	Ⅳ	後期後葉	100	61	10																																																					1							1	
P766	Q－36	Ⅳ	後期後葉	110	72	25																																																											
P767	T－41	Ⅳ	早　期	(44)	(45)	10																																																										P581に切られる
P768	T・U－40・41	Ⅳ	早　期	85	(41)	20																																																										P582・P583に切られる
P769	U－40	Ⅳ	早　期	74	56	14																																																									P586となり
P770	Q・R－35	Ⅳ	早　期	107	101	24	3											3																																											1	3	4						7	黒のおちこみ　炭化物
P771	O－33	Ⅳ	後期後葉	(120)	113	20			9	1		2						12																			1																1	2							14	
P772	O－33	Ⅳ	後期後葉	96	56	38	1		16			58						75																																											1	10	11						86	歯
P773	P－34	Ⅳ	前　期	71	(38)	22						3						3																																																			3	P404・P775に切られる
P774	O・P－33	Ⅳ	後期後葉	94	56	36		1	13			40						54																																																		63	
P775	P－34	Ⅳ	後期後葉	70	46	17						6						6																																																		9	P773を切る
P776	P－34・35	Ⅳ	後期後葉	98	92	26		3	5			64						72																																																			89	
P777	O－32	Ⅱ	後期後葉	106	－	75			9	2	1	59						71																																																						104	P449・P782に切られる
P778	P－34	Ⅲ	後期後葉	81	61	22			3			3						6																																																						8	
P779	P－34	Ⅲ	後期後葉	102	57	10																																																																				
P780	P－34	Ⅲ	前　期	114	82	21		2				3						5																																																									10	
P781	P－34	Ⅲ	後期後葉	92	50	10	8		3			3						14														2																		

表Ⅳ－6　土坑出土遺物一覧(9)

| 遺構番号 | グリッド | 検出面 | 時期 | 長径(cm) | 短径(cm) | 深さ(cm) | 土器 | | | | | | | | | | | | 土器計 | 土製品 | | | | | | 土製品計 | 漆塗製品 | | | | | 漆塗製品計 | 石器 | | | | | | | | | | | |

表Ⅳ－７　ＴＰ出土遺物一覧

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器												土器計	土製品							土製品計	漆塗製品					漆塗製品計	石器																				石器計	石製品			その他	骨角器		石錘・礫他	全体合計	備考
							Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群			Ⅴ群			Ⅵ群	Ⅶ群			土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オロシ状土製品	焼成粘土	土製の盤		漆塗櫛	漆塗櫛片	環状漆塗製品	漆塗玉	その他		石鏃	石鏃未製品	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	石斧未製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク		玉類	石棒	石製品		サメ歯	骨角器			
										Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc																																												
ＴＰ11	Ｑ－18	Ⅲ層	中　期	3.3	0.76	0.7																																																					
ＴＰ12	Ｌ・Ｍ－16	Ⅲ層	中　期	3.66	0.76	1.18			26			5					31																																					3	4							35	
ＴＰ13	Ｌ－24・25	Ⅱ層	中　期	4.02	0.71	1.18			41			7					48																																					1	1		20	23							71	
ＴＰ14	Ｎ－28・29 Ｏ－29	Ⅲ層	中　期	3.81	1.35	1.4	5	3	84		5	25					122																																							1		18	26							148	
ＴＰ15	Ｐ－36・37	Ⅲ層	中　期	3.5	1.09	1.39	1	1	77			45					124																																					1		1	112	118							242	
ＴＰ16	Ｕ－39	Ⅴ層	中　期	3.44	0.61		35		3	9							47																																					1	1		4	7							54	
		ＴＰ	計				41	4	231	9	5	82					372																																					4	3		157	178							550	

表Ⅳ－８　焼土出土遺物一覧(1)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器												土器計	土製品							土製品計	漆塗製品					漆塗製品計	石器																				石器計	石製品			その他	骨角器		石錘・礫他	全体合計	備考
							Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群			Ⅴ群			Ⅵ群	Ⅶ群			土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オロシ状土製品	焼成粘土	土製の盤		漆塗櫛	漆塗櫛片	環状漆塗製品	漆塗玉	その他		石鏃	石鏃未製品	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	石斧未製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク		玉類	石棒	石製品		サメ歯	骨角器			
										Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc																																												
Ｆ160	Ｑ－18	Ⅱ中	後期後葉	63	39	9						1					1																																						8	8							9	（パミス１％含む）
Ｆ161	Ｑ－18	Ⅱ中	後期後葉	72	57	6						3					3																																						21	21							24	
Ｆ162	Ｑ－17	Ⅱ中	後期後葉	50	37	6			1	1	1	25					28																																						109	109							137	（パミス１～３％含む）
Ｆ163	Ｓ－15	Ⅱ中	後期後葉	90	61	6			6			1					7																																						27	27							34	
Ｆ164	Ｓ－18	Ⅱ中	－	49	36	8																			4		4																												4	4							8	
Ｆ165	Ｒ－18	Ⅱ中	後期後葉	64	70	18			1			2					3																																						10	10							13	礫敷土の下に石皿と多数の礫、土器に混じり炭化材を含むことから竪穴建物跡の可能性あり
Ｆ166	Ｐ－18	ＭＣ中	晩期前葉	70	41	10						33					33																																						217	217							250	
Ｆ167	Ｏ－18	ⅡＢ上	晩期前葉	71	52	8			4			105					109																																						2,106	2,107							2,216	
Ｆ168	Ｏ－19	ⅡＢ上	晩期前葉	72	52	10			2			266					268								2		2																												111	111							381	
Ｆ169	Ｏ・Ｐ－18	ＭＣ中	晩期前葉	88	79	8						207					207																																						206	206							413	（骨１％含む）
Ｆ170	Ｐ－18	ＭＣ中	晩期前葉	96	62	12			6			176					182																																					2				1,110	1,112							1,294	骨１～２％含む　焼骨多数含む
Ｆ171	Ｐ－18	ⅡＢ上	晩期前葉	92	51	8			1			4					5																																						7	7							12	中央を建物の基礎に切られる
Ｆ172	Ｐ－16	Ⅱ中	後期後葉	70	36	10			3			27					30																																						31	31							61	
Ｆ173	Ｐ－16	ＭＣ中	後期後葉	87	－	11						156					156																																			1				661	662							818	
Ｆ174	Ｓ－16	Ⅱ上	－	104	65	7																																																	66	66							66	
Ｆ175	Ｒ－17	Ⅱ中	後期後葉	60	32	6						11					11																																						6	6							17	
Ｆ176	Ｏ－17	Ⅱ上	後期後葉	54	40	4			1			3					4																																														4	
Ｆ177	Ｏ－17	ⅡＢ上	晩期前葉	46	34	8			5			61					66																																						87	87							153	
Ｆ178	Ｏ－18	Ⅲ下	晩期前葉	50	30	11			1								1																																						4	4							5	焼骨ある
Ｆ179	Ｏ－16	Ⅱ上位	縄文	69	69	8			2			112	1			6	121																																						114	114							235	（骨片２％含む）
Ｆ180	Ｏ－16	Ⅱ上	晩期前葉	63	49	14	1		14			103	3				121								4		4																												227	238							363	
Ｆ181	Ｎ－19	Ⅱ中	晩期前葉	40	31	7			6								6																																						11	11							17	
Ｆ182	Ｎ－19	Ⅱ中	晩期前葉	52	52	10						278					278																																						504	515							793	
Ｆ183	Ｌ－16	Ⅱ下	後期後葉	58	56	11			1			1					2																																														2	
Ｆ184	Ｌ－16・17	Ⅱ下	後期後葉	50	50	10			1			1					2																																														1	1							3	
Ｆ185	Ｌ－17	Ⅱ中	後期後葉	52	44	10			1			26					27																																														57	57							84	
Ｆ186	Ｌ－17	Ⅱ中	後期後葉	62	56	11						26					26																																															8	8							34	
Ｆ187	Ｍ－19	Ⅱ中	晩期前葉	38	36	3			3			15					18																																															8	9							27	
Ｆ188	Ｍ－19	Ⅱ中	縄文	80	60	9						318				14	332																																														425	427			1			1	760	後北Ｃ2Ｄ以後の焼土
Ｆ189	Ｍ－19	Ⅱ下	晩期前葉	100	74	16			7			333					340																																														780	781	1					1	1,122	
Ｆ190	Ｎ－19	Ⅱ下	晩期前葉	42	40	8			2								2																																														3	3							5	
Ｆ191	Ｌ－17	Ⅱ下	－	51	48	19																																																																			
Ｆ192	Ｍ－16・17	Ⅱ下	後期後葉									2					2																																																						
Ｆ193	Ｌ・Ｍ－19	Ⅱ	晩期前葉	76	60	11			15			217					232																																														309	309							541	
Ｆ194	Ｌ－19	Ⅱ	晩期前葉	66	58	10						50					50	2							4		6																																															
Ｆ195	Ｌ－19	Ⅱ	晩期前葉	72	42	10			2			390					392								2		2																																														
Ｆ196	Ｌ－19	Ⅱ	晩期前葉	68	46	9						23					23																																																								
Ｆ197	Ｌ－19	Ⅱ	晩期前葉	42	41	8						68					68																																																						
Ｆ198	Ｌ－19	Ⅱ	晩期前葉	74	46	15			3			65					68																																																						
Ｆ199	Ｐ－20	Ⅱ	晩期前葉	55	－	10																																																																		
Ｆ200	Ｎ－18	ⅡＢ	晩期前葉	53	51	12																																																																
Ｆ201	Ｋ－17	Ⅱ	後期後葉	65	44	10						8					8																																																						
Ｆ202	Ｌ－19	Ⅱ	晩期前葉	58	44	9																																																																
Ｆ203	Ｒ－19	Ⅱ	後期後葉	26	23	14			1	1							2																																																				
Ｆ204	Ｒ－25	Ⅱ	後期後葉	75	51	11						61					61																																																					
Ｆ205	Ｒ－24	Ⅱ上	晩期前葉	78	30	5			1								1								1		1																																												
Ｆ206	Ｑ－22	Ⅱ	晩期前葉	81	－	7	2		5			80					87																																																					
Ｆ207	Ｑ－22	Ⅱ	晩期前葉	58	51	7						24					24																																																			
Ｆ208	Ｑ－22・23	Ⅱ	晩期前葉	78	76	14			9			121					130								1		1																																											
Ｆ209	Ｏ・Ｐ－20	ⅡＢ	晩期前葉	64	59	14			6			9					15																																																				
Ｆ210	Ｒ－20	Ⅱ	後期後葉	54	57	10			3		2	27					32																																																				
Ｆ211	Ｑ－22	ＭＣ中	晩期前葉	50	42	6						3					3																																																			
Ｆ212	Ｐ－22	ＭＣ中	晩期前葉	40	38	11						3					3																																																			

表Ⅳ－８　焼土出土遺物一覧(2)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状製品	オロシ状製品 ガネ土製品	焼成粘土	鹿の子盆	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗櫛片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	石槍ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	石斧製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク	石器計	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	石製品骨角器	全体合計	備考
F213	P－22	MC中	晩期前葉	49	40	8			1			11						12																															3	3								15	
F214	P－22	MC中	晩期前葉	－	44	7						7						7																															6	6								13	
F215	P－22	MC中	晩期前葉	93	90	16			2			48						50						3		3							3																17	20					1		1	74	
F216	P－22・23	MC中	晩期前葉	75	62	7						13						13	2						1	3							1				1												4	6								22	
F217	P－22	MC中	晩期前葉	42	40	3																																																					
F218	P－22	MC中	晩期前葉	56	48	5						10						10																															5	5								15	
F219	O－22	MC中	晩期前葉	46	46	17						50						50						1		1							1		1														9	11								62	
F220	O－22	ⅡB上	晩期前葉	－	45	7				2		12						14																																								14	
F221	O－22	MC中	晩期前葉	42	40	12						35						35																															5	5								40	
F222	O－22	ⅡB上	晩期前葉	58	－	6						32						32																															8	8								40	
F223	P－21・22	MC中	晩期前葉	82	58	6						14				1		15																															6	6								21	
F224	P－22	ⅡB下	晩期前葉	42	40	10						11						11						4	1	5																							1	1								17	
F225	Q－23	MC中	晩期前葉	79	59	11			4			15						19																													1		3	4								23	
F226	Q－23	MC中	晩期前葉	72	40	8			1			23						24															1				1												8	10								34	
F227	Q－24	ⅡB上	晩期前葉	－	92	10	2		6			41						49						2		2																							11	11								62	
F228	Q－24	ⅡB上	晩期前葉	62	46	10			3			34						37															1																3	4								41	
F229	P－21	ⅡB上	晩期前葉	48	40	12						8						8																															1	1								9	
F230	R・S－22	Ⅱ上	後期後葉	－	40	5						3						3															2																8	10								13	
F231	S－22	Ⅱ上	後期後葉	124	62	6						35						35						1		1							1																17	18	1						1	55	
F232	P－23	ⅡB上	晩期前葉	130	58	12						155				1		156						1		1							1				3												36	40								197	
F233	P－23	ⅡB上	晩期前葉	－	60	8			9			25						34																															2	2								36	
F234	Q－23	ⅡB上	晩期前葉	59	40	10																																																					
F235	Q－23	Ⅱ上	晩期前葉	56	34	5						1						1																			1												1	2								3	
F236	P－23	ⅡB上	晩期前葉	78	48	10			3			41						44																															2	2								46	
F237	P－25	ⅡB上	晩期前葉	66	56	7						1						1																															3	3								4	
F238	P－25	ⅡB上	晩期前葉	50	35	5						4						4																															2	2								6	
F239	T－25	Ⅱ中	後期後葉	56	40	8						27						27	3						2	5																							7	7								39	
F240	T－25	Ⅱ中	－	46	40	8																																																					
F241	P－23	ⅡB中	晩期前葉	70	52	4						11						11															1																14	15								26	
F242	Q－25	ⅡB上	晩期前葉	90	66	5						8						8	1							1																							7	7								16	
F243	R－22	Ⅱ上	後期後葉	50	34	6						17						17																															9	9								26	
F244	S－22	Ⅱ下	後期後葉	39	39	10						5						5																																								5	
F245	T－23	Ⅱ中	後期後葉	94	70	16						87						87																															50	50								137	
F246	S－22	Ⅱ下	後期後葉	62	60	12						39						39						4		4																							5	5								48	
F247	R－25	ⅡB上	後期後葉	68	45	6						19						19															1				1												7	9								28	
F248	R－26	ⅡB上	晩期前葉	85	50	10						75						75															1		1							1							63	66								141	
F249	Q－26	ⅡB上	晩期前葉	79	58	11						27					3	30															1																16	17								47	
F250	P－24	ⅡB中	晩期前葉	40	40	7						1						1																																								1	
F251	Q－22	ⅡB中	晩期前葉	80	－	10	1	1	36			5						43																								1							44	45					1		1	89	
F252	P－25	MC中	晩期前葉	19	18	5						19						19															2																32	34								53	
F253	Q－26	MC中	晩期前葉	62	46	6						31						31																													1		60	61								92	
F254	Q－25・26	ⅡB上	晩期前葉	－	－	5						7						7																															21	21								28	
F255	S・T－23	Ⅱ中	後期後葉	60	－	8						48						48																															41	41					4		4	93	
F256	S－23	Ⅱ中	－	34	32	4																																																					
F257	P－26	ⅡB上	晩期前葉	90	54	11						30						30																															10	10								40	
F258	R－25	ⅡB上	晩期前葉	75	58	7						21						21																															36	36								57	
F259	R－25	ⅡB上	晩期前葉	42	39	7																																																					
F260	O－23	Ⅲ上	晩期前葉	50	47	10						2						2																																								2	
F261	N－22	ⅡB上	晩期前葉	44	40	8			1			25						26																													1		6	7								33	
F262	S－24	Ⅱ下	後期後葉	60	41	4			6			7						13																															14	14								27	
F263	S－25	Ⅱ中	後期後葉	58	44	6						2						2																																								2	
F264	N－20	ⅡB上	晩期前葉	45	30	4						5						5																															2	2								7	
F265	N－20	ⅡB上	晩期前葉	66	56	10						10						10																															6	6								16	
F266	R－26	ⅡB上	晩期前葉	123	87	16			3		4	199						206						3		3							2															2		228	232					4		4	445	
F267	Q－26	ⅡB上	晩期前葉	58	44	8						5						5																															4	4								9	
F268	Q－25・26	ⅡB上	晩期前葉	－	44	11			1			9						10															1																8	9								19	
F269	Q－26	ⅡB上	晩期前葉	52	－	10			1		2	25						28																															6	6					7		7	38	
F270	N－21・22	ⅡB上	晩期前葉	48	－	8						6						6																															4	4								10	
F271	M－20	ⅡB上	晩期前葉	61	44	7			4			21						25																															7	7		1					1	33	
F272	M－21	MC下	晩期前葉	60	48	6						40						40																															3	3								43	
F273	N－23	MC中	晩期前葉	80	52	5			1			9						10																															6	6								16	
F274	N－23	MC中	晩期前葉	110	82	12			5			35						40	1					4		5																							22	22								67	
F275	N－23	ⅡB	晩期前葉	50	38	4						4						4																																								4	
F276	M－21	MC	晩期前葉	62	50	9	1					1						2																																								2	
F277	M－21	ⅡB上	晩期前葉	54	50	8						71						71							1	1																					1		12	13								85	

表Ⅳ－８　焼土出土遺物一覧(3)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器											土器計	土製品						土製品計	漆塗製品					漆塗製品計	石器																石器計	石製品			その他	骨角器		貝類	全体合計	備考
							Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群		Ⅴ群			Ⅵ群	Ⅶ群		土玉	垂飾	耳栓	環状製品	オロシ状土製品	焼成粘土	歯ブラシ		漆塗櫛	漆塗櫛片	環状漆製品	漆塗玉	その他		石鏃	石錐	石匙	石錐石ナイフ	石匙つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	石製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	器石その他	礫	その他	レクフイク		玉類	石棒	石製品		骨角器	サメ歯	骨角器			
										Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc																																										
F278	O－24	MC	晩期前葉	62	46	5						83					83	2						2																								17	19							104	
F279	O－24	MC	晩期前葉	87	60	8						75	2				77																			1												27	28							105	
F280	N・O－25	MC	晩期前葉	128	58	18			4			227					231		1				1	1	3											1												77	78				5		5	317	
F281	L－20	ⅡBF	晩期前葉	75	75	13						1					1	1						1																								2	2							4	
F282	M－23	ⅡB上	晩期前葉	50	48	6				2		4					6																														2	3							9	
F283	N－23	ⅡB	晩期前葉	42	30	6			1			2					3																														2	2							5	
F284	M－23	ⅡB上	晩期前葉	90	62	11						36					36																														7	7							43	
F285	N－24	ⅡB上	晩期前葉	112	78	16						183					183																			4		1		2								92	99							282	
F286	N－24	ⅡB上	晩期前葉	65	56	8						35					35																														9	9							44	
F287	N－24	ⅡB上	晩期前葉	56	44	8						13				1	14																														3	3							17	
F288	O－23	ⅡB上	晩期前葉	40	33	7						1					1																																					1	
F289	M－25	MC	晩期前葉	70	60	15						32				5	37																														17	17							54	
F290	M－25	MC	晩期前葉	58	40	6						6				1	7																														3	3							10	
F291	M－25	MC	晩期前葉	64	52	8						60					60	1						1																								11	11							72	
F292	M－25	MC	晩期前葉	70	52	8						40					40																														10	10							50	
F293	M－25	MC	晩期前葉	106	48	9						44				14	58																			1												8	9				2		2	69	
F294	M－22	ⅡB上	晩期前葉	100	68	8						84				1	85	1		1					2											1												17	18							105	
F295	M－22	ⅡB上	晩期前葉	46	28	6						3					3																																					3	
F296	M－21・22	ⅡB上	晩期前葉	65	36	9			1			26					27						1	1																								6	6							34	
F297	L－25	Ⅱ上	縄文	86	45	8						75	10			3	88																			2				1								20	23							111	
F298	L－22	ⅡB上	晩期前葉	58	38	8						5					5																																					5	
F299	L－24	Ⅱ上	縄文	138	64	5			1			159	8			2	170						1	1													1		1								39	41							212	
F300	K－25	Ⅱ上	－	86	68	12																																																
F301	L－25	Ⅱ中	－	58	36	7																																															
F302	L－25	Ⅱ中	中期	40	36	8			2								2																																					2	
F303	L－25	Ⅱ中	後期後葉	88	64	9			2		1	77					80																																					92	
F304	K－25	Ⅱ上	後期後葉	120	42	13						21					21																																					90	
F305	K－25	Ⅱ上	後期後葉	53	38	7			1			14					15																																					17	
F306	K－25	Ⅱ上	後期後葉	71	44	7						17					17																																					19	
F307	K－25	Ⅱ上	後期後葉	56	55	10						6					6																																					8	
F308	K－25	Ⅱ上	後期後葉	172	36	8						28					28																			1												3	4							32	
F309	K－20	MC	晩期前葉	55	30	6			1			84					85																																					16	16							101	
F310	K－20	ⅡB上	晩期前葉	60	54	6		1	10			90					101						1	2	3											4												31	35							139	
F311	K－19・20	MC	晩期前葉	68	45	6					1	84	5	2			92			1			2		3																								16	16							111	
F312	K－20	ⅡB上	晩期前葉	74	60	12			3			104					107																			1			1	1								33	36				1		1	144	
F313	K－20	MC	晩期前葉	110	35	10			1			274	8				283																			1											5	45	51							334	焼骨含む
F314	K－21	MC	晩期前葉	90	42	7			1			205	2				208	1		1					2												1												33	34							244	焼骨含む
F315	K－21	ⅡB上	晩期前葉	64	60	8			3			9					12						2		2																						1	1	2	4							18	
F316	L－23	Ⅱ中	晩期前葉	44	32	7																																															
F317	L－23	Ⅱ中	晩期前葉	58	23	5						3					3	1							1																													4	
F318	K－23	Ⅱ中	晩期前葉	86	43	4						41	2				43																			1												9	11							54	焼骨含む
F319	欠番		－																																																	
F320	Q－26	Ⅱ下	晩期前葉	61	45	6																																															
F321	K－22	Ⅱ中	晩期前葉	63	32	9						46					46	1							1																								3	3							50	
F322	K－22	Ⅱ中	晩期前葉	64	30	6						11					11																																3	3							14	
F323	K－22	Ⅱ中	晩期前葉	66	25	5						23					23																			1												1	2							25	
F324	K－22	Ⅱ中	晩期前葉	45	30	5																																															
F325	K－20	ⅡB上	後期後葉	132	－	8		1	2			91					94						2		2																								13	15				1		1	112	
F326	L－25杭	Ⅱ上	後期後葉	76	41	5						25					25																																	6	6							31	
F327	K－21	ⅡB中	晩期前葉	34	31	4						4					4																																	1	1							5	
F328	N－24杭	MC中	晩期前葉	64	－	8						18					18																			1												2	6							24	
F329	M－24・25	ⅡB上	晩期前葉	82	－	9						30					30																																	10	10							40	
F330	P－24杭	ⅡB上	晩期前葉	56	48	10						7					7																																	2	2							9	
F331	O－26	MC	晩期前葉	26	23	6																																																焼骨含む
F332	O－26・27	ⅡB上	晩期前葉	88	70	11			8			35					43																			1												21	24							67	焼骨含む
F333	L－26	MC上	－	48	38	6																																															焼骨含む
F334	L－26	MC上	後期後葉	51	－	14						43					43	1							1																								41	41							85	焼骨含む
F335	M－26	MC	晩期前葉	62	38	9	1					36					37																																	49	49							86	焼骨含む
F336	M－26	MC上	晩期前葉	78	38	10			1			87				1	89								1															1								96	98							187	焼骨含む
F337	M－26	MC上	晩期前葉	－	40	7			1			41					42																																	23	23							65	焼骨含む
F338	M－26	MC上	晩期前葉	44	－	6						49					49																			2												48	51							100	焼骨含む
F339	O－27	ⅡB上	晩期前葉	84	68	10					1	41					42																			1											2	94	98							140	焼骨含む
F340	O－27	ⅡB上	晩期前葉	94	65	8			2			145					147																			2											4	338	348							495	焼骨含む
F341	O－27	ⅡB上	後期後葉	56	40	4						5					5																																	4	4							9	
F342	O－27	ⅡB上	後期後葉	102	76	8			4		1	1					6																																	11	11							17	

表Ⅳ－８　焼土出土遺物一覧(4)

| 遺構番号 | グリッド | 検出面 | 時期 | 長径(cm) | 短径(cm) | 深さ(cm) | 土器 | | | | | | | | | | | | 土器計 | 土製品 | | | | | | 土製品計 | 漆塗製品 | | | | | 漆塗製品計 | 石器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 石器計 | 石製品 | | | その他 | 骨角器 | | 石製品加工剥片 | 全体合計 | 備考 |
|---|---|---

表Ⅳ－8　焼土出土遺物一覧(5)

| 遺構番号 | グリッド | 検出面 | 時期 | 長径(cm) | 短径(cm) | 深さ(cm) | 土器 | | | | | | | | | | | | 土器計 | 土製品 | | | | | | 土製品計 | 漆塗製品 | | | | | 漆塗製品計 | 石器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 石器計 | 石製品 | | | その他 | 骨角器 | | 石錘・礫他 | 全体合計 | 備考 |
|---|---|---

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(1)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オロシガネ状土製品	焼成粘土	歯片ゑ	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗櫛片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	石槍ナイフ	石錐	石錐つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	石斧未製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	石器計	フレイク	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	石製品骨角器他	全体合計	備考
ＳＰ2513	Ｓ－16	主柱穴	中　期	62	48	24			1									1															1																	7	8								9	
ＳＰ2514	Ｒ－16	主柱穴		28	26.5	38																																																							
ＳＰ2515	Ｑ－16	壁柱穴		18.5	17	36.4																																																							
ＳＰ2516	Ｏ－16	壁柱穴		16	14	22																																																							
ＳＰ2517	Ｏ－16	壁柱穴		16	14	10																																																							
ＳＰ2518	Ｏ－16	壁柱穴	中　期	40.5	40.2	16.4			1									1																																											1	
ＳＰ2519	Ｏ－16	壁柱穴		16	15	34																																																							
ＳＰ2520	Ｎ－16	壁柱穴		24	22.5	22																																																							
ＳＰ2521	Ｎ－16	壁柱穴		22	21.5	18																																																							
ＳＰ2522	Ｎ－16	壁柱穴		20	10	8.4																																																							
ＳＰ2523	Ｎ－16	壁柱穴		20	19	12																																																							
ＳＰ2524	Ｍ－16	壁柱穴	後期後葉	22	17	16						1						1																																											1	
ＳＰ2525	Ｍ－16	壁柱穴	後期後葉	12.4	12	12						1						1																																											1	
ＳＰ2526	Ｍ－16	壁柱穴		12	11	7																																																							
ＳＰ2527	Ｍ－16	壁柱穴		14	13.5	8																																																							
ＳＰ2528	Ｍ－16	壁柱穴		10.4	10	36																																																							
ＳＰ2529	Ｍ－16	壁柱穴	後期後葉	22	21	8.2						1						1																																											1	
ＳＰ2530	Ｍ－16	壁柱穴		10	7	10																																																							
ＳＰ2531	Ｍ－16	壁柱穴		9	8	9																																																							
ＳＰ2532	Ｍ－16	壁柱穴	後期後葉	12	10	16						4						4																																	1	1								5	
ＳＰ2533	Ｍ－16	壁柱穴		14.2	14	11.8																																																							
ＳＰ2534	Ｍ－16	壁柱穴		20	16	10.2																																																							
ＳＰ2535	Ｌ－16	壁柱穴		8.2	8	22																																																							
ＳＰ2536	Ｌ－16	壁柱穴		8.5	8.5	13.6																																																							
ＳＰ2537	Ｌ－16	壁柱穴		16	12	10																																																							
ＳＰ2538	Ｍ－18	壁柱穴	後期後葉	18	18	14						2						2																																											2	
ＳＰ2539	Ｍ－18	壁柱穴		14.5	14	20																																																							
ＳＰ2540	Ｍ－18	壁柱穴		14	12	14.2																																																							
ＳＰ2541	Ｍ－18	壁柱穴		21	20	26																																																							
ＳＰ2542	Ｍ－18	壁柱穴		11	10	12																																																							
ＳＰ2543	Ｍ－18	壁柱穴		14	12	11																																																							
ＳＰ2544	Ｍ－18	壁柱穴		14	13	9																																																							
ＳＰ2545	Ｏ－17	壁柱穴		17	16.5	12																																																							
ＳＰ2546	Ｏ－17	壁柱穴		11	10.6	3																																																							
ＳＰ2547	Ｏ－18	壁柱穴		24.5	21	8																																																							
ＳＰ2548	Ｐ－18	壁柱穴	後期後葉	30	26	10						3						3																																	1	1								4	
ＳＰ2549	Ｌ－18	壁柱穴	後期後葉	21	19.6	21						2						2																																											2	
ＳＰ2550	Ｌ－18	壁柱穴		10	10	8																																																							
ＳＰ2551	Ｌ－18	壁柱穴		18	17	20																																																							
ＳＰ2552	Ｌ－18	壁柱穴		17	16	6																																																							
ＳＰ2553	Ｌ－18	壁柱穴	後期後葉	12.6	12	12						1						1																																											1	
ＳＰ2554	Ｌ－18	杭		8	8	15																																																							
ＳＰ2555	Ｌ－18	杭		9	9	17																																																							
ＳＰ2556	Ｌ－18	杭		10	10	15																																																							
ＳＰ2557	Ｌ－18	小柱穴		19	15	8																																																							
ＳＰ2558	Ｌ－18	小柱穴		18	17	15.8																																																							
ＳＰ2559	Ｌ－18	小柱穴		23	22	22																																																							
ＳＰ2560	Ｌ－18	杭		12	11.6	27																																																							
ＳＰ2561	Ｌ－18	小柱穴		21	20	15.5																																																							
ＳＰ2562	Ｌ－18	小柱穴	後期後葉	22	21	22						1						1																																											1	
ＳＰ2563	Ｌ－18	小柱穴	後期後葉	18	18	21						2						2																																											2	
ＳＰ2564	Ｌ－18	小柱穴		19	18	22																																																							
ＳＰ2565	Ｌ－18	小柱穴		12	10.6	16																																																							
ＳＰ2566	Ｋ・Ｌ－18	小柱穴	後期後葉	20	18	16						1						1																																											1	
ＳＰ2567	Ｌ－17	小柱穴	後期後葉	18	16	19						1						1																																											1	
ＳＰ2568	Ｌ－17	小柱穴		13	11	6.5																																																							
ＳＰ2569	Ｌ－17	小柱穴		21	20	10																																																							
ＳＰ2570	Ｌ－17	小柱穴		15	14	19.8																																																							
ＳＰ2571	Ｌ－17	小柱穴		14	13	18.5																																																							
ＳＰ2572	Ｌ－17	小柱穴		17	14.5	16																																																							
ＳＰ2573	Ｌ－17	小柱穴	後期後葉	15.6	15	20						2						2																																											2	
ＳＰ2574	Ｌ－17	小柱穴	後期後葉	14	13	12						1						1																																											1	
ＳＰ2575	Ｌ－17	小柱穴		16	14.5	12																																																							
ＳＰ2576	Ｌ－17	小柱穴		16.2	16	16																																																							
ＳＰ2577	Ｌ－17	小柱穴		15.6	14.5	10.2																																																							
ＳＰ2578	Ｌ－17	杭		10	10	19																																																							
ＳＰ2579	Ｌ－17	小柱穴		16	15.6	28																																																							
ＳＰ2580	Ｌ－17	小柱穴		10.2	10.2	10																																																							
ＳＰ2581	Ｌ－17	杭		10	9.6	35																																																							
ＳＰ2582	Ｌ－17	小柱穴		21	18	27.6																																																							
ＳＰ2583	Ｌ－17	小柱穴		14	13.5	8																																																							
ＳＰ2584	Ｌ－17	小柱穴		12.6	8.5	9																																																							
ＳＰ2585	Ｌ－17	小柱穴		15	12.6	19																																																							
ＳＰ2586	Ｌ－17	小柱穴		14	14	8.5																																																							
ＳＰ2587	Ｌ－17	杭		12	11	19																																																							
ＳＰ2588	Ｍ－19	小柱穴		17.8	12	13																																																							
ＳＰ2589	Ｍ－19	小柱穴		14	12.8	6																																																							
ＳＰ2590	Ｍ－19	小柱穴	後期後葉	16	15.6	26						1						1																																											1	
ＳＰ2591	Ｍ－19	小柱穴	後期後葉	16.5	15.8	11						3						3																																											3	
ＳＰ2592	Ｍ－19	小柱穴	後期後葉	18	16.4	4.5						2						2																																											3	

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(2)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オロシガネ状土製品	焼成粘土	歯片ゑ温	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗櫛片	環漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	石槍ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	有柔製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク	石器計	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	石製品骨角器他	全体合計	備考
ＳＰ2593	Ｍ－19	小柱穴	後期後葉	23	18	17.5						5						5																															1	1								6	
ＳＰ2594	Ｍ－19	小柱穴		16.4	16	5.5																																																					
ＳＰ2595	Ｍ－19	小柱穴		16	13	5																																																				
ＳＰ2596	Ｍ－19	小柱穴		16	15	11.5																																																				
ＳＰ2597	Ｍ－19	小柱穴	後期後葉	16	13	12.4						1						1																																								1	
ＳＰ2598	Ｏ－18	小柱穴		14	14	34																																																				
ＳＰ2599	Ｏ－18	小柱穴		14	13.2	15																																																				
ＳＰ2600	Ｏ－17	小柱穴		17	16.5	8																																																				
ＳＰ2601	Ｏ－17	小柱穴		11.8	10	7																																																				
ＳＰ2602	Ｎ－17	小柱穴		20	17	9																																																				
ＳＰ2603	Ｏ－17	小柱穴		22	21	8																																																				
ＳＰ2604	Ｏ－17	小柱穴		15	15	13																																																				
ＳＰ2605	Ｏ－17	小柱穴		9	8	24.2																																																				
ＳＰ2606	Ｎ－18	小柱穴		9.8	8	26																																																				
ＳＰ2607	Ｎ－18	小柱穴		17	16	18																																																				
ＳＰ2608	Ｎ－18	小柱穴		12	11	14																																																				
ＳＰ2609	Ｎ－18	小柱穴		11	10	10																																																				
ＳＰ2610	Ｎ－18	小柱穴		14.6	14	19																																																				
ＳＰ2611	Ｒ－20	小柱穴		17	12.5	11																																																				
ＳＰ2612	Ｒ－20	小柱穴		13	12	14																																																				
ＳＰ2613	Ｒ－20	小柱穴		16	10	4																																																				
ＳＰ2614	Ｒ－20	小柱穴	後期後葉	16	10	11						2						2																																								2	
ＳＰ2615	Ｑ－20	小柱穴		19	15	8.5																																																				
ＳＰ2616	Ｑ－20	小柱穴		13.8	12	5																																																				
ＳＰ2617	Ｑ－20	小柱穴		16.8	13	9.8																																																				
ＳＰ2618	Ｑ－20	小柱穴		18	14	11.5																																																				
ＳＰ2619	Ｌ－19	小柱穴		16.5	15	20																																																				
ＳＰ2620	Ｌ－19	小柱穴		9	8	6																																																				
ＳＰ2621	Ｌ－19	小柱穴		9.8	8	11																																																				
ＳＰ2622	Ｌ－19	小柱穴		17	16.5	14																																																				
ＳＰ2623	Ｌ－19	小柱穴	後期後葉	18	17.8	11						1						1																																								1	
ＳＰ2624	Ｌ－19	小柱穴		11	11	18.5																																																				
ＳＰ2625	Ｌ－19	小柱穴		10	9	16.5																																																				
ＳＰ2626	Ｌ－19	小柱穴	後期後葉	16	15	8						1						1																																								1	
ＳＰ2627	Ｌ－19	小柱穴	後期後葉	11.5	10.8	8.5						1						1																																								1	
ＳＰ2628	Ｌ－19	小柱穴		16	16	10																																																				
ＳＰ2629	Ｌ－19	小柱穴	後期後葉	18	13.5	15						2						2																																								2	
ＳＰ2630	Ｌ－19	小柱穴		18	10.5	16																																																				
ＳＰ2631	Ｌ－19	小柱穴		16	15	13																																																				
ＳＰ2632	Ｌ－19	小柱穴		13	10	14																																																				
ＳＰ2633	Ｌ－19	小柱穴	後期後葉	30	10	16.5						1						1																																								1	
ＳＰ2634	Ｌ－19	小柱穴		13	10	17																																																				
ＳＰ2635	Ｌ－19	小柱穴		14	14	12																																																				
ＳＰ2636	Ｌ－19	小柱穴	後期後葉	14.5	14	16.5						2						2																																								2	
ＳＰ2637	Ｌ－19	小柱穴	後期後葉	14	12.8	12.5						3						3																																								3	
ＳＰ2638	Ｌ－19	小柱穴	後期後葉	14	13	11						1						1																																								1	
ＳＰ2639	Ｋ－19	小柱穴		12	10.5	14																																																				
ＳＰ2640	Ｋ－19	小柱穴	後期後葉	15	15	20						3						3																																								3	
ＳＰ2641	Ｋ－19	小柱穴	後期後葉	(32)	31	16						20						20																																								39	
ＳＰ2642	Ｋ－19	小柱穴	後期後葉	16	11	9						1						1																																								3	
ＳＰ2643	Ｋ－19	小柱穴	後期後葉	9	9	7						1						1																																								1	
ＳＰ2644	Ｋ－19	小柱穴		12	11.8	17																																																				
ＳＰ2645	Ｋ－19	小柱穴		19	14.5	21																																																				
ＳＰ2646	Ｋ－19	小柱穴	後期後葉	11.8	10	12						2						2																																								3	
ＳＰ2647	Ｋ－19	小柱穴		14	10	10																																																				
ＳＰ2648	Ｋ－19	小柱穴	後期後葉	14	13	5						3						3																																								3	
ＳＰ2649	Ｋ－19	小柱穴		15	15	8																																																				
ＳＰ2650	Ｋ－19	小柱穴		16	16	30																																																				
ＳＰ2651	Ｋ－19	小柱穴		14	14	6																																																				
ＳＰ2652	Ｋ－19	小柱穴	後期後葉	12.5	12	15						1						1																																								1	
ＳＰ2653	Ｋ－19	小柱穴		10.5	9.8	4.2																																																				
ＳＰ2654	Ｌ－19	小柱穴		15	11	14																																																				
ＳＰ2655	Ｌ－19	小柱穴		14	13.5	19																																																				
ＳＰ2656	Ｌ－19	小柱穴		16	16	11																																																				
ＳＰ2657	Ｌ－19	小柱穴		13	(9)	20																																																				
ＳＰ2658	Ｐ－21	小柱穴		17	16.5	30																																																				
ＳＰ2659	Ｐ－21	小柱穴		23	23	10																																																				
ＳＰ2660	Ｐ－21	小柱穴		18	16	36																																																				
ＳＰ2661	Ｐ－21	小柱穴		28.8	17	23																																																				
ＳＰ2662	Ｏ－21	小柱穴		15	13.5	14																																																				
ＳＰ2663	Ｏ－21	小柱穴	後期後葉	18	17	11						4						4																																								4	
ＳＰ2664	Ｏ－21	小柱穴		17	17	13																																																				
ＳＰ2665	Ｏ－21	杭		12	12	14																																																				
ＳＰ2666	Ｏ－21	小柱穴		21	20	12																																																				
ＳＰ2667	Ｏ－21	小柱穴		10.5	10	5																																																				
ＳＰ2668	Ｏ－21	小柱穴		20	18.5	11																																																				
ＳＰ2669	Ｐ－24	小柱穴		19	18	18																																																				
ＳＰ2670	Ｐ－24	小柱穴		18	16	15																																																				
ＳＰ2671	Ｐ－24	小柱穴		13.8	13	9																																																				
ＳＰ2672	Ｐ－24	小柱穴		19	18	18																																																				

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(3)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オコボ状土製品	焼成粘土	歯ブラシ	土製品計	漆塗製品 漆塗梯	漆塗柳片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	植刃石	石錐	つまみ付ナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	剥片製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	磨石類その他	礫	その他	石器計	フレイク	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	貝輪腕輪	全体合計	備考
ＳＰ2673	Ｐ－24	小杉		23	20	22																																																					
ＳＰ2674	Ｐ－24	小杉		18.5	18	8																																																					
ＳＰ2675	Ｐ－24	小杉		15	12.5	11																																																				
ＳＰ2676	Ｐ－24	小杉		20	18	12.5																																																				
ＳＰ2677	Ｐ－24	小杉		18	16.5	11																																																				
ＳＰ2678	Ｐ－24	小杉		17.5	16	27																																																				
ＳＰ2679	Ｐ－24	小杉		30	16	10																																																				
ＳＰ2680	Ｑ－24	小杉		25	24	17																																																				
ＳＰ2681	Ｑ－24	小杉		12	10.8	8																																																				
ＳＰ2682	Ｑ－24	小杉		16.5	11	14																																																				
ＳＰ2683	Ｑ－24	小杉		14.5	14	18																																																				
ＳＰ2684	Ｑ－24	小杉		21	21	14																																																				
ＳＰ2685	Ｑ－23	小杉		16	15	11																																																				
ＳＰ2686	Ｑ－24	小杉		18	17	14																																																				
ＳＰ2687	Ｑ－24	小杉		18	18	8.5																																																				
ＳＰ2688	Ｑ－24	杭		17	17	11																																																				
ＳＰ2689	Ｐ－20	小杉		10	10	12																																																				
ＳＰ2690	Ｐ－20	小杉		20	17	16																																																				
ＳＰ2691	Ｐ－20	小杉		19	15	6																																																				
ＳＰ2692	Ｏ－20	小杉		15	13.5	14.5																																																				
ＳＰ2693	Ｏ－20	小杉		19	18	8.5																																																				
ＳＰ2694	Ｐ－23	小杉		20	19.5	12																																																				
ＳＰ2695	Ｐ－23	小杉		15	15	9																																																				
ＳＰ2696	Ｐ－23	小杉		19	18	13																																																				
ＳＰ2697	Ｐ－23	小杉		13	12	8.5																																																				
ＳＰ2698	Ｐ－23	小杉		14	14	19																																																				
ＳＰ2699	Ｐ－23	小杉		12.8	12.5	8.5																																																				
ＳＰ2700	Ｐ－23	小杉		22	21	10																																																				
ＳＰ2701	Ｑ－23	杭		9	8.8	29																																																				
ＳＰ2702	Ｔ－22	小杉		12	10	6.5																																																				
ＳＰ2703	Ｓ－22	小杉		14	12	23																																																				
ＳＰ2704	Ｓ－22	小杉		16	15	9																																																				
ＳＰ2705	Ｓ－22	小杉		14	11.5	12																																																				
ＳＰ2706	Ｓ－22	小杉		16	14.5	26																																																				
ＳＰ2707	Ｓ－23	小杉		14.5	13	19																																																				
ＳＰ2708	Ｓ－23	小杉		16	15	12																																																				
ＳＰ2709	Ｒ－22	小杉		14	12.5	4.2																																																				
ＳＰ2710	Ｒ－22	小杉		16.5	13	12																																																				
ＳＰ2711	Ｒ－22	小杉		18	17	8																																																				
ＳＰ2712	Ｒ－22	小杉		20	15	6																																																				
ＳＰ2713	Ｒ－22	小杉		15	15	6																																																				
ＳＰ2714	Ｒ－23	小杉		19	17.5	10																																																				
ＳＰ2715	Ｒ－23	小杉		12.5	12	9																																																				
ＳＰ2716	Ｒ－23	杭		13	12	34																																																				
ＳＰ2717	Ｒ－23	杭		14	14	24																																																				
ＳＰ2718	Ｓ－24	杭		13	12	19																																																				
ＳＰ2719	Ｓ－24	小杉		16	12	5.5																																																				
ＳＰ2720	Ｓ－24	小杉		29	15	12																																																				
ＳＰ2721	Ｓ－24	小杉		18	14	7																																																				
ＳＰ2722	Ｓ－24	小杉		16.5	15	7																																																				
ＳＰ2723	Ｓ－24	小杉		13	13	31																																																				
ＳＰ2724	Ｓ－24	小杉		16	15	6																																																				
ＳＰ2725	Ｓ－24	小杉		19	16	9																																																				
ＳＰ2726	Ｓ－24	小杉		21	19	17																																																				
ＳＰ2727	Ｓ－25	小杉		16	14	8																																																				
ＳＰ2728	Ｓ－25	小杉		12	12	9																																																				
ＳＰ2729	Ｓ－25	小杉		19	16	20																																																				
ＳＰ2730	Ｓ－25	小杉		15	14.5	22																																																				
ＳＰ2731	Ｓ－25	杭		10	10	29																																																				
ＳＰ2732	Ｑ－22	小杉	中　期	23.8	19	20			1									1																																								1	
ＳＰ2733	Ｑ－22	小杉	後期後葉	22	22	22						1						1																																								2	
ＳＰ2734	Ｑ－22	小杉		15.5	15	17																																																				
ＳＰ2735	Ｑ－22	小杉		20	20	8																																																				
ＳＰ2736	Ｑ－22	小杉		16.5	15	12																																																				
ＳＰ2737	Ｐ－22	小杉		12.5	12	17																																																				
ＳＰ2738	Ｐ－22	小杉		16	15	14																																																				
ＳＰ2739	Ｐ－22	小杉		12.8	13	7.5																																																				
ＳＰ2740	Ｐ－22	小杉		17	15	7																																																				
ＳＰ2741	Ｐ－22	小杉		19	18	10.5																																																				
ＳＰ2742	Ｐ－22	小杉		18	16.5	18																																																				
ＳＰ2743	Ｏ－22	－		15	14.5	18																																																				
ＳＰ2744	Ｏ－22	小杉		14	12	12.5																																																				
ＳＰ2745	Ｏ－22	小杉		17	16	9.5																																																				
ＳＰ2746	Ｏ－22	小杉		19	16.2	14																																																				
ＳＰ2747	Ｏ－22	小杉	後期後葉	18	16	11						2						2																																								2	
ＳＰ2748	Ｏ－22	小杉		20	17	18																																																				
ＳＰ2749	Ｏ－22	小杉	後期後葉	18	18	16						1						1																																								1	
ＳＰ2750	Ｏ－22	小杉		11	11	19																																																				
ＳＰ2751	Ｎ－22	小杉		20	18.5	21																																																				
ＳＰ2752	Ｎ－22	小杉		16	16	13																																																				

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(4)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状製品	オロシ状土製品	焼成粘土	鹿角状品	製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗柳片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 鐵	直ナイフ 石刀	石錐	石鏃	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	剥片製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石その他	礫	その他	石器計	フレク	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	貝輪腕輪	全体合計	備考
ＳＰ2753	Ｎ－22	小杉		17	15.5	8																																																					
ＳＰ2754	Ｎ－22	小杉		15	14	10																																																					
ＳＰ2755	Ｎ－22	小杉		17.8	16	19.5																																																				
ＳＰ2756	Ｎ－22	小杉		15	14.5	11																																																				
ＳＰ2757	Ｎ－22	小杉		18	17	13.5																																																				
ＳＰ2758	Ｎ－22	小杉		16.5	14	9																																																				
ＳＰ2759	Ｎ－22	小杉		16	12.4	5																																																				
ＳＰ2760	Ｎ－22	小杉		13	13	9																																																				
ＳＰ2761	Ｎ－22	小杉		12.8	12.8	6																																																				
ＳＰ2762	Ｎ－22	小杉		12	10	4																																																				
ＳＰ2763	Ｎ－22	小杉		14.4	14	9																																																				
ＳＰ2764	Ｎ－22	小杉		16	12	4.5																																																				
ＳＰ2765	Ｎ－21	小杉		15.5	13	10																																											1		1	2							2	
ＳＰ2766	Ｎ－21	小杉		25	22	32																																													2	2							2	
ＳＰ2767	Ｎ－21	杭		11.5	10	24																																																				
ＳＰ2768	Ｎ－21	小杉		14	14	7																																																				
ＳＰ2769	Ｎ－21	小杉	後期後葉	16	14	19.5			1			3						4																																								4	
ＳＰ2770	Ｎ－21	小杉		22	19	17																																																				
ＳＰ2771	Ｎ－21	小杉		19	16	9																																																				
ＳＰ2772	Ｎ－21	小杉		22	18	11																																																				
ＳＰ2773	Ｎ－21	小杉		20	18	27																																																				
ＳＰ2774	Ｎ－21	小杉		16	16	9.5																																																				
ＳＰ2775	Ｎ－21	小杉		13	12	10																																																				
ＳＰ2776	Ｎ－21	小杉		14	13	8																																																				
ＳＰ2777	Ｎ－20	小杉		20.5	16.5	10																																																				
ＳＰ2778	Ｎ－20	小杉		19	14	9.5																																																				
ＳＰ2779	Ｎ－20	小杉		16	16	9																																																				
ＳＰ2780	Ｎ－20	小杉	後期後葉	22	20	15						7						7																																								7	
ＳＰ2781	Ｎ－20	小杉		16	15	12																																																				
ＳＰ2782	Ｍ－20		後期後葉	16	16	14						2						2																																								2	
ＳＰ2783	Ｍ－20			13	12	5																																																				
ＳＰ2784	Ｍ－20			14	14	8																																																				
ＳＰ2785	Ｍ－20			17	13	8																																																				
ＳＰ2786	Ｍ－20			15	14	27																																																				
ＳＰ2787	Ｍ－20			20	19	14.5																																																				
ＳＰ2788	Ｍ－20			16	15.5	9																																																				
ＳＰ2789	Ｍ－20			19	17	9																																																				
ＳＰ2790	Ｍ－20			16	14	14																																																				
ＳＰ2791	Ｍ－20			16	14	8																																																				
ＳＰ2792	Ｍ－20		後期後葉	18	17	21						1						1																																								1	
ＳＰ2793	Ｍ－20			15	13	16																																																				
ＳＰ2794	Ｍ－21		後期後葉	16	14	13.5						1						1																																								1	
ＳＰ2795	Ｍ－21			12	11	7.5																																																				
ＳＰ2796	Ｍ－21			12	11	12																																																				
ＳＰ2797	Ｍ－21			12	10	19.5																																																				
ＳＰ2798	Ｍ－21			17	16	10																																																				
ＳＰ2799	Ｍ－21			16	15	13.5																																																				
ＳＰ2800	Ｍ－21			16	14.5	9.5																																																				
ＳＰ2801	Ｐ－26	小杉		18	16	8																																																				
ＳＰ2802	Ｐ－26	小杉		12	10.5	10																																																				
ＳＰ2803	Ｐ－25	小杉		18	17	16																																																				
ＳＰ2804	Ｐ－25	小杉		20.5	19	20																																																				
ＳＰ2805	Ｐ－25	小杉		20	19	9																																																				
ＳＰ2806	Ｐ－25	小杉		14	10	30																																																				
ＳＰ2807	Ｐ－25	小杉		14.5	14	16																																																				
ＳＰ2808	Ｐ－25	小杉	後期後葉	17	15.5	8						1						1																																								1	
ＳＰ2809	Ｐ－25	小杉	後期後葉	18	16	25			2			1						3																																								3	
ＳＰ2810	Ｐ－25	小杉		19	18	12																																																				
ＳＰ2811	Ｐ－25	小杉		11	10	6																																																				
ＳＰ2812	Ｐ－25	小杉		20	18	18																																																				
ＳＰ2813	Ｏ－25	小杉		21	19	12																																																				
ＳＰ2814	Ｏ－25	小杉		18	16	8																																																				
ＳＰ2815	Ｏ－25	小杉		17	15.5	7																																																				
ＳＰ2816	Ｏ－25	小杉		24.5	20.5	16																																																				
ＳＰ2817	Ｏ－25	小杉		19	18	9																																																				
ＳＰ2818	Ｏ－25	小杉		18	17	6																																																				
ＳＰ2819	Ｏ－25	小杉		22	19	15																																																				
ＳＰ2820	Ｏ－25	小杉		19.5	18	8																																																				
ＳＰ2821	Ｏ－25	小杉		19.5	18.5	12																																																				
ＳＰ2822	Ｏ－25	小杉		18	17	13.5																																																				
ＳＰ2823	Ｏ－25	小杉		18.5	16	10																																																				
ＳＰ2824	Ｏ－25	小杉		23	17	16																																																				
ＳＰ2825	Ｏ－25	小杉		20	19	12																																																				
ＳＰ2826	Ｏ－25	杭		11	10	21																																																				
ＳＰ2827	Ｏ－25	小杉		14.5	13	5																																																				
ＳＰ2828	Ｏ－25	小杉		17	16.5	6																																																				
ＳＰ2829	Ｏ－25	小杉		16	14.5	8																																																				
ＳＰ2830	Ｏ－25	小杉		19	17	23																																																				
ＳＰ2831	Ｏ－25	小杉		18	17	9																																																				
ＳＰ2832	Ｏ－25	小杉		18	14	19																																																				

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(5)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オガラ状製品	焼成粘土	歯ブラシ	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗柳片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	直ナイフ	石錐	石ナイフ	つまみ付ナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	剥片製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	磨石その他	礫	その他	石器計	フレイク	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	貝輪	貝輪	全合計	体計	備考
ＳＰ2833	Ｏ－25	水炊		21	21	12																																																									
ＳＰ2834	Ｏ－25	水炊		23.5	20	8																																																										
ＳＰ2835	Ｍ－22	水炊		9	9	12																																																										
ＳＰ2836	Ｍ－22	水炊	後期後葉	13	13	10						1						1																																													1	
ＳＰ2837	Ｍ－22	水炊	後期後葉	14	13	10						1						1																																												1	
ＳＰ2838	Ｍ－22	水炊		18	15	12																																																										
ＳＰ2839	Ｍ－22	水炊		22	21	22																																																										
ＳＰ2840	Ｍ－22	水炊		23	21	15																																																										
ＳＰ2841	Ｍ－22	水炊		11	10	8																																																										
ＳＰ2842	Ｍ－22	水炊		22.5	17	14																																																										
ＳＰ2843	Ｍ－22	水炊		12.5	12	13.5																																																										
ＳＰ2844	Ｍ－22	水炊		14	12	7																																																										
ＳＰ2845	Ｍ－22	水炊	後期後葉	25	21	22						1						1																															1												2	
ＳＰ2846	Ｍ－22	水炊		13	11	6																																																										
ＳＰ2847	Ｍ－22	水炊		14	13	10																																																										1	
ＳＰ2848	Ｍ－22	水炊	後期後葉	17	14	16.5						2						2																																													2	
ＳＰ2849	Ｍ－22	水炊		16	15	12																																																										
ＳＰ2850	Ｍ－22	水炊	後期後葉	27	21	10			1			1						2																																													2	
ＳＰ2851	Ｍ－22	水炊	後期後葉	13	(13)	18						4						4																																													4	
ＳＰ2852	Ｍ－22	水炊		16	15	15																																																										
ＳＰ2853	Ｍ－22	水炊	後期後葉	17	15.5	29						5						5																			1														1												6	
ＳＰ2854	Ｍ－22	水炊		15	14	8																																																										
ＳＰ2855	Ｍ－22	水炊		13	13	16																																																										
ＳＰ2856	Ｍ－22	水炊		15	15	21																															1																1	2											2	
ＳＰ2857	Ｍ－22	水炊		19	18	23																																																										
ＳＰ2858	Ｍ－22	水炊	後期後葉	13	12	24						3						3																															1			1	2											5	
ＳＰ2859	Ｍ－22	水炊	後期後葉	20	20	12						3						3																																														3	
ＳＰ2860	Ｍ－22	水炊		11	10	8																																																										
ＳＰ2861	Ｍ－22	水炊	後期後葉	31.5	19	12						6						6																																														6	
ＳＰ2862	Ｍ－22	水炊	後期後葉	13	12.5	9						1						1																																														1	
ＳＰ2863	Ｍ－22	水炊		14	12	11																																																										
ＳＰ2864	Ｍ－22	水炊		22	16	12																																																										
ＳＰ2865	Ｍ－22	水炊	後期後葉	17	16.5	10						3						3																																														3	
ＳＰ2866	Ｍ－22	水炊	後期後葉	24	18	16						1						1																																			2	2											3	
ＳＰ2867	Ｍ－22	水炊		20.5	16	17																																																										
ＳＰ2868	Ｌ－22	水炊		19	19	14																																																										
ＳＰ2869	Ｌ－22	水炊	後期後葉	19	18	14						7						7																																														7	
ＳＰ2870	Ｌ－22	水炊	後期後葉	16	16	8						4						4																																														4	
ＳＰ2871	Ｌ－22	水炊		16	8	7.5																																																											
ＳＰ2872	Ｌ－22	水炊	後期後葉	26	15	10.5						2						2																																			1	1											3	
ＳＰ2873	Ｌ－22	水炊	後期後葉	15	15	10						2						2																																														2	
ＳＰ2874	Ｌ－22	水炊	後期後葉	16	15	12						5						5																																														5	
ＳＰ2875	Ｌ－22	水炊		20	18.5	18																											1																			1												1	
ＳＰ2876	Ｌ－22	水炊	後期後葉	19	18	15						3						3																																														3	
ＳＰ2877	Ｌ－22	水炊	後期後葉	17	16	14						3						3																																														3	
ＳＰ2878	Ｌ－22	水炊	後期後葉	30	18	14			1			4						5																																														5	
ＳＰ2879	Ｌ－22	水炊		18	15.5	8																																																											
ＳＰ2880	Ｌ－22	水炊	後期後葉	15	15	19						2						2																																														2	
ＳＰ2881	Ｌ－22	水炊		11	11	11																																																												1	
ＳＰ2882	Ｌ－22	水炊	後期後葉	18.5	18	6						2						2																																			1	1											2	
ＳＰ2883	Ｌ－22	水炊		13	(11)	8																																																											
ＳＰ2884	Ｌ－22	水炊		14	13	8																																																											
ＳＰ2885	Ｌ－22	水炊	後期後葉	13	13	14						2						2																																														2	
ＳＰ2886	Ｌ－22	水炊		11	10	6																																																											
ＳＰ2887	Ｌ－22	水炊	後期後葉	24	18	22						3						3																																														3	
ＳＰ2888	Ｌ－22	水炊		15	15	12																																																										
ＳＰ2889	Ｌ－22	水炊		34	20	11																																																											
ＳＰ2890	Ｌ－22	水炊	後期後葉	19.5	19	12						4						4																																														4	
ＳＰ2891	Ｌ－22	水炊		12	11	13																																																											
ＳＰ2892	Ｌ－22	水炊		14	13	9																																																											
ＳＰ2893	Ｌ－22	水炊		11.5	11	12																																																											
ＳＰ2894	Ｌ－22	水炊	後期後葉	14.5	13	11						1						1																																														1	
ＳＰ2895	Ｌ－22	水炊		11	11	8																																																											
ＳＰ2896	Ｌ－22	水炊		13	12	5																																																											
ＳＰ2897	Ｌ－22	水炊		12	12	6.5																																																												
ＳＰ2898	Ｌ－22	水炊		14	13	14																																																												
ＳＰ2899	Ｌ－22	水炊	後期後葉	12	12	6						6						6																																														6	
ＳＰ2900	Ｌ－22	水炊		15	14	12																																																											
ＳＰ2901	Ｌ－22	水炊		11	10	8.5																																																											
ＳＰ2902	Ｏ－23	水炊		12.5	12	8																																																											
ＳＰ2903	Ｏ－23	水炊		8	8	3.5																																																											
ＳＰ2904	Ｏ－23	杭		9	8.5	15																																																											
ＳＰ2905	Ｎ－23	水炊		11	11	12																																																											
ＳＰ2906	Ｏ－23	水炊		16	16	6																																																											
ＳＰ2907	Ｎ－23	水炊		20	18.5	14																																																											
ＳＰ2908	Ｏ－23	水炊		15	15	13																																																											
ＳＰ2909	Ｎ－23	水炊	後期後葉	20.5	19	18			2			2						4																																															4	
ＳＰ2910	Ｎ－23	水炊	後期後葉	15	15	9						2						2																																															2	
ＳＰ2911	Ｎ－23	水炊		16	16	7																																																											
ＳＰ2912	Ｎ－23	水炊		12	12	12																																																											

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(6)

| 遺構番号 | グリッド | 検出面 | 時期 | 長径(cm) | 短径(cm) | 深さ(cm) | 土器 | | | | | | | | | | | 土器計 | 土製品 | | | | | | 土製品計 | 漆塗製品 | | | | | 漆塗製品計 | 石器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 石器計 | 石製品 | | | その他 | 骨角器 | | 貝類 | 全体合計 | 備考 |
|---|---|---

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(7)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器											土器計	土製品							土製品計	漆塗製品					漆塗製品計	石器																	石器計	石製品			その他	骨角器		石製品骨角器他	全体合計	備考
							Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群			Ⅴ群			Ⅵ群	Ⅶ群		土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オロシガネ状土製品	焼成粘土	歯片ゑ盃		漆塗櫛	漆塗櫛片	環漆製品	漆塗玉	その他		石鏃	石槍ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	有柔製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク		玉類	石棒	石製品		サメ歯	骨角器			
ＳＰ2993	Ｎ－24	小柱穴	後期後葉	(16)	16	29.5						6						6																																											6	
ＳＰ2994	Ｒ－25	小柱穴		19	14	7																																																								
ＳＰ2995	Ｒ－25	小柱穴		25	17	5																																																								
ＳＰ2996	Ｒ－25	小柱穴		22.5	18	9																																																								
ＳＰ2997	Ｒ－25	小柱穴		11	11	12																																																								
ＳＰ2998	Ｒ－25	小柱穴		12	12	13																																																								
ＳＰ2999	Ｒ－25	小柱穴		11.5	11	10																																																								
ＳＰ3000	Ｒ－25	主柱穴		20	17	29																																																								
ＳＰ3001	Ｒ－25	小柱穴		13	13	20																																																								
ＳＰ3002	Ｒ－25	小柱穴		14	13	13																																																								
ＳＰ3003	Ｑ・Ｒ－25	小柱穴		14	12	21																																																								
ＳＰ3004	Ｒ－25	小柱穴		14.5	14	15																																																								
ＳＰ3005	Ｒ－26	小柱穴		14	12.5	6																																																								
ＳＰ3006	Ｒ－26	小柱穴		(22)	22	26.5																																																								
ＳＰ3007	Ｒ－26	小柱穴		15	14	15																																																								
ＳＰ3008	Ｒ－26	小柱穴		19	17	12																																																								
ＳＰ3009	Ｑ－26	小柱穴		14	13	18																																																								
ＳＰ3010	Ｑ・Ｒ－26	小柱穴		13	13	14																																																								
ＳＰ3011	Ｑ－26	小柱穴		16	15	14																																																								
ＳＰ3012	Ｑ－26	杭		9.5	9	28																																																								
ＳＰ3013	Ｑ－26	小柱穴		18	15	6																																																								
ＳＰ3014	Ｌ－21・22	小柱穴		16	14	11																																																								
ＳＰ3015	Ｌ－21・22	小柱穴		(19)	17	11.5																																																								
ＳＰ3016	Ｌ－21	小柱穴		17	15	13																																																								
ＳＰ3017	Ｌ－21	小柱穴		18	18	22																																																								
ＳＰ3018	Ｌ－21	小柱穴		18	18	12																																																								
ＳＰ3019	Ｌ－21	小柱穴		11	10.5	14																																																								
ＳＰ3020	Ｌ－21	小柱穴		9	8	14																																																								
ＳＰ3021	Ｌ－21	杭		11.5	11	34																																																								
ＳＰ3022	Ｌ－21	杭		14	12	48																																																								
ＳＰ3023	Ｌ－21	小柱穴		17	17	6																																																								
ＳＰ3024	Ｌ－21	小柱穴		18	17	7																																																								
ＳＰ3025	Ｌ－21	小柱穴		14	14	12.5																																																								
ＳＰ3026	Ｌ－21	小柱穴		14	12.5	7																																																								
ＳＰ3027	Ｌ－21	小柱穴		15	12	22																																																								
ＳＰ3028	Ｌ－21	小柱穴		14	14	3.5																																																								
ＳＰ3029	Ｌ－21	小柱穴		14	14	24																																																								
ＳＰ3030	Ｌ－21	小柱穴		17	14	9																																																								
ＳＰ3031	Ｌ－20	小柱穴		14	12.5	11																																																								
ＳＰ3032	Ｌ－20	小柱穴		14	14	9.5																																																								
ＳＰ3033	Ｌ－20	小柱穴		14	12	22																																																								
ＳＰ3034	Ｌ－20	杭		14.5	13	17																																																								
ＳＰ3035	Ｌ－20	小柱穴		18	16	8																																																								
ＳＰ3036	Ｌ－20	小柱穴		14	12	11																																																								
ＳＰ3037	Ｌ－20	小柱穴		17	16	16																																																								
ＳＰ3038	Ｌ－20	小柱穴		16	14	12																																																								
ＳＰ3039	Ｌ－20	小柱穴		18	16	13																																																								
ＳＰ3040	Ｌ－20	小柱穴		19.5	19	18																																																								
ＳＰ3041	Ｌ－19・20	小柱穴		19	18.5	10																																																								
ＳＰ3042	Ｌ－19・20	小柱穴		14.5	12	10																																																								
ＳＰ3043	Ｌ－19・20	小柱穴		18	18	10.5																																																								
ＳＰ3044	Ｍ－23	小柱穴		19	16	12																																																								
ＳＰ3045	Ｍ－23	杭		15	11	24																																																								
ＳＰ3046	Ｍ－23	小柱穴		15	15	13																																																								
ＳＰ3047	Ｍ－23	小柱穴		13	12	9.5																																																								
ＳＰ3048	Ｍ－23	小柱穴		17	16	6																																																								
ＳＰ3049	Ｍ－23	小柱穴		13	11	6																																																								
ＳＰ3050	Ｍ－23	小柱穴		14	14	11																																																								
ＳＰ3051	Ｍ－23	小柱穴		(12)	11	10																																																								
ＳＰ3052	Ｍ－23	小柱穴		15	12	6																																																								
ＳＰ3053	Ｍ－23	小柱穴	後期後葉	28	16	18						1						1																																										1	
ＳＰ3054	Ｍ－23	小柱穴		(13)	12	17																																																								
ＳＰ3055	Ｍ－22・23	小柱穴	後期後葉	18	18	11						1						1																																									1	
ＳＰ3056	Ｍ－22・23	小柱穴		13	12	10																																																								
ＳＰ3057	Ｍ－23	小柱穴		13	12	6																																																								
ＳＰ3058	Ｍ－23	小柱穴		13	12.5	12																																																								
ＳＰ3059	Ｍ－23	小柱穴		14	14	5																																																								
ＳＰ3060	Ｍ－23	小柱穴		19	15	6																																																								
ＳＰ3061	Ｍ－23	小柱穴		11	11	11																																																								
ＳＰ3062	Ｍ－23	小柱穴		14	11	9																																																								
ＳＰ3063	Ｍ－23	小柱穴		13	12	13																																																								
ＳＰ3064	Ｌ－23	杭		10	9	16																																																								
ＳＰ3065	Ｌ－23	小柱穴		21	18	10																																																								
ＳＰ3066	Ｌ－23	小柱穴		11	11	5																																																								
ＳＰ3067	Ｌ－23	小柱穴		9	8	5																																																								
ＳＰ3068	Ｌ－23	小柱穴		23	19	9																																																								
ＳＰ3069	Ｌ－23	小柱穴		13	12	8																																																								
ＳＰ3070	Ｌ－23	小柱穴		15	14.5	10																																																								
ＳＰ3071	Ｌ－23	小柱穴		13	12	10																																																								
ＳＰ3072	Ｌ－23	小柱穴		13.5	13	7																																																								

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(8)

| 遺構番号 | グリッド | 検出面 | 時期 | 長径(cm) | 短径(cm) | 深さ(cm) | 土器 | | | | | | | | | | | 土器計 | 土製品 | | | | | | 土製品計 | 漆塗製品 | | | | | 漆塗製品計 | 石器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 石器計 | 石製品 | | | その他 | 骨角器 | | 鶴嘴斧石器 | 全体合計 | 備考 |
|---|---|---

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(9)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オンドル状土製品	幾成粘土	歯ブラシ	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗柳片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	直刃石器	石錐	つまみ付ナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	剥片製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石その他	礫	その他	石器計	フレイク	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	貝輪	全体合計	備考
ＳＰ3153	Ｋ－21	小杮		(18)	17.5	29																																																				
ＳＰ3154	Ｋ－21	小杮		14	13.5	14																																																			
ＳＰ3155	Ｋ－21	小杮		15	10.5	11																																																			
ＳＰ3156	Ｋ－21	小杮		14	12	6																																																			
ＳＰ3157	Ｋ－21	小杮	後期後葉	14	(12)	12						1						1																																							1
ＳＰ3158	Ｋ－21	小杮		12.5	11	9																																																		
ＳＰ3159	Ｋ－21	小杮		12	(9.5)	12																																																		
ＳＰ3160	Ｋ－21	小杮		15	14.5	9																																																		
ＳＰ3161	Ｋ－21	小杮		18	17	22																																																		
ＳＰ3162	Ｋ－21	小杮	後期後葉	24	20	32						1						1																			1														1						2
ＳＰ3163	Ｋ－21	小杮		13	12.5	12																																																		
ＳＰ3164	Ｋ－21	杭		12	11	19																																																		
ＳＰ3165	Ｋ－21	杭		15	13	18																																																		
ＳＰ3166	Ｋ－21	小杮		14	14	7.5																																																		
ＳＰ3167	Ｋ－21	小杮		10	10	10																																																		
ＳＰ3168	Ｊ・Ｋ－21	小杮		20	18	12																																																		
ＳＰ3169	Ｋ－21	小杮	後期後葉	16	14	10						2						2																																							2
ＳＰ3170	Ｋ－21	小杮		19	19	14																																																		
ＳＰ3171	Ｋ－21	小杮		18	17	16																																																		
ＳＰ3172	Ｋ－21	小杮		19	18	22																																																		
ＳＰ3173	Ｋ－21	小杮		15	15	18																																																		
ＳＰ3174	Ｋ－21	小杮		26	25	19																																																		
ＳＰ3175	Ｋ－21	小杮		11.5	10.5	17																																																		
ＳＰ3176	Ｋ－20・21	杭		12	11	23																																																		
ＳＰ3177	Ｋ－21	小杮		14	13	7																																																		
ＳＰ3178	Ｋ－21	小杮	後期後葉	27	23	19		1				2						3																																							3
ＳＰ3179	Ｋ－23	小杮		24	24	12																																																		
ＳＰ3180	Ｋ－23	小杮		12	12	6																																																		
ＳＰ3181	Ｋ－23	小杮		18	18	9																																																		
ＳＰ3182	Ｋ－23	小杮		14	14	7																																																		
ＳＰ3183	Ｋ－23	小杮		16.5	16	10																																																		
ＳＰ3184	Ｋ－23	小杮		18.5	18	8																																																		
ＳＰ3185	Ｋ－23	小杮		13	12	6																																																		
ＳＰ3186	Ｋ－23	小杮		18	18	12																																																		
ＳＰ3187	Ｋ－23	小杮	後期後葉	15	14.5	7						2						2																																			1	1							3	
ＳＰ3188	Ｋ－23	小杮		17	16	12																																																		
ＳＰ3189	Ｋ－23	小杮	後期後葉	11	11	9						1						1																																							1	
ＳＰ3190	Ｋ－23	小杮		20	19	19																																																		
ＳＰ3191	Ｋ－23	小杮		11	11	9																																																		
ＳＰ3192	Ｋ－23	小杮		12	(10)	8																																																		
ＳＰ3193	Ｋ－23	小杮		14	12.5	8																																																		
ＳＰ3194	Ｋ－23	杭		10	10	22																																																		
ＳＰ3195	Ｋ－23	小杮		6.5	6.5	7																																																		
ＳＰ3196	Ｋ－23	小杮		10	9.5	5.5																																																		
ＳＰ3197	Ｋ－23	小杮		10	10	4																																																		
ＳＰ3198	Ｋ－23	小杮		16.5	16	8																																																		
ＳＰ3199	Ｋ－23	小杮		18	16.5	6																																																		
ＳＰ3200	Ｋ－22	小杮		20	20	13																																																		
ＳＰ3201	Ｋ－22	小杮		11	10	6																																																		
ＳＰ3202	Ｋ－22	小杮		18	17.5	11																																																		
ＳＰ3203	Ｋ－22	小杮		15	14	17																																																		
ＳＰ3204	Ｋ－22	小杮		18	18	10																																																		
ＳＰ3205	Ｋ－22	小杮		20	20	9.5																																																		
ＳＰ3206	Ｋ－22	小杮		15	14.5	25																																																		
ＳＰ3207	Ｋ－22	杭		8	8	21																																																		
ＳＰ3208	Ｋ－22	小杮		11	10	11																																																		
ＳＰ3209	Ｋ－22	小杮		13	13	4																																																		
ＳＰ3210	Ｋ－22	小杮		14	14	5																																																		
ＳＰ3211	Ｋ－22	小杮		14	(12)	28																																																		
ＳＰ3212	Ｋ－22	小杮		12	12	14																																																		
ＳＰ3213	Ｋ－22	小杮		20	20	12																																																		
ＳＰ3214	Ｋ－22	小杮		16	16	6																																																		
ＳＰ3215	Ｋ－22	小杮		12	12	13																																																		
ＳＰ3216	Ｋ－22	小杮		15	14	10																																																		
ＳＰ3217	Ｋ－22	小杮		14	14	14																																																		
ＳＰ3218	Ｋ－22	小杮		30	22	12																																																		
ＳＰ3219	Ｋ－22	小杮		26	16	16																																																		
ＳＰ3220	Ｊ－22	小杮		8.5	8	10.5																																																		
ＳＰ3221	Ｋ－22	小杮		15	14	7.5																																																		
ＳＰ3222	Ｌ－24	小杮		19	18	13																																																		
ＳＰ3223	Ｌ－24	小杮		13.5	13	7																																																		
ＳＰ3224	Ｌ－24	小杮		14	14	12																																																		
ＳＰ3225	Ｌ－24	小杮		16	15	14																																																		1	1							1	
ＳＰ3226	Ｌ－24	小杮		11	10.5	10																																																		
ＳＰ3227	Ｌ－24	小杮		11	10	13																																																		
ＳＰ3228	Ｌ－24	小杮		13	12	7.5																																																		
ＳＰ3229	Ｌ－24	小杮		13	13	12.5																																																		
ＳＰ3230	Ｌ－24	小杮		16	15	21																																																		
ＳＰ3231	Ｌ－24	小杮		13	13	8																																																		
ＳＰ3232	Ｌ－24	小杮		14	13	6																																																		

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(10)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器										土器計	土製品						土製品計	漆塗製品					漆塗製品計	石器																				石器計	石製品			その他	骨角器		礫	全体合計	備考
							Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群			Ⅴ群			Ⅵ群	Ⅶ群		土玉	垂飾	耳栓	環状製品	焼成粘土		漆塗櫛	漆塗櫛片	漆塗櫛製品	漆塗玉	その他		石鏃	石錐	石匙	石核	石斧	石斧片	石製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	磨石類その他	礫	その他	フレイク		玉類	石棒	石製品		サメ歯	骨角器			
										Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc																																											
ＳＰ3233	Ｌ－24	杭		10	9	20																																																			
ＳＰ3234	Ｌ－24	小柱穴		12	12	5																																																		
ＳＰ3235	Ｌ－24	小柱穴		9	8.5	10																																																	
ＳＰ3236	Ｌ－24	小柱穴		9.5	9	5																																																	
ＳＰ3237	Ｌ－24	小柱穴		18	16	12																																																	
ＳＰ3238	Ｌ－24	小柱穴		13	12	7																																																	
ＳＰ3239	Ｌ－24	小柱穴		13	11	8																																																	
ＳＰ3240	Ｌ－24	小柱穴		14	13.5	9.5																																																	
ＳＰ3241	Ｋ－24	小柱穴		20	18	11																																																	
ＳＰ3242	Ｋ－24	小柱穴		18	17	8																																																	
ＳＰ3243	Ｋ－24	小柱穴		15	13.5	5																																																	
欠番	Ｋ－24	小柱穴		－	－	－																																																
ＳＰ3245	Ｋ－24	小柱穴		16	15	13																																																	
ＳＰ3246	Ｍ－24	小柱穴		9	9	7.5																																																	
ＳＰ3247	Ｎ－24	小柱穴		34	32	18																																																	
ＳＰ3248	Ｍ－24	小柱穴		10	10	3																																																	
ＳＰ3249	Ｍ－24	小柱穴		13	13	4.5																																																	
ＳＰ3250	Ｍ－24	小柱穴		11	10	5																																																	
ＳＰ3251	Ｍ－24	小柱穴		9	8.5	11																																																	
ＳＰ3252	Ｍ－24	杭		9	9	16																																																	
ＳＰ3253	Ｍ－24	小柱穴		14	13	7																																																	
ＳＰ3254	Ｍ－24	小柱穴		13	12	16.5																																																	
ＳＰ3255	Ｋ－18	小柱穴	後期後葉	16	16	16						2					2																																						2								2	
ＳＰ3256	Ｋ－18	小柱穴		14	14	13.5																																																		
ＳＰ3257	Ｋ－18	小柱穴		26	14	9																																																	
ＳＰ3258	Ｋ－18	小柱穴		15	14.5	15																																																
ＳＰ3259	Ｋ－18	小柱穴		(13)	12	18																																																
ＳＰ3260	Ｋ－18	小柱穴	後期後葉	16.5	16	17						4					4																																						4								4	
ＳＰ3261	Ｋ－18	小柱穴		14	13	16																																																
ＳＰ3262	Ｋ－18	小柱穴		14	14	15																																																
ＳＰ3263	Ｋ－18	小柱穴		18	17	15																																																
ＳＰ3264	Ｋ－18	小柱穴	後期後葉	16	16	13						2					2																																						1	1							3	
ＳＰ3265	Ｋ－18	小柱穴	後期後葉	14	14	22						1					1																																										1	
ＳＰ3266	Ｋ－18	小柱穴	後期後葉	12.5	12	16						1					1																																										1	
ＳＰ3267	Ｋ－18	小柱穴	後期後葉	12.5	12.5	10			1			2					3																																									3	
ＳＰ3268	Ｋ－18	小柱穴		11	10	9																																																	1	1							1	
ＳＰ3269	Ｋ－18	小柱穴		16	16	15																																																	
ＳＰ3270	Ｋ－18	小柱穴		12	(11)	10																																																	
ＳＰ3271	Ｋ－18	杭		11	10	21																																																
ＳＰ3272	Ｋ－18	小柱穴		11	10.5	7																																																
ＳＰ3273	Ｋ－18	小柱穴		16.5	16	7																																																
ＳＰ3274	Ｋ－17	小柱穴		16	16	7																																																
ＳＰ3275	Ｋ－17	小柱穴		10	9	8																																																
ＳＰ3276	Ｋ－17	小柱穴		11	10	12																																																
ＳＰ3277	Ｋ－17	小柱穴		15	14	20																																																
ＳＰ3278	Ｋ－17	小柱穴		13	13	8																																																
ＳＰ3279	Ｋ－17	小柱穴		16	16	11																																																
ＳＰ3280	Ｋ－17	小柱穴		11	11	7.5																																																
ＳＰ3281	Ｋ－16	小柱穴		12	12	16.5																																																
ＳＰ3282	Ｋ－16	小柱穴		13	12.5	10																																																
ＳＰ3283	Ｌ－16	小柱穴		15	15	10																																																
ＳＰ3284	Ｋ－16	小柱穴		8	8	14																																																
ＳＰ3285	Ｋ－16	小柱穴		11	11	5																																																
ＳＰ3286	Ｋ－16	小柱穴		10	10	9																																																
ＳＰ3287	Ｋ－16	小柱穴		10	9	4																																																
ＳＰ3288	Ｏ－27	小柱穴		14.6	14	18																																																
ＳＰ3289	Ｏ－27	小柱穴	後期後葉	18	14	21						1					1																																						1								1	
ＳＰ3290	Ｏ－27	小柱穴		17.6	13.6	26																																																
ＳＰ3291	Ｏ－27	小柱穴		11.6	9	22																																																
ＳＰ3292	Ｏ－27	小柱穴	後期後葉	34.4	22	20						1					1																																						1								1	
ＳＰ3293	Ｏ－27・28	小柱穴		14.4	12.4	31																																																
ＳＰ3294	Ｏ－28	小柱穴		21.6	20	18.4																																															1	1							1	
ＳＰ3295	Ｏ－28	柱穴	後期後葉	34	33.6	32			1			16					17																																						1	2							19	
ＳＰ3296	Ｏ－28	小柱穴		22	16.4	20																																																
ＳＰ3297	Ｏ－28	小柱穴		16	16	16																																																
ＳＰ3298	Ｏ－28	小柱穴	後期後葉	24	20	16						2					2																																						2								2	
ＳＰ3299	Ｏ－28	小柱穴		15.6	14	18.4																																																
ＳＰ3300	Ｏ－28	柱穴	後期後葉	24	23.6	30						1					1																																						1								2	
ＳＰ3301	Ｏ－28	小柱穴		20.4	20	16.4																																																
ＳＰ3302	Ｏ－28	小柱穴		12	8.6	16																																																
ＳＰ3303	Ｏ－28	小柱穴	晩期前葉	28	22	29.5						8	1				9																																						3	5							14	
ＳＰ3304	Ｐ－28	小柱穴	後期後葉	26	26	28.4	1					17					18																																											18	
ＳＰ3305	Ｐ－28	小柱穴		21	15.6	22																																																	
ＳＰ3306	Ｐ－28	小柱穴		19.6	18	18																																																
ＳＰ3307	Ｐ－29	小柱穴		13	12	16																																																
ＳＰ3308	Ｐ－29	小柱穴		11.6	10	12.6																																																
ＳＰ3309	Ｏ－29	小柱穴	後期後葉	30	30	52						11					11																																					2	6	8						19	
ＳＰ3310	Ｏ－28・29	小柱穴		16	12	26																																																
ＳＰ3311	Ｏ－29	小柱穴		12	10.6	46																																																
ＳＰ3312	Ｌ－26	小柱穴	早　期	22.4	18.6	30	3										3																																								3	

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(11)

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オロシガネ状土製品	焼成粘土	鹿の子瓜	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗櫛片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	石槍ナイフ	石錐	石器 つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	石器 石製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク	石器計	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	石製品骨角器他	全体合計	備考
ＳＰ3313	Ｌ－26	杭		8.4	8	12.6																																																							
ＳＰ3314	Ｌ－26	杭		10.6	8.4	18.4																																																							
ＳＰ3315	Ｌ－26	小柱穴		20.2	18	10																																																							
ＳＰ3316	Ｍ－26	小柱穴	後期後葉	20	17	20						3						3																																										3	
ＳＰ3317	Ｌ－27	杭		8.5	8	22																														1															1								1	
ＳＰ3318	Ｌ－27	小柱穴		10.6	10.6	14																																																							
ＳＰ3319	Ｌ－27	小柱穴		17	16	14.4																																																							
ＳＰ3320	Ｍ－27	小柱穴		14	12	16																																																							
ＳＰ3321	Ｍ－27	小柱穴		12	10	12																																																							
ＳＰ3322	Ｎ－26	小柱穴		12	8	12																																																							
ＳＰ3323	Ｎ－26	小柱穴		14	13	18																																																							
ＳＰ3324	Ｎ－26	杭		6	5	10																																																							
ＳＰ3325	Ｎ－26	小柱穴		12	10	19																																																							
ＳＰ3326	Ｎ－26	小柱穴	後期後葉	19.6	18	18						1						1																																										1	
ＳＰ3327	Ｎ－26	小柱穴		18	18	14																																																							
ＳＰ3328	Ｎ－27	小柱穴		10.6	10.2	25																																																							
ＳＰ3329	Ｎ－27	小柱穴		15	16	19																																																							
ＳＰ3330	Ｎ－27	小柱穴		20	16	10																																																							
ＳＰ3331	Ｎ－27	柱穴		24.6	22	14																																																							
ＳＰ3332	Ｎ－26	小柱穴		15.6	14.6	14																																																							
ＳＰ3333	Ｌ－28	小柱穴	後期後葉	15.6	15	17			1			2						3																																										3	
ＳＰ3334	Ｌ－28	小柱穴	後期後葉	16.4	15.6	11						1						1																																										1	
ＳＰ3335	Ｌ－28	小柱穴		10.4	10	16																																																							
ＳＰ3336	Ｌ－28	小柱穴		17.6	16	20.4																																																							
ＳＰ3337	Ｌ－28	小柱穴		28.4	20	17.6																																													1	1								1	
ＳＰ3338	Ｌ－28	小柱穴		19.6	18.4	17																																																							
ＳＰ3339	Ｌ－28	小柱穴	後期後葉	23	19	12						2						2																																										2	
ＳＰ3340	Ｌ－28	小柱穴	後期後葉	24	14	18						1						1																																										1	
ＳＰ3341	Ｌ－28	小柱穴	後期後葉	19.6	14	15						1						1																																										1	
ＳＰ3342	Ｌ－28	小柱穴		12.6	12	14																																																							
ＳＰ3343	Ｌ－28	小柱穴		20	19.6	12.6																																																							
ＳＰ3344	Ｌ－28	小柱穴		22	16	16																																																							
ＳＰ3345	Ｌ－28	杭		8.4	7.6	22																																																							
ＳＰ3346	Ｍ－28	小柱穴	後期後葉	12.4	12	24						3						3																																										3	
ＳＰ3347	Ｍ－28	小柱穴		13	12.6	12																																																							
ＳＰ3348	Ｍ－27・28	小柱穴	後期後葉	24.4	19	23						5						5																																										5	
ＳＰ3349	Ｍ－28	小柱穴		22.6	16	16																																																							
ＳＰ3350	Ｐ－35																																										1									1								1	
ＳＰ3351	Ｍ－28	小柱穴		18	15.6	18.6																																																							
ＳＰ3352	Ｍ－28	小柱穴		24	22.4	14																																													1	1								1	
ＳＰ3353	Ｍ－28	小柱穴	後期後葉	16	15.6	20.4						10						10																																										10	
ＳＰ3354	Ｍ－28	杭		19.6	14.6	32																																																							
ＳＰ3355	Ｍ－28	杭		25	20	44																																																							
ＳＰ3356	Ｍ－28	小柱穴		16.6	15.6	18																																																							
ＳＰ3357	Ｍ－28・29	柱穴	後期後葉	28	19.6	27						3						3																																										3	
ＳＰ3358	Ｍ－28	小柱穴		19.6	14.6	14.6																																																							
ＳＰ3359	Ｍ・Ｎ－28	小柱穴		22.4	19	16																																																							
ＳＰ3360	Ｎ－28	小柱穴		26.4	18.6	28																																																							
ＳＰ3361	Ｎ－28	小柱穴		21	20	26																																																							
ＳＰ3362	Ｎ－28	小柱穴		20	17	11																																																							
ＳＰ3363	Ｎ－28	柱穴	後期後葉	26	18	28						1						1																																										1	
ＳＰ3364	Ｎ－28	小柱穴		17	16	16.6																																																							
ＳＰ3365	Ｎ－28	小柱穴		17	17	25																																																							
ＳＰ3366	Ｎ－28・29	小柱穴	後期後葉	22	21.6	10						3						3																				1														1								4	
ＳＰ3367	Ｎ－29	杭		10.6	10	16																																																							
ＳＰ3368	Ｎ－29	柱穴		21	19.6	3																																																							
ＳＰ3369	Ｌ－29	小柱穴		14	12.6	32																																																							
ＳＰ3370	Ｌ－29	柱穴		20	16	28																																																							
ＳＰ3371	Ｌ－29	小柱穴	後期後葉	17	15.6	12						4						4																																										4	
欠番	Ｌ－29	小柱穴		－	－	－																																																							
ＳＰ3373	Ｌ－29	柱穴	後期後葉	26	19	28			4			3						7																																		1	1								8	
ＳＰ3374	Ｍ－29	小柱穴	後期後葉	24	17.6	14.4						1						1																																										1	
ＳＰ3375	Ｍ－29	杭		7	6	28.4																																																							
ＳＰ3376	Ｍ－29	柱穴		17.6	14	27																																																							
ＳＰ3377	Ｍ－28・29	杭		8	7	44																																																							
ＳＰ3378	Ｍ－29	小柱穴		20	14	16																																																							
ＳＰ3379	Ｍ－29	小柱穴		14	12	21																																																							
ＳＰ3380	Ｒ－28	小柱穴	後期後葉	16.6	14	20						21						21																																		2	2								23	
ＳＰ3381	Ｌ－31	小柱穴		18.4	18	12.4																																1														1								1	
ＳＰ3382	Ｑ－29	小柱穴		14.6	12	23																																																							
ＳＰ3383	Ｑ－29	柱穴		9.6	8	24.6																																																							
ＳＰ3384	Ｑ－29	小柱穴		14.4	14	16																																																							
ＳＰ3385	Ｑ－30	小柱穴		16	13	26																																																							
ＳＰ3386	Ｑ－30	小柱穴		13	13	25																																																							
ＳＰ3387	Ｐ－30	小柱穴		18	14.6	32																																																							
ＳＰ3388	Ｐ－31	小柱穴		15	11	24																																																							
ＳＰ3389	Ｐ－32	柱穴		29.6	28	16																																												1		1								1	
ＳＰ3390	Ｕ－34	小柱穴		18	17.6	15																																																							
ＳＰ3391	Ｓ－34	柱穴		20	19	36																																																							
ＳＰ3392	Ｓ－35	小柱穴		16	15.6	21.6																																																							

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧⑫

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状製品	オロシ状土製品	焼成粘土	歯ブラシ	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗柳片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	植刃 石刃ナイフ	石錐	つまみ付ナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	剥片製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレク	石器計	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	貝輪	全合計	備考
ＳＰ3393	Ｔ－35	小杮		37	26	6																																																					
ＳＰ3394	Ｓ・Ｔ－36	小杮		41	38	10																																																				
ＳＰ3395	Ｔ－36	小杮		40	40	10																																																				
ＳＰ3396	Ｓ－36	柱穴		18.6	17.6	59																																																				
ＳＰ3397	Ｓ－36	柱穴		37.6	26	53																																									1					1								1	
ＳＰ3398	Ｎ－35	小杮		29.5	19	36																																																				
ＳＰ3399	Ｎ－35	小杮	後期後葉	34	22	39						1						1																																	1	1							2	
ＳＰ3400	Ｑ－46	小杮		12	10.6	26																																																			
ＳＰ3401	Ｑ－46	小杮		16	15	23																																																			
ＳＰ3402	Ｖ－43	小杮		14	14	9																																																			
ＳＰ3403	Ｖ－43	小杮		12	11	10																																																			
ＳＰ3404	Ｖ－44	小杮		9	8	12																																																			
ＳＰ3405	Ｖ－44	小杮		14	14	14																																																			
ＳＰ3406	Ｖ－44	小杮		16	15.6	10																																																			
ＳＰ3407	Ｖ－44	小杮	前　期	17	17	18.4		1										1																																								1	
ＳＰ3408	Ｖ－44	小杮		24	18	17																																																			
ＳＰ3409	Ｖ－44	小杮		14.6	11	13																																																			
ＳＰ3410	Ｖ－44	杭		10	8	19.6																																																			
ＳＰ3411	Ｖ－44	小杮		13	13	14.6																																																			
ＳＰ3412	Ｖ－44	杭		7.6	6	22																																																			
ＳＰ3413	Ｖ－44	小杮		12	12	9.6																																																			
ＳＰ3414	Ｖ－45	小杮		12	11.6	10.4																																																			
ＳＰ3415	Ｖ－45	小杮		12	8	8																																																			
ＳＰ3416	Ｖ－45	小杮		17	13	6																																																			
ＳＰ3417	Ｖ－45	小杮		13.6	12	9.6																																																			
ＳＰ3418	Ｖ－45	小杮		9	9	5																																																			
ＳＰ3419	Ｖ－45	小杮		11	9.6	11																																																			
ＳＰ3420	Ｖ－45	小杮		11	11	11.6																																																			
ＳＰ3421	Ｖ－45	小杮		12	10	8																																																			
ＳＰ3422	Ｖ－45	小杮		12	10	10																																																			
ＳＰ3423	Ｖ－45	小杮		10.4	9	5.6																																																			
ＳＰ3424	Ｖ－45	小杮		9	9	12																																																			
ＳＰ3425	Ｖ－45	小杮		16	14	14																																																			
ＳＰ3426	Ｖ－45	小杮		13	11	11																																																			
ＳＰ3427	Ｖ－45	小杮		17.6	14	15																																																			
ＳＰ3428	Ｖ－45	小杮		15	14	16																																																			
ＳＰ3429	Ｑ－45	小杮		16	12	13																																																			
ＳＰ3430	Ｘ－38	柱穴	前　期	27	14	42		5										5																														1					1								6	
ＳＰ3431	Ｘ－38	柱穴	中　期	11.6	10.4	41			1									1																																										1	
ＳＰ3432	Ｗ－37	小杮		16	14	29																																																			
ＳＰ3433	Ｗ－37	小杮		18	14	30.6																																																			
ＳＰ3434	Ｖ－37	小杮		21	16	36																																																			
ＳＰ3435	Ｖ－37	小杮		21	16	58																																																			
ＳＰ3436	Ｖ－37	小杮		24	20	36.6																																																			
ＳＰ3437	Ｕ－37	柱穴		10	10	28																																																			
ＳＰ3438	Ｕ－37	柱穴		154	120	48																																																			
ＳＰ3439	Ｕ－37	小杮		120	90	130																																																			
欠番	Ｕ－37	小杮		－	－	－																																																			
ＳＰ3441	Ｕ－37	小杮	早　期	28	22	24.6	1											1																																									1	
ＳＰ3442	Ｕ－37	柱穴		20.4	12.4	46																																																			
ＳＰ3443	Ｔ－37	小杮		29.6	29	12																																																			
ＳＰ3444	Ｔ－37	小杮		23	18	38																																																			
ＳＰ3445	Ｔ－37	小杮		28	21	7																																																			
ＳＰ3446	Ｔ－37	柱穴	前　期	28	21	40		1										1																																									1	
ＳＰ3447	Ｔ－37	柱穴		34	29	47																																																			
ＳＰ3448	Ｔ－37	小杮		26	23	24																																																			
ＳＰ3449	Ｔ－37	小杮		22	20	22																																																			
ＳＰ3450	Ｔ－37	小杮		18	16	15																																																			
ＳＰ3451	Ｔ－37	柱穴		20	20	59																																																			
ＳＰ3452	Ｔ－37	柱穴		23	18	44																																																			
ＳＰ3453	Ｔ－37	柱穴		18.4	18	58																																																			
ＳＰ3454	Ｔ－37	小杮		14	13	20																																																			
ＳＰ3455	Ｔ－37	柱穴		19	18	39																																																			
ＳＰ3456	Ｔ－37	柱穴		26.4	24	48																																																			
ＳＰ3457	Ｓ－37	小杮		15.6	14.6	14																																																			
ＳＰ3458	Ｓ－37	小杮		14	14	40																																																			
ＳＰ3459	Ｓ－37	小杮		36	32.6	8																																																			
ＳＰ3460	Ｓ－37	小杮		50.6	36	18																																																			
ＳＰ3461	Ｓ－37	小杮	後期後葉	40	38.6	11						1						1																																									1	
ＳＰ3462	Ｓ－37	小杮		17	16	48																																																			
ＳＰ3463	Ｓ－37	小杮		18	17.4	38																																																			
ＳＰ3464	Ｖ－38	小杮		26	24.6	16																																																			
欠番	Ｎ－35	柱穴		－	－	42																																																			
ＳＰ3466	Ｖ－37	柱穴		20	20	58																																																			
ＳＰ3467	Ｖ－37	柱穴		17	16	54																																																			
ＳＰ3468	Ｎ－34	大杮		85	75.6	48																																																			
ＳＰ3469	Ｓ－33	小杮		19.6	18.4	24.6																																																			
ＳＰ3470	Ｓ－34	小杮		24	23.6	36																																																			
ＳＰ3471	Ｏ－31	柱穴		22	22	17																																																			
ＳＰ3472	Ｏ－31	柱穴		22	20	24.6																																																			

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧⑬

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オロシガネ状土製品	焼成粘土	鹿の子瓜	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗櫛片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	石槍ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	石斧未製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク	石器計	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	石製品骨角器他	全体合計	備考
ＳＰ3473	Ｏ－31	柱穴		20	19.6	30																																																						
ＳＰ3474	Ｏ－31	柱穴		22.4	20.4	24																																																						
ＳＰ3475	Ｒ－37	小柱穴		17	14.6	17																																																						
ＳＰ3476	Ｒ－37	柱穴		22.4	21.6	45																																																						
ＳＰ3477	Ｏ－37	小柱穴		20	20	18.4																																																						
ＳＰ3478	Ｏ－37	小柱穴		22	20	12																																																						
ＳＰ3479	Ｏ－36・37	柱穴	後期後葉	50	29	27						1						1																																									1	
ＳＰ3480	Ｔ－42	柱穴		28.4	23.64																																																							
ＳＰ3481	Ｔ－43	小柱穴		25	23	9.6																																																						
ＳＰ3482	Ｔ－43	柱穴	前　期	30	25	47		1										1																													1			1								2	
ＳＰ3483	Ｓ－43	柱穴		17	16.4	42																																																						
ＳＰ3484	Ｓ－45	小柱穴		25	24	8																																											1	1								1	
ＳＰ3485	Ｓ－45	小柱穴		26	24	27																																																						
ＳＰ3486	Ｓ－45	小柱穴		19	17	10																																																						
ＳＰ3487	Ｏ－37	小柱穴		18	17	19																																																						
ＳＰ3488	Ｎ－36	小柱穴		15	14	34																																				1									1								1	
ＳＰ3489	Ｍ－37	柱穴		12.6	12	42																															1														1								1	
ＳＰ3490	Ｔ－47	柱穴?		40.4	40.4	8																																																						
ＳＰ3491	Ｖ－42	柱穴		24.4	24.4	24.6																																																						
ＳＰ3492	Ｖ－42	柱穴		24	23.6	14																																																						
ＳＰ3493	Ｖ－42	柱穴		40	38	42																																									1				1								1	
ＳＰ3494	Ｖ－42	小柱穴		14	14	13																																																						
ＳＰ3495	Ｖ－42	小柱穴		13.6	13.6	12.4																																																						
ＳＰ3496	Ｖ－42	小柱穴		15	13.6	9.6																																																						
ＳＰ3497	Ｖ－42	小柱穴		15	14	21																																										1			1								1	
ＳＰ3498	Ｖ－42	小柱穴		12	12	15.6																																																						
ＳＰ3499	Ｖ－42	小柱穴		14	14	11																																																						
ＳＰ3500	Ｖ－41	小柱穴		19	19	26.6																																																						
ＳＰ3501	Ｖ－41	小柱穴		14	13.6	15																																																						
ＳＰ3502	Ｖ－41	小柱穴		26	25.6	56																																				1									1								1	
ＳＰ3503	Ｖ－41	小柱穴		19.6	18	19																														1															1								1	
ＳＰ3504	Ｖ－41	小柱穴		17.6	17	18																																																						
ＳＰ3505	Ｖ－41	小柱穴		13	13	23.6																																																						
ＳＰ3506	Ｖ－41	小柱穴		12.6	12	14.6																																																						
ＳＰ3507	Ｖ－41	小柱穴		18	17.4	36																																																						
ＳＰ3508	Ｕ－41	小柱穴		18	17	28																																																						
ＳＰ3509	Ｕ－41	柱穴		24	23.6	54.6																																																						
ＳＰ3510	Ｕ－41	小柱穴		19	18	34																																																						
ＳＰ3511	Ｕ－41	小柱穴		18	18	26																																												1	1								1	
ＳＰ3512	Ｕ－41	柱穴		32	33	48																														1															1								1	
ＳＰ3513	Ｕ－41	柱穴		23	22	35																															1													3	4								4	
ＳＰ3514	Ｕ－41	柱穴	後期後葉	43.6	41	56						3						3																			1														1								4	
ＳＰ3515	Ｗ－40	柱穴	前　期	38	36	37		2										2																																									2	
ＳＰ3516	Ｖ・Ｗ－40	柱穴	中　期	44	41	23			6									6																			1										1		5	7								13	
ＳＰ3517	Ｕ－40	柱穴		43.6	28	29.6																																																						
ＳＰ3518	Ｖ－39	柱穴		27	26	28																																																						
ＳＰ3519	Ｖ－39	小柱穴		16.4	16	29																																																						
ＳＰ3520	Ｖ－40	小柱穴		14	14	21																																																						
ＳＰ3521	Ｕ－39	小柱穴	後期前葉	18	17.6	34				5								5																																									5	
ＳＰ3522	Ｕ－38	柱穴		40	39	28																																												1	1								1	
ＳＰ3523	Ｖ－38	柱穴		20	20	35																																																						
ＳＰ3524	Ｔ－39	柱穴	中　期	44	44	21			2									2															1																	1	2								4	
ＳＰ3525	Ｕ－38	柱穴		24	23.6	28																																												1	1								1	
ＳＰ3526	Ｔ－39	柱穴		19	19	29																																																						
ＳＰ3527	Ｓ－40	柱穴		25	24	34																																																						
ＳＰ3528	Ｓ－40	柱穴		22	21	40																																																						
ＳＰ3529	Ｓ－39	柱穴		14	14	39																																																						
ＳＰ3530	Ｓ－39	柱穴		18	18	39																																																						
ＳＰ3531	Ｓ・Ｔ－39	柱穴		19	18	27																																																						
ＳＰ3532	Ｓ－40	柱穴		29	29	42																																																						
ＳＰ3533	Ｔ－40	浅いＰ		50	49	6																											1																		1								1	
ＳＰ3534	Ｔ－39	浅いＰ		40	39	8																																												1	1								1	
ＳＰ3535	Ｓ－39	浅いＰ	中　期	40	40	16			1									1																																								1	
ＳＰ3536	Ｓ－37・38	浅いＰ		46	44	12																														1															1								1	
ＳＰ3537	Ｓ・Ｔ－37	柱穴		25.6	23.6	66																																																						
ＳＰ3538	Ｓ－36	小柱穴		21	20	29.6																																																						
ＳＰ3539	Ｓ－36	小柱穴		20	19	41																																																						
ＳＰ3540	Ｔ－36	小柱穴		16.4	16.4	24																																																						
ＳＰ3541	Ｔ－36	小柱穴		17	16	29																																																						
ＳＰ3542	Ｔ－36	小柱穴		18	18	24																																																						
ＳＰ3543	Ｔ－36	小柱穴		16	16	18																																																						
ＳＰ3544	Ｔ－35・36	小土壙		53	20	18																															1													1	2								2	
ＳＰ3545	Ｓ－36	小柱穴		22	22	18																																																						
ＳＰ3546	Ｓ－36	小柱穴		20	19	31																																																						
ＳＰ3547	Ｒ－36	小柱穴		15	14	19																																																						
ＳＰ3548	Ｒ－35	小柱穴		18	16	30.4																																																						
ＳＰ3549	Ｒ－35	小柱穴		21	20	30																																																						
ＳＰ3550	Ｒ－35	小柱穴		22	21	26																																																						
ＳＰ3551	Ｒ－35	小柱穴	後期後葉	19	18	14						1						1																	1																1								2	
ＳＰ3552	Ｒ－35	小土壙		44	43	6.4																																										1				1								1	

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧⑭

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状製品	オロシ状製品	焼成粘土	歯ブラシ	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗柳片	漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	植刃 石ナイフ	石錐	つまみ付ナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	剥片製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク	石器計	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	貝輪腕輪	全合計	備考
ＳＰ3553	Ｒ－36	小竪穴		16.4	15.6	18																																																				
ＳＰ3554	Ｒ－36	小竪穴		13	12.4	21																																																			
ＳＰ3555	Ｒ－36	小竪穴		18.4	18.4	47																																																		
ＳＰ3556	Ｑ－36	小竪穴		16	16	14																																																		
ＳＰ3557	Ｑ－36	小竪穴		13	12.4	28																																																		
ＳＰ3558	Ｑ－36	柱穴		30	30	25																																																		
ＳＰ3559	Ｑ－36	小竪穴		19	16	27.6																																																		
ＳＰ3560	Ｒ－35	柱穴		24	22	52																																																		
ＳＰ3561	Ｑ－35・36	小竪穴		16	16	39																																																		
ＳＰ3562	Ｑ－35	小竪穴		16.4	16.4	15																																																		
ＳＰ3563	Ｑ－35	小竪穴		22	22	37																																																		
ＳＰ3564	Ｑ－35	小土壙		38	38	8.4																																																		
ＳＰ3565	Ｑ－35	小土壙	後期後葉	18	15	8.4						9						9																																						9	
ＳＰ3566	Ｑ－35	柱穴		22	22	44																																																		
ＳＰ3567	Ｑ－36	小竪穴		15	14.6	20																																																		
ＳＰ3568	Ｑ－36	小竪穴		20	19	19.6																																																		
ＳＰ3569	Ｑ－36	小竪穴		22	22	68																																																		
ＳＰ3570	Ｑ－36	小竪穴		22	20	27																																																		
ＳＰ3571	Ｑ－36	小竪穴		20	20	17																																																		
ＳＰ3572	Ｑ－36	小竪穴		14	14	15																																																		
ＳＰ3573	Ｐ－36	小竪穴	早　期	17	16	42	1											1																																						1	
ＳＰ3574	Ｐ－36	小竪穴		14	14	29																																																		
ＳＰ3575	Ｐ－36	小竪穴		21	22	53																																1															1						1	
ＳＰ3576	Ｐ－36	小竪穴		14	14	18																																																		
ＳＰ3577	Ｐ－36	小竪穴		15.6	14	22																																																		
ＳＰ3578	Ｐ－36	小竪穴		17	16	15																																																		
ＳＰ3579	Ｐ－36	小竪穴		18	17.6	13																																																		
ＳＰ3580	Ｐ－34・35	小竪穴	前　期	22	22	55		1										1																																						1	
ＳＰ3581	Ｑ－34	小竪穴		18.4	18	41																																																		
ＳＰ3582	Ｑ－34	小竪穴		21	20	15																																																		
ＳＰ3583	Ｑ－34	小竪穴		17	17	21																																																		
ＳＰ3584	Ｑ－34	小竪穴		18	17	22																																																		
ＳＰ3585	Ｑ－33・34	小土壙		44	44	18																																																		
ＳＰ3586	Ｑ－33・34	小土壙		44	42	10																																																2	2							2	
ＳＰ3587	Ｓ－33	小土壙		40	39	11																																																		
ＳＰ3588	Ｐ－36	小竪穴		20	19	31																																																		
ＳＰ3589	Ｎ－32	小竪穴		18	18	40																																																		
ＳＰ3590	Ｍ－32	小竪穴		15	14	28																																																		
ＳＰ3591	Ｎ－31	小竪穴	後期後葉	19	18	17						3						3																																						3	
ＳＰ3592	Ｎ－31	小竪穴		15	15	26																																																		
ＳＰ3593	Ｎ－31	小竪穴		25	25	30																																																	1			1						1	
ＳＰ3594	Ｎ－31	小土壙	後期後葉	21	20	15						5						5																				2															2						7	
ＳＰ3595	Ｎ・Ｏ－30	小土壙		42	41	9																																																		
ＳＰ3596	Ｍ－31	小竪穴		19	19	27																																																		
ＳＰ3597	Ｍ－31	小竪穴		12	11	22																																																		
ＳＰ3598	Ｍ－31	小竪穴		13	12	30																																																		
ＳＰ3599	Ｍ－31	小竪穴		21	20	22																																																		
ＳＰ3600	Ｍ－32	小竪穴		20	20	27																																																		
ＳＰ3601	Ｍ－32	小竪穴		16	15	26																																																		
ＳＰ3602	Ｍ－32	小竪穴		14	13	10																																																		
ＳＰ3603	Ｍ－32	小竪穴	後期後葉	20	19	10						1						1																																						1	
ＳＰ3604	Ｍ－32	小竪穴		16	14.6	8.4																																																		
ＳＰ3605	Ｎ－32	小竪穴		18	18	30																																																		
ＳＰ3606	Ｎ－32	小竪穴		20	19	38																																																		
ＳＰ3607	Ｎ－31・32	小竪穴		18	17.6	21																																																		
ＳＰ3608	Ｎ－32	小竪穴		21	21	25																																																		
ＳＰ3609	Ｏ－32	小竪穴	後期前葉	24	23	15				1								1																																						1	
ＳＰ3610	Ｏ－32	小土壙	後期後葉	72	32	16.6			2			6						8																																					1	1							9	
ＳＰ3611	Ｎ－32	小竪穴		24.6	24	14.6																																																		
ＳＰ3612	Ｎ－33	柱穴		26	24	32																																																		
ＳＰ3613	Ｎ－33	小竪穴		18	18	17																																																		
ＳＰ3614	Ｎ－33	小竪穴		18	16	28																																																		
ＳＰ3615	Ｎ－34	柱穴	早　期	48	33	22	1											1																																						1	
ＳＰ3616	Ｎ－34	小竪穴		16	15	20																																																		
ＳＰ3617	Ｎ－34	小竪穴		14	14	17																																																		
ＳＰ3618	Ｏ－34	小土壙		48	28	13																																																		
ＳＰ3619	Ｏ－33	小竪穴		20	20	30																																																		
ＳＰ3620	Ｏ－33	小竪穴		21	20	30																																																		
ＳＰ3621	Ｏ－34	小土壙		46	44	11																																																		
ＳＰ3622	Ｏ－33	小竪穴		23.6	23	25																																																		
ＳＰ3623	Ｏ－33	小竪穴		18	18	14.6																																																		
ＳＰ3624	Ｏ－33	小竪穴		20	19.6	20																																																		
ＳＰ3625	Ｏ－33	小土壙	早　期	41	40	13	1											1																															1			1	2							3	
ＳＰ3626	Ｏ－33	小竪穴		21.6	21.6	29																																																		
ＳＰ3627	Ｏ－33	小土壙	後期後葉	35	35	21						2						2																																						2	
ＳＰ3628	Ｏ－33	小竪穴		21	20	11																																																		
ＳＰ3629	Ｏ－33	小竪穴		21	21	12																																																		
ＳＰ3630	Ｎ－32	小竪穴		18	17	13																																																1	1							1	
ＳＰ3631	Ｎ－32	小竪穴		19	18	13																																																		
ＳＰ3632	Ｏ－32	小竪穴	早　期	25	25	18	1											1																																						1	

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧⑮

遺構番号	グリッド	検出面	時期	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	土器 Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅳ群 Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ群 Ⅴa	Ⅴb	Ⅴc	Ⅵ群	Ⅶ群	土器計	土製品 土玉	垂飾	耳栓	環状土製品	オロシガネ状土製品	焼成粘土	歯片ゑ温	土製品計	漆塗製品 漆塗櫛	漆塗櫛片	環漆塗製品	漆塗玉	その他	漆塗製品計	石器 石鏃	石槍ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー類	楔形石器	石核	石斧	石斧片	剥片製品	敲き石	砥石	すり石	石皿	礫石器その他	礫	その他	フレイク	石器計	石製品 玉類	石棒	石製品	その他	骨角器 サメ歯	骨角器	石製品	全体合計	備考
ＳＰ3633	Ｐ－35	小柱穴		18	18	24																																																						
ＳＰ3634	Ｎ・Ｏ－33	小柱穴		35	34	22.4																																																						
ＳＰ3635	Ｎ－38	小柱穴		12	12	29																																									1			1								1	
ＳＰ3636	Ｏ－38	小柱穴		15.6	14	25																																																					
ＳＰ3637	Ｏ－38	小柱穴		16	15	32																																																					
ＳＰ3638	Ｏ－38	小柱穴		15	14.6	32																																																					
ＳＰ3639	Ｏ－38	小柱穴		81	24	21																																			2									2								2	
ＳＰ3640	Ｏ－38	小土壙		18.6	18	23																																																					
ＳＰ3641	Ｑ－35	小柱穴		22	20	47															1					1																																1	
ＳＰ3642	Ｐ－38	柱穴		14.6	14.4	22.4																																																					
ＳＰ3643	Ｑ－38	小柱穴		14.6	14.4	21																																																					
ＳＰ3644	Ｐ－38・39	小柱穴		15	15	16																																																					
ＳＰ3645	Ｑ－39	小柱穴		19	18	54																																								1	1			2								2	
ＳＰ3646	Ｑ－38	小柱穴		24	24	16																																																					
ＳＰ3647	Ｐ－39	小柱穴		15	15	31																																																					
ＳＰ3648	Ｏ－39	柱穴		25	25	24																																																					
ＳＰ3649	Ｏ－39	柱穴	前　期	33	29	18		3										3																																									3	
ＳＰ3650	Ｏ－39	小柱穴		22	22	13																																																					
ＳＰ3651	Ｐ－40	小柱穴		14	14	19																																																					
ＳＰ3652	Ｐ－40	小柱穴		16	16	24																																																					
ＳＰ3653	Ｐ－40	小柱穴		12.4	12	19																																																					
ＳＰ3654	Ｐ－40・41	小柱穴		14	14	19																																																					
ＳＰ3655	Ｑ－40・41	小柱穴		16	16	15																																																					
ＳＰ3656	Ｒ－40	小柱穴		18	17	28																																																					
ＳＰ3657	Ｒ－40	小柱穴		12	12	12																																																					
ＳＰ3658	Ｑ－40	小柱穴		24	24	12																																																					
ＳＰ3659	Ｑ－40	小柱穴		14	13	11																																																					
ＳＰ3660	Ｒ－40	小柱穴		13	13	13.6																																																					
ＳＰ3661	Ｒ－39	小柱穴		20	19.6	16																																																					
ＳＰ3662	Ｐ－40	小柱穴		10	10	17																																																					
ＳＰ3663	Ｓ－42	小柱穴		13	12.6	20																																																					
ＳＰ3664	Ｓ－42	小柱穴		14.6	14	9.6																																																					
ＳＰ3665	Ｓ－42	小柱穴		13	12	12																																																					
ＳＰ3666	Ｓ－41	小柱穴		12	12	22																																																					
ＳＰ3667	Ｔ－41	小柱穴		16	16	22																																																					
ＳＰ3668	Ｔ－41	小柱穴		12	11.6	12																																																					
ＳＰ3669	Ｔ－41	小柱穴		20	20	14																																																					
ＳＰ3670	Ｔ－41	小柱穴		15	14	25																																																					
ＳＰ3671	Ｔ－41	小柱穴		12	11.6	18																																																					
ＳＰ3672	Ｔ－41	小柱穴		19	18	33																																												1	1								1	
ＳＰ3673	Ｔ－38	柱穴		26	24	26																																																					
ＳＰ3674	Ｔ－39	小柱穴		16	15	45																																																					
ＳＰ3675	Ｔ－39	小柱穴		21	20	14																																																					
ＳＰ3676	Ｔ－39	小柱穴		15	14	26																																																					
ＳＰ3677	Ｓ－39	小柱穴		16	15	15																																																					
ＳＰ3678	Ｓ－38	小柱穴		22	20	12																																																					
ＳＰ3679	Ｓ－38	小柱穴		21	21	12																																																					
ＳＰ3680	Ｓ－38	小土壙		34.6	34	6.4																																																					
ＳＰ3681	Ｓ－37	小柱穴		20	19	19																																																					
ＳＰ3682	Ｒ－34	小柱穴		14	13	18																																																					
ＳＰ3683	Ｒ－34	小柱穴		24	24	18																																																					
ＳＰ3684	Ｒ－34	小柱穴		16	16	30																																																					
ＳＰ3685	Ｑ－33	小柱穴		18.6	18	30																																																					
ＳＰ3686	Ｓ－32	小柱穴		13	12	16.6																																																					
ＳＰ3687	Ｓ－32	小柱穴		15	14	21																																																					
ＳＰ3688	Ｓ－32	小土壙		44	43	10.6																																																					
ＳＰ3689	Ｓ－32	小柱穴	中　期	20	19	22			1									1																																									1	
ＳＰ3690	Ｓ－31	小柱穴		13	12	23																																																					
ＳＰ3691	Ｓ－31	小柱穴		19	18	20																																																					
ＳＰ3692	Ｓ－31	小柱穴		12	11	19.6																																																					
ＳＰ3693	Ｓ－30	小柱穴		27	27	19																																																					
ＳＰ3694	Ｔ－29	小柱穴		15	14.6	20																																																					
ＳＰ3695	Ｔ－28	小柱穴	中　期	24	24	30			1									1																																									1	
ＳＰ3696	Ｔ－28	小柱穴		17	16	18																																																					
ＳＰ3697	Ｓ－28	小柱穴	中　期	30	28	14			1									1																							3									3								4	
ＳＰ3698	Ｓ－29	柱穴		36	34	33																																																					
ＳＰ3699	Ｓ－29	小柱穴	後期後葉	20	20	17						2						2																															1	1								3	
ＳＰ3700	Ｓ－29	小柱穴	後期後葉	18.6	18	14						2						2																																								2	
ＳＰ3701	Ｖ－43	小柱穴		13	12	10																																																					
ＳＰ3702	Ｖ－43	小柱穴		14	14	16																																																					
ＳＰ3703	Ｖ－43	小柱穴		11	11	7																																																					
ＳＰ3704	Ｖ－43	小柱穴		18.6	18	11																																																					
ＳＰ3705	Ｖ－43	小柱穴		18	18	12																																																					
ＳＰ3706	Ｖ－43	小柱穴		20	19	20																																																					
ＳＰ3707	Ｖ－43	小柱穴		20	18	11.6																																																					
ＳＰ3708	Ｖ－43	小柱穴		14	13	11.6																																																					
ＳＰ3709	Ｖ－43	小柱穴		12.6	12	22																																																					
ＳＰ3710	Ｖ－43	小柱穴		17	16	22																																																					
ＳＰ3711	Ｖ－43	小柱穴		16	15	18																																																					
ＳＰ3712	Ｖ－43	小柱穴		16.4	16	17																																																					

表Ⅳ－10　ＳＰ出土遺物一覧(16)

| 遺構番号 | グリッド | 検出面 | 時期 | 長径(cm) | 短径(cm) | 深さ(cm) | 土器 | | | | | | | | | | | 土器計 | 土製品 | | | | | | 土製品計 | 漆塗製品 | | | | | 漆塗製品計 | 石器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 石器計 | 石製品 | | | その他 | 骨角器 | | 礫石器 | 全体合計 | 備考 |
|---|---|---

Ⅴ　自然科学的手法による分析

1　西島松５遺跡出土の玉類・石製品・石斧石材の岩石学的分析

西島松５遺跡の平成14～16年度の調査において出土した玉類・石製品・石斧の石材について、平成16・18・19年度の３ヵ年にわたり、アースサイエンス株式会社に依頼して岩石学的分析を行った。

平成16年度は、墓から出土した玉類22点、包含層出土の石斧２点を分析した。その結果、「カンラン岩」と予想された玉類の石材について、「変質ダンカンラン岩」という予察的な見解が示された。また、従来「蛇紋岩」とされることの多かった石斧の石材について、「ロジン岩」との結果を得た。

平成18年度には、墓から出土した玉の過半数におよぶ751点を分析し、その結果、前回「変質ダンカンラン岩」とされたものの含め、大部分が「緑泥石岩」との結論を得た。

平成19年度は墓から出土した玉類５点と石棒５点を分析した。玉類については、前年までの分析データを補完するため、資料の破壊を伴うＸ線粉末分析を含む分析を行った。破壊を伴う分析には、接合・個体復元が不可能な小破片を用いた。その結果、玉類は前年までの結果を追認するデータが得られ、石棒については緑色凝灰岩・石英片岩などとの鑑定結果が得られている。

以下、１－１～１－３として、各年度の分析報告を掲載する。このうち、平成16年度に分析を行った石斧は、北埋調報248集「西島松３遺跡・西島松５遺跡⑸」において報告済みで、第３分冊図版284に写真を再掲している。

なお、分析報告中の遺物番号は、当初現地での取り上げ番号を使用していたが、今回の掲載に当たり本報告書掲載番号に置き換えてある。

1－1　西島松５遺跡出土カンラン岩・ロジン岩製遺物産地分析（平成17年度）

アースサイエンス株式会社

1．分析方針

⑴　実体顕微鏡による検鏡

ここでは予察的に玉類22資料、石斧２資料を検鏡したが、これを含めて詳細な記載を行う。代表的な資料数点については実体鏡写真を撮影する。

⑵　非破壊分析

１）全岩化学組成分析

ＸＲＦ（蛍光Ｘ線）による分析を行う。

ダンカンラン岩……３資料（うち１資料は自形クロマイトを含むもの）

ロジン岩？……４資料（１資料は日高町より入手）

タルク岩？……１資料

２）鉱物分析

ＥＤＳ（エネルギー分散型ＥＰＭＡ）による鉱物分析を行う。

ダンカンラン岩……３資料につき各カンラン石？、クロマイト

ロジン岩……４資料につき各３鉱物

タルク岩？……１資料につき１鉱物

３）分析試料

非破壊分析用資料は以下を使用する。

ダンカンラン岩　・P511209（自形クロマイト、帯緑灰色カンラン石？）
・P516 3（他形クロマイト、帯緑灰色カンラン石？）
・P516 8（自形クロマイト、黄緑色カンラン石？）
ロジン岩？　・P516 13（ザクロ石？、透輝石？、クロマイト？）
・P516 19（ザクロ石？、ペクトライト？、石英？、緑色鉱物）
・包含層P－4511層（小)(ペクトライト？、タルク？）
・日高ひすい入りロジン岩（ペクトライト、透輝石、ザクロ石）
タルク岩　・P516 12（タルク？）

⑶ 破壊分析

1）X線粉末回折

ＸＲＤ（X線粉末回折）による分析を行う。

ロジン岩……2資料

2）分析試料

資料は以下のごく一部を使用する。

・P－4311層（大）
・P－4511層（小）

⑷ 考察

すべてのデータを総合し、供給源の推定を行う。

1）カンラン岩は北海道のものであれば、幌満カンラン岩体（様似町）を含む日高帯の諸カンラン岩体、または神居古潭帯の岩内岳カンラン岩体（日高町）に由来する。それぞれにダンカンラン岩が存在するが、日高帯と神居古潭帯のダンカンラン岩の岩石学的特徴がやや異なることを利用して、玉類との比較検討を行う。これに基づいて道内のものかどうか？道内のものであればどのカンラン岩体に由来するかを議論する。道外のものであれば、その供給源について考察する。カンラン石は一定の熱水条件の下で蛇紋石や緑泥石に変質し易いので、この点にも注目する。

2）ロジン岩は蛇紋岩に接触する種々の岩石が蛇紋岩化作用（カンラン岩が蛇紋岩に変化する作用＝このときCaを蛇紋岩の外へ放出する）に伴うカルシウム交代作用を受けて、種々のカルウム鉱物の集合体となった岩石である。すなわち、ロジン岩であるということはそれが蛇紋岩地域からもたらされたことを意味する。この中でとくに、微褶曲が発達する特殊なロジン岩は分布が限られ、これに、いわゆる「日高ひすい」(＝クロム透輝石）が含まれていれば、それは日高町から平取町にかけて分布する糠平蛇紋岩体からもたらされた可能性が非常に高くなる。すなわち、石器の材料としてロジン岩の転石を採取したとすると、沙流川水系ということになる。

これらの可能性について分析データを総合し、既存データとの比較・検討を行った上で議論する。

3）タルクは蛇紋岩中に局所的に生成することが多い。したがって、タルクであることが確認されれば、これを含む石器の石材が蛇紋岩地域からもたらされたものである可能性が高くなる。しかし、タルクは強度的に弱い鉱物なので、ひすい輝石等他の鉱物の可能性も考えられる。

4）ロジン岩の可能性を考えた資料の一部は、緑色凝灰岩の可能性もある。この点について明

らかにする。

5）全体を総合し、玉類の母材の供給源を推定する。

2．玉類代表試料他の肉眼鑑定結果

肉眼鑑定はルーペと実体鏡（40×）を併用して行った。結果を表２－１に示す。

なお、表の岩石名等は分析の結果に基づいて修正してある。

3．全岩化学分析

全岩化学分析（および鉱物分析）を行った資料のうち、玉の写真を図３－１に示す。

３－１　分析装置及び分析条件

分析には北海道教育大学札幌校のフィリップス社製蛍光Ｘ線分析装置MagiXを使用した。各元素の測定条件を表３－１に示す。Ｘ線管球はエンドウィンドウ型のＲｈ管球を用いた。測定環境はヘリウム環境中で測定している。測定時間は一試料につき約23分である。

試料及び定量操作：試料は未処理のものをそのまま測定試料とした。試料測定用プラスチック製カップに、一重のポリプロピレンフィルムを装着し、試料を入れた。中の試料が動かないようにフタをして、金属ホルダーに入れ試料室にセットし測定を行った。定量分析はフィリップス社製のソフトＩＱ＋を用いファンダメンタルパラメータ法（ＦＰ法）によって行った。

なお、本装置では、Na–Uの元素が定量可能であり、Ｃ、Ｎ、Ｏといった軽元素は検出できない。

本試料の測定で用いたＦＰ法は、標準試料を用いた検量線法とは異なり、分析線の強度が試料の組成と基礎的定数（ファンダメンタルパラメータ）の関数として記述できるという考え方を基礎とした理論計算法である。この方法は、出所不明の未知試料の分析や、試料の形状・重量に関係なく前処理なしで定量できるメリットがある。

表２－１　恵庭市西島松５遺跡玉類他の肉眼鑑定結果

	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考
玉	P511	図138－209	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色半透明のカンラン石（変質）が主体．自形のクロマイトを含む．直径５㎜，厚さ３㎜→蛇紋石主体らしい．
	P511	図138－26	変質ダンカンラン岩	直径12㎜，厚さ（長さ）19㎜の筒状．暗灰色のカンラン石（変質）が主体．自形のクロマイトを含む．
	P516	図144－１	変質ダンカンラン岩	暗緑灰色のカンラン石（変質）が主体．クロマイトは認められない．
	P516	図144－２	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．半自形のクロマイトを含む．カンラン石は部分的に蛇紋石化？
	P516	図144－３	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．クロマイトが含まれるが他形．テクトニックな変形組織が認められる．→緑泥石主体であった．
	P516	図144－４	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．自形のクロマイトを含む．微細フラクチャーに沿ってわずかに蛇紋石脈生成．
	P516	図144－６	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．リングの側面に形の良い自形のクロマイトを含む．
	P516	図144－５	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．自形のクロマイトを含む．直径７㎜，厚さ３㎜．
	P516	図144－７	変質ダンカンラン岩	黄緑色のカンラン石（変質）が主体．自形のクロマイトを含む．
	P516	図144－８	変質ダンカンラン岩	黄緑色のカンラン石（変質）が主体．自形のクロマイトを含む．微細なフラクチャーに沿って，蛇紋石化．→緑泥石主体であった．
	P516	図144－９	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．半自形～自形のクロマイトを含む．微細なフラクチャーに沿って蛇紋石化？．
	P516	図144－10	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．自形？のクロマイトを含む．径７㎜．
	P516	図144－11	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．半自形のクロマイトを含む．
	P516	図144－12	ひすい輝石岩	透明感の強い帯緑灰色のタルク（滑石）？のみからなる．→分析の結果ひすい輝石岩（ひすい輝石＋オンファス輝石）であることが判明．
	P516	図144－13	緑色凝灰岩	帯緑灰色を呈する粒子と灰白色粒子の集合体．帯緑灰色粒子はときに自形，ときに灰白色粒子間で他形．灰白色粒子はときにカンラン石様の自形．不透明鉱物が１個認められる．
	P516	図144－14	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．自形～他形のクロマイトを含む．数枚の蛇紋石細脈？が定向配列．
	P516	図144－15	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．半自形のクロマイトを含む．蛇紋石細脈？生成．
	P516	図144－16	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．半自形？のクロマイトを含む．
	P516	図144－17	緑色凝灰岩	帯緑灰色を呈する自形または他形の粒子と灰白色を呈する自形または他形の粒子の集合体.「P51614」と酷似．ただし，不透明鉱物は認められない．
	P516	図144－18	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．自形のクロマイトを含む．変質したカンラン石はさらに部分的に風化し，淡褐色を呈する.8×15㎜（厚さは５㎜）程度の細長い楕円状．
	P516	図144－19	緑色凝灰岩	帯緑灰色の基質中に無数の楕円形で不規則な外形をした灰白色粒子（ガラス？）が散在する．これは一部同心円状に灰白色鉱物が生成しており，発泡痕を埋めているような印象もある．自形・短柱状の石英？（炭酸塩鉱物？）が晶洞中に生成．自形の不透明鉱物が微少量存在．ガラス片主体の緑色凝灰岩と考えられる．
	P666	図205－23	変質ダンカンラン岩	帯緑灰色のカンラン石（変質）が主体．自形のクロマイトを含む．
石斧	包含層P－43 11層（大）	北埋調報248「西島松３遺跡・西島松５遺跡(5)」図Ⅴ－78－12	ロジン岩（微褶曲タイプ）	灰白色片状で微褶曲が発達．主として針状透明鉱物（方解石やアラレ石ではない）の集合体．一部暗灰色半透明鉱物を含む．クロマイト様半自形鉱物を少量含む．X線粉末回折から，トレモラ閃石集合体である．
	包含層P－45 11層（小）	北埋調報248「西島松３遺跡・西島松５遺跡(5)」図Ⅴ－78－16	ロジン岩（微褶曲タイプ）	帯緑灰色片状で微褶曲が発達．他形～半自形のクロマイトらしい粒状鉱物が散在．X線粉末回折から，トレモラ閃石＞＞緑泥石である．

表３－１　各元素の測定条件

	Analytical element Kα	Lα	Crystal	Detector	kV	mA	Angle (°2θ)	Counting time (s)
1	Mo－Pr		LiF200	Scint.	60	50	9.5－21	115
2	Zn－Mo	Re－Am	LiF220	Scint.	60	50	27.5－62	345
3	V－Cu	Pr－W	LiF220	Duplex	50	60	61－126	650
4	K－V	In－Ce	LiF200	Flow	24	125	76－146	175
5	P－Cl	Zr－Ru	Ge111	Flow	24	125	91－146	22
6	Si－Si	Rb－Sr	PE002	Flow	24	125	100－115	5
7	Al－Al	Br－Br	PE002	Flow	24	125	130－147.04	5.68
8	Na－Mg	Zn－Se	PX１	Flow	24	125	20－30.05	2.68

Scint.　；；シンチレーション検出器
Duplex；ガスフロー検出器とXeシールド型のタンデム型検出器
Flow；ガスフロー検出器

３－２　分析結果

全岩化学分析値を表３－２に示す。非破壊のため、表面に凹凸があり、かつ試料がX線照射面積の一部しか占めないので、ノーマライズ前の合計値は低い。

１）変質ダンカンラン岩

ダンカンラン岩と肉眼鑑定した３試料（P511－209、P516－３、P516－５）はすべて変質している可能性が高い。新鮮なダンカンラン岩は、岩内岳カンラン岩体の例では、SiO_2　42～43%、MgO　45%前後、Al_2O_3　0.1～1.0%である（例えば資源エネルギー庁、1989）。これに対し、P511－209は、Al_2O_3　1.5%とダンカンラン岩に近いものの、SiO_2は61%と多く、MgOは逆に32%と少ない。これはダンカンラン岩質蛇紋岩の分析値（SiO_2　32～42%、MgO　40～42%、Al_2O_3　0.2～1.0%）（資源エネルギー庁、1989）と比べても、やはりSiO_2が多く、MgOが少ない。ただし、MgOは32%とは言え、普通の岩石としては非常に多い。Al_2O_3が少ないことからみて、斜長石を含む岩石ではないと考えられる。自形のスピネル（クロマイト）を含むことも考えると、ダンカンラン岩質の蛇紋岩がさらに変質作用を受けて、不良結晶度蛇紋石（ジュエライト）主体の変質鉱物集合に変わっている可能性が考えられる。

P516－３とP516－８は新鮮なダンカンラン岩に比べてSiO_2量は矛盾しないが、MgOは少なく（28～29%）、Al_2O_3が異常に多い（18～21%）。このことは、少なくとも蛇紋石が主体ではなく、MgOの多い緑泥石が主体であることを示している。

２）ひすい

P516－12は、当初タルク（滑石）の可能性を考えたが、分析値はSiO_2　61%、Al_2O_3　20%、MgO　３%、CaO　７%、Na_2O　７%などであった。

タルクはAl_2O_3を含まないので、タルクではない。淡緑色半透明の玉として使われる鉱物はひすい輝石が考えられる。ひすい輝石はSiO_2　56～62%、Al_2O_3　12～25%、MgO　２%以下、CaO　0.3～４%（特殊なもので13%）、Na_2O　12～15%（特殊なもので６%）（Deer. et al., 1997）であるので、分析値からみてひすい輝石である可能性が高い。

３）凝灰岩

P516－13および17は岩石組織からみて、複数種の鉱物片の集合体である。SiO_2　59～67%、Al_2O_3　16%、Fe_2O_3　2.5～８%、CaO　3.6～5.4%、K_2O　5.2～6.8%が含まれる。

肉眼的に淡緑色であることなども考えると、続成作用ないし、低温の熱水変質作用を受けて生成した緑色凝灰岩であると考えられる。この場合、沸石を多量に生じることが多いが、この分析値はその可能性を支持している。

４）ロジン岩

P－45（小型の石斧）はSiO_2　50%、Al_2O_3　８%、Fe_2O_3　14%、MgO　16%、CaO　10%を含む。トレモラ閃石が主体のロジン岩であろう。

P－43のHR－３とHR－５は「日高ひすい」を含むロジン岩である。白色の単斜輝石が主体であって、P－45とは構成鉱物種が異なる。

ロジン岩は、日高町～平取町周辺の例によると、トレモラ閃石主体のものも単斜輝石主体のものも存在する（Katoh･Niida, 1983）。ただし、蛇紋岩起源のロジン岩で、トレモラ閃石主体のものは、現在のところ確認されていない。

表３－２　全岩化学分析値

試料番号	P511－209		P516－３		P516－８		P516－12		P516－13		P516－19		P－45		HR－３（P－45）		HR－５（P－45）	
岩石名	変質ダンカンラン岩		変質ダンカンラン岩		変質ダンカンラン岩		ひすい輝石岩		凝灰岩		ガラス質凝灰岩		ロジン岩		日高ひすいロジン岩（暗緑色部）		日高ひすいロジン岩（灰白部）	
化合物名	濃度(%)	絶対誤差(%)	濃度(%)	絶対誤差(%)	濃度(%)	絶対誤差(%)	濃度(%)	絶対誤差(%)	濃度(%)	絶対誤差(%)	濃度(%)	絶対誤差(%)	濃度(%)	絶対誤差(%)	濃度(%)	絶対誤差(%)	濃度(%)	絶対誤差(%)
SiO_2	61.09	0.9	43.84	0.6	42.86	0.6	60.73	1	66.51	0.6	58.90	0.5	49.80	0.2	55.29	0.2	52.24	0.3
TiO_2											1.13	0.04	0.09	0.006				
Al_2O_3	1.47	0.1	18.20	0.3	20.90	0.4	19.53	0.5	16.17	0.3	16.37	0.3	7.94	0.1	1.92	0.04	0.86	0.05
Fe_2O_3	4.83	0.1	7.62	0.06	6.84	0.09	1.72	0.08	2.50	0.06	7.98	0.08	14.34	0.05	3.26	0.03	4.43	0.05
MnO			0.12	0.008							0.56	0.03	0.85	0.01	0.05	0.002	0.27	0.020
MgO	31.56	0.4	29.18	0.2	27.89	0.3	3.02	0.1	0.50	0.03	1.27	0.04	15.67	0.09	15.26		12.28	0.1
CaO							6.54	0.2	5.37	0.1	3.59	0.07	10.08	0.05	23.85		29.66	0.1
Na_2O							6.65	0.3							0.22	0.01		
K_2O							0.37	0.04	6.84	0.1	5.19	0.06	0.11	0.006				
P_2O_5	0.61	0.06	0.62	0.04	0.87	0.06	0.79	0.06	0.60	0.03	0.65	0.03	0.14	0.01				
SO_3					0.18	0.02	0.31	0.04					0.09	0.006			0.06	0.007
Ba									0.97	0.03	3.65	0.05						
Rb									0.02	0.001	0.03	0.001						
Sr							0.10	0.002	0.54	0.004	0.70	0.004	0.01	0.001	0.01	0.001		
Ni	0.440	0.02	0.32	0.009	0.468	0.02	0.24	0.01					0.50	0.008	0.14	0.004	0.10	0.006
Cr			0.09	0.007									0.36	0.01			0.10	0.006
Co													0.03	0.002				
Total	100.00		99.99		100.01		100.00		100.02		100.02		100.01		100.00		100.00	
ノーマライズ前 Total	2.70%		8.60%		5.20%		2.60%		6.40%		12.40%		40.10%		49.00%		15.90%	
備考	Al_2O_3が少なく，MgOが多い．不良結晶度蛇紋石（ジュエライト）主体の可能性．		Al_2O_3が多く，MgOが多い．緑泥石主体の可能性．		Al_2O_3が多く，MgOが多い．緑泥石主体の可能性．		ひすい輝石よりオンファス輝石に近い組成．		緑色凝灰岩．沸石主体と考えられる．		緑色凝灰岩．沸石主体と考えられる．		トレモラ閃石〉〉緑泥石		単斜輝石〉〉アンチゴライト〉緑泥石		単斜輝石	

分析法：蛍光Ｘ線分析（非破壊，ファンダメンタル・パラメータ法）

４．EPMA分析

構成鉱物の化学分析は、走査電子型顕微鏡とそれに付設のエネルギー分散型Ｘ線分析装置によった。装置は北海道教育大学札幌校のLink社製QX200Jである。加速電圧は15kV、補正はZAF補正によった。試料は前処理として、炭素蒸着を行った。これは非導電性試料に炭素を真空蒸着することによって電子線照射による試料面の帯電を防ぐ効果がある。この炭素膜は測定後アセトンやアルコールにて容易に取り除くことができる。電子線は最小領域２～３ミクロンまで絞り込むことができ、試料中鉱物の微小領域の化学分析が可能である。電子線照射によって発生する元素特有の波長を示す固有Ｘ線を検出することによって元素の定性・定量分析を行うが、正確な定量分析を行うためには、試料表面を平滑にする必要がある。今回の分析試料の多くは穿孔されたリング状形態をもっているが、測定にあたっては、出来るだけ平滑な部分を選んで行った。合計重量が100％近くにならない場合が多いが、分析結果から推定される予想鉱物の理想化学式との対応は概ね良い（表４－１）。

表４－１　鉱物のEPMA分析結果

試料番号	P511－209 Sp 1	P511－209 Sp 2	P511－209 Cl1	P511－209 Cl2	P511－209 Cl3	P516－3 Sp 1	P516－3 Sp 2	P516－3 Chl 1	P516－3 Chl 2
鉱物 / 酸化物(重量%)	スピネル	スピネル	ジュエライト	ジュエライト	ジュエライト	スピネル	スピネル	緑泥石	緑泥石
SiO_2			43.81	49.55	29.70			22.00	21.64
TiO_2	3.07	3.23	0.00	0.17	0.00	0.17	0.11	0.01	0.12
Al_2O_3	4.24	4.26	2.49	2.82	3.74	22.36	18.50	12.87	12.45
FeO※	37.47	36.71	2.82	2.71	2.59	20.71	21.73	3.12	3.12
MnO	1.89	0.51	0.18	0.25	0.01	1.00	1.35	0.02	0.14
MgO	0.65	1.42	25.03	30.33	17.73	10.26	9.85	21.77	22.92
CaO			0.05	0.06	0.05			0.04	0.09
Na_2O			0.66	0.00	1.01			0.00	0.85
K_2O			0.17	0.00	0.01			0.07	0.03
Cr_2O_3	52.68	53.87	0.00	0.00	0.00	45.49	48.46	0.00	0.00
NiO					0.00			0.00	0.00
SO_3			0.12	0.12	0.16			0.26	0.00
Total	100.00	100.00	75.33	86.01	55.00	99.99	100.00	60.16	61.36
原子比	0＝8		0＝14			0＝8		0＝9	
Si			4.606	4.553	4.329			0.930	1.884
Ti	0.170	0.178	0.000	0.012	0.000	0.008	0.006	0.001	0.008
Al	0.368	0.366	0.309	0.305	0.624	1.657	1.403	1.330	1.278
Fe	2.311	2.242	0.249	0.208	0.316	1.089	1.169	0.229	0.227
Mn	0.118	0.003	0.016	0.020	0.002	0.054	0.074	0.002	0.011
Mg	0.007	0.155	2.923	4.153	3.853	0.962	0.944	2.846	2.975
Ca			0.005	0.006	0.008			0.003	0.009
Na			0.134	0.000	0.286			0.000	0.144
K			0.011	0.000	0.002			0.004	0.002
Cr	3.071	3.111	0.000	0.000	0.000	2.262	2.465	0.000	0.000
Ni			0.000	0.000	0.000			0.000	0.000
S			0.009	0.009	0.017			0.017	0.000

試料番号	P516－12 Ja 2	P516－12 Ja 3	包含層P－45 Tr 1	包含層P－45 Tr 2	P516－13 Si 1	P516－13 Si 2	P516－13 Si 3	P516－19 Si 2	P516－19 Si 3	P516－19 Si 4
鉱物 / 酸化物(重量%)	ひすい輝石	ひすい輝石	トレモラ閃石	トレモラ閃石	沸石	沸石	沸石	沸石	沸石	沸石
SiO_2	46.10	49.44	53.77	53.07	70.46	56.40	60.83	69.25	65.79	76.39
TiO_2	0.30	0.00	0.06	0.08	0.98	1.32	0.60	0.90	1.53	0.50
Al_2O_3	24.40	21.76	5.41	4.06	16.91	17.53	23.85	17.28	16.97	10.92
FeO※	3.92	3.97	7.07	8.05	3.15	11.43	8.53	4.45	6.08	5.00
MnO	0.37	0.09	0.71	0.26	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.23
MgO	5.78	5.14	24.03	21.44	0.62	2.90	0.85	0.82	2.48	1.63
CaO	4.16	3.61	8.86	12.22	4.70	3.41	2.30	3.27	2.11	1.14
Na_2O	13.19	15.09	＜0.01	0.70	0.11	0.64	0.11	0.36	0.00	0.70
K_2O	0.87	0.44	＜0.01	0.00	2.85	6.11	2.09	3.93	5.11	2.66
Cr_2O_3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
NiO	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
SO_3	0.91	0.46	0.08	0.18	0.25	0.11	0.88	0.00	0.00	0.83
Total	100.00	100.00	100.01	100.06	100.03	99.99	100.04	100.26	100.07	100.00
原子比	0＝6		0＝23		0＝72					
Si	1.635	1.736	7.308	7.332	27.640	24.140	24.470	27.480	26.610	29.710
Ti	0.008	0.000	0.006	0.009	0.290	0.430	0.180	0.270	0.470	0.150
Al	1.020	0.911	0.866	0.661	7.830	8.840	11.310	8.080	8.090	5.010
Fe	0.116	0.118	0.804	0.930	1.030	4.090	2.870	1.480	2.060	1.620
Mn	0.011	0.003	0.082	0.030	0.000	0.050	0.000	0.000	0.010	0.080
Mg	0.306	0.272	4.868	4.416	0.360	1.850	0.510	0.480	1.500	0.950
Ca	0.158	0.137	1.290	1.809	1.980	1.570	0.990	1.390	0.920	0.470
Na	0.907	1.039	0.001	0.187	0.080	0.530	0.080	0.280	0.000	0.530
K	0.020	0.010	＜0.001	0.000	1.430	3.340	1.070	1.990	2.640	1.320
Cr	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
Ni	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
S	0.024	0.012	0.009	0.018	0.070	0.040	0.270	0.000	0.000	0.240

試料番号	P516－8 Sp 1	P516－8 Sp 2	P516－8 Chl 1	P516－8 Chl 2	Hr－3(包含層P－43) Ca 1	Hr－3(包含層P－43) Tr 1	Hr－3(包含層P－43) Tr 2	Hr－3(包含層P－43) Mt 1	Hr－3(包含層P－43) Mt 2
鉱物 / 酸化物(重量%)	スピネル	スピネル	緑泥石	緑泥石	緑泥石＋炭酸塩鉱物	トレモラ閃石	トレモラ閃石＋磁鉄鉱？	変質スピネル	変質スピネル
SiO_2			35.01	36.85	34.04	51.20	40.93		
TiO_2	0.00	0.00	0.14	0.00	0.13	0.00	0.01	0.08	0.22
Al_2O_3	13.77	13.45	21.60	18.13	6.27	9.23	9.87	11.70	7.87
FeO※	17.33	16.93	5.14	5.83	10.03	10.24	25.18	84.56	89.86
MnO	0.00	0.00	0.08	0.11	0.21	0.35	1.00	0.19	0.86
MgO	12.73	13.69	34.79	38.10	14.68	22.12	21.01	3.30	1.24
CaO			0.15	0.01	33.25	5.09	1.88		
Na_2O			2.19	0.82	1.41	1.25	0.21		
K_2O			0.10	0.13	0.00	0.13	0.00		
Cr_2O_3	52.21	50.61						0.17	0.00
NiO									
SO_3			0.80	0.06	0.10				
Total	96.04	94.68	100.00	100.04	100.12	99.61	100.09	100.00	100.05
原子比	0＝8		0＝9		－	0＝23	－	0＝8	
Si			1.867	1.969		7.000			
Ti	0.000	0.000	0.006	0.000		0.000		0.005	0.015
Al	1.086	1.075	1.357	1.142		1.490		1.140	0.808
Fe	0.970	0.960	0.229	0.260		1.170		5.844	6.541
Mn	0.000	0.000	0.004	0.005		0.040		0.013	0.063
Mg	1.270	1.385	2.765	3.034		4.510		0.406	0.161
Ca			0.009	0.000		0.740			
Na			0.226	0.085		0.330			
K			0.007	0.009		0.020			
Cr	2.762	2.714							0.000
Ni									
S						0.050			

5．X線粉末回折

⑴　測定方法

採取した試料から、次の要領で定方位試料と不定方位試料を作製し、X線粉末回折分析を行った。

1－1　不定方位試料

試料の一部を風乾後、鉄乳鉢内で粗砕した。さらにめのう乳鉢で指先にざらつきを感じない程度まで粉砕した。粉末した試料をアルミニウム製試料ホルダーに圧入し測定に供した。

1－2　含有量の推定

回折X線の強度は、結晶相物質の含有量・鉱物種類（化学組成、結晶構造)･結晶度・粉末粒子の形状・大きさ・方位・測定条件・混合物全体のX線吸収係数などによって決定する。これら主要な要素のみについてみても鉱物の種類によって異なり、また同族の鉱物であっても異変があり、同じ結晶面の回折強度が一定の強度を示すとは限らない。従ってX線回折より得られる結果は、あくまでも定性的なものであり、量的な評価はある程度相対的なものである。

1－3　測定条件

分析は、島津製作所製ＸＲＤ6000型X線回折装置を使用し、測定条件は以下の通りである。

表5－1　X線粉末回折測定条件

	不定方位
対陰極	Cu
フィルター	Counter monocrometer
管電圧	30kV
管電流	20mA
スリット系	1°－0.3mm－1°
走査速度	2°／min
フルスケール計数	2000cps
タイムコンスタント	1.5sec
走査範囲	2～65°

表5－2　X線粉末回折結果一覧表

サンプル名	Am	Chl
P－43	◎	
P－45	◎	＋

凡例
◎：極多量　○：多量　△：中量　＋：少量　－：微量　？：不確実
Am：角閃石（トレモラ閃石）　Chl：緑泥石

A：P511-209　変質ダンカンラン岩（蛇紋岩化）
B：P516-3　変質ダンカンラン岩（緑泥石岩化）
C：P516-8　変質ダンカンラン岩（緑泥石岩化）
D：P516-12　ひすい輝石岩〔ひすい輝石(白)＋オンファス輝石(緑)〕
E：P516-13　緑色凝灰岩（沸石生成）
F：P516-19　緑色凝灰岩（沸石生成）

図３－１　分析資料の写真

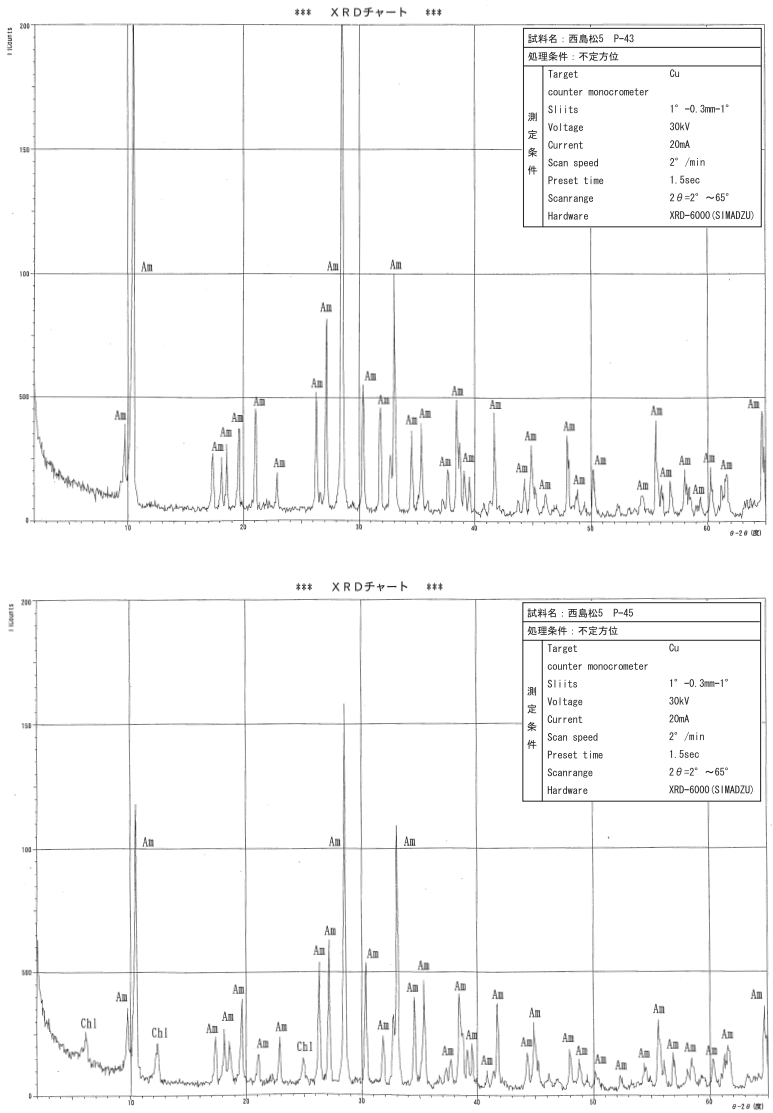


図５－１　XRDチャート

6．考察

⑴　「カンラン岩」について

分析の結果、肉眼鑑定で「ダンカンラン岩」と考えた3試料（P511−209、P516−3、P516−8）には、いずれもカンラン石が残存していないことが判明した（表3−2、表4−1、表6−1）。これらはクロムを多く含有する自形のスピネル（クロマイト）を伴うことなどから、原岩がダンカンラン岩（dunite）であることは間違いない（表6−2）。

このことから、これらの試料は（変質していない）岩内岳カンラン岩体や幌満カンラン岩体のダンカンラン岩ではないということが言える。岩内岳カンラン岩体の周囲を含む神居古潭帯には広く蛇紋岩が分布するが、P516−3、P516−8のように緑泥石岩化したものはほとんど知られていない。後述する「ひすい輝石岩の玉」と一緒に出土していることを考えると、これが出土する糸魚川（青海−小滝）周辺の蛇紋岩体からもたらされた可能性がある。しかし、現在のところ、この蛇紋岩体のダンカンラン岩が緑泥石岩化しているというデータがない。例えば、Chihara（1971）によれば、この蛇紋岩の分析値の平均はAl_2O_3＝1.40％なので、緑泥石岩はあっても少ないであろう。したがって、現地での注意深いサンプリングと分析を行って緑泥石岩が存在するか確かめる必要がある。

なお、P511−209に認められたジュエライト（deweylte）と呼ばれる不良結晶度の蛇紋石は蛇紋岩中の鉱物を置換したり、蛇紋岩中のフラクチャーに沈澱する低温生成の鉱物である。この鉱物は北海道や中国地方の蛇紋岩体周辺から報告されている（湊・岡村、1958；渋谷・原田、1980；水落ほか、2004）が、蛇紋岩地帯であればどこにでも生成している可能性がある。しかし、玉にできる大きさの結晶や集合体の存在は今のところ報告がない。

⑵　ひすい輝石岩について

P516−12は灰白色および淡緑色半透明の鉱物の集合体である。全岩分析によるとオンファス輝石に近く（表3−2、表6−1）、鉱物分析によるとひすい輝石に近い（表4−1、表6−1）。糸魚川の「ひすい輝石」は近年の研究により、白色部がひすい輝石で、淡緑色部がオンファス輝石であることが判明した（フォッサマグナミュージアム、ホームページ）。したがって、本試料は糸魚川産のひすい輝石岩であると考えられる。

全岩はオンファス輝石主体で、鉱物分析はひすい輝石を分析したと考えられる。

⑶　緑色凝灰岩について

実体顕微鏡下で帯緑灰色を呈し、複数種の粒状鉱物と基質からなる玉（P516−13、P516−19）は緑色凝灰岩であると考えられる。とくにP516−19は均質な丸味を帯びたガラス（粘土鉱物ないし珪長質鉱物に交代）と考えられる粒子が多い（P516−4にも少ないが同じものを含む）。これらは全岩化学分析でSiO259〜67％であり（表3−2）。中性（安山岩質）の火山噴出物を起源とする可能性が高い。これが、続成作用や低温の熱水変質作用を受けて淡緑色の岩石となったと考えられる。このような岩石は北海道から山陰にかけての日本海沿いのいわゆるグリーンタフ地域に広く分布する。この緑色凝灰岩にはしばしば沸石を伴う。今回の分析値はいずれも沸石であると考えられる（表4−1、表6−3）。沸石の中では比較的SiO_2に富み、CaO、K_2Oに富むという共通性がある。これらの特徴はヒューランダイト（輝沸石）に似ている（表6−3）が、試料がFeOに富む（4.5〜11％）などよくわからない点もある。いずれにしても沸石主体の変質凝灰岩（緑色凝灰岩）であると考えられる。

⑷　ロジン岩について

分析した玉の中にはロジン岩は認められなかった。石斧２試料（Ｐ－43、Ｐ－45）はともに蛇紋岩起源で、トレモラ閃石が主体のロジン岩である。

蛇紋岩起源のロジン岩は、日高町のペンケユクトラシナイ川に産するいわゆる「日高ヒスイ」がある（番場、1972)。しかし、これはクロムを含有する透輝石（ディオプサイド）である。神居古潭帯のロジン岩にはトレモラ閃石も出現する（Katoh and Niida、1983）が蛇紋岩起源のロジン岩で、トレモラ閃石主体のものは現在のところ知られていない。

したがって今後、神居古潭帯の蛇紋岩体とともに、糸魚川や東北地方を含む本州起源の可能性も考慮に入れて検討する必要があるであろう。

引用・参考文献

Arai, S.（1978）：Chromian spinel lamellae in olivine from the Iwanai-dake peridotite mass, Hokkaido, Japan. Earth and Planet. Sci. Lett.,39,267－273.

番場猛夫（1953）：北海道の超塩基性岩に伴われる尖晶石について．地質雑，59.

番場猛夫（1980）：北海道日高千栄産クロム透輝石ヒスイ．宝石学会誌，7,9－13.

Chihara, K.（1971）：Mineralogy and paragenesis of jadeite from the Omi-Kotaki area,central Japan. Mineral. Soc. Japan,Spec.,1,147－156.

Deer, W.A., Howie, R.A. and Zussman, J.（1997）：Rock-forming minerals, Vol 2 A, Single-chain silicates. The Geological Society, London, 668p.

フォッサマグナミュージアム・ホームページ（2005年９月12日時点）.

Katoh, T. and Niida, K.（1983）：Rodingites from the Kamuikotan tectonic belt, Hokkaido. Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. Ⅳ,20,151－169.

松原　聰・横山一己（編)(2004)：翡翠展－東洋の至宝．国立科学博物館.

湊　秀雄・村岡久志（1958）：北海道空知支庁雨竜郡幌加内村産Deweyliteについて．鉱物学雑誌，3，626－633.

水落幸広・二ノ宮淳・加藤孝幸・矢島達哉（2004）：蛇紋岩地域における炭酸塩沈澱現象－蛇紋岩体へのCO_2固定にむけてのナチュラルアナログ研究．平成16年度資源・素材学会春季大会講演原稿，企画100－103.

Niida, K.（1984）：Petrology of the Horoman ultramafic rocks in the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan. Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. Ⅳ,21,197－250.

渋谷五郎・原田進造（1980）：山口県宇部市域の蛇紋岩に伴う炭酸塩鉱物について．鉱物学雑誌，14，293－313.

資源エネルギー庁（1989）：昭和63年度希少金属鉱物資源の賦存状況調査報告書．日高南部地域．119p（＋巻末26p）.

須藤俊男（1974）：粘土鉱物学．岩波書店，498p.

高橋奈津子（1997）：幌満かんらん岩体で見られるマグマ分離現象．地質学論集，47，87－105.

冨永博夫編（1987)：ゼオライトの科学と応用．講談社サイエンティフィク，講談社，224p.

Yui, T-F., Lo, C-H., Lan, C-Y. & Lee, C.W.（1987）：Nephrite-rodingite in metamorphosed ophiolite, Nanoa, northeast Taiwan. Proc. Geol. Soc. China（Taiwan）,30,22－39.

表６－１　比較対象鉱物の分析値例１（ひすい、蛇紋石、緑泥石岩石ほか）

鉱物名	ひすい輝石	オンファス輝石	クロム透輝石（“日高ヒスイ”）	トレモラ閃石	カンラン石	蛇紋石	ジュエライト	緑泥石	
産地	新潟、糸魚川（白色）	糸魚川（緑色）	北海道、日高町	台湾	北海道、岩内岳	同、沙流川岩体	同、幌加内	茨城県日立鉱山	島根県鰐淵鉱山
酸化物（重量％）									
SiO_2	59.20	57.60	52.52	57.70	40.20	39.80	41.62	25.76	29.07
TiO_2			0.16	0.04	0.00	0.01	—	—	0.32
Al_2O_3	24.88	13.08	4.61	0.57	0.04	1.07	0.06	21.26	21.82
Cr_2O_3			0.95		0.00	0.11			
Fe_2O_3			0.28				0.03	6.75	0.83
FeO	0.06	0.38	2.03	3.99	6.33	4.27	1.35	14.60	3.67
MnO				0.13	0.13	0.20	tr	—	—
MgO	0.12	8.61	16.12	21.33	53.7	39.84	33.89	18.64	29.90
CaO	0.28	12.31	22.43	13.72	0.03	0.00	0.06	0.90	0.19
Na_2O	15.32	7.79	0.74	0.05	0.00				tr
K_2O			0.03	0.01					tr
NiO									
LOI					0.42	0.52			
H_2O^+			0.08				17.60	10.33	10.76
H_2O^-			0.02				6.13	1.32	2.76
Total			99.97	97.54	100.90	85.82	100.74	99.56	99.32
			0＝6	0（O,OH,F,Cl）=24		0＝14			0=10,（OH）=8
原子比									
Si			1.904 ┐2.000	7.964 ┐8.000		3.837			2.80
Al			0.096 ┘	0.036 ┘		0.122			1.20
Al			0.100 ┐	0.056 ┐					1.28
Ti			0.004	0.004		0.000			
Fe^{3+}			0.009						0.06
Cr			0.026 ┤1.077			0.008			
Mg			0.877	4.388		5.727			4.30
Fe^{2+}			0.061	0.431		0.344			0.03
Mn			— ┘	0.015 ┘4.990		0.017			
Na			0.052 ┐	0.013 ┐1.959					
Ca			0.087 ┤1.077	1.946 ┘（ΣB）		0.000			
K			0.000 ┘	0.002—0.002					
Ni				（ΣA）		0.041			
文献	—		番場（1972）	Yui et al.（1987）	Arai（1978）	加藤（未公表データ）	湊・村岡（1958）	Sudo（1956）	Sakamoto&Sudo（1956）
備考	フォッサマグナミュージアム「ヒスイの館」ホームページより		ロジン岩の一種に含まれる。普通のヒスイではない。	ネフライト（トレモラ閃石）からなるロジン岩。 Cr_2O_3 0.03%、NiO 0.18%を含む	ダンカンラン岩中のカンラン石。	岩内岳周辺の蛇紋岩に含まれるリザルダイト。	不良結晶度蛇紋石。	鉱体に伴う変質塩基性岩中。須藤（1974）より。	石膏鉱体をとりまく変質帯中。須藤（1974）より。

表６－２　比較対象鉱物の分析値例２（スピネル）

鉱物名	スピネル	スピネル
産地	岩内岳カンラン岩体	幌満カンラン岩体
酸化物（重量％）		
SiO_2	n.d.	n.d.
TiO_2	0.06	n.d.
Al_2O_3	9.38	44.95
Cr_2O_3	62.10	25.47
FeO*	15.30	17.53
MnO	0.61	n.d.
MgO	12.50	10.39
CaO	n.d.	1.12
NaO	n.d.	n.d.
NiO	0.06	n.d.
Total	100.00	99.50
文献	Arai（1977）	番場（1953）
備考	ダンカンラン岩	ダンカンラン岩

表６－３　比較対象鉱物の分析値例３（沸石）

化合物名	ヒューランダイト	クリノプチロライト	モルデナイト	アナルサイム	ワイラカイト	ローモンタイト
重量％						
SiO_2	57.38	68.30	68.24	59.70	54.91	49.78
TiO_2			0.11	Tr	0.01	Tr
Al_2O_3	16.91	11.66	11.04	20.03	22.75	21.92
Fe_2O_3		0.02	1.74		0.64	0.07
FeO					0.44	
MnO				0.06	0.01	Tr
MgO	0.01	0.36	0.23	Tr	0.23	0.02
CaO	7.00	1.03	1.31	Tr	11.69	9.84
SrO	1.55			Tr		
Na_2O	0.10	2.47	3.19	12.06	0.60	1.22
K_2O	1.38	2.93	2.45	0.05	0.31	0.67
H_2O^+	13.67	13.23*	6.59	8.35	8.23	16.06
H_2O^-	3.06		5.02	0.30	0.19	
P_2O_5						0.01
Total	101.06	100.00	99.92	100.55	100.01	99.59
Si	26.82	30.17	40.3	34.4	32.59	15.87
Ai	9.31	5.83	7.7	13.6	15.38	8.24
Mg	0.01	0.23	0.2			
Ca	3.50	0.48	0.8		7.19	3.35
Sr	0.42					
Na	0.09	2.10	3.7	13.5	1.12	0.77
K	0.83	1.64	1.8		0.01	0.27
H_2O	26.10	24.00	22.9	16	16	17.10
O	72	72	96	96	96	48

*EPMAによる分析であって、水分は差の値で示されている（冨永編、1987による）。

1－2　西島松５遺跡出土玉類の岩石学的分析（平成18年度）

アースサイエンス株式会社

はじめに

本報告書は「西島松５遺跡出土玉類の岩石学的分析」についてのものです。

XRFおよびEDS分析にあたっては、北海道教育大学の岡村聡教授の御指導をいただきました。また、鑑定と分析にあたっては、同大学菅原いよ氏および加藤欣也氏の補助をいただきました。記して感謝いたします。

(1)　玉類の肉眼鑑定

玉類約750試料について、ルーペと実体鏡を併用して肉眼鑑定を行った。このうち、化学分析を行った試料の写真を第１図に示す。また、鑑定結果を第１表に示す。なお、この表には、全岩および鉱物の非破壊化学分析を行った試料も含まれ、分析結果は岩石名に反映させている。

P439-No.28　P510-No.7　P432-No.23

第１図　分析資料の写真

P439-No. 28：(蛇紋岩質)緑泥石岩，P510-No. 7：蛇紋岩(緑泥石岩化)，P432-No. 23：ヒスイ
P439-No. 23：(蛇紋岩質)緑泥石岩，P432-No. 6：ジャスパー，P412-No. 16：タルク化蛇紋岩，P398-No. 40：(蛇紋岩質)緑泥石岩
P509-No. 12：(蛇紋岩質)緑泥石岩，P509-No. 17：(蛇紋岩質)緑泥石岩，P480-No. 4：タルク，P439-No. 16：(蛇紋岩質)緑泥石岩
(最上段３資料はEDSによる鉱物分析を，中下段の資料はXRFによる全岩分析を行った)

第１表⑴　玉類の鑑定結果

番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考	番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考
1	P398	図29－20	緑泥石岩	スピネル	51	P404	図42－5	緑泥石岩	自形スピネル．淡緑色
2	P398	図29－22	緑泥石岩	自形スピネル	52	P404	図42－6	緑泥石岩	自形スピネル．淡緑色
3	P398	図29－23	緑泥石岩	自形スピネル．濃緑色	53	P404	図42－7	緑泥石岩	自形スピネル．淡緑色
4	P398	図29－29	凝灰岩	堆積構造あり	54	P404	図42－8	緑泥石岩	自形スピネル．淡緑色
5	P398	図29－30	緑泥石岩	自形スピネル	55	P411	図48－4	緑泥石岩	
6	P398	図29－31	緑泥石岩		56	P412	図53－39	緑泥石岩	自形スピネル
7	P398	図29－32	緑泥石岩		57	P412	図53－7	タルク化蛇紋岩	斑点状．自形スピネル
8	P398	図29－33	緑泥石岩		58	P412	図53－8	タルク化蛇紋岩	斑点状．自形スピネル
9	P398	図29－34	緑泥石岩	自形スピネル	59	P412	図53－9	タルク化蛇紋岩	斑点状．自形スピネル
10	P398	図29－35	緑泥石岩		60	P412	図53－10	タルク化蛇紋岩	斑点状．自形スピネル
11	P398	図29－36	凝灰岩	堆積構造あり	61	P412	図53－11	タルク化蛇紋岩	斑点状．自形スピネル
12	P398	図29－37	緑泥石岩		62	P412	図53－12	緑泥石岩	
13	P398	図29－38	凝灰岩		63	P412	図53－13	タルク化蛇紋岩	斑点状．自形スピネル
14	P398	図29－39	緑泥石岩	自形スピネル．淡緑色	64	P412	図53－14	タルク化蛇紋岩	斑点状
※15	P398	図29－40	緑泥石岩	自形スピネル	65	P412	図53－15	緑泥石岩	自形スピネル
16	P398	図29－41	緑泥石岩	自形スピネル	※66	P412	図53－16	タルク化蛇紋岩	斑点状．ナツメ玉．自形スピネル
17	P398	図29－42	緑泥石岩		67	P412	図53－17	タルク化蛇紋岩	斑点状
18	P398	図29－43	緑泥石岩		68	P412	図53－18	タルク化蛇紋岩	斑点状．自形スピネル
19	P398	図29－44	緑泥石岩		69	P412	図53－19	タルク化蛇紋岩	斑点状
20	P398	図29－46	緑泥石岩	自形スピネル．変形	70	P412	図53－20	緑泥石岩	自形スピネル
21	P398	図29－45	緑泥石岩		71	P412	図53－21	タルク化蛇紋岩	斑点状．風化
22	P398	図29－51	緑泥石岩		72	P412	図53－22	タルク化蛇紋岩	斑点状
23	P398	図29－52	緑泥石岩	自形スピネル	73	P412	図53－23	緑泥石岩	スピネル？
24	P398	図29－53	緑泥石岩		74	P412	図53－24	緑泥石岩	自形スピネル
25	P398	図29－55	緑泥石岩		75	P412	図53－25	タルク化蛇紋岩	斑点状
26	P398	図29－54	緑泥石岩		76	P412	図53－26	緑泥石岩	
27	P398	図29－56	緑泥石岩	自形スピネル（多い）	77	P412	図53－27	緑泥石岩	自形スピネル．白っぽい
28	P398	図29－57	緑泥石岩	自形スピネル	78	P412	図53－35	タルク化蛇紋岩	斑点状
29	P398	図29－58	緑泥石岩		79	P412	図53－34	タルク化蛇紋岩	斑点状．自形スピネル
30	P398	図29－59	緑泥石岩	自形スピネル	80	P412	図53－33	タルク化蛇紋岩	斑点状
31	P398	図29－60	緑泥石岩		81	P412	図53－32	タルク化蛇紋岩	斑点状
32	P398	図29－61	緑泥石岩	自形スピネル	82	P412	図53－30	緑泥石岩	自形スピネル
33	P398	図29－63	緑泥石岩		83	P412	図53－29	タルク化蛇紋岩	斑点状．自形スピネル
34	P398	図29－62	緑泥石岩		84	P412	図53－28	タルク化蛇紋岩	斑点状．自形スピネル
35	P398	図29－64	緑泥石岩		85	P412	図53－31	タルク化蛇紋岩	斑点状
36	P398	図29－65	緑泥石岩		86	P412	図53－36	緑泥石岩	自形スピネル
37	P398	図29－66	ロジン岩？	変形．白っぽい．自形スピネル	87	P412	図53－37	タルク化蛇紋岩	斑点状．自形スピネル
38	P398	図29－67	緑泥石岩		88	P412	図53－38	タルク化蛇紋岩	斑点状
39	P401	図38－6	緑泥石岩	自形スピネル	89	P432	図64－4	緑泥石岩	自形スピネル
40	P401	図38－8	緑泥石岩	自形スピネル	90	P432	図64－5	緑泥石岩	縞状組織
41	P401	図38－7	緑泥石岩	自形スピネル	※91	P432	図64－6	ジャスパー	原岩は凝灰岩
42	P401	図38－9	緑泥石岩	自形スピネル	92	P432	図64－7	緑泥石岩	
43	P401	図38－12	緑泥石岩	自形スピネル	93	P432	図64－9	緑泥石岩	半自形スピネル．縞状
44	P401	図38－11	緑泥石岩		94	P432	図64－8	緑泥石岩	
45	P401	図38－10	緑泥石岩		※※95	P432	図64－23	ヒスイ	
46	P402	図39－21	緑泥石岩	自形スピネル	96	P432	図64－2	緑泥石岩	自形スピネル
47	P402	図39－24	緑泥石岩	自形スピネル	97	P432	図64－22	緑泥石岩	自形スピネル
48	P402	図39－23	緑泥石岩	自形スピネル	98	P432	図64－21	緑泥石岩	
49	P402	図39－22	緑泥石岩	自形スピネル．淡緑色	99	P432	図64－20	緑泥石岩	脈あり
50	P404	図42－4	緑泥石岩	自形スピネル	100	P432	図64－10	緑泥石岩	

注：「緑泥石岩」は蛇紋岩質緑泥石岩（蛇紋岩起源の緑泥石岩）
※蛍光Ｘ線分析　　※※：エネルギー分散法EPMA分析（EDS分析）

第１表(2)　玉類の鑑定結果

番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考	番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考
101	Ｐ432	図64－11	緑泥石岩	自形スピネル	151	Ｐ439	図77－58	緑泥石岩	
102	Ｐ432	図64－12	緑泥石岩	自形スピネル	152	Ｐ439	図77－59	緑泥石岩	
103	Ｐ432	図64－13	緑泥石岩	自形スピネル．白／緑	153	Ｐ439	図77－60	緑泥石岩	
104	Ｐ432	図64－14	緑泥石岩	自形スピネル	154	Ｐ439	図77－61	緑泥石岩	
105	Ｐ432	図64－15	緑泥石岩	自形スピネル	155	Ｐ439	図77－62	緑泥石岩	白っぽい
106	Ｐ432	図64－16	緑泥石岩	自形スピネル（大）	156	Ｐ439	図77－64	緑泥石岩	
107	Ｐ432	図64－17	緑泥石岩	自形スピネル	157	Ｐ439	図77－63	緑泥石岩	
108	Ｐ432	図64－18	緑泥石岩		158	Ｐ439	図77－53	緑泥石岩	自形スピネル
109	Ｐ432	図64－3	緑泥石岩	変形著しい	159	Ｐ439	図77－54	緑泥石岩	自形スピネル
110	Ｐ432	図64－19	緑泥石岩	変形著しい	160	Ｐ439	図77－29	緑泥石岩	
111	Ｐ432	図64－1	蛇紋岩	自形スピネル．アンチゴライト	161	Ｐ439	図77－30	緑泥石岩	
112	Ｐ433	図67－5	赤色変質岩（蛇紋岩質）	自形スピネル	162	Ｐ441	図79－38	緑泥石岩	
113	Ｐ435	図70－7	緑泥石岩	自形スピネル	163	Ｐ441	図79－37	緑泥石岩	自形スピネル．淡緑色
114	Ｐ435	図70－6	緑泥石岩	自形スピネル	164	Ｐ441	図79－36	緑泥石岩	
115	Ｐ435	図70－5	緑泥石岩	自形スピネル	165	Ｐ441	図79－35	凝灰岩？	
116	Ｐ435	図70－11	緑泥石岩		166	Ｐ441	図79－34	緑泥石岩	
117	Ｐ435	図70－10	緑泥石岩	褐色部あり	167	Ｐ441	図79－33	緑泥石岩	自形スピネル
118	Ｐ435	図70－8	緑泥石岩	自形スピネル	168	Ｐ441	図79－32	緑泥石岩	
119	Ｐ435	図70－9	緑泥石岩		169	Ｐ441	図79－30	緑泥石岩	
120	Ｐ438	図72－5	緑泥石岩		170	Ｐ441	図79－31	緑泥石岩	自形スピネル
121	Ｐ438	図72－25	緑泥石岩		171	Ｐ441	図79－29	緑泥石岩	
122	Ｐ438	図72－24	緑泥石岩	自形スピネル	172	Ｐ441	図79－28	緑泥石岩	
123	Ｐ438	図72－4	緑泥石岩	淡緑色	173	Ｐ441	図79－27	緑泥石岩	
124	Ｐ438	図72－22	緑泥石岩	自形スピネル	174	Ｐ441	図79－26	緑泥石岩	
125	Ｐ438	図72－21	緑泥石岩	自形スピネル	175	Ｐ441	図79－25	緑泥石岩	自形スピネル
126	Ｐ438	図72－20	緑泥石岩	自形スピネル	176	Ｐ441	図79－24	緑泥石岩	
127	Ｐ438	図72－19	緑泥石岩		177	Ｐ441	図79－20	凝灰岩	
128	Ｐ438	図72－18	緑泥石岩	自形スピネル	178	Ｐ441	図79－19	緑泥石岩	
129	Ｐ438	図72－15	緑泥石岩	自形スピネル	179	Ｐ441	図79－17	緑泥石岩	
130	Ｐ438	図72－6	緑泥石岩	白っぽい	180	Ｐ441	図79－16	緑泥石岩	淡緑色
131	Ｐ438	図72－7	緑泥石岩		181	Ｐ441	図79－18	凝灰岩？	
132	Ｐ438	図72－8	緑泥石岩	自形スピネル	182	Ｐ441	図79－21	緑泥石岩	
133	Ｐ438	図72－9	緑泥石岩		183	Ｐ441	図79－22	緑泥石岩	
134	Ｐ438	図72－10	緑泥石岩	白っぽい	184	Ｐ441	図79－23	緑泥石岩	
135	Ｐ438	図72－11	緑泥石岩		185	Ｐ444	図84－1	緑泥石岩	
136	Ｐ438	図72－14	緑泥石岩	自形スピネル	186	Ｐ444	図84－2	緑泥石岩	
※※137	Ｐ439	図77－28	緑泥石岩	自形スピネル	187	Ｐ444	図84－3	緑泥石岩	自形スピネル
138	Ｐ439	図77－27	緑泥石岩		188	Ｐ444	図84－4	緑泥石岩	
139	Ｐ439	図77－26	緑泥石岩	自形スピネル	189	Ｐ444	図84－8	緑泥石岩	
※140	Ｐ439	図77－23	緑泥石岩	勾玉．自形スピネル	190	Ｐ444	図84－9	緑泥石岩	
141	Ｐ439	図77－20	緑泥石岩		191	Ｐ444	図84－7	緑泥石岩	
142	Ｐ439	図77－17	緑泥石岩		192	Ｐ444	図84－6	緑泥石岩	
※143	Ｐ439	図77－16	緑泥石岩	数珠．自形スピネル	193	Ｐ444	図84－45	緑泥石岩	自形スピネル？
144	Ｐ439	図77－13	緑泥石岩	白っぽい	194	Ｐ444	図84－5	緑泥石岩	
145	Ｐ439	図77－12	緑泥石岩		195	Ｐ444	図84－44	緑泥石岩	
146	Ｐ439	図77－9	緑泥石岩		196	Ｐ444	図84－43	緑泥石岩	
147	Ｐ439	図77－8	緑泥石岩		197	Ｐ444	図84－42	緑泥石岩	自形スピネル
148	Ｐ439	図77－55	緑泥石岩		198	Ｐ444	図84－41	緑泥石岩	
149	Ｐ439	図77－56	緑泥石岩		199	Ｐ444	図84－40	緑泥石岩	
150	Ｐ439	図77－57	緑泥石岩		200	Ｐ444	図84－39	緑泥石岩	

注：「緑泥石岩」は蛇紋岩質緑泥石岩（蛇紋岩起源の緑泥石岩）
※蛍光Ｘ線分析　　※※：エネルギー分散法EPMA分析（EDS分析）

第１表(3)　玉類の鑑定結果

番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考	番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考
201	Ｐ444	図84－11	緑泥石岩	白っぽい	251	Ｐ476	図109－32	緑泥石岩	
202	Ｐ444	図84－12	緑泥石岩	変形	252	Ｐ476	図109－35	緑泥石岩	自形スピネル
203	Ｐ444	図84－13	緑泥石岩		253	Ｐ476	図109－34	緑泥石岩	一部褐色
204	Ｐ444	図84－10	緑泥石岩		254	Ｐ476	図109－33	緑泥石岩	
205	Ｐ444	図84－18	緑泥石岩		255	Ｐ476	図109－36	緑泥石岩	
206	Ｐ444	図84－25	緑泥石岩	変形	256	Ｐ476	図109－37	緑泥石岩	
207	Ｐ444	図84－26	緑泥石岩		257	Ｐ476	図109－38	緑泥石岩	自形スピネル
208	Ｐ444	図84－27	緑泥石岩	赤っぽい	258	Ｐ476	図109－11	緑泥石岩	自形スピネル
209	Ｐ444	図84－16	緑泥石岩		259	Ｐ480	図111－2	緑泥石岩	
210	Ｐ444	図84－38	緑泥石岩		260	Ｐ480	図111－3	タルク	灰白色
211	Ｐ444	図84－37	緑泥石岩	自形スピネル	※261	Ｐ480	図111－4	タルク	自形スピネル，灰白色
212	Ｐ444	図84－36	緑泥石岩		262	Ｐ483	図114－1	緑泥石岩	
213	Ｐ444	図84－35	緑泥石岩	自形スピネル	263	Ｐ483	図114－2	緑泥石岩	
214	Ｐ444	図84－34	緑泥石岩		264	Ｐ483	図114－3	緑泥石岩	
215	Ｐ445	図87－49	緑泥石岩	自形スピネル	265	Ｐ483	図114－4	緑泥石岩	
216	Ｐ445	図87－47	緑泥石岩		266	Ｐ483	図114－5	緑泥石岩	淡緑色
217	Ｐ445	図87－48	緑泥石岩	自形スピネル（多い）	267	Ｐ483	図114－6	緑泥石岩	
218	Ｐ445	図87－51	緑泥石岩	淡緑色	268	Ｐ483	図114－7	緑泥石岩	
219	Ｐ445	図87－50	緑泥石岩		269	Ｐ483	図114－8	ジャスパー？	淡褐色
220	Ｐ447	図88－3	緑泥石岩		270	Ｐ483	図114－9	緑泥石岩	
221	Ｐ447	図88－5	緑色凝灰岩		271	Ｐ483	図114－10	緑泥石岩	
222	Ｐ447	図88－4	緑色凝灰岩		272	Ｐ483	図114－11	緑泥石岩	
223	Ｐ447	図88－2	緑泥石岩	自形スピネル	273	Ｐ483	図114－12	緑泥石岩	
224	Ｐ476	図109－13	緑泥石岩		274	Ｐ483	図114－13	緑泥石岩	自形スピネル
225	Ｐ476	図109－14	緑泥石岩		275	Ｐ483	図114－14	緑泥石岩	
226	Ｐ476	図109－15	緑泥石岩	自形スピネル	276	Ｐ483	図114－15	緑泥石岩	
227	Ｐ476	図109－9	緑泥石岩		277	Ｐ483	図114－16	緑泥石岩	
228	Ｐ476	図109－8	緑泥石岩	自形スピネル	278	Ｐ483	図114－17	緑泥石岩	
229	Ｐ476	図109－4	緑泥石岩		279	Ｐ483	図114－18	緑泥石岩	
230	Ｐ476	図109－5	緑泥石岩	自形スピネル？	280	Ｐ483	図114－19	緑泥石岩	自形スピネル
231	Ｐ476	図109－6	緑泥石岩		281	Ｐ483	図114－20	緑泥石岩	
232	Ｐ476	図109－7	緑泥石岩		282	Ｐ483	図114－21	緑泥石岩	
233	Ｐ476	図109－10	緑泥石岩		283	Ｐ483	図114－22	緑泥石岩	
234	Ｐ476	図109－12	緑泥石岩	自形スピネル	284	Ｐ483	図114－23	緑泥石岩	
235	Ｐ476	図109－16	緑泥石岩		285	Ｐ483	図114－24	緑泥石岩	
236	Ｐ476	図109－17	緑泥石岩		286	Ｐ483	図114－25	緑泥石岩	
237	Ｐ476	図109－19	緑泥石岩		287	Ｐ483	図114－26	緑泥石岩	自形スピネル
238	Ｐ476	図109－18	緑泥石岩		288	Ｐ483	図114－27	緑泥石岩	
239	Ｐ476	図109－21	緑泥石岩	自形スピネル	289	Ｐ483	図114－28	緑泥石岩	
240	Ｐ476	図109－22	緑泥石岩		290	Ｐ483	図114－29	緑泥石岩	淡緑色
241	Ｐ476	図109－20	緑泥石岩		291	Ｐ483	図114－30	緑泥石岩	
242	Ｐ476	図109－23	緑泥石岩		292	Ｐ483	図114－31	緑泥石岩	自形スピネル
243	Ｐ476	図109－25	緑泥石岩		293	Ｐ483	図114－32	緑泥石岩	
244	Ｐ476	図109－26	緑泥石岩	半自形スピネル？	294	Ｐ483	図114－33	緑泥石岩	
245	Ｐ476	図109－24	緑泥石岩		295	Ｐ483	図114－34	緑泥石岩	
246	Ｐ476	図109－27	緑泥石岩		296	Ｐ483	図114－35	緑泥石岩	
247	Ｐ476	図109－28	緑泥石岩		297	Ｐ483	図114－36	緑泥石岩	
248	Ｐ476	図109－29	緑泥石岩	自形スピネル	298	Ｐ483	図114－37	緑泥石岩	
249	Ｐ476	図109－30	緑泥石岩		299	Ｐ483	図114－38	緑泥石岩	
250	Ｐ476	図109－31	緑泥石岩		300	Ｐ483	図114－39	緑泥石岩	自形スピネル

注：「緑泥石岩」は蛇紋岩質緑泥石岩（蛇紋岩起源の緑泥石岩）
※蛍光Ｘ線分析　　※※：エネルギー分散法EPMA分析（EDS分析）

第１表(4)　玉類の鑑定結果

番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考	番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考
301	P483	図114−40	緑泥石岩		351	P510	図135−33	緑泥石岩	濃緑色脈あり
302	P483	図114−41	緑泥石岩		352	P510	図135−13	緑泥石岩	
303	P483	図114−42	緑泥石岩		353	P510	図135−6	緑泥石岩	変形
304	P483	図114−43	緑泥石岩	自形スピネル	354	P510	図135−8	緑泥石岩	濃緑色脈あり．自形スピネル
305	P483	図114−44	緑泥石岩		355	P510	図135−5	緑泥石岩	濃緑色脈あり
306	P483	図114−45	緑泥石岩	自形スピネル	356	P510	図135−9	緑泥石岩	濃緑色脈あり
307	P483	図114−46	緑泥石岩		357	P510	図135−12	緑泥石岩	
308	P483	図114−47	緑泥石岩		358	P510	図135−10	緑泥石岩	濃緑色脈あり
309	P483	図114−48	緑泥石岩		359	P510	図135−20	緑泥石岩	
310	P483	図114−49	緑泥石岩		360	P510	図135−19	緑泥石岩	
311	P483	図114−52	緑泥石岩	自形スピネル	361	P510	図135−21	緑泥石岩	自形スピネル
312	P483	図114−53	緑泥石岩	淡緑色	362	P510	図135−23	緑泥石岩	変形
313	P483	図114−54	緑泥石岩	淡緑色．自形スピネル	363	P510	図135−26	緑泥石岩	変形．自形スピネル
314	P483	図114−55	緑泥石岩		364	P510	図135−18	緑泥石岩	
315	P483	図114−56	緑泥石岩	淡緑色．自形スピネル	365	P510	図135−22	緑泥石岩	変形．自形スピネル
316	P483	図114−57	緑泥石岩	淡緑色	366	P510	図135−42	緑泥石岩	変形．自形スピネル
317	P483	図114−58	緑泥石岩		367	P510	図135−25	緑泥石岩	
318	P483	図114−59	タルク	他形スピネル	368	P510	図135−34	緑泥石岩	
319	P483	図114−60	緑泥石岩		369	P510	図135−41	緑泥石岩	自形スピネル
320	P483	図114−61	緑泥石岩		370	P510	図135−30	緑泥石岩	
321	P483	図114−62	緑泥石岩		371	P510	図135−32	緑泥石岩	
322	P483	図114−63	緑泥石岩	自形スピネル	372	P510	図135−31	緑泥石岩	
323	P483	図114−64	緑泥石岩	自形スピネル	373	P510	図135−35	緑泥石岩	自形スピネル
324	P483	図114−65	ジャスパー	淡褐色	374	P510	図135−29	緑泥石岩	自形スピネル
325	P483	図114−66	タルク化蛇紋岩	自形スピネル	375	P510	図135−28	緑泥石岩	
326	P483	図114−67	緑泥石岩		376	P510	図135−27	緑泥石岩	
327	P483	図114−50	緑泥石岩	自形スピネル	377	P510	図135−36	緑泥石岩	
328	P483	図114−51	緑泥石岩	自形スピネル	378	P510	図135−37	緑泥石岩	
329	P509	図133−1	緑泥石岩	変形．自形スピネル	379	P510	図135−38	緑泥石岩	自形スピネル
330	P509	図133−2	緑泥石岩		380	P510	図135−39	緑泥石岩	自形スピネル
331	P509	図133−3	緑泥石岩		381	P510	図135−40	緑泥石岩	白色脈あり
332	P509	図133−4	緑泥石岩		382	P510	図135−11	緑泥石岩	自形スピネル
333	P509	図133−5	緑泥石岩		383	P510	図135−14	緑泥石岩	
334	P509	図133−6	緑泥石岩		384	P510	図135−15	緑泥石岩	
335	P509	図133−7	緑泥石岩	一部白色	385	P510	図135−16	緑泥石岩	縞状組織あり
336	P509	図133−8	緑泥石岩		386	P510	図135−17	緑泥石岩	
337	P509	図133−9	緑泥石岩		387	P511	図138−22	ヒスイ	
338	P509	図133−10	緑泥石岩		388	P511	図138−25	ジャスパー	
339	P509	図133−11	緑泥石岩		389	P511	図138−27	ジャスパー	
340	P509	図133−13	緑泥石岩		390	P511	図138−28	緑泥石岩	
341	P509	図133−14	緑泥石岩	自形スピネル	391	P511	図138−30	緑泥石岩	
342	P509	図133−15	緑泥石岩	自形スピネル	392	P511	図138−29	緑泥石岩	
343	P509	図133−16	緑泥石岩	自形スピネル	393	P511	図138−32	緑泥石岩	
※344	P509	図133−17	緑泥石岩	他形スピネル	394	P511	図138−33	緑泥石岩	自形スピネル
345	P509	図133−18	緑泥石岩		395	P511	図138−34	緑泥石岩	自形スピネル．タルク（光る）
※346	P509	図133−12	緑泥石岩	匂玉．自形スピネル．縞状組織	396	P511	図138−35	緑泥石岩	自形スピネル
347	P510	図135−1	緑泥石岩	自形スピネル	397	P511	図138−36	緑泥石岩	繊維状の脈
※※348	P510	図135−7	蛇紋岩	自形スピネル．緑泥石岩化	398	P511	図138−37	緑泥石岩	自形スピネル
349	P510	図135−4	緑泥石岩		399	P511	図138−38	緑泥石岩	
350	P510	図135−24	緑泥石岩		400	P511	図138−39	緑泥石岩	

注：「緑泥石岩」は蛇紋岩質緑泥石岩（蛇紋岩起源の緑泥石岩）
※蛍光Ｘ線分析　　※※：エネルギー分散法EPMA分析（EDS分析）

第１表(5)　玉類の鑑定結果

番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考	番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考
401	P511	図138－40	緑泥石岩		451	P511	図138－179	緑泥石岩	タルク（光る）含む
402	P511	図138－41	緑泥石岩	自形スピネル	452	P511	図138－177	緑泥石岩	自形スピネル
403	P511	図138－42	緑泥石岩	自形スピネル？	453	P511	図138－141	緑泥石岩	自形スピネル？
404	P511	図138－43	緑泥石岩	自形スピネル？	454	P511	図138－140	緑泥石岩	濃緑／灰白
405	P511	図138－45	緑泥石岩	白色脈あり	455	P511	図138－215	緑泥石岩	自形スピネル
406	P511	図138－46	緑泥石岩	濃緑色	456	P511	図138－214	緑泥石岩	タルク（光る）含む
407	P511	図138－47	緑泥石岩	自形スピネル	457	P511	図138－125	緑泥石岩	自形スピネル
408	P511	図138－48	緑泥石岩	自形スピネル	458	P511	図138－187	緑泥石岩	淡緑色
409	P511	図138－49	緑泥石岩	自形スピネル	459	P511	図138－212	緑泥石岩	
410	P511	図138－50	緑泥石岩		460	P511	図138－126	緑泥石岩	濃緑／灰白
411	P511	図138－51	緑泥石岩	タルク（光る）含む	461	P511	図138－98	緑泥石岩	白っぽい
412	P511	図138－52	緑泥石岩	自形スピネル	462	P511	図138－93	緑泥石岩	淡緑／灰白
413	P511	図138－53	緑泥石岩		463	P511	図138－207	緑泥石岩	淡緑．タルク含む
414	P511	図138－54	緑泥石岩		464	P511	図138－107	緑泥石岩	暗緑／灰白
415	P511	図138－19	緑泥石岩	淡緑色．タルク（光る）含む	465	P511	図138－106	緑泥石岩	一部濃緑
416	P511	図138－18	緑泥石岩	自形スピネル	466	P512	図125－2	緑泥石岩	自形スピネル
417	P511	図138－31	緑泥石岩	自形スピネル？	467	P512	図125－3	緑泥石岩	自形スピネル
418	P511	図138－196	緑泥石岩	緑泥石	468	P512	図125－4	緑泥石岩	濃緑／灰白
419	P511	図138－213	緑泥石岩	淡緑色	469	P512	図125－5	緑泥石岩	自形スピネル．濃緑／灰白
420	P511	図138－138	緑泥石岩	白っぽい	470	P512	図125－6	緑泥石岩	
421	P511	図138－139	緑泥石岩	白っぽい．自形スピネル	471	P512	図125－7	緑泥石岩	自形スピネル
422	P511	図138－136	緑泥石岩	白っぽい	472	P512	図125－8	緑泥石岩	
423	P511	図138－135	緑泥石岩	白っぽい	473	P512	図125－9	緑泥石岩	タルク（光る）含む
424	P511	図138－216	緑泥石岩		474	P512	図125－10	緑泥石岩	タルク（光る）含む
425	P511	図138－113	緑泥石岩		475	P512	図125－11	緑泥石岩	
426	P511	図138－162	緑泥石岩	タルク（光る）含む	476	P512	図125－12	緑泥石岩	
427	P511	図138－163	緑泥石岩	タルク（光る）含む	477	P513	図140－26	緑泥石岩	
428	P511	図138－70	緑泥石岩	淡緑色（白っぽい）	478	P513	図140－25	緑泥石岩	
429	P511	図138－164	緑泥石岩		479	P513	図140－24	緑泥石岩	
430	P511	図138－165	緑泥石岩		480	P513	図140－23	緑泥石岩	
431	P511	図138－71	緑泥石岩	暗緑色／淡緑色	481	P513	図140－22	緑泥石岩	自形スピネル
432	P511	図138－73	緑泥石岩	暗緑色／淡緑色	482	P513	図140－21	緑泥石岩	
433	P511	図138－72	緑泥石岩		483	P513	図140－20	緑泥石岩	暗緑／灰白
434	P511	図138－153	緑泥石岩		484	P513	図140－19	緑泥石岩	
435	P511	図138－154	緑泥石岩		485	P513	図140－17	緑泥石岩	
436	P511	図138－158	緑泥石岩		486	P513	図140－16	凝灰岩	
437	P511	図138－159	緑泥石岩	自形スピネル	487	P513	図140－15	緑泥石岩	
438	P511	図138－220	緑泥石岩	自形スピネル	488	P513	図140－14	緑泥石岩	輝石含む？
439	P511	図138－155	緑泥石岩		489	P513	図140－13	緑泥石岩	自形スピネル
440	P511	図138－157	緑泥石岩	自形スピネル	490	P513	図140－12	緑泥石岩	
441	P511	図138－221	緑泥石岩	自形スピネル	491	P513	図140－11	緑泥石岩	
442	P511	図138－68	緑泥石岩		492	P513	図140－10	緑泥石岩	
443	P511	図138－166	緑泥石岩	自形スピネル？	493	P513	図140－9	緑泥石岩	
444	P511	図138－94	緑泥石岩		494	P513	図140－8	緑泥石岩	
445	P511	図138－167	緑泥石岩	自形スピネル	495	P513	図140－7	緑泥石岩	
446	P511	図138－149	凝灰岩		496	P513	図140－6	緑泥石岩	
447	P511	図138－185	緑泥石岩		497	P513	図140－18	緑泥石岩	
448	P511	図138－182	緑泥石岩	自形スピネル	498	P516	図144－20	緑泥石岩	
449	P511	図138－181	緑泥石岩	タルク（光る）含む	499	P516	図144－21	緑泥石岩	暗緑／淡緑
450	P511	図138－180	緑泥石岩	タルク（光る）含む	500	P516	図144－22	緑泥石岩	

注：「緑泥石岩」は蛇紋岩質緑泥石岩（蛇紋岩起源の緑泥石岩）
※蛍光Ｘ線分析　　※※：エネルギー分散法EPMA分析（EDS分析）

第１表(6)　玉類の鑑定結果

番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考	番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考
501	P516	図144−23	緑泥石岩	自形スピネル．輝石？	551	P519	図149−51	緑泥石岩	
502	P516	図144−24	緑泥石岩	自形スピネル	552	P519	図149−50	緑泥石岩	
503	P516	図144−25	緑泥石岩	自形スピネル	553	P519	図149−49	凝灰岩	
504	P516	図144−26	緑泥石岩	暗緑色	554	P519	図149−46	緑泥石岩	自形スピネル
505	P516	図144−27	緑泥石岩	一部灰白	555	P519	図149−30	緑泥石岩	
506	P516	図144−28	緑泥石岩	自形スピネル	556	P519	図149−31	緑泥石岩	自形スピネル
507	P516	図144−29	緑泥石岩		557	P519	図149−33	緑泥石岩	
508	P516	図144−30	緑泥石岩		558	P519	図149−34	緑泥石岩	
509	P516	図144−31	緑色凝灰岩		559	P519	図149−35	緑泥石岩	
510	P516	図144−32	緑泥石岩	自形スピネル	560	P519	図149−37	緑泥石岩	一部赤褐色
511	P516	図144−33	緑泥石岩		561	P519	図149−38	緑泥石岩	
512	P516	図144−34	緑泥石岩		562	P519	図149−39	緑泥石岩	
513	P516	図144−35	緑泥石岩		563	P519	図149−40	緑泥石岩	
514	P516	図144−36	緑泥石岩	淡緑色．自形スピネル	564	P519	図149−42	緑泥石岩	淡緑色
515	P516	図144−37	緑泥石岩	自形スピネル．輝石？	565	P519	図149−41	緑泥石岩	
516	P516	図144−38	緑泥石岩		566	P519	図149−29	緑泥石岩	
517	P516	図144−39	緑泥石岩		567	P519	図149−68	緑泥石岩	
518	P516	図144−40	緑泥石岩		568	P553	図164−48	緑泥石岩	淡緑色
519	P516	図144−41	緑泥石岩		569	P553	図164−49	緑泥石岩	
520	P516	図144−42	緑泥石岩	自形スピネル	570	P553	図164−50	緑泥石岩	
521	P516	図144−43	緑泥石岩	輝石？	571	P553	図164−51	緑泥石岩	
522	P516	図144−44	緑泥石岩	自形スピネル	572	P553	図164−52	緑泥石岩	淡緑色．タルク（光る）
523	P516	図144−45	緑泥石岩		573	P553	図164−53	緑泥石岩	自形スピネル．暗緑色
524	P516	図144−46	緑泥石岩	自形スピネル	574	P553	図164−54	緑泥石岩	自形スピネル．暗緑色脈
525	P516	図144−47	緑泥石岩		575	P553	図164−55	緑泥石岩	
526	P516	図144−48	緑泥石岩		576	P553	図164−16	緑泥石岩	白っぽい．自形スピネル
527	P516	図144−49	緑泥石岩		577	P553	図164−17	緑泥石岩	
528	P516	図144−50	緑泥石岩		578	P553	図164−18	緑泥石岩	暗緑／灰白．自形スピネル
529	P516	図144−51	緑泥石岩		579	P553	図164−19	緑泥石岩	自形スピネル．暗緑色
530	P519	図149−65	緑泥石岩		580	P553	図164−35	緑泥石岩	淡緑色．タルク含む
531	P519	図149−63	緑色凝灰岩		581	P553	図164−34	緑泥石岩	一部淡緑色．タルク含む
532	P519	図149−66	緑泥石岩	自形スピネル	582	P553	図164−33	緑泥石岩	淡緑色．タルク含む
533	P519	図149−24	凝灰質泥岩		583	P553	図164−32	緑泥石岩	淡緑色
534	P519	図149−61	緑色凝灰岩		584	P553	図164−1	緑泥石岩	タルク含む．自形スピネル
535	P519	図149−60	緑泥石岩		585	P553	図164−2	緑泥石岩	淡緑色．タルク含む
536	P519	図149−59	緑泥石岩		586	P553	図164−3	緑泥石岩	淡緑色
537	P519	図149−58	緑泥石岩	自形スピネル	587	P553	図164−4	緑泥石岩	淡緑色．自形スピネル．タルク
538	P519	図149−64	緑泥石岩		588	P553	図164−5	緑泥石岩	淡緑色
539	P519	図149−62	緑泥石岩		589	P553	図164−6	緑泥石岩	
540	P519	図149−48	コハク		590	P553	図164−7	緑泥石岩	淡緑色．タルク含む
541	P519	図149−47	緑泥石岩	自形スピネル	591	P553	図164−8	緑泥石岩	淡緑色
542	P519	図149−25	緑泥石岩	自形スピネル．赤褐色化	592	P553	図164−9	緑泥石岩	淡緑色
543	P519	図149−69	凝灰質泥岩		593	P553	図164−10	緑泥石岩	
544	P519	図149−27	緑泥石岩	自形スピネル	594	P553	図164−11	緑泥石岩	自形スピネル．タルク
545	P519	図149−57	緑泥石岩		595	P553	図164−12	緑泥石岩	
546	P519	図149−56	緑泥石岩		596	P553	図164−13	緑泥石岩	自形スピネル
547	P519	図149−55	緑泥石岩		597	P553	図164−20	緑泥石岩	淡緑色
548	P519	図149−54	緑泥石岩	自形スピネル	598	P553	図164−28	緑泥石岩	淡緑色．タルク
549	P519	図149−53	緑泥石岩	自形スピネル	599	P553	図164−31	緑泥石岩	自形スピネル
550	P519	図149−52	緑泥石岩	自形スピネル	600	P553	図164−30	緑泥石岩	淡緑色

注：「緑泥石岩」は蛇紋岩質緑泥石岩（蛇紋岩起源の緑泥石岩）
※蛍光Ｘ線分析　　※※：エネルギー分散法EPMA分析（EDS分析）

第１表(7)　玉類の鑑定結果

番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考	番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考
601	P553	図164−29	緑泥石岩	自形スピネル．淡緑色	651	P554	図166−76	緑泥石岩	自形スピネル
602	P553	図164−14	緑泥石岩		652	P554	図166−75	緑泥石岩	自形スピネル
603	P553	図164−15	緑泥石岩	自形スピネル	653	P554	図166−73	緑泥石岩	
604	P553	図164−47	緑泥石岩	自形スピネル	654	P554	図166−74	緑泥石岩	
605	P553	図164−46	緑泥石岩	自形スピネル	655	P554	図166−72	緑泥石岩	
606	P553	図164−45	緑泥石岩	自形スピネル	656	P554	図166−71	緑泥石岩	自形スピネル
607	P553	図164−44	緑泥石岩	自形スピネル	657	P554	図166−70	緑泥石岩	自形スピネル
608	P553	図164−43	赤色変質岩	自形スピネル．蛇紋岩質	658	P554	図166−69	緑泥石岩	
609	P553	図164−42	緑泥石岩		659	P554	図166−68	緑泥石岩	自形スピネル
610	P553	図164−26	タルク	淡緑色	660	P554	図166−67	緑泥石岩	自形スピネル
611	P553	図164−25	タルク		661	P554	図166−66	緑泥石岩	
612	P553	図164−24	緑泥石岩		662	P554	図166−65	緑泥石岩	
613	P553	図164−23	緑泥石岩	淡緑色	663	P554	図166−64	緑泥石岩	自形スピネル
614	P553	図164−22	タルク	淡緑色	664	P554	図166−63	緑泥石岩	自形スピネル
615	P553	図164−21	緑泥石岩	タルクの可能性もある	665	P554	図166−62	緑泥石岩	自形スピネル
616	P553	図164−27	緑泥石岩		666	P554	図166−61	緑泥石岩	風化
617	P553	図164−41	緑泥石岩		667	P554	図166−60	緑泥石岩	風化
618	P553	図164−40	緑泥石岩		668	P554	図166−59	緑泥石岩	自形スピネル
619	P553	図164−39	緑泥石岩		669	P554	図166−58	緑泥石岩	自形スピネル
620	P553	図164−38	緑泥石岩		670	P554	図166−57	緑泥石岩	自形スピネル
621	P553	図164−37	緑泥石岩		671	P554	図166−56	緑泥石岩	自形スピネル
622	P553	図164−36	緑泥石岩	自形スピネル	672	P554	図166−55	緑泥石岩	
623	P554	図166−93	緑泥石岩		673	P554	図166−54	緑泥石岩	
624	P554	図166−94	タルク	自形スピネル	674	P554	図166−53	緑泥石岩	
625	P554	図166−91	緑泥石岩	黄褐色	675	P554	図166−52	緑泥石岩	自形スピネル．風化
626	P554	図166−90	緑泥石岩	黄褐色	676	P554	図166−51	緑泥石岩	自形スピネル（多い）．風化
627	P554	図166−92	緑泥石岩	黄褐色	677	P554	図166−50	緑泥石岩	
628	P554	図166−10	緑泥石岩		678	P554	図166−49	緑泥石岩	鉱物各種含む
629	P554	図166−95	緑泥石岩	自形スピネル？	679	P554	図166−48	緑泥石岩	自形スピネル．風化
630	P554	図166−11	緑泥石岩	黄褐色	680	P554	図166−47	緑泥石岩	
631	P554	図166−12	緑泥石岩	自形スピネル？	681	P554	図166−46	緑泥石岩	自形スピネル
632	P554	図166−13	緑泥石岩		682	P554	図166−45	緑泥石岩	
633	P554	図166−14	緑泥石岩		683	P554	図166−44	緑泥石岩	淡緑色
634	P554	図166−15	緑泥石岩		684	P554	図166−43	緑泥石岩	自形スピネル．淡緑色
635	P554	図166−16	緑泥石岩	黄褐色	685	P554	図166−42	緑泥石岩	自形スピネル
636	P554	図166−17	緑泥石岩	黄褐色	686	P554	図166−41	緑泥石岩	自形スピネル
637	P554	図166−27	緑泥石岩		687	P554	図166−40	緑泥石岩	
638	P554	図166−31	緑泥石岩	黄褐色	688	P554	図166−38	緑泥石岩	
639	P554	図166−32	緑泥石岩		689	P554	図166−37	緑泥石岩	自形スピネル
640	P554	図166−30	緑泥石岩	黄褐色	690	P554	図166−36	緑泥石岩	
641	P554	図166−25	緑泥石岩	黄褐色	691	P554	図166−35	緑泥石岩	自形スピネル
642	P554	図166−23	緑泥石岩	黄褐色	692	P554	図166−34	緑泥石岩	自形スピネル
643	P554	図166−24	緑泥石岩	黄褐色	693	P554	図166−89	緑泥石岩	
644	P554	図166−18	緑泥石岩	黄褐色	694	P554	図166−87	緑泥石岩	自形スピネル
645	P554	図166−20	緑泥石岩	黄褐色	695	P554	図166−86	緑泥石岩	淡緑色．自形スピネル
646	P554	図166−19	緑泥石岩	黄褐色	696	P554	図166−85	タルク	
647	P554	図166−21	緑泥石岩	黄褐色	697	P554	図166−84	緑泥石岩	
648	P554	図166−22	緑泥石岩	黄褐色	698	P554	図166−82	タルク	自形スピネル
649	P554	図166− 9	緑泥石岩		699	P554	図166−81	タルク	
650	P554	図166−77	緑泥石岩	自形スピネル	700	P554	図166−83	赤色変質岩	自形スピネル．蛇紋岩質

注:「緑泥石岩」は蛇紋岩質緑泥石岩（蛇紋岩起源の緑泥石岩）
※蛍光Ｘ線分析　　※※：エネルギー分散法EPMA分析（EDS分析）

第１表⑻　玉類の鑑定結果

番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考	番号	遺構番号	遺物番号	岩石名	備　考
701	Ｐ554	図166－80	緑泥石岩		726	Ｐ787	図249－13	タルク	
702	Ｐ554	図166－88	緑泥石岩		727	Ｐ787	図249－14	緑泥石岩	暗緑色
703	Ｐ554	図166－26	緑泥石岩	黄褐色	728	Ｐ787	図249－15	緑泥石岩	暗緑色
704	Ｐ554	図166－29	緑泥石岩	黄褐色	729	Ｐ787	図249－16	緑泥石岩	
705	Ｐ554	図166－28	緑泥石岩	自形スピネル	730	Ｐ787	図249－17	緑泥石岩	
706	Ｐ554	図166－39	緑泥石岩	自形スピネル	731	Ｐ787	図249－57	緑泥石岩	自形スピネル
707	Ｐ554	図166－78	緑泥石岩		732	Ｐ787	図249－56	緑泥石岩	
708	Ｐ554	図166－79	緑泥石岩	自形スピネル	733	Ｐ787	図249－42	タルク	
709	Ｐ554	図166－33	緑泥石岩	自形スピネル	734	Ｐ787	図249－41	緑泥石岩	自形スピネル
710	Ｐ554	図166－8	緑泥石岩		735	Ｐ787	図249－40	緑泥石岩	
711	Ｐ754	図236－4	ヒスイ？	要分析．鮮緑色．自形スピネル	736	Ｐ787	図249－29	緑泥石岩	自形スピネル
712	Ｐ781	図247－21	緑泥石岩	淡緑色	737	Ｐ787	図249－30	緑泥石岩	自形スピネル
713	Ｐ781	図247－22	緑泥石岩	淡緑色．自形スピネル	738	Ｐ787	図249－31	緑泥石岩	自形スピネル
714	Ｐ781	図247－23	緑泥石岩	自形スピネル	739	Ｐ787	図249－39	緑泥石岩	
715	Ｐ781	図247－31	緑泥石岩	自形スピネル？	740	Ｐ787	図249－38	タルク	自形スピネル
716	Ｐ781	図247－24	緑泥石岩	自形スピネル	741	Ｐ787	図249－37	緑色凝灰岩	
717	Ｐ781	図247－25	緑泥石岩	自形スピネル	742	Ｐ787	図249－32	緑泥石岩	自形スピネル
718	Ｐ781	図247－26	緑泥石岩		743	Ｐ787	図249－33	緑泥石岩	白色鉱物．縞状沈澱
719	Ｐ781	図247－27	緑泥石岩	自形スピネル	744	Ｐ815	図258－1	緑泥石岩	
720	Ｐ781	図247－28	緑泥石岩	暗緑色脈あり	745	Ｐ815	図258－3	緑泥石岩	自形スピネル
721	Ｐ781	図247－30	緑泥石岩	自形スピネル	746	Ｐ815	図258－2	緑泥石岩	自形スピネル
722	Ｐ781	図247－29	緑泥石岩	淡緑色．自形スピネル	747	Ｐ815	図258－7	緑泥石岩	風化
723	Ｐ787	図249－1	緑泥石岩	自形スピネル	748	Ｐ815	図258－4	緑色凝灰岩	
724	Ｐ787	図249－2	緑泥石岩	自形スピネル	749	Ｐ815	図258－6	ヒスイ	
725	Ｐ787	図249－12	緑泥石岩		750	Ｐ815	図258－5	緑色凝灰岩	
						Ｐ402	3	緑泥石岩	

注:「緑泥石岩」は蛇紋岩質緑泥石岩（蛇紋岩起源の緑泥石岩）
※蛍光Ｘ線分析

⑵　全岩化学分析

⑵－１　分析装置及び分析条件

分析には北海道教育大学札幌校のフィリップス社製蛍光Ｘ線分析装置MagiXを使用した。各元素の測定条件を第２－１表に示す。Ｘ線管球はエンドウィンドウ型のＲｈ管球を用いた。測定環境はヘリウム環境中で測定している。測定時間は一試料につき約23分である。

試料及び定量操作：試料は未処理のものをそのまま測定試料とした。試料測定用プラスチック製カップに、一重のポリプロピレンフィルムを装着し、試料を入れた。中の試料が動かないようにフタをして、金属ホルダーに入れ試料室にセットし測定を行った。定量分析はフィリップス社製のソフトＩＱ＋を用いファンダメンタルパラメータ法（ＦＰ法）によって行った。

なお、本装置では、Na-Uの元素が定量可能であり、Ｃ、Ｎ、Ｏといった軽元素は検出できない。

本試料の測定で用いたＦＰ法は、標準試料を用いた検量線法とは異なり、分析線の強度が試料の組成と基礎的定数（ファンダメンタルパラメータ）の関数として記述できるという考え方を基礎とした理論計算法である。この方法は、出所不明の未知試料の分析や、試料の形状・重量に関係なく前処理なしで定量できるメリットがある。

第２－１表　各元素の測定条件

	Analytical element Kα	Lα	Crystal	Detector	kV	mA	Angle (°2θ)	Counting time (s)
1	Mo-Pr		LiF200	Scint.	60	50	9.5－21	115
2	Zn-Mo	Re-Am	LiF220	Scint.	60	50	27.5－62	345
3	V-Cu	Pr-W	LiF220	Duplex	50	60	61－126	650
4	K-V	In-Ce	LiF200	Flow	24	125	76－146	175
5	P-Cl	Zr-Ru	Ge111	Flow	24	125	91－146	22
6	Si-Si	Rb-Sr	PE002	Flow	24	125	100－115	5
7	Al-Al	Br-Br	PE002	Flow	24	125	130－147.04	5.68
8	Na-Mg	Zn-Se	PX 1	Flow	24	125	20－30.05	2.68

Scint.；；シンチレーション検出器
Duplex；ガスフロー検出器とXeシールド型のタンデム型検出器
Flow；ガスフロー検出器

(2)－２　分析結果

肉眼鑑定を行った試料から８試料について全岩化学分析を行った。結果を第２－２表に示す。この表の上部には肉眼鑑定と分析値から考えられる岩石名を示した。

第２－２表　全岩化学分析値

試料番号	P398－No.40	P412－No.16	P432－No.6	P439－No.23	P439－No.16	P480－No.4	P509－No.17	P509－No.12
岩石名	緑泥石岩	タルク化蛇紋岩	ジャスパー	緑泥石岩	緑泥石岩	タルク	緑泥石岩	緑泥石岩
酸化物・元素（重量%）								
SiO_2	41.72	59.50	93.86	42.27	39.87	62.81	39.73	60.67
TiO_2	0.07				0.11			0.22
Al_2O_3	19.83	4.35	3.17	20.58	20.20	0.94	19.91	22.69
Fe_2O_3	5.62	7.80	0.53	6.42	5.51	4.74	5.62	13.57
MnO	0.13	0.24			0.07		0.16	0.28
MgO	30.97	24.28	0.49	26.01	30.79	30.79	32.24	
CaO	0.12	0.16	0.13	1.00	0.51			0.28
Na_2O		0.64						
K_2O		0.15	0.50	0.21	0.06			
P_2O_5	1.07	2.06	0.96	2.64	2.43	0.24	1.37	1.18
Ni	0.36926	0.43416	0.07096	0.52737	0.30395	0.49123	0.34187	0.69487
Cr		0.13219	0.18906	0.11838	0.04432		0.61545	0.27421
SO_2	0.07367	0.1287	0.10529	0.1494	0.0659			0.14005
Zn	0.02561			0.07043	0.02401			
Cl		0.11691						

注：合計を100％にノーマライズして示す
・「緑泥石岩」はすべて蛇紋岩に由来する緑泥石岩（蛇紋岩質緑泥石岩）
・タルク：滑石　　ジャスパー：碧玉

⑶　鉱物の化学分析

⑶－１　分析方法

構成鉱物の化学分析は、走査型電子顕微鏡とそれに付設のエネルギー分散型Ｘ線分析装置によった。装置は北海道教育大学札幌校の電子顕微鏡（JEOL JSM-T330A）に付設したLink社製QX200Jである。加速電圧は15kV、補正はZAF補正によった。試料は前処理として、炭素蒸着を行った。これは非導電性試料に炭素を真空蒸着することによって電子線照射による試料面の帯電を防ぐ効果がある。この炭素膜は測定後アセトンやアルコールにて容易に取り除くことができる。電子線は最小領域２～３ミクロンまで絞り込むことができ、試料中鉱物の微小領域の化学分析が可能である。電子線照射によって発生する元素特有の波長を示す固有Ｘ線を検出することによって元素の定性・定量分析を行うが、正確な定量分析を行うためには、試料表面を平滑にする必要がある。今回の分析試料の多くは穿孔されたリング状形態をもっているが、測定にあたっては、出来るだけ平滑な部分を選んで行った。合計重量が100％近くにならない場合が多いが、分析結果から推定される予想鉱物の理想化学式との対応は概ね良い（第３－１～第３－３表）。

⑶－２　分析結果

鉱物分析が必要と考えられる３試料（Ｐ439－No.28、Ｐ510－No.7、Ｐ432－No.23）について、各２～６点の分析を行った。結果を第３－１～第３－３表に示す。各表には肉眼鑑定と鉱物分析から考えられる岩石名と鉱物名を示した。

第３－１図には蛇紋岩（緑泥石岩化：Ｐ510－No.7）の組成像を示す。緑泥石が多量に生成しているが、Alに乏しい蛇紋石が不均質に残存している。

また第３－２図にはヒスイ（ひすい輝石岩：Ｐ432－No.23）の組成像を示す。Naに富みCaに乏しいひすい輝石と、Naに乏しくCaに富むオンファス輝石が入り混じって成長している。

第３－１表　緑泥石岩の鉱物分析値

P439－No.28（蛇紋岩質）緑泥石岩				
	１－１（100）	１－１	１－２（100）	１－２
鉱物名	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石
SiO_2	37.99	25.14	39.33	26.57
TiO_2	0.02	0.01	0.10	0.07
Al_2O_3	24.10	15.95	23.43	15.82
Cr_2O_3			0.17	0.12
FeO	4.97	3.29	4.82	3.26
MnO	0.10	0.06		
MgO	31.16	20.62	30.99	20.94
CaO	0.90	0.59	0.86	0.58
Na_2O	0.73	0.48	0.45	0.30
K_2O	0.07	0.05	0.02	0.01
total	100.03	66.20	100.17	67.66
Si	6.221	6.221	3.204	3.204
Ti	0.003	0.003	0.006	0.006
Al	4.651	4.651	2.249	2.249
Cr			0.011	0.011
Fe	0.681	0.681	0.329	0.329
Mn	0.014	0.014		
Mg	7.607	7.607	3.763	3.763
Ca	0.157	0.157	0.075	0.075
Na	0.231	0.231	0.071	0.071
K	0.016	0.016	0.002	0.002
O	14	14	14	14

１－1，１－２ともに左側（100）は右側の分析値を100％にノーマライズした値.

第３－２表　蛇紋岩の鉱物分析値

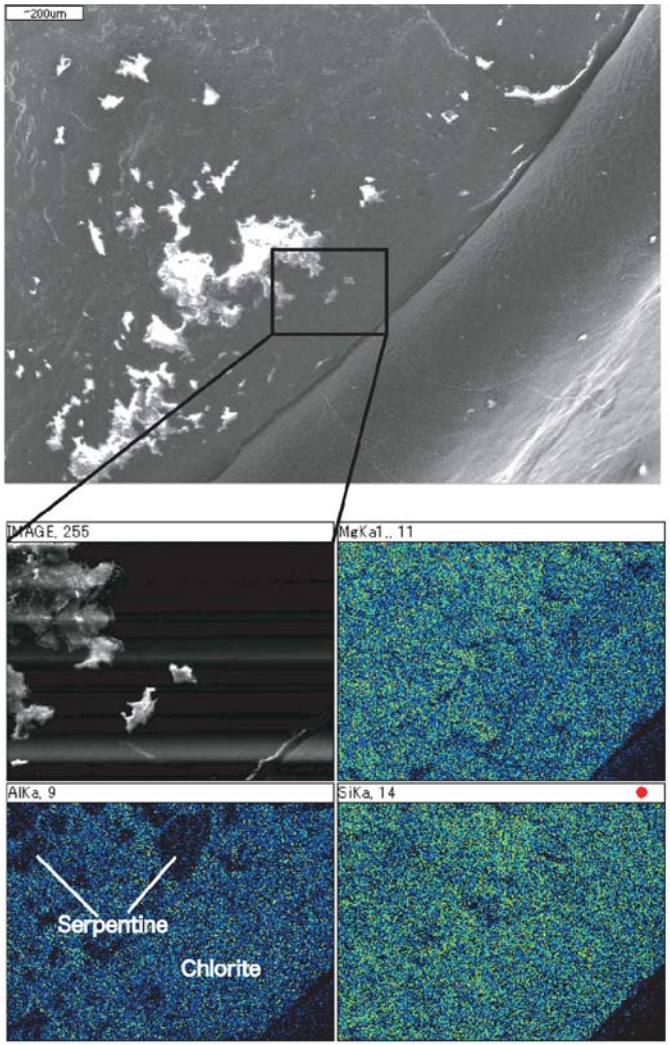
P510－No.７　蛇紋岩（緑泥石岩化）							
	２－１	２－２	２－３	２－４	２－５	２－６	２－７
鉱物名	スピネル	蛇紋石	緑泥石	蛇紋石	緑泥石	スピネル	スピネル
SiO_2	0.81	48.95	44.72	49.75	43.29	0.37	0.64
TiO_2	0.11	0.01	0.03		0.25		0.02
Al_2O_3	8.30	2.70	17.82	0.74	18.45	9.78	4.28
Cr_2O_3	40.96	0.42		0.43	0.08	59.00	68.75
FeO	15.75	2.13	6.97	3.09	6.88	22.02	23.45
MnO	0.56	0.03	0.29		0.36	1.39	0.40
MgO	5.16	44.93	29.81	45.06	29.92	7.07	2.08
CaO		0.003	0.16	0.11	0.03		0.09
Na_2O	0.38	0.83	0.61	1.05	0.54	0.44	0.29
K_2O	0.03			0.08	0.20	0.02	
total	72.06	100.01	100.42	100.31	100.00	100.09	100.01
Si	0.298	3.967	3.644	4.053	3.544	0.099	0.179
Ti	0.032	0.001	0.002		0.015		0.005
Al	3.608	0.258	1.711	0.071	1.781	3.114	1.418
Cr	11.947	0.027		0.027	0.005	12.603	15.280
Fe	4.859	0.144	0.475	0.210	0.471	4.974	5.514
Mn	0.176	0.002	0.020		0.025	0.319	0.095
Mg	2.838	5.427	3.620	5.472	3.651	2.846	0.871
Ca		0.0003	0.014	0.009	0.002		0.028
Na	0.270	0.130	0.097	0.165	0.086	0.232	0.161
K	0.015			0.009	0.021	0.007	
O	32	14	14	14	14	32	32

分析値は100％にノーマライズ.

第３－３表　ヒスイの鉱物分析値

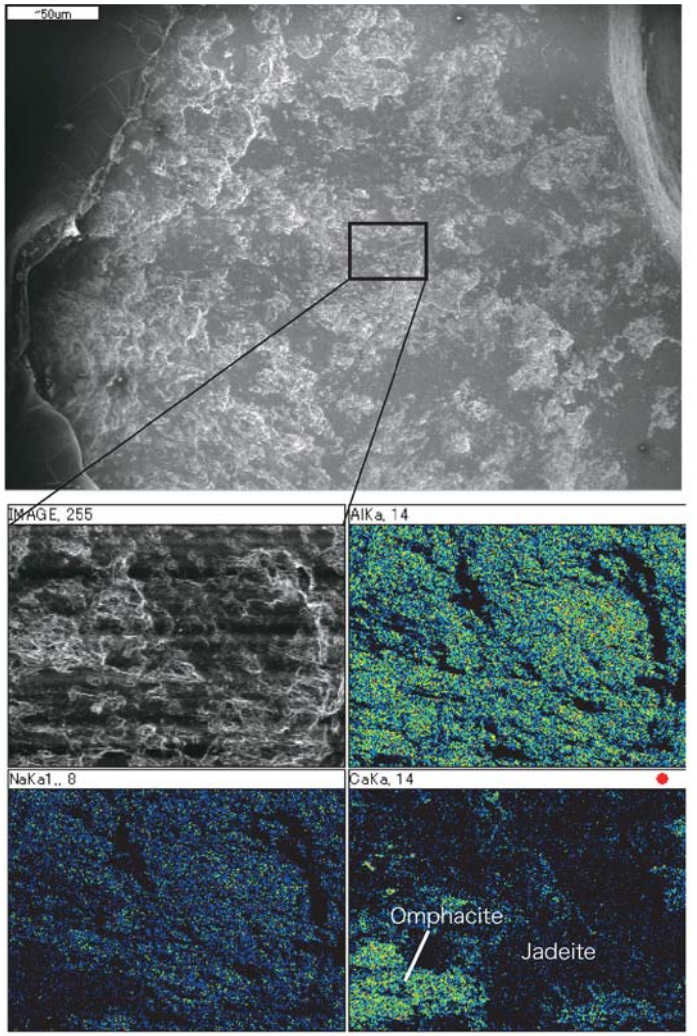
P432－No.23　ヒスイ						
	７－１	７－２	７－３	７－４	７－５	７－６
鉱物名	ヒスイ輝石	オンファス輝石	ゾイサイト	ゾイサイト	ヒスイ輝石	ヒスイ輝石
SiO_2	59.39	49.08	45.45	42.18	55.13	58.73
TiO_2	0.19	1.70			0.11	
Al_2O_3	25.77	23.41	26.84	26.80	25.62	24.87
Cr_2O_3		0.17	0.02	0.01	0.03	0.16
FeO	0.01	1.78	0.10	1.06	0.69	0.38
MnO	0.13	0.11	0.27			
MgO	0.57	1.23	0.30	0.56	0.41	0.94
CaO	0.66	6.17	26.80	27.66	6.13	1.40
Na_2O	13.34	9.82	0.10	0.91	10.97	13.58
K_2O		6.53	0.12	1.01	1.01	0.07
total	100.06	100.00	100.01	100.19	100.08	100.13
Si	1.989	1.774	3.495	3.337	1.893	1.981
Ti	0.005	0.046			0.003	
Al	1.017	0.997	2.448	2.498	1.037	0.989
Cr		0.005	0.002	0.0004	0.001	0.004
Fe	0.0003	0.054	0.007	0.069	0.020	0.011
Mn	0.004	0.003	0.017			
Mg	0.028	0.066	0.035	0.067	0.021	0.047
Ca	0.024	0.239	2.221	2.342	0.226	0.050
Na	0.866	0.688	0.008	0.139	0.730	0.888
K		0.301	0.013	0.102	0.044	0.003
O	6	6	13	13	6	6

分析値は100％にノーマライズ.



第３－１図　P510－No. 7（緑泥石岩化蛇紋岩）の組成像.

大部分緑泥石（Chlorite）化が進んでいるが、不均質にAlに乏しい蛇紋石（Serpentine）が残存している。



第３－２図　P432－No. 23（ヒスイ）の組成像.

Jadeite（ひすい輝石）の部分はNaに富み、Caに乏しい。
Omphacite（オンファス輝石）の部分はNaに乏しく、Caに富む。

⑷ 考　察

⑷－１　玉類の岩石種

蛇紋岩に由来する岩石

１）緑泥石岩について

「緑泥石岩」としたものは、すべて蛇紋岩質緑泥石岩で、今回鑑定した資料の実に91％（683／750）を占める。すべて蛇紋岩起源であるが、一部蛇紋岩を不均質に残す資料があるものの、大部分が緑泥石の集合に交代された岩石である。主として自形、一部半自形のスピネル（尖晶石）を含むので、さらに前はダンかんらん岩質のかんらん岩であったと考えられる。まれに、輝石かんらん岩であったと考えられるものも含む。蛇紋石を残す資料（例えば、試料Ｐ510－No.7）は、岩石組織や色調からみて、おそらくアンチゴライトが主体である。したがって、この緑泥石岩はダンかんらん岩（一部輝石かんらん岩）→アンチゴライト質蛇紋岩→緑泥石岩という過程をたどって生成したものであると考えられる。

２）タルク化蛇紋岩について

不均質な灰白色の斑点を伴う岩石で、やはり主として自形～半自形のスピネルを含む（例えば、試料Ｐ412－No.16）。一部に輝石であったと考えられる仮像を含む。蛇紋岩が不均質にタルク（滑石）化を受けた岩石である。タルク化蛇紋岩は750資料中24資料（3.2％）含まれている。

３）タルクについて

灰白色または帯緑灰白色で、後者は透明感がある。前者はタルクの微細結晶集合体、後者は粗粒結晶集合体と考えられる。しばしば、自形のスピネルを含むことから、やはり蛇紋岩起源である（例えば、試料Ｐ480－No.4）。750資料中タルクは10資料（1.3％）含まれている。

４）蛇紋岩質赤色変質岩

蛇紋岩起源の赤褐色の変質岩が750資料中２資料あった（0.3％）。

ヒスイ（ひすい輝石岩）

灰白色および鮮やかな淡緑色～緑色、半透明の鉱物の集合体である。灰白色の鉱物はひすい輝石で、緑色の鉱物はオンファス輝石である（試料Ｐ432－No.23）。ヒスイは750資料中３（ないし４）資料（0.4～0.5％）である。

緑色凝灰岩

帯緑灰色を呈し、不均質で複数種の粒状鉱物と基質からなる。今回は分析を行っていないが、弱い珪化作用を受けて、やや珪酸分（Si）が多くなっていそうなものや、沸石が生成しているものがありそうである。中新世のグリーンタフ地域に分布する岩石である。緑色凝灰岩は750資料中５資料（0.7％）である。

ジャスパー

淡緑色または帯褐灰色で微細結晶からなる、ち密均質の場合と、不均質な火砕岩様の組織を示すものがある。中－古生代の付加体に含まれる岩石のようには変形組織が発達していないので、第三紀以降などの非変形の細粒火砕岩（凝灰岩）が、熱水変質作用を受けて珪酸分に著しく富むようになったものであろう（試料Ｐ432－No.6はSiO_2＝94％）。ジャスパーは750資料中２（ないし３）資料（0.3～0.4％）である。

コハク

コハク製の玉が１資料認められた（Ｐ519－No.48）。

その他

その他、凝灰岩やロジン岩？製の玉が少量含まれる。

⑷－２　玉類の由来

蛇紋岩に由来する岩石

北海道には神居古譚帯と呼ばれる日本最大の蛇紋岩体が分布する。しかし、緑泥石岩化が進んだ蛇紋岩体は知られていない（例えば、岡村ほか、2003）。蛇紋岩に伴うロジン岩の反応帯に幅数10㎝以下で帯緑暗灰色の緑泥石帯が出現する（Katoh&Niida，1983）が、玉に使用される緑泥石岩とは見かけがまったく異なる。すなわち今回、鑑定した蛇紋岩質緑泥石岩は、元の蛇紋岩の組織的特徴（ち密なアンチゴライト質蛇紋岩）を残したまま、全体が緑泥石岩化している。また、蛇紋岩組織を残したままタルク化しているもの（斑点状のタルク化蛇紋岩）がある。これらの特徴は、蛇紋岩体が何らかの熱変成作用～Al交代作用を受けて形成された可能性を示している。すなわち、元の蛇紋岩に比べてAlが著しく付加されている。このような蛇紋岩は、古生代などの古い蛇紋岩の一部に存在する可能性がある。すなわち、シベリアなどの大陸地域や、日本では糸魚川地域を含む飛騨外緑帯（青海－蓮華帯）の蛇紋岩などである。古い時代の蛇紋岩ほど、後の時代の火成岩の貫入による影響を受けている可能性が高いのである。

新潟県姫川地域（青海－蓮華帯）の蛇紋岩の一部に緑泥石岩化した岩体がある（大村ほか、1983）ことに注目しておきたい。

ヒスイ

今回分析した試料（Ｐ432－No.23）には、ひすい輝石とオンファス輝石が共存する。糸魚川（青海－蓮華帯）の「ひすい輝石」は近年の研究により、白色部がひすい輝石で、淡緑色部がオンファス輝石であることが判明した（フォッサマグナミュージアム、ホームページ）。したがって、本試料は糸魚川産のひすい輝石岩である可能性が高い。

緑色凝灰岩

緑色凝灰岩は、東北～北海道の主として日本海側に広く分布するので、今のところその分布範囲のどこかであるとしか言えないが、他の玉類と一緒に運ばれるという可能性を考える場合、一つの束縛条件となり得る。

ジャスパー

ジャスパーも緑色凝灰岩と源岩が類似し、緑色凝灰岩より細粒の火砕岩（凝灰岩）が、より強く珪化作用を受けたものであると考えられる。色調は一般に淡緑色～褐灰色で、今回は認められていないが赤色のものが佐渡に産する（赤玉）。今回のような緑色のものは、佐渡の他、より広く各地に産する可能性があり、産地となり得る候補地のマップづくりとサンプリング・分析を行うことが今後必要であろう。

コハク

コハクについては岩手県などに産地が知られているが、分析を行っておらず、ジャスパー同様、現在のところ、産地推定の積極的根拠がない。

1－3　西島松５遺跡出土の玉・石製品の岩石学的分析（平成19年度）

アースサイエンス株式会社

はじめに

本報告書は「石器及び玉類の岩石学的分析」についてのものです。蛍光X線（XRF）分析および電子線マイクロアナライザ（EPMA）分析にあたっては、北海道教育大学札幌校の岡村聡教授ならびに菅原いよ氏の御指導・御協力をいただきました。記して感謝申し上げます。

西島松５遺跡分析試料一覧

番号	遺構番号	グリッド	層位	点取No.	遺物名	肉眼鑑定	写真	EDS分析	X線粉末回折
1	P433	N－30	覆土	12	石棒	○	○		
2	P463	P－32	覆土	4	石棒	○	○		
3	P553	R－39	覆土	57	石棒	○	○		
4	P708	S－48	坑底	1	石棒	○	○		
5	P490	N－27	覆土		石棒片	○	○	○	○
8	P398	R－28	覆土	56	玉（破片）	○		○	○
9	P511	R－27	覆土	230	玉（破片）	○		○	○
10	P518	R－29	覆土	7	玉（破片）	○	○	○	○
26	P511	R－27	覆土	231	玉（未実測）	○	○	○	○
27	P486	M－32	覆土	76	玉（未実測）	○	○	○	○
合　計						10	8	6	6

(1)　肉眼鑑定

西島松５遺跡出土の石製品および玉について肉眼鑑定を行った。資料の写真を図１－１に、鑑定結果を表１－１に示す。なお、肉眼鑑定にあたっては実体鏡とルーペを併用した。

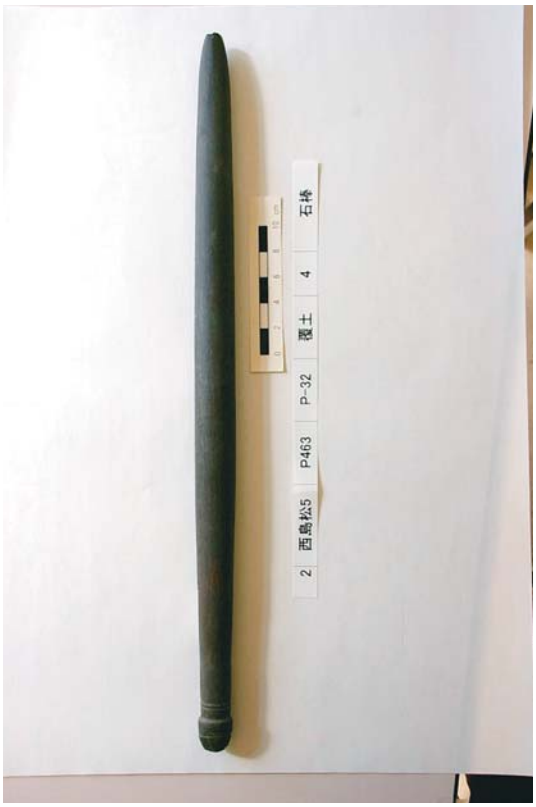


図１－１　資料の写真(2)：泥質ホルンフェルス

図１－１　資料の写真(1)：緑色凝灰岩

図１－１　資料の写真(3)：緑色凝灰岩

図１－１　資料の写真(4)：石英片岩

図１－１　資料の写真(5)：藍閃石片岩
西５－５　Ｐ490，Ｎ－27

図１－１　資料の写真(6)：緑泥石岩
西５－８　Ｐ398，Ｒ－28，56

図１－１　資料の写真(7)：緑泥石岩
Ｐ518，Ｒ－29，230

図１－１　資料の写真(8)：緑泥石岩
Ｐ511，Ｒ－27，231

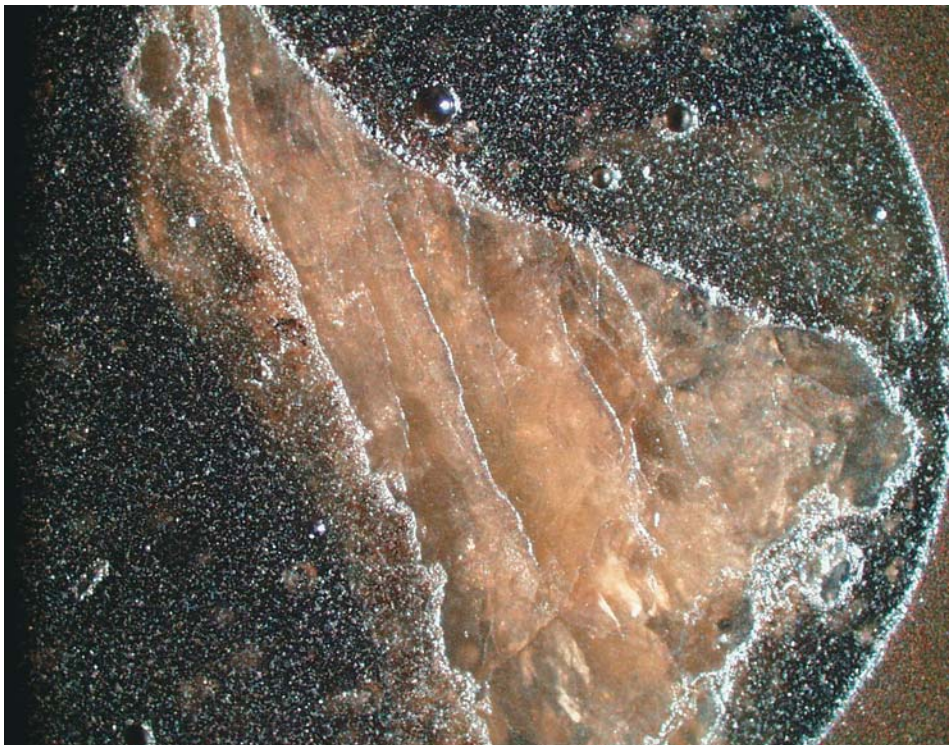


図１－１　資料の写真(9)：緑泥石岩
P 486，M－32，76

表１－１　西島松５遺跡出土の石製品および玉の肉眼鑑定結果

番号	遺構番号	グリッド	層位	点取No.	遺物名	岩石名	備　　考
1	P 433	N－30	覆土	12	石棒	緑色凝灰岩	軽石凝灰岩が淡緑色に変質．弱い珪化作用を受けて硬質になっている．緑色は緑泥石などが生成しているためである．
2	P 463	P－32	覆土	4	石棒	泥質ホルンフェルス	黒色の泥質岩がホルンフェルス化を受けた岩石．微細な石英や黒雲母を多量に生じる．点紋状に鉱物が散在し，菫青石が生成していると考えられる．
3	P 553	R－39	覆土	57	石棒	緑色凝灰岩	軽石を含む粗粒な凝灰岩～火山礫凝灰岩が珪化作用を受けて硬質になっている．緑色は緑泥石などが生成しているためである．
4	P 708	S－48	坑底	1	石棒	石英片岩	泥質部薄層と石英集合部が細かく互層する片岩．黒色片岩と石英片岩の中間的な片岩．
5	P 490	N－27	覆土		石棒片	藍閃石片岩	青緑色を呈する片岩．
8	P 398	R－28	覆土	56	玉（破片）	緑泥石岩	スピネルを含むので蛇紋岩起源と考えられる．
9	P 511	R－27	覆土	230	玉（破片）	緑泥石岩	スピネルを含むので蛇紋岩起源と考えられる．
10	P 518	R－29	覆土	7	玉（破片）	緑泥石岩	スピネルを含むので蛇紋岩起源と考えられる．
26	P 511	R－27	覆土	231	玉（未実測）	緑泥石岩	スピネルを含むので蛇紋岩起源と考えられる．
27	P 486	M－32	覆土	76	玉（未実測）	緑泥石岩	スピネルを含むので蛇紋岩起源と考えられる．

⑵　鉱物分析

⑵－１　分析方法

構成鉱物の化学分析は、走査型電子顕微鏡とそれに付設のエネルギー分散型Ｘ線分析装置試料は（EDS）によった。装置は北海道教育大学札幌校の電子顕微鏡（JEOL JSM-T330A）に付設したOxford社製Link ISIS300である。加速電圧は15kV、補正はZAF補正によった。試料は前処理として、炭素蒸着を行った。これは非導電性試料に炭素を真空蒸着することによって電子線放射による試料面の帯電を防ぐ効果がある。この炭素膜は測定後アセトンやアルコールにて容易に取り除くことができる。電子線は最小領域２～３ミクロンまで絞り込むことができ、試料中鉱物の微小領域の化学分析が可能である。電子線放射によって発生する元素特有の波長を示す固有Ｘ線を検出することによって元素の定性・定量分析を行うが、正確な定量分析を行うためには、試料表面を平滑にする必要がある。今回の分析試料は穿孔されたリングの形状をもっているが、測定にあたっては、出来るだけ平滑な部分を選んで非破壊分析を行った。合計重量が100％近くにならない場合が多いが、分析結果から推定される予想鉱物の理想化学式との対応は概ね良い。

⑵－２　分析結果

EDSによる鉱物の分析結果を表２－１に示す。

表２－１⑴　鉱物の分析値〔西５－５　P490，N－27〕

	1	2	3	4	5
SiO_2	54.12	50.18	46.86	41.57	40.66
TiO_2	0.35	5.24	0.79	0.00	0.10
Al_2O_3	24.08	6.89	10.61	38.03	27.18
FeO	9.26	16.04	25.92	2.05	7.34
MnO	0.62	0.86	0.35	0.17	0.47
MgO	0.89	6.76	4.30	0.00	2.53
CaO	1.47	11.88	8.05	17.85	21.33
Na_2O	7.80	1.37	2.60	0.00	0.00
K_2O	0.73	0.43	0.20	0.25	0.00
Cr_2O_3	0.28	0.44	0.22	0.36	0.27
NiO	0.39	0.00	0.10	0.16	0.21
原子比	O＝24	24	24	10	14
Si	7.588	7.551	7.318	2.416	3.49
Ti	0.037	0.593	0.093	0.000	0.01
Al	3.979	1.222	1.953	2.605	2.75
Fe	1.085	2.018	3.385	0.100	0.53
Mn	0.074	0.110	0.047	0.009	0.03
Mg	0.186	1.516	1.000	0.000	0.32
Ca	0.221	1.915	1.347	1.111	1.96
Na	2.121	0.399	0.787	0.000	0.00
K	0.130	0.082	0.039	0.018	0.00
Cr	0.032	0.053	0.028	0.016	0.02
Ni	0.044	0.000	0.013	0.008	0.01
Total	15.496	15.460	16.011	6.283	9.122
鉱物名	藍閃石	鉄アクチノ閃石	鉄アクチノ閃石	ローソン石	パンペリー石

表２－１⑵　鉱物の分析値〔西５－８　P398，56〕

	1	2	3	4	5
SiO_2	39.99	39.63	39.95	39.23	39.73
TiO_2	0.00	0.03	0.02	0.04	0.02
Al_2O_3	19.53	19.10	18.90	19.81	19.11
FeO	3.53	3.72	3.40	3.60	3.27
MnO	0.16	0.47	0.32	0.15	0.14
MgO	36.37	36.22	36.75	36.50	36.79
CaO	0.00	0.07	0.09	0.08	0.04
Na_2O	0.00	0.37	0.20	0.34	0.11
K_2O	0.00	0.02	0.00	0.00	0.11
Cr_2O_3	0.00	0.00	0.00	0.04	0.08
NiO	0.59	0.55	0.42	0.25	0.61
原子比	O＝28	28	28	28	28
Si	6.500	6.472	6.508	6.396	6.48
Ti	0.000	0.004	0.003	0.005	0.00
Al	3.741	3.676	3.630	3.807	3.67
Fe	0.480	0.509	0.463	0.491	0.45
Mn	0.022	0.065	0.044	0.021	0.02
Mg	8.811	8.815	8.925	8.871	8.94
Ca	0.000	0.012	0.016	0.014	0.01
Na	0.000	0.116	0.063	0.107	0.03
K	0.000	0.005	0.000	0.000	0.02
Cr	0.000	0.000	0.000	0.005	0.01
Ni	0.077	0.072	0.054	0.033	0.08
Total	19.630	19.746	19.706	19.748	19.709
鉱物名	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石

表 2 － 1 (3)　鉱物の分析値〔西 5 － 9　P511，230〕

	1	2	3	4	5
SiO_2	41.11	41.62	40.71	41.16	40.56
TiO_2	0.04	0.03	0.00	0.00	0.06
Al_2O_3	18.10	17.46	18.88	17.85	18.61
FeO	4.23	4.60	3.98	3.74	4.34
MnO	0.00	0.00	0.32	0.00	0.00
MgO	35.56	35.11	35.05	36.74	35.11
CaO	0.49	0.50	0.36	0.34	0.38
Na_2O	0.23	0.26	0.23	0.28	0.24
K_2O	0.00	0.15	0.06	0.00	0.12
Cr_2O_3	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00
NiO	0.47	0.24	0.45	0.18	0.62
原子比	0 = 28	28	28	28	28
Si	6.694	6.797	6.641	6.680	6.63
Ti	0.005	0.004	0.000	0.000	0.01
Al	3.473	3.360	3.629	3.415	3.59
Fe	0.577	0.628	0.544	0.508	0.59
Mn	0.000	0.000	0.044	0.000	0.00
Mg	8.632	8.545	8.523	8.886	8.55
Ca	0.086	0.088	0.063	0.059	0.07
Na	0.074	0.082	0.073	0.087	0.08
K	0.000	0.031	0.012	0.000	0.02
Cr	0.000	0.006	0.000	0.000	0.00
Ni	0.062	0.031	0.059	0.023	0.08
Total	19.602	19.572	19.587	19.656	19.620
鉱物名	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石

表 2 － 1 (4)　鉱物の分析値〔西 5 －10　P518，7〕

	1	2	3	4	5
SiO_2	39.66	39.71	40.40	40.25	40.80
TiO_2	0.09	0.00	0.18	0.00	0.07
Al_2O_3	17.87	18.02	18.66	18.89	18.67
FeO	12.03	6.78	5.94	5.44	5.68
MnO	0.04	0.22	0.09	0.05	0.05
MgO	29.71	34.76	33.92	34.44	34.85
CaO	0.13	0.18	0.19	0.04	0.38
Na_2O	0.00	0.23	0.34	0.17	0.00
K_2O	0.13	0.17	0.09	0.09	0.00
Cr_2O_3	0.00	0.05	0.00	0.08	0.00
NiO	0.51	0.01	0.34	0.58	0.00
原子比	0 = 28	28	28	28	28
Si	6.688	6.559	6.634	6.604	6.66
Ti	0.011	0.000	0.023	0.000	0.01
Al	3.551	3.507	3.611	3.652	3.59
Fe	1.696	0.937	0.816	0.747	0.78
Mn	0.005	0.030	0.012	0.007	0.01
Mg	7.466	8.557	8.302	8.423	8.48
Ca	0.023	0.032	0.033	0.008	0.02
Na	0.000	0.074	0.107	0.055	0.00
K	0.028	0.036	0.019	0.019	0.00
Cr	0.000	0.007	0.000	0.011	0.00
Ni	0.069	0.001	0.045	0.076	0.00
Total	19.539	19.740	19.600	19.601	19.538
鉱物名	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石

表 2 － 1 (5)　鉱物の分析値〔西 5 －26　P511，231〕

	1	2	3	4	5
SiO_2	40.80	40.88	41.31	43.00	39.78
TiO_2	0.00	0.00	0.10	0.23	0.00
Al_2O_3	18.85	15.63	15.76	15.40	19.49
FeO	3.78	10.23	10.28	9.86	2.97
MnO	0.16	0.17	0.00	0.00	0.00
MgO	36.28	31.80	31.70	31.01	37.14
CaO	0.19	0.60	0.52	0.59	0.21
Na_2O	0.07	0.53	0.04	0.00	0.26
K_2O	0.00	0.00	0.10	0.04	0.03
Cr_2O_3	0.00	0.00	0.10	0.00	0.13
NiO	0.00	0.19	0.12	0.00	0.21
原子比	0 = 28	28	28	28	28
Si	6.620	6.862	6.912	7.137	6.45
Ti	0.000	0.000	0.013	0.029	0.00
Al	3.606	3.093	3.108	3.012	3.72
Fe	0.512	1.436	1.439	1.369	0.40
Mn	0.022	0.024	0.000	0.000	0.00
Mg	8.774	7.957	7.905	7.672	8.98
Ca	0.033	0.107	0.093	0.105	0.04
Na	0.021	0.172	0.013	0.000	0.08
K	0.000	0.000	0.022	0.008	0.01
Cr	0.000	0.000	0.013	0.000	0.02
Ni	0.000	0.026	0.016	0.000	0.03
Total	19.588	19.677	19.533	19.332	19.724
鉱物名	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石

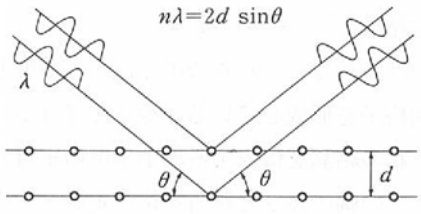
表 2 － 1 (6)　鉱物の分析値〔西 5 －27　P486，76〕

	1	2	3	4	5
SiO_2	42.32	45.27	41.23	39.61	41.86
TiO_2	0.00	0.00	0.00	0.19	0.07
Al_2O_3	15.40	10.45	17.28	18.57	15.81
FeO	3.71	3.29	5.27	3.93	4.21
MnO	0.00	0.11	0.13	0.00	0.23
MgO	38.38	39.93	34.90	37.13	37.12
CaO	0.00	0.05	0.42	0.19	0.03
Na_2O	0.35	0.48	0.64	0.21	0.26
K_2O	0.00	0.05	0.09	0.00	0.01
Cr_2O_3	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00
NiO	0.17	0.57	0.14	0.17	0.49
原子比	0 = 28	28	28	28	28
Si	6.683	7.353	6.760	6.465	6.84
Ti	0.000	0.000	0.000	0.023	0.01
Al	2.943	2.001	3.339	3.571	3.04
Fe	0.503	0.447	0.722	0.536	0.57
Mn	0.000	0.014	0.018	0.000	0.03
Mg	9.278	9.666	8.529	9.032	9.03
Ca	0.000	0.009	0.074	0.033	0.00
Na	0.109	0.152	0.204	0.067	0.08
K	0.000	0.010	0.018	0.000	0.00
Cr	0.000	0.000	0.000	0.007	0.00
Ni	0.022	0.074	0.019	0.022	0.06
Total	19.719	19.727	19.682	19.757	19.677
鉱物名	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石

⑶　Ｘ線粉末回折

⑶－１　Ｘ線粉末回折の方法

Ｘ線回折は、鉱物の結晶構造や結晶状態に関する情報を得るための分析方法である。結晶物質に特性Ｘ線を照射すると、Ｘ線が結晶格子面で反射しお互いに干渉しあい、ブラッグの条件を満たす方向に強い回折線を示す。



ブラッグの条件　　2 dSinθ=nλ

θ：ブラッグ角

d：結晶粒子の面間隔

λ：Ｘ線の波長

n：反射の次数（整数）

この式により格子面間隔が求められる。面間隔は結晶物質の固有の値で回折Ｘ線の角度（２θ）と強度を求めることにより、結晶物質の同定ができる。

Ｘ線回折にはいくつかの方法があり、鉱物の判定・定量などには粉末回折法が有効な分析方法であり、通常適用されている。分析装置はＸ線ディフラクトメーターが使われる。次にＸ線粉末回折装置で分析するときの、試料調整法、測定法、試料の特徴などを述べる。

鉱物の同定

Ｘ線粉末回折による鉱物の同定は、鉱物がそれぞれ特有の回折線を与えるので、回折線の位置と強度を、標準鉱物の回折データと比較して判定する。標準鉱物のデータベースとしてJCPDS（Joint Committee on Powder Diffraction Standards）のPDF（Powder Data File）粉末データファイルがあり、これを比較・対照して同定を行う。この場合、以下に述べる不定方位の回折データと比較するが、それだけでは鉱物が決定できない場合があり定方位と各処理が行われる。

不定方位法

不定方位法は、最も一般的な粉末法である。粉末試料に混在する鉱物の判定や各回折線の正確な強度の測定をするとき、広い範囲の回折角度について回折パターンを得るときなどに使われる。

試料の一部を風乾させ、鉄乳鉢で粗砕する。さらにめのう乳鉢を用いて、指先で粒子を感じない（10μm以下）程度まで粉砕する。粉末にした試料をアルミニュウム製試料ホルダーに圧入し測定に供する。

含有量の推定

回折Ｘ線の強度は、結晶相物質の含有量・鉱物の種類（化学組成、結晶構造)･結晶度・粉末粒子の形状・大きさ・方位・測定条件・混合物全体のＸ線吸収係数などによって決定される。これら主要な要素のみについてみても鉱物の種類によって異なり、また同族の鉱物であっても異変があり、同じ結晶面の回折強度が一定の強度を示すとは限らない。従ってＸ線回折より得られる結果は、あくまでも定性的なものであり、量的な評価はある程度相対的なものである。

測定条件

分析は、島津製作所製XRD6000型Ｘ線回折装置を使用した。測定条件は、Ｘ線管球Cu対陰極、カウンタモノクロメータ、管電圧30kV・管電流20mA、スリット系：１°－0.3㎜－１°、走査速度２°／min、プリセットタイム1.5sec、走査範囲不定方位２～65°定方位２～20°で行った。

⑶－２　Ｘ線粉末回折の結果

Ｘ線粉末回折の結果を表３－１に示す。また、以下のページに回折チャートを示す。

表３－１　Ｘ線粉末回折結果一覧表

番号	サンプルNo.			Qz	Pl	Glc	Pmp	Chl
	遺構名	遺構番号	点取No.					
5	西島松５	Ｐ490	石棒片	○	△	○	△	＋
8	西島松５	Ｐ398	56					○
9	西島松５	Ｐ511	230					△
10	西島松５	Ｐ518	7					○
26	西島松５	Ｐ511	231					△
27	西島松５	Ｐ486	76					○

◎：極多量　○：多量　△：中量　＋：少量　－：微量　？不確定
Qz：石英　Pl：斜長石　Glc：藍閃石　Pmp：パンペリー石　Chl：緑泥石

⑷　考察

肉眼鑑定を行った資料は10点でこのうち、６点についてEDS分析とＸ線粉末回折を行った。10のうち５点が石棒、５点が玉（破片）である。

石棒　石棒は珪化作用を受けて硬質となった緑色凝灰岩が２点、泥質ホルンフェルス、石英変岩、藍閃石片岩が各１点である。緑色凝灰岩は変形作用を受けていないので、付加体地域に由来するものではない。北海道～本州の主として日本海側に分布するグリーンタフ地域の中で、熱水活動による珪化変質を受けた地域で形成された可能性が高い。泥質ホルンフェルスは、変形した泥岩すなわち付加体を構成する泥岩がホルンフェルス化を受けているようである。石英、黒雲母のほか菫青石様鉱物も生成している。このようなホルンフェルスは北海道では日高変成帯や渡島半島の花崗岩質岩体の周辺に見られるが、産地の試料のサンプリングを含めて今後の検討が必要である。藍閃石片岩は付加体構成物が高圧の変成作用を受けてできた岩石で、石英片岩もこの仲間である。北海道では、神居古潭峡各～幌加内などに分布する。分析した藍閃石片岩にはＸ線粉末回折から石英、斜長石、藍閃石、パンペリー石、緑泥石が含まれていることがわかった。鉱物分析からはこの他ローソン石や鉄アクチノ閃石も含まれている可能性がある。

玉　玉は５試料のいずれも緑泥石岩であった。スピネル（クロムスピネル）を含むので、原岩は蛇紋岩で、さらにその元はかんらん岩、とくらダンかんらん岩であった。北海道には神居古潭帯などに蛇紋岩が広く分布している。しかし、緑色片岩化が岩体に広く及んでいる場所は今のところ発見されていない。神居古潭帯では蛇紋岩に伴うロジン岩の反応帯として幅数10㎝以下の規模で帯緑暗灰色の緑泥石帯が出現する（Katoh and Niida, 1983）。しかし、これは玉に使用される緑泥石岩とは見かけが異なり、極めて局所的にしか分布しないので、これらの原産地とは考えにくい。

このような大規模にAlが付加されるような蛇紋岩体は、地質時代に熱水変質作用を受けている古生代などの古い岩体、例えば日本では糸魚川地域を含む飛騨外縁帯（青海－蓮華帯）やシベリアなどの大陸地域（岡村ほか、2003）が上げられる。新潟県姫川地域の蛇紋岩帯には大規模に緑泥石岩化した部分が報告されており（大村ほか、1983）、今後、これらとの比較検討が必要である。

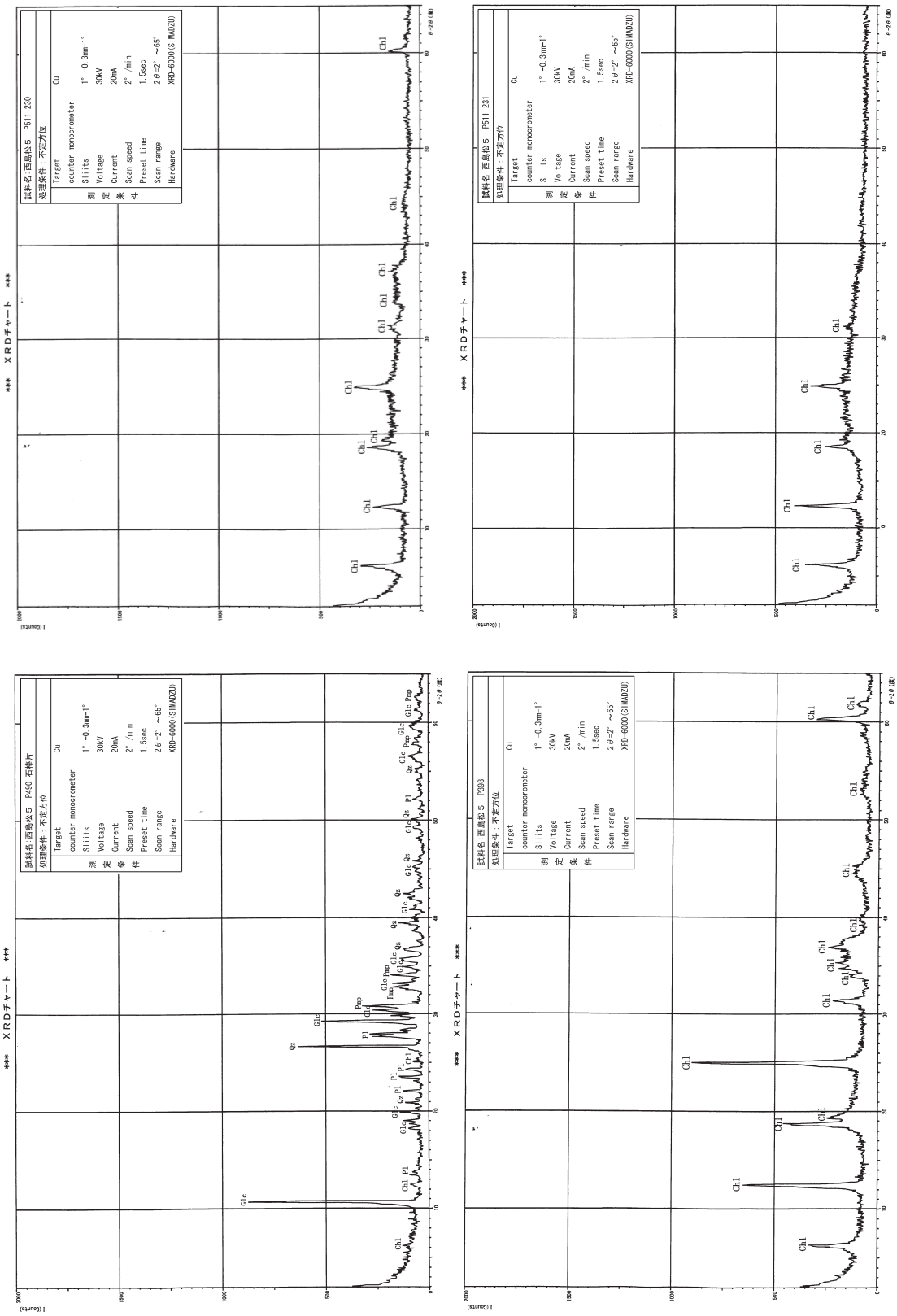


図３－１(１)　XRDチャート

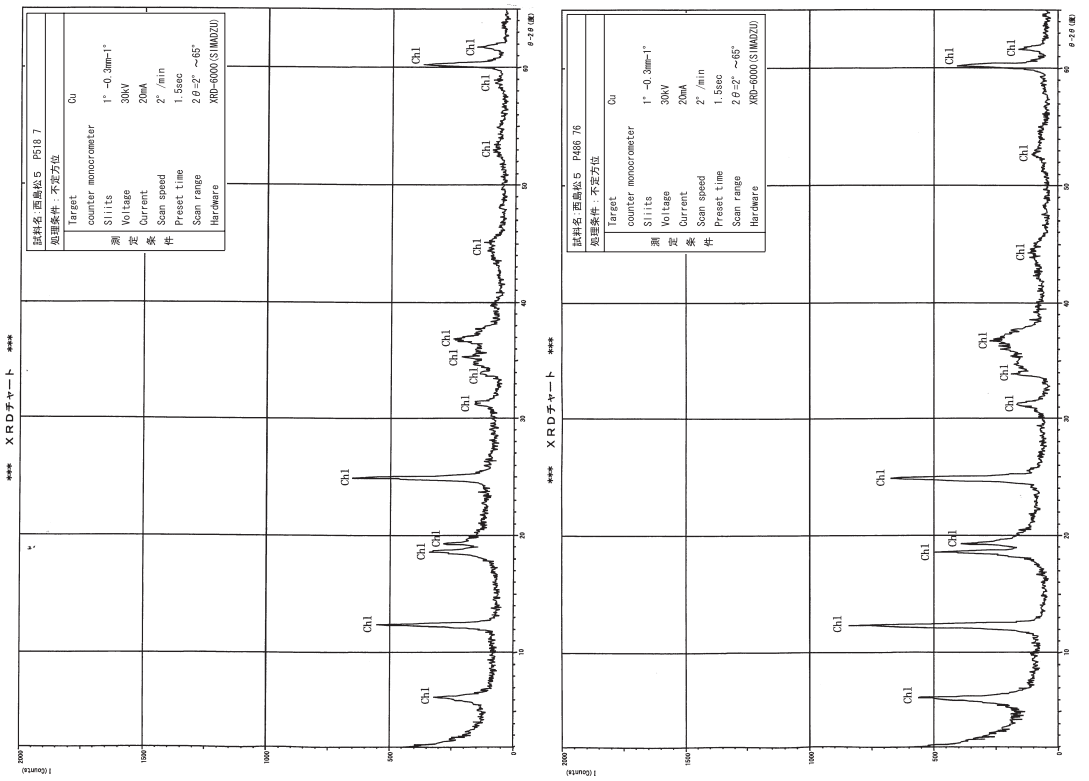


図３－１(2) XRDチャート

引用文献（１－２・１－３）

フォッサマグナミュージアム・ホームページ

Katoh, T. and Niida, K.(1983)：Rodingites from the Kamuikotan tectonic belt, Hokkaido. Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. Ⅳ, 20, 151－169.

岡村　聡・加藤孝幸・寺崎康史（2003)：今金町美利河１遺跡から出土した玉類の石質と起源．北海道考古学，第39輯，77－82.

大村一夫・山地英喜・岩槻　修・吉田亘弘・山戸武史（1983)：新潟県姫川地域の蛇紋岩－岩盤評価の前に．応用地質，24，9－24.

2　西島松５遺跡出土ヒスイ製玉類の産地分析

（有）遺物材料研究所

はじめに

玉類の観察は、一般的に肉眼観察で岩石の種類を決定し、それが真実のよう思われているのが実態である。岩石製では玉類の原材料として硬玉、滑石、軟玉（角閃石）、蛇紋岩、結晶片岩、碧玉などが推測される。それぞれの岩石の命名定義に従って岩石名を決定するが、非破壊で命名定義を求めるには限度があり、若干の傷を覚悟して硬度、光沢感、比重、結晶性、主成分組成を求めるなどで、非破壊で命名の主定義の結晶構造、屈折率などを正確には求められない。原石名が決定されたのみでは考古学の資料としては不完全で、どこの産地の原石が使用されているかの産地分析が行われて初めて、考古学に寄与できる資料となる。遺跡から出土する勾玉、管玉など玉類の産地分析というのは、玉類の製品が何処の玉造遺跡で加工されたということを調査するのではなくて、何ケ所かあるヒスイ（硬玉、軟玉）とか碧玉の原産地うち、どこの原産地の原石を使用しているかを明らかにするのが、玉類の原産地推定である。玉類の原石の産地を明らかにすることは考古学上重要な意味をもっている。糸魚川市でヒスイが発見されるまでは、中国、雲南、ビルマ説、発見後は、専ら国内説で、岩石学的方法[1]および貴重な考古遺物を非破壊で産地分析を行った蛍光Ｘ線分析で行う元素比法[2)、3)、4)]が報告されている。また、碧玉製管玉の産地分析で系統的に行った研究は蛍光Ｘ線分析法と電子スピン共鳴法を併用し産地分析より正確に行った例[5]が報告されている。石鏃など石器と玉類の製品はそれぞれ使用目的が異なるため、それぞれの産地分析で得られた結果の意味も異なる。⑴石器の原材産地推定で明らかになる、遺跡から石材原産地までの移動、活動範囲は、石器は生活必需品であるため、生活上必要な生活圏と考えられる。⑵玉類は古代人が生きるために必ずしもいるものではない。勾玉、管玉は権力の象徴、お祭、御守り、占いの道具、アクセサリーとして、精神的な面に重要な作用を与えると考えられる。従って、玉類の産地分析で、明らかになるヒスイ製玉類の原石の分布範囲は、権力の象徴としての玉類であれば、権力圏を現わしているかもしれない、お祭、御守り、占いの道具であれば、同じような習慣を持つ文化圏が考えられる。石器の原材産地分析で得られない貴重な資料を考古学の分野に提供することができる。今回分析を行った遺物は北海道恵庭市西島松５遺跡806号土坑より出土の縄文時代後期～晩期のヒスイ製勾玉と垂珠の２個について産地分析結果が得られたので報告する。

非破壊での産地分析の方法と手段

原産地推定の第一歩は、原産地間を区別する人間で言えば指紋のような、その原産地だけにしかないという指標を見つけなければならない。その区別するための指紋は鉱物組成の組合わせ、比重の違い、原石に含有されている元素組成の違いなどにより、原産地同士を区別できなければ産地分析はできない。成功するかどうかは、とにかく行ってみなければわからない。原産地同士が指紋でもって区別できたならば、次に遺跡から出土する遺物の指紋と原産地の指紋を比較して、一致しない原産地を消去して一致する原産地の原石が使用されていると判定する。ヒスイ、碧玉製勾玉、大珠、玉などは、国宝、重要文化財級のものが多くて、非破壊で産地分析が行える方法でなければ発展しない。石器の原材産地分析で成功している[4]非破壊で分析を行う蛍光Ｘ線法を用いて玉類に含有されている元素を分析する。

遺跡から出土した大珠、勾玉、管玉などを水洗いして、試料ホルダーに置くだけの、完全な非破壊で産地分析を行った。ヒスイ製玉類は蛍光Ｘ線分析法で元素の種類と含有量を求め、試料の形や大き

さの違いの影響を打ち消すために分析された元素同士で含有量の比をり、この元素比の値を原産地を区別する指紋とした。碧玉製玉類はESR法を併用するが試料を全く破壊することなく、碧玉に含有されている常磁性種を分析し、その信号から碧玉産地間を区別する指標を見つけて、産地分析に利用した[5]。

ヒスイの原産地

分析したヒスイ原石は、日本国内産では⑴新潟県糸魚川市と、それに隣接する同県西頚城郡青海町から産出する糸魚川産、⑵軟玉ヒスイと言われる北海道沙流郡日高町千栄の日高産[6]、⑶鳥取県八頭郡若桜町角谷の若桜産、⑷岡山県阿哲郡大佐町の大佐産、⑸長崎県長崎市三重町の長崎産であり、さらに⑹西黒田ヒスイと呼ばれている静岡県引佐郡引佐町の引佐産の原石、⑺兵庫県養父郡大屋町からの原石、⑻北海道旭川市神居町の神居コタン産、⑼岐阜県大野郡丹生川村の飛騨産原石、また、肉眼的にヒスイに類似した原石で玉類等の原材になったのではないかと考えられる⑽長崎県西彼杵郡大瀬戸町雪浦からの原石である。国内産のヒスイ原産地は、これでほぼ調査し尽くされていると思われる。これら原石の原産地を図１に示す。これに加えて外国産として、ミャンマー産の硬玉と台湾産軟玉および韓国、春川産軟玉などのヒスイの分析も行われている。

ヒスイ試料の蛍光Ｘ線分析

ヒスイの主成分元素はナトリウム（Na）、アルミニウム（Al）、珪素（Si）などの軽元素[7]で、次いで比較的含有量の多いカルシウム（Ca）、鉄（Fe）、ストロンチウム（Sr）である。また、ヒスイに微量含有されている、カリウム（K）、チタン（Ti）、クロム（Cr）、マンガン（Mn）、ルビジウム（Rb）、イットリウム（Y）、ジルコニウム（Zr）、ニオブ（Nb）、バリウム（Ba）、ランタン（La）、セリウム（Ce）の各元素を分析した。主成分の珪素など軽元素の分析を行わないときには、励起線源のＸ線が試料によって散乱されたピークを観測し、そのピークの大きさが主に試料の分析面積に比例することに注目し、そのピークを含有元素と同じく産地分析の指標として利用できる。Na元素はヒスイ岩を構成するヒスイ輝石に含有される重要な元素で、出土した遺物が硬玉か否かを判定するには直接ヒスイ輝石を観測すればよい、しかし、ヒスイ輝石を非破壊で検出きる方法が確立されるまでは、蛍光Ｘ線分析でNa元素を分析し間接的にヒスイ輝石の存在を推測する方法にたよる他ないのではなかろうか。各原産地の原石のなかで、確実にNa元素の含有が確認されるヒスイ産地は糸魚川、大屋、若桜、大佐、神居コタン、長崎の各原産地の原石でこれらは硬玉に属すると思われる。Na元素の含有量が分析誤差範囲の産地は日高、引佐、飛騨の各産地の原石である。糸魚川産原石のうち緑色系の硬玉に、肉眼的に最も似た原石を産出する産地は、他の硬玉産地よりも後述した日高、飛騨、引佐の原石に見られる。各原産地の原石の他の特徴を以下に記述する。若桜産のヒスイ原石はSrのピークがFeのピークに比べて相当大きく、またZrの隣に非常に小さなNbのピークが見られ、Baのピークも大きく、糸魚川産では見られないLa、Ceのピークが観測されている。このCeのピークは大佐産と長崎産ヒスイ原石のスペクトルにも見られ、これらCeを含有する原石の産地は、糸魚川の産地と区別するときに有効な判定基準になる。長崎産ヒスイは、Tiの含有量が多く、Yのピークが見られるのが特徴的である。日高産、引佐産、飛騨産ヒスイ原石は、Caピークに比べてTiとかK、またFeピークに比べてSrなどのピークが小さいのが特徴で糸魚川産のものと区別するときの判断基準になる。春川軟玉原石は、優白色の工芸加工性に優れた原石で、軟玉であるが、古代では勾玉などの原材料となった可能性も考えられることから分析を行った。この原石には、Sr、Zrのピークが全く見られないため、糸魚川産などのSr、Zrを含有する原石と容易に区別できる。また、長崎県雪浦のヒスイ類似岩をヒスイの代替品として勾玉、大珠などの原材料に使用している可能性が考えられ、分析を行った。こ

の岩石は比重が2.91と小さく、比重でもって他の産地のものと区別できる。また砒素（As）のピークが見られる個体が多いのも特徴である。これら各原産地の原石は同じ産地の原石であっても、原石ごとに元素の含有量には異同がある。したがって、一つの原産地について多数の原石を分析し、各元素の含有量の変動の範囲を求めて、その産地の原石の特徴としなければならない。糸魚川産のヒスイは、白色系が多いが、緑色系の半透明の良質のもの、青色系、コバルト系、およびこれらの色が白地に縞となって入っているものなど様々である。分析した糸魚川産原石の比重を調べると、硬玉の3.2～3.4の範囲のものと、3.2に達しない軟玉に分類される原石もある。若桜産、大佐産の分析した原石には、半透明の緑色のものはないが、全体が淡青緑かかった乳白色のような原石、また大屋産は乳白色が多い。このうち大佐産、大屋産の原石では比重が3.20に達したものはなく、これらの原石は比重からは軟玉に分類される。しかし、ヒスイ輝石の含有量が少ない硬玉とも考えられる。長崎産のヒスイ原石は３個しか分析できなかったが良質である。このうち１個は濃い緑色で、他の２個は淡い緑色で、少しガラス質である。日高産ヒスイの原石は肉眼観察では比較的糸魚川産のヒスイに似ている。ミャンマー産のヒスイ原石は、質、種類とも糸魚川産のヒスイ原石と同じものが見られ肉眼で両産地の原石を区別することは不可能と考えられる。分析した台湾産のヒスイは軟玉に属するもので、暗緑色のガラス質な原石である。これら各原産地の原石の分析結果から各産地を区別する判断基準を引き出し産地分析の指標とする。

ヒスイ原産地の判別基準

原石産地の判定を行うときの判断基準を原石の分析データから引き出すが、分析個数が少ないため、必ずしもその原産地の特徴を十分に反映したと言えない産地もある。表１に各原産地ごとの原石の比重と元素比量をまとめた。元素比量の数値は、その原産地の分析した原石の中での最小値と最大値の範囲を示し、判定基準⑴とした。ヒスイで比重が3.19未満の軽い原石は、硬玉ヒスイではない可能性があるが、糸魚川産の原石で比重が3.19未満のものも分析を行った。大佐産のヒスイは比重が3.17未満であった。したがって、遺物の比重が3.3以上を示す場合は判定基準⑴により大佐産のヒスイでないと言える。日高産、引佐産の両ヒスイではSr／Feの比の値が小さくて、糸魚川産と区別する判定基準⑴になる。表２の判定基準⑵にはCr、Mn、Rb、Y、Nb、Ba、La、Ceの各元素の蛍光Ｘ線ピークが観測できた個体数を％で示した表である。例えば遺物を分析してBaのピークが観測されなかったとき、その遺物は、若桜、大佐、長崎産のヒスイでないといえる。図２はヒスイ原石のSr／Feの比の値とSr／Zrの比の値の分布を各原産地ごとにまとめて分布範囲を示したものである。●は糸魚川産のヒスイで、分布の範囲を実線で囲み、この枠内に遺物の測定点が入れば糸魚川産の原石である可能性が高いと判断する。□はミャンマー産のヒスイの分布で、その範囲を短い破線で囲む。糸魚川の実線の範囲とミャンマーの破線の範囲の大部分は重なり両者は区別できないが、ミャンマーと糸魚川が区別される部分がSr／Feの値（横軸）2.5以上の範囲で見られる。この範囲の中に、遺物の測定点が入ればミャンマー産と考えるより、糸魚川産である可能性の方が高いと考えられる。▲は大佐産の、△は若桜産の、▽は大屋産のヒスイの分布を示している。糸魚川と大佐、若桜、大屋のヒスイが重なる部分に遺物の測定点が入った場合、これら複数の原産地を考えなければならない。しかし、この遺物にBaの蛍光Ｘ線スペクトルのピークが見られなかた場合、表２－２の判定基準⑵に従えば糸魚川産または大屋産のヒスイであると判定でき、その遺物の比重が3.2以上あれば大屋産でなくて、糸魚川産と推定される。■は長崎産ヒスイの分布で、独立した分布の範囲を持っていて他の産地のヒスイと容易に区別できる。台湾産の軟玉はグラフの左下に外れる。★印の日高産および＊印の引佐産ヒスイの分布の一部分が、糸魚川産と重なり区別されない範囲がみられる。しかし、Ca／Si比とSr／

Fe比を指標とすることにより（図３）、糸魚川産ヒスイは日高産および引佐産の両ヒスイと区別することができる。Na／Si比とMg／Si比を各原産地の原石について分布を示すことにより（図４）、遺物がどこの原産地の分布内に帰属するかにより、硬玉か軟玉かの判別の手段の一つになると考えられる。

西島松５遺跡出土のヒスイ製遺物の分析結果

分析したヒスイ製垂珠、勾玉は比重が約3.3（アルキメデス法）以上を示し硬玉の可能性を示している。これらヒスイ製遺物には硬玉の主成分の一つのNa元素が観測されることから、この玉類を硬玉製と判定した。また、分析できた含有元素の結果を表３に示した。この硬玉製玉の原産地をあきらかにするために、これら分析値を各原産地の原石の元素比量の分布範囲と比較し産地判定の図とした。分析番号98527（垂珠）、98528（勾玉）は糸魚川産の範囲に入り、糸魚川産のヒスイの可能性を示した（図５）。次に元素比Sr／Fe対Ca／Siの分布範囲の判定図でも糸魚川産の範囲のみ入り糸魚川産原石の可能性が推測される（図６）。またNa／Si対Mg／Siの図では分析番号98527は糸魚川産、大佐産、若桜産の重なる範囲に入り、98527は糸魚川産、若桜産の重なる範囲に入り、これら重なった産地の原石の可能性が推測さた（図７）。これら判定図と判定基準表１、表２の比重の範囲および蛍光Ｘ線スペクトル図８－１～－２に示すBa元素の有無などの条件を考慮して、全ての条件を満たした産地の結果を総合判定として表４に示した。

結　論

今回分析した西島松５遺跡806号土坑出土の硬玉製垂珠、勾玉の総合判定の結果は、糸魚川・青海産硬玉産地のヒスイが使用されていると判定した。糸魚川・青海産硬玉は縄文、弥生時代に多くみられ、使用遺跡を抜粋して示す（図１）と例えば北海道千歳市美々４遺跡から青森県大石平遺跡、岩手県大日Ⅱ遺跡、山梨県石堂遺跡、岐阜県西田遺跡、愛知県白石遺跡、三重県森添遺跡、大分県ニ反田遺跡、熊本県ワクド石遺跡、宮崎県学頭遺跡、沖縄県糸満市、北谷町まで日本全国におよび、糸魚川産ヒスイが尊重される共通の基盤を持っていたと思われる。糸魚川産地から遠くなるにしたがって、希少価値が増すと推測され本遺跡がヒスイの玉類の供給遺跡の可能性を推測しても産地分析の結果と矛盾しない。

参考文献

１）茅原一也（1964）、長者が原遺跡産のヒスイ（翡翠）について（概報）。
長者ケ原、新潟県糸魚川市教育委員会：63－73
２）藁科哲男・東村武信（1987）、ヒスイの産地分析。富山市考古資料館紀要６：１－18
３）藁科哲男・東村武信（1990）、奈良県内遺跡出土のヒスイ製玉類の産地分析。
橿原考古学研究所紀要『考古学論攷』、14：95－109
４）藁科哲男・東村武信（1983）、石器原材の産地分析。考古学と自然科学、16：59－89
５）Tetsuo Warashina（1992）、Alloction of Jasper Archeological
Implements By Means of ESR and XRF. Journal of Archaeological
Science19：357－373
６）番場猛夫（1967）、北海道日高産軟玉ヒスイ。調査研究報告会講演要旨録
No.18：11－15
７）河野義礼（1939）、本邦における翡翠の新産出及び其化学的性質。
岩石砿物鉱床学雑誌22：195－201

表１　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(1)

原産地名	分析個数	蛍光X線法による元素比の範囲					
		比重	K/Ca	Ti/Ca	Sr/Fe	Zr/Sr	Ca/Si
糸魚川産	41	3.00～3.35	0.01～0.17	0.01～0.56	0.15～30	0.00～2.94	0.72～27.6
若桜産	12	3.12～3.29	0.01～0.91	0.03～0.59	3.45～47	0.00～0.25	4.33～48.4
大佐産	20	2.85～3.17	0.01～0.07	0.00～1.01	3.18～61	0.00～12.4	3.47～28.6
長崎産	3	3.16～3.23	0.01～0.14	0.17～0.33	0.02～0.06	4.30～16.0	
日高産	22	2.98～3.29	0.00～0.01	0.00～0.02	0.00～0.37	0.00～0.063	5.92～51.6
引佐産	8	3.15～3.36	0.04～0.04	0.00～0.03	0.03～0.33	0.00～0.018	36.3～65.9
大屋産	18	2.96～3.19	0.03～0.08	0.04～0.16	1.08～79	0.02～0.48	0.95～4.81
神居コタン産	9	2.95～3.19	0.02～0.49	0.09～0.17	0.04～0.22	0.12～0.85	2.22～17.3
飛騨産	40	2.85～3.15	0.01～0.04	0.00～0.00	0.02～0.10	0.00～1.24	12.7～28.5
ミャンマ産	26	3.15～3.36	0.02～0.14	0.01～0.26	0.09～2.5	0.01～23	
台湾産	1	3.00	0.003	ND	ND	ND	

ND：検出限界以下の濃度

表２　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(2)

原産地名	蛍光X線法による分析元素（各元素が確認できた個体数の百分率）							
	Cr	Mn	Rb	Y	Nb	Ba	La	Ce
糸魚川産	26%	6 %	20%	ND	13%	33%	ND	ND
若桜産	ND	ND	16%	ND	100%	100%	67%	67%
大佐産	ND	ND	44%	ND	33%	100%	67%	67%
長崎産	ND	ND	ND	100%	100%	100%	100%	100%
日高産	tr	tr	ND	ND	ND	tr	ND	ND
引佐産	88%	75%	ND	ND	ND	ND	ND	ND
大屋産	tr	ND	31%	ND	6 %	90%	100%	100%
神居コタン産	ND	100%	22%	100%	ND	55%	ND	ND
飛騨産	100%	100%	ND	ND	ND	ND	ND	ND
ミャンマ産	13%	4 %	ND	ND	ND	35%	ND	ND
台湾産	tr	tr	ND	ND	ND	ND	ND	ND

ND：検出限界以下　　tr：検出確認

表３　西島松５遺跡806号土坑出土のヒスイ製遺物の元素分析値と比量の結果

遺物	遺物番号	分析番号	元素分析値の比量																	試料比重	試料重量（g）
			Na/Si	Mg/Si	AI/si	K/Ca	Ca/Si	Ti/Ca	Cr/Fe	Mn/F	Ni/Fe	Sr/Fe		Nb/Sr	Ba/Sr	La/Sr	Ce/Sr	Rb/Sr	Y/Sr		
垂珠	No.2	98527	0.200	0.221	0.180	0.110	3.901	0.030	0.005	0.061	0.068	0.419	0.050	0.000	0.590	0.010	0.030	0.000	0.010	3.342	34.7738
勾玉	No.1	98528	0.231	0.347	0.180	0.070	3.566	0.060	0.010	0.036	0.053	0.955	0.553	0.010	0.230	0.320	0.090	0.070	0.000	3.329	17.0642
JG－1 a)			0.030	0.169	0.090	1.320	2.307	0.180	0.002	0.011	0.000	0.401	0.798	0.050	6.020	0.000	0.000	0.770	0.150		

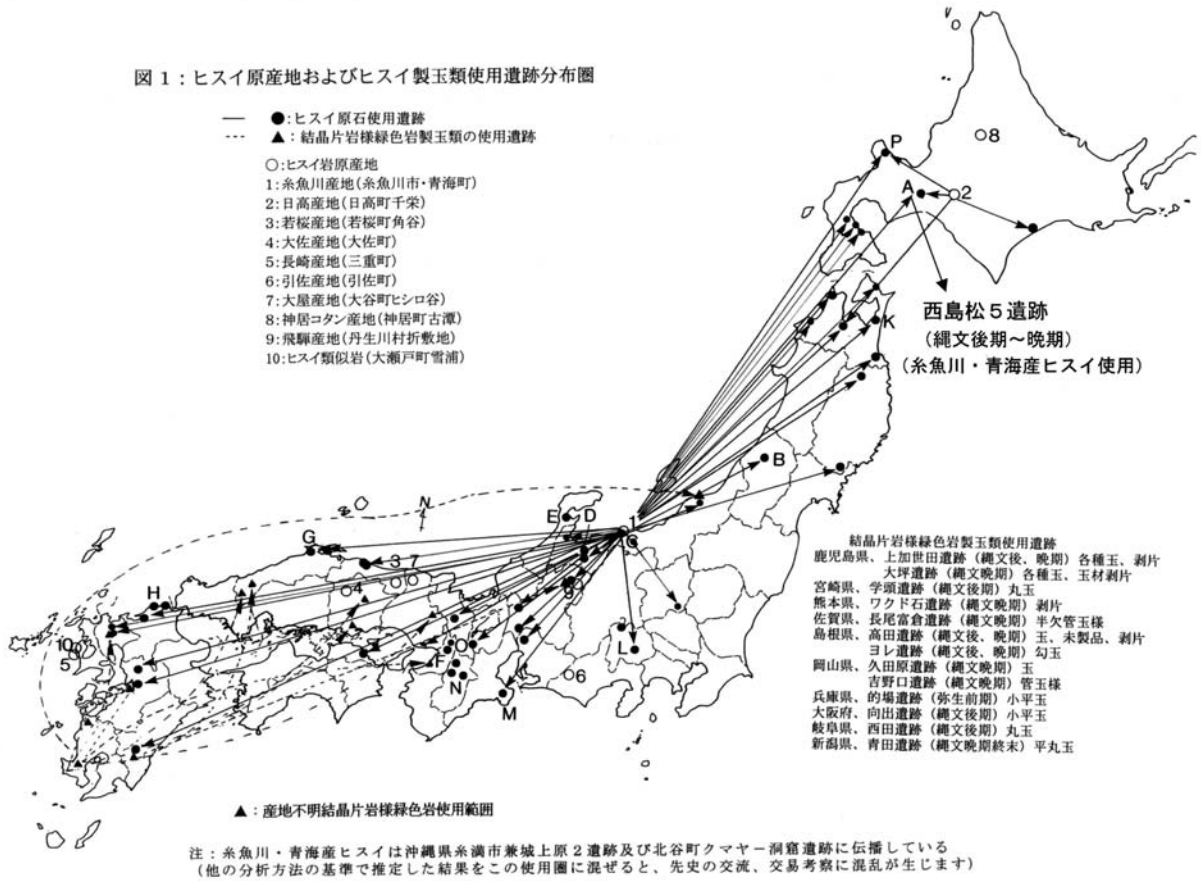
a)：標準試料、Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. (1974). 1974 compilation of date on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt Geochemical Journal, Vol. 8 175-192.

表１－１　西島松５遺跡出土の石製品および玉の肉眼鑑定結果

遺物	遺物番号	分析番号	各分類基準による判定				総合判定
			図５判定	図６判定	図７判定	比重&基準（２）	
垂珠	No.2	98527	IT	IT	IT, OS, WK	IT, IN	糸魚川産
勾玉	No.1	98528	IT	IT	IT, WK	IT, IN	糸魚川産

IT：糸魚川WK：若桜OS：大佐NG：長崎HK：日高IN：引佐OY：大屋
KM：神居コタンHD：飛騨
注：Ni/Fe比は日高産地および飛騨産地に同時に帰属された遺物の分類指標
（飛騨産原石、42個の平均値±標準偏差）Ni/Fe＝0.091±0.030
（日高産原石、14個の平均値±標準偏差）Ni/Fe＝0.065±0.028

図１：ヒスイ原産地およびヒスイ製玉類使用遺跡分布圏



注：糸魚川・青海産ヒスイは沖縄県糸満市兼城上原２遺跡及び北谷町クマヤー洞窟遺跡に伝播している
（他の分析方法の基準で推定した結果をこの使用圏に混ぜると、先史の交流、交易考察に混乱が生じます）

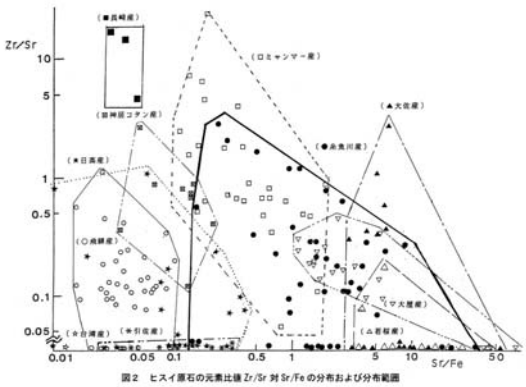


図2　ヒスイ原石の元素比値 Zr/Sr 対 Sr/Fe の分布および分布範囲

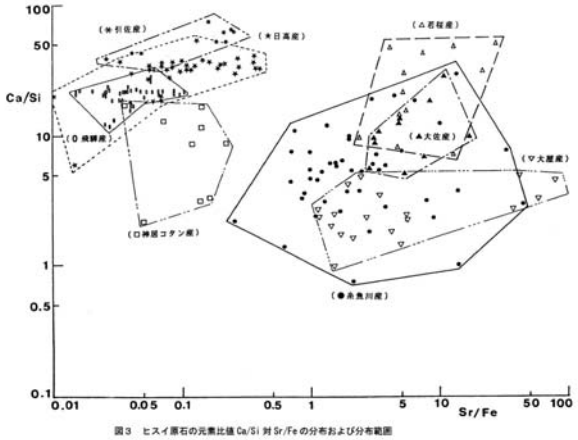


図3　ヒスイ原石の元素比値 Ca/Si 対 Sr/Fe の分布および分布範囲

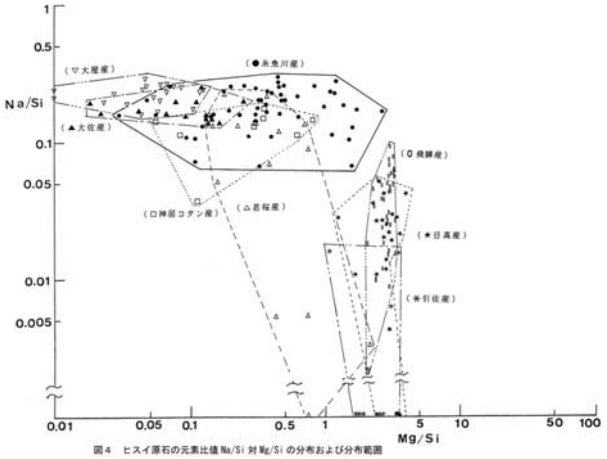


図4　ヒスイ原石の元素比値 Na/Si 対 Mg/Si の分布および分布範囲

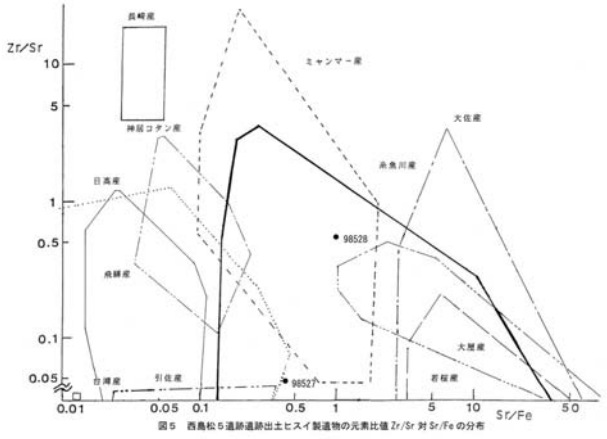


図5　西島松５遺跡出土ヒスイ製遺物の元素比値 Zr/Sr 対 Sr/Fe の分布

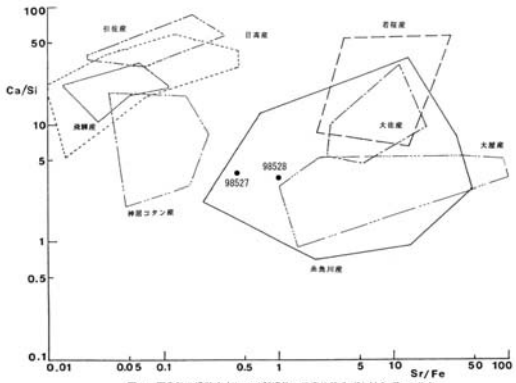


図6　西島松５遺跡出土ヒスイ製遺物の元素比値 Ca/Si 対 Sr/Fe の分布

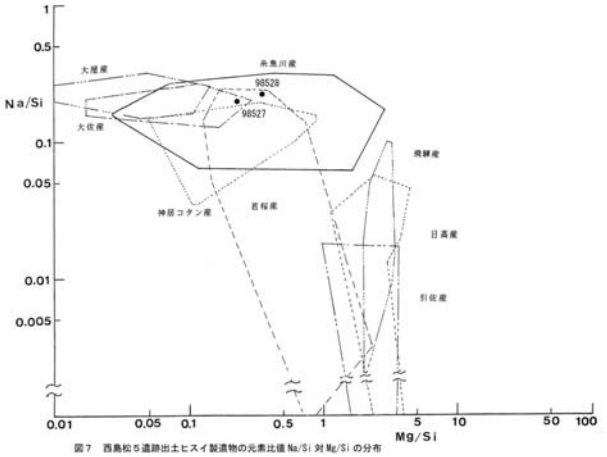


図7　西島松５遺跡出土ヒスイ製遺物の元素比値 Na/Si 対 Mg/Si の分布

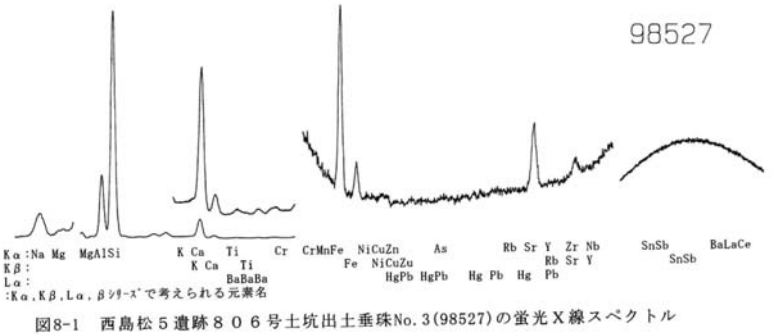


図8-1　西島松５遺跡８０６号土坑出土垂珠No.３(98527)の蛍光Ｘ線スペクトル

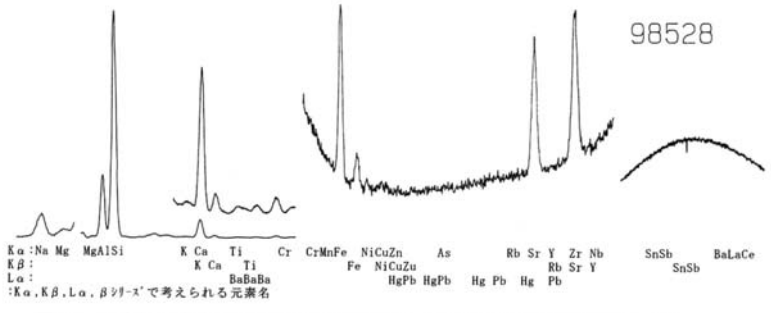


図8-2　西島松５遺跡８０６号土坑出土勾玉No.２(98528)の蛍光Ｘ線スペクトル

3　西島松５遺跡出土の縄文時代以降の炭化種実について

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

今回の分析調査では、北海道恵庭市西島松５遺跡の発掘調査により、縄文時代早期、中期、後期後葉、擦文時代とされる各遺構より出土した種実遺体の同定を実施し、当時の植物利用や周辺植生に関する資料を作成する。

（１）試料

試料は、遺構覆土の水洗作業（フローテーション）より検出された種実130試料（No.１－130、リスト外試料No.79を含む）である。各試料は袋に入っており、１袋中には１－100点以上が確認される。詳細は、結果とともに表１に示す。

（２）分析方法

試料を双眼実体顕微鏡下で観察する（試料の洗浄は、脆く壊れやすい水洗乾燥後の種実を破壊する可能性が高いため、実施していない）。現生標本および石川（1994）、中山ほか（2000）等との対照から、種実の種類と部位を同定し、個数を数えて表示する。分析後は、種類毎に袋に戻して返却する。

（３）結果

⑴　時代別種実検出状況

結果を表１に示す。木本12分類群（オニグルミ、サワシバ、コナラ亜属、コナラ属、ホオノキ、コブシ、マタタビ属、キハダ、カエデ属、ブドウ属、ミズキ、タラノキ）632個、草本11分類群（イネ、オオムギ、ヒエ？、イネ科、ホタルイ属、タデ属、アカザ科、ナデシコ科、マメ類、マメ科、カタバミ属）101個、計733個の種実が同定され、栽培植物のイネ11個、オオムギ１個、ヒエ（？）５個、マメ類１個が確認された。その他に、種類・部位不明の種実、木の芽、炭化材、植物の節、木材組織が確認されない不明の物質や炭化物、菌核、動物の骨片、岩片、土粒などが確認された。

種実遺体の遺存状態は不良で、炭化している個体（オニグルミ、サワシバ、コナラ亜属、コナラ属、キハダ、カエデ属、ブドウ属、ミズキ、イネ、オオムギ、ヒエ？、イネ科、タデ属、マメ類、マメ科）、明らかに炭化していない（以下非炭化と表示）個体（マタタビ属、ナデシコ科、イネ科（果実）、タデ属、カタバミ属）個体、元々黒く硬い果皮・種皮のため炭化しているか不明の個体（ホオノキ、コブシ、キハダ（核）、マタタビ属、ホタルイ属、タデ属、アカザ科）が確認された。

以下に時代別種実検出状況を記す（表２）。

・縄文時代早期（No.130）

炭化：オニグルミ100個、コナラ属果実１個

・縄文時代中期（No.43・49・50・51・114）

非炭化・不明：イネ科２個、タデ属24個、アカザ科１個

・縄文時代後期後葉（No.41・42・52－113・115－129）

炭化：オニグルミ455個、コナラ属子葉11個、キハダ２個、キハダ？４個、カエデ属４個、イネ胚乳11個（３個穎付着）、イネ？４個、オオムギ１個、ヒエ？４個、イネ科胚乳７個、イネ科果実６個、タデ属１個

非炭化・不明：マタタビ属５個、タラノキ１個、イネ科果実５個、ホタルイ属１個、タデ属９個、タデ属？２個、アカザ科２個、アカザ科？５個、ナデシコ科１個、カタバミ属１個
・擦文時代住居床面（No.５・32－38・40）
炭化：オニグルミ３個、ブドウ属１個、
非炭化・不明：ナデシコ科１個、カタバミ属１個
・擦文時代住居カマド内（No.３・４・10・39・47・48）
炭化：ヒエ？１個、マメ類１個
非炭化・不明：タデ属２個
・擦文住居９cの覆土（No.１・２・６－９・11－31・44－46）
炭化：サワシバ16個、コナラ亜属１個、コナラ属子葉２個、カエデ属24個、ミズキ１個、マメ科？２個
非炭化・不明：ホオノキ１個、コブシ１個、マタタビ属２個、イネ科１個、タデ属４個、カタバミ属１個

⑵　種実遺体の記載

＜木本＞

・オニグルミ（*Juglans mandshurica* Maxim. subsp. *sieboldiana*（Maxim.）Kitamura）クルミ科クルミ属
核の破片が検出された。炭化しており黒色。完形ならば長さ３－４㎝、径2.5－３㎝程度の頂部が尖る広卵体で、１本の明瞭な縦の縫合線がある。核は硬く緻密で、表面には縦方向に溝状の浅い彫紋が走り、ごつごつしている。内部には子葉が入る２つの大きな窪みと隔壁がある。破片は最大1.5㎝程度。

・サワシバ（*Carpinus cordata Blume*）　カバノキ科クマシデ属
果実が検出された。炭化しており黒色。長さ3.5－４㎜、幅２－2.5㎜、厚さ１㎜程度のやや偏平な卵状長楕円体。頂部に６－10個の歯牙と、線形で短い２個の柱頭がある。果皮表面は粗面で、両面には５－６個の縦隆条が配列する。

・コナラ属コナラ亜属（*Quercus subgen. Quercus*）　ブナ科
幼果が検出された。炭化しており黒色。高さ4.5㎜、径６㎜程度の椀型で、表面に覆瓦状に配列する狭卵形の鱗片が長いことから、カシワ（Q. Thunberg）の可能性がある。

・コナラ属（*Quercus*）　ブナ科
子葉の破片と果実の破片が検出された。炭化しており黒色。子葉は卵状楕円－偏球体、合わせ目に沿って縦半分に割れた長さは1.1㎝、径９㎜程度。子葉は硬く緻密で、表面は縦方向に走る維管束の圧痕がみられる。合わせ目の表面は平滑で、正中線上は僅かに窪み、頂部には小さな孔（主根）がある。果実破片は灰褐色、基部の着点部で、径7.5㎜程度の歪な円形。外面には維管束の穴が輪状に並ぶ。内面は粗面。

・ホオノキ（*Magnolia obovata Thunb.*）　モクレン科モクレン属
種子が検出された。黒色、長さ6.5㎝、幅７㎜、厚さ３㎜程度の歪でやや偏平な三角状広卵体。頂部は尖る。背面は丸く、腹面正中線上は幅広い縦溝と基部に臍がある。種皮は硬く、表面には浅く細い縦溝がある。

・コブシ（*Magnolia kobus DC.*）　モクレン科モクレン属
種子の破片が検出された。黒色、長さ6.5㎝、幅６㎜、厚さ４㎜程度の頂部がやや尖る腎状広卵体。

破片は背面を欠損する。腹面正中線上は幅広い縦溝と基部に臍がある。種皮は硬く、表面は粗面。

・マタタビ属（*Actinidia*）　マタタビ科

種子が検出された。茶－黒褐色、長さ1.5－２㎜、幅１㎜程度の両凸レンズ状楕円体。基部は斜切形でやや突出する。種皮は硬く、表面には円－楕円形の凹点が密布し網目模様をなす。

・キハダ（*Phellodendron amurense* Ruprecht）　ミカン科キハダ属

核（内果皮）が検出されたほか、果実と思われる炭化種実が確認された。核は黒色、長さ３－５㎜、幅１－３㎜、厚さ1.5㎜程度のやや偏平な半横広卵体。内果皮は硬く、表面には浅く微細な縦長の網目模様が配列する。

果実は炭化しており黒色。長さ９㎜、径６㎜程度の楕円体。基部に果柄が確認される。果皮表面は粗面、断面は厚さ1.5㎜程度で、内部には、長さ３－５㎜、幅１－３㎜、厚さ1.5㎜程度のやや偏平な半横広卵体の種子（キハダの核と思われる）が入る５－６室が確認される。

・カエデ属（*Acer*）　カエデ科

果実が検出された。炭化しており黒色。長さ4.5－５㎜、幅３㎜、厚さ2.5㎜程度のやや偏平な広卵体で、頂部につく非対称倒三角形の翼を欠損する。基部は切形で２翼果の合着面は平ら。果実内部に楕円体の種子１個が入る。果皮両面の正中線上に鈍稜がある。表面には葉脈状の隆条模様がある。No.19の２個は、径６－７㎜程度と大きく偏平であることから、別種の可能性がある。

・ブドウ属（*Vitis*）　ブドウ科

種子が検出された。炭化しており黒色。長さ４－4.5㎜、径３－3.7㎜程度の広倒卵体、側面観は半広倒卵形。基部の臍の方に向かって細くなり、嘴状に尖る。背面にさじ状の凹みがある。腹面には中央に縦筋が走り、その両脇には楕円形の深く窪んだ孔が存在する。種皮は薄く硬く、断面は柵状。

・ミズキ（*Cornus controversa* Hemsley）　ミズキ科ミズキ属

核（内果皮）が検出された。炭化しており黒色、径４㎜程度の偏球体。基部に大きく深い孔がある。内果皮は硬く、表面には一周する１本のやや幅広く深い縦溝と、やや深い縦溝が数本走る。

・タラノキ（*Aralia elata*（Miq.）Seemann）　ウコギ科タラノキ属

核（内果皮）が検出された。灰褐色、長さ1.8㎜、幅1.3㎜程度のやや偏平な半月形。腹面はほぼ直線状で、片端に突起がある。背面には数本の浅い溝が走る。表面は粗面。

＜草本＞

・イネ（*Oryza sativa* L.）　イネ科イネ属

胚乳と穎（果）が検出された。炭化しており黒色。長楕円形でやや偏平。胚乳は長さ４－5.5㎜、幅2.5－3.5㎜、厚さ1.5㎜程度。基部一端に胚が脱落した斜切形の凹部がある。表面はやや平滑で、２－３本の隆条が縦列する。胚乳を包む穎（果）は長さ６－6.5㎜、幅３－3.5㎜、厚さ２㎜程度。基部に斜切状円柱形の果実序柄と１対の護穎を有し、その上に外穎（護穎と言う場合もある）と内穎がある。外穎は５脈、内穎は３脈をもち、ともに舟形を呈し、縫合してやや偏平な長楕円形の稲籾を構成する。果皮は柔らかく、表面には顆粒状突起が縦列する。

・オオムギ（*Hordeum valgare* L.）　イネ科オオムギ属

胚乳が検出された。炭化しており黒色、長さ６㎜、径2.8㎜程度のやや偏平な紡錘状長楕円体。両端は尖る。腹面は正中線上にやや太く深い縦溝があり、背面は基部正中線上に胚の痕跡があり丸く窪む。表面はやや平滑で、浅く微細な縦筋がある。

・ヒエ？（*Echinochloa utilis* Ohwi et Yabuno）　イネ科ヒエ属

胚乳が確認された。炭化しており黒色、長さ1.2－1.8㎜、幅１－1.5㎜、厚さ１㎜程度の狭卵－半偏

球体で背面は丸みがあり腹面はやや平ら。基部正中線上に胚の凹みがある。表面はやや平滑で、浅く微細な縦筋がある。同定根拠となる穎（果）の付着は認められない。

・イネ科（*Gramineae*）

果実と胚乳が確認された。イネ、オオムギ、ヒエ？等の栽培種とは区別され、形態上差異のある複数種を一括している。胚乳と果実の一部は炭化しており黒色、炭化していない果実は淡灰褐色。長さ1.5－２㎜、径１㎜程度の狭卵－半偏球体で背面は丸みがあり腹面は偏平。果皮表面は平滑で微細な縦長の網目模様が縦列する。表面に伏毛が密生する個体もみられる。胚乳は長さ1.2㎜、径0.6㎜程度の楕円体、背面は丸みがあり腹面は平ら。基部正中線上に胚の凹みがある。胚乳表面はやや平滑で、浅く微細な縦筋がある。

・ホタルイ属（*Scirpus*）　カヤツリグサ科

果実が検出された。黒色、長さ1.8㎜、径1.3㎜程度の片凸レンズ状広倒卵体。頂部は尖り、基部は切形。基部から伸びる刺針状花被片を欠損する。背面正中線上は鈍稜。果皮表面は光沢があり、不規則な波状横皺状模様が発達する。

・タデ属（*Polygonum*）　タデ科

果実が検出された。形態上差異のある複数種を一括している。茶－黒褐色、炭化個体は黒色。長さ1.7－２㎜、径1.3－1.5㎜程度の頂部がやや尖る二面または三稜状卵－広卵体。果皮表面は平滑または微細な網目模様がある。丸みのある三稜状卵体で、基部に灰褐色の萼片があり、果皮表面はやや平滑で光沢がある、イヌタデ（P. longisetum De Bruyn）に似る個体などがみられる。

・アカザ科（*Chenopodiaceae*）

種子が検出された。黒色、径１㎜程度のやや偏平な円盤状。基部は凹み、臍がある。種皮表面には臍を取り囲むように微細な網目模様が放射状に配列し、光沢がある。なお、表面の網目模様がやや粗い種子を、アカザ科？と区別している。

・ナデシコ科（*Caryophyllaceae*）

種子が検出された。灰褐色、径１㎜程度のやや偏平な腎状円形。基部は凹み、臍がある。種皮は薄く表面には瘤－針状突起が臍から同心円状に配列する。

・マメ類（*Leguminosae*）　マメ科

種子が検出された。炭化しており黒色、長さ７㎜、径５㎜程度の長楕円体。子葉の合わせ目上にある長楕円形の臍を欠損する。種皮は薄く表面はやや平滑。なお、長さ2.5㎜、径２㎜程度の小型種子には、野生種の可能性も含むため、マメ科としている。

・カタバミ属（Oxalis）　カタバミ科

種子が検出された。黒褐色、長さ1.5㎜、幅１㎜程度の偏平な倒卵体。基部はやや尖る。種皮は薄く、表面には４－７列の肋骨状横隆条が配列する。

（４）考察

種実同定の結果、木本のオニグルミ、サワシバ、コナラ亜属、コナラ属、ホオノキ、コブシ、マタタビ属、キハダ、カエデ属、ブドウ属、ミズキ、タラノキと、草本のイネ、オオムギ、ヒエ？、イネ科、ホタルイ属、タデ属、アカザ科、ナデシコ科、マメ類、マメ科、カタバミ属が確認された。

栽培植物は、縄文時代後期後葉でイネ11個、オオムギ１個、ヒエ（？）４個、擦文時代でヒエ（？）１個、マメ類１個が確認され、ヒエを除き渡来種とされる。これらの栽培植物の可食種実が、炭化した状態で遺構内より出土したことから、本遺跡周辺で入手し植物質食糧として利用され、その後火を

受けたことが推定される。
ただしその利用時期に関しては、北海道の擦文時代におけるヒエ、マメ類の出土例は確認されるのに対し、縄文時代におけるイネ、オオムギ、ヒエの出土例は、ヒエを除き確認されていない（松谷,2001；山田、2007など）。現時点では、各遺構から確認された栽培植物の種実を、当該期における利用に直結させるのは早計と判断される。今後は、栽培植物の種実を対象とした年代測定の実施や、試料採取時の土壌の観察所見、採取時及び採取後の履歴等の検証を行い、利用時期を慎重に評価する必要がある。
なお、本遺跡周辺域に生育していたものに由来すると考えられる分類群は、縄文時代で、木本のオニグルミ、コナラ属、マタタビ属、キハダ、カエデ属、タラノキ、草本のイネ科、ホタルイ属、タデ属、アカザ科、ナデシコ科、カタバミ属が、擦文時代で、木本のオニグルミ、サワシバ、コナラ亜属、コナラ属、ホオノキ、コブシ、マタタビ属、カエデ属、ブドウ属、ミズキ、草本のイネ科、タデ属、ナデシコ科、カタバミ属、マメ科が確認された。
木本は、全て現在の本遺跡周辺域にも分布する落葉広葉樹で、川沿いなどの湿潤な場所を好んで生育する樹種（オニグルミ、サワシバ、ミズキ）や、林縁部等に生育する低木（タラノキ）、籐本（マタタビ属、ブドウ属）などを含む。草本は、明るく開けた場所に草地を形成する、いわゆる人里植物に属する分類群が多い。
縄文時代早期、後期後葉より多量確認されたオニグルミは、核内部の種子が生食可能で、コナラ属は子葉がアク抜きすれば食用可能である。これらの堅果類は、長期保存可能で収量も多いことから、古くより植物質食糧として利用され、遺跡出土例も多い（渡辺,1975など）。北海道では、縄文時代早期～晩期でオニグルミの出土事例が多く、ミズナラやコナラ、カシワ、クリ、トチノキ、ハシバミ等の堅果類も報告されている。
以上のことから、オニグルミ、コナラ属は、当該期の本遺跡周辺の森林より遺構内に持ち込まれ、植物質食糧として利用されたことが推定される。また、炭化しているため火を受けたことが推定されるが、可食部（子葉）が確認されたコナラ属に対し、オニグルミは可食部外（核）の破片のみが確認されることから、利用後の残渣の状態で火を受けた可能性がある。
ところで、これらの種実には、遺存状態に違いが認められる。木本のオニグルミ、サワシバ、コナラ亜属、コナラ属、キハダ（果実）、カエデ属、ブドウ属、ミズキ、草本のイネ科（胚乳・一部の果実）、タデ属（１個）、マメ科は炭化しているのに対し、マタタビ属（一部）、ナデシコ科、イネ科（一部の果実）、タデ属（一部）、カタバミ属は、明らかに炭化していない。ホオノキ、コブシ、キハダ（核）、マタタビ属（一部）、ホタルイ属、タデ属（一部）、アカザ科は、黒くて堅く残りやすい果皮や種皮を持つことから、炭化の有無は不明瞭で、当時の種実が残存していた可能性と、土壌中に混入した後代のものに由来する可能性がある。
遺跡から出土する種実のうち、低湿地以外から出土した炭化していない種実は、炭化種実と同様に扱うには問題があるとされ（吉崎、1992など）、遺物包含層の年代観と出土種実の年代測定結果が異なる事例（木下、2003など）もあることから、今回確認された種類すべてが遺構の帰属時期の植生や植物利用を反映するものであるかにつては課題が残る。この点については、上述の栽培植物と同様に、試料の由来を慎重に検討することが望まれる。

引用文献

石川茂雄，1994，原色日本植物種子写真図鑑．石川茂雄図鑑刊行委員会，328p.

木下尚子，2003，遺物包含層における現代イネ混入の検討．考古学研究室報告　第38集，熊本大学文学部考古学研究室，55－62.

松谷暁子，2001，灰像と炭化像による先史時代の利用植物の探求．植生史研究，10，47－66.

中山至大・井之口希秀・南谷忠志，2000，日本植物種子図鑑．東北大学出版会，642p.

山田悟郎，2007，北海道における栽培植物種子の出土状況．日本考古学協会2007年度熊本大会研究発表資料集，日本考古学協会2007年度熊本大会実行委員会，409－419.

吉崎昌一，1992，古代雑穀の検出．月刊考古学ジャーナル，No.355,2－14.

渡辺　誠，1975，縄文時代の植物食．雄山閣出版，187p.

表１．種実同定結果(1)

| No. | 遺構名 | 層位 | 遺構の時期 | 点数 | 重量(g) | (mm) | 年度 | 木本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 草本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

表１．種実同定結果(2)

| 試料情報 | | | | | | | | 分類群 | 木本 | | | | | | | |

表１．種実同定結果(3)

| 試料情報 | | | | | | | | 分類群 | 木本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 草本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

表２．時代別種実検出状況

| | | | | 木本 | | | | | | | | | | | | | | | | | 草本 | | | | | | | | | | | | | | | | |

4　西島松５遺跡出土の動物骨同定

金子浩昌

試料は平成14、15、16年度の西島松５遺跡の調査で出土した焼骨である。これらの焼骨からは、魚類６種類（チョウザメ科、ニシン科、サケ科、イトウ、ウグイ属、イトヨ）、鳥類４種類（キジ目、タカ目、カモ類、ハクチョウ類）、哺乳類９種類（ウサギ科、ネズミ属、キツネ、タヌキ、イヌ、テン、ヒグマ、イノシシ、ニホンジカ）が検出された。（動物遺体種名表参照）

サケ科、ヒグマ、ニホンジカ、イノシシの部位別数量を表６に示す。これら全体の集計表に基づいて、以下に考察を進めていく。

１．出土骨の特徴

焼骨は、全て強い火力によって焼かれ、小さく割れていた。比熱の度合いはすべて同じで、炭化状、あるいは生との中間のような状態にあるものがない。火力が均一に回るような状態が推測される。その結果、被熱骨特有の亀裂、破損を生じ、同定できる状態の部位は限定されている。完存部位がのこされても、魚類の歯であるとか、あるいは獣骨中１個体で多数になる指趾骨関係などである。ここでは確認できた部位から個体数の復元を試みているが、焼骨の標本数のみからの個体数の復元は難しい。したがって、出土骨の総量を単純に比較するのでなく、骨格全体の出土の傾向からの判断も重要になると思われる。

＜魚類＞

魚類では、ニシン科・コイ科の椎骨、サケ科の歯、および椎骨、イトウの椎骨片、イトヨの背鰭・腹鰭棘、チョウザメの鱗片、その他の椎骨片などが検出されるにとどまる。これらの中では、サケ科の歯および椎骨が多く検出されている。同時期の遺跡で、サケ科の椎骨は、千歳市のキウス４遺跡（高橋、2001・2002））でも多量に出土していることが報告されており、内陸の漁獲の内容をよく示していると思われる。なお、焼骨となった遺骨から多くの魚類を検出するのはかなり難しい。実際には、その他の魚種も漁獲、食用として利用されていたと想像されるが、その痕跡を残していないのは被熱による破損のためと思われる。

動物遺体種名表

硬骨魚綱　Class Osteichthyse
- チョウザメ目Order Acipenseriformes
  - チョウザメ科　Family Acipenseridae
    - チョウザメ　*Acipenser medirostris*
- ニシン目　Order Clupeiformes
  - ニシン科　Family Clupeidae
- サケ目　Order Salmoniformes
  - サケ科　Family Salmonidae
    - イトウ属　Hucho sp.
      - イトウ　*Hucho perryi*
- コイ目　Order Cypriniformes
  - コイ科　Family Cyprinidae
    - ウグイ属　Tribolodon sp.
- トゲウオ目　Order Gasterosteida
  - トゲウオ科　Family Gasterosteidae
    - イトヨ属　Gasterosteus sp.
      - イトヨ　*Gasterosteus aculeatus*

鳥綱　Class Aves
- キジ目　Order Galliformes
  - キジ科　Family Phasianidae
    - キジ　*Phasianus colchocus*
- タカ目　Order Falconiformes
  - タカ科　Family Accipitridae
    - ワシ類　Haliaeetus sp.
- ミズナギドリ目　Order Procellariiformes
  - ミズナギドリ科　Procellariidae
    - ミズナギドリ類　Procellariinae sp.
- カモ目　Order Anseriformes
  - カモ科　Family Anatidae
    - ハクチョウ類　Cygnus sp.

哺乳綱　Class Mammalia
- ウサギ目　Order Lagomorpha
  - ウサギ科　Family Leporidae
- ネズミ目（齧歯目）　Order Rodentia
  - ネズミ科　Family Muridae
    - ネズミ属　Muridae gen. et sp. Indet
  - リス科　Family Sciuridae
- ネコ目（食肉目）　Order Carnivora
  - イヌ科　Family Canidae
    - キツネ属　Vulpes.
    - タヌキ属　Nyctereutes.
    - イヌ属　Canis.
  - イタチ科　Family Mustelidae
    - テン属　Martes melampus.
  - クマ科　Family Ursidae
    - ヒグマ　*Ursus arctos*
- ウシ目（偶蹄目）　Order Artiodactyla
  - シカ科　Family Cervus
    - ニホンジカ　*Cervus Nippon*
  - イノシシ科　Family Suidae
    - イノシシ　*Sus scrofa*

＜鳥類＞

被熱している細片となった骨の中には、鳥骨もかなり含まれている可能性がある。ただし、種の同定までに至る標本はごく少なく、焼骨のため止むを得ないことである。おそらく、実際に捕獲された鳥類は多かったのではないかと想像される。猛禽類としたのは、ワシ、タカ類の趾骨である。被熱前であれば、さらに大きかったと思われる。ハクチョウは趾骨のみが検出された。水鳥類の大形趾骨であった。他にかなり大形になる鳥骨片が検出されており、ハクチョウ類やワシ類などの骨が推測されるが、破片となっているために詳細不明である。

＜獣骨＞

ウサギは上腕骨滑車部分が出土、タヌキ、キツネ、テンなどの中型獣類の遺骸は、顎骨、主要四肢骨などで確認することができなかった。そうした部位が残されていないのである。椎骨、指骨などの断片的な部位に限られ、また焼骨となっているため、不確かな点が多い。

ヒグマは、大形で、特徴のある形態の指骨や末節片で確認されている。大形の四肢骨で推定された標本もあったが、検出個数が少なく、破損率が高かったのである。指骨の中では中節骨が最も多く、完存する標本もあった。穿孔などの加工痕はみられない。指掌部分はクマ骨の部分でも大事に扱われるはずであるが、被熱していることは骨全体の特殊な扱いと関連するのであろう。

イノシシは、多くの骨片を採集している。総点数は106点になり、これらの詳細な部位同定を行った。それによると、中手／中足骨の遠位骨端、基節骨遠位骨端は検出例も多い。しかし、完存する標本がなく、破損骨であるため、個体数を予測することが難しい。ただし、それを考慮しても、全体で数個体以上にはならないであろう。現在北海道に野生しないイノシシの遺骸の出土は当然関心のもたれるところであり、本遺跡はその遺骸が多く検出するかのようにみえたのであるが、遺骸の総数を部位別にみると、かなり限定された数であることがわかる。なお、イノシシには幼、若体の個数をみる。骨端の外れた標本が確認される。１歳から３歳未満、あるいはそれに近い個体である。それと共に成獣個体もあった。

ニホンジカはもっとも多く136点が同定された。検出部位も全身の骨格にわたった。ニホンジカの場合でも出土量の多いのは中手／中足骨の骨体と遠位骨端、指骨の近、遠位端であった。これらでも左右に分けられる数量を示すと、数個体程にしかならない。多くみつかったもので、右膝蓋骨（硬質の骨で破損しているが原形を残す）が８点、右距骨の近位端の５点などである。

種子骨は、解体時に皮革と一緒に外されたとも考えられる。手根、足根部は、外されて調理に使われたのであろう。可食部が残されている。指骨部などは、蹄部分と別に扱われ、骨髄採取などにしたはずである。なお、主要四肢骨の破片が意外に少ないが、これらは別の場所で解体が行われ、脛骨遠位骨端のように足根骨と筋で硬く結合した部分が残ったと思われる。幼獣も数例検出されているが、成獣の大型個体の遺体が大半を占めている。

２．遺構・層位別の出土状況

＜ニホンジカ＞

土坑　　土坑からは副手根骨左が２点、Ｐ593（後期後葉）とＰ646（不明）から出土しているほか、踵骨Ｒ・距骨Ｒの破片がＰ413・Ｐ579から出土いずれも後期後葉、尺側手根骨ＲがＰ377から出土している。これは晩期前葉の土坑であるが、覆土から出土する焼骨はいずれも包含層からの流れ込みと見られ、土坑の時期にかかわらず後期後葉のものとみられる。

住居　H33から尺側手根骨Ｌが１点、H34から２＋３手根骨Ｒが出土、住居は９世紀代の擦文時代に属するが、覆土から出土した土器片の９割以上が縄文時代後期後葉の破片であることから焼骨も同時期の包含層からの流れ込みと考えられる。

焼土　確実な資料では橈側手根骨ＲがＦ310から出土しているほか、上腕骨Ｒ遠位端や大腿骨Ｒ遠位端がＦ347・Ｆ340から出土している。いずれも縄文時代後期後葉の焼土である。

包含層　Ⅰ層・耕作等撹乱を受けた層で、出土遺物から後期後葉の焼骨である可能性が最も高いと考えられる。中間手根骨Ｌ膝蓋骨Ｒ・Ｌがそれぞれ１点ずつ出土している。

Ⅱ層　遺物包含層である。出土している遺物の９割が縄文時代後期後葉であることから見つかった焼骨も、ほとんどが同時期の遺物とみられる。果骨Ｌが２点、２＋３手根骨Ｌ・尺側手根骨Ｌがそれぞれ１点ずつ出土、このほか確実性に欠けるが膝蓋骨Ｒが３点出土している。

ＭＢ　斜面に堆積する後期後葉の生活廃棄層（盛土層）で、尺側手根骨Ｒが１点出土。

ＭＣ　晩期前葉の人々が後期後葉の盛土を壊して住居址の窪みなどを埋めた層とみられ、出土遺物の多くが本層から出土している。時期は縄文時代後期後葉がほとんどで、果骨Ｌが２点、２＋３手根骨Ｒ・Ｌがそれぞれ２点、橈側手根骨Ｒが２点出土している。

ⅡＢ　ＭＣ盛土下の黒色土層で時期は早期から後期後葉まで含まれる。本層からは距骨Ｒが２点、２＋３手根骨Ｒが１点出土している。時期はやはり後期後葉とみられる。

Ⅲ層　黒色土とローム層の漸移層で、時期的には早期の層とみられるが、上層の遺物の流れ込みなどが多いことから後期後葉の遺物である可能性がたかい。距骨Ｒが１点出土している。

Ｍ２　斜面に堆積する後期後葉から晩期前葉の生活廃棄層（盛土層）でＣ＋４足根骨Ｒが１点、破片だが距骨Ｒ・膝蓋骨Ｒが１点ずつ出土している。

＜イノシシ＞

土坑　Ｐ668（後期後葉）から尺側手根骨Ｌが１点、Ｐ359より（晩期中葉）より脛骨Ｒ近位が１点出土、土坑はＭＣ盛土を掘り抜いており、出土した焼骨は後期後葉の包含層からの流れ込みとみられる。住居・焼土からは出土していない。

Ⅰ層　第３足根骨Ｒが１点　そのほか破片で距骨Ｒ・尺骨Ｌ近位が出土している。時期は後期後葉とみられる。

Ⅱ層　中間手根骨Ｌ・尺側手根骨Ｒがそれぞれ１点ずつ出土、破片では距骨Ｒが１点出土している。後期後葉とみられる。

ＭＣ　第３足根骨Ｌ・橈側手根骨Ｒ・Ｌがそれぞれ１点ずつ、破片で距骨Ｒが３点出土している。後期後葉とみられる。

ⅡＢ　下顎骨Ｌ片（Ｐ２・３付近）が１点、尺側手根骨Ｒが１点、破片だが尺骨Ｌ近位が１点出土している。後期後葉と考えられる。

Ｍ２　斜面に堆積する後期後葉から晩期前葉の生活廃棄層（盛土層）で橈側手根骨Ｌが１点、出土している。

遺跡出土の焼骨のほとんどが、大量の土器片とともに盛土遺構や包含層から出土し、時期は縄文時代後期後葉のもの見られることから、層位別の個体数では、ニホンジカは各層や遺構などに最多で２個体が確認できるが、これをそれぞれの層位で集計すべきか、総数でまとめて見るべきなのか、難しいところである。

種別の同定総数を比較は以下のとおりである。

ニホンジカ　136点　　イノシシ　106点　　ヒグマ　22点　　キツネ　6点　　テン　5点

タヌキ　4点　　ウサギ　1点　　ネズミ　9点

統計上の数ではなく、確実な部位（距骨片などを除く）で個体数をだすと次のようになる。

ニホンジカ　　2＋3手根骨Ｒ・・・・・4個体

イノシシ　　尺側手根骨Ｒ・・・・・・2個体

その他中小獣　　1個体

個々の遺構や層がそれぞれ独立した層序であるとし、各層ごとの出土数を合計するとニホンジカ16個体、イノシシ6個体となり、適切な個体数にみえるが、ヒグマを同様に数えると8個体となってしまい問題があるように思う。

以下は出土層位別に個体数を出したものである。

	土坑	住居址	焼土	Ⅰ層	Ⅱ層	ＭＢ	ＭＣ	ⅡＢ	Ⅲ	計
ニホンジカ	3	2	3	1	2	1	2	1	1	16
イノシシ	2	0	0	1	1	0	1	1	0	6
ヒグマ	1	0	3	1	1	0	1	1	0	8

出土総数からみた個体数は以下のようになっており、比較的よい値ではないかと考えられる。

ニホンジカ　　距骨Ｒ・・・・・・7個体

イノシシ　　距骨Ｒ・・・・・・(6個体)

尺骨Ｌ・・・・・・3個体

その他全　　・・・・・・1個体

3．総括

焼骨の場合、貝塚などで残りやすい部位である、手根骨・足根骨・踵骨・距骨などが必ずしも残るとは限らず、個体数を出すにあたり困難な面がある。ただし、すべての骨が同じ条件の下で残っているとすれば、同定結果に生ずる差は骨の回収のむずかしさや同定の難しさに起因するのかもしれない。今回の調査対象とされた焼魚獣骨は、そのほとんどが縄文後期後葉期に所属するとみられ、本遺跡はその顕著な一例と言えるだろう。焼骨は堆積層の全面から検出され、特別な遺構に伴うことがなかったようである。したがって、焼骨の在り方は、遺跡全体の構成をみていく過程から、さらに考察することが必要かと考えている。

表１　動物依存体固定表［魚類］(1)

チョウザメ

番号	層位	硬鱗
		F
F325	焼土	1
総計		1

ニシン科

番号	層位	歯		椎骨					前上顎骨	歯骨	下鰓蓋骨	基鰓骨	尾鰓骨	角鰓骨	背鰭棘	
				第1腹椎	腹椎	尾椎	椎体片		F	F	F	F	F	R	第1	第2
F383	焼土					1										
総計						1										

サケ科イトウ

番号	層位	歯		椎骨					前上顎骨	歯骨	下鰓蓋骨	基鰓骨	尾鰓骨	角鰓骨	背鰭棘	
				第1腹椎	腹椎	尾椎	椎体片		F	F	F	F	F	R	第1	第2
F254	焼土						1	0.05								
総計								1								

コイ科ウグイ属

番号	層位	歯		椎骨					前上顎骨	歯骨	下鰓蓋骨	基鰓骨	尾鰓骨	角鰓骨	背鰭棘	
				第1腹椎	腹椎	尾椎	椎体片		F	F	F	F	F	R	第1	第2
P348	覆土															
P390																
P414	覆土1															
F167	焼土															
F169							1	0.04								
F170							5	0.02								
F180				1	0.01											
F215							1	0.01								
F254						1										
F285						1										
F308							1	0.03								
F354							3	0.01								
F355							6	0.07								
F383							4	0.05								
	HF2					1										
H20	カマド						1	0.04								
M−25	MC						2	0.01								
N−25	MC						2	0.02								
総計				1		3	26									

トゲウオ科イトヨ

番号	層位	歯		椎骨					前上顎骨	歯骨	下鰓蓋骨	基鰓骨	尾鰓骨	角鰓骨	背鰭棘	
				第1腹椎	腹椎	尾椎	椎体片		F	F	F	F	F	R	第1	第2
H33	火床														1	1
総計															1	1

種別不明

番号	層位	歯		椎骨					前上顎骨	歯骨	下鰓蓋骨	基鰓骨	尾鰓骨	角鰓骨	背鰭棘	
				第1腹椎	腹椎	尾椎	椎体片		F	F	F	F	F	R	第1	第2
F196											1					
L−19	Ⅱ									1						
総計										1	1					

サケ科

番号	層位	歯		椎骨					前上顎骨	歯骨	下鰓蓋骨	基鰓骨	尾鰓骨	角鰓骨	背鰭棘	
				第1腹椎	腹椎	尾椎	椎体片		F	F	F	F	F	R	第1	第2
P348	覆土		0.07					0.45								
P390	覆土	1	0.08													
P414	覆土1	2	0.01					0.05								
F167	焼土							0.28								
F169	焼土							0.16								
F170	焼土							0.64								
F179	焼土		0.18					1.16								
F180	焼土	2	0.02					0.59								
F181	焼土		0.01					0.07								
F182	焼土							0.26								
F188	焼土		0.08					1.86								
F189	焼土		0.07					1.13								
F195	焼土		1.13		1			0.36	2							
F196	焼土		0.35													
F197	焼土							0.1								
F198	焼土							0.38								
F203	焼土							0.07								
F204	焼土		0.17					0.06								
F206	焼土	3	0.03					0.25								
F208	焼土							0.11								

表２　動物依存体固定表［魚類］(2)

番号	層位	歯		椎骨					前上顎骨	歯骨	下鰓蓋骨	基鰓骨	尾鰓骨	角鰓骨	背鰭棘	
				第1腹椎	腹椎	尾椎	椎体片		F	F	F	F	F	R	第1	第2
F215	焼土							0.65								
F216	焼土							0.42								
F222	焼土		0.07					0.05								
F223	焼土		0.25					1.54								
F227	焼土							0.12								
F230	焼土	21	0.19					0.06								
F231	焼土		0.37			1		0.55								
F232	焼土		0.34					0.17								
F248	焼土		2.16		1											
F249	焼土		0.46					0.21								
F251	焼土		0.03					0.43								
F254	焼土							0.04					1			
F258	焼土	1						0.09								
F266	焼土							1								
F271	焼土							1.08								
F274	焼土							0.25								
F280	焼土							1.29								
F285	焼土							0.86								
F286	焼土		0.09					0.5								
F289	焼土		0.17					0.26								
F293	焼土		1.06					1.2								
F294	焼土		0.78		2	1		3.89								
F297	焼土		0.32					1.03								
F299	焼土		0.35					0.7								
F303	焼土							0.64								
F308	焼土							0.12								
F309	焼土		0.61					0.21								
F310	焼土							0.35								
F313	焼土		0.11					0.1								
F314	焼土				1			0.07								
F318	焼土		0.2					0.24								
F319	焼土							0.24								
F321	焼土							0.23								
F325	焼土		0.06					1.68								
F330	焼土							0.4								
F332	焼土							0.13								
F333	焼土		0.4					0.12								
F336	焼土	7	0.04					0.13								
F337	焼土		0.16					0.17								
F355	焼土						5	0.01								
F358	焼土		0.47					0.31								
F365	焼土		0.04					0.13								
F366	焼土		0.66					0.45								
F367	焼土		0.16					0.07				3				
F368	焼土	1	0.01				3	0.01								
F369	焼土							0.04								
F383	焼土	2	0.03					0.45								
F385	焼土		0.08					1.65								
F393	焼土							0.09								
F402	焼土						3	0.01								
F407	焼土							0.18								
F425	焼土						1	0.01								
F425	焼土						1	0.01								
F427	焼土	1	0.01				1	0.01								
F434	焼土						5	0.01								
H20	ＨＦ１	3	0.02					0.03								
	ＨＦ２		0.09					0.52								
	カマド		0.51					0.56								
	カマド・ソデ部							0.02								
	床面４							0.03								
H21	カマド内焼土		0.01					0.22								
H23	床面・カマド内焼土							0.06								
H25	カマド					1		0.91								
	煙道		0.11		1	1		0.89								
	床面		0.01					0.02								
H26	ＭＣ							0.86						1		
	ＭＣ下位							0.1								
H33	火床		0.19					0.83								
H34	火床		0.1					0.14								
	炉		0.27					0.19								
H46	火床		0.13					0.22								
H62	ＨＦ１						2	0.02								
Ｌ－19	Ⅱ		1		4			0.26								
Ｍ－24	ＭＣ							0.19								
Ｍ－25	ＭＣ・下						2	0.01								
Ｎ－23	ＭＣ							0.03								
Ｎ－25	ＭＣ	2	0.02					0.68								
Ｐ－25	ＭＣ					3		1.35								
総計					10	7			2			3	1	1		

表 3　動物依存体固定表［鳥類・ヒグマ］

キジ

部位		手根骨		第 3 中手骨		指骨		脛骨	中足骨	足指基節骨		足指中節骨	足指末節骨			趾骨		椎骨
		尺側				pro	dis		dis	pro	dis	dis	pro		dis	pro	dis	
番号	層位	R	L	R	L			L										
F297	焼土											1						
総計												1						

猛禽類

部位		手根骨		第 3 中手骨		指骨		脛骨	中足骨	足指基節骨		足指中節骨	足指末節骨			趾骨		椎骨
		尺側				pro	dis		dis	pro	dis	dis	pro		dis	pro	dis	
番号	層位	R	L	R	L			L										
N－26	Ⅰ														1			
O－16	Ⅱ													1				
P－25	MC													1				
P－26	MC						1											
Q－24	ⅡB												1					
総計							1						1	2	1			

カモ類

部位		手根骨		第 3 中手骨		指骨		脛骨	中足骨	足指基節骨		足指中節骨	足指末節骨			趾骨		椎骨
		尺側				pro	dis		dis	pro	dis	dis	pro		dis	pro	dis	
番号	層位	R	L	R	L			L										
H25	カマド																1	
総計																	1	

ハクチョウ

部位		手根骨		第 3 中手骨		指骨		脛骨	中足骨	足指基節骨		足指中節骨	足指末節骨			趾骨		椎骨
		尺側				pro	dis		dis	pro	dis	dis	pro		dis	pro	dis	
番号	層位	R	L	R	L			L										
P343	覆土 1											1						
総計												1						

大型鳥類

部位		手根骨		第 3 中手骨		指骨		脛骨	中足骨	足指基節骨		足指中節骨	足指末節骨			趾骨		椎骨
		尺側				pro	dis		dis	pro	dis	dis	pro		dis	pro	dis	
番号	層位	R	L	R	L			L										
M－23	MC									1								
総計										1								

小型鳥類

部位		手根骨		第 3 中手骨		指骨		脛骨	中足骨	足指基節骨		足指中節骨	足指末節骨			趾骨		椎骨
		尺側				pro	dis		dis	pro	dis	dis	pro		dis	pro	dis	
番号	層位	R	L	R	L			L										
F280	焼土				1													
F293								1										
総計					1			1										

種別不明

部位		手根骨		第 3 中手骨		指骨		脛骨	中足骨	足指基節骨		足指中節骨	足指末節骨			趾骨		椎骨
		尺側				pro	dis		dis	pro	dis	dis	pro		dis	pro	dis	
番号	層位	R	L	R	L			L										
F299	焼土		1															
K－25	Ⅱ																	1
P－25	MC																	1
H－26	MC								1		1					1		
総計									1		1					1		2

ヒグマ

部位		第 1 中手骨		第 3 中手骨		距骨		中手・中足骨				基節骨								中節骨				末節骨
		dis		dis		R	L	pro	dis			pro			S	dis			完		pro	dis	pro
番号	層位	R	L	R	L				R		L	R		L		R		L	R	L			
P441	覆土						1																
F170	焼土												1										
F313														1									
F325		1			1																		
H－30	M1･低地部														1								
I－30	M2･低地部									1													
K－23	Ⅱ																			1			
K－25	Ⅱ																1						
L－21	Ⅰ																1						
M－25	MC																					1	
N－21	Ⅰ												1										
N－25	MC																			1			
O－22	Ⅱ							1															
O－25	Ⅰ																						1
P－22	MC												1										
P－26	MC												1										
R－26	MC																				1		
S－26	ⅡB									1			1										
S－28	Ⅱ																				1		1
総計		1			1		1	1		2			5	1	1		2			2	2	1	2

表 4　動物依存体固定表［小・中型獣］

ウサギ

部位		犬歯	尾椎	肋骨		上腕骨		橈骨		尺骨		手根骨		寛骨		大腿骨			脛骨		種子骨	距骨		中手・中足骨		中節骨				末節骨		指趾骨		第２・５指趾	
						F	dis			pro		副		坐骨		pro		F	dis							完		dis		pro					
番号	層位			pro	F		R	pro	dis	R	L	R	L	R	L	R	L		R	L						R		R		R		pro	dis	R	L
P－26	ⅡB						1																												
総計							1																												

ネズミ

部位		犬歯	尾椎	肋骨		上腕骨		橈骨		尺骨		手根骨		寛骨		大腿骨			脛骨		種子骨	距骨		中手・中足骨		中節骨				末節骨		指趾骨		第２・５指趾	
						F	dis			pro		副		坐骨		pro		F	dis							完		dis		pro					
番号	層位			pro	F		R	pro	dis	R	L	R	L	R	L	R	L		R	L						R		R		R		pro	dis	R	L
F 249	焼土		1			1								1				1														2		
F 312															1																				
F 318																																1			
F 383																		1																	
総計			1			1								1	1		1	1														1	2		

小型哺乳網（リス科）

部位		犬歯	尾椎	肋骨		上腕骨		橈骨		尺骨		手根骨		寛骨		大腿骨			脛骨		種子骨	距骨		中手・中足骨		中節骨				末節骨		指趾骨		第２・５指趾	
						F	dis			pro		副		坐骨		pro		F	dis							完		dis		pro					
番号	層位			pro	F		R	pro	dis	R	L	R	L	R	L	R	L		R	L						R		R		R		pro	dis	R	L
F 289	焼土													1																					
F 294																																1			
M－24	MC																								1										
総計														1											1								1		

イヌ科（キツネ）

部位		犬歯	尾椎	肋骨		上腕骨		橈骨		尺骨		手根骨		寛骨		大腿骨			脛骨		種子骨	距骨		中手・中足骨		中節骨				末節骨		指趾骨		第２・５指趾	
						F	dis			pro		副		坐骨		pro		F	dis							完		dis		pro					
番号	層位			pro	F		R	pro	dis	R	L	R	L	R	L	R	L		R	L						R		R		R		pro	dis	R	L
F 170	焼土			1																															
F 294																																1			
F 384																					1														
K－21	MC																					1													
P－26	MC																																1		
Q－26	Ⅱ							1																											
総計				1				1													1	1										1		1		

タヌキ

部位		犬歯	尾椎	肋骨		上腕骨		橈骨		尺骨		手根骨		寛骨		大腿骨			脛骨		種子骨	距骨		中手・中足骨		中節骨				末節骨		指趾骨		第２・５指趾	
						F	dis			pro		副		坐骨		pro		F	dis							完		dis		pro					
番号	層位			pro	F		R	pro	dis	R	L	R	L	R	L	R	L		R	L						R		R		R		pro	dis	R	L
F 194	焼土																																1		
H 26	MC																									1									
H 33	覆土１																			1															
P－25	MC																			1															
総計																				2						1							1		

テン

部位		犬歯	尾椎	肋骨		上腕骨		橈骨		尺骨		手根骨		寛骨		大腿骨			脛骨		種子骨	距骨		中手・中足骨		中節骨				末節骨		指趾骨		第２・５指趾	
						F	dis			pro		副		坐骨		pro		F	dis							完		dis		pro					
番号	層位			pro	F		R	pro	dis	R	L	R	L	R	L	R	L		R	L						R		R		R		pro	dis	R	L
F 299	焼土																									1									
F 383		1																																	
F 388																												1							
L－19	Ⅱ											1																							
O－26	MC									1																									
総計		1								1		1														1			1						

中型哺乳網

部位		犬歯	尾椎	肋骨		上腕骨		橈骨		尺骨		手根骨		寛骨		大腿骨			脛骨		種子骨	距骨		中手・中足骨		中節骨				末節骨		指趾骨		第２・５指趾	
						F	dis			pro		副		坐骨		pro		F	dis							完		dis		pro					
番号	層位			pro	F		R	pro	dis	R	L	R	L	R	L	R	L		R	L						R		R		R		pro	dis	R	L
F 289	焼土													1																					
L－25	Ⅱ				1																														
総計					1									1																					

表５　動物依存体固定表［ニホンジカ］(1)

土坑・SP

部位		歯冠	頸椎	腰椎	肩甲骨	肋骨		上腕骨	尺骨	手根骨					中手骨	寛骨	大腿骨	種子骨	踵骨	距骨	中手・中足骨	基節骨				中節骨				末節骨				第２・５指趾基節骨		第２・５指趾中節骨		第２・５指趾末節骨		計
						pro	F	dis	pro	橈側	尺側		2＋3	副	pro	F	dis				dis	pro		dis		pro		dis		R	L	pro								
番号	層位	F		dis	F	L		R	L	R	R	L	R	L	L	R	R		R	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L			R	L	R	L	R	L	R	L	
P347	覆土							1																														1
P377	覆土										1																											1
P379	覆土		1																																			1
P383	覆土								1																													1
P402	覆土			1																																		1
P403	覆土																	1				1																2
P413	覆土																			1																		1
P414	覆土	2																																				2
P443	覆土																1																					1
P579	覆土																		1																			1
P582	覆土																																					1
P593	覆土													1																								1
P646	覆土													1																								1
P692	覆土																	1																				1
P777	覆土						1																															1
SP3297	覆土																																			1		1
総計		2	1	1			1	1	1		1			2			1	2	1	1		1					1									1		18

住居

部位		歯冠	頸椎	腰椎	肩甲骨	肋骨		上腕骨	尺骨	手根骨					中手骨	寛骨	大腿骨	種子骨	踵骨	距骨	中手・中足骨	基節骨				中節骨				末節骨				第２・５指趾基節骨		第２・５指趾中節骨		第２・５指趾末節骨		計
						pro	F	dis	pro	橈側	尺側		2＋3	副	pro	F	dis				dis	pro		dis		pro		dis		R	L	pro								
番号	層位	F		dis	F	L		R	L	R	R	L	R	L	L	R	R		R	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L			R	L	R	L	R	L	R	L	
H20	覆土４																																					
	カマド																	4							2									2		1		2	1	12
H25	煙道																	1						1															2
H26	ＭＣ	3																									1												4
	覆土１											1																											1
H33	覆土２						1																																1
H34	覆土２												1																										1
H45	覆土																	1																					1
H51	ＨＦ３																	2																					2
H62	覆土																																		1		1		2
H63	覆土																				1						1												2
H70	覆土																																2						2
H73	骨集中																	1						1															2
総計		3					1					1	1					9			1			2	2				2			2	1	2	1	1		2	1	32

焼土

部位		歯冠	頸椎	腰椎	肩甲骨	肋骨		上腕骨	尺骨	手根骨					中手骨	寛骨	大腿骨	種子骨	踵骨	距骨	中手・中足骨	基節骨				中節骨				末節骨				第２・５指趾基節骨		第２・５指趾中節骨		第２・５指趾末節骨		計
						pro	F	dis	pro	橈側	尺側		2＋3	副	pro	F	dis				dis	pro		dis		pro		dis		R	L	pro								
番号	層位	F		dis	F	L		R	L	R	R	L	R	L	L	R	R		R	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L			R	L	R	L	R	L	R	L	
F162	焼土																	2																			1		1	4
F167	焼土					1																																	1
F170	焼土																	1																					1
F172	焼土														1																								1
F189	焼土																	1																					1
F194	焼土																	1															1						2
F196	焼土																	1																					1
F204	焼土																										1								1				2
F227	焼土																	1																					1
F231	焼土	5																																					5
F266	焼土															3		1									1												5
F310	焼土									1																													1
F313	焼土																																				1		1
F314	焼土																									1				1									2
F332	焼土	5																																					5
F340	焼土						1										1																						2
F345	焼土																					1					1												2
F347	焼土							1										2																					5
F348	焼土																																						
F354	焼土				1													1																					2
F393	焼土	?																																					
総計		10			1	1	1	1		1					1	3	1	11					1			1	1	1	1	1	1		2	1			1	2		44

総合計	歯冠	頸椎	腰椎	肩甲骨	肋骨		上腕骨	尺骨	手根骨					中手骨	寛骨	大腿骨	種子骨	踵骨	距骨	中手・中足骨	基節骨				中節骨				末節骨				第２・５指趾基節骨		第２・５指趾中節骨		第２・５指趾末節骨		計
					pro	F	dis	pro	橈側	尺側		2＋3	副	pro	F	dis				dis	pro		dis		pro		dis		R	L	pro								
	F		dis	F	L		R	L	R	R	L	R	L	L	R	R		R	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L			R	L	R	L	R	L	R	L	
総計	15	1	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1	2	1	3	2	22	1	1	1	1	1	2	2	1	1	2	3	1	1	2	3	3	1	2	1	4	1	94

表5　動物依存体固定表［ニホンジカ］(2)

Ⅰ層

| 部位 | | 鹿角 | 切歯骨 | 頸椎 | | 腰椎 | 肩甲骨 | 肋骨 | | | 上腕骨 | | 尺骨 | | | 手根骨 | | | | | | | | 中手骨 | 大腿骨 | | 膝蓋骨 | | 脛骨 | | | 種子骨 | 踵骨 | | 距骨 | | 果骨 | | 足根骨 | | 中足骨 | | 中手・中足骨 | | 基節骨 | | | | | | | | 中節骨 | | | | 末節骨 | | | | 第2・6指趾基節骨 | 第2・5指趾中節骨 | | 第2・5指趾末節骨 | | 計 |
|---|---|---

表 5　動物依存体固定表［ニホンジカ］(3)

部位		鹿角	切歯骨	頸椎		腰椎	肩甲骨	肋骨			上腕骨		尺骨		手根骨						中手骨	大腿骨		膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨		果骨		足根骨		中足骨		中手・中足骨		基節骨						中節骨				末節骨			第2・6指趾基節骨	第2・5指趾中節骨		第2・5指趾末節骨		計
								pro				dis	pro		橈側		尺側		中間	2＋3		pro		dis		dis						2+3	C+4	pro	S	pro	dis	R	pro			dis			pro		dis		L	pro		dis					
番号	層位	F	F	軸椎	頸椎	F	F	R		L	F	R	R	L	R	L	R	L	L	R	L	L	R	L	F	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R/L	R/L	R	R	R/L	L	R	R/L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	
P-17	MC																																		1																			2
P-18	MC	1							1						1												1								2																	1	1	8
P-22	MC																										1																									2		4
P-24	MC																																																				1
P-25	MC																											1																							1			3
P-26	MC																						1							1				1		1			1												1		7
Q-22	MC																			1																																		1
Q-23	MC																										1					1																					3
Q-26	MC	1			1									1														1																									6
S-28	MC																																																			1
総計		6		1	1			1	2			2	1	3	2	1				2	2				2	2			1	8		2	1	2	2	1			2		4	1	1		1	2	1	1	2	5	3	1	1	1	1	2	1	1	2		3	3	84

ⅡB層

部位		鹿角	切歯骨	頸椎		腰椎	肩甲骨	肋骨			上腕骨		尺骨		手根骨						中手骨	大腿骨		膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨		果骨		足根骨		中足骨		中手・中足骨		基節骨						中節骨				末節骨			第2・6指趾基節骨	第2・5指趾中節骨		第2・5指趾末節骨		計
								pro				dis	pro		橈側		尺側		中間	2＋3		pro		dis		dis						2+3	C+4	pro	S	pro	dis	R	pro			dis			pro		dis		L	pro		dis					
番号	層位	F	F	軸椎	頸椎	F	F	R		L	F	R	R	L	R	L	R	L	L	R	L	L	R	L	F	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R/L	R/L	R	R	R/L	L	R	R/L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	
K-22	ⅡB																		1																																				1
M-22	ⅡB																																																				3
M-24	ⅡB																																																				1
N-25	ⅡB				1	1							1																																								3
O-21	ⅡB																																																				1
O-24	ⅡB																										1																											1
O-25	ⅡB																												2																									2
P-17	ⅡB																																																				
P-18	ⅡB		1																																																	1
P-25	ⅡB																																																			1
P-26	ⅡB																																																			1
総計			1		1	1							1						1								1		2										1													3				15

Ⅲ層

部位		鹿角	切歯骨	頸椎		腰椎	肩甲骨	肋骨			上腕骨		尺骨		手根骨						中手骨	大腿骨		膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨		果骨		足根骨		中足骨		中手・中足骨		基節骨						中節骨				末節骨			第2・6指趾基節骨	第2・5指趾中節骨		第2・5指趾末節骨		計
								pro				dis	pro		橈側		尺側		中間	2＋3		pro		dis		dis						2+3	C+4	pro	S	pro	dis	R	pro			dis			pro		dis		L	pro		dis					
番号	層位	F	F	軸椎	頸椎	F	F	R		L	F	R	R	L	R	L	R	L	L	R	L	L	R	L	F	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R/L	R/L	R	R	R/L	L	R	R/L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	
M-26	Ⅲ																												1																									1
Q-28	Ⅲ																																																			1
総計																													1																									2

M1層

部位		鹿角	切歯骨	頸椎		腰椎	肩甲骨	肋骨			上腕骨		尺骨		手根骨						中手骨	大腿骨		膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨		果骨		足根骨		中足骨		中手・中足骨		基節骨						中節骨				末節骨			第2・6指趾基節骨	第2・5指趾中節骨		第2・5指趾末節骨		計
								pro				dis	pro		橈側		尺側		中間	2＋3		pro		dis		dis						2+3	C+4	pro	S	pro	dis	R	pro			dis			pro		dis		L	pro		dis					
番号	層位	F	F	軸椎	頸椎	F	F	R		L	F	R	R	L	R	L	R	L	L	R	L	L	R	L	F	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R/L	R/L	R	R	R/L	L	R	R/L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	
I-28	M1																									1																													1
総計																										1																											1

M2・低地部

部位		鹿角	切歯骨	頸椎		腰椎	肩甲骨	肋骨			上腕骨		尺骨		手根骨						中手骨	大腿骨		膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨		果骨		足根骨		中足骨		中手・中足骨		基節骨						中節骨				末節骨			第2・6指趾基節骨	第2・5指趾中節骨		第2・5指趾末節骨		計
								pro				dis	pro		橈側		尺側		中間	2＋3		pro		dis		dis						2+3	C+4	pro	S	pro	dis	R	pro			dis			pro		dis		L	pro		dis					
番号	層位	F	F	軸椎	頸椎	F	F	R		L	F	R	R	L	R	L	R	L	L	R	L	L	R	L	F	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R/L	R/L	R	R	R/L	L	R	R/L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	
J-30	以1緩						1																			1							1				1					1									2					9
J-30	以1緩																					1																																1
総計							1															1							1				1				1					1									2					10

不明

部位		鹿角	切歯骨	頸椎		腰椎	肩甲骨	肋骨			上腕骨		尺骨		手根骨						中手骨	大腿骨		膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨		果骨		足根骨		中足骨		中手・中足骨		基節骨						中節骨				末節骨			第2・6指趾基節骨	第2・5指趾中節骨		第2・5指趾末節骨		計
								pro				dis	pro		橈側		尺側		中間	2＋3		pro		dis		dis						2+3	C+4	pro	S	pro	dis	R	pro			dis			pro		dis		L	pro		dis					
番号	層位	F	F	軸椎	頸椎	F	F	R		L	F	R	R	L	R	L	R	L	L	R	L	L	R	L	F	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R/L	R/L	R	R	R/L	L	R	R/L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	
不明	不明																																																			1
総計																																																				1

総合計		鹿角	切歯骨	頸椎		腰椎	肩甲骨	肋骨			上腕骨		尺骨		手根骨						中手骨	大腿骨		膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨		果骨		足根骨		中足骨		中手・中足骨		基節骨						中節骨				末節骨			第2・6指趾基節骨	第2・5指趾中節骨		第2・5指趾末節骨		計
								pro				dis	pro		橈側		尺側		中間	2＋3		pro		dis		dis						2+3	C+4	pro	S	pro	dis	R	pro			dis			pro		dis		L	pro		dis					
		F	F	軸椎	頸椎	F	F	R		L	F	R	R	L	R	L	R	L	L	R	L	L	R	L	F	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R/L	R/L	R	R	R/L	L	R	R/L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	L	R	L	R	L	
総計		9	1	1	2	2	1	1	2	1	1	4	2	4	2	1	1	1	1	3	3	1	1	1	7	3	1	1	2	16	2	2	5	3	3	2	1	3	1	2	1	7	1	2	2	6	4	2	2	4	10	6	4	2	4	3	3	3	1	4	1	3	3	178

表 6　動物依存体固定表［イノシシ］(1)

土坑

部位		下顎骨	頸椎	尾椎	肩甲骨	上腕骨		橈骨					尺骨		手根骨						第3・4指趾中手骨	寛骨	膝蓋骨		脛骨		種子骨	踵骨		距骨	足根骨		第3・5指趾中手・中足骨		第5指趾中足骨		第2・5指趾 中手・中足骨				基節骨					中節骨			末節骨		第2・5指趾基節骨			第2・5指趾中節骨			第2・5指趾末節骨		第2・5指趾		総計
		P 2・4 付近				dis		pro			dis		pro	dis	橈側		中間		尺側		第4	pro	恥骨			pro	dis					第3				pro	dis	pro	S	dis		pro	R	dis			pro		R	pro	R										
番号	層位	L			F	R		R		L	R	L	L		R	L	L	R	L	L	R	R	R	F	R	R		R	L	R	R	L	S	dis	R	L			R/L	L	L		R	R/L	L	R	L		R		R	F	L	R	F	L	R	L	R	L	
P 359	覆土																								1																																				1
P 383	覆土								1																																																				1
P 384																																																						1								1
P 414																																																				1									1
P 512																																									1																1				2
P 513	覆土上面																																	1																											1
P 570	覆土																																								1																				1
P 689																			1																																										1
P 777																																																										1				1
S P 2968																																														1															1
総計									1										1						1									1							2				1						1		1				2				11

住居

部位		下顎骨	頸椎	尾椎	肩甲骨	上腕骨		橈骨					尺骨		手根骨						第3・4指趾中手骨	寛骨	膝蓋骨		脛骨		種子骨	踵骨		距骨	足根骨		第3・5指趾中手・中足骨		第5指趾中足骨		第2・5指趾 中手・中足骨				基節骨					中節骨			末節骨		第2・5指趾基節骨			第2・5指趾中節骨			第2・5指趾末節骨		第2・5指趾		総計
		P 2・4 付近				dis		pro			dis		pro	dis	橈側		中間		尺側		第4	pro	恥骨			pro	dis					第3				pro	dis	pro	S	dis		pro	R	dis			pro		R	pro	R										
番号	層位	L			F	R		R		L	R	L	L		R	L	L	R	L	L	R	R	R	F	R	R		R	L	R	R	L	S	dis	R	L			R/L	L	L		R	R/L	L	R	L		R		R	F	L	R	F	L	R	L	R	L	
H20	掘上土																																													1															1
H25	床面																										1																																		1
総計																											1																			1															2

焼土

部位		下顎骨	頸椎	尾椎	肩甲骨	上腕骨		橈骨					尺骨		手根骨						第3・4指趾中手骨	寛骨	膝蓋骨		脛骨		種子骨	踵骨		距骨	足根骨		第3・5指趾中手・中足骨		第5指趾中足骨		第2・5指趾 中手・中足骨				基節骨					中節骨			末節骨		第2・5指趾基節骨			第2・5指趾中節骨			第2・5指趾末節骨		第2・5指趾		総計
		P 2・4 付近				dis		pro			dis		pro	dis	橈側		中間		尺側		第4	pro	恥骨			pro	dis					第3				pro	dis	pro	S	dis		pro	R	dis			pro		R	pro	R										
番号	層位	L			F	R		R		L	R	L	L		R	L	L	R	L	L	R	R	R	F	R	R		R	L	R	R	L	S	dis	R	L			R/L	L	L		R	R/L	L	R	L		R		R	F	L	R	F	L	R	L	R	L	
F 194	焼土																							1			1																																			2
F 208																																																													1	1
F 285																																																										1				1
F 297					1																																																									1
F 310																																																								1							1
F 330																																																														
F 340																																													1																	1
F 388																																								1																						1
総計					1																			1			1													1					1										1			1			1	8

Ⅰ層

部位		下顎骨	頸椎	尾椎	肩甲骨	上腕骨		橈骨					尺骨		手根骨						第3・4指趾中手骨	寛骨	膝蓋骨		脛骨		種子骨	踵骨		距骨	足根骨		第3・5指趾中手・中足骨		第5指趾中足骨		第2・5指趾 中手・中足骨				基節骨					中節骨			末節骨		第2・5指趾基節骨			第2・5指趾中節骨			第2・5指趾末節骨		第2・5指趾		総計
		P 2・4 付近				dis		pro			dis		pro	dis	橈側		中間		尺側		第4	pro	恥骨			pro	dis					第3				pro	dis	pro	S	dis		pro	R	dis			pro		R	pro	R										
番号	層位	L			F	R		R		L	R	L	L		R	L	L	R	L	L	R	R	R	F	R	R		R	L	R	R	L	S	dis	R	L			R/L	L	L		R	R/L	L	R	L		R		R	F	L	R	F	L	R	L	R	L	
K－22	Ⅰ																																																							1							1
L－22	Ⅰ																													1																																1
N－21	Ⅰ												1																		1																															2
U－41	Ⅰ																																																		1											1
総計													1																	1	1																			1					1							5

Ⅱ層

部位		下顎骨	頸椎	尾椎	肩甲骨	上腕骨		橈骨					尺骨		手根骨						第3・4指趾中手骨	寛骨	膝蓋骨		脛骨		種子骨	踵骨		距骨	足根骨		第3・5指趾中手・中足骨		第5指趾中足骨		第2・5指趾 中手・中足骨				基節骨					中節骨			末節骨		第2・5指趾基節骨			第2・5指趾中節骨			第2・5指趾末節骨		第2・5指趾		総計
		P 2・4 付近				dis		pro			dis		pro	dis	橈側		中間		尺側		第4	pro	恥骨			pro	dis					第3				pro	dis	pro	S	dis		pro	R	dis			pro		R	pro	R										
番号	層位	L			F	R		R		L	R	L	L		R	L	L	R	L	L	R	R	R	F	R	R		R	L	R	R	L	S	dis	R	L			R/L	L	L		R	R/L	L	R	L		R		R	F	L	R	F	L	R	L	R	L	
K－17	Ⅱ																										1																																			1
K－22	Ⅱ																																				1																			1						2
K－25	Ⅱ																																												1																1
L－24	Ⅱ																																					1																							1
L－30	Ⅱ																													1																																1
L－39	Ⅱ																																																					1								1
O－21	Ⅱ										1																																																			1
O－22	Ⅱ													1								1																	1										1												4
R－25	Ⅱ																																																					1								1
S－22	Ⅱ		1																		1																																									2
S－27	Ⅱ																																															1														1
T－30	Ⅱ																1																																												1
V－37	Ⅱ																	1																																												1
総計			1								1			1			1	1			1	1					1			1							1	1	1						1		1		1				2		1						18

表 6　動物依存体固定表［イノシシ］(2)

MB層

部位		下顎骨	頸椎	尾椎	肩甲骨	上腕骨	橈骨				尺骨		手根骨					第3・4指趾中手骨	寛骨	膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨	足根骨	第3・5指趾中手・中足骨	第5指趾中足骨		第2・5指趾	中手・中足骨			基節骨				中節骨			末節骨		第2・5指趾基節骨			第2・5指趾中節骨			第2・5指趾末節骨		第2・5指趾		総計
		P 2・4付近				dis	pro			dis	pro	dis	橈側	中間	尺側	第4	pro	恥骨		pro	dis				第3		pro	dis	pro	S	dis	pro	R	dis			pro	R		pro	R													
番号	層位	L			F	R		R		L	R	L	L		R	L	L	R	L	L	R	R	R	F	R	R	R	L	R	R	L	S	dis	R	L			R/L	L	L	R	R/L	L	R	L	R		R	R	F	L	R	F	L	R	L	R	L	
M－40	MB																						1																												1		3
総計																							1																										1		3

MC層

部位		下顎骨	頸椎	尾椎	肩甲骨	上腕骨	橈骨				尺骨		手根骨					第3・4指趾中手骨	寛骨	膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨	足根骨	第3・5指趾中手・中足骨	第5指趾中足骨		第2・5指趾	中手・中足骨			基節骨				中節骨			末節骨		第2・5指趾基節骨			第2・5指趾中節骨			第2・5指趾末節骨		第2・5指趾		総計
		P 2・4付近				dis	pro			dis	pro	dis	橈側	中間	尺側	第4	pro	恥骨		pro	dis				第3		pro	dis	pro	S	dis	pro	R	dis			pro	R		pro	R													
番号	層位	L			F	R		R		L	R	L	L		R	L	L	R	L	L	R	R	R	F	R	R	R	L	R	R	L	S	dis	R	L			R/L	L	L	R	R/L	L	R	L	R		R	R	F	L	R	F	L	R	L	R	L	
K－21	MC																										1																										2
L－20	MC																																																			1
L－26	MC								1																																											1
M－21	MC																																																		1
M－23	MC																						1																												1
M－24	MC																			1																															2
N－18	MC												1															1																							2
N－21	MC																										1																							1
N－23	MC																							1																										1
N－24	MC																					1																												1
N－25	MC						1																					2												1						1						6
O－18	MC										1																												1				1						1		4
O－24	MC											1																1	1																						3
O－25	MC										1	1													1			1																						5
P－17	MC																						1																											2
P－18	MC					1																																												1
P－22	MC															1							1																1											3
P－24	MC																								1																		1			1				3
P－25	MC			1										1											1																									3
P－26	MC																																									1							1
Q－22	MC						1																																											1
Q－23	MC																								1																									1
Q－26	MC																																																	
R－27	MC																																																	1
総計				1		1	1	1		1		1	1	2	1	1			1			1			1	3	1	1	3		1	1	4	1	1			1			1	1	2	1	1	1		1			1	3		2	1	1			47

ⅡB層

部位		下顎骨	頸椎	尾椎	肩甲骨	上腕骨	橈骨				尺骨		手根骨					第3・4指趾中手骨	寛骨	膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨	足根骨	第3・5指趾中手・中足骨	第5指趾中足骨		第2・5指趾	中手・中足骨			基節骨				中節骨			末節骨		第2・5指趾基節骨			第2・5指趾中節骨			第2・5指趾末節骨		第2・5指趾		総計
		P 2・4付近				dis	pro			dis	pro	dis	橈側	中間	尺側	第4	pro	恥骨		pro	dis				第3		pro	dis	pro	S	dis	pro	R	dis			pro	R		pro	R													
番号	層位	L			F	R		R		L	R	L	L		R	L	L	R	L	L	R	R	R	F	R	R	R	L	R	R	L	S	dis	R	L			R/L	L	L	R	R/L	L	R	L	R		R	R	F	L	R	F	L	R	L	R	L	
M－23	ⅡB																																																	1		1
N－22	ⅡB														1																																			1
N－24	ⅡB																																																	1
N－25	ⅡB																																																	1
P－18	ⅡB																																				1														1
P－23	ⅡB										1																																								1
P－25	ⅡB																								1																									1
P－26	ⅡB	1																																																1
総計		1									1				1										1								1	1								1						8

M１層

部位		下顎骨	頸椎	尾椎	肩甲骨	上腕骨	橈骨				尺骨		手根骨					第3・4指趾中手骨	寛骨	膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨	足根骨	第3・5指趾中手・中足骨	第5指趾中足骨		第2・5指趾	中手・中足骨			基節骨				中節骨			末節骨		第2・5指趾基節骨			第2・5指趾中節骨			第2・5指趾末節骨		第2・5指趾		総計
		P 2・4付近				dis	pro			dis	pro	dis	橈側	中間	尺側	第4	pro	恥骨		pro	dis				第3		pro	dis	pro	S	dis	pro	R	dis			pro	R		pro	R													
番号	層位	L			F	R		R		L	R	L	L		R	L	L	R	L	L	R	R	R	F	R	R	R	L	R	R	L	S	dis	R	L			R/L	L	L	R	R/L	L	R	L	R		R	R	F	L	R	F	L	R	L	R	L	
H－30	M1・低地部																																	1																	1
I－29	M1																																1																	1
総計																																1																	2

M２・低地部

部位		下顎骨	頸椎	尾椎	肩甲骨	上腕骨	橈骨				尺骨		手根骨					第3・4指趾中手骨	寛骨	膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨	足根骨	第3・5指趾中手・中足骨	第5指趾中足骨		第2・5指趾	中手・中足骨			基節骨				中節骨			末節骨		第2・5指趾基節骨			第2・5指趾中節骨			第2・5指趾末節骨		第2・5指趾		総計
		P 2・4付近				dis	pro			dis	pro	dis	橈側	中間	尺側	第4	pro	恥骨		pro	dis				第3		pro	dis	pro	S	dis	pro	R	dis			pro	R		pro	R													
番号	層位	L			F	R		R		L	R	L	L		R	L	L	R	L	L	R	R	R	F	R	R	R	L	R	R	L	S	dis	R	L			R/L	L	L	R	R/L	L	R	L	R		R	R	F	L	R	F	L	R	L	R	L	
H－30	M2・低地部																																								1											1
I－30	M2・低地部													1																																					1
総計														1																												1											2

部位		下顎骨	頸椎	尾椎	肩甲骨	上腕骨	橈骨				尺骨		手根骨					第3・4指趾中手骨	寛骨	膝蓋骨	脛骨		種子骨	踵骨	距骨	足根骨	第3・5指趾中手・中足骨	第5指趾中足骨		第2・5指趾	中手・中足骨			基節骨				中節骨			末節骨		第2・5指趾基節骨			第2・5指趾中節骨			第2・5指趾末節骨		第2・5指趾		総計
		P 2・4付近				dis	pro			dis	pro	dis	橈側	中間	尺側	第4	pro	恥骨		pro	dis				第3		pro	dis	pro	S	dis	pro	R	dis			pro	R		pro	R													
番号	層位	L			F	R		R		L	R	L	L		R	L	L	R	L	L	R	R	R	F	R	R	R	L	R	R	L	S	dis	R	L			R/L	L	L	R	R/L	L	R	L	R		R	R	F	L	R	F	L	R	L	R	L	
総計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	7	1	1	6	1	1	1	6	1	1	1	1	3	1	2	1	1	2	5	3	2	1	2	1	1	1	1	5	5	1	2	4	2	1	1	106

出土動物遺体

1～3：猛禽類＜1：趾骨（近）/2：趾骨（遠）/3：趾骨（遠）＞　4：鳥網 右尺側手根骨　5：鳥網（大型）右基節骨（近）　6：小型鳥網（スズメ？）脛骨（遠）　7：エゾヤチネズミ 左大腿骨（近）　8：小・中型獣 足根骨　9：小型獣（リス科）右寛骨　10：中型獣（ウサギ）右上腕骨（遠）　11～13：中型獣（テン）＜11：犬歯（上）/12：右復手根骨 /13：右尺骨（近）＞　14：中型獣（キツネ）右距骨　15：中型獣（タヌキ）左脛骨（遠）　16：中型獣 中節骨　17：小型獣 尾椎　18～24：ヒグマ＜18：左距骨 /19：中手・中足骨（遠）/20・21：基節骨（近）/22・23：左中節骨 /24：末節骨（近）＞　25～34：イノシシ＜25：左橈側手根骨 /26：種子骨 /27：右第3足根骨 /28：中手・中足骨（遠）/29：右中節骨 /30：左第2・5指趾中手・中足骨（遠）/31：右第5中足骨（近）/32：第2・5指趾基節骨 /33：右第2・5指趾中節骨 /34：左第2・5指趾末節骨＞　35～43：ニホンジカ＜35：鹿角 /36：種子骨 /37：左副手根骨 /38：左尺側手根骨 /39：右果骨 /40：右末節骨 /41：左第2・5指趾基節骨 /42：左第2・5指趾中節骨 /43：左第2・5指趾末節骨＞　44：イトウ 椎骨片　45～46：イトヨ＜45：背鰭棘 /46：左腹鰭棘＞　47：チョウザメ 硬鱗

5　西島松５遺跡出土のネズミのかじり痕のある玉について

財団法人北海道埋蔵文化財センター
第２調査部第３調査課　柳瀬由佳

西島松５遺跡の墓から出土した、小動物のかじり痕と予想した痕跡のある玉類について、元北海道大学農学部教授の阿部　永先生に鑑定していただき、以下のコメントをいただいた。

なお、鑑定の際には、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園・博物館所蔵の標本を比較資料として用いた。

資料の鑑定を快諾して下さった阿部　永先生、比較資料の提供などにご協力下さった北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園・博物館の市川秀雄氏、加藤　克氏、高谷文仁氏、また、阿部先生にご紹介下さった酪農学園大学獣医学部寄生虫学教室の浅川満彦先生に記して感謝致します。

鑑定資料：墓から出土した玉類　計６点：Ｐ432－１、Ｐ503－２、Ｐ570－６・７・８、Ｐ781－21（図版284）

結論：アカネズミの下顎切歯によるかじり痕と考えられる。(タイリクヤチネズミのかじり痕も含まれる可能性はある)

根拠：

・一見して、げっ歯類の切歯によるかじり痕である。

・かじり痕には、噛みついて止まった一対の「穴状の痕」と、ガリガリとかじった一対の「溝状の痕」があり、後者が多い。

「溝状の痕」の大きさ（幅）から、行為者はタイリクヤチネズミかアカネズミと考えられる。しかし、噛みついた「穴状の痕」は細い針で突いたような痕で、先細りの形状の切歯によると考えられる。この形状と大きさに該当するのは、アカネズミの下顎切歯である。タイリクヤチネズミの切歯の先端は平坦で幅広く、資料に見られる痕より大きい。

・「溝状の痕」は、形状からはアカネズミかタイリクヤチネズミかは断定できない。しかし、「穴状の痕」が全てアカネズミのものであること、タイリクヤチネズミの草食に対しアカネズミは堅果類（特にオニグルミ）を好むことを考慮すると、資料である石のような硬いものをかじるのはアカネズミではないかと考えられる。

・北海道に生息する普通種のネズミは他に２種（ヒメネズミとミカドネズミ）がある。しかし、これらはいずれもアカネズミやタイリクヤチネズミより顕著に小型であり、かじり痕の行為者としての可能性は著しく低い。

・資料が遺跡の発掘調査時、地中５～30㎝ほどの位置から出土したことは、アカネズミが地中に巣穴を掘る習性を考えると、偶然掘りあたる可能性は十分にあり、説明がつく。

・遺跡と周辺の環境（クルミやドングリ類の木が多い、河畔の畑・荒地）は、アカネズミの生息に適した環境である。

6　恵庭市西島松５遺跡から出土した赤色漆塗竪櫛の構造と製作技法について

財団法人北海道埋蔵文化財センター
第１調査部第１調査課　田　口　　尚

１．はじめに

北海道では縄文時代早期（約9000年前）から赤色顔料を使用した多種多様な漆塗製品が多量に出土している。特に縄文時代後期中葉から末葉にかけては漆工文化の最盛期と言われ、質・量ともに豊富な出土例が見られる。なかでも結歯式漆塗竪櫛はその代表的な存在であり、環状列石（ストーン・サークル）、群集墓、周堤墓、積石墓などと呼ばれる特徴的な墓制や儀礼などと深くかかわって発展してきたものである。最近では、縄文時代後期末葉の恵庭市カリンバ３遺跡（国指定史跡　平成17年３月）から発見された３基の合葬墓に副葬された色彩豊かな赤色漆塗竪櫛をはじめとする漆製品（国指定重要文化財　平成18年６月）などが著明である。

ここでは最新のＸ線ＣＴスキャナーを用いて、透かし文様のある赤色漆塗竪櫛と透かし文様の無い赤色漆塗竪櫛の構造と制作技法を非破壊で解析し、多くの成果が得られたのでその一部を報告する。ここではカリンバ３遺跡と同様に多量の漆塗製品が発見された同西島松５遺跡のＰ398とＰ404の墓壙から出土した結歯式赤色漆塗竪櫛であり、他の機器分析と合わせて検討した。

２．資料と調査方法

試料はＰ398出土の透かし文様のある櫛１点、Ｐ404の透かし文様の無い櫛１点の計２点である。

この２点の試料について外見的特徴の観察の後、非破壊調査としてＸ線透過撮影、Ｘ線ＣＴスキャナーによる解析を行い、試料から剥落した微小破片については漆膜試料を破壊調査し、有機質分析（FTIR）、蛍光X線分析（EDS）などの科学分析を行って比較検討した。

⑴構造調査と材質調査（図１～図11、表１）

外観的特徴はデジタルＨＤマイクロスコープ、実体顕微鏡で観察し、Ｘ線透過撮影装置による構造調査後、剥落していた２～３㎜程度の微小片を試料とした。微小破片の一部はフーリエ変換赤外分光分析装置を用いて有機質分析を行った。残りの試料は透明エポキシ樹脂（ペトロポキシ154）を使用して硬化させた後、実体顕微鏡や光学顕微鏡で断面を確認しながらA＃800～WA＃3000、ラッピングフィルムで研磨し、プレパラートとした。試料は落射光装置と光学顕微鏡で観察し、走査電子顕微鏡（JSM－5600LV）とエネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置 （EDS JED－2200）を使用し、赤色漆塗膜の元素分析および鉄（Fe）、水銀（Hg）、イオウ（S）のマッピング分析を行った。

⑵Ｘ線ＣＴスキャナーによる構造と製作技法の調査（図12～図22、表１）

一般的なＸ線透視撮影では試料の横断面や縦断面の詳細を把握することが困難であり、貴重な試料から大型薄片を作成することは試料を損壊させる危険があるので現実的ではない。これまでは平面的なＸ線画像と櫛の破損箇所から覗く、断片的な内部観察および漆膜断面に見られるわずかな情報から構造を検討せざるを得なかった。これらの問題点を解決できることから九州国立博物館に設置されている文化財用高精度Ｘ線ＣＴスキャナーを使用して断面および３Ｄ画像で観察を行った。装置は大型文化財などを観察する目的で導入されたものであるが、最高0.2㎜の高精度で断面と立体画像を作成できるため小型脆弱資料の観察も可能である。医療用Ｘ線ＣＴスキャナーの約５倍の分解能があり、画像を見ながら任意に自由な方向から横断面や縦断面を設定可能である。特に漆器等の脆弱試料は、シール容器などに保管したまま計測可能であるため、試料を損傷させる心配が少ない。今後は土壌ご

と切取った保存処理前の漆器類などの事前観察および保存処理計画作成にも効果が期待される。

3．調査結果と考察

表１　分析および観察結果の比較

	P398	P404
透かし文様	透かし文様有り、中央に分銅形と（　）文様、両側に２個の三角文様一対。（図１）	透かし文様無し。（図２）
外　観	体部下辺が幅広の台形状で上辺は弧状に湾曲し、その中央に瘤隆起。両側に三角の突起あり、わずかに欠損。	体部下辺が幅広の台形状で上辺は弧状に湾曲し、両側に三角の突起あり、一部欠損。
隆起部分	上部の三角突起下部に瘤状隆起（波状隆起）なし。 下部中央表裏に２個の瘤状隆起あり。太撚り糸をＸ字状に結束して作出。 横走隆起帯は３条。	上部の三角突起下部に瘤状の大型隆起（波状隆起）表裏に６山あり、表裏で凸凹ずれている。Ｚ撚りの太撚り糸が波状に見える 下部中央表裏に２個の瘤状隆起あり。太撚り糸をＸ字状に結束して作出。 横走隆起帯４条。
色調・塗り	赤色漆塗。透かし文様周縁は朱漆を厚く塗り重ね、縁取る。凹部分に朱漆がやや厚く溜まっている。 色調は明るい朱色系、隆起や瘤部分など凸部分は手擦れなどで摩耗し、下部にベンガラ漆や黒色系下地が露出。手擦れにより根来漆の風合いがある。（図４）	赤色漆塗。凹部分に朱漆がやや厚く溜まっている。 色調はオレンジ系、隆起や瘤部分など凸部分は手擦れなどで摩耗し、下部にベンガラ漆や黒色系下地が露出。手擦れにより根来漆の風合いがある。（図２）
櫛歯の特徴	結歯式、櫛歯は腐食により消失（空洞）、12本。瘤条隆起の直上から上辺に向かって急激に薄く細く削ぎおとし上端では角形。両側の歯を太く加工。（図５、図13、図16）	結歯式、櫛歯は腐食により消失（空洞）14本。瘤条隆起の直上から上辺に向かって急激に薄く細く削ぎおとし上端では角形。歯の太さは同じに加工。（図18、図19）
横架材	細い空洞部分は結束した太い撚り糸が腐食した部分。歯に一巻きしながら互いの歯を結束固定。横架材のように見えるのは撚り糸または細い繊維束か？（図13、図16）	細い空洞部分は結束した太撚り糸が腐食した部分あり、歯に一巻きしながら互いの歯を結束固定。横架材のように見えるのは撚り糸または細い繊維束か？（図18、図22）
塗膜	上層は朱（硫化水銀系　HgS）塗り、膜厚20～40μm前後、連化し粉体化した部分もある。下層はパイプ状ベンガラ（Fe_2O_3）が散点的に混じるベンガラ漆層デ膜厚50～70μm前後。ベンガラ漆層は２～３層。FTIRでは1210～1200㎝－１、1650～1640㎝－１（糖タンパク）、1070～1040㎝－１（ゴム質）、1280㎝－１（フェノール）などの吸収がやや大きいが、1645㎝－１（酸化メチレン基）、1720㎝－１（カルボニキル基）、2925㎝－１、2850㎝－１（炭化水素）などが見られ漆液と同定。	上層は朱（硫化水銀系　HgS）塗り、膜厚20～30μm前後、下層はパイプ状ベンガラ（Fe_2O_3）が散点的に混じるベンガラ漆層デ膜厚50～60μm前後。ベンガラ漆層は１～２層。FTIRでは1210～1200㎝－１、1650～1640㎝－１（糖タンパク）、1070～1040㎝－１（ゴム質）、1280㎝－１（フェノール）などの吸収がやや大きいが、1645㎝－１（酸化メチレン基）、1720㎝－１（カルボニキル基）、2925㎝－１、2850㎝－１（炭化水素）などが見られ漆液と同定。
塑形・下地	塑形材は木粉に細かな植物繊維を含む木屎漆系、歯と歯の隙間や隆起箇所に厚くパテ塗りし、全体を強化。微小な岩片や鉱物含む箇所もある。下地には生漆を15μm前後、塑形材に塗って、ある程度の平滑化と浸透強化。	形材は木粉に細かな植物繊維を含む木屎漆系、歯と歯の隙間や隆起箇所に厚くパテ塗りし、全体を強化。微小な岩片や鉱物含む箇所もある。下地には生漆を５μm前後、塑形材に塗って、平滑化と浸透強化。

4．まとめ

この研究では漆膜や顔料分析のための機器分析と合わせて、最新のＸ線ＣＴスキャンを用いることにより、新知見やこれまでの成果の検証ができた。①透かし文様の切り抜き技法、②太い撚り糸の「Ｘ･Ｖ・／」字状の結束による瘤状隆起、③櫛歯の結束状況（横架材状）、④透かし文様を有するものと透かし文様の無い櫛について櫛歯整形・加工が異なり、ふたつの資料は完成形態を考慮し、別々の製作意図を反映して製作されていることなどが非破壊三次元情報として確認できた。今後は脆弱資料の解析に欠かせない分析・解析方法となるはずである。

この時代の北海道では漆製品生産の検討が必要であり、既に報告された遺跡を含め、出土地周辺におけるウルシノキの種子や花粉の検出に努め、他のウルシ属樹木の有用性の調査や赤色顔料産地の同定とそれらの交易ルートの調査研究が重要な課題となる。

なお、この報告は「東アジア文化財保存修復国際会議」(2006）および「日本文化財科学会台25回大会」(2008）発表資料を訂正加筆したものである。本稿では極限られた試料および紙面の関係から概略的な報告となっており、今後、あらためて詳細な検討を試みたい。

最後にＸ線ＣＴスキャンの実施については九州国立博物館の本田光子氏、今津節生氏、鳥越俊行氏の多大なる協力をいただいた。漆塗櫛分析については北海道開拓記念館の小林幸雄氏に助言を、EDS分析については当センターの花岡正光氏に協力をいただきました。記して心より感謝申し上げます。

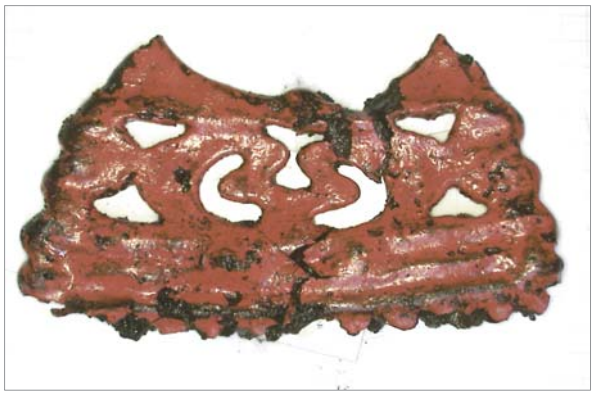


図１　P398 透かし彫りのある結歯式竪櫛

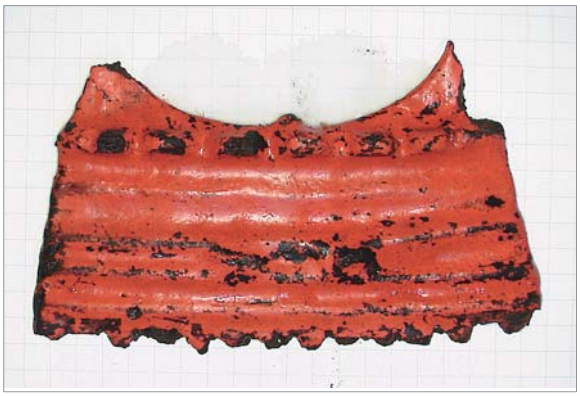


図２　P404 透かしの無い結歯式竪櫛

図３　P398 櫛歯の形状（空洞部は腐食した櫛歯木質）

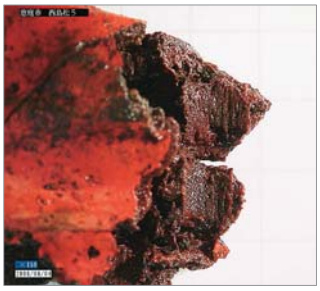
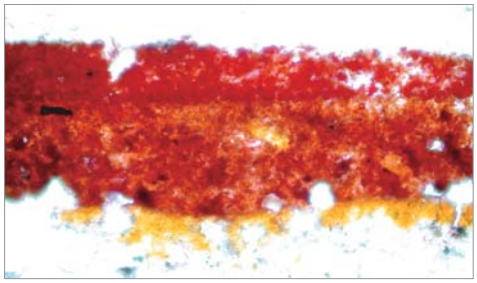


図５　P398 の透かし彫り欠損部に見られる切り抜かれた櫛歯痕（上部が切取られている）

図４　透かし彫り部分周縁の補彩状況（矢印）

図６　漆膜分析のための微小破片の樹脂包埋作業



櫛表面
←朱漆層
←ベンガラ漆層　①
←ベンガラ漆層　②
←下地層
←塑形材

図７　P398 漆塗膜断面（上 HgS、下 Fe）

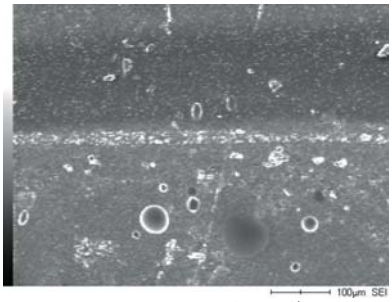


図８　P398 二次電子像

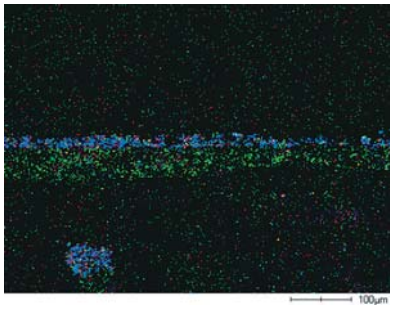


図９　P398 Hg（上）– Fe（下）のマッピング

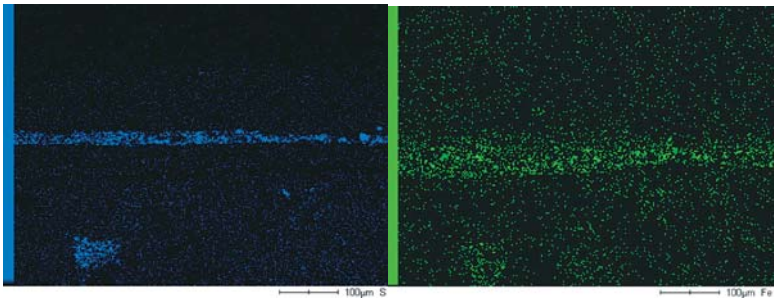


図10　Hg のマッピング

図11　Fe のマッピング

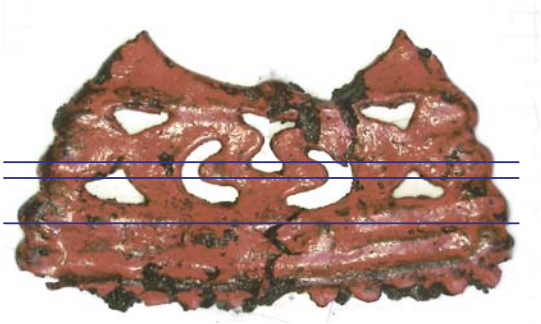


図12　P398のX線CT横断面の位置

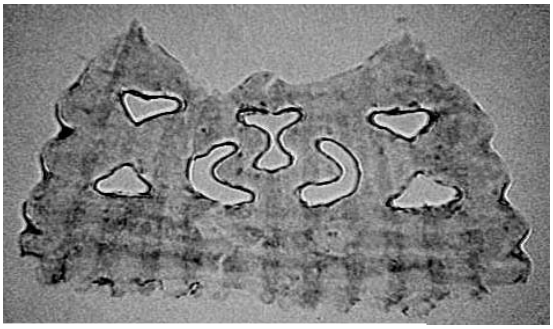


図14　P398のX線透過撮影画像

透かし文様周囲に黒く見えるのは朱　以下同じ

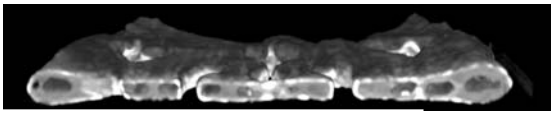


図15　P398のX線CT横断面の３D

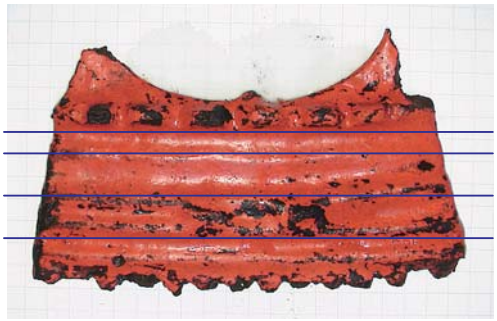


図17　P404のX線CT横断面の位置

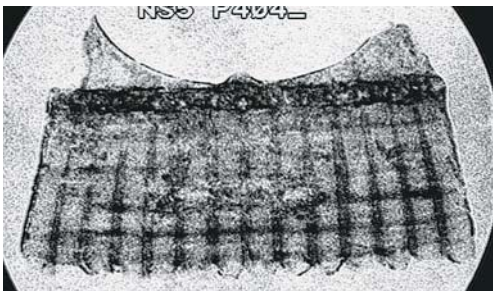


図19　P404のX線透過撮影画像

図20　P404のX線CT横断面の３D

①
②
③

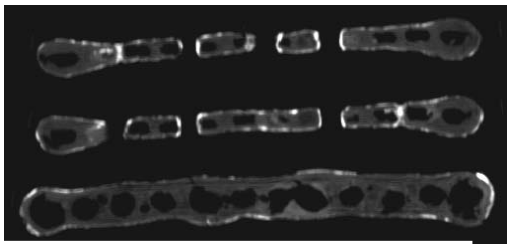


図13　X線CT断面図　横断面（上・中・下）

横断面（上・中・下）　※周囲に白く見えるのは朱HgS層以下同じ
角状突起となる両側の櫛歯は円く太く、他の櫛は上部に向かって扁平

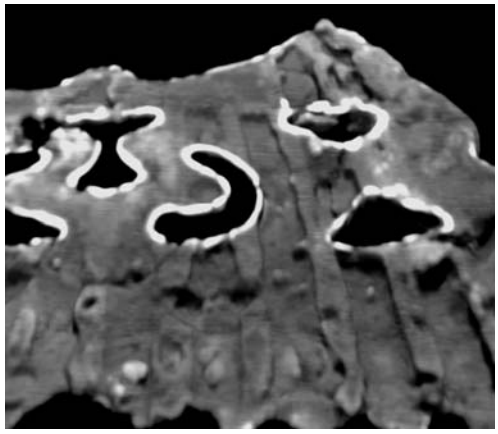


図16　P398のX線CT平面断面の３D

櫛歯と塑形材を同時に切抜いて透かし文様を製作している。

①
②
③
④

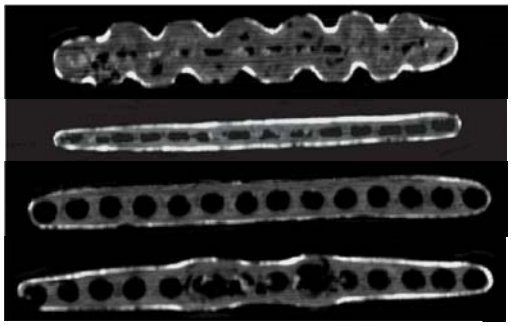


図18　X線CT断面図　横断面（上・中・下）

横断面（上・中・下）　※最下部中央の瘤状隆起は太糸を巻いている
透かし彫りのないものは上部に糸巻きと塑形材による波状隆起がある

図21
P404のX線CT縦断面の3D

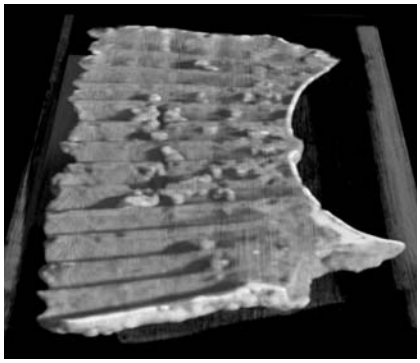


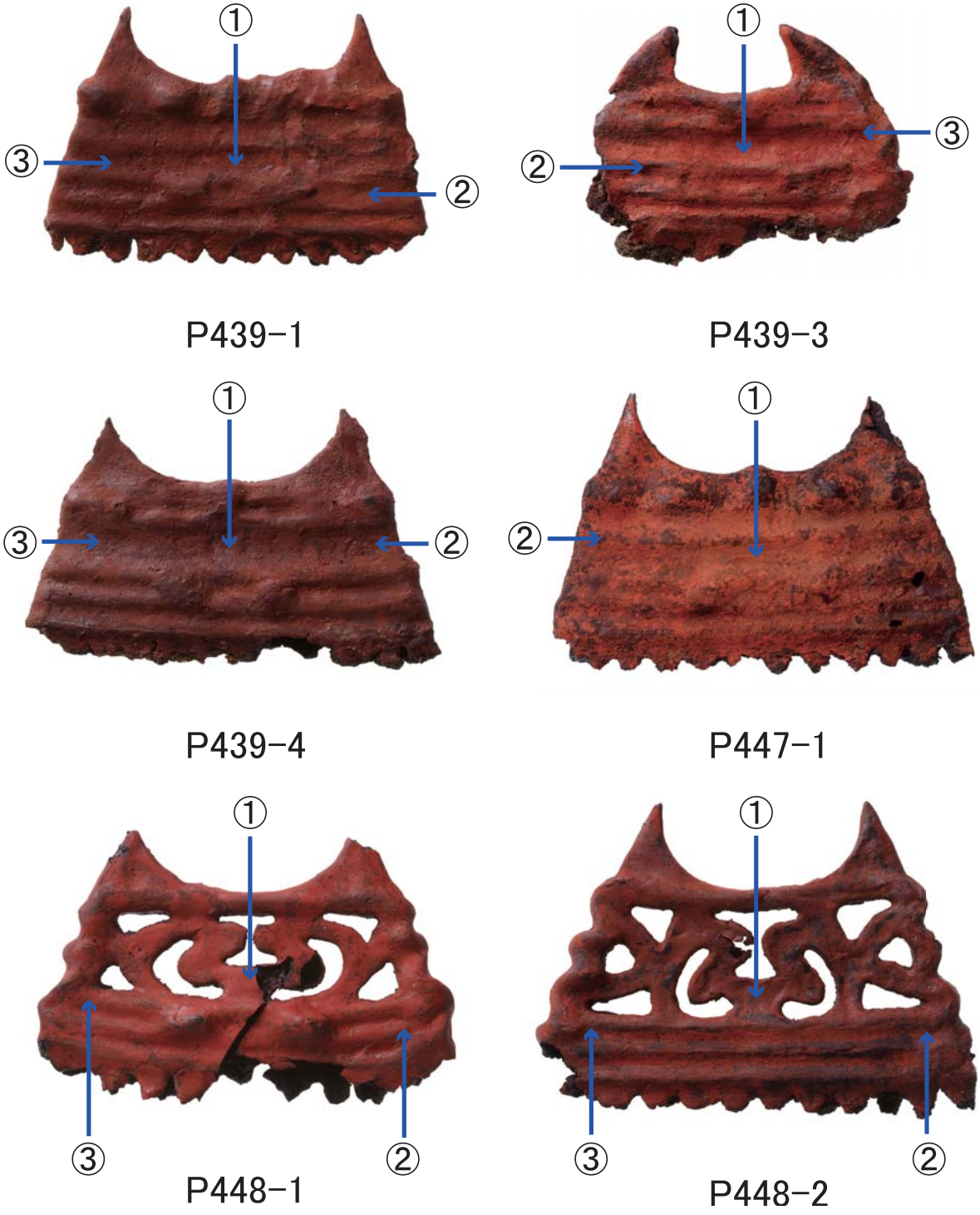
図22　P404のX線CT平面断面の３D

櫛歯は上方に向かって扁平で太さの構成がほぼ同
突起につながる両側の櫛歯が同じ太さである。

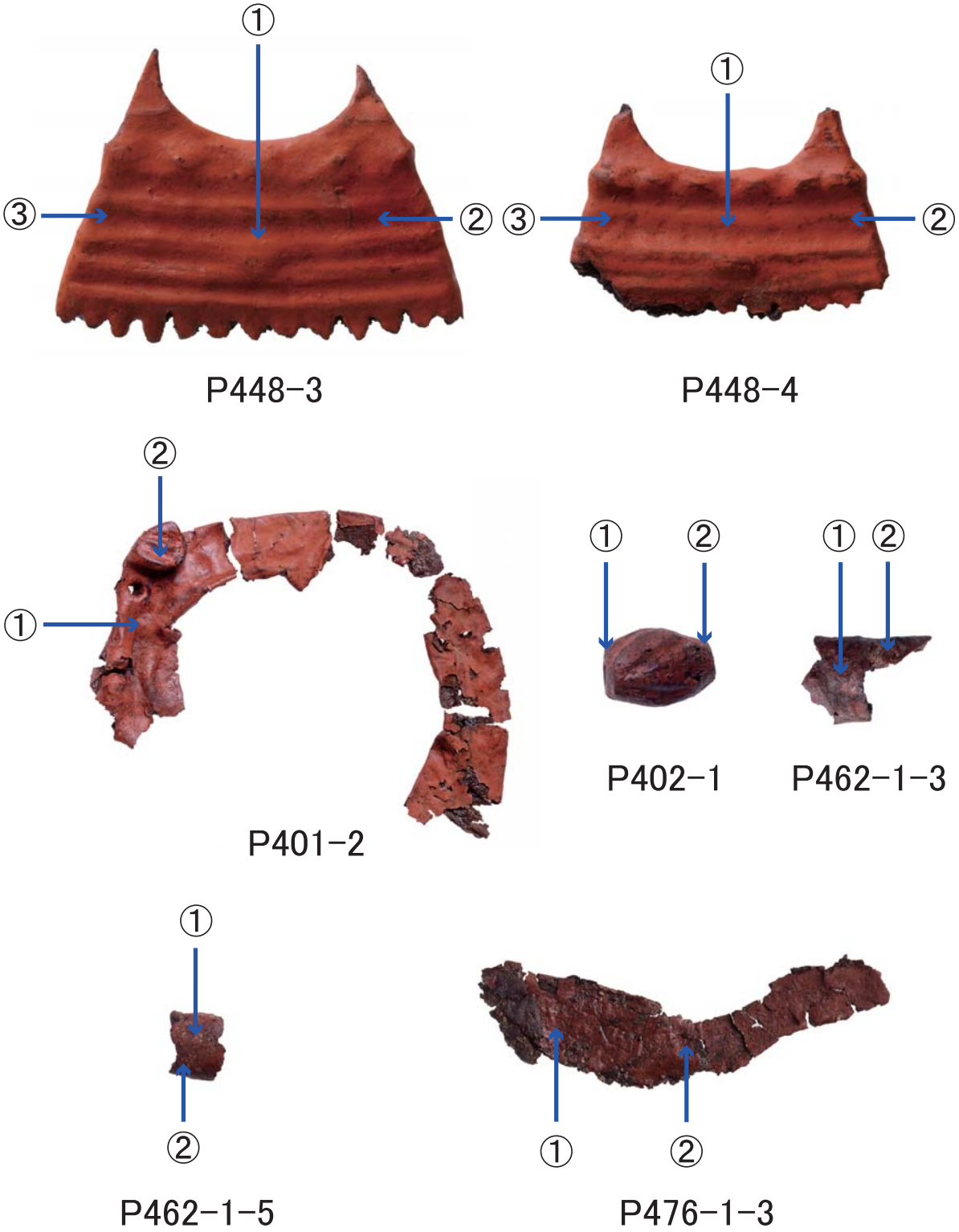
7　蛍光Ｘ線分析

㈱東都文化財保存研究所

蛍光Ｘ線分析は平成16・17年度の２カ年にわたり、㈱東京文化財保存研究所で櫛８点、環状漆塗製品３点、漆塗玉１点について行われた。以下、測定ポイントと測定結果のグラフを記す。



蛍光Ｘ線測定ポイント①

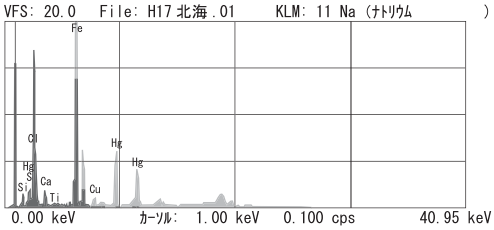


蛍光X線測定ポイント②

蛍光Ｘ線元素分析1

P439-1-① HORIBA MESA-500 スペクトル '06/04/18 17:30:38

VFS: 20.0 File: H17北海.01 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	'06/03/08	'06/03/08
時刻	14:17:45	14:17:45
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	240 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	4 %	12 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

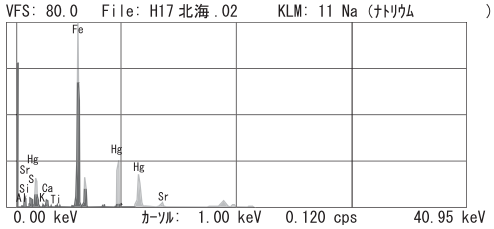
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
14 Si	けい素	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
29 Cu	銅	?			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 '06/04/18 17:31:29

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	57.09	1.31	3.426
80 Hg 水銀	17.71	0.57	0.532
14 Si けい素	13.89	1.16	0.028
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	4.94	0.55	0.028
16 S 硫黄	4.11	1.44	0.026
29 Cu 銅	1.32	0.15	0.081
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.58	0.21	0.016
17 Cl 塩素	0.36	0.64	0.002

P439-1-② HORIBA MESA-500 スペクトル '06/04/18 17:33:00

VFS: 80.0 File: H17北海.02 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	'06/03/08	'06/03/08
時刻	14:29:20	14:29:20
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	124 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	9 %	22 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

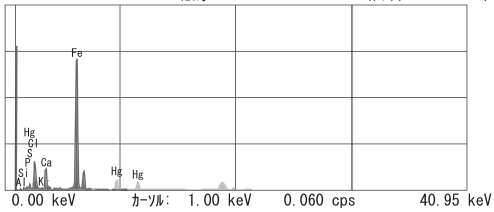
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
16 S	硫黄	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	?			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 '06/04/18 17:33:50

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	49.59	0.93	12.981
80 Hg 水銀	26.23	0.54	3.630
14 Si けい素	12.64	0.33	0.113
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	3.85	0.23	0.018
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	3.64	0.23	0.081
16 S 硫黄	1.74	1.71	0.048
19 K ｶﾘｳﾑ	1.18	0.16	0.023
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.99	0.13	0.112
38 Sr ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	0.15	0.03	0.081

P439-1-③ HORIBA MESA-500 スペクトル '06/04/18 17:34:45

VFS: 128.0 File: H17北海.03 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	'06/03/08	'06/03/08
時刻	14:35:30	14:35:30
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	88 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	19 %	24 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

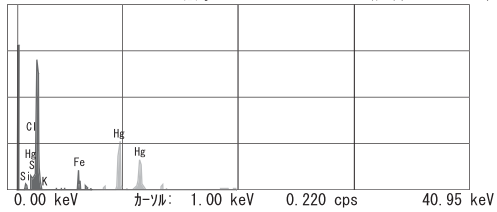
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
15 P	りん	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	○			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 '06/04/18 17:35:42

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	58.08	0.53	16.358
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	13.42	0.32	0.384
80 Hg 水銀	11.44	0.35	1.688
14 Si けい素	5.72	0.19	0.054
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	5.43	0.26	0.027
15 P りん	2.35	0.24	0.040
16 S 硫黄	2.24	0.46	0.073
19 K ｶﾘｳﾑ	1.23	0.17	0.031
17 Cl 塩素	0.09	0.14	0.003

P439-3-① HORIBA MESA-500 スペクトル '06/03/10 13:51:02

VFS: 32.0 File: H17北海.04 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	'06/03/08	'06/03/08
時刻	14:40:49	14:40:49
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	240 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	2 %	6 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
14 Si	けい素	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	○			

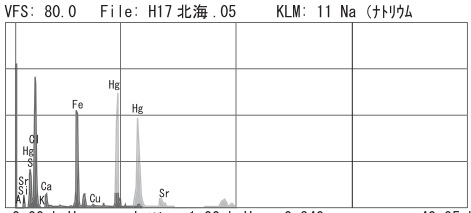
HORIBA MESA-500 定量結果 '06/03/10 13:51:52

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg 水銀	55.50	2.72	0.709
14 Si けい素	23.06	2.33	0.019
26 Fe 鉄	12.13	0.76	0.255
16 S 硫黄	8.04	3.19	0.016
19 K ｶﾘｳﾑ	1.27	1.05	0.001
17 Cl 塩素	0.00	1.46	0.000

蛍光Ｘ線元素分析2

P439-3-② HORIBA MESA-500 スペクトル '06/03/10 13:57:41

VFS: 80.0 File: H17北海.05 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	'06/03/08	'06/03/08
時刻	14:44:54	14:44:54
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	74 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	15 %	27 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
26 Fe	鉄	○			
29 Cu	銅	?			
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	?			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 '06/03/10 13:58:23

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg 水銀	61.92	0.56	14.856
26 Fe 鉄	23.33	0.31	9.752
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	5.54	0.22	0.159
16 S 硫黄	3.74	0.67	0.171
14 Si けい素	3.60	0.12	0.060
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	1.17	0.13	0.011
38 Sr ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	0.29	0.09	0.202
19 K ｶﾘｳﾑ	0.21	0.12	0.005
29 Cu 銅	0.19	0.03	0.124
17 Cl 塩素	0.00	0.19	0.000

P439-3-③ HORIBA MESA-500 スペクトル '06/03/10 13:59:08

VFS: 51.2 File: H17北海.06 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)

測定条件

	# 1	# 2
日付	'06/03/08	'06/03/08
時刻	14:50:07	14:50:07
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	240 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	4 %	6 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

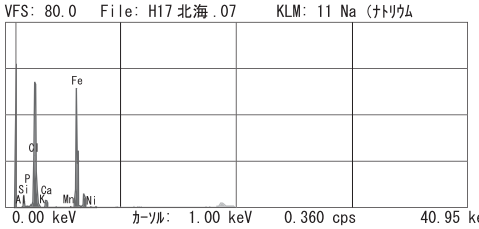
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
14 Si	けい素	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
26 Fe	鉄	?			
28 Ni	ﾆｯｹﾙ	?			
29 Cu	銅	?			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 '06/03/10 13:59:51

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
14 Si けい素	49.80	4.12	0.023
80 Hg 水銀	32.62	2.77	0.268
26 Fe 鉄	12.41	1.18	0.168
29 Cu 銅	3.70	0.45	0.079
19 K ｶﾘｳﾑ	0.97	0.96	0.001
28 Ni ﾆｯｹﾙ	0.49	0.26	0.009
17 Cl 塩素	0.00	6.21	0.000

P439-4-① HORIBA MESA-500 スペクトル '06/03/10 14:01:21

VFS: 80.0 File: H17北海.07 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	'06/03/08	'06/03/08
時刻	14:54:49	14:54:49
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	240 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	9 %	16 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

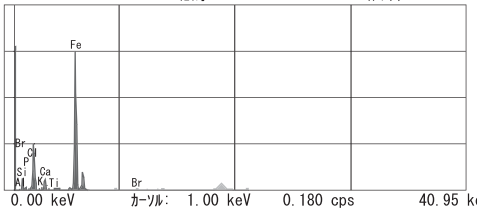
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
15 P	りん	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
25 Mn	ﾏﾝｶﾞﾝ	○			
26 Fe	鉄	○			
28 Ni	ﾆｯｹﾙ	?			

HORIBA MESA-500 定量結果 '06/03/10 14:02:05

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	51.05	0.96	3.764
14 Si けい素	23.29	0.74	0.048
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	9.76	0.78	0.011
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	9.67	0.59	0.072
15 P りん	4.17	0.57	0.013
19 K ｶﾘｳﾑ	1.21	0.36	0.008
25 Mn ﾏﾝｶﾞﾝ	0.62	0.14	0.041
28 Ni ﾆｯｹﾙ	0.22	0.15	0.012
17 Cl 塩素	0.00	1.02	0.000

P439-4-② HORIBA MESA-500 スペクトル '06/03/10 14:04:32

VFS: 128.0 File: H17北海.08 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	'06/03/08	'06/03/08
時刻	14:59:26	14:59:26
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	124 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	13 %	22 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
15 P	りん	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	○			
26 Fe	鉄	?			
35 Br	臭素	?			

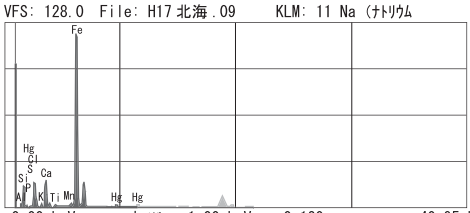
HORIBA MESA-500 定量結果 '06/03/10 14:05:12

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	55.45	0.51	13.062
14 Si けい素	22.87	0.39	0.151
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	8.56	0.41	0.031
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	7.90	0.28	0.195
15 P りん	3.39	0.36	0.035
19 K ｶﾘｳﾑ	1.02	0.19	0.021
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.64	0.12	0.076
35 Br 臭素	0.16	0.03	0.078
17 Cl 塩素	0.00	0.24	0.000

蛍光Ｘ線元素分析3

P439-4-③ HORIBA　MESA-500　　スペクトル　’06/03/10　14:06:04

VFS: 128.0　File: H17北海.09　　KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ　　)



測定条件

	# 1	# 2
日付	’06/03/08	’06/03/08
時刻	15:13:17	15:13:17
電圧	15　kV	50　kV
電流	440　μA	74　μA
時間	50　秒	50　秒
DT%	23　%	27　%
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

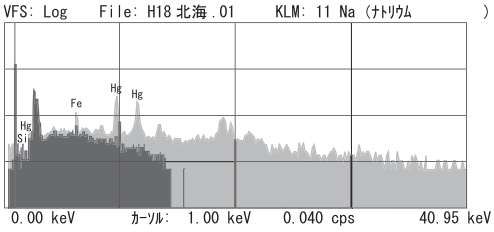
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○	80 Hg	水銀	?
14 Si	けい素	○			
15 P	りん	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	○			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
25 Mn	ﾏﾝｶﾞﾝ	○			
26 Fe	鉄	○			

HORIBA　MESA-500　　定量結果　　’06/03/10　14:06:47

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe　鉄	46.36	0.34	24.458
14 Si　けい素	26.01	0.29	0.412
20 Ca　ｶﾙｼｳﾑ	10.59	0.23	0.550
13 Al　ｱﾙﾐﾆｳﾑ	8.79	0.27	0.078
15 P　りん	2.18	0.22	0.052
19 K　ｶﾘｳﾑ	1.99	0.14	0.087
80 Hg　水銀	1.77	0.16	0.534
22 Ti　ﾁﾀﾝ	0.88	0.12	0.213
16 S　硫黄	0.65	0.10	0.031
25 Mn　ﾏﾝｶﾞﾝ	0.63	0.09	0.289
17 Cl　塩素	0.13	0.10	0.007

P447-1-① HORIBA　MESA-500　　スペクトル　’06/11/01　15:35:05

VFS: Log　　File: H18北海.01　　KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ　　)



測定条件

	# 1	# 2
日付	’06/11/01	’06/11/01
時刻	14:55:07	14:55:07
電圧	15　kV	50　kV
電流	500　μA	240　μA
時間	50　秒	50　秒
DT%	1　%	4　%
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	大気	大気

定性結果

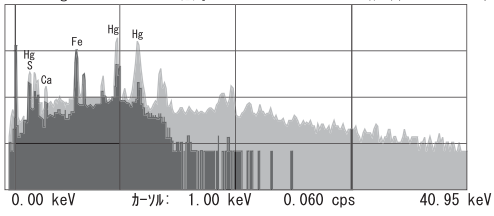
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
14 Si	けい素	○			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA　MESA-500　　定量結果　　’06/11/01　15:36:14

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg　水銀	47.67	17.41	0.347
14 Si　けい素	43.94	20.46	0.001
26 Fe　鉄	8.39	3.14	0.091

P447-1-② HORIBA　MESA-500　　スペクトル　’06/11/01　15:37:11

VFS: Log　　File: H18北海.02　　KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ　　)



測定条件

	# 1	# 2
日付	’06/11/01	’06/11/01
時刻	15:03:55	15:03:55
電圧	15　kV	50　kV
電流	500　μA	74　μA
時間	50　秒	50　秒
DT%	10　%	28　%
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	大気	大気

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
16 S	硫黄	○			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	?			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	○			

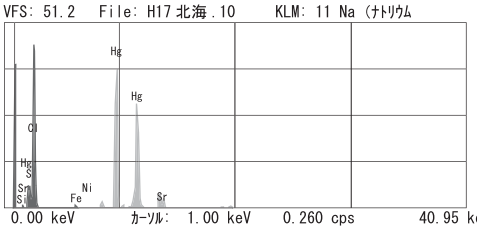
HORIBA　MESA-500　　定量結果　　’06/11/01　15:38:26

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg　水銀	71.96	1.33	23.718
26 Fe　鉄	13.64	0.31	7.153
16 S　硫黄	12.18	1.60	0.099
20 Ca　ｶﾙｼｳﾑ	2.22	0.17	0.047

蛍光Ｘ線元素分析4

P448-1-① HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:08:45

VFS: 51.2 File: H17北海.10 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



0.00 keV ｶｰｿﾙ: 1.00 keV 0.260 cps 40.95 keV

測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	15:21:12	15:21:12
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	240 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	5 %	16 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

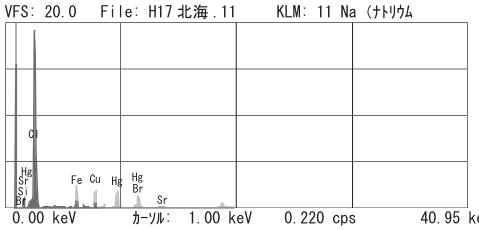
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
14 Si	けい素	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
26 Fe	鉄	○			
28 Ni	ﾆｯｹﾙ	?			
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	?			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:09:36

成分		濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg	水銀	83.47	1.97	3.494
14 Si	けい素	7.21	0.83	0.021
16 S	硫黄	6.33	1.75	0.044
17 Cl	塩素	1.55	1.11	0.009
26 Fe	鉄	1.26	0.12	0.088
28 Ni	ﾆｯｹﾙ	0.12	0.06	0.013
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	0.07	0.06	0.008

P448-1-② HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:11:39

VFS: 20.0 File: H17北海.11 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



0.00 keV ｶｰｿﾙ: 1.00 keV 0.220 cps 40.95 keV

測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	15:26:02	15:26:02
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	240 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	2 %	4 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

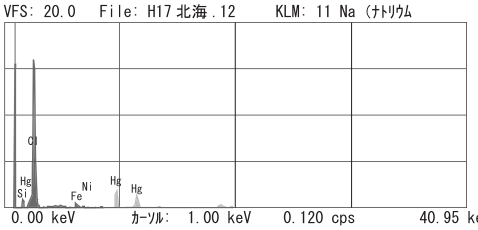
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
14 Si	けい素	○			
17 Cl	塩素	?			
26 Fe	鉄	○			
29 Cu	銅	○			
35 Br	臭素	?			
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	?			
80 Hg	水銀	?			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:12:20

成分		濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
14 Si	けい素	52.24	3.16	0.020
80 Hg	水銀	24.27	1.82	0.170
26 Fe	鉄	13.63	1.07	0.171
29 Cu	銅	9.61	0.78	0.175
35 Br	臭素	0.14	0.20	0.004
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	0.11	0.08	0.003
17 Cl	塩素	0.00	3.16	0.000

P448-1-③ HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:13:05

VFS: 20.0 File: H17北海.12 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



0.00 keV ｶｰｿﾙ: 1.00 keV 0.120 cps 40.95 keV

測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	15:30:13	15:30:13
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	240 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	2 %	3 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

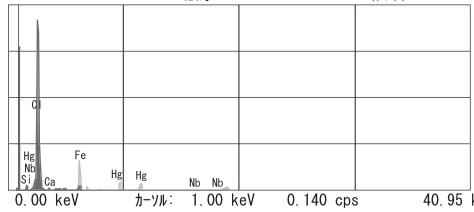
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
14 Si	けい素	○			
17 Cl	塩素	?			
26 Fe	鉄	?			
28 Ni	ﾆｯｹﾙ	?			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:13:46

成分		濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
14 Si	けい素	59.97	4.45	0.016
80 Hg	水銀	33.15	3.32	0.170
26 Fe	鉄	5.89	0.89	0.045
28 Ni	ﾆｯｹﾙ	0.98	0.37	0.011
17 Cl	塩素	0.00	4.58	0.000

P448-2-① HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:23:17

VFS: 32.0 File: H17北海.19 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



0.00 keV ｶｰｿﾙ: 1.00 keV 0.140 cps 40.95 keV

測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	16:02:45	16:02:45
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	240 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	3 %	5 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
14 Si	けい素	○			
17 Cl	塩素	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	?			
26 Fe	鉄	○			
41 Nb	ﾆｵﾌﾞ	?			
80 Hg	水銀	○			

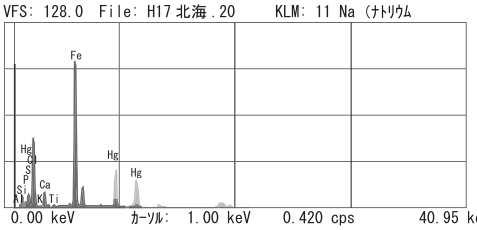
HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:23:58

成分		濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
14 Si	けい素	45.66	4.35	0.018
26 Fe	鉄	29.32	2.63	0.339
80 Hg	水銀	22.26	2.08	0.154
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	2.67	1.14	0.002
17 Cl	塩素	0.07	5.80	0.000
41 Nb	ﾆｵﾌﾞ	0.01	0.05	0.000

蛍光Ｘ線元素分析5

P448-2-② HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:25:23

VFS: 128.0 File: H17北海.20 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	16:06:38	16:06:38
電圧	15 kV	50 kV
電流	360 μA	36 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	24 %	23 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

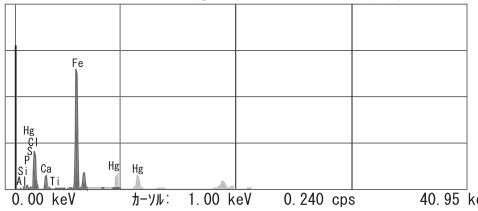
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
15 P	りん	○			
16 S	硫黄	?			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:26:04

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg 水銀	37.58	0.35	16.334
26 Fe 鉄	34.90	0.33	26.574
14 Si けい素	9.69	0.17	0.270
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	6.93	0.20	0.405
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	4.76	0.18	0.072
15 P りん	3.08	0.23	0.146
16 S 硫黄	1.18	0.11	0.094
19 K ｶﾘｳﾑ	1.02	0.12	0.052
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.67	0.16	0.193
17 Cl 塩素	0.20	0.13	0.014

P448-2-③ HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:27:04

VFS: 128.0 File: H17北海.21 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	16:10:45	16:10:45
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	74 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	16 %	22 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

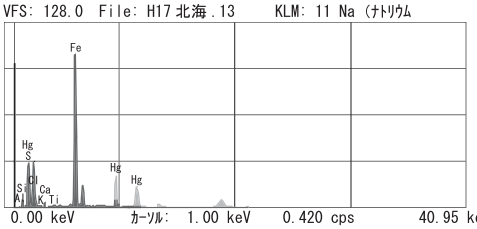
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
15 P	りん	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:27:54

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	57.26	0.45	18.369
80 Hg 水銀	20.38	0.37	3.354
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	8.09	0.25	0.244
14 Si けい素	5.36	0.17	0.058
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	4.52	0.23	0.025
15 P りん	3.52	0.27	0.069
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.53	0.15	0.077
16 S 硫黄	0.28	0.13	0.010
17 Cl 塩素	0.08	0.15	0.003

P448-3-① HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:14:33

VFS: 128.0 File: H17北海.13 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	15:34:56	15:34:56
電圧	15 kV	50 kV
電流	340 μA	42 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	23 %	24 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

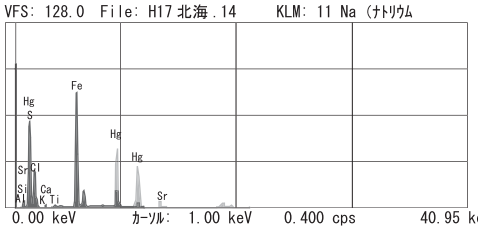
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:15:14

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	45.18	0.46	29.711
80 Hg 水銀	31.68	0.41	11.212
16 S 硫黄	7.74	0.62	0.537
14 Si けい素	7.42	0.17	0.169
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	4.18	0.20	0.051
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	2.60	0.16	0.137
19 K ｶﾘｳﾑ	0.70	0.13	0.032
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.51	0.13	0.137
17 Cl 塩素	0.01	0.13	0.000

P448-3-② HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:15:51

VFS: 128.0 File: H17北海.14 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	15:39:05	15:39:05
電圧	15 kV	50 kV
電流	360 μA	30 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	23 %	24 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	?			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	?			
80 Hg	水銀	○			

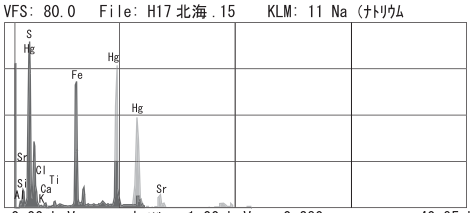
HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:16:34

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg 水銀	57.03	0.46	32.206
26 Fe 鉄	23.81	0.29	23.360
16 S 硫黄	9.47	0.54	0.969
14 Si けい素	4.61	0.11	0.173
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	2.76	0.13	0.057
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	1.27	0.10	0.084
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.63	0.14	0.214
19 K ｶﾘｳﾑ	0.23	0.08	0.013
38 Sr ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	0.19	0.04	0.317
17 Cl 塩素	0.00	0.09	0.000

蛍光Ｘ線元素分析6

P448-3-③ HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:17:15

VFS: 80.0 File: H17北海.15 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	15:42:56	15:42:56
電圧	15 kV	50 kV
電流	380 μA	24 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	22 %	23 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

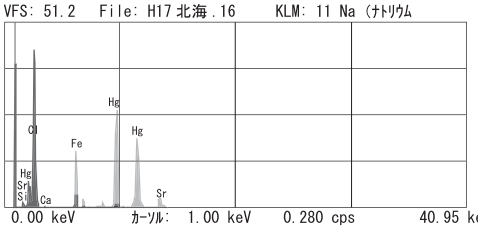
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	?			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:17:56

成分		濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg	水銀	70.76	0.42	53.983
26 Fe	鉄	11.79	0.19	15.222
16 S	硫黄	8.47	0.43	1.127
14 Si	けい素	4.25	0.08	0.218
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	2.58	0.10	0.074
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	0.90	0.07	0.073
22 Ti	ﾁﾀﾝ	0.69	0.13	0.291
19 K	ｶﾘｳﾑ	0.37	0.07	0.027
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	0.19	0.04	0.387
17 Cl	塩素	0.00	0.07	0.000

P448-4-① HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:19:18

VFS: 51.2 File: H17北海.16 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	15:47:34	15:47:34
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	240 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	6 %	14 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

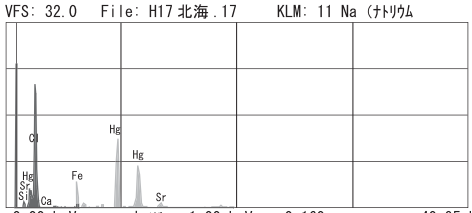
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
14 Si	けい素	○			
17 Cl	塩素	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	?			
26 Fe	鉄	○			
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	?			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:19:56

成分		濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg	水銀	69.14	1.26	2.398
26 Fe	鉄	18.59	0.46	1.129
14 Si	けい素	11.18	1.10	0.027
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	0.94	0.48	0.004
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	0.15	0.06	0.014
17 Cl	塩素	0.00	1.16	0.000

P448-4-② HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:20:35

VFS: 32.0 File: H17北海.17 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	15:51:44	15:51:44
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	240 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	3 %	8 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

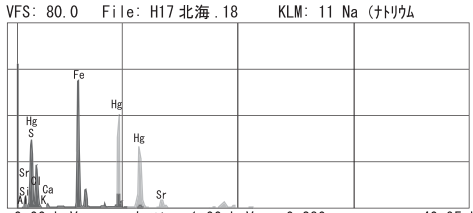
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
14 Si	けい素	○			
17 Cl	塩素	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	?			
26 Fe	鉄	○			
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	?			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:21:14

成分		濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg	水銀	66.90	3.16	1.050
14 Si	けい素	20.80	3.59	0.022
26 Fe	鉄	11.66	0.69	0.310
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	0.58	0.58	0.001
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	0.06	0.09	0.002
17 Cl	塩素	0.00	1.06	0.000

P448-4-③ HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:21:50

VFS: 80.0 File: H17北海.18 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	15:57:46	15:57:46
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	74 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	14 %	22 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
26 Fe	鉄	○			
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	?			
80 Hg	水銀	○			

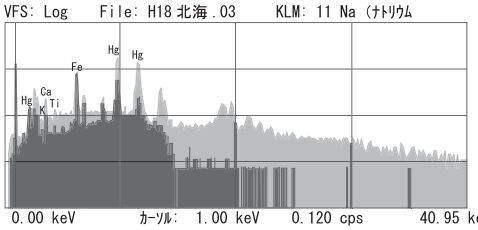
HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:22:32

成分		濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg	水銀	51.79	0.51	11.880
26 Fe	鉄	27.78	0.34	11.179
16 S	硫黄	8.27	0.67	0.347
14 Si	けい素	6.34	0.16	0.096
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	3.00	0.18	0.025
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	2.19	0.16	0.061
19 K	ｶﾘｳﾑ	0.53	0.12	0.013
38 Sr	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ	0.10	0.04	0.071
17 Cl	塩素	0.00	0.12	0.000

蛍光Ｘ線元素分析7

P401-2-① HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/11/01 16:05:26

VFS: Log File: H18 北海.03 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/11/01	' 06/11/01
時刻	15:16:13	15:16:13
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	56 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	9 %	24 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	大気	大気

定性結果

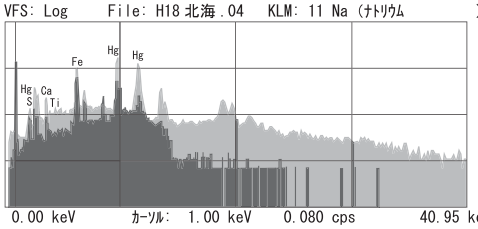
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	?			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/11/01 16:06:20

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg 水銀	85.29	0.34	26.338
26 Fe 鉄	9.09	0.18	4.488
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	4.14	0.21	0.082
19 K ｶﾘｳﾑ	0.75	0.20	0.011
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.73	0.16	0.098

P401-2-② HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/11/01 15:42:36

VFS: Log File: H18 北海.04 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/11/01	' 06/11/01
時刻	15:20:47	15:20:47
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	46 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	11 %	23 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	大気	大気

定性結果

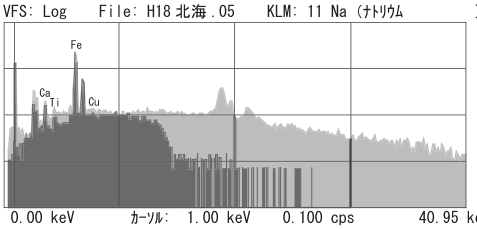
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
16 S	硫黄	○			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/11/01 15:43:26

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
80 Hg 水銀	83.50	0.88	28.694
26 Fe 鉄	10.29	0.23	5.678
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	3.20	0.20	0.070
16 S 硫黄	2.63	0.97	0.023
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.38	0.14	0.057

P402-1-① HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/11/01 15:44:27

VFS: Log File: H18 北海.05 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/11/01	' 06/11/01
時刻	15:24:51	15:24:51
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	92 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	14 %	24 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	大気	大気

定性結果

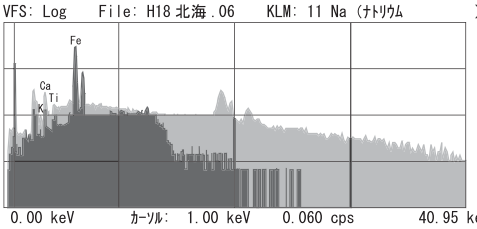
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?○			
26 Fe	鉄	○			
29 Cu	銅	?			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/11/01 15:45:15

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	95.45	0.29	21.165
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	3.62	0.21	0.072
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.59	0.13	0.084
29 Cu 銅	0.34	0.17	0.051

P402-1-② HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/11/01 15:46:09

VFS: Log File: H18 北海.06 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/11/01	' 06/11/01
時刻	15:28:28	15:28:28
電圧	15 kV	50 kV
電流	440 μA	52 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	22 %	23 %
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	大気	大気

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?○			
26 Fe	鉄	○			

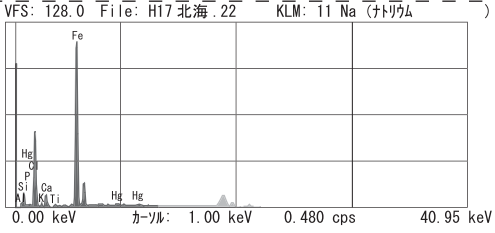
HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/11/01 15:47:13

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	94.80	0.24	40.587
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	3.70	0.16	0.140
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.80	0.12	0.219
19 K ｶﾘｳﾑ	0.71	0.14	0.018

蛍光Ｘ線元素分析8

P462-1-3-① HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:28:34

VFS: 128.0 File: H17北海.22 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	16:14:35	16:14:35
電圧	15 kV	50 kV
電流	440 μA	36 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	25 %	22 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

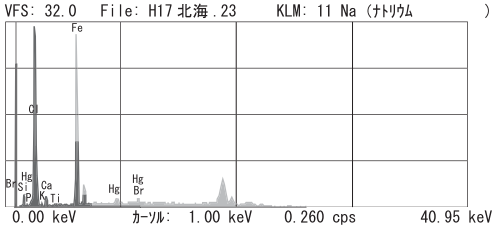
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
15 P	りん	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	?			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:29:16

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	55.43	0.44	27.315
14 Si けい素	19.02	0.28	0.272
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	8.58	0.28	0.068
80 Hg 水銀	6.96	0.30	1.756
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	4.70	0.19	0.225
15 P りん	2.73	0.21	0.063
19 K ｶﾘｳﾑ	1.59	0.13	0.063
22 Ti ﾁﾀﾝ	0.80	0.17	0.195
17 Cl 塩素	0.19	0.17	0.008

P462-1-3-② HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:30:49

VFS: 32.0 File: H17北海.23 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	16:18:52	16:18:52
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	240 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	7 %	16 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

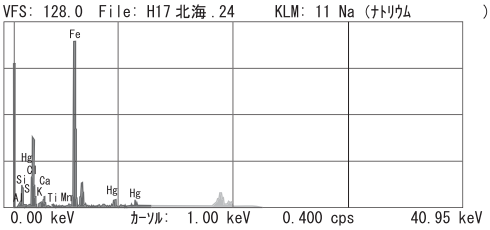
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
14 Si	けい素	○			
15 P	りん	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
35 Br	臭素	?			
80 Hg	水銀	?			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:31:33

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	46.65	1.72	2.025
14 Si けい素	27.39	1.75	0.040
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	9.19	0.88	0.038
15 P りん	6.56	0.93	0.014
80 Hg 水銀	3.51	0.55	0.088
17 Cl 塩素	3.32	2.31	0.013
19 K ｶﾘｳﾑ	1.92	0.68	0.007
22 Ti ﾁﾀﾝ	1.21	0.33	0.024
35 Br 臭素	0.26	0.07	0.026

P462-1-5-① HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:32:18

VFS: 128.0 File: H17北海.24 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	16:22:39	16:22:39
電圧	15 kV	50 kV
電流	380 μA	42 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	23 %	27 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

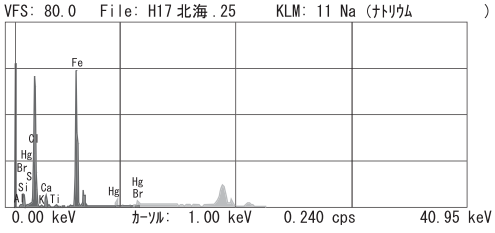
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
25 Mn	ﾏﾝｶﾞﾝ	○			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	?			

HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:33:00

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	49.33	0.39	32.356
14 Si けい素	24.08	0.29	0.456
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	10.23	0.28	0.110
80 Hg 水銀	8.25	0.23	2.888
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	3.90	0.18	0.235
19 K ｶﾘｳﾑ	2.10	0.13	0.106
22 Ti ﾁﾀﾝ	1.05	0.14	0.324
16 S 硫黄	0.69	0.33	0.041
25 Mn ﾏﾝｶﾞﾝ	0.37	0.09	0.210
17 Cl 塩素	0.00	0.13	0.000

P462-1-5-② HORIBA MESA-500 スペクトル ' 06/03/10 14:33:40

VFS: 80.0 File: H17北海.25 KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	16:27:16	16:27:16
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μA	180 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	12 %	28 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	?			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
35 Br	臭素	?			
80 Hg	水銀	○			

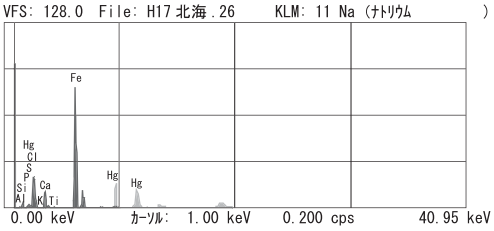
HORIBA MESA-500 定量結果 ' 06/03/10 14:34:18

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe 鉄	38.14	0.54	5.333
14 Si けい素	29.89	0.57	0.119
13 Al ｱﾙﾐﾆｳﾑ	14.51	0.61	0.036
20 Ca ｶﾙｼｳﾑ	10.13	0.45	0.129
80 Hg 水銀	3.30	0.21	0.283
19 K ｶﾘｳﾑ	1.80	0.31	0.019
22 Ti ﾁﾀﾝ	1.18	0.17	0.070
16 S 硫黄	0.96	0.15	0.011
35 Br 臭素	0.09	0.04	0.031
17 Cl 塩素	0.00	0.54	0.000

蛍光Ｘ線元素分析9

P476-1-3-① HORIBA　MESA-500　スペクトル　' 06/03/10　14:34:59

VFS: 128.0　File: H17 北海.26　　KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ　　)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	16:31:27	16:31:27
電圧	15　kV	50　kV
電流	500　μA	160　μA
時間	50　秒	50　秒
DT%	11　%	25　%
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

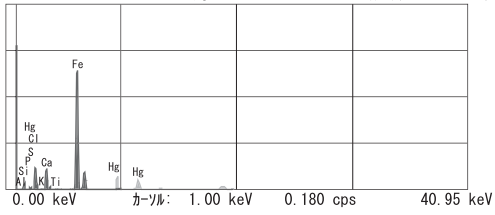
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
15 P	りん	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	○			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA　MESA-500　定量結果　' 06/03/10　14:36:03

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe　鉄	40.19	0.37	8.926
80 Hg　水銀	18.38	0.26	2.410
20 Ca　ｶﾙｼｳﾑ	14.80	0.37	0.290
14 Si　けい素	14.04	0.29	0.110
13 Al　ｱﾙﾐﾆｳﾑ	6.90	0.31	0.030
15 P　りん	1.93	0.26	0.025
16 S　硫黄	1.39	0.13	0.033
19 K　ｶﾘｳﾑ	1.06	0.18	0.018
22 Ti　ﾁﾀﾝ	0.67	0.12	0.059
17 Cl　塩素	0.64	0.20	0.014

P476-1-3-② HORIBA　MESA-500　スペクトル　' 06/03/10　14:37:07

VFS: 213.0　File: H17 北海.27　　KLM: 11 Na (ﾅﾄﾘｳﾑ　　)



測定条件

	# 1	# 2
日付	' 06/03/08	' 06/03/08
時刻	16:35:41	16:35:41
電圧	15　kV	50　kV
電流	440　μA	62　μA
時間	50　秒	50　秒
DT%	23　%	25　%
試料ｾﾙ	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	○			
14 Si	けい素	○			
15 P	りん	○			
16 S	硫黄	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	ｶﾘｳﾑ	○			
20 Ca	ｶﾙｼｳﾑ	○			
22 Ti	ﾁﾀﾝ	?			
26 Fe	鉄	○			
80 Hg	水銀	○			

HORIBA　MESA-500　定量結果　' 06/03/10　14:37:46

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
26 Fe　鉄	50.08	0.36	29.157
80 Hg　水銀	18.07	0.26	5.768
20 Ca　ｶﾙｼｳﾑ	12.51	0.23	0.680
14 Si　けい素	10.39	0.18	0.211
13 Al　ｱﾙﾐﾆｳﾑ	5.15	0.19	0.055
19 K　ｶﾘｳﾑ	1.19	0.11	0.057
15 P　りん	0.96	0.16	0.034
16 S　硫黄	0.88	0.30	0.058
22 Ti　ﾁﾀﾝ	0.70	0.12	0.175
17 Cl　塩素	0.08	0.09	0.005

報告書抄録

ふりがな	えにわし　にししままつ５いせき（6）
書名	恵庭市　西島松５遺跡（6）
副書名	柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ名	㈶北海道埋蔵文化財センター調査報告書（北埋調報）
シリーズ番号	第260集
編著者名	土肥研晶・柳瀬由佳
編集機関	財団法人　北海道埋蔵文化財センター（http：//www.domaibun.or.jp）
所在地	〒069-0832　北海道江別市西野幌685-１　Tel.（011）386-3231
発行年月日	平成21（西暦2009）年３月26日

収録遺跡（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積（m²）	調査原因
		市町村	遺跡番号					
西島松５遺跡（にししままつ　いせき）	北海道（ほっかいどう）恵庭市西島松（えにわしにししままつ）306・501番地（ばんち）先河川敷地（さきかせんしきち）	01224	A-04-38	42°54’25”	141°34’30”	20020401～20041030	16,782m²	河川改修工事に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
西島松５遺跡	集落跡	縄文時代前期	墓×41基	土器・石器	
		縄文時代後期後葉～末葉	墓×195基	土器・石器 土製品 漆塗製品 玉・垂飾類 石棒 サメ歯穿孔品	副葬品の土器・石器漆製品・玉類が一括で検出される。
		縄文時代晩期前葉	墓×55基	土器・石器 漆塗製品 玉・垂飾類 サメ歯穿孔品	副葬品の土器・石器漆製品・玉類が一括で検出される。

要約　遺跡は恵庭市の西方の柏木川とその支流であるキトウシュメンナイ川に挟まれた標高約26ｍの低い台地上に位置する。これまでの調査で住居址75軒、土坑825基などの遺構が検出されている。本報告では、これらのうちの坑495基、Ｔピット６基、焼土299ヵ所、小ピット1,257ヵ所、集石遺構５ヵ所を報告する。検出された主な遺構は、縄文時代後期後葉～晩期前葉にかけての墓である。これらは、周堤墓以降の墓域の変遷がたどれる状況で検出され、堂林式、三ツ谷式、御殿山式、大洞Ｂ１式相当の各時期の墓から副葬品が検出されている。

㈶北海道埋蔵文化財センター調査報告書　第260集

恵庭市　西島松５遺跡（６）

―柏木川基幹河川改修用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―

［第１分冊　本文編］

発　行　　平成21年（2009）年３月26日

編　集　　財団法人　北海道埋蔵文化財センター

〒069-0832　江別市西野幌685番地１

TEL.（011）386-3231　FAX（011）386-3238

http：//www.hokkaidou.mmd.ntt-east.co.jp/maizou

印　刷　　山藤三陽印刷株式会社

〒063－0051　札幌市西区宮の沢１条４丁目16－１

TEL.（011）661－7163　FAX（011）661－7173